

相模原市次期総合計画策定支援業務

市民アンケート調査 報告書

平成30年1月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

目 次

I.	実施概要.....	1
	(1) 調査の目的.....	1
	(2) 調査設計と回収状況.....	1
	(3) この報告書の見方.....	2
	(4) 調査項目一覧.....	4
II.	調査結果のまとめ.....	5
	1-1. 現在の暮らしの満足度.....	5
	1-2. 今後の居住意向.....	5
	1-3. 住み続けたいと思う理由.....	5
	1-4. 転居したいと思う理由.....	5
	1-5. 希望する転居先.....	5
	1-6. 生活したい場所.....	5
	1-7. 地域への愛着.....	5
	1-8. 相模原市の良さ.....	5
	1-9. 目標としたらよいと思う都市像.....	6
	1-10. 今後特に力を入れてほしいこと.....	6
	1-11. 福祉・保健・医療において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと.....	6
	1-12. 生活の安全・安心において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと.....	6
	1-13. 教育・文化・スポーツにおいて市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと.....	6
	1-14. 環境において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと.....	6
	1-15. 水と緑において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと.....	7
	1-16. 産業・雇用において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと.....	7
	1-17. まちづくりにおいて市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと.....	7
	1-18. 市民参加・協働において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと.....	7
	1-19. 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと.....	7
	1-20. 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと.....	7
	1-21. 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり.....	7
III.	調査結果.....	8
	1 調査対象者の基本属性.....	8
	1-1. 回答者の性別.....	8
	1-2. 回答者の年齢.....	9

1-3.	回答者の居住年数	10
1-4.	回答者の職業	11
1-5.	回答者の勤務地	12
1-6.	回答者の家族構成	13
1-7.	回答者の同居家族（子ども・65歳以上）	14
1-8.	回答者の住居形態	15
1-9.	回答者の居住地域	16
2	調査結果の分析	17
2-1.	現在の暮らしの満足度	17
(1)	現在の暮らしの満足度の属性別クロス集計	18
①	年齢階層別現在の暮らしの満足度	18
②	居住地区別現在の暮らしの満足度	19
③	居住地域別現在の暮らしの満足度	20
(2)	現在の暮らしの満足度の経年比較	22
2-2.	今後の居留意向	23
(1)	今後の居留意向の属性別クロス集計	24
①	年齢階層別今後の居留意向	24
②	居住地区別今後の居留意向	25
③	居住年数別今後の居留意向	26
(2)	暮らしの満足度と今後の居留意向のクロス集計	27
2-3.	住み続けたいと思う理由	28
(1)	住み続けたいと思う理由の属性別クロス集計	29
①	年齢階層別住み続けたいと思う理由	29
②	居住地区別住み続けたいと思う理由	32
2-4.	転居したいと思う理由	34
(1)	転居したいと思う理由の属性別クロス集計	35
①	年齢階層別転居したいと思う理由	35
②	居住地区別転居したいと思う理由	38
(2)	住み続けたい理由と転居したい理由の比較	40
2-5.	希望する転居先	42
(1)	希望する転居先の属性別クロス集計	43
①	年齢階層別希望する転居先	43
②	居住地区別希望する転居先	44
③	勤務地別希望する転居先	45
2-6.	生活したい場所	46

(1)	生活したい場所の属性別クロス集計	47
①	年齢階層別生活したい場所	47
②	居住地区別生活したい場所	49
2-7.	地域への愛着	50
(1)	地域への愛着の属性別クロス集計	51
①	年齢階層別地域への愛着	51
②	居住地区別地域への愛着	55
③	居住年数別地域への愛着	57
(2)	地域への愛着の定住意向別クロス集計	59
2-8.	相模原市の良さ	61
(1)	特徴的な項目に関する居住地域別クロス集計（6項目）	62
①	居住地域別相模原市の良さ「自然が豊か」	62
②	居住地域別相模原市の良さ「居住環境が良い」	64
③	居住地域別相模原市の良さ「買い物がしやすく便利」	66
④	居住地域別相模原市の良さ「娯楽・レジャー施設が充実している」	68
⑤	居住地域別相模原市の良さ「文化的・芸術的」	70
⑥	居住地域別相模原市の良さ「防犯・交通安全対策が充実している」	72
(2)	相模原市の良さの各項目に関する属性別クロス集計	74
①	年齢階層別相模原市の良さ「自然が豊か」	74
②	居住地区別相模原市の良さ「自然が豊か」	76
①	年齢階層別相模原市の良さ「人と人とのつながりが強い」	77
②	居住地区別相模原市の良さ「人と人とのつながりが強い」	79
①	年齢階層別相模原市の良さ「子育て環境が充実している」	80
②	居住地区別相模原市の良さ「子育て環境が充実している」	82
①	年齢階層別相模原市の良さ「教育環境が充実している」	83
②	居住地区別相模原市の良さ「教育環境が充実している」	85
①	年齢階層別相模原市の良さ「スポーツが盛ん」	86
②	居住地区別相模原市の良さ「スポーツが盛ん」	88
①	年齢階層別相模原市の良さ「文化的・芸術的」	89
②	居住地区別相模原市の良さ「文化的・芸術的」	91
①	年齢階層別相模原市の良さ「交通の便が良い」	92
②	居住地区別相模原市の良さ「交通の便が良い」	94
①	年齢階層別相模原市の良さ「働く場所が多い」	95
②	居住地区別相模原市の良さ「働く場所が多い」	97
①	年齢階層別相模原市の良さ「居住環境が良い」	98
②	居住地区別相模原市の良さ「居住環境が良い」	100

①	年齢階層別相模原市の良さ「防災対策が充実している」	101
②	居住地区別相模原市の良さ「防災対策が充実している」	103
①	年齢階層別相模原市の良さ「防犯・交通安全対策が充実している」	104
②	居住地区別相模原市の良さ「防犯・交通安全対策が充実している」	106
①	年齢階層別相模原市の良さ「買い物がしやすく便利」	107
②	居住地区別相模原市の良さ「買い物がしやすく便利」	109
①	年齢階層別相模原市の良さ「福祉や医療サービスが充実している」	110
②	居住地区別相模原市の良さ「福祉や医療サービスが充実している」	112
①	年齢階層別相模原市の良さ「公共施設が充実している」	113
②	居住地区別相模原市の良さ「公共施設が充実している」	115
①	年齢階層別相模原市の良さ「娯楽、レジャー施設が充実している」	116
②	居住地区別相模原市の良さ「娯楽、レジャー施設が充実している」	118
(3)	相模原市の良さと定住意向別クロス集計	119
①	自然が豊か	119
②	人と人のつながりが強い	120
③	子育て環境が充実している	121
④	教育環境が充実している	122
⑤	スポーツが盛ん	123
⑥	文化的・芸術的	124
⑦	交通の便が良い	125
⑧	働く場所が多い	126
⑨	居住環境が良い	127
⑩	防災対策が充実している	128
⑪	防犯・交通安全対策が充実している	129
⑫	買い物がしやすく便利	130
⑬	福祉や医療サービスが充実している	131
⑭	公共施設が充実している	132
⑮	娯楽・レジャーが充実している	133
(4)	相模原市の良さの属性別比較分析	134
①	16～19 歳	134
②	20～29 歳	135
③	30～39 歳	136
④	40～49 歳	137
⑤	50～59 歳	138
⑥	60～64 歳	139
⑦	65～69 歳	140

⑧	70～74 歳	141
⑨	75 歳以上	142
⑩	緑区	143
⑪	中央区	144
⑫	南区	145
⑬	津久井地域	146
2-9.	目指すべき都市像	147
(1)	目指すべき都市像の経年比較 (参考)	148
(2)	目指すべき都市像の属性別クロス集計	149
①	年齢階層別目指すべき都市像	149
②	居住地区別目指すべき都市像	154
③	職業別目指すべき都市像	157
2-10.	今後特に力を入れてほしいこと	160
(1)	今後特に力を入れてほしいことの経年比較 (参考)	161
(2)	今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	162
①	年齢別今後特に力を入れてほしいこと	162
②	性別及び年齢階層別特に力を入れてほしいこと	174
③	居住地区別特に力を入れてほしいこと	184
(3)	今後特に力を入れてほしいことの暮らしの満足度別クロス集計	190
(4)	今後特に力を入れてほしいことのみ目指すべき都市像別クロス集計	197
2-11.	福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいと思うこと	200
(1)	福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	201
①	年齢階層別福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと	201
②	居住地域別福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと	204
③	職業別福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと	206
④	同居家族別福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと	209
2-12.	生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいと思うこと	211
(1)	生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	212
①	年齢階層別生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと	212
②	居住地域別生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと	215
2-13.	教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいと思うこと	217
(1)	教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	218
①	年齢階層別教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと	218
②	居住地区別教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと	221
③	職業別教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと	223
2-14.	環境において今後特に力を入れてほしいと思うこと	226

(1)	環境において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	227
①	年齢階層別環境において今後特に力を入れてほしいこと	227
②	居住地区別環境において今後特に力を入れてほしいこと	230
2-15.	水と緑において今後特に力を入れてほしいと思うこと	232
(1)	水と緑において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	233
①	年齢階層別水と緑において今後特に力を入れてほしいこと	233
②	居住地域別水と緑において今後特に力を入れてほしいこと	236
2-16.	産業・雇用において今後特に力を入れてほしいと思うこと	238
(1)	産業・雇用において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	239
①	年齢階層別産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと	239
②	居住地区別産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと	242
③	職業別産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと	244
2-17.	まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいと思うこと	247
(1)	まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	248
①	年齢階層別まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと	248
②	居住地区別まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと	251
2-18.	市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいと思うこと	253
(1)	市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	254
①	年齢階層別市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと	254
②	居住地区別市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと	257
2-19.	人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと	259
(1)	人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うことの属性別クロス集計	260
①	年齢階層別人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと	260
②	居住地区別人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと	263
2-20.	人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと	265
(1)	人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計	266
①	年齢階層別人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと	266
②	居住地区別人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと	269
(2)	人口減少や少子高齢化対策において特に課題だと思うこと別、人口減少や少子高齢化対策で特に力をいれてほしいことのクロス集計	271
(3)	今後特に力をいれてほしいこと別、人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと	275
2-21.	人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり	276
(1)	人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくりの属性別クロス集計	277
①	年齢階層別人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり	277
②	居住地区別人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり	278

(2)	人口減少や少子高齢化において行っていくべき都市づくり別、人口減少や少子高齢化について特に課題だと思ふことのクロス集計.....	279
3	相模原市の市政や次期総合計画の策定についての意見・要望.....	282
3-1.	高齢者福祉.....	283
3-2.	障害者福祉.....	283
3-3.	子育て支援.....	284
3-4.	子供の貧困対策.....	284
3-5.	青少年の健全育成.....	284
3-6.	少子高齢化に関する事.....	285
3-7.	医療.....	285
3-8.	健康.....	285
3-9.	学校教育.....	286
3-10.	生涯学習.....	286
3-11.	スポーツ.....	286
3-12.	文化.....	287
3-13.	大気・水質などの環境対策.....	287
3-14.	ごみ・公害対策.....	287
3-15.	水とみどりの保全.....	287
3-16.	獣害対策.....	288
3-17.	公園.....	288
3-18.	工業振興・産業支援.....	288
3-19.	都市農業・林業振興.....	288
3-20.	観光振興.....	289
3-21.	雇用・勤労者福祉.....	289
3-22.	商業振興.....	289
3-23.	市街地整備.....	290
3-24.	土地利用.....	290
3-25.	合併に関する事.....	291
3-26.	下水道.....	291
3-27.	都市景観.....	291
3-28.	公共交通（鉄道・バス）.....	292
3-29.	道路環境整備.....	292
3-30.	リニア高速新幹線に関する事.....	293
3-31.	交通安全.....	293
3-32.	バリアフリー.....	294

3-33.	住宅・住環境.....	294
3-34.	基地対策.....	294
3-35.	防犯・治安.....	295
3-36.	防災・消防.....	295
3-37.	国際交流・人権・平和.....	296
3-38.	行政改革の推進.....	296
3-39.	情報発信・市民相談.....	297
3-40.	市民・企業・行政などの協働.....	297
3-41.	市民活動.....	298
3-42.	公共施設.....	298
3-43.	税負担.....	299
3-44.	生活保護.....	299
3-45.	職員の資質に関すること.....	299
3-46.	アンケート・総合計画に関すること.....	299
IV.	総括・まとめ.....	300
1	居住・定住意向に関する考察.....	300
2	地域への愛着・相模原市の良さ・目指すべき都市像に関する考察.....	311
3	今後力を入れることに関する考察.....	321
4	今後のまちづくりに関する考察.....	333
V.	資料編（調査票）.....	339

I. 実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、次期総合計画の策定に向けて、幅広く市民の意識や意向を把握し、計画策定の基礎資料として活用することを目的に相模原市民から無作為に抽出した 3,000 人を対象として実施した。

(2) 調査設計と回収状況

- ① 対象：相模原市内に居住する満 16 歳以上の市民。外国籍も含む。
- ② 抽出：無作為抽出
- ③ 調査方法：郵送配布、郵送回収法
- ④ 調査時期：平成 29 年 9 月 26 日～10 月 16 日
- ⑤ 調査内容：基本属性に加え、暮らしの満足度、定住意向、目指すべき都市像、力を入れてほしい施策等。詳細は、別途調査項目一覧及び調査票を参照。
- ⑥ 回収数・回収率：発送数 3,000 に対し、1,635 の回答を得た。回収率は 54.5%である。

また、以下にアンケートの年代別の送付数と回収数について示す。

年代	送付数	回収数	回収率(%)	構成率(%)
無回答	0	46	-	2.8
16～19	118	40	33.9	2.4
20～29	422	118	28.0	7.2
30～39	424	187	44.1	11.4
40～49	581	247	42.5	15.1
50～59	438	244	55.7	14.9
60～64	198	143	72.2	8.7
65～69	250	177	70.8	10.8
70～74	223	176	78.9	10.8
75～	346	257	74.3	15.7
合計	3,000	1,635	54.5	100.0

(3) この報告書の見方

① 留意事項

- ・ 図表中の n とは、各設問の回答者総数のことである。
- ・ 百分率は n を 100% として算出し、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示した。このため、百分率の合計が 100% にならない場合や合計に一致しない場合がある。
- ・ 質問文の中や後に回答数の指示が示されている。ここで、(2 つまで)、(3 つまで) などと記入されている場合は、回答が 2 つ以上ありうるという意味であり、従って比率の合計は 100% を越える場合がある。

② 標本誤差

- ・ 本報告書の数値には、以下のような標本誤差があることに留意する必要がある。標本誤差は以下の式によって算出される。

$$S.E. = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

このとき、S.E.=標本誤差 N=母集団 n=回収率 p=回答率

であり、この式は標本誤差を信頼度 95% で算出している。

例) 回答者総数 1,635 サンプルにおいて、ある質問の回答の比率が 50% であった場合、その標本誤差は以下の通り算出される。

$$S.E. = 2 \sqrt{\frac{720,780 - 1,635}{720,780 - 1} \times \frac{50(100 - 50)}{1,635}} = 2.5\%$$

これは、相模原市民全員に同様の質問をした際の回答の比率が、95% の確率で 47.5% から 52.5% の間に収まることを示している。

この計算式により、各質問の回答者数ごとの標本誤差の目安は下表の通り整理される。

回収数	回答率					
	50%	40% 又は 60%	30% 又は 70%	20% 又は 80%	10% 又は 90%	5% 又は 95%
1,635	2.5%	2.4%	2.3%	2.0%	1.5%	1.1%
1,500	2.6%	2.5%	2.4%	2.1%	1.5%	1.1%
1,000	3.2%	3.1%	2.9%	2.5%	1.9%	1.4%
500	4.5%	4.4%	4.1%	3.6%	2.7%	1.9%
250	6.3%	6.2%	5.8%	5.1%	3.8%	2.8%
100	10.0%	9.8%	9.2%	8.0%	6.0%	4.4%
50	14.1%	13.9%	13.0%	11.3%	8.5%	6.2%

③ 分析項目

- ・全ての設問に対して、単純集計を実施しグラフを掲載する。
- ・回答者の属性によるクロス集計の分析は、年齢階層別クロス集計及び、居住地区別（区+津久井地域別）クロス集計に加え、関係が見られる項目のみを対象に掲載する。また、設問同士のクロス集計の分析についても、属性別傾向に明確な特徴が見られる項目のみを対象に掲載する。
- ・現行総合計画策定時の市民アンケート調査（新しい総合計画策定のためのアンケート調査）との時系列分析は、設問と選択肢が同様に、関係が見られる項目のみを対象に掲載する。

(4) 調査項目一覧

- F 1 性別
- F 2 年齢
- F 3 相模原市の居住年数
- F 4 職業
- F 4 - 1 勤務地
- F 5 家族構成
- F 6 家族のうち、小中学生以下の子ども、65歳以上の方の有無
- F 7 住居属性
- F 8 居住地区（22地区）
- 問 1 生活の満足度
- 問 2 現在の居住地に対する定住意向
- 問 3 定住希望の理由
- 問 4 転居希望の理由
- 問 5 転居したい地域
- 問 6 生活したい地域像
- 問 7 地域に対する愛着度
- 問 8 相模原市の良さ
- 問 9 相模原市が目指すべき都市像（キャッチコピー）
- 問 10 今後特に力を入れてほしいこと
- 問 11 各分野について特に力を入れてほしいこと
 - ①福祉・保健・医療
 - ②生活の安全・安心
 - ③教育・文化・スポーツ
 - ④環境
 - ⑤水と緑
 - ⑥産業・雇用
 - ⑦まちづくり
 - ⑧市民参加・協働
- 問 12 人口減少・少子高齢化社会において課題だと感じること
- 問 13 人口減少・少子高齢化対策として特に力を入れてほしいこと
- 問 14 人口減少・少子高齢化社会において必要だと思う都市づくり
- その他 相模原市の市政や次期総合計画の策定についての意見・要望（自由記述欄）

II. 調査結果のまとめ

1-1. 現在の暮らしの満足度

- 現在の暮らしの満足度は、「どちらかといえば満足している」が 47.4%で最も多く、次いで「満足している」が 24.5%、「どちらかといえば満足していない」が 16.3%となっており、満足に感じている市民が約7割を越えている。

1-2. 今後の居住意向

- 今後の居住意向は、「今の地域にずっと住み続けたい」が 44.7%で最も多く、次いで「当分の間は住み続けたい」が 37.2%、「いずれは転居したい」が 13.0%となっており、定住意向を持つ方が約8割を越えている。

1-3. 住み続けたいと思う理由

- 住み続けたいと思う理由は、「自分の家がある」が 70.2%で最も多く、次いで「交通利便が良い」が 35.7%、「買い物に便利」が 33.1%となっている。

1-4. 転居したいと思う理由

- 転居したいと思う理由は、「交通利便が悪い」が 35.9%で最も多く、次いで「自分の家でない」が 21.8%、「その他」が 20.1%となっている。

1-5. 希望する転居先

- 希望する転居先は、「具体的にはわからない」が 32.5%で最も多く、次いで「その他」が 16.7%、「相模原市以外の神奈川県内市町村」が 13.7%となっている。

1-6. 生活したい場所

- 生活したい場所は、「まちの中心の周辺部」が 50.0%で最も高く、次いで「生活に便利なまちの中心部」が 25.0%、「郊外の住宅地」が 10.0%となっている。

1-7. 地域への愛着

- 相模原市に愛着を感じる、居住区に愛着を感じる、居住地域に愛着を感じる、それぞれ「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせる7割を越えており、特に、居住区へ愛着を感じている方が「そう思う」が 25.9%、「どちらかといえばそう思う」が 50.5%で最も高い。

1-8. 相模原市の良さ

- 相模原市の良さについては、「そう思う」「どちらかというと思う」を併せると、「自然が豊か」と思うが 83.4%で最も多く、次いで「居住環境が良い」と思うが 70.1%、「買い物しやすい便利」と思うが 69.0%となっている。一方で、「どちらかというと思う」「そう思わない」を併せると、「娯楽、レジャー施設が充実している」と思わ

ないが61.6%、「文化的・芸術的」と思わないが54.2%、「防犯・交通安全対策が充実している」と思わないが47.8%となっている。

1-9. 目標としたらよいと思う都市像

- 相模原市が目指すべき都市像は、「安全安心都市」が38.7%で最も多く、次いで、「福祉都市」が26.9%、「自然都市」が23.5%となっている。

1-10. 今後特に力を入れてほしいこと

- 市に対して、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「高齢者福祉」が44.2%で最も高く、次いで、「公共交通」が24.3%、「子育て支援」が22.9%となっている。

1-11. 福祉・保健・医療において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと

- 市に対して、福祉・保健・医療において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「医療体制・医療サービスの充実」が44.1%で最も高く、次いで、「介護予防・介護サービスの充実」が38.2%、「老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備」が35.5%となっており、高齢者福祉に関する項目が比較的高くなっている。

1-12. 生活の安全・安心において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと

- 市に対して、生活の安全・安心において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「自然災害に対する体制や防災対策の充実」が35.2%で最も高く、次いで、「防犯対策の推進」が30.2%、「消費者被害の防止や消費者教育など、消費生活の安定・充実」が28.6%となっている。

1-13. 教育・文化・スポーツにおいて市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと

- 市に対して、教育・文化・スポーツにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「幼児教育・義務教育の充実」が35.0%で最も高く、次いで、「子どもの貧困対策の充実」が31.9%、「公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実」が30.4%となっている。

1-14. 環境において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと

- 市に対して、環境において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策」が41.7%で最も高く、次いで、「太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進」が29.8%、「ごみの不法投棄の防止」が28.7%となっている。

1-15. 水と緑において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと

- 市に対して、水と緑において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「有害鳥獣・害虫・外来生物対策」が 35.2%で最も高く、次いで、「身近な自然とふれあえる環境づくり」が 34.6%、「緑地の保全と活用」が 30.8%となっている。

1-16. 産業・雇用において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと

- 市に対して、産業・雇用において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「雇用の促進」が 35.4%で最も高く、次いで、「商店街のにぎわいづくり」が 34.7%、「労働者の支援」が 23.9%となっている。

1-17. まちづくりにおいて市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと

- 市に対して、まちづくりにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「鉄道、バスなどの公共交通網の充実」が 41.1%で最も高く、次いで、「災害に強いまちづくり」が 32.2%、「道路、公園など都市基盤の整備」が 27.4%となっている。

1-18. 市民参加・協働において市に対して今後特に力を入れてほしいと思うこと

- 市に対して、市民参加・協働において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「行政窓口サービスの向上」が 46.7%で最も高く、次いで、「市民参加のまちづくりの推進」が 28.2%、「自治会活動などの地域コミュニティの促進」が 23.6%となっている。

1-19. 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと

- 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うことは、「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」が 36.8%で最も高く、次いで、「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」が 32.8%、「身近な商業施設や医療施設などが閉鎖し、生活利便性が低下する」が 26.4%となっている。

1-20. 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと

- 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいことは、「子育て施策の充実」が 41.7%で最も高く、次いで、「高齢者福祉施策の充実」が 34.3%、「雇用施策の充実」が 27.6%となっている。

1-21. 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり

- 人口減少や少子高齢化において行っていくべき都市づくりは、「便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める」が 67.5%で最も高く、次いで、「税負担が今よりも増加しても、公共施設や公共交通等を現状のまま維持」が 10.6%、「公共的なサービスを受けられなくても、郊外でゆったりと暮らせるエリアを創出」が 10.3%となっている。

III. 調査結果

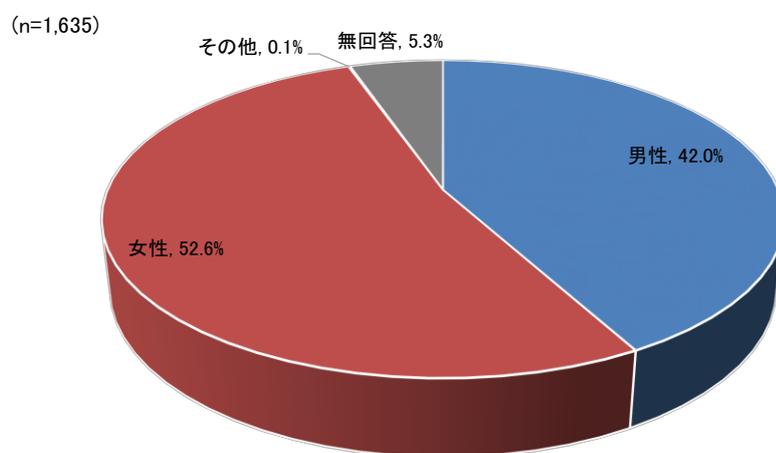
1 調査対象者の基本属性

1-1. 回答者の性別

F1 あなたの性別を次の中からお選びください。(○は1つだけ)

- 回答者の性別は「男性」が42.0%、「女性」が52.6%、「その他」が0.1%であった。

図表III-1 回答者の性別 (S A)

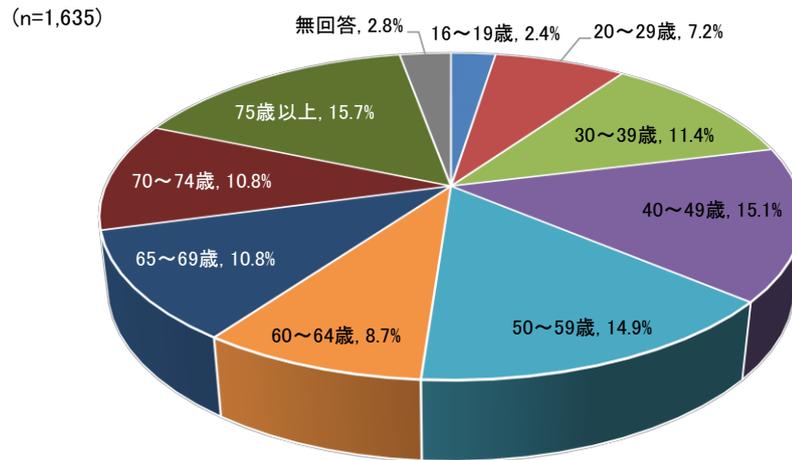


1-2. 回答者の年齢

F2 あなたの年齢を次の中からお選びください。(○は1つだけ)

- 回答者の年齢は「75歳以上」が15.7%と最も高く、次いで「40～49歳」が15.1%、「50～59歳」が14.9%となっている。

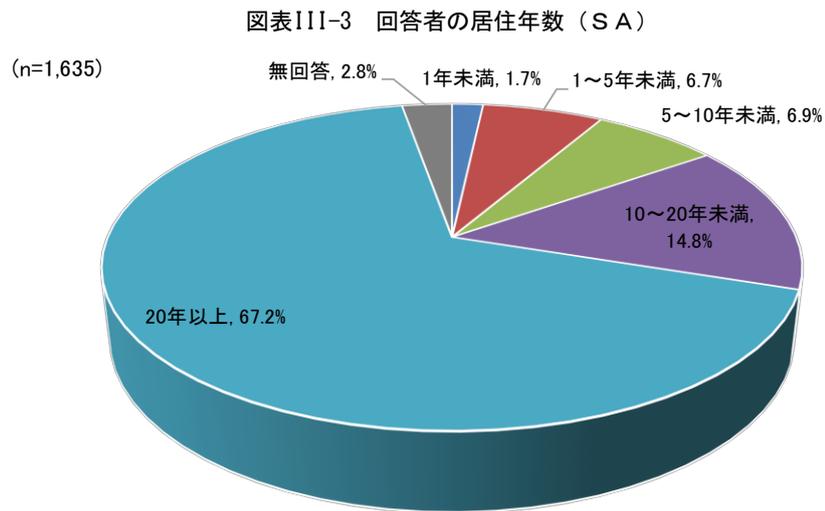
図表III-2 回答者の年齢 (SA)



1-3. 回答者の居住年数

F3 あなたは、相模原市に住んで何年になりますか。次の中からお選びください。(○は1つだけ)

- 回答者の居住年数は「20年以上」が67.2%と最も高く、次いで「10～20年未満」が14.8%、「5～10年未満」が6.9%となっている。

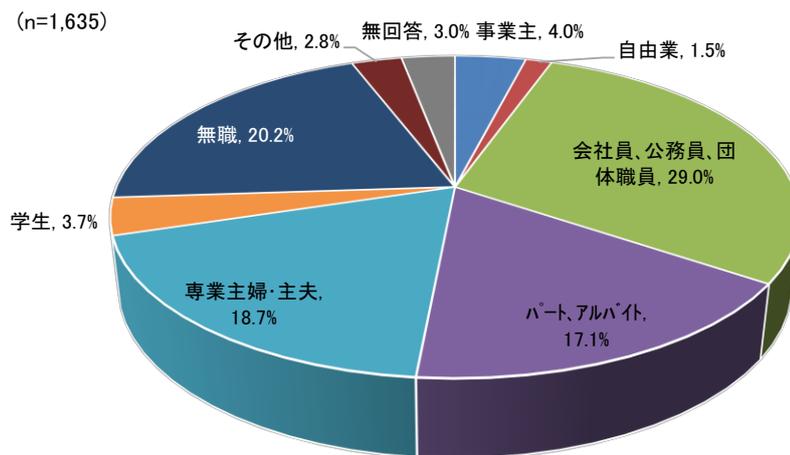


1-4. 回答者の職業

F4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。次の中からお選びください。(○は1つだけ)

- 回答者の職業は「会社員、公務員、団体職員」が29.0%と最も高く、次いで「無職」が20.2%、「専業主婦・主夫」が18.7%となっている。

図表III-4 回答者の職業 (SA)

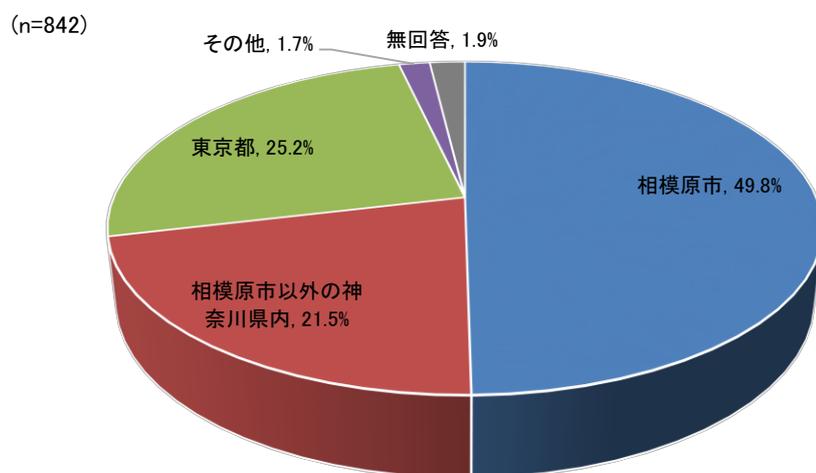


1-5. 回答者の勤務地

《 F 4 で「 1 事業主」「 2 自由業」「 3 会社員、公務員、団体職員」「 4 パート、アルバイト」とお答えの方に》
 F4-1 あなたの勤務地はどちらですか。次の中からお選びください。（○は 1 つだけ）
 （ 2 つ以上の勤務地をお持ちの方は主なものを 1 つだけお選びください。）

- 回答者の勤務地は「相模原市」が 49.8%と最も高く、次いで「東京都」が 25.2%、「相模原市以外の神奈川県内」が 21.5%となっている。

図表III-5 回答者の勤務地（SA）



図表III-6 回答者の勤務地（職業別、数値は%）（SA・SA）

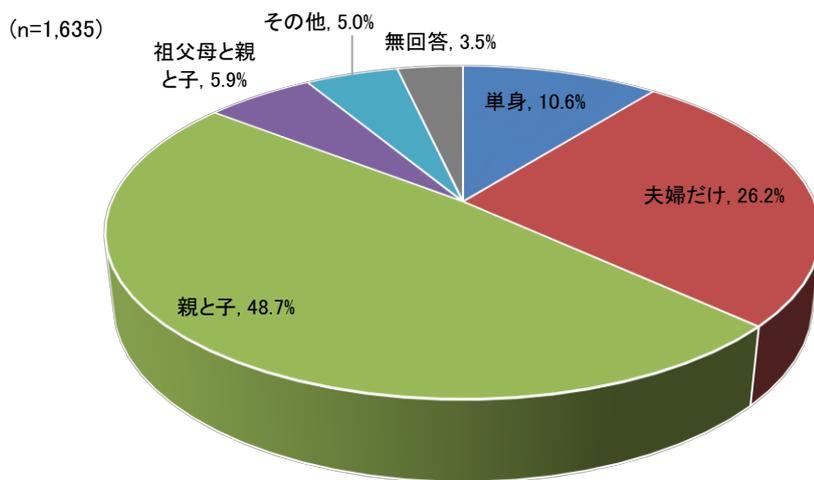
		F4-1 勤務地				
		相模原市	1以外の神奈川県内	東京都	その他	無回答
F4 職業	事業主(n=65)	70.8	6.2	16.9	0.0	6.2
	自由業(n=24)	41.7	12.5	25.0	16.7	4.2
	会社員、公務員、団体職員(n=474)	36.7	28.9	30.8	1.9	1.7
	パート、アルバイト(n=279)	67.7	13.3	17.6	0.4	1.1

1-6. 回答者の家族構成

F5 現在、あなたが同居している家族の構成は次のどれですか。次の中からお選びください。（あなたを含めてお答えください。）（○は1つだけ）

- 回答者の家族構成は「親と子」が48.7%と最も高く、次いで「夫婦だけ」が26.2%、「単身」が10.6%となっている。

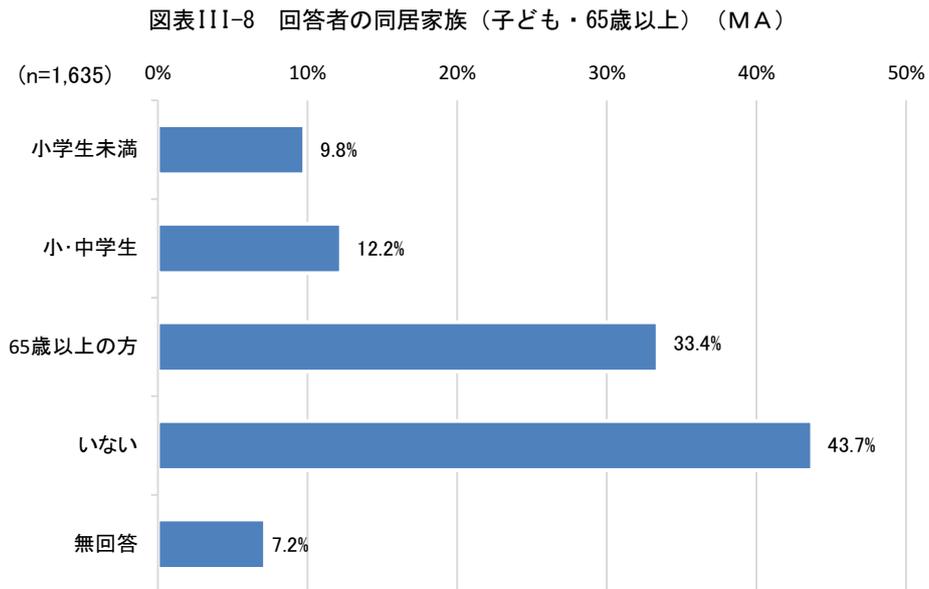
図表III-7 回答者の家族構成（SA）



1-7. 回答者の同居家族（子ども・65歳以上）

F6 現在、一緒に住んでいる方で、小中学生以下の子どもや 65 歳以上の方はいらっしゃいますか。次の中からいらっしゃる方すべてをお選びください。（あなたを除いてお答えください。）

- 回答者の子ども・65歳以上の同居家族は「いない」が43.7%と最も高く、次いで「65歳以上」が33.4%、「小・中学生」が12.2%となっている。

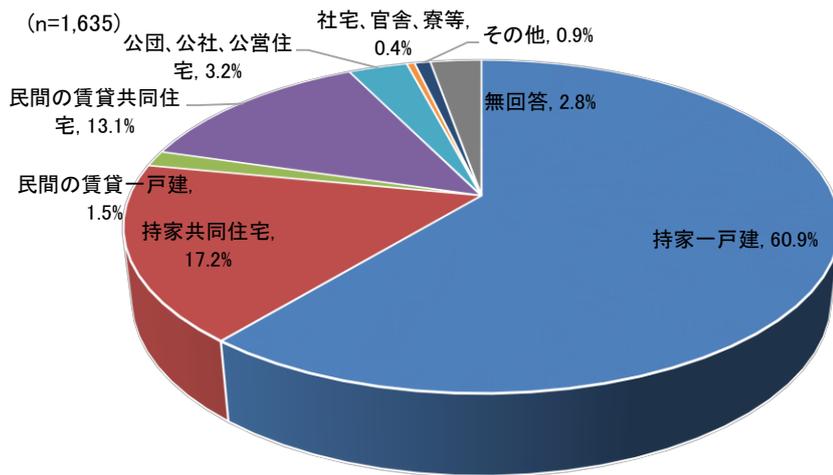


1-8. 回答者の住居形態

F7 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。次の中からお選びください。（○は1つだけ）

- 回答者の住居形態は「持家一戸建」が60.9%と最も高く、次いで「持家共同住宅」が17.2%、「民間賃貸共同住宅」が13.1%となっている。

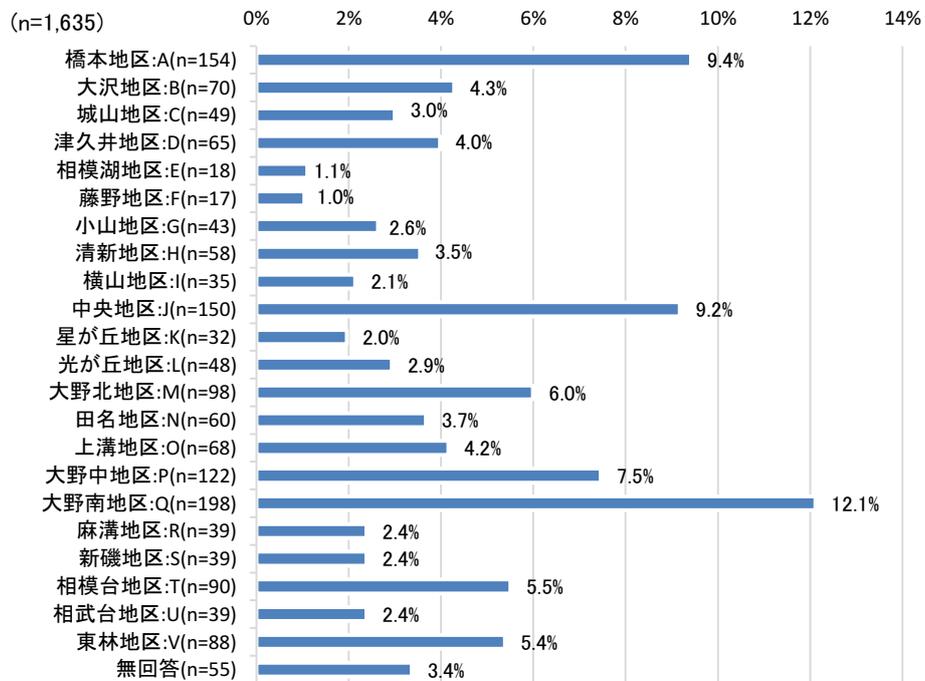
図表III-9 回答者の住居形態（SA）



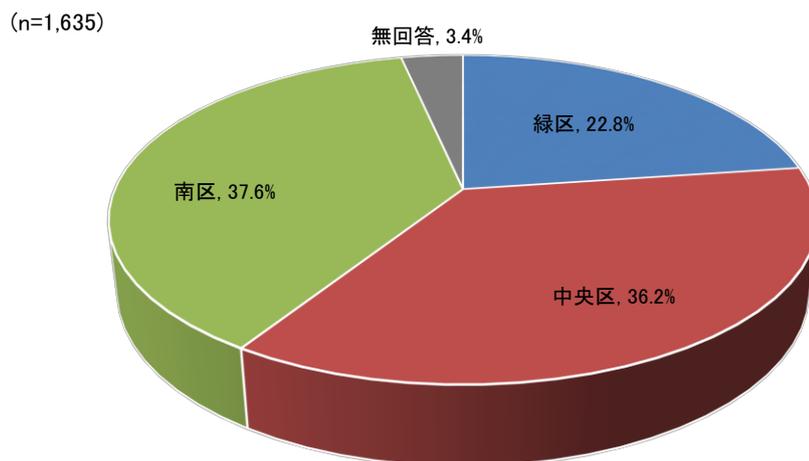
1-9. 回答者の居住地

F8 封筒のあて名の右に記載された記号は、あなたのお住まいの地域を表しています。その番号を次の中からお選びください。（○は1つだけ）

図表III-10 回答者の居住地（SA）



図表III-11 回答者の居住地区（SA）



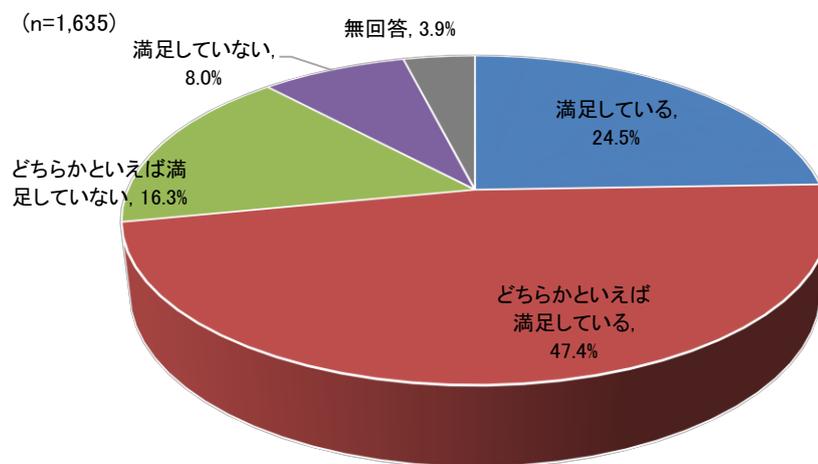
2 調査結果の分析

2-1. 現在の暮らしの満足度

問1 あなたは現在の暮らしに満足していますか。次の中から1つお選びください。(○は1つだけ)

- 現在の暮らしの満足度は、「どちらかといえば満足している」が47.4%で最も高く、次いで「満足している」が24.5%、「どちらかといえば満足していない」が16.3%となっており、満足に感じている市民が約7割を超えている。

図表III-12 現在の暮らしの満足度（SA）



(1) 現在の暮らしの満足度の属性別クロス集計

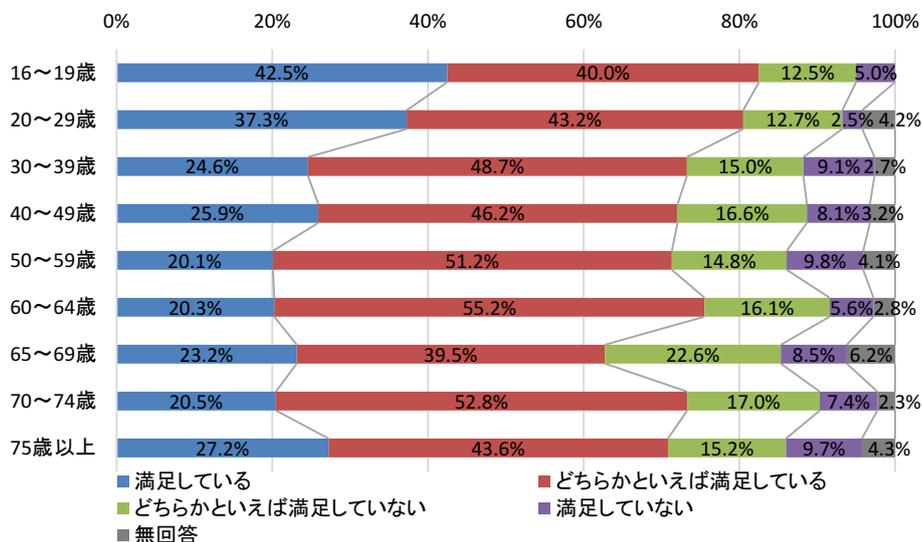
① 年齢階層別現在の暮らしの満足度

- 年齢階層別に現在の暮らしの満足度を見ると、60～64歳で「どちらかといえば満足している」が55.2%と最も高い。
- 16～19歳では「満足している」が最も高くなっている。
- 20～29歳から、75歳以上では「どちらかといえば満足している」が最も高くなっている。
- 若い年代ほど「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた値が高く、高齢になるほど満足度は下がっている。

図表III-13 現在の暮らしの満足度（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

F2 年齢	Q1 暮らしの満足度	Q1 暮らしの満足度				
		満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらかといえ ば満足していな い	満足していない	無回答
16～19歳 (n=40)		42.5	40.0	12.5	5.0	0.0
20～29歳 (n=118)		37.3	43.2	12.7	2.5	4.2
30～39歳 (n=187)		24.6	48.7	15.0	9.1	2.7
40～49歳 (n=247)		25.9	46.2	16.6	8.1	3.2
50～59歳 (n=244)		20.1	51.2	14.8	9.8	4.1
60～64歳 (n=143)		20.3	55.2	16.1	5.6	2.8
65～69歳 (n=177)		23.2	39.5	22.6	8.5	6.2
70～74歳 (n=176)		20.5	52.8	17.0	7.4	2.3
75歳以上 (n=257)		27.2	43.6	15.2	9.7	4.3

図表III-14 現在の暮らしの満足度（年齢階層別）（SA・SA）



② 居住地区別現在の暮らしの満足度

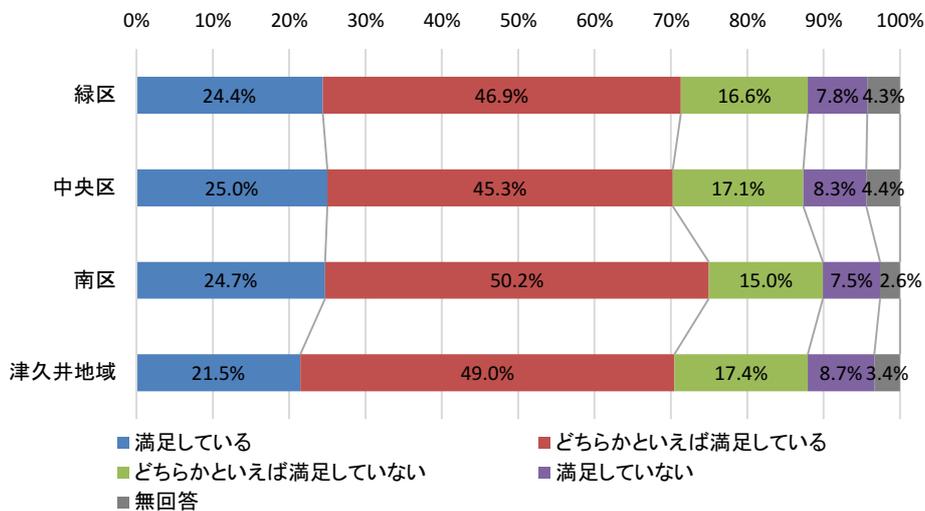
- 居住地区別に現在の暮らしの満足度を見ると、南区で「どちらかといえば満足している」が50.2%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域全てにおいて、「どちらかといえば満足している」が最も高くなっている。
- 「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた値は南区で74.9%と最も高くなっている。
- 「満足していない」「どちらかといえば満足していない」を合わせた値は津久井地域で26.1%と最も高くなっている。
- 居住区、地域において、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-15 現在の暮らしの満足度（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q1 暮らしの満足度				
		満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらかといえ ば満足していな い	満足していない	無回答
F8 居住 地域	緑区 (n=373)	24.4	46.9	16.6	7.8	4.3
	中央区 (n=592)	25.0	45.3	17.1	8.3	4.4
	南区 (n=615)	24.7	50.2	15.0	7.5	2.6
	津久井地域 (n=149)	21.5	49.0	17.4	8.7	3.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-16 現在の暮らしの満足度（居住地区別）（SA・SA）



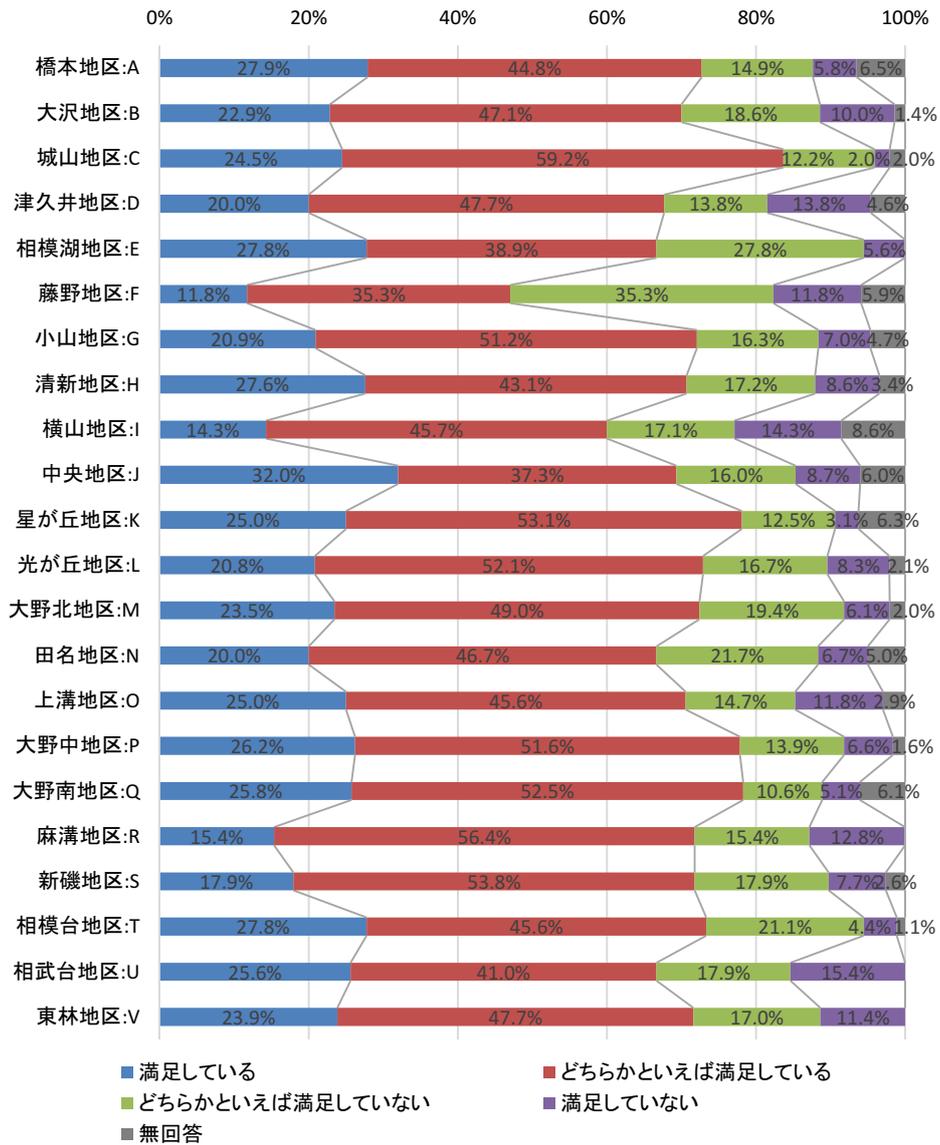
③ 居住地域別現在の暮らしの満足度

- 居住地域別に現在の暮らしの満足度を見ると、城山地区で「どちらかといえば満足している」が59.2%と最も高くなっている。
- 22 地区全てにおいて、「どちらかといえば満足している」が最も高くなっており、藤野地区のみ「どちらかといえば満足している」「どちらかといえば満足していない」の両方が最も高くなっている。
- また、中央地区では「満足している」が他区よりも突出して高くなっている。

図表III-17 現在の暮らしの満足度（居住地域別、数値は%）（SA・SA）

	Q1 暮らしの満足度					
		満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらかといえ ば満足していな い	満足していない	無回答
F8 居住 地域	橋本地区:A (n=154)	27.9	44.8	14.9	5.8	6.5
	大沢地区:B (n=70)	22.9	47.1	18.6	10.0	1.4
	城山地区:C (n=49)	24.5	59.2	12.2	2.0	2.0
	津久井地区:D (n=65)	20.0	47.7	13.8	13.8	4.6
	相模湖地区:E (n=18)	27.8	38.9	27.8	5.6	0.0
	藤野地区:F (n=17)	11.8	35.3	35.3	11.8	5.9
	小山地区:G (n=43)	20.9	51.2	16.3	7.0	4.7
	清新地区:H (n=58)	27.6	43.1	17.2	8.6	3.4
	横山地区:I (n=35)	14.3	45.7	17.1	14.3	8.6
	中央地区:J (n=150)	32.0	37.3	16.0	8.7	6.0
	星が丘地区:K (n=32)	25.0	53.1	12.5	3.1	6.3
	光が丘地区:L (n=48)	20.8	52.1	16.7	8.3	2.1
	大野北地区:M (n=98)	23.5	49.0	19.4	6.1	2.0
	田名地区:N (n=60)	20.0	46.7	21.7	6.7	5.0
	上溝地区:O (n=68)	25.0	45.6	14.7	11.8	2.9
	大野中地区:P (n=122)	26.2	51.6	13.9	6.6	1.6
	大野南地区:Q (n=198)	25.8	52.5	10.6	5.1	6.1
	麻溝地区:R (n=39)	15.4	56.4	15.4	12.8	0.0
	新磯地区:S (n=39)	17.9	53.8	17.9	7.7	2.6
	相模台地区:T (n=90)	27.8	45.6	21.1	4.4	1.1
	相武台地区:U (n=39)	25.6	41.0	17.9	15.4	0.0
	東林地区:V (n=88)	23.9	47.7	17.0	11.4	0.0

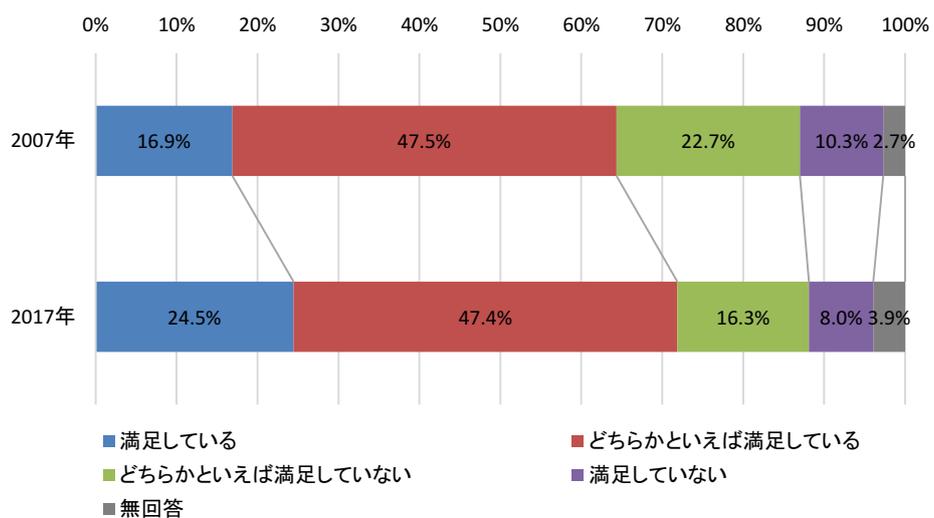
図表III-18 現在の暮らしの満足度（居住地域別）（SA・SA）



(2) 現在の暮らしの満足度の経年比較

- 前総合計画策定時のアンケート調査と比較すると、「満足している」が増加し、「どちらかといえば満足している」がほぼ横ばい、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」が減少しており、2007年の「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計が64.4%、2017年の「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計が71.9%となっており、満足度は上昇している傾向にある。

図表III-19 現在の暮らしの満足度の経年比較（SA）

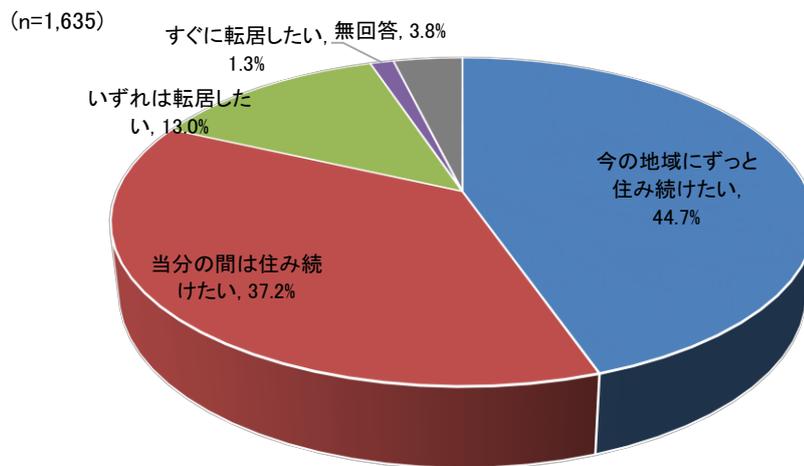


2-2. 今後の居住意向

問2 あなたは、現在お住まいの地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つお選びください。（○は1つだけ） *地域とは、……F8でお答えいただいた地域

- 今後の居住意向は、「今の地域にずっと住み続けたい」が44.7%で最も高く、次いで「当分の間は住み続けたい」が37.2%、「いずれは転居したい」が13.0%となっており、定住意向を持つ方が約8割を超えている。

図表III-20 今後の居住意向（SA）



(1) 今後の居住意向の属性別クロス集計

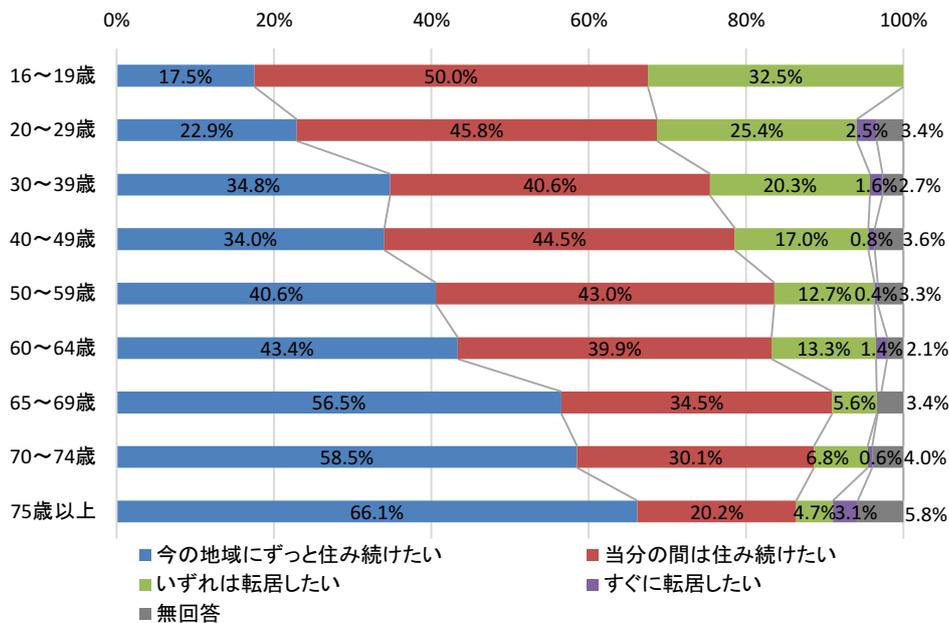
① 年齢階層別今後の居住意向

- 年齢階層別に今後の居住意向を見ると、75歳以上で「今の地域にずっと住み続けたい」が66.1%と最も高くなっている。
- 16～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳では、「当分の間は住み続けたい」が最も高くなっている。
- 60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上では、「今の地域にずっと住み続けたい」が最も高くなっている。
- 年齢階層が若いほど、「当分の間は住み続けたい」「いずれは転居したい」と考えている方が多く、年齢階層が高くなるにつれて「今の地域にずっと住み続けたい」と考えている方が多くなる傾向にあり、若いほど定住意向が低い傾向が見られる。

図表III-21 今後の居住意向（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q2 今後の居住意向				
		今の地域に ずっと住み続 けたい	当分の間は 住み続けた い	いずれは転 居したい	すぐに転居し たい	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	17.5	50.0	32.5	0.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	22.9	45.8	25.4	2.5	3.4
	30～39歳 (n=187)	34.8	40.6	20.3	1.6	2.7
	40～49歳 (n=247)	34.0	44.5	17.0	0.8	3.6
	50～59歳 (n=244)	40.6	43.0	12.7	0.4	3.3
	60～64歳 (n=143)	43.4	39.9	13.3	1.4	2.1
	65～69歳 (n=177)	56.5	34.5	5.6	0.0	3.4
	70～74歳 (n=176)	58.5	30.1	6.8	0.6	4.0
	75歳以上 (n=257)	66.1	20.2	4.7	3.1	5.8

図表III-22 今後の居住意向（年齢階層別）（SA・SA）



② 居住地区別今後の居住意向

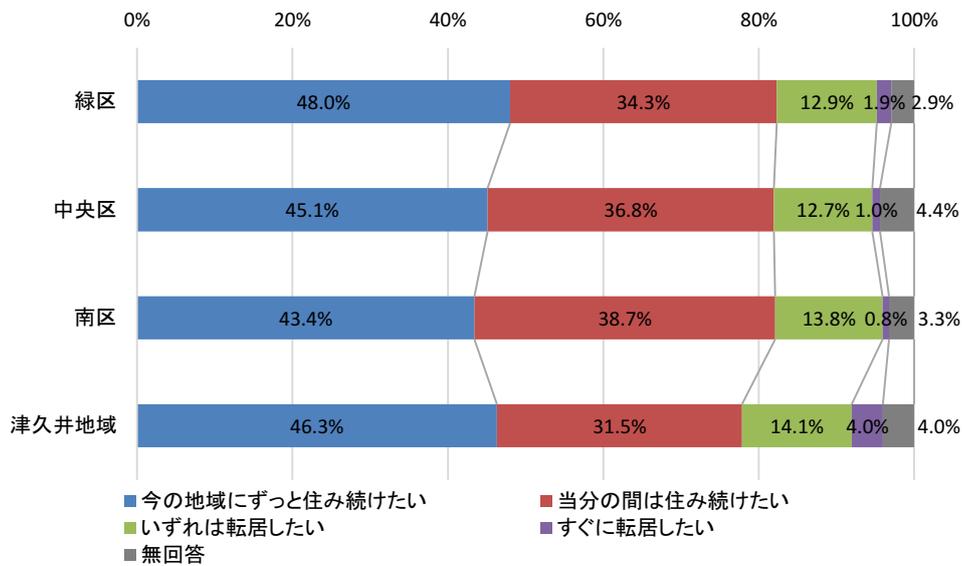
- 居住地区別に今後の居住意向を見ると、緑区で「今の地域にずっと住みたい」が48.0%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域全てにおいて「今の地域にずっと住みたい」が最も高くなっている。
- 居住区、地域における、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-23 今後の居住意向（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q2 今後の居住意向				
		今の地域にずっと住みたい	当分の間は住み続けたい	いずれは転居したい	すぐに転居したい	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	48.0	34.3	12.9	1.9	2.9
	中央区 (n=592)	45.1	36.8	12.7	1.0	4.4
	南区 (n=615)	43.4	38.7	13.8	0.8	3.3
	津久井地域 (n=149)	46.3	31.5	14.1	4.0	4.0

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-24 今後の居住意向（居住地区別）（SA・SA）



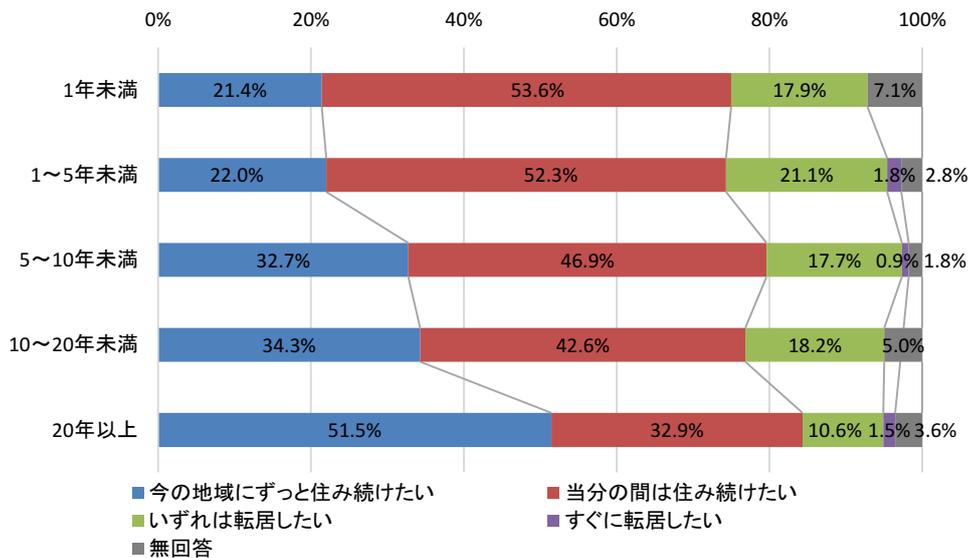
③ 居住年数別今後の居住意向

- 居住年数別に今後の居住意向を見ると、居住年数 1 年未満で「当分の間は住み続けたい」が 53.6%と最も高くなっている。
- 居住年数が 1 年未満、1～5 年未満、5～10 年未満、10～20 年未満では「当分の間は住み続けたい」が最も高くなっている。
- 居住年数 20 年以上では「今の地域にずっと住み続けたい」が最も高くなっている。
- 居住年数が長いほど、「今の地域にずっと住み続けたい」と考えている方が多い傾向が見られる。

図表III-25 今後の居住意向（居住年数別、数値は%）（SA・SA）

		Q2 今後の居住意向				
		今の地域に ずっと住み続 けたい	当分の間は 住み続けた い	いずれは転 居したい	すぐに転居し たい	無回答
F3 居住年数	1年未満 (n=28)	21.4	53.6	17.9	0.0	7.1
	1～5年未満 (n=109)	22.0	52.3	21.1	1.8	2.8
	5～10年未満 (n=113)	32.7	46.9	17.7	0.9	1.8
	10～20年未満 (n=242)	34.3	42.6	18.2	0.0	5.0
	20年以上 (n=1098)	51.5	32.9	10.6	1.5	3.6

図表III-26 今後の居住意向（居住年数別）（SA・SA）



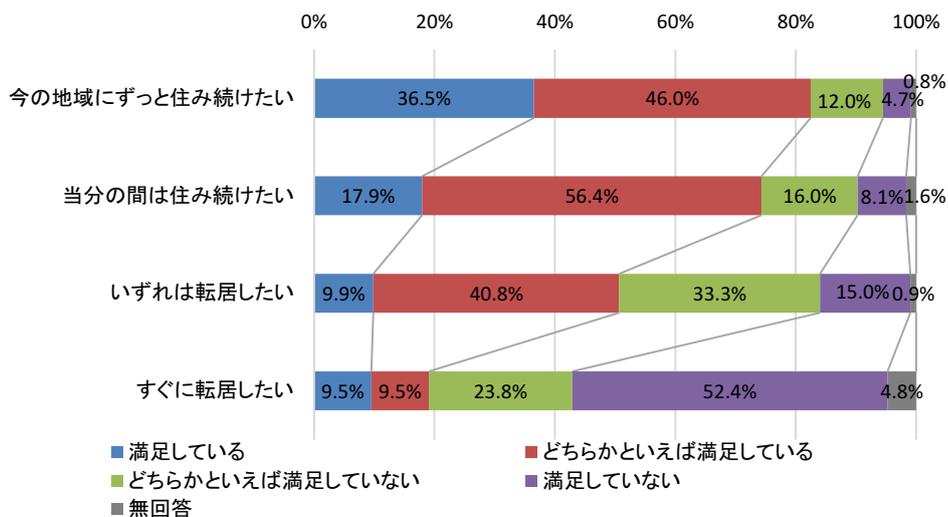
(2) 暮らしの満足度と今後の居留意向のクロス集計

- 今後の居留意向別に暮らしの満足度を見ると、当分の間は住み続けたい方で「どちらかといえば満足している」が56.4%と最も高くなっている。
- 「今の地域にずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」「いずれは転居したい」では、「どちらかといえば満足している」が最も高くなっているが、「すぐに転居したい」では、「満足していない」が最も高くなっている。
- 転居意向が高くなるほど、暮らしの満足度が低くなる傾向が見られ、すぐに転居したいという方で「満足していない」が52.4%となっている。

図表III-27 暮らしの満足度（居留意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q1 暮らしの満足度				
		満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらかといえ ば満足していな い	満足していない	無回答
Q2居留意 向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	36.5	46.0	12.0	4.7	0.8
	当分の間は住み続けたい (n=608)	17.9	56.4	16.0	8.1	1.6
	いずれは転居したい (n=213)	9.9	40.8	33.3	15.0	0.9
	すぐに転居したい (n=21)	9.5	9.5	23.8	52.4	4.8

図表III-28 暮らしの満足度（居留意向別）（SA・SA）



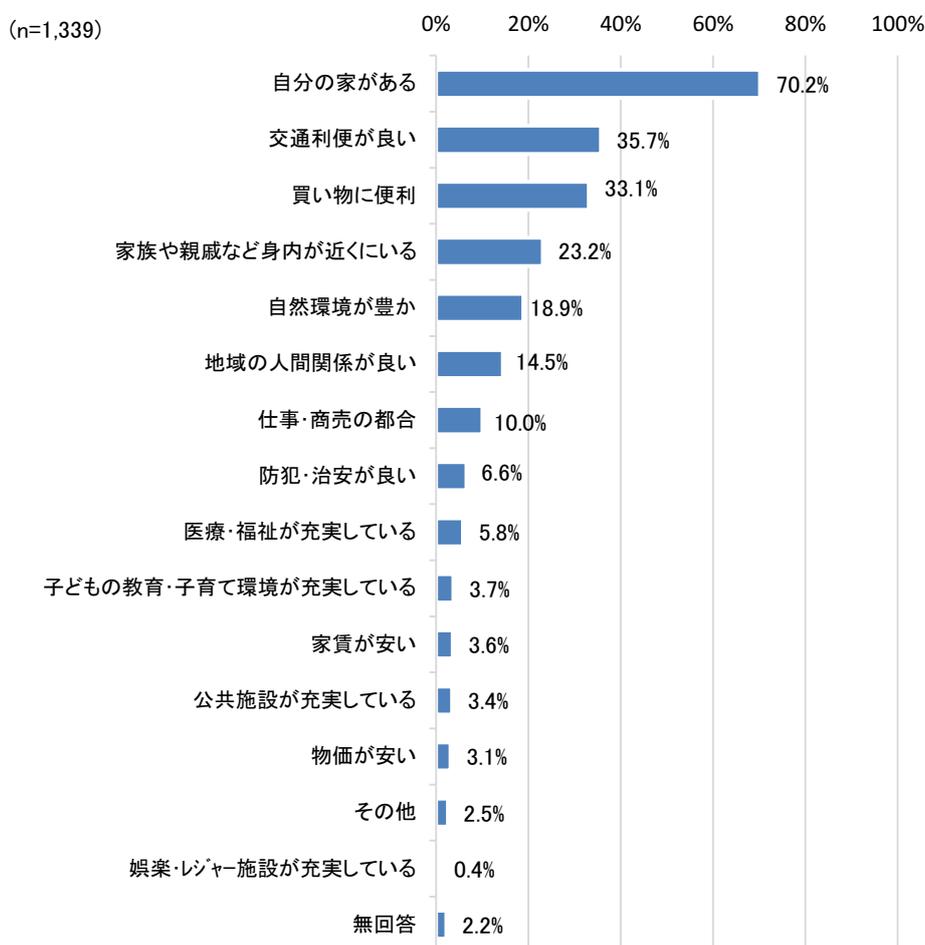
2-3. 住み続けたいと思う理由

問2で「1.2」と回答した方（住み続けたいとお答えの方）におうかがいたします。

問3 問2で「1 今の地域にずっと住み続けたい」あるいは「2 当分の間は住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。住み続けたいと思う理由は何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。（○は3つまで）

- 住み続けたいと思う理由は、「自分の家がある」が70.2%で最も高く、次いで「交通利便が良い」が35.7%、「買い物に便利」が33.1%となっている。

図表III-29 住み続けたいと思う理由（MA）



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・愛着がある
- ・代々住んでいるから
- ・友人が沢山いるため 等

(1) 住み続けたいと思う理由の属性別クロス集計

① 年齢階層別住み続けたいと思う理由

- 年齢階層別に住み続けたいと思う理由を見ると、70～74歳で「自分の家がある」が80.1%で最も高くなっている。
- 16～19歳では「家族や親戚など身内が近くにいる」が最も高くなっている。
- 20～29歳から75歳以上では、「自分の家がある」が最も高くなっている。また、年齢が高くなるほど、自分の家があることを理由としている割合が高い。
- 他に、75歳以上で「医療・福祉が充実している」や、30～39歳で「子どもの教育・子育て環境が充実している」が他の年代よりも顕著に高くなっている傾向が見られる。

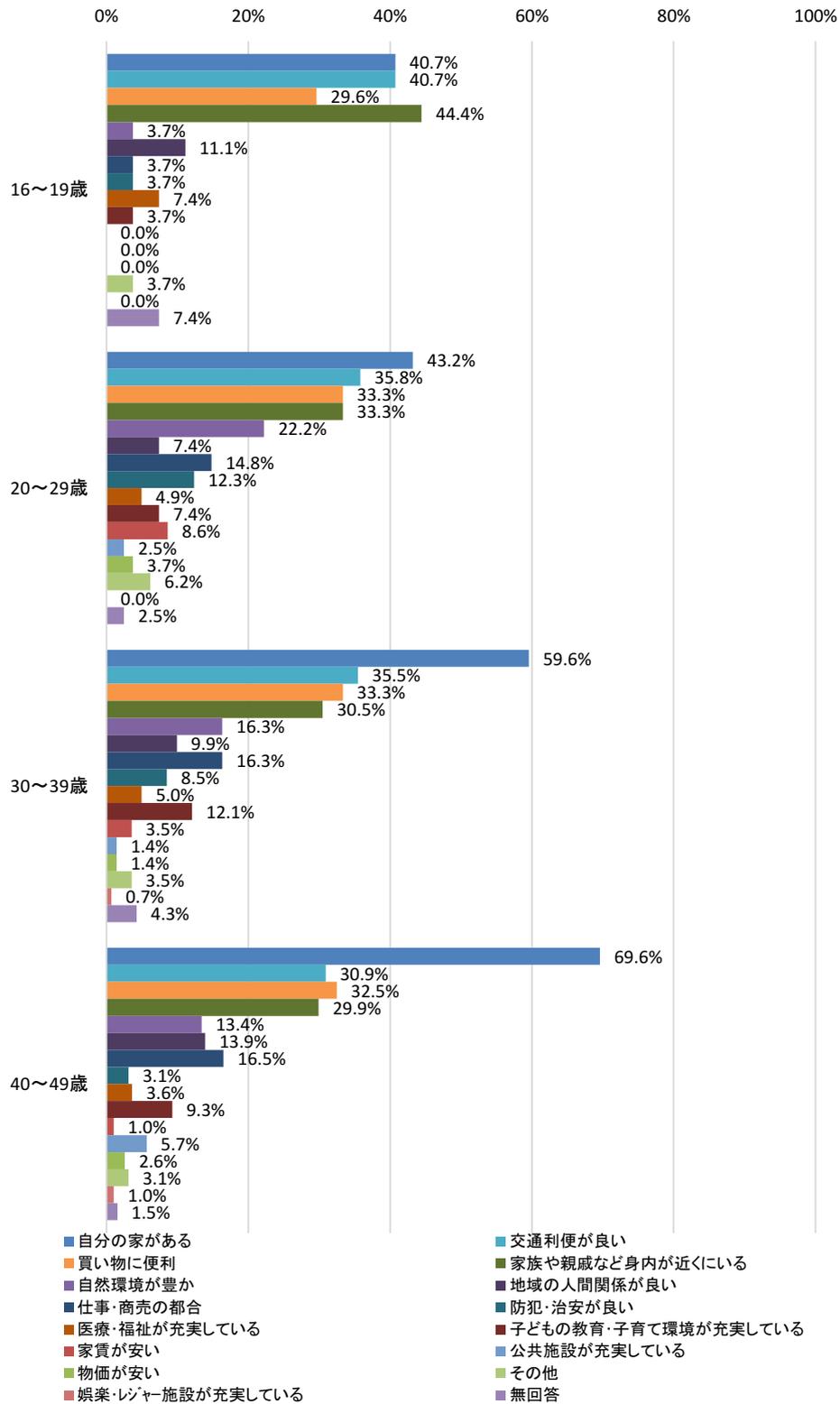
図表III-30 住み続けたいと思う理由（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

		Q3 住み続けたいと思う理由								
		自分の家がある	家賃が安い	物価が安い	自然環境が豊か	交通利便が良い	買い物に便利	仕事・商売の都合	子どもの教育・子育て環境が充実している	
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	40.7	0.0	0.0	3.7	40.7	29.6	3.7	3.7	
	20～29歳 (n=118)	43.2	8.6	3.7	22.2	35.8	33.3	14.8	7.4	
	30～39歳 (n=187)	59.6	3.5	1.4	16.3	35.5	33.3	16.3	12.1	
	40～49歳 (n=247)	69.6	1.0	2.6	13.4	30.9	32.5	16.5	9.3	
	50～59歳 (n=244)	70.1	3.4	3.4	16.7	41.2	44.1	14.2	1.0	
	60～64歳 (n=143)	76.5	1.7	1.7	18.5	46.2	36.1	12.6	1.7	
	65～69歳 (n=177)	74.5	2.5	3.7	19.9	36.0	31.1	8.1	0.0	
	70～74歳 (n=176)	80.1	4.5	1.9	28.2	33.3	21.2	0.0	0.6	
75歳以上 (n=257)	78.4	5.0	5.4	22.5	29.3	32.9	1.4	0.5		

		家族や親戚など身内が近くにいる	地域の人間関係が良い	防犯・治安が良い	医療・福祉が充実している	公共施設が充実している	娯楽・レジャー施設が充実している	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	44.4	11.1	3.7	7.4	0.0	0.0	3.7	7.4
	20～29歳 (n=118)	33.3	7.4	12.3	4.9	2.5	0.0	6.2	2.5
	30～39歳 (n=187)	30.5	9.9	8.5	5.0	1.4	0.7	3.5	4.3
	40～49歳 (n=247)	29.9	13.9	3.1	3.6	5.7	1.0	3.1	1.5
	50～59歳 (n=244)	16.7	12.7	4.9	2.5	2.9	1.0	3.9	1.0
	60～64歳 (n=143)	17.6	16.8	2.5	4.2	3.4	0.0	1.7	0.8
	65～69歳 (n=177)	20.5	16.1	8.7	6.8	5.6	0.0	0.6	1.9
	70～74歳 (n=176)	16.7	18.6	7.7	7.1	4.5	0.6	1.3	2.6
75歳以上 (n=257)	21.6	18.0	7.7	10.4	1.4	0.0	1.8	2.7	

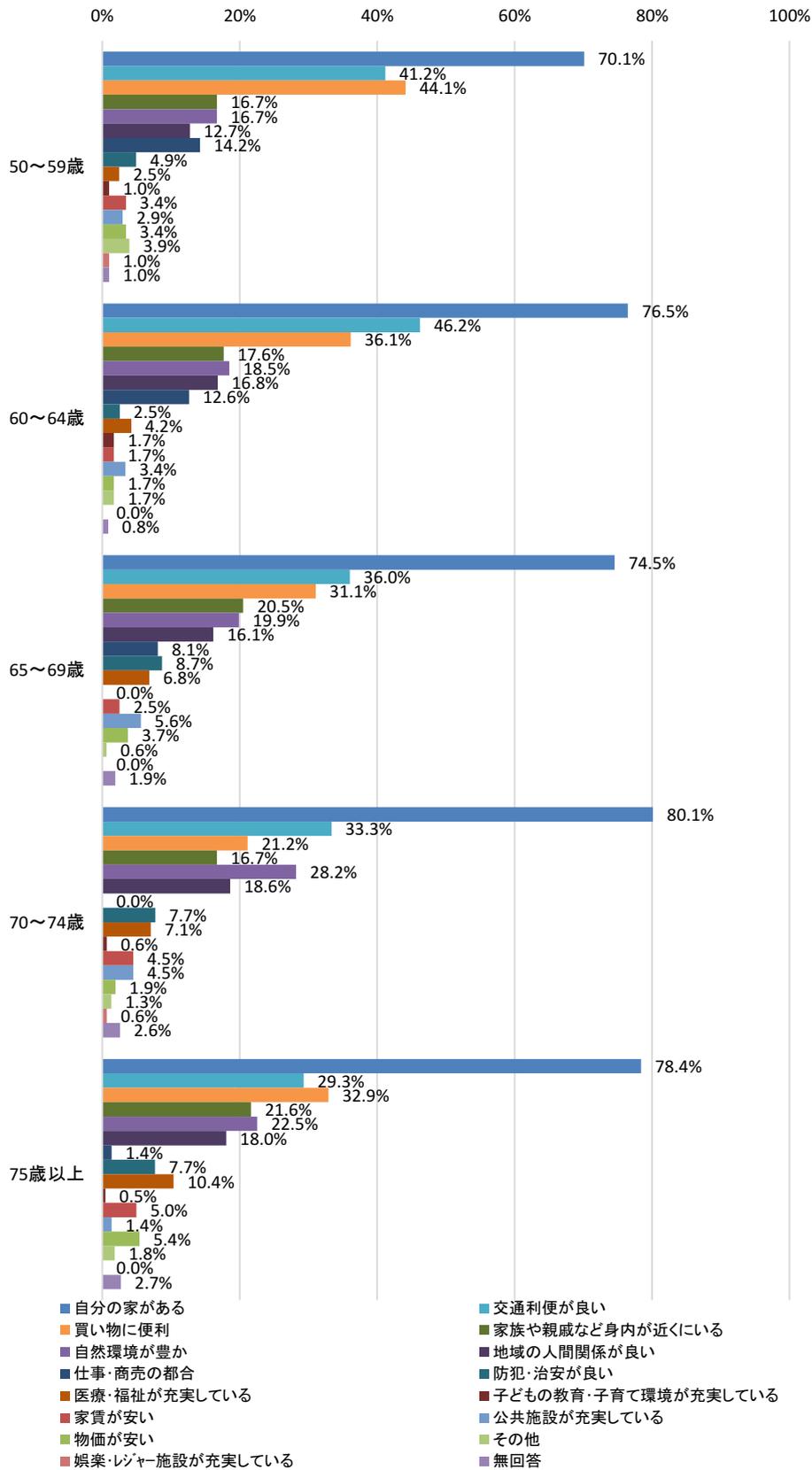
注) 項目は調査順に整列

図表III-31 住み続けたいと思う理由（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-32 住み続けたいと思う理由（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地区別住み続けたいと思う理由

- ・ 居住地区別に住み続けたいと思う理由を見ると、津久井地域で「自分の家がある」が82.8%で最も高くなっている。
- ・ 全ての区、地域において「自分の家がある」が最も高くなっている。
- ・ 緑区、南区では、「自分の家がある」の次に「交通利便が良い」と「買い物に便利」が高くなっている。
- ・ 中央区では、「自分の家がある」の次に「買い物に便利」と「交通利便が良い」が高くなっている。
- ・ 津久井地域では、「自分の家がある」の次に「自然環境が豊か」と「家族や親戚など身内が近くにいる」が高くなっており、特に、他地区に比べて「自然環境が豊か」と回答する割合が高くなっている。また、「交通利便が良い」「買い物に便利」などは他地域に比べて低くなっている。
- ・ 以上のように、「自分の家がある」を除けば、緑区、南区では交通利便性、中央区では買い物利便性、津久井地域では自然環境と、住み続けたい理由が異なっている。

図表III-33 住み続けたいと思う理由（居住地区別、数値は%）（MA・SA）

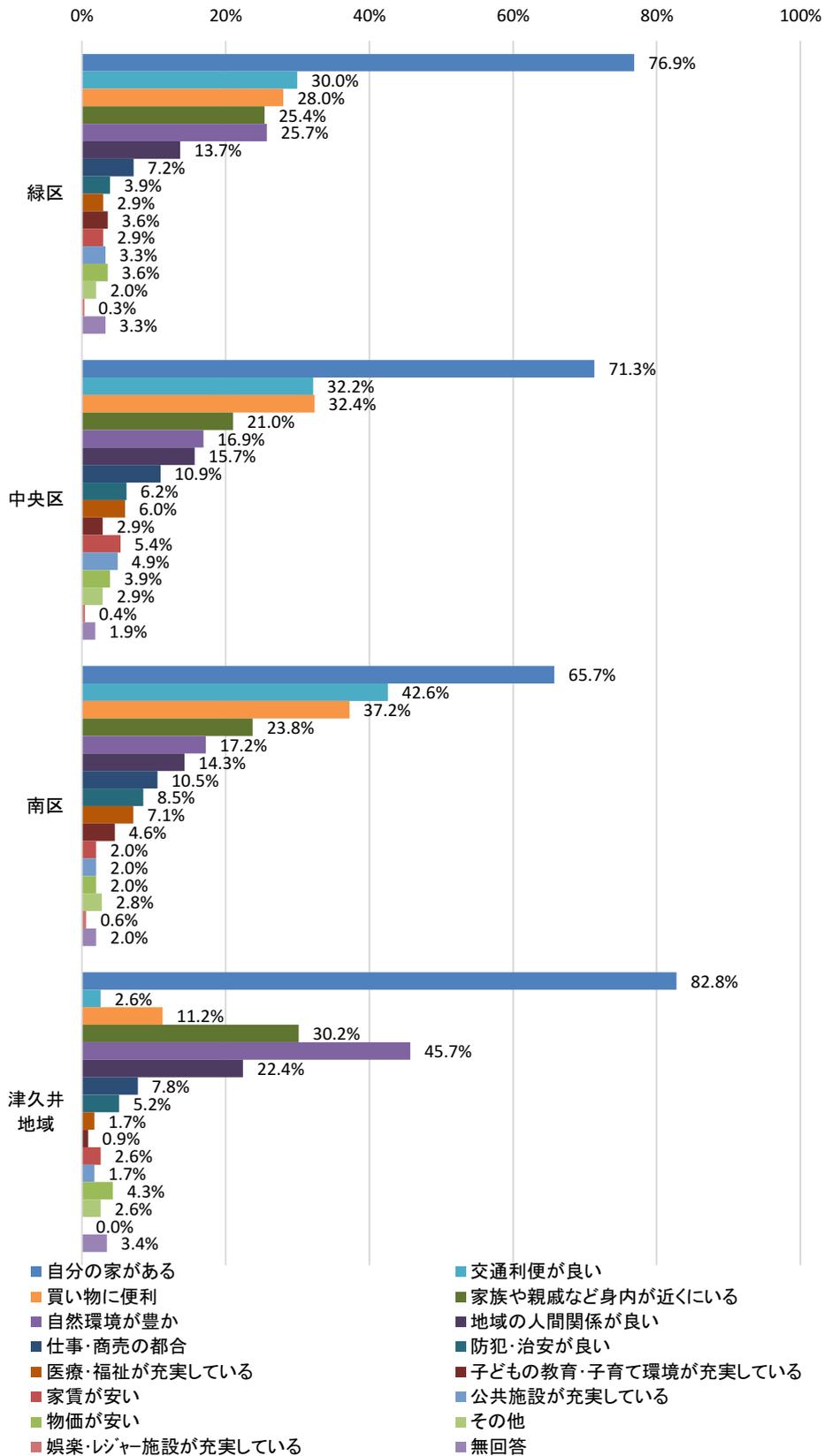
		Q3 住み続けたいと思う理由							
		自分の家がある	家賃が安い	物価が安い	自然環境が豊か	交通利便が良い	買い物に便利	仕事・商売の都合	子どもの教育・子育て環境が充実している
F8 居住地域	緑区 (n=373)	76.9	2.9	3.6	25.7	30.0	28.0	7.2	3.6
	中央区 (n=592)	71.3	5.4	3.9	16.9	32.2	32.4	10.9	2.9
	南区 (n=615)	65.7	2.0	2.0	17.2	42.6	37.2	10.5	4.6
	津久井地域 (n=149)	82.8	2.6	4.3	45.7	2.6	11.2	7.8	0.9

		家族や親戚など身内が近くにいる	地域の人間関係が良い	防犯・治安が良い	医療・福祉が充実している	公共施設が充実している	娯楽・レジャー施設が充実している	その他	無回答
		F8 居住地域	緑区 (n=373)	25.4	13.7	3.9	2.9	3.3	0.3
中央区 (n=592)	21.0		15.7	6.2	6.0	4.9	0.4	2.9	1.9
南区 (n=615)	23.8		14.3	8.5	7.1	2.0	0.6	2.8	2.0
津久井地域 (n=149)	30.2		22.4	5.2	1.7	1.7	0.0	2.6	3.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整理。

図表III-34 住み続けたいと思う理由（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

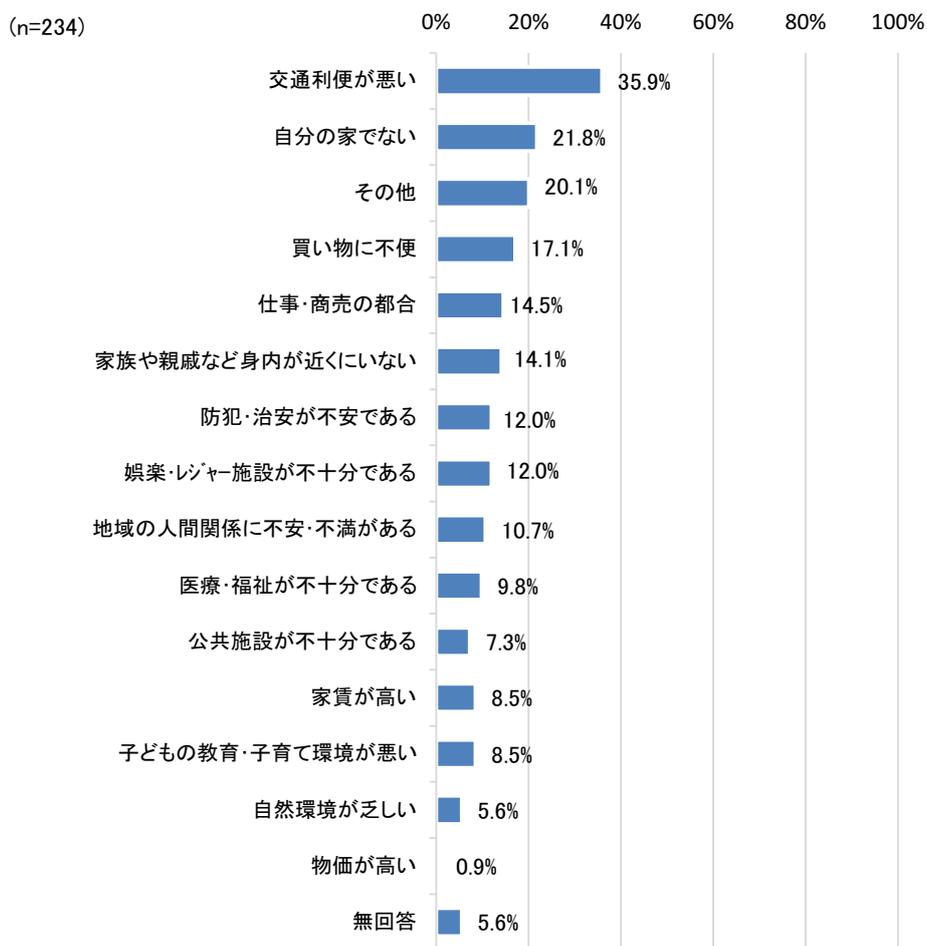
2-4. 転居したいと思う理由

問2で「3.4」と回答した方（転居したいとお答えの方）におうかがいたします。

問4 問2で「3 いずれは転居したい」あるいは「4 すぐに転居したい」とお答えの方にお聞きます。
転居したいと思う理由は何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。（○は3つまで）

- 転居したいと思う理由は、「交通便が悪い」が35.9%で最も高く、次いで「自分の家でない」が21.8%、「その他」が20.1%となっている。

図表III-35 転居したいと思う理由（MA）



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・他に住みたいところがある
- ・住環境が悪い
- ・就職先の都合
- ・補助や助成が不十分 等

(1) 転居したいと思う理由の属性別クロス集計

① 年齢階層別転居したいと思う理由

- ・ 年齢階層別に転居したいと思う理由を見ると、70～74歳で「交通利便が悪い」が53.8%で最も高くなっている。
- ・ 16～19歳では、「交通利便が悪い」「その他」が最も高くなっている。
- ・ 20～29歳では、「自分の家ではない」が最も高くなっている。
- ・ 30～39歳では、「自分の家ではない」「交通利便が悪い」が最も高くなっている。
- ・ 40～49歳では、「その他」が最も高くなっている。また、その他を除けば、「交通利便が悪い」が最も高くなっている。
- ・ 50～59歳、60～64歳では、「交通利便が悪い」が最も高くなっている。
- ・ 65～69歳では、「買い物に不便」「その他」が最も高くなっている。
- ・ 70～74歳、75歳以上では、「交通利便が悪い」が最も高くなっている。
- ・ 20代、30代は自分の家ではないための転居を理由としているが、50代以上では買い物利便性や交通利便性といった点における生活不便を理由としている傾向が見られる。また、10代では「娯楽、レジャーが不十分である」が他の年代に比較して顕著に高くなっている。

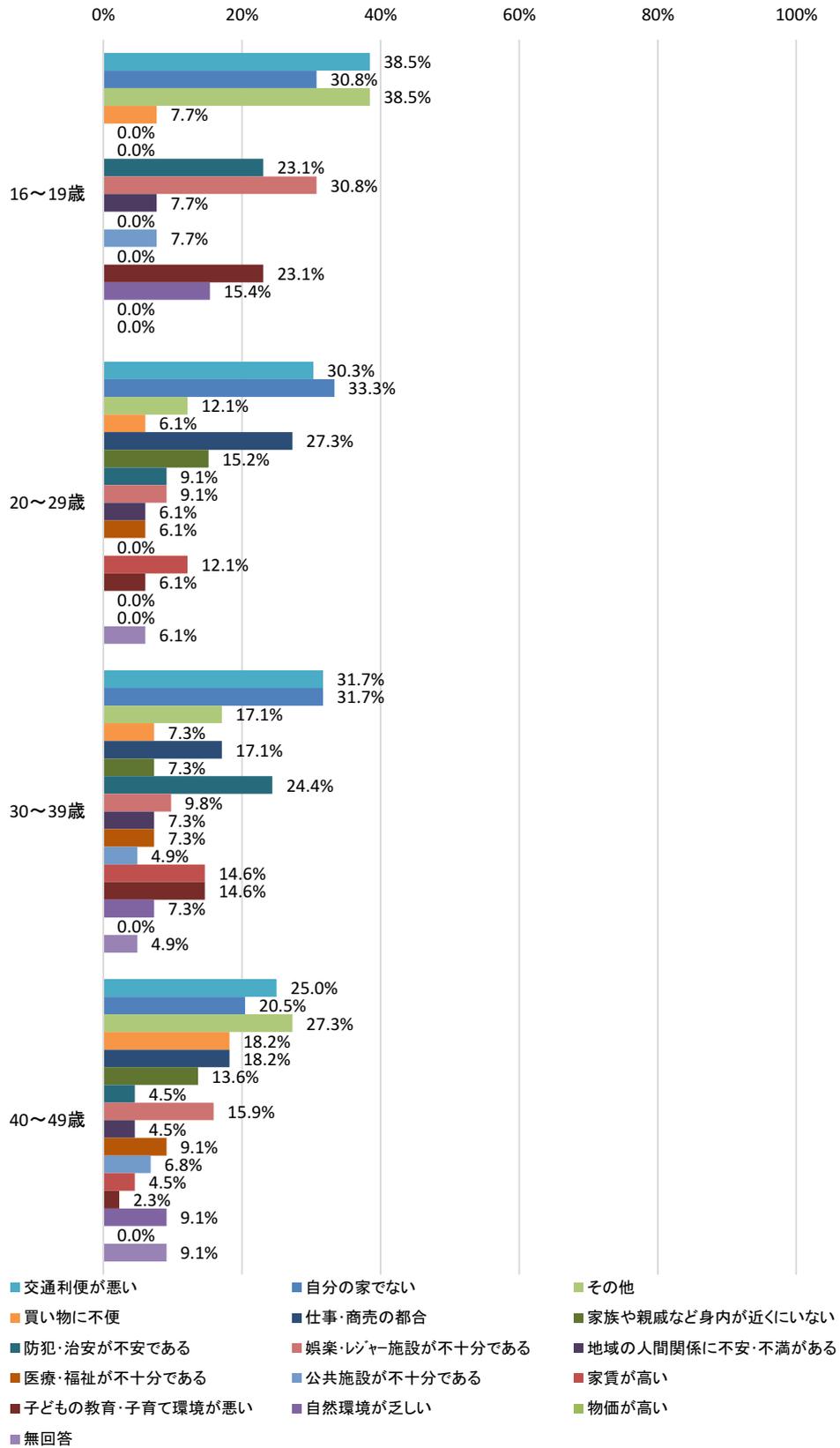
図表III-36 転居したいと思う理由（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

		Q4 転居したいと思う理由							
		自分の家でない	家賃が高い	物価が高い	自然環境が乏しい	交通利便が悪い	買い物に不便	仕事・商売の都合	子どもの教育・子育て環境が悪い
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	30.8	0.0	0.0	15.4	38.5	7.7	0.0	23.1
	20～29歳 (n=118)	33.3	12.1	0.0	0.0	30.3	6.1	27.3	6.1
	30～39歳 (n=187)	31.7	14.6	0.0	7.3	31.7	7.3	17.1	14.6
	40～49歳 (n=247)	20.5	4.5	0.0	9.1	25.0	18.2	18.2	2.3
	50～59歳 (n=244)	18.8	6.3	0.0	9.4	34.4	15.6	9.4	12.5
	60～64歳 (n=143)	0.0	9.5	0.0	0.0	52.4	33.3	14.3	0.0
	65～69歳 (n=177)	10.0	0.0	10.0	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0
	70～74歳 (n=176)	7.7	0.0	7.7	0.0	53.8	30.8	0.0	15.4
75歳以上 (n=257)	25.0	20.0	0.0	0.0	50.0	30.0	5.0	0.0	

		家族や親戚など身近にいない	地域の人間関係に不安・不満がある	防犯・治安が不安である	医療・福祉が不十分である	公共施設が不十分である	娯楽・レジャー施設が不十分である	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	0.0	7.7	23.1	0.0	7.7	30.8	38.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	15.2	6.1	9.1	6.1	0.0	9.1	12.1	6.1
	30～39歳 (n=187)	7.3	7.3	24.4	7.3	4.9	9.8	17.1	4.9
	40～49歳 (n=247)	13.6	4.5	4.5	9.1	6.8	15.9	27.3	9.1
	50～59歳 (n=244)	21.9	12.5	6.3	9.4	3.1	3.1	25.0	3.1
	60～64歳 (n=143)	14.3	23.8	23.8	23.8	14.3	14.3	14.3	4.8
	65～69歳 (n=177)	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	30.0	0.0
	70～74歳 (n=176)	7.7	15.4	15.4	0.0	7.7	7.7	23.1	7.7
75歳以上 (n=257)	20.0	20.0	0.0	25.0	20.0	10.0	10.0	5.0	

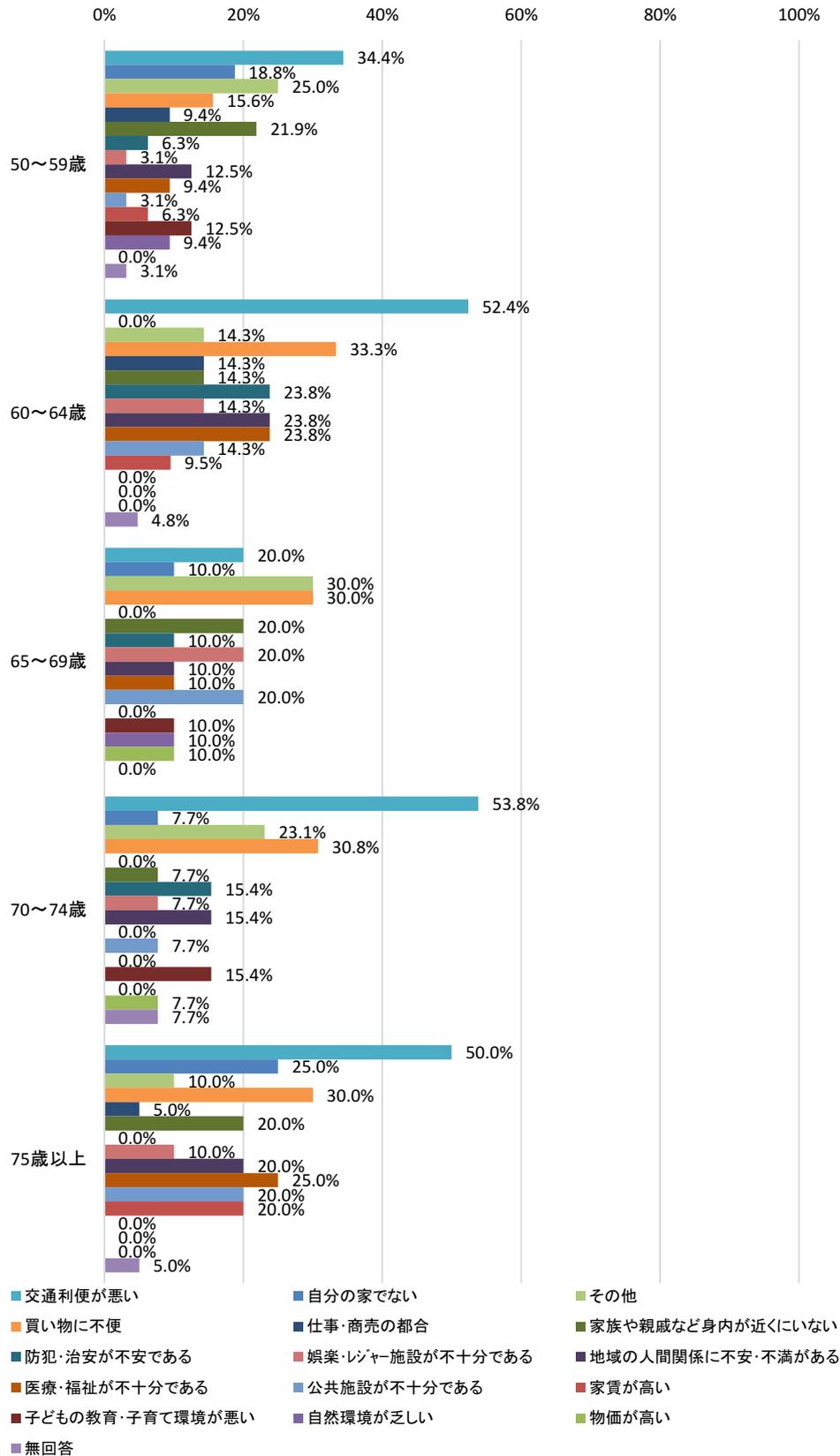
注) 項目は調査順に整列。

図表III-37 転居したいと思う理由（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-38 転居したいと思う理由（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地区別転居したいと思う理由

- ・ 居住地区別に転居したいと思う理由を見ると、津久井地域で「交通利便が悪い」が66.7%と最も高くなっている。
- ・ 緑区では、「交通利便が悪い」が60.0%で最も高く、次いで「買い物に不便」が32.7%となっている。
- ・ 中央区では、「交通利便が悪い」が33.3%で最も高く、次いで「自分の家ではない」が28.4%となっている。
- ・ 南区では、「その他」が30.0%で最も高く、次いで「交通利便が悪い」「仕事・商売の都合」が21.1%となっている。
- ・ 津久井地域では、「交通利便が悪い」が66.7%で最も高く、次いで「買い物に不便」が55.6%となっている。また、「買物が不便」は他の区と比較して顕著に高くなっている。

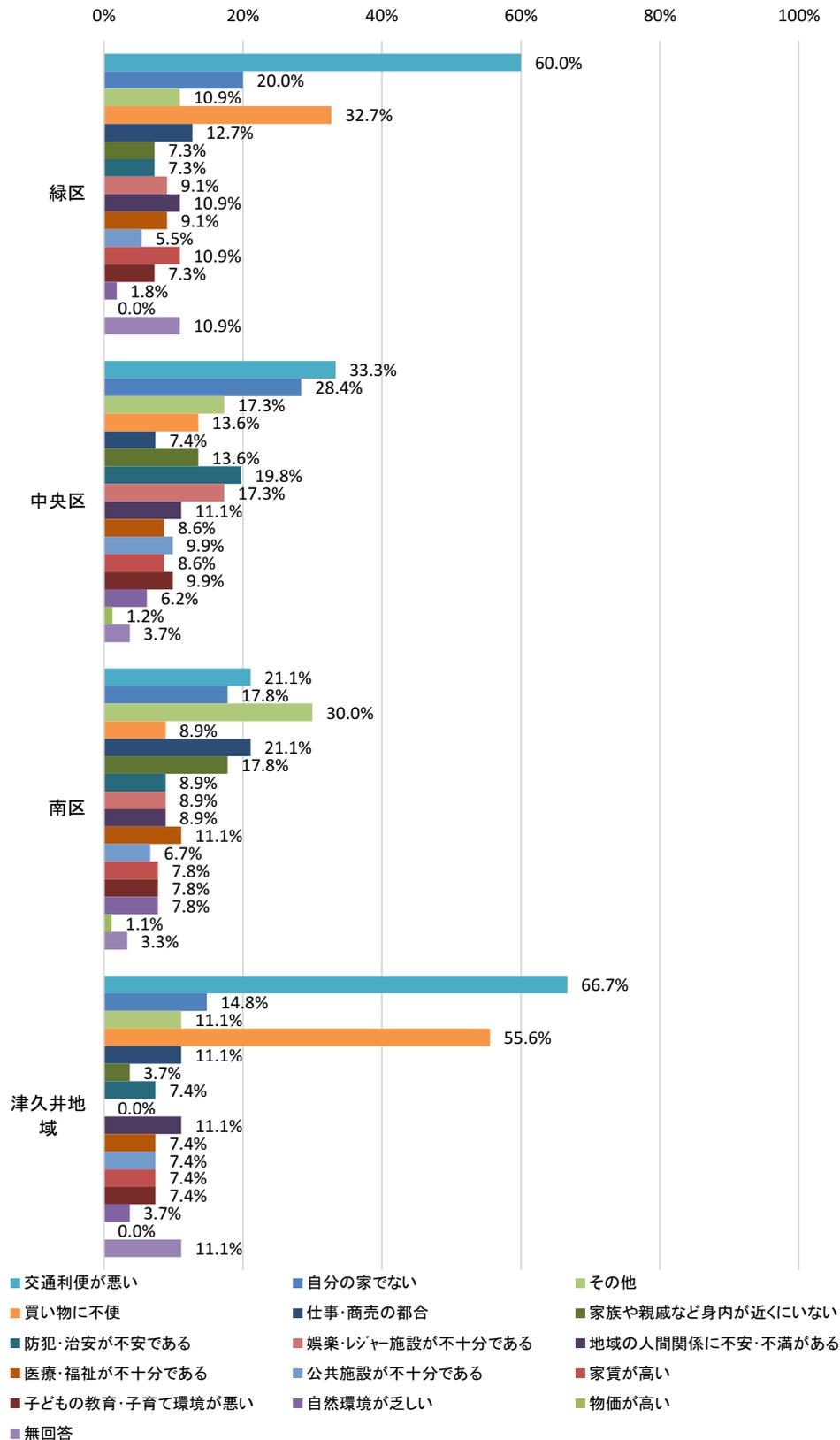
図表III-39 転居したいと思う理由（居住地区別、数値は%）（MA・SA）

		Q4 転居したいと思う理由							
		自分の家でない	家賃が高い	物価が高い	自然環境が乏しい	交通利便が悪い	買い物に不便	仕事・商売の都合	子どもの教育・子育て環境が悪い
F8 居住地域	緑区 (n=373)	20.0	10.9	0.0	1.8	60.0	32.7	12.7	7.3
	中央区 (n=592)	28.4	8.6	1.2	6.2	33.3	13.6	7.4	9.9
	南区 (n=615)	17.8	7.8	1.1	7.8	21.1	8.9	21.1	7.8
	津久井地域 (n=149)	14.8	7.4	0.0	3.7	66.7	55.6	11.1	7.4
		家族や親戚など身近にいない	地域の間関係に不安・不満がある	防犯・治安が不安である	医療・福祉が不十分である	公共施設が不十分である	娯楽・レジャー施設が不十分である	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	7.3	10.9	7.3	9.1	5.5	9.1	10.9	10.9
	中央区 (n=592)	13.6	11.1	19.8	8.6	9.9	17.3	17.3	3.7
	南区 (n=615)	17.8	8.9	8.9	11.1	6.7	8.9	30.0	3.3
	津久井地域 (n=149)	3.7	11.1	7.4	7.4	7.4	0.0	11.1	11.1

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-40 転居したいと思う理由（居住地区別）（MA・SA）

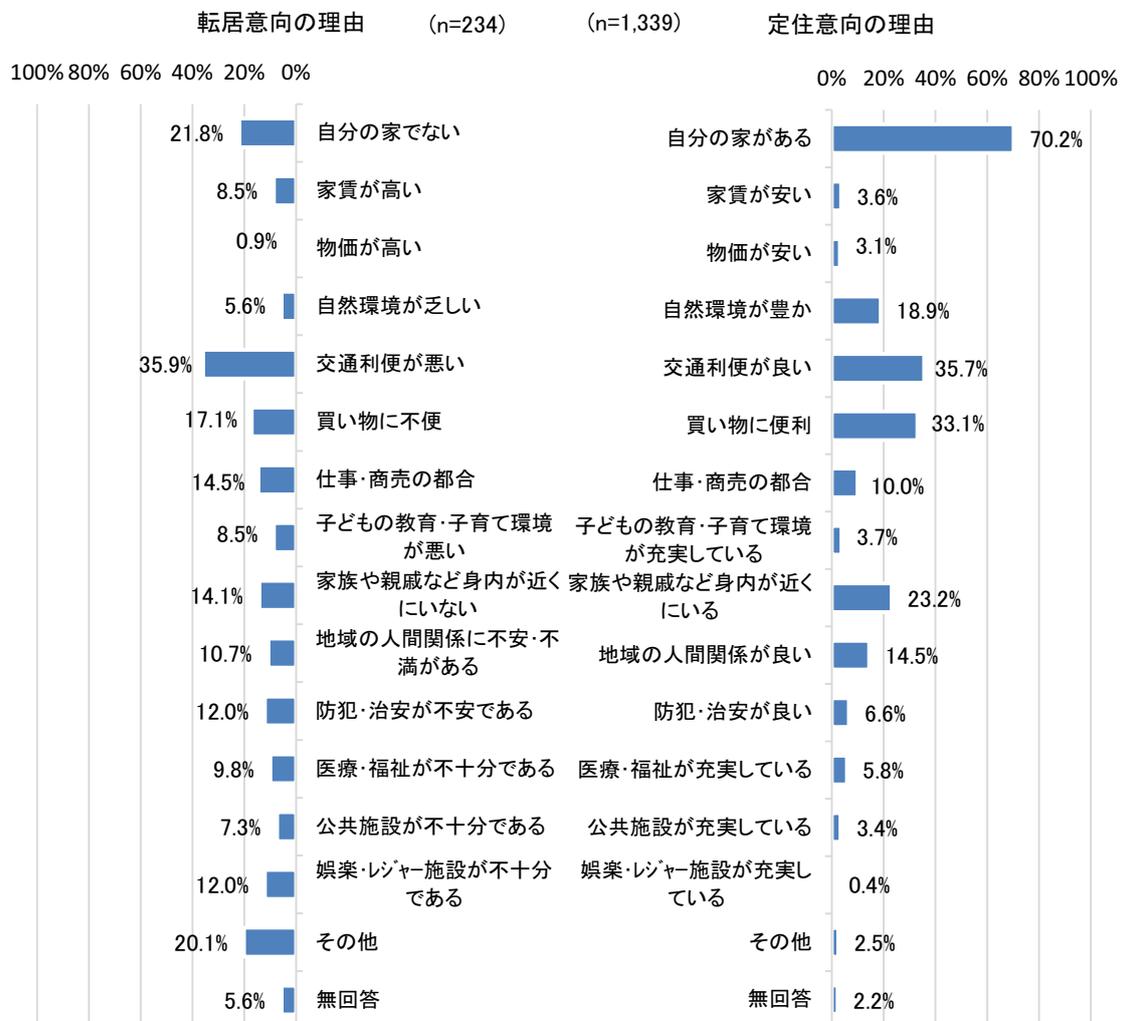


注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

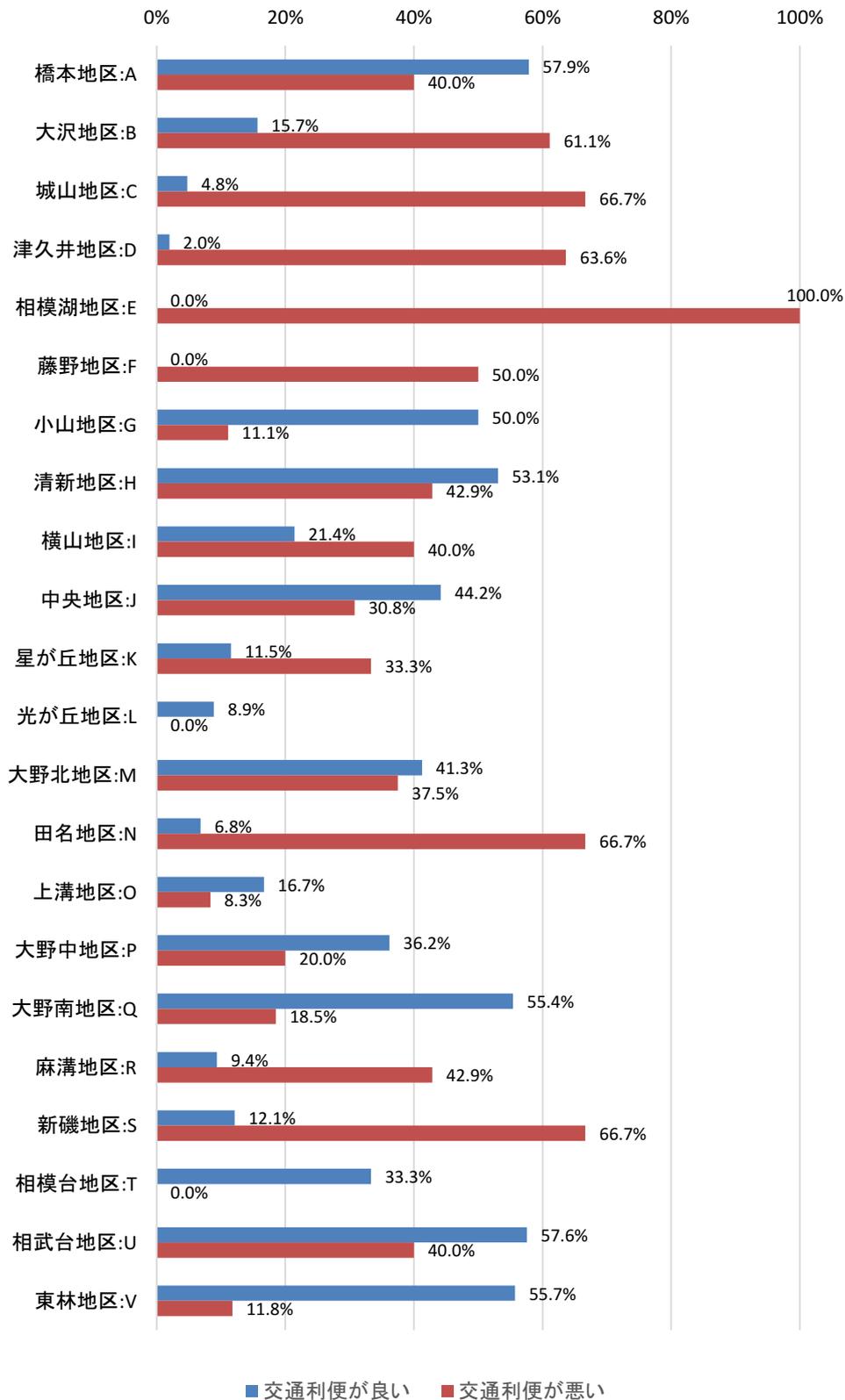
(2) 住み続けたい理由と転居したい理由の比較

- 定住意向と転居意向の理由について、両者を比較すると、「自分の家がある」ために定住したいと思う方の割合が高く、「自分の家でない」から転居したいという方の割合も高いため、持家の有無が定住意向の主な要因となっていることが推察される。
- 一方で、交通利便性については、定住意向の理由として「交通利便が良い」が2番目に高いが、転居意向の理由としては「交通利便が悪い」が最も高くなっている。
- 「交通利便が良い」「交通利便が悪い」について、居住地別に見ると、津久井地域にあたる地区（城山地区、津久井地区、相模湖地区、藤野地区）と、大沢地区、田名地区、新磯地区で「交通利便が悪い」ために転居したい方の割合が高くなっている。特に相模湖地区では転居したいと回答した方の100%が交通利便の悪さを理由としている。

図表III-41 住み続けたいと思う理由と転居したいと思う理由（MA）



図表III-42 定住意向「交通利便が良い」と転居意向「交通利便が悪い」の比較（居住地別）（MA・SA）



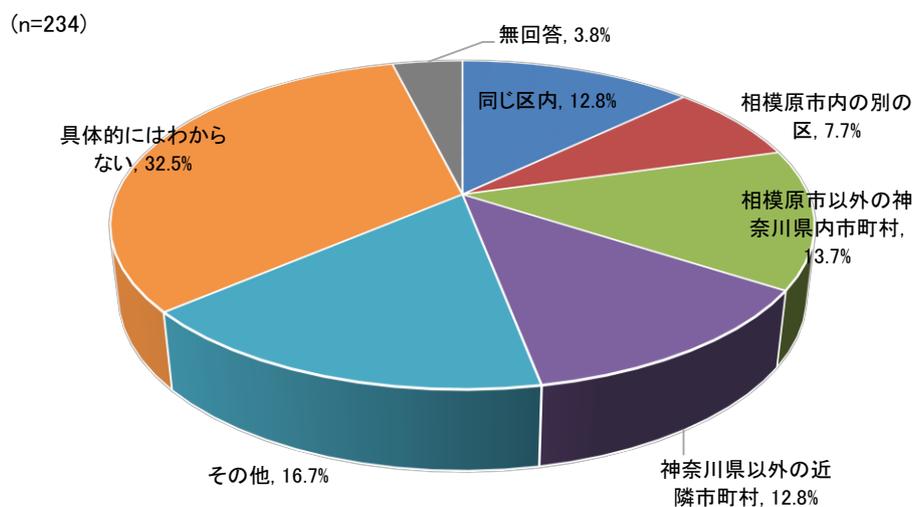
2-5. 希望する転居先

問2で「3.4」と回答した方（転居したいとお答えの方）におうかがいたします。

問5 問2で「3 いずれは転居したい」あるいは「4 すぐに転居したい」とお答えの方にお聞きます。
どこに転居したいと思いますか。次の中から1つお選びください。（○は1つだけ）

- 希望する転居先は、「具体的にはわからない」が32.5%で最も高く、次いで「その他」が16.7%、「相模原市以外の神奈川県内市町村」が13.7%となっている。

図表III-43 希望する転居先（SA）



■相模原市以外の神奈川県内の市町村の主な意見（【 】内は件数）

- ・横浜市【8】
- ・鎌倉市【2】
- ・川崎市【1】
- ・厚木市【1】 等

■神奈川県以外の近隣市町村の主な意見

- ・東京都【4】
- ・八王子市【1】 等

■その他の主な意見

- ・東京都23区内【10】
- ・東京都多摩地域【3】
- ・関西【1】
- ・九州【1】
- ・沖縄【2】 等

(1) 希望する転居先の属性別クロス集計

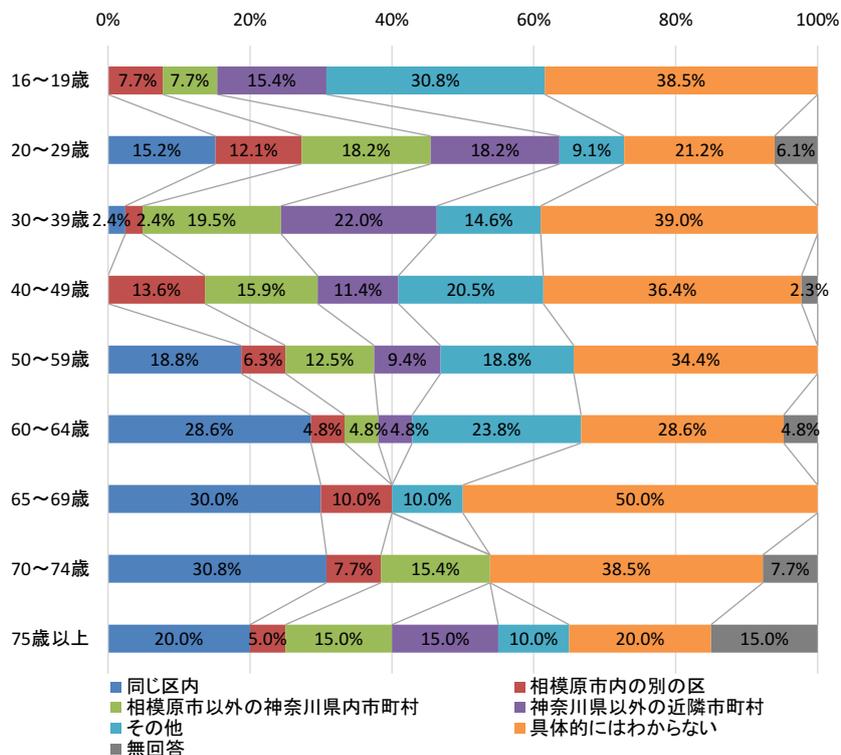
① 年齢階層別希望する転居先

- 年齢階層別に希望する転居先を見ると、65～69歳で「具体的にはわからない」が50.0%と最も高くなっている。
- 16～19歳から70～74歳では、「具体的にはわからない」が最も高くなっているが、60～64歳、75歳以上では、「同じ区内」と「具体的にはわからない」が最も高くなっている。
- 年齢階層が上がるにつれて、「同じ区内」を希望する方が多くなっており、若い世代では、「同じ区内」「相模原市内の別の区」よりも、市外や県外を希望する方の割合が比較的高くなっている。

図表III-44 希望する転居先（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q5 希望する転居先						
		同じ区内	相模原市内の別の区	相模原市以外の神奈川県内市町村	神奈川県以外の近隣市町村	その他	具体的にはわからない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	0.0	7.7	7.7	15.4	30.8	38.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	15.2	12.1	18.2	18.2	9.1	21.2	6.1
	30～39歳 (n=187)	2.4	2.4	19.5	22.0	14.6	39.0	0.0
	40～49歳 (n=247)	0.0	13.6	15.9	11.4	20.5	36.4	2.3
	50～59歳 (n=244)	18.8	6.3	12.5	9.4	18.8	34.4	0.0
	60～64歳 (n=143)	28.6	4.8	4.8	4.8	23.8	28.6	4.8
	65～69歳 (n=177)	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0	50.0	0.0
	70～74歳 (n=176)	30.8	7.7	15.4	0.0	0.0	38.5	7.7
75歳以上 (n=257)	20.0	5.0	15.0	15.0	10.0	20.0	15.0	

図表III-45 希望する転居先（年齢階層別）（SA・SA）



② 居住地区別希望する転居先

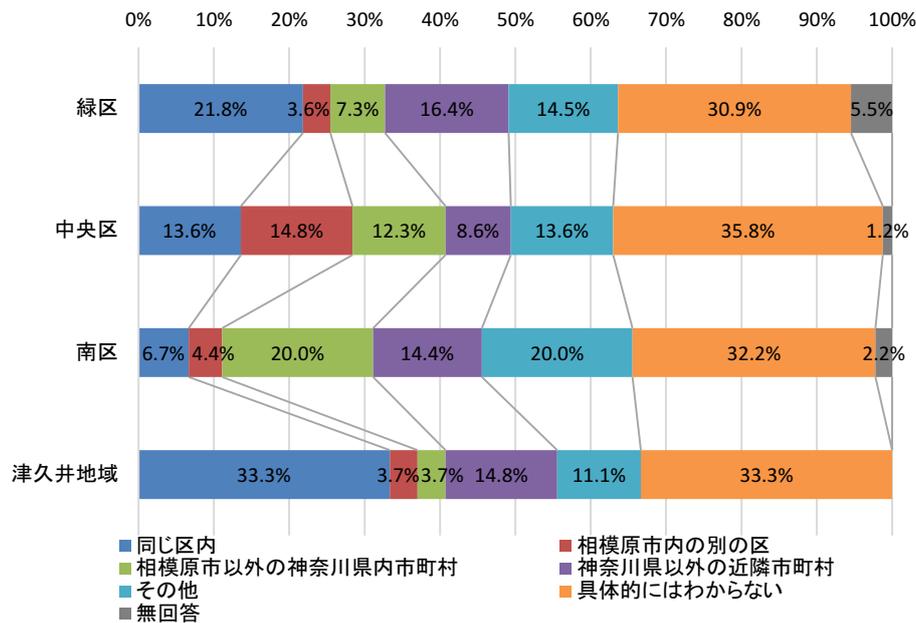
- 居住地区別に希望する転居先を見ると、中央区で「具体的にはわからない」が35.8%で最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域全てにおいて「具体的にはわからない」が最も高くなっている。
- 「具体的にはわからない」を除くと、緑区、津久井地域では、「同じ区内」への転居希望割合が高いが、中央区では「相模原市内の別の区」、南区では「相模原市以外の神奈川県内市町村」、「その他」が高くなっている。

図表III-46 希望する転居先（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

F8 居住地域	Q5 希望する転居先	Q5 希望する転居先						無回答
		同じ区内	相模原市内の別の区	相模原市以外の神奈川県内市町村	神奈川県以外の近隣市町村	その他	具体的にはわからない	
緑区 (n=373)		21.8	3.6	7.3	16.4	14.5	30.9	5.5
中央区 (n=592)		13.6	14.8	12.3	8.6	13.6	35.8	1.2
南区 (n=615)		6.7	4.4	20.0	14.4	20.0	32.2	2.2
津久井地域 (n=149)		33.3	3.7	3.7	14.8	11.1	33.3	0.0

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-47 希望する転居先（居住地区別）（SA・SA）



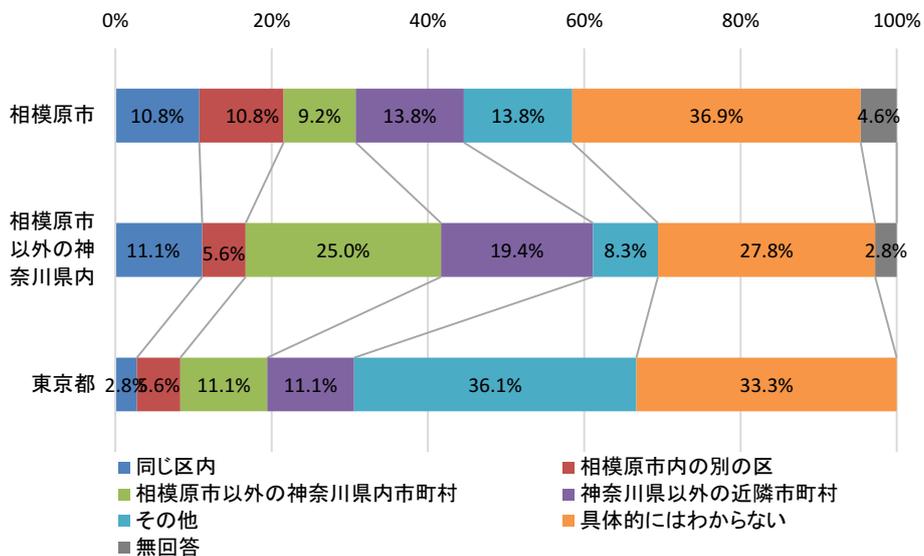
③ 勤務地別希望する転居先

- 勤務地別に希望する転居先を見ると、相模原市勤務で、「具体的にはわからない」が36.9%で最も高くなっている。
- 相模原市以外の神奈川県内勤務では、「具体的にはわからない」が最も高く、次いで、「相模原市以外の神奈川県内市町村」が高くなっている。
- 東京都勤務では「その他」がもっと高く、次いで「具体的にはわからない」が高くなっている。
- 勤務地と希望転居先に関係が見られ、神奈川県内勤務者は「相模原市以外の神奈川県内市町村」への転居希望の割合が高く、東京都勤務者は「その他」への転居希望の割合が高くなっている。

図表III-48 希望する転居先（勤務地別、数値は%）（S A・S A）

		Q5 希望する転居先						
		同じ区内	相模原市内の別の区	相模原市以外の神奈川県内市町村	神奈川県以外の近隣市町村	その他	具体的にはわからない	無回答
F4-1 勤務地	相模原市 (n=419)	10.8	10.8	9.2	13.8	13.8	36.9	4.6
	相模原市以外の神奈川県内(n=18)	11.1	5.6	25.0	19.4	8.3	27.8	2.8
	東京都 (n=212)	2.8	5.6	11.1	11.1	36.1	33.3	0.0

図表III-49 希望する転居先（勤務地別）（S A・S A）

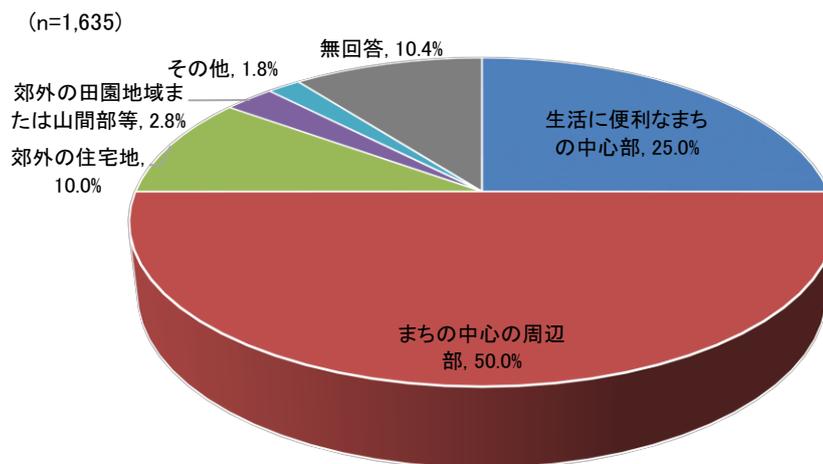


2-6. 生活したい場所

問6 あなたは、どのような場所で生活したいと思いますか。次の中から1つお選びください。(○は1つだけ)

- 生活したい場所は、「まちの中心の周辺部」が50.0%で最も高く、次いで「生活に便利なまちの中心部」が25.0%、「郊外の住宅地」が10.0%となっている。

図表III-50 生活したい場所（SA）



- その他回答の主な意見
 - ・ 交通利便性の高い場所
 - ・ 海が近い場所
 - ・ 治安が良い・安全な場所

(1) 生活したい場所の属性別クロス集計

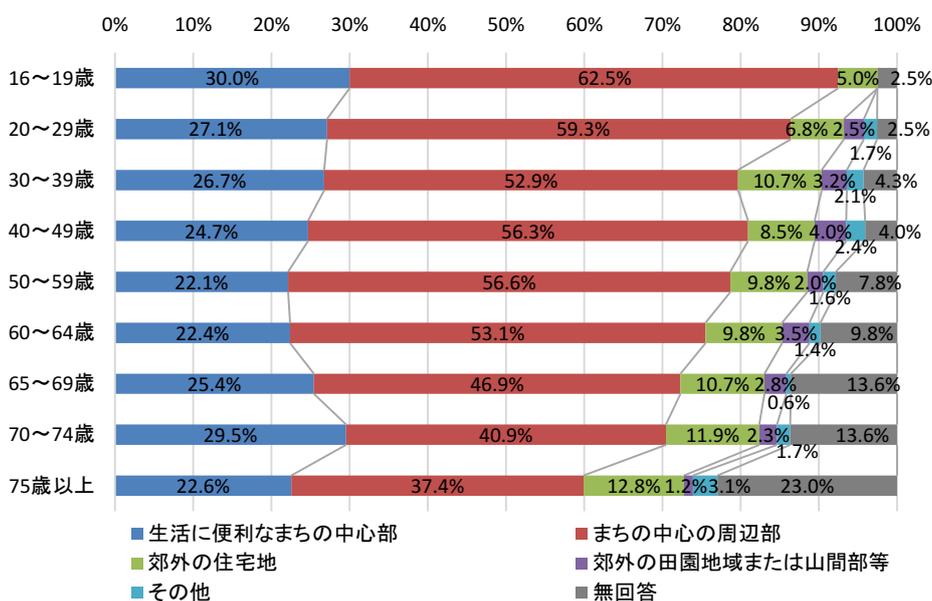
① 年齢階層別生活したい場所

- 年齢階層別に生活したい場所を見ると、16～19歳で「まちの中心の周辺部」が62.5%と最も高くなっている。
- 全ての年齢階層において、「まちの中心の周辺部」が最も高くなっている。
- 年齢階層が若いほど、まちの中心部の周辺で生活したいと考える方が多く、年齢階層が高いほど、郊外部で生活したいと考える方が多い傾向になっている。

図表III-51 生活したい場所（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q6 生活したい場所					
		生活に便利 なまちの中 心部	まちの中心 の周辺部	郊外の住宅 地	郊外の田園 地域または 山間部等	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	30.0	62.5	5.0	0.0	0.0	2.5
	20～29歳 (n=118)	27.1	59.3	6.8	2.5	1.7	2.5
	30～39歳 (n=187)	26.7	52.9	10.7	3.2	2.1	4.3
	40～49歳 (n=247)	24.7	56.3	8.5	4.0	2.4	4.0
	50～59歳 (n=244)	22.1	56.6	9.8	2.0	1.6	7.8
	60～64歳 (n=143)	22.4	53.1	9.8	3.5	1.4	9.8
	65～69歳 (n=177)	25.4	46.9	10.7	2.8	0.6	13.6
	70～74歳 (n=176)	29.5	40.9	11.9	2.3	1.7	13.6
	75歳以上 (n=257)	22.6	37.4	12.8	1.2	3.1	23.0

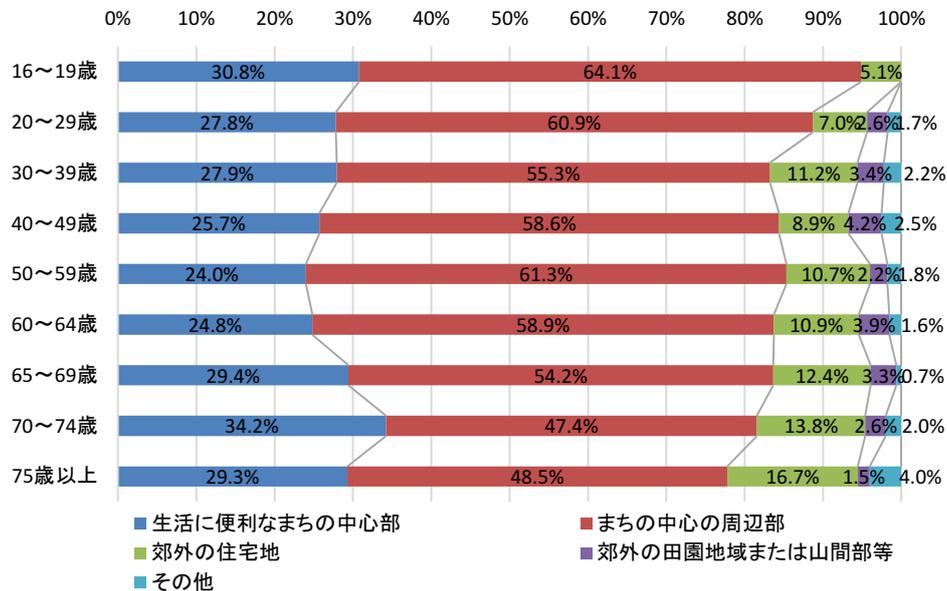
図表III-52 生活したい場所（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-53 生活したい場所 (年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答除く)

		Q6 生活したい場所					無回答
		生活に便利 なまちの中 心部	まちの中心 の周辺部	郊外の住宅 地	郊外の田園 地域または 山間部等	その他	
F2 年齢	16～19歳 (n=39)	30.8	64.1	5.1	0.0	0.0	
	20～29歳 (n=115)	27.8	60.9	7.0	2.6	1.7	
	30～39歳 (n=179)	27.9	55.3	11.2	3.4	2.2	
	40～49歳 (n=237)	25.7	58.6	8.9	4.2	2.5	
	50～59歳 (n=225)	24.0	61.3	10.7	2.2	1.8	
	60～64歳 (n=129)	24.8	58.9	10.9	3.9	1.6	
	65～69歳 (n=153)	29.4	54.2	12.4	3.3	0.7	
	70～74歳 (n=152)	34.2	47.4	13.8	2.6	2.0	
	75歳以上 (n=198)	29.3	48.5	16.7	1.5	4.0	

(参考) 図表III-54 生活したい場所 (年齢階層別) (S A・S A) (無回答除く)



② 居住地区別生活したい場所

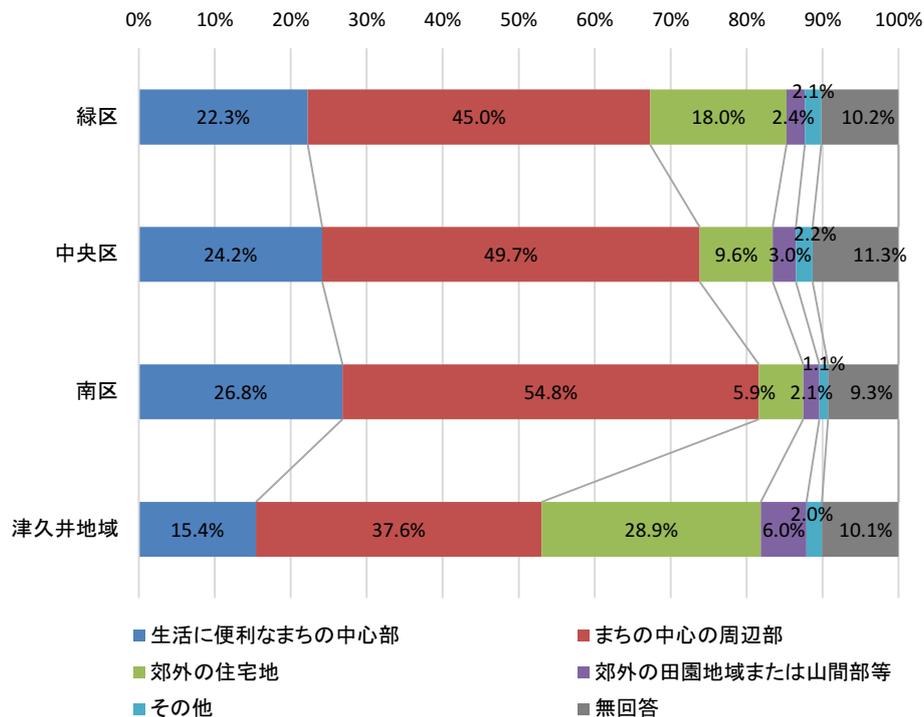
- 居住地区別に生活したい場所を見ると、南区で「まちの中心の周辺部」が54.8%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域全てにおいて「まちの中心の周辺部」が最も高くなっている。
- 南区では「生活に便利なまちの中心部」「まちの中心の周辺部」といった中心地を希望する回答の割合が特に多く、緑区、津久井地域では、郊外住宅地を希望する回答の割合が他地区よりも高くなっている。

図表III-55 生活したい場所（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

F8 居住地域	Q6 生活したい場所	生活したい場所					無回答
		生活に便利なまちの中心部	まちの中心の周辺部	郊外の住宅地	郊外の田園地域または山間部等	その他	
緑区 (n=373)		22.3	45.0	18.0	2.4	2.1	10.2
中央区 (n=592)		24.2	49.7	9.6	3.0	2.2	11.3
南区 (n=615)		26.8	54.8	5.9	2.1	1.1	9.3
津久井地域 (n=149)		15.4	37.6	28.9	6.0	2.0	10.1

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-56 生活したい場所（居住地区別）（SA・SA）

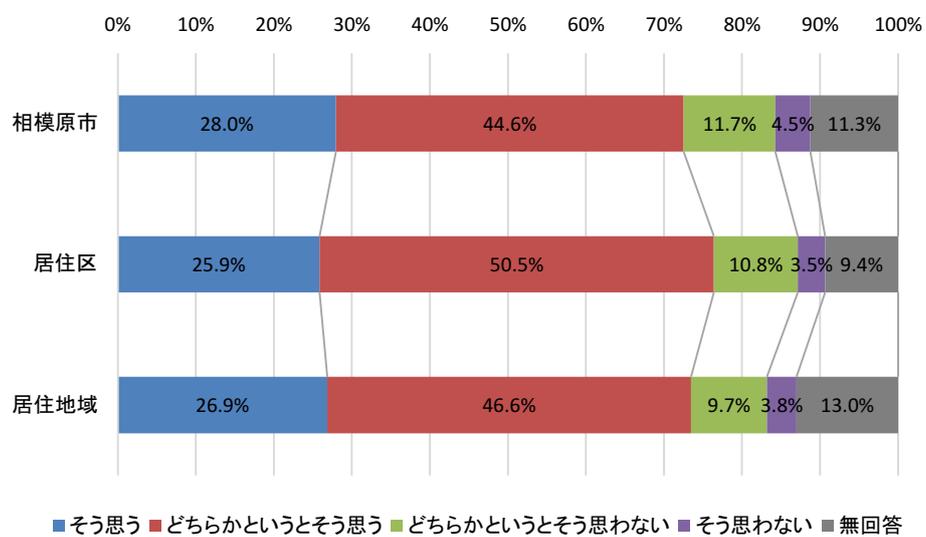


2-7. 地域への愛着

問7 あなたは、(ア)～(ウ)の区域について愛着を感じていますか。次の中でもっとも近いものを選びください。

- 相模原市に愛着を感じる、居住区に愛着を感じる、居住地域に愛着を感じる、それぞれ「そう思う」「どちらかというと思う」を併せると7割を越えている。特に、居住区への愛着が、「そう思う」25.9%、「どちらかといえばそう思う」50.5%で最も高くなっている。

図表III-57 地域への愛着（S A）



(1) 地域への愛着の属性別クロス集計

① 年齢階層別地域への愛着

- 年齢階層別に地域への愛着について見ると、相模原市への愛着は 65～69 歳で「どちらかというと思う」が 54.8%で最も高くなっている。また、16～19 歳から 70～74 歳までで「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住区への愛着は、50～59 歳で「どちらかというと思う」が 60.2%で最も高くなっている。また、16～19 歳から 70～74 歳までで「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住地域への愛着は、50～59 歳で「どちらかというと思う」が 54.9%で最も高くなっている。また、20～29 歳から 70～74 歳までで「どちらかというと思う」が最も高くなっており、16～19 歳では、「そう思う」と「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- また、年齢階層による顕著な傾向の差は見られない。

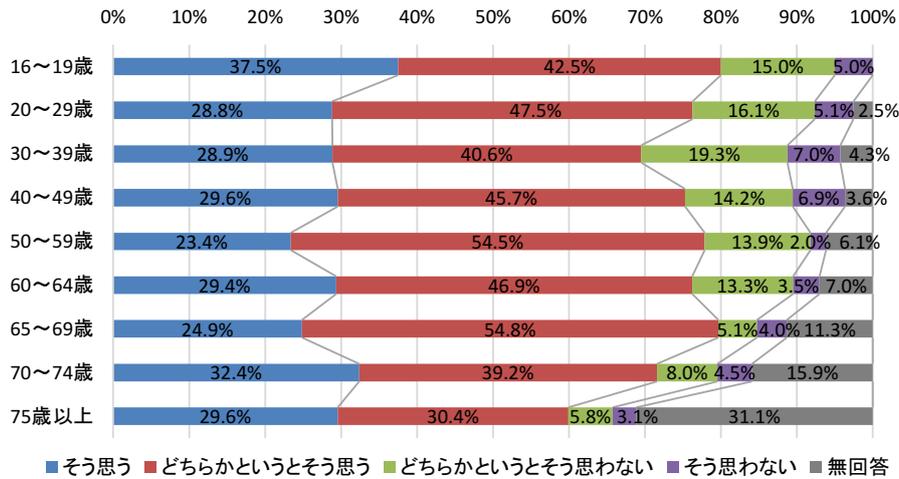
図表III-58 地域への愛着（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q77 愛着を感じる相模原市				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	37.5	42.5	15.0	5.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	28.8	47.5	16.1	5.1	2.5
	30～39歳 (n=187)	28.9	40.6	19.3	7.0	4.3
	40～49歳 (n=247)	29.6	45.7	14.2	6.9	3.6
	50～59歳 (n=244)	23.4	54.5	13.9	2.0	6.1
	60～64歳 (n=143)	29.4	46.9	13.3	3.5	7.0
	65～69歳 (n=177)	24.9	54.8	5.1	4.0	11.3
	70～74歳 (n=176)	32.4	39.2	8.0	4.5	15.9
	75歳以上 (n=257)	29.6	30.4	5.8	3.1	31.1

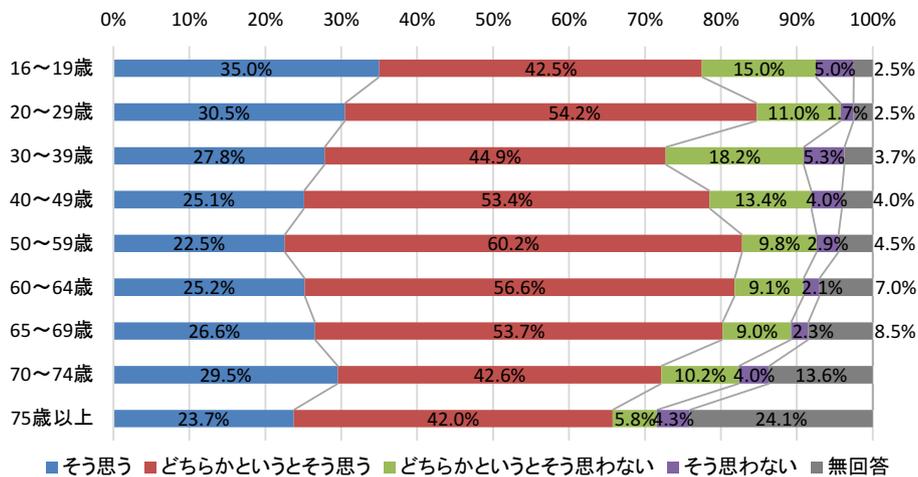
		Q71 愛着を感じる居住区				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	35.0	42.5	15.0	5.0	2.5
	20～29歳 (n=118)	30.5	54.2	11.0	1.7	2.5
	30～39歳 (n=187)	27.8	44.9	18.2	5.3	3.7
	40～49歳 (n=247)	25.1	53.4	13.4	4.0	4.0
	50～59歳 (n=244)	22.5	60.2	9.8	2.9	4.5
	60～64歳 (n=143)	25.2	56.6	9.1	2.1	7.0
	65～69歳 (n=177)	26.6	53.7	9.0	2.3	8.5
	70～74歳 (n=176)	29.5	42.6	10.2	4.0	13.6
	75歳以上 (n=257)	23.7	42.0	5.8	4.3	24.1

		Q7ウ 愛着を感じる居住地域				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	40.0	40.0	12.5	7.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	39.0	47.5	9.3	1.7	2.5
	30～39歳 (n=187)	29.9	46.0	12.8	7.0	4.3
	40～49歳 (n=247)	26.7	52.6	12.1	3.2	5.3
	50～59歳 (n=244)	26.2	54.9	9.0	4.1	5.7
	60～64歳 (n=143)	23.8	54.5	10.5	2.1	9.1
	65～69歳 (n=177)	26.6	46.9	9.6	3.4	13.6
	70～74歳 (n=176)	26.1	42.0	9.7	4.0	18.2
	75歳以上 (n=257)	23.3	31.9	5.8	3.1	35.8

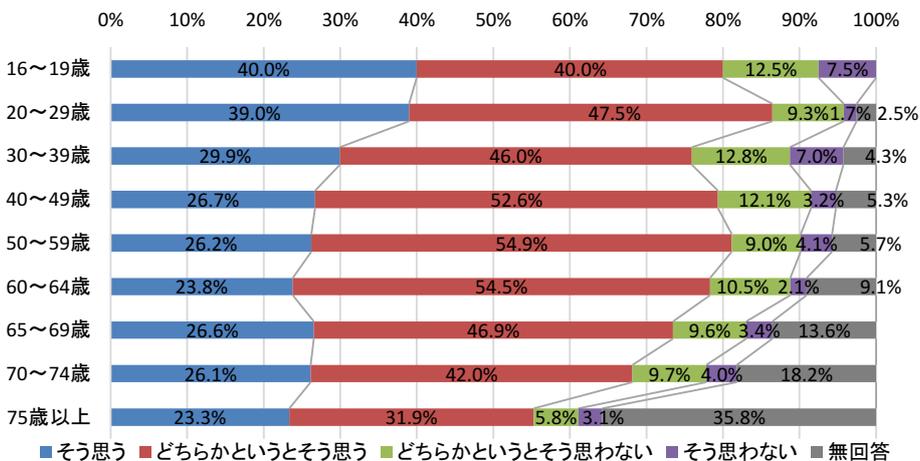
図表III-59 地域への愛着（相模原市）（年齢階層別）（SA・SA）



図表III-60 地域への愛着（居住区）（年齢階層別）（SA・SA）



図表III-61 地域への愛着（居住地域）（年齢階層別）（SA・SA）



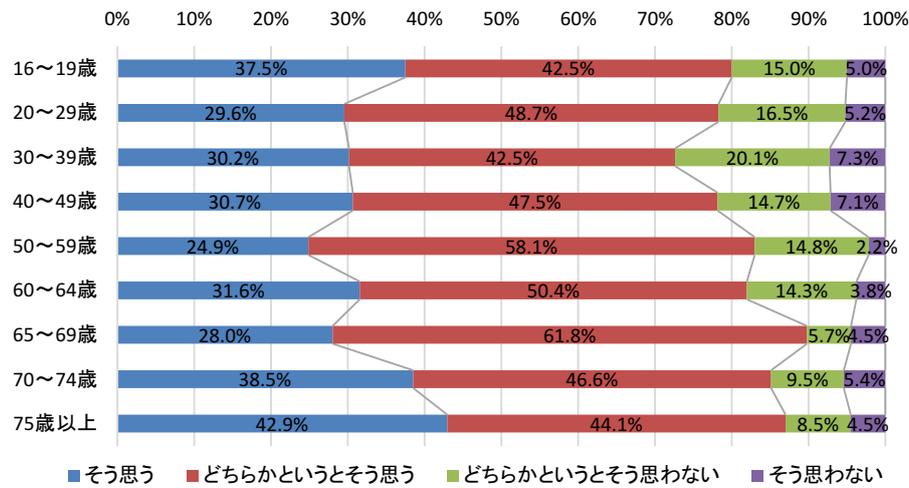
(参考) 図表III-62 地域への愛着(年齢階層別)(S・A) (無回答除く)

		Q7ア 愛着を感じる相模原市				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	37.5	42.5	15.0	5.0	
	20～29歳 (n=115)	29.6	48.7	16.5	5.2	
	30～39歳 (n=179)	30.2	42.5	20.1	7.3	
	40～49歳 (n=238)	30.7	47.5	14.7	7.1	
	50～59歳 (n=229)	24.9	58.1	14.8	2.2	
	60～64歳 (n=133)	31.6	50.4	14.3	3.8	
	65～69歳 (n=157)	28.0	61.8	5.7	4.5	
	70～74歳 (n=148)	38.5	46.6	9.5	5.4	
	75歳以上 (n=177)	42.9	44.1	8.5	4.5	

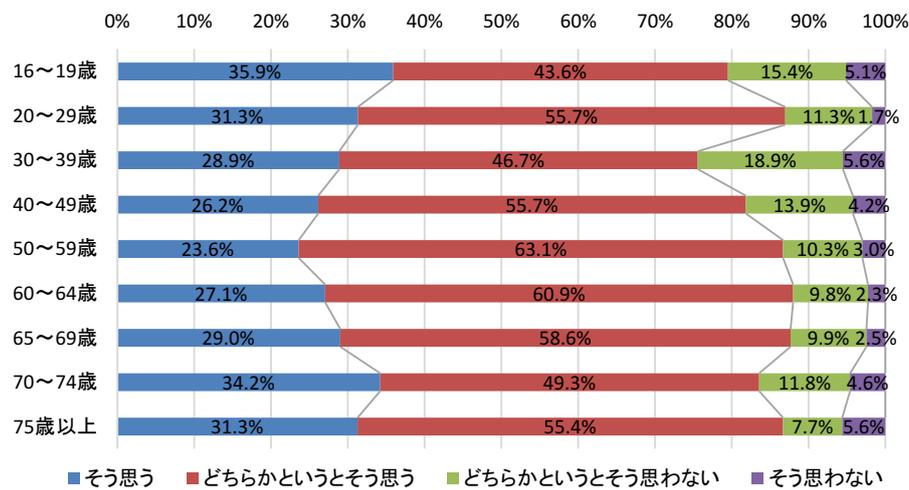
		Q7イ 愛着を感じる居住区				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=39)	35.9	43.6	15.4	5.1	
	20～29歳 (n=115)	31.3	55.7	11.3	1.7	
	30～39歳 (n=180)	28.9	46.7	18.9	5.6	
	40～49歳 (n=237)	26.2	55.7	13.9	4.2	
	50～59歳 (n=233)	23.6	63.1	10.3	3.0	
	60～64歳 (n=133)	27.1	60.9	9.8	2.3	
	65～69歳 (n=162)	29.0	58.6	9.9	2.5	
	70～74歳 (n=152)	34.2	49.3	11.8	4.6	
	75歳以上 (n=195)	31.3	55.4	7.7	5.6	

		Q7ウ 愛着を感じる居住地域				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	40.0	40.0	12.5	7.5	
	20～29歳 (n=115)	40.0	48.7	9.6	1.7	
	30～39歳 (n=179)	31.3	48.0	13.4	7.3	
	40～49歳 (n=234)	28.2	55.6	12.8	3.4	
	50～59歳 (n=230)	27.8	58.3	9.6	4.3	
	60～64歳 (n=130)	26.2	60.0	11.5	2.3	
	65～69歳 (n=153)	30.7	54.2	11.1	3.9	
	70～74歳 (n=144)	31.9	51.4	11.8	4.9	
	75歳以上 (n=165)	36.4	49.7	9.1	4.8	

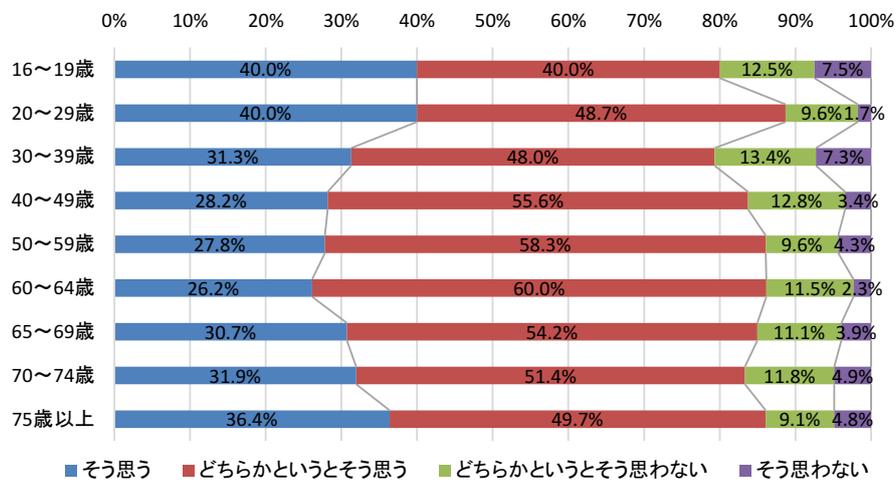
(参考) 図表III-63 地域への愛着（相模原市）（年齢階層別）（S A・S A）（無回答除く）



(参考) 図表III-64 地域への愛着（居住区）（年齢階層別）（S A・S A）（無回答除く）



(参考) 図表III-65 地域への愛着（居住地域）（年齢階層別）（S A・S A）（無回答除く）



② 居住地区別地域への愛着

- 居住地区別に地域への愛着について見ると、相模原市への愛着は中央区居住者で「どちらかというと思う」が46.5%で最も高くなっている。いずれの区においても「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住区への愛着は南区居住者で「どちらかというと思う」が51.2%で最も高くなっている。いずれの区においても「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住地域への愛着は中央区で「どちらかというと思う」が48.3%で最も高くなっている。いずれの区においても「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住区、地域による顕著な傾向の差は見られない。

図表III-66 地域への愛着（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

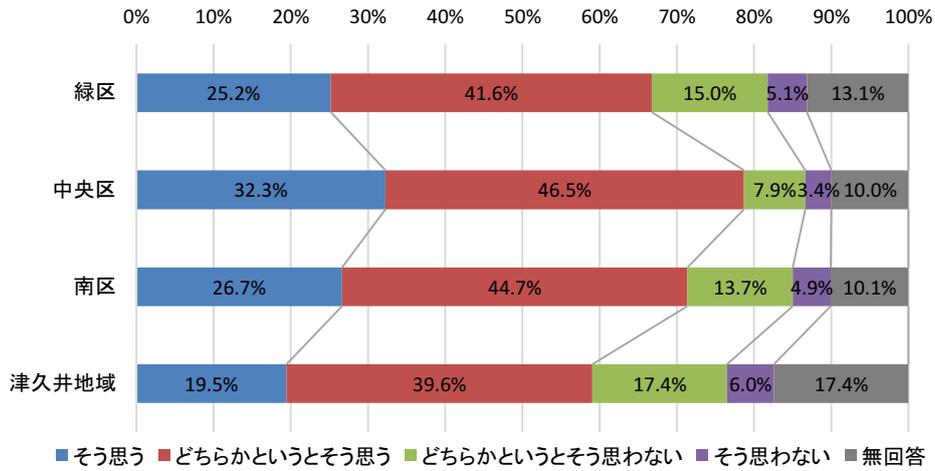
		Q77 愛着を感じる相模原市				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	25.2	41.6	15.0	5.1	13.1
	中央区 (n=592)	32.3	46.5	7.9	3.4	10.0
	南区 (n=615)	26.7	44.7	13.7	4.9	10.1
	津久井地域 (n=149)	19.5	39.6	17.4	6.0	17.4

		Q71 愛着を感じる居住区				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	24.9	49.6	12.3	3.5	9.7
	中央区 (n=592)	26.9	51.0	9.6	3.9	8.6
	南区 (n=615)	26.2	51.2	11.1	2.8	8.8
	津久井地域 (n=149)	22.8	49.7	12.1	3.4	12.1

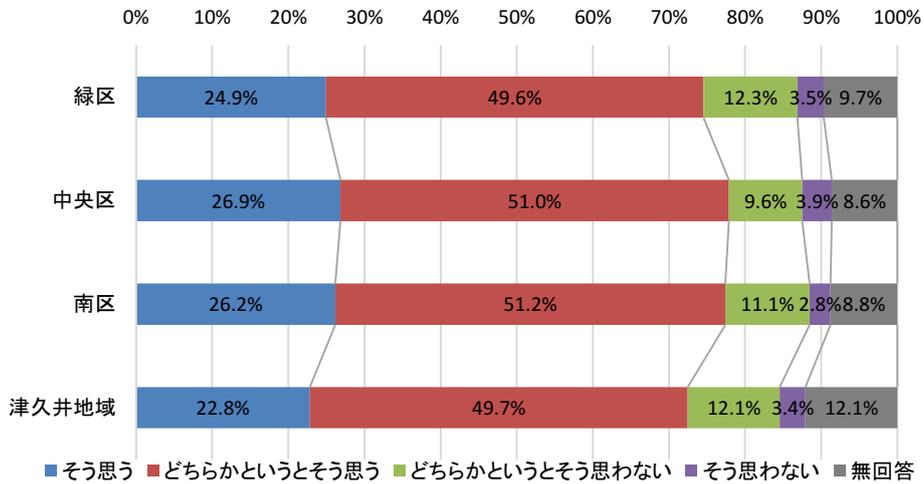
		Q7ウ 愛着を感じる居住地域				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	29.5	42.6	9.9	3.5	14.5
	中央区 (n=592)	25.0	48.3	10.0	4.6	12.2
	南区 (n=615)	28.6	47.2	9.9	2.9	11.4
	津久井地域 (n=149)	31.5	38.9	8.7	4.0	16.8

注) 津久井地域は緑区の内数。

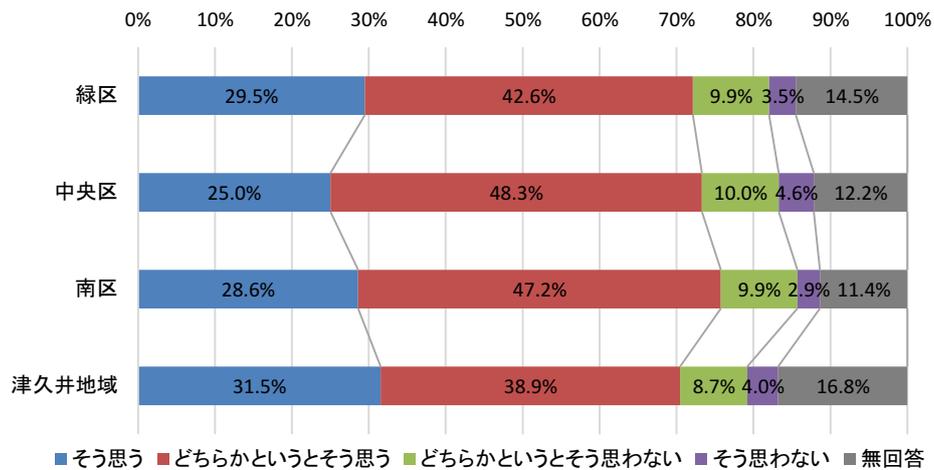
図表III-67 地域への愛着（相模原市）（居住地区別）（SA・SA）



図表III-68 地域への愛着（居住区）（居住地区別）（SA・SA）



図表III-69 地域への愛着（居住地域）（居住地区別）（SA・SA）



③ 居住年数別地域への愛着

- 居住年数別に地域への愛着を見ると、相模原市への愛着は居住年数 10～20 年未満で「どちらかというと思う」が 51.7%と最も高くなっている。
- 居住区への愛着は居住年数 5～10 年未満で「どちらかというと思う」が 60.2%と最も高くなっている。全ての年数において、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住地域への愛着は居住年数 5～10 年未満で「どちらかというと思う」が 59.3%と最も高くなっている。全ての年数において、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- いずれも居住年数が長いほど、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた割合が高くなっている傾向にある。全ての年数において、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住年数による顕著な傾向の差は見られないが、居住年数が長くなるほど「そう思う」の割合が高くなっている。

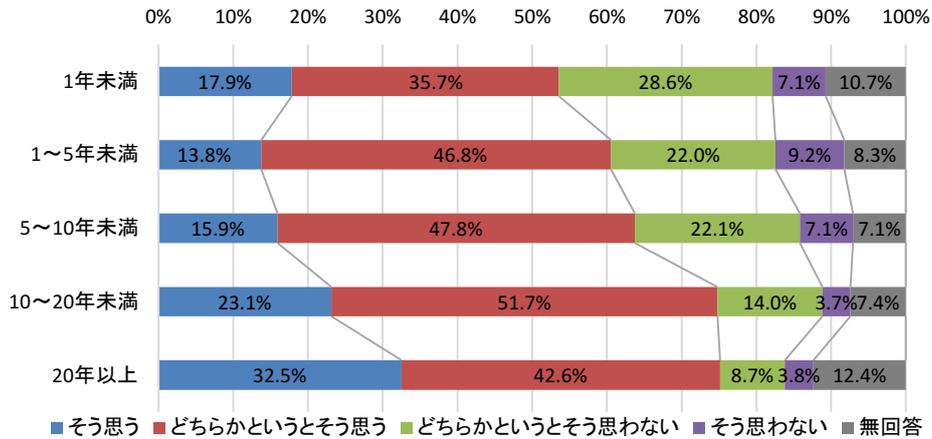
図表III-70 地域への愛着（居住年数別、数値は%）（SA・SA）

		Q77 愛着を感じる相模原市				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F3 居住年数	1年未満 (n=28)	17.9	35.7	28.6	7.1	10.7
	1～5年未満 (n=109)	13.8	46.8	22.0	9.2	8.3
	5～10年未満 (n=113)	15.9	47.8	22.1	7.1	7.1
	10～20年未満 (n=242)	23.1	51.7	14.0	3.7	7.4
	20年以上 (n=1098)	32.5	42.6	8.7	3.8	12.4

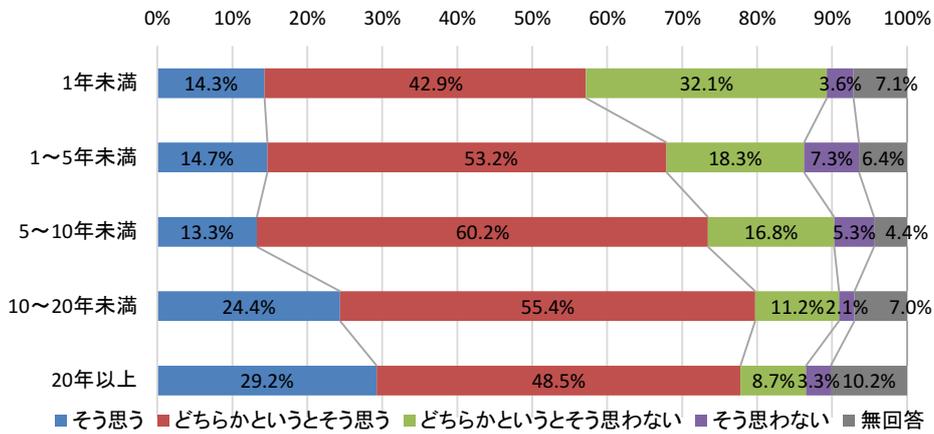
		Q71 愛着を感じる居住区				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F3 居住年数	1年未満 (n=28)	14.3	42.9	32.1	3.6	7.1
	1～5年未満 (n=109)	14.7	53.2	18.3	7.3	6.4
	5～10年未満 (n=113)	13.3	60.2	16.8	5.3	4.4
	10～20年未満 (n=242)	24.4	55.4	11.2	2.1	7.0
	20年以上 (n=1098)	29.2	48.5	8.7	3.3	10.2

		Q7ウ 愛着を感じる居住地域				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F3 居住年数	1年未満 (n=28)	14.3	53.6	17.9	3.6	10.7
	1～5年未満 (n=109)	17.4	54.1	14.7	5.5	8.3
	5～10年未満 (n=113)	16.8	59.3	13.3	3.5	7.1
	10～20年未満 (n=242)	27.3	52.5	7.9	3.3	9.1
	20年以上 (n=1098)	29.6	43.0	9.2	3.7	14.5

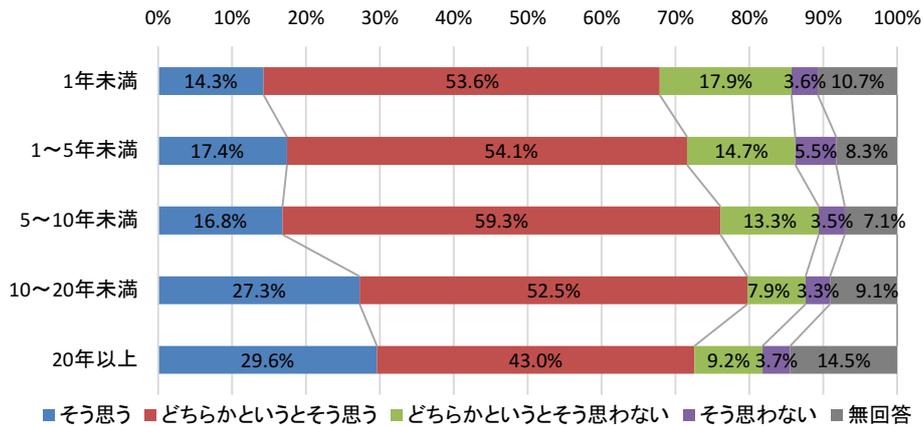
図表III-71 地域への愛着（相模原市）（居住年数別）（SA・SA）



図表III-72 地域への愛着（居住区）（居住年数別）（SA・SA）



図表III-73 地域への愛着（居住地域）（居住年数別）（SA・SA）



(2) 地域への愛着の定住意向別クロス集計

- 定住意向別に地域への愛着を見ると、相模原市への愛着については、「当分の間は住み続けたい」と回答した方で「どちらかというと思う」が53.8%と最も高くなっている。また、「今の地域にずっと住み続けたい」と回答した方で「そう思う」が他よりも高くなっている。
- 居住区への愛着については、「当分の間は住み続けたい」と回答した方で「どちらかというと思う」が60.9%と最も高くなっている。また、「すぐに転居したい」と回答した方で「そう思わない」が他よりも高くなっている。
- 居住地域への愛着については、「当分の間は住み続けたい」と回答した方で「どちらかというと思う」が59.9%と最も高くなっている。また、「すぐに転居したい」と回答した方で「どちらかというと思わない」「そう思わない」が他よりも高くなっている。
- 相模原市、居住区、居住地域への愛着について、定住意向が強いほど、愛着があり、転居意向が強まるほど愛着がないと思う方の割合が増える傾向にある。
- 相模原市への愛着に関しては、「当分の間は住み続けたい」「いずれは転居したい」「すぐに転居したい」と回答した方のうち、「そう思う」と回答した方の割合が同程度であるのに対し、居住区及び居住地域への愛着に関しては、転居意向が強いほど、「そう思う」と回答した方の割合が低く、身の回りの地域への愛着度合が定住か転居かの決定に影響していることが推察される。

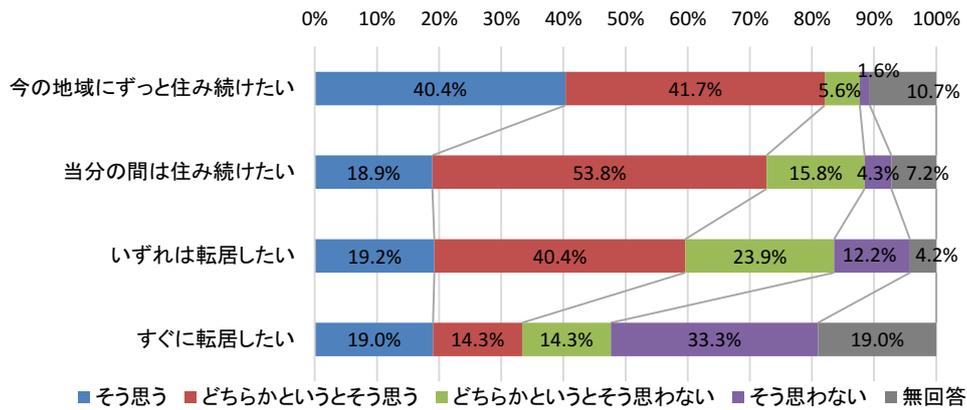
図表III-74 地域への愛着（定住意向別、数値は%）（S A・S A）

		Q77 愛着を感じる相模原市				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	40.4	41.7	5.6	1.6	10.7
	当分の間は住み続けたい (n=608)	18.9	53.8	15.8	4.3	7.2
	いずれは転居したい (n=213)	19.2	40.4	23.9	12.2	4.2
	すぐに転居したい (n=21)	19.0	14.3	14.3	33.3	19.0

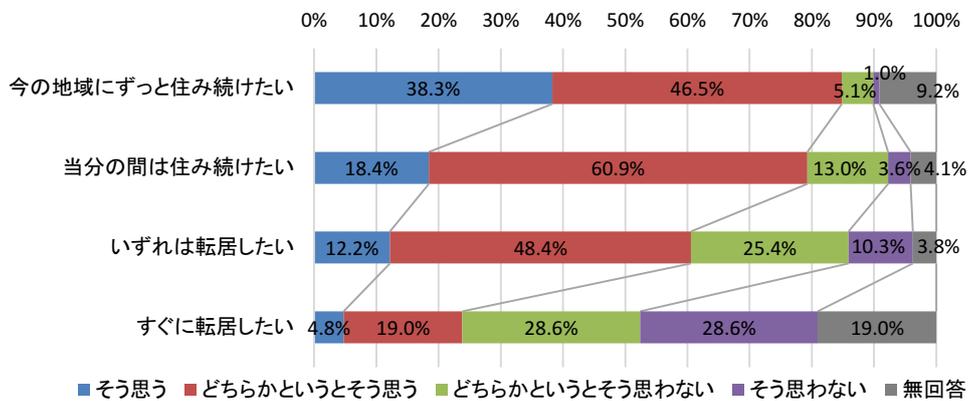
		Q7イ 愛着を感じる居住区				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	38.3	46.5	5.1	1.0	9.2
	当分の間は住み続けたい (n=608)	18.4	60.9	13.0	3.6	4.1
	いずれは転居したい (n=213)	12.2	48.4	25.4	10.3	3.8
	すぐに転居したい (n=21)	4.8	19.0	28.6	28.6	19.0

		Q7ウ 愛着を感じる居住地域				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	40.4	40.8	3.8	0.8	14.2
	当分の間は住み続けたい (n=608)	17.9	59.9	12.5	2.5	7.2
	いずれは転居したい (n=213)	13.6	43.7	23.9	14.6	4.2
	すぐに転居したい (n=21)	9.5	4.8	14.3	47.6	23.8

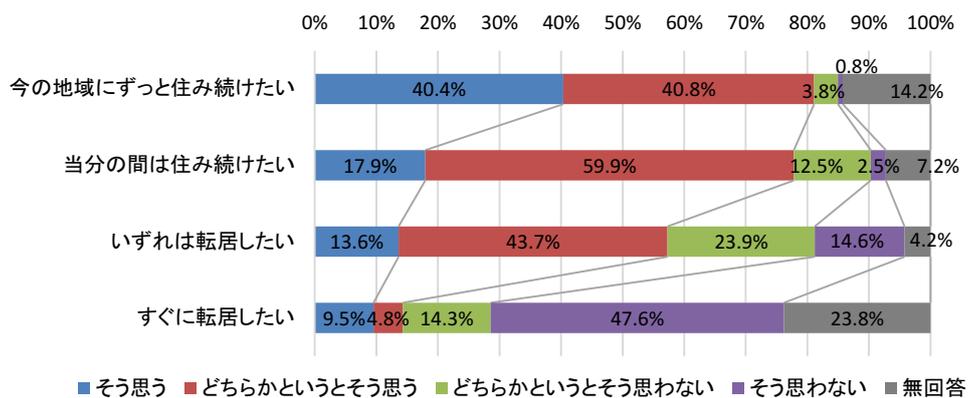
図表III-75 地域への愛着（相模原市）（定住意向別）（SA・SA）



図表III-76 地域への愛着（居住区）（定住意向別）（SA・SA）



図表III-77 地域への愛着（居住地域）（定住意向別）（SA・SA）

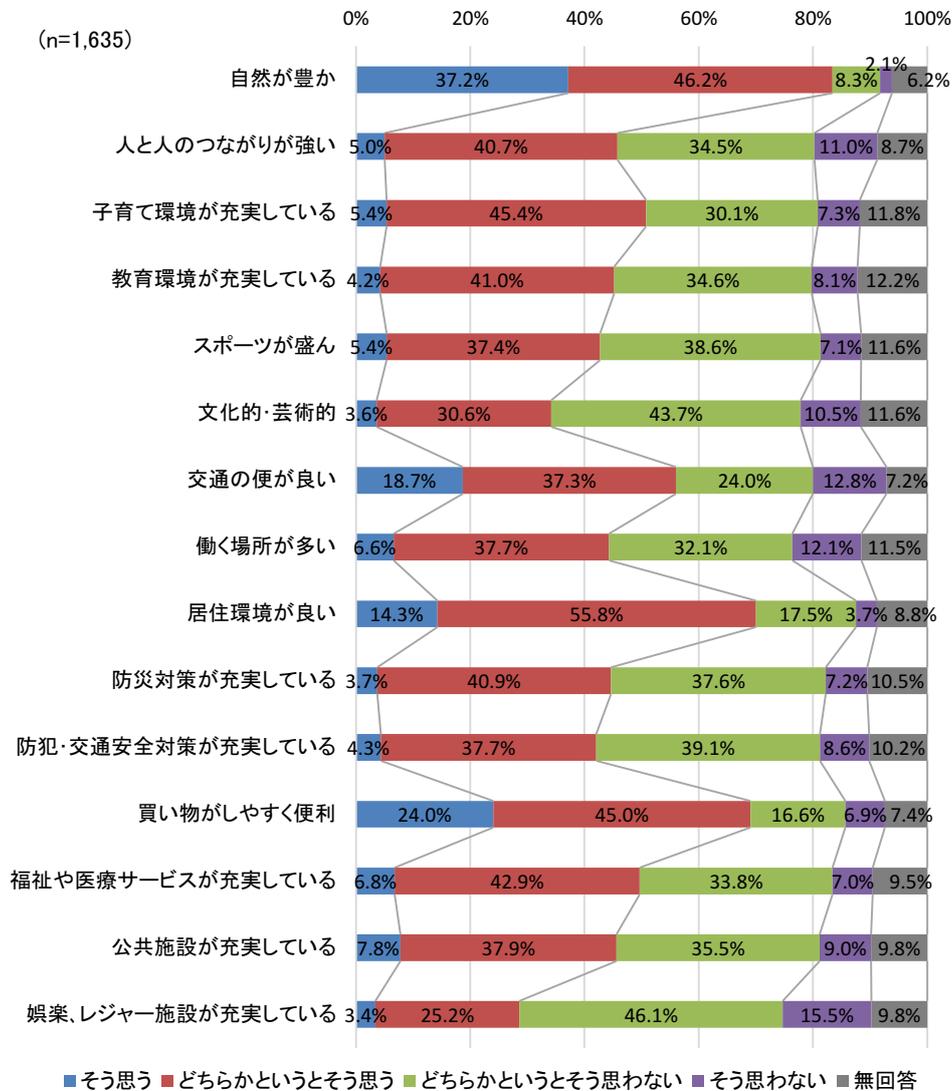


2-8. 相模原市の良さ

問8 あなたは、(ア)～(ソ)の相模原市の良さについて、どのように感じていますか。次の中でもっとも近いものをお選びください。

- 相模原市の良さについては、「そう思う」「どちらかというと思う」を併せると、「自然が豊か」と思うが83.4%で最も多く、次いで「居住環境が良い」と思うが70.1%、「買い物がしやすく便利」と思うが69.0%となっている。一方で、「どちらかというと思わない」「そう思わない」を併せると、「娯楽、レジャー施設が充実している」と思わないが61.6%、「文化的・芸術的」と思わないが54.2%、「防犯・交通安全対策が充実している」と思わないが47.7%となっている。

図表III-78 相模原市の良さ（SA）



(1) 特徴的な項目に関する居住地域別クロス集計（6項目）

相模原市の良さに関して「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた上位3つ「自然が豊か」「居住環境が良い」「買い物がしやすく便利」と、「そう思わない」「どちらかというと思う」を合わせた上位3つ「娯楽、レジャー施設が充実している」「文化的・芸術的」「防犯・交通安全対策が充実している」に関して、居住地域別にクロス集計を実施する。

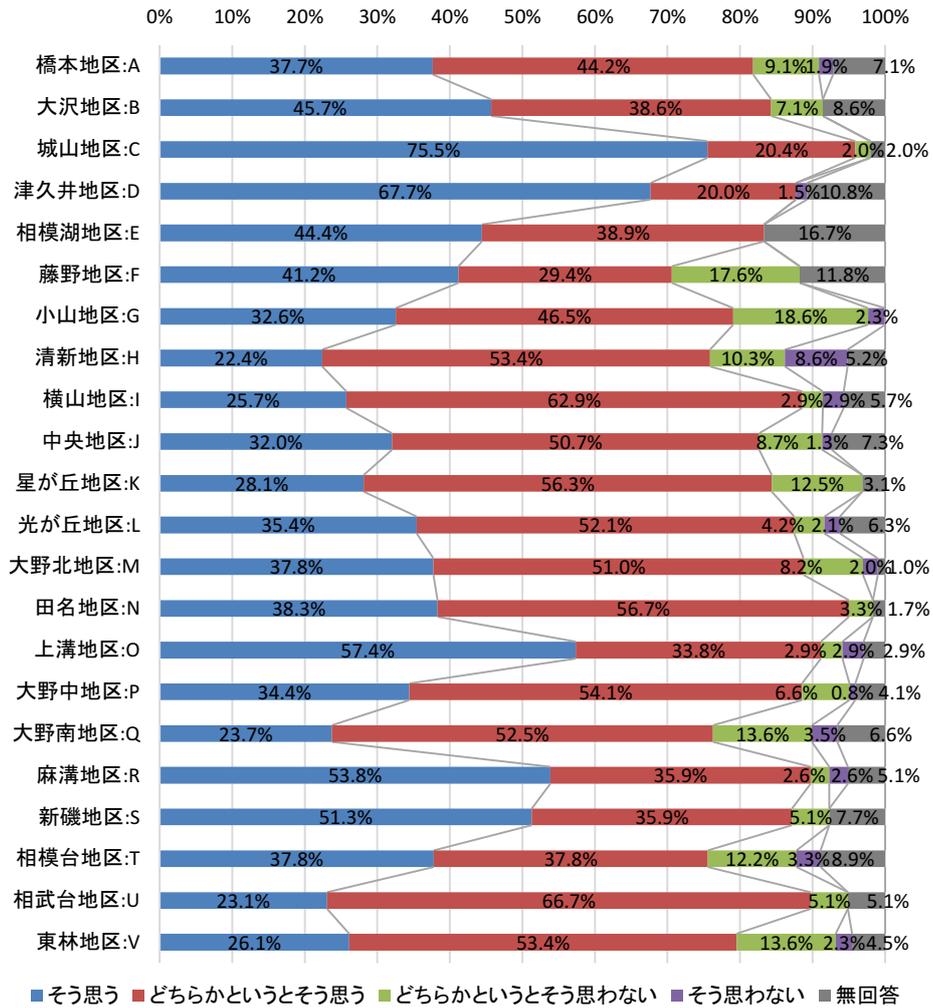
① 居住地域別相模原市の良さ「自然が豊か」

- 相模原市の良さのうち、「自然が豊か」について、居住地域別に見ると、城山地区で「そう思う」が75.5%と最も高くなっており、次いで、津久井地区が67.7%、上溝地区が57.4%となっている。
- 大沢地区、城山地区、津久井地区、相模湖地区、藤野地区、上溝地区、麻溝地区、新磯地区では、「そう思う」が最も高くなっている。
- 橋本地区、小山地区、清新地区、横山地区、中央地区、星が丘地区、大野北地区、田名地区、大野中地区、大野南地区、相武台地区、東林地区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 相武台地区では、「そう思う」「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 一方で、清新地区で「そう思わない」が8.6%、大野南地区で「そう思わない」が3.5%と他地区よりも高くなっている。

図表III-79 相模原市の良さ【自然が豊か】（居住地域別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ:自然が豊か				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	橋本地区:A (n=154)	37.7	44.2	9.1	1.9	7.1
	大沢地区:B (n=70)	45.7	38.6	7.1	0.0	8.6
	城山地区:C (n=49)	75.5	20.4	2.0	0.0	2.0
	津久井地区:D (n=65)	67.7	20.0	0.0	1.5	10.8
	相模湖地区:E (n=18)	44.4	38.9	0.0	0.0	16.7
	藤野地区:F (n=17)	41.2	29.4	17.6	0.0	11.8
	小山地区:G (n=43)	32.6	46.5	18.6	2.3	0.0
	清新地区:H (n=58)	22.4	53.4	10.3	8.6	5.2
	横山地区:I (n=35)	25.7	62.9	2.9	2.9	5.7
	中央地区:J (n=150)	32.0	50.7	8.7	1.3	7.3
	星が丘地区:K (n=32)	28.1	56.3	12.5	0.0	3.1
	光が丘地区:L (n=48)	35.4	52.1	4.2	2.1	6.3
	大野北地区:M (n=98)	37.8	51.0	8.2	2.0	1.0
	田名地区:N (n=60)	38.3	56.7	3.3	0.0	1.7
	上溝地区:O (n=68)	57.4	33.8	2.9	2.9	2.9
	大野中地区:P (n=122)	34.4	54.1	6.6	0.8	4.1
	大野南地区:Q (n=198)	23.7	52.5	13.6	3.5	6.6
	麻溝地区:R (n=39)	53.8	35.9	2.6	2.6	5.1
	新磯地区:S (n=39)	51.3	35.9	5.1	0.0	7.7
	相模台地区:T (n=90)	37.8	37.8	12.2	3.3	8.9
相武台地区:U (n=39)	23.1	66.7	5.1	0.0	5.1	
東林地区:V (n=88)	26.1	53.4	13.6	2.3	4.5	

図表III-80 相模原市の良さ【自然が豊か】（居住地別）（S A・S A）



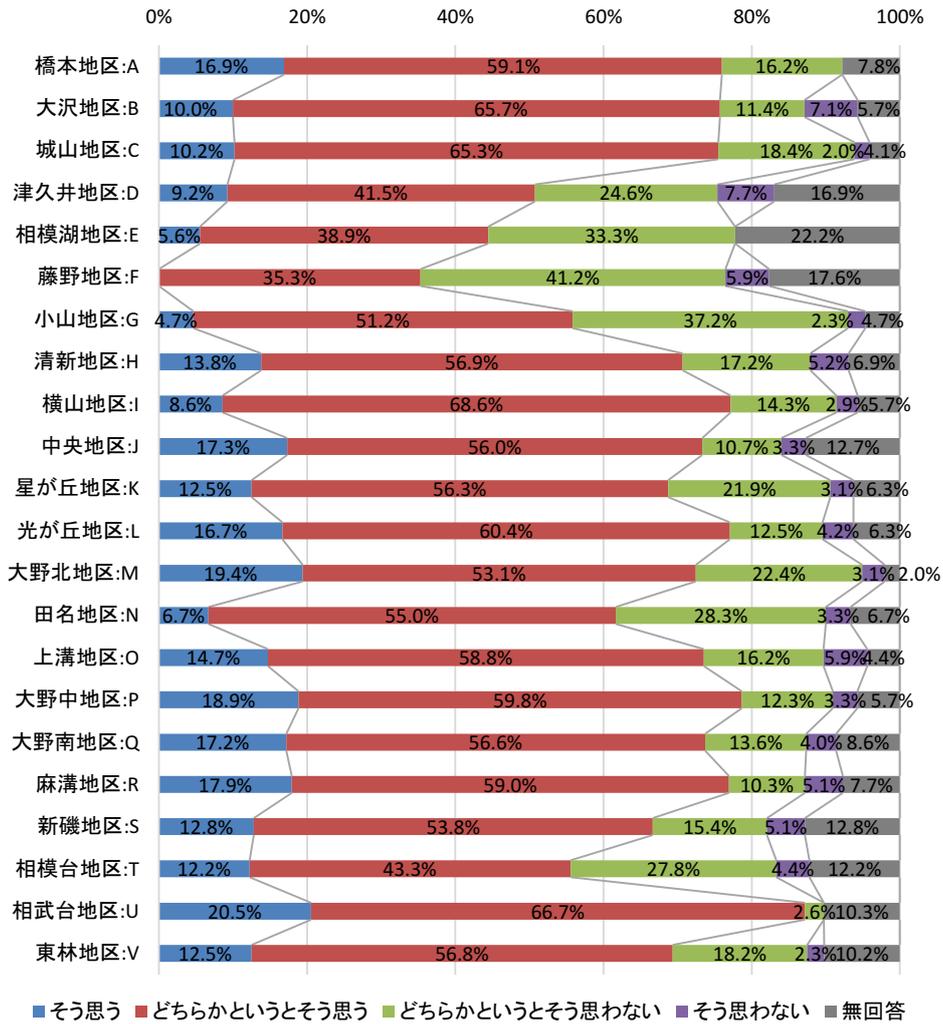
② 居住地域別相模原市の良さ「居住環境が良い」

- 相模原市の良さのうち、「居住環境が良い」について、居住地別に見ると、相武台地区で「そう思う」が20.5%と最も高くなっており、次いで、大野北地区が19.4%、大野中地区が18.9%となっている。
- ほぼ全ての地域で「どちらかというと思う」が最も高くなっているが、藤野地区では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 一方で、津久井地区で「そう思わない」が7.7%、大沢地区で「そう思わない」が7.1%と他地区よりも高くなっている。また、藤野地区は「そう思う」が0%であった。

図表III-81 相模原市の良さ【居住環境が良い】（居住地別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ居住環境が良い				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	橋本地区:A (n=154)	16.9	59.1	16.2	0.0	7.8
	大沢地区:B (n=70)	10.0	65.7	11.4	7.1	5.7
	城山地区:C (n=49)	10.2	65.3	18.4	2.0	4.1
	津久井地区:D (n=65)	9.2	41.5	24.6	7.7	16.9
	相模湖地区:E (n=18)	5.6	38.9	33.3	0.0	22.2
	藤野地区:F (n=17)	0.0	35.3	41.2	5.9	17.6
	小山地区:G (n=43)	4.7	51.2	37.2	2.3	4.7
	清新地区:H (n=58)	13.8	56.9	17.2	5.2	6.9
	横山地区:I (n=35)	8.6	68.6	14.3	2.9	5.7
	中央地区:J (n=150)	17.3	56.0	10.7	3.3	12.7
	星が丘地区:K (n=32)	12.5	56.3	21.9	3.1	6.3
	光が丘地区:L (n=48)	16.7	60.4	12.5	4.2	6.3
	大野北地区:M (n=98)	19.4	53.1	22.4	3.1	2.0
	田名地区:N (n=60)	6.7	55.0	28.3	3.3	6.7
	上溝地区:O (n=68)	14.7	58.8	16.2	5.9	4.4
	大野中地区:P (n=122)	18.9	59.8	12.3	3.3	5.7
	大野南地区:Q (n=198)	17.2	56.6	13.6	4.0	8.6
	麻溝地区:R (n=39)	17.9	59.0	10.3	5.1	7.7
	新磯地区:S (n=39)	12.8	53.8	15.4	5.1	12.8
	相模台地区:T (n=90)	12.2	43.3	27.8	4.4	12.2
相武台地区:U (n=39)	20.5	66.7	2.6	0.0	10.3	
東林地区:V (n=88)	12.5	56.8	18.2	2.3	10.2	

図表III-82 相模原市の良さ【居住環境が良い】（居住地別）（S A・S A）



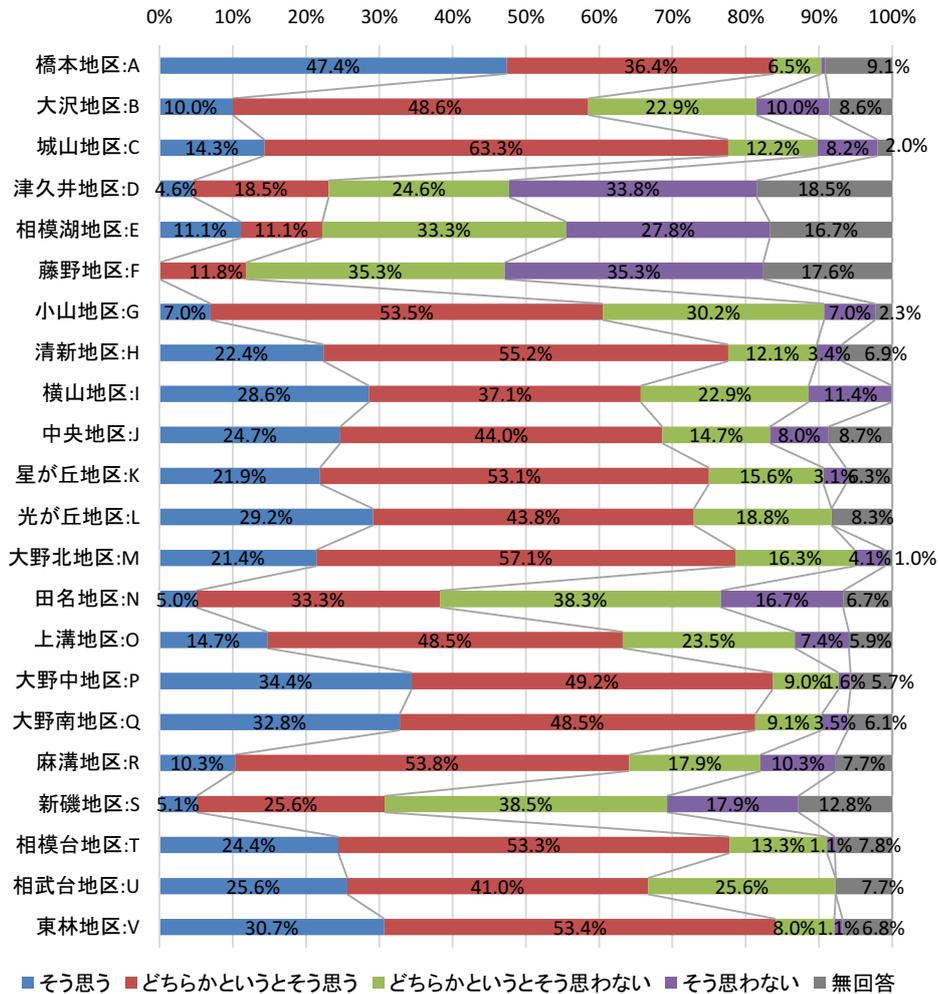
③ 居住地域別相模原市の良さ「買い物がしやすく便利」

- 相模原市の良さのうち、「買い物がしやすく便利」について、居住地別に見ると、橋本地区で「そう思う」が47.4%と最も高くなっており、次いで、大野中地区が34.4%、大野南地区が32.8%となっている。
- 橋本地区では、「そう思う」が最も高くなっている。
- 大沢地区、城山地区、小山地区、清新地区、横山地区、中央地区、星が丘地区、光が丘地区、大野北地区、上溝地区、大野中地区、大野南地区、麻溝地区、相模台地区、相武台地区、東林地区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 相模湖地区、田名地区、新磯地区では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 津久井地区では、「そう思わない」が最も高くなっている。
- 藤野地区では、「どちらかというと思わない」「そう思わない」が最も高くなっている。
- 一方で、藤野地区で「そう思わない」が35.3%、津久井地区で「そう思わない」が33.8%と他地区よりも高くなっている。また、藤野地区は「そう思う」が0%であった。

図表III-83 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】（居住地別、数値は%）（SA・SA）

		Q8シ 相模原市の良さ買い物がしやすく便利				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	橋本地区:A (n=154)	47.4	36.4	6.5	0.6	9.1
	大沢地区:B (n=70)	10.0	48.6	22.9	10.0	8.6
	城山地区:C (n=49)	14.3	63.3	12.2	8.2	2.0
	津久井地区:D (n=65)	4.6	18.5	24.6	33.8	18.5
	相模湖地区:E (n=18)	11.1	11.1	33.3	27.8	16.7
	藤野地区:F (n=17)	0.0	11.8	35.3	35.3	17.6
	小山地区:G (n=43)	7.0	53.5	30.2	7.0	2.3
	清新地区:H (n=58)	22.4	55.2	12.1	3.4	6.9
	横山地区:I (n=35)	28.6	37.1	22.9	11.4	0.0
	中央地区:J (n=150)	24.7	44.0	14.7	8.0	8.7
	星が丘地区:K (n=32)	21.9	53.1	15.6	3.1	6.3
	光が丘地区:L (n=48)	29.2	43.8	18.8	0.0	8.3
	大野北地区:M (n=98)	21.4	57.1	16.3	4.1	1.0
	田名地区:N (n=60)	5.0	33.3	38.3	16.7	6.7
	上溝地区:O (n=68)	14.7	48.5	23.5	7.4	5.9
	大野中地区:P (n=122)	34.4	49.2	9.0	1.6	5.7
	大野南地区:Q (n=198)	32.8	48.5	9.1	3.5	6.1
	麻溝地区:R (n=39)	10.3	53.8	17.9	10.3	7.7
	新磯地区:S (n=39)	5.1	25.6	38.5	17.9	12.8
	相模台地区:T (n=90)	24.4	53.3	13.3	1.1	7.8
相武台地区:U (n=39)	25.6	41.0	25.6	0.0	7.7	
東林地区:V (n=88)	30.7	53.4	8.0	1.1	6.8	

図表III-84 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】（居住地別）（SA・SA）



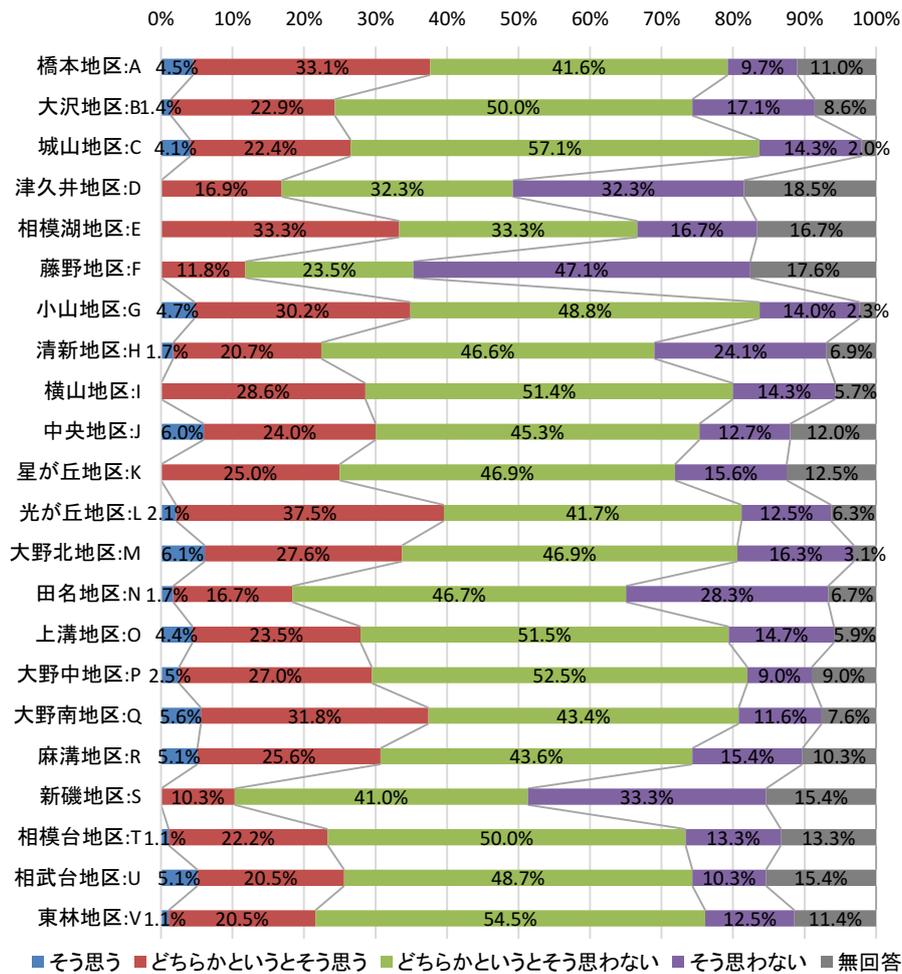
④ 居住地域別相模原市の良さ「娯楽・レジャー施設が充実している」

- 相模原市の良さのうち、「娯楽・レジャー施設が充実している」について、居住地別に見ると、藤野地区で「そう思わない」が47.1%と最も高くなっており、次いで、新磯地区が33.3%、津久井地区が32.3%となっている。
- ほぼ全ての地域では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっているが、相模湖地区では、「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」が最も高くなっており、藤野地区では、「そう思わない」が最も高くなっており、津久井地区では、「どちらかというと思わない」「そう思わない」が最も高くなっている。
- 一方で、大野北地区で「そう思う」が6.1%、中央地区で「そう思う」が6.0%と他地区よりも高くなっている。また、津久井地区、相模湖地区、横山地区、星が丘地区、新磯地区は「そう思う」が0%であった。

図表III-85 相模原市の良さ【娯楽・レジャー施設が充実している】(居住地別、数値は%) (SA・SA)

F8 居住地域	Q87 相模原市の良さ娯楽、レジャー施設が充実している	Q87 相模原市の良さ娯楽、レジャー施設が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
橋本地区:A (n=154)	4.5	33.1	41.6	9.7	11.0	
大沢地区:B (n=70)	1.4	22.9	50.0	17.1	8.6	
城山地区:C (n=49)	4.1	22.4	57.1	14.3	2.0	
津久井地区:D (n=65)	0.0	16.9	32.3	32.3	18.5	
相模湖地区:E (n=18)	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7	
藤野地区:F (n=17)	0.0	11.8	23.5	47.1	17.6	
小山地区:G (n=43)	4.7	30.2	48.8	14.0	2.3	
清新地区:H (n=58)	1.7	20.7	46.6	24.1	6.9	
横山地区:I (n=35)	0.0	28.6	51.4	14.3	5.7	
中央地区:J (n=150)	6.0	24.0	45.3	12.7	12.0	
星が丘地区:K (n=32)	0.0	25.0	46.9	15.6	12.5	
光が丘地区:L (n=48)	2.1	37.5	41.7	12.5	6.3	
大野北地区:M (n=98)	6.1	27.6	46.9	16.3	3.1	
田名地区:N (n=60)	1.7	16.7	46.7	28.3	6.7	
上溝地区:O (n=68)	4.4	23.5	51.5	14.7	5.9	
大野中地区:P (n=122)	2.5	27.0	52.5	9.0	9.0	
大野南地区:Q (n=198)	5.6	31.8	43.4	11.6	7.6	
麻溝地区:R (n=39)	5.1	25.6	43.6	15.4	10.3	
新磯地区:S (n=39)	0.0	10.3	41.0	33.3	15.4	
相模台地区:T (n=90)	1.1	22.2	50.0	13.3	13.3	
相武台地区:U (n=39)	5.1	20.5	48.7	10.3	15.4	
東林地区:V (n=88)	1.1	20.5	54.5	12.5	11.4	

図表III-86 相模原市の良さ【娯楽・レジャー施設が充実している】（居住地別）（SA・SA）



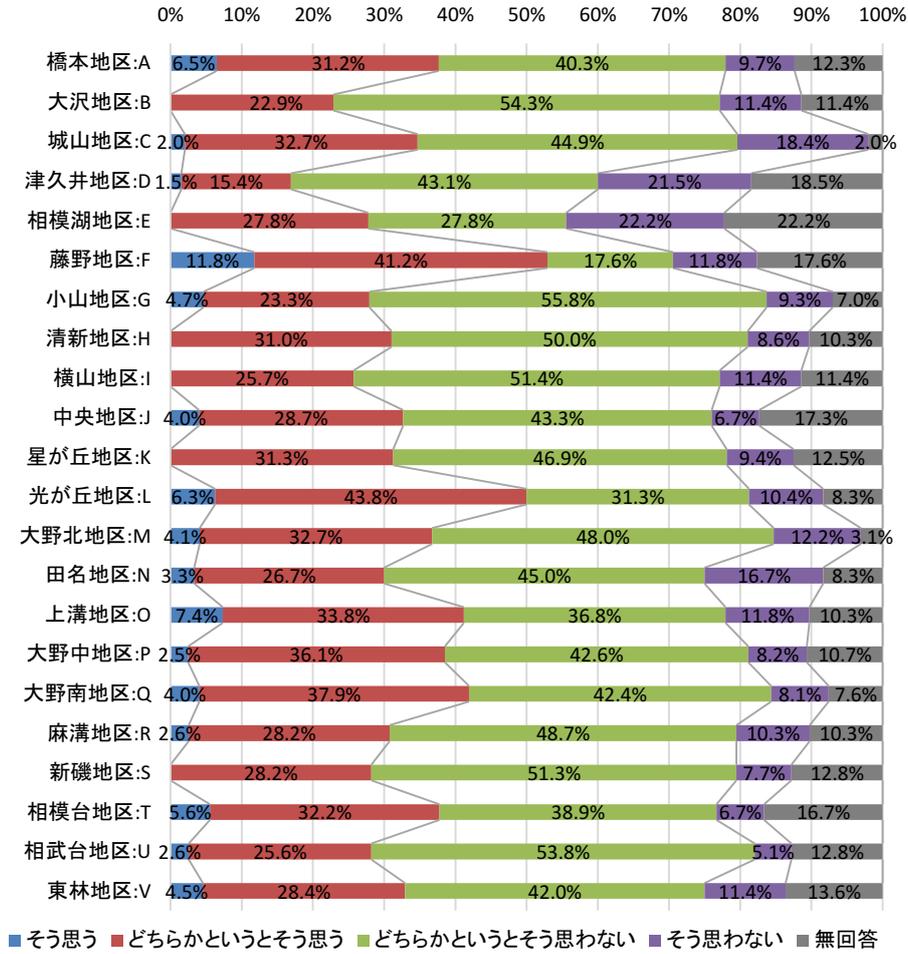
⑤ 居住地域別相模原市の良さ「文化的・芸術的」

- 相模原市の良さのうち、「文化的・芸術的」について、居住地別に見ると、相模湖地区で「そう思わない」が22.2%と最も高くなっており、次いで、津久井地区が21.5%、城山地区が18.4%となっている。
- ほぼ全ての地域では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっているが、藤野地区、光が丘地区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 一方で、藤野地区で「そう思う」が11.8%、上溝地区で「そう思う」が7.4%と他地区よりも高くなっている。また、大沢地区、相模湖地区、清新地区、横山地区、星が丘地区、新磯地区は「そう思う」が0%であった。

図表III-87 相模原市の良さ【文化的・芸術的】（居住地別、数値は%）（SA・SA）

		Q8カ 相模原市の良さ文化的・芸術的				
		そう思う	どちらかというと思 う	どちらかというと思 わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	橋本地区:A (n=154)	6.5	31.2	40.3	9.7	12.3
	大沢地区:B (n=70)	0.0	22.9	54.3	11.4	11.4
	城山地区:C (n=49)	2.0	32.7	44.9	18.4	2.0
	津久井地区:D (n=65)	1.5	15.4	43.1	21.5	18.5
	相模湖地区:E (n=18)	0.0	27.8	27.8	22.2	22.2
	藤野地区:F (n=17)	11.8	41.2	17.6	11.8	17.6
	小山地区:G (n=43)	4.7	23.3	55.8	9.3	7.0
	清新地区:H (n=58)	0.0	31.0	50.0	8.6	10.3
	横山地区:I (n=35)	0.0	25.7	51.4	11.4	11.4
	中央地区:J (n=150)	4.0	28.7	43.3	6.7	17.3
	星が丘地区:K (n=32)	0.0	31.3	46.9	9.4	12.5
	光が丘地区:L (n=48)	6.3	43.8	31.3	10.4	8.3
	大野北地区:M (n=98)	4.1	32.7	48.0	12.2	3.1
	田名地区:N (n=60)	3.3	26.7	45.0	16.7	8.3
	上溝地区:O (n=68)	7.4	33.8	36.8	11.8	10.3
	大野中地区:P (n=122)	2.5	36.1	42.6	8.2	10.7
	大野南地区:Q (n=198)	4.0	37.9	42.4	8.1	7.6
	麻溝地区:R (n=39)	2.6	28.2	48.7	10.3	10.3
	新磯地区:S (n=39)	0.0	28.2	51.3	7.7	12.8
	相模台地区:T (n=90)	5.6	32.2	38.9	6.7	16.7
相武台地区:U (n=39)	2.6	25.6	53.8	5.1	12.8	
東林地区:V (n=88)	4.5	28.4	42.0	11.4	13.6	

図表III-88 相模原市の良さ【文化的・芸術的】（居住地別）（S A・S A）



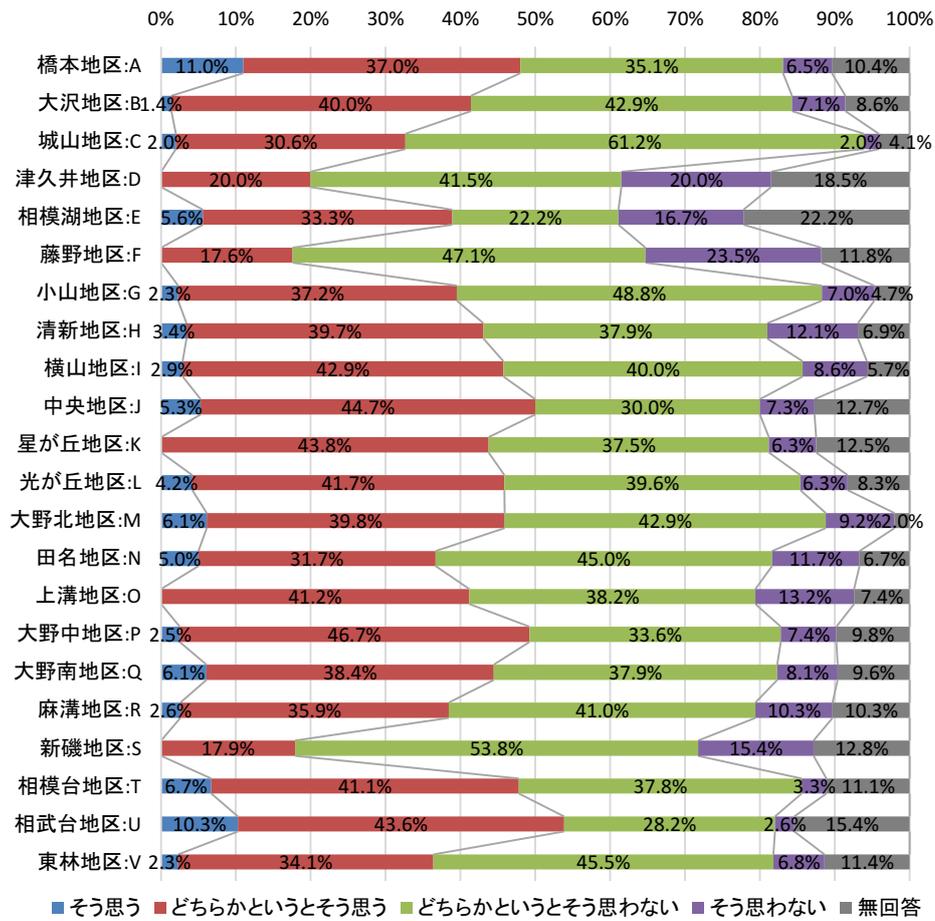
⑥ 居住地域別相模原市の良さ「防犯・交通安全対策が充実している」

- 相模原市の良さのうち、「防犯・交通安全対策が充実している」について、居住地別に見ると、藤野地区で「そう思わない」が23.5%と最も高くなっており、次いで、津久井地区が20.0%、相模湖地区が16.7%となっている。
- 橋本地区、相模湖地区、清新地区、横山地区、中央地区、星が丘地区、光が丘地区、上溝地区、大野中地区、大野南地区、相模台地区、相武台地区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 大沢地区、城山地区、津久井地区、藤野地区、小山地区、大野北地区、田名地区、麻溝地区、新磯地区、東林地区では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 一方で、橋本地区で「そう思う」が11.0%、相武台地区で「そう思う」が10.3%と他地区よりも高くなっている。また、津久井地区、藤野地区、星が丘地区、上溝地区、新磯地区は「そう思う」が0%であった。

図表III-89 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】（居住地別、数値は%）(SA・SA)

		Q8サ 相模原市の良さ:防犯・交通安全対策が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	橋本地区:A (n=154)	11.0	37.0	35.1	6.5	10.4
	大沢地区:B (n=70)	1.4	40.0	42.9	7.1	8.6
	城山地区:C (n=49)	2.0	30.6	61.2	2.0	4.1
	津久井地区:D (n=65)	0.0	20.0	41.5	20.0	18.5
	相模湖地区:E (n=18)	5.6	33.3	22.2	16.7	22.2
	藤野地区:F (n=17)	0.0	17.6	47.1	23.5	11.8
	小山地区:G (n=43)	2.3	37.2	48.8	7.0	4.7
	清新地区:H (n=58)	3.4	39.7	37.9	12.1	6.9
	横山地区:I (n=35)	2.9	42.9	40.0	8.6	5.7
	中央地区:J (n=150)	5.3	44.7	30.0	7.3	12.7
	星が丘地区:K (n=32)	0.0	43.8	37.5	6.3	12.5
	光が丘地区:L (n=48)	4.2	41.7	39.6	6.3	8.3
	大野北地区:M (n=98)	6.1	39.8	42.9	9.2	2.0
	田名地区:N (n=60)	5.0	31.7	45.0	11.7	6.7
	上溝地区:O (n=68)	0.0	41.2	38.2	13.2	7.4
	大野中地区:P (n=122)	2.5	46.7	33.6	7.4	9.8
	大野南地区:Q (n=198)	6.1	38.4	37.9	8.1	9.6
	麻溝地区:R (n=39)	2.6	35.9	41.0	10.3	10.3
	新磯地区:S (n=39)	0.0	17.9	53.8	15.4	12.8
相模台地区:T (n=90)	6.7	41.1	37.8	3.3	11.1	
相武台地区:U (n=39)	10.3	43.6	28.2	2.6	15.4	
東林地区:V (n=88)	2.3	34.1	45.5	6.8	11.4	

図表III-90 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】（居住地別）（S A・S A）



(2) 相模原市の良さの各項目に関する属性別クロス集計

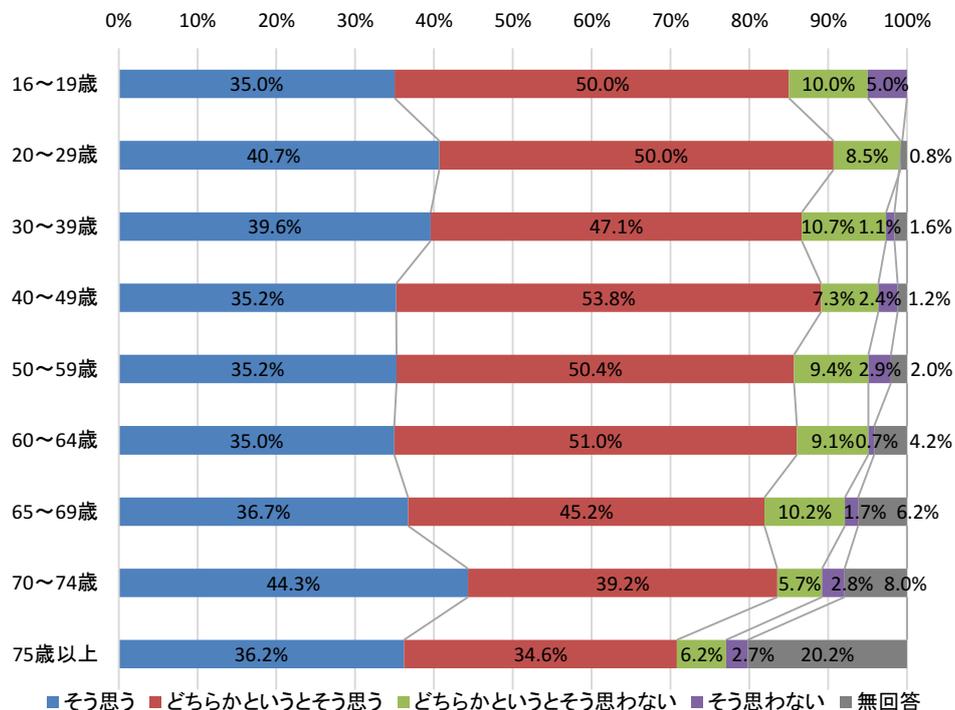
① 年齢階層別相模原市の良さ「自然が豊か」

- 相模原市の良さのうち、「自然が豊か」について、年齢階層別に見ると40～49歳で「どちらかというと思う」が53.8%と最も高くなっている。
- 16～19歳から65～69歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 70～74歳、75歳以上では、「そう思う」が最も高くなっている。
- 年齢階層による、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-91 相模原市の良さ【自然が豊か】（年齢階層別、数値は%）（S A・S A）

		Q87 相模原市の良さ自然が豊か				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	35.0	50.0	10.0	5.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	40.7	50.0	8.5	0.0	0.8
	30～39歳 (n=187)	39.6	47.1	10.7	1.1	1.6
	40～49歳 (n=247)	35.2	53.8	7.3	2.4	1.2
	50～59歳 (n=244)	35.2	50.4	9.4	2.9	2.0
	60～64歳 (n=143)	35.0	51.0	9.1	0.7	4.2
	65～69歳 (n=177)	36.7	45.2	10.2	1.7	6.2
	70～74歳 (n=176)	44.3	39.2	5.7	2.8	8.0
	75歳以上 (n=257)	36.2	34.6	6.2	2.7	20.2

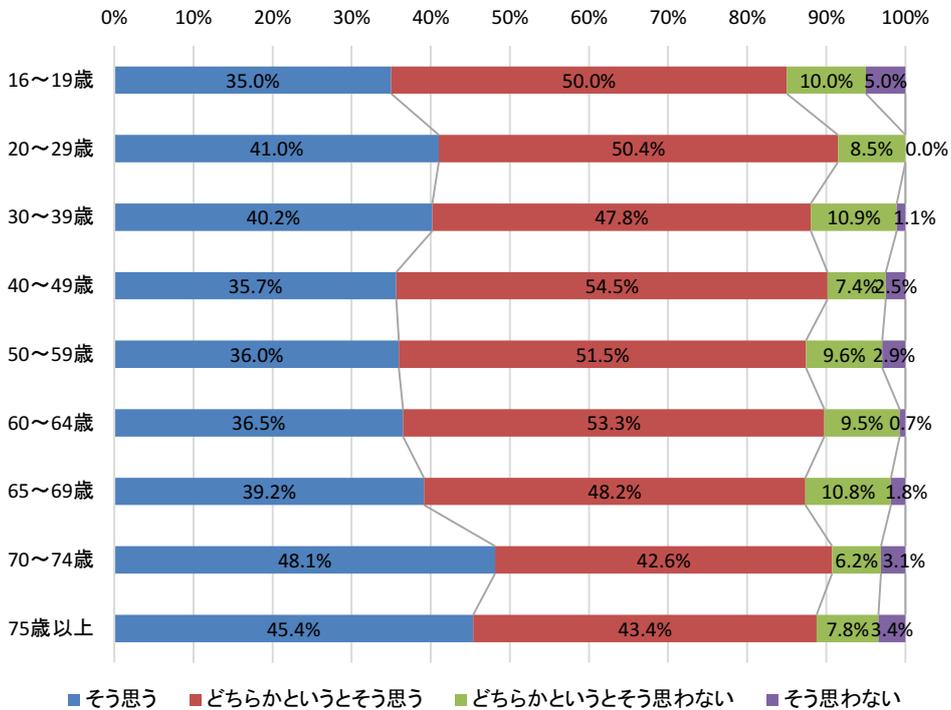
図表III-92 相模原市の良さ【自然が豊か】（年齢階層別）（S A・S A）



(参考) 図表III-93 相模原市の良さ【自然が豊か】
 (年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答除く)

		Q87 相模原市の良さ:自然が豊か				無回答
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	35.0	50.0	10.0	5.0	
	20～29歳 (n=117)	41.0	50.4	8.5	0.0	
	30～39歳 (n=184)	40.2	47.8	10.9	1.1	
	40～49歳 (n=244)	35.7	54.5	7.4	2.5	
	50～59歳 (n=239)	36.0	51.5	9.6	2.9	
	60～64歳 (n=137)	36.5	53.3	9.5	0.7	
	65～69歳 (n=166)	39.2	48.2	10.8	1.8	
	70～74歳 (n=162)	48.1	42.6	6.2	3.1	
	75歳以上 (n=205)	45.4	43.4	7.8	3.4	

(参考) 図表III-94 相模原市の良さ【自然が豊か】
 (年齢階層別) (S A・S A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「自然が豊か」

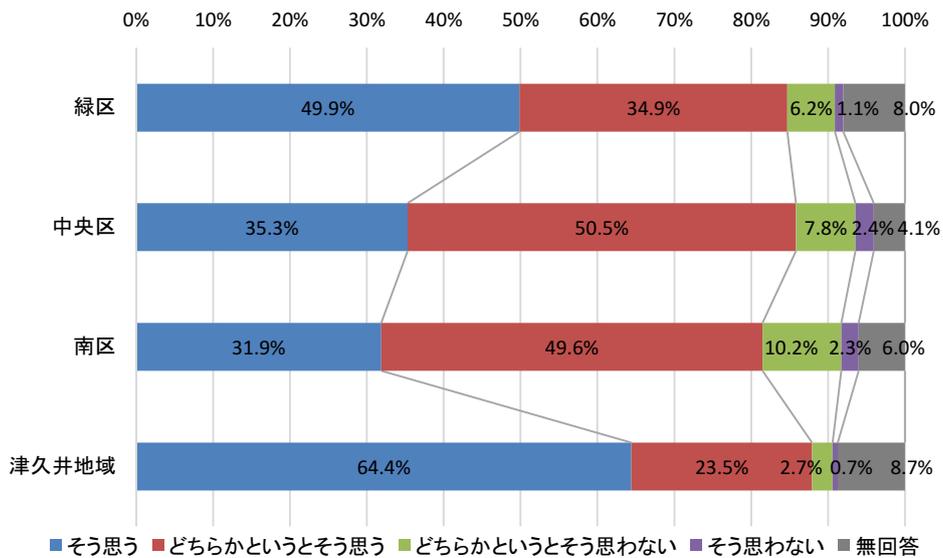
- 相模原市の良さのうち、「自然が豊か」について、居住地区別に見ると津久井地域で「そう思う」が64.4%と最も高くなっている。
- 緑区、津久井地域では「そう思う」が最も高くなっている。
- 中央区、南区では「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 緑区、津久井地域は、中央区、南区と比較すると「そう思う」が高くなっている。

図表III-95 相模原市の良さ【自然が豊か】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ:自然が豊か				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	49.9	34.9	6.2	1.1	8.0
	中央区 (n=592)	35.3	50.5	7.8	2.4	4.1
	南区 (n=615)	31.9	49.6	10.2	2.3	6.0
	津久井地域 (n=149)	64.4	23.5	2.7	0.7	8.7

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-96 相模原市の良さ【自然が豊か】（居住地区別）（SA・SA）



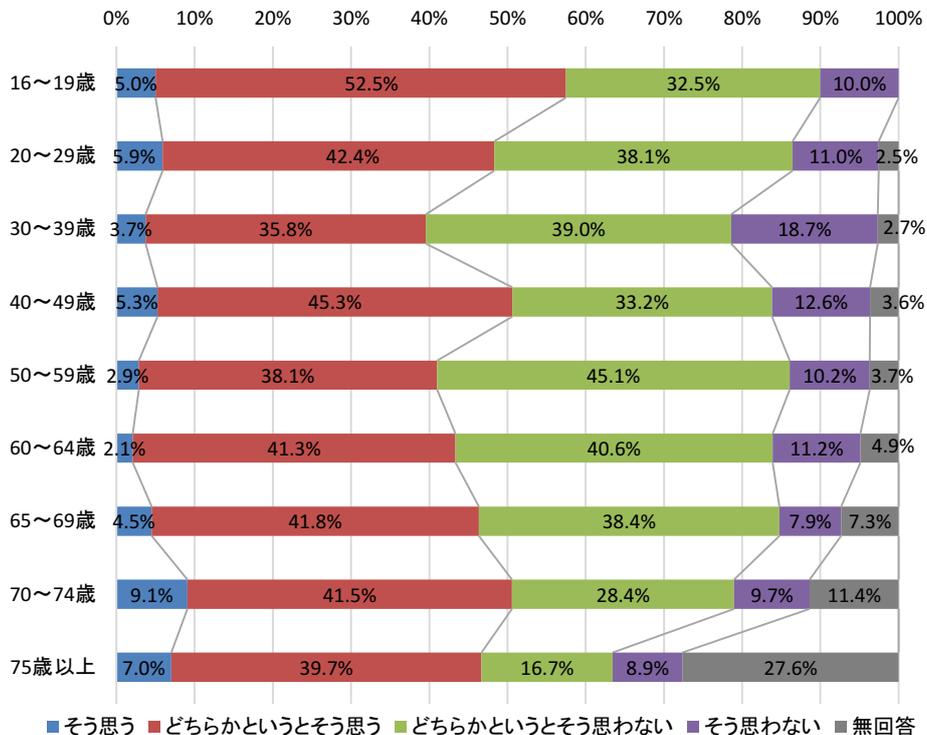
① 年齢階層別相模原市の良さ「人と人のつながりが強い」

- 相模原市の良さのうち、「人と人のつながりが強い」について、年齢階層別に見ると16～19歳で「どちらかというと思う」が52.5%と最も高くなっている。
- 16～19歳、20～29歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 30～39歳では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 40～49歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 50～59歳では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- また、年齢階層において、顕著な傾向の差は見られないが、30～39歳で「そう思わない」が他の年齢階層よりも高くなっている。

図表III-97 相模原市の良さ【人と人のつながりが強い】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q81 相模原市の良さ人と人のつながりが強い				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	52.5	32.5	10.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	5.9	42.4	38.1	11.0	2.5
	30～39歳 (n=187)	3.7	35.8	39.0	18.7	2.7
	40～49歳 (n=247)	5.3	45.3	33.2	12.6	3.6
	50～59歳 (n=244)	2.9	38.1	45.1	10.2	3.7
	60～64歳 (n=143)	2.1	41.3	40.6	11.2	4.9
	65～69歳 (n=177)	4.5	41.8	38.4	7.9	7.3
	70～74歳 (n=176)	9.1	41.5	28.4	9.7	11.4
	75歳以上 (n=257)	7.0	39.7	16.7	8.9	27.6

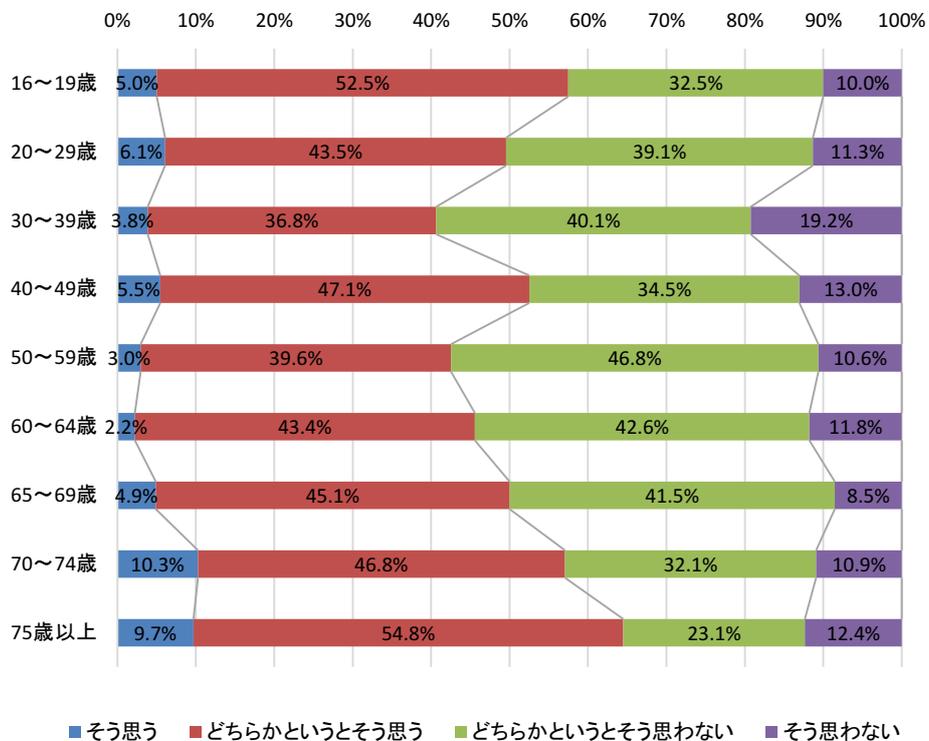
図表III-98 相模原市の良さ【人と人のつながりが強い】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-99 相模原市の良さ【人と人とのつながりが強い】
 (年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答除く)

		Q81 相模原市の良さ【人と人とのつながりが強い】				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	52.5	32.5	10.0	
	20～29歳 (n=115)	6.1	43.5	39.1	11.3	
	30～39歳 (n=182)	3.8	36.8	40.1	19.2	
	40～49歳 (n=238)	5.5	47.1	34.5	13.0	
	50～59歳 (n=235)	3.0	39.6	46.8	10.6	
	60～64歳 (n=136)	2.2	43.4	42.6	11.8	
	65～69歳 (n=164)	4.9	45.1	41.5	8.5	
	70～74歳 (n=156)	10.3	46.8	32.1	10.9	
	75歳以上 (n=186)	9.7	54.8	23.1	12.4	

(参考) 図表III-100 相模原市の良さ【人と人とのつながりが強い】
 (年齢階層別) (S A・S A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「人と人のつながりが強い」

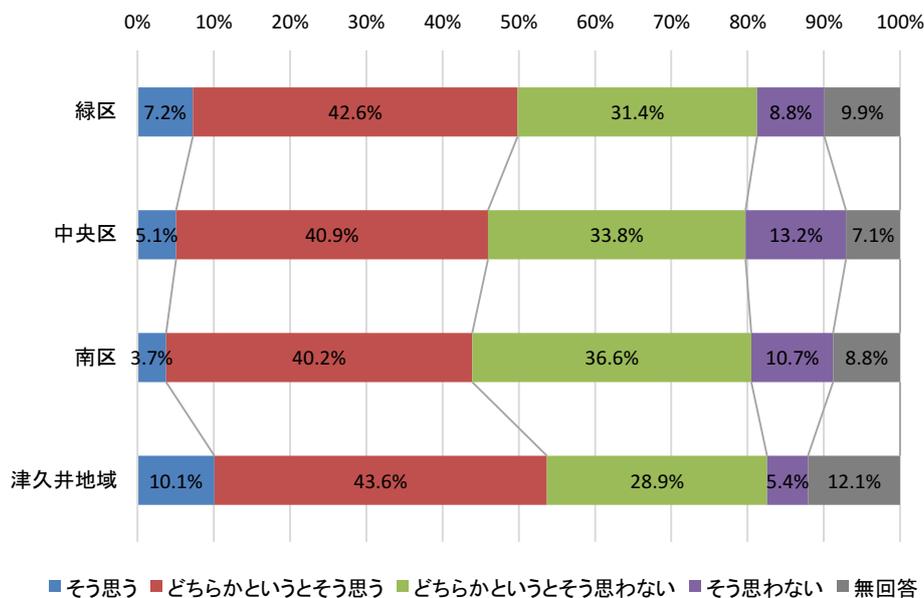
- 相模原市の良さのうち、「人と人のつながりが強い」について、居住地区別に見ると津久井地域で「どちらかというと思う」が43.6%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域全てにおいて、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住区、地域による顕著な傾向の差は見られない。

図表III-101 相模原市の良さ【人と人のつながりが強い】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q81 相模原市の良さ:人と人のつながりが強い				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	7.2	42.6	31.4	8.8	9.9
	中央区 (n=592)	5.1	40.9	33.8	13.2	7.1
	南区 (n=615)	3.7	40.2	36.6	10.7	8.8
	津久井地域 (n=149)	10.1	43.6	28.9	5.4	12.1

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-102 相模原市の良さ【人と人のつながりが強い】（居住地区別）（SA・SA）



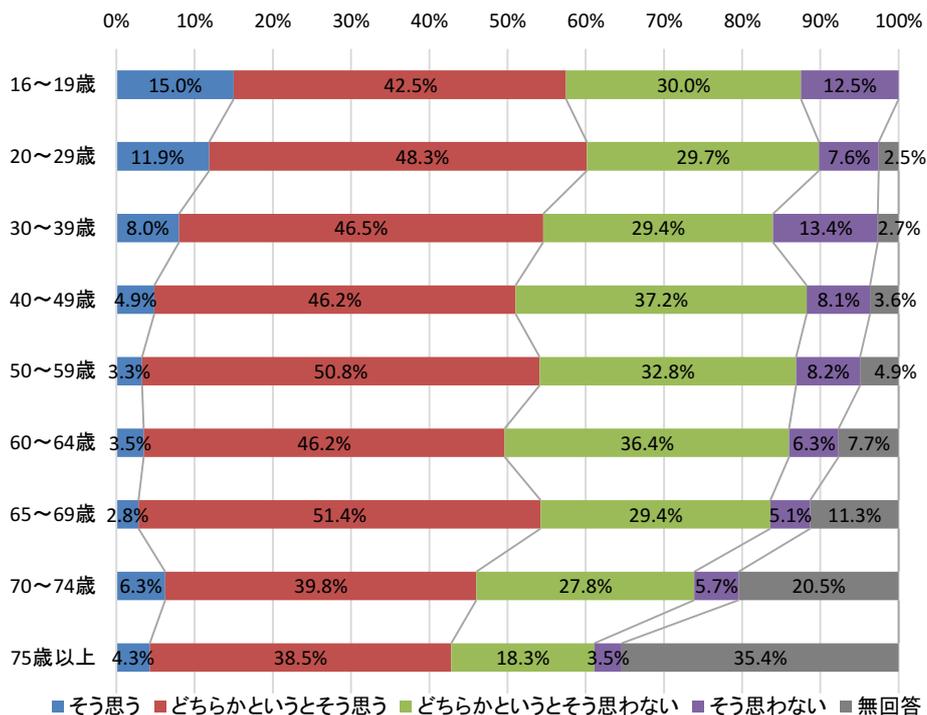
① 年齢階層別相模原市の良さ「子育て環境が充実している」

- 相模原市の良さのうち、「子育て環境が充実している」について、年齢階層別に見ると65～69歳で「どちらかというと思う」が51.4%と最も高くなっている。
- 全ての年齢階層において、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- また、年齢階層が若いほど、「そう思う」と思う割合が高い傾向が見られる。

図表III-103 相模原市の良さ【子育て環境が充実している】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q8の 相模原市の良さ子育て環境が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	15.0	42.5	30.0	12.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	11.9	48.3	29.7	7.6	2.5
	30～39歳 (n=187)	8.0	46.5	29.4	13.4	2.7
	40～49歳 (n=247)	4.9	46.2	37.2	8.1	3.6
	50～59歳 (n=244)	3.3	50.8	32.8	8.2	4.9
	60～64歳 (n=143)	3.5	46.2	36.4	6.3	7.7
	65～69歳 (n=177)	2.8	51.4	29.4	5.1	11.3
	70～74歳 (n=176)	6.3	39.8	27.8	5.7	20.5
	75歳以上 (n=257)	4.3	38.5	18.3	3.5	35.4

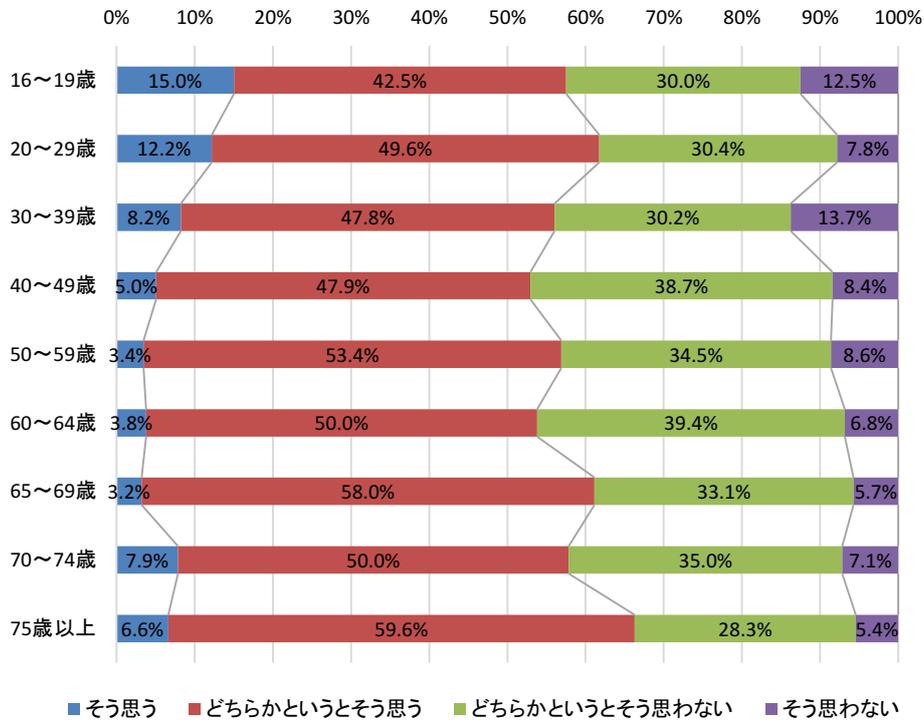
図表III-104 相模原市の良さ【子育て環境が充実している】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-105 相模原市の良さ【子育て環境が充実している】
 (年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答除く)

		Q87 相模原市の良さ子育て環境が充実している				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	15.0	42.5	30.0	12.5	
	20～29歳 (n=115)	12.2	49.6	30.4	7.8	
	30～39歳 (n=182)	8.2	47.8	30.2	13.7	
	40～49歳 (n=238)	5.0	47.9	38.7	8.4	
	50～59歳 (n=232)	3.4	53.4	34.5	8.6	
	60～64歳 (n=132)	3.8	50.0	39.4	6.8	
	65～69歳 (n=157)	3.2	58.0	33.1	5.7	
	70～74歳 (n=140)	7.9	50.0	35.0	7.1	
	75歳以上 (n=166)	6.6	59.6	28.3	5.4	

(参考) 図表III-106 相模原市の良さ【子育て環境が充実している】
 (年齢階層別) (S A・S A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「子育て環境が充実している」

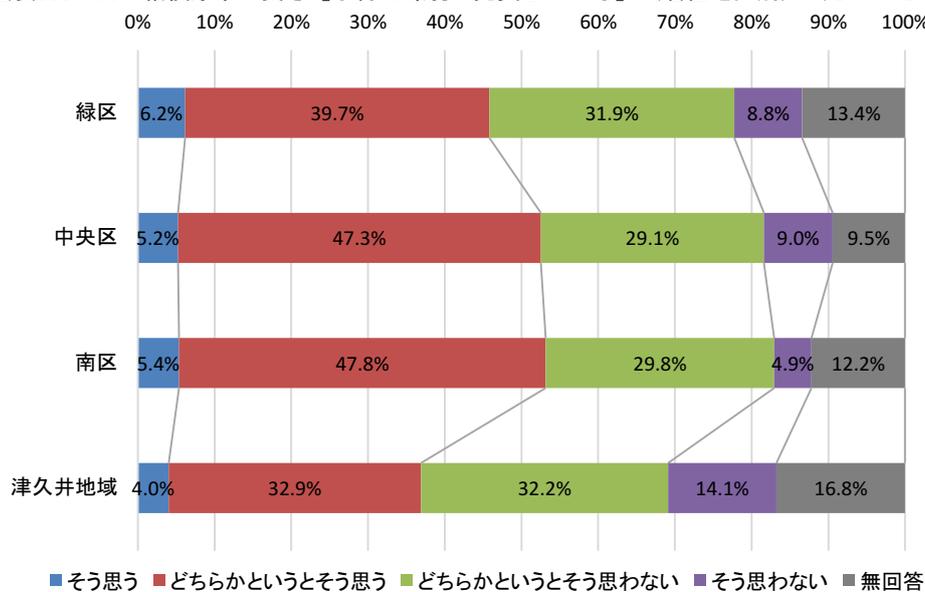
- 相模原市の良さのうち、「子育て環境が充実している」について、居住地区別に見ると南区で「どちらかというと思う」が47.8%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域の全てにおいて、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住区、地域による顕著な傾向の差は見られない。

図表III-107 相模原市の良さ【子育て環境が充実している】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q8の 相模原市の良さ:子育て環境が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	6.2	39.7	31.9	8.8	13.4
	中央区 (n=592)	5.2	47.3	29.1	9.0	9.5
	南区 (n=615)	5.4	47.8	29.8	4.9	12.2
	津久井地域 (n=149)	4.0	32.9	32.2	14.1	16.8

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-108 相模原市の良さ【子育て環境が充実している】（居住地区別）（SA・SA）



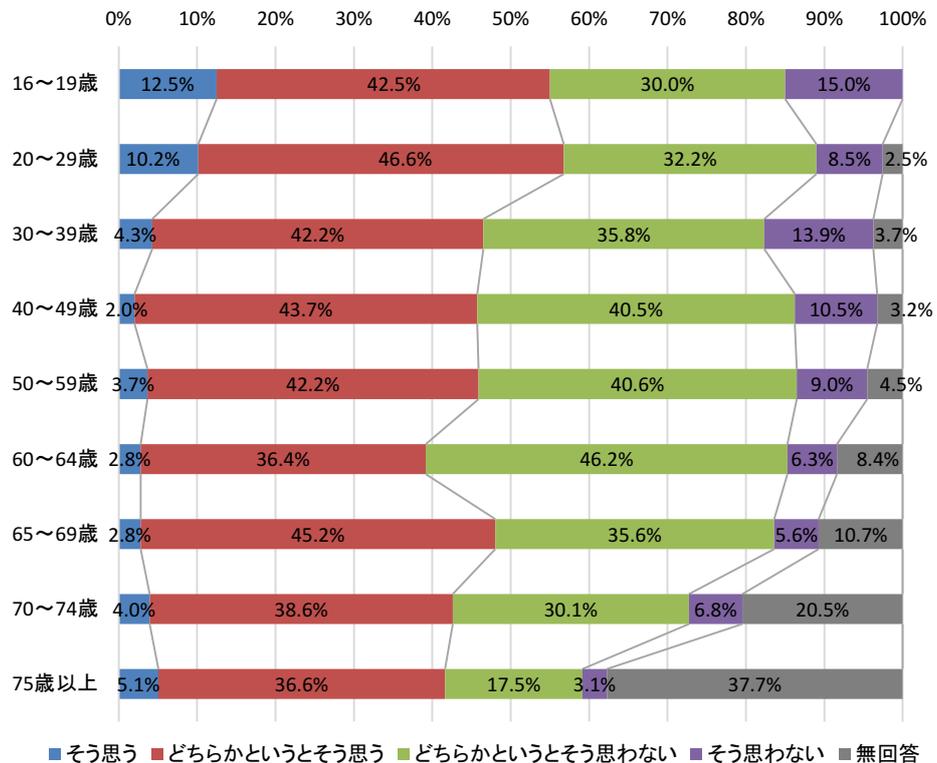
① 年齢階層別相模原市の良さ「教育環境が充実している」

- 相模原市の良さのうち、「教育環境が充実している」について、年齢階層別に見ると20～29歳で「どちらかというと思う」が46.6%と最も高くなっている。
- 60～64歳では「どちらかというと思わない」が最も高くなっているが、他の年齢階層においては「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- また、年齢階層が若いほど、「思う」と感じる方の割合がやや高い傾向が見られる。

図表III-109 相模原市の良さ【教育環境が充実している】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q8E 相模原市の良さ教育環境が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	12.5	42.5	30.0	15.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	10.2	46.6	32.2	8.5	2.5
	30～39歳 (n=187)	4.3	42.2	35.8	13.9	3.7
	40～49歳 (n=247)	2.0	43.7	40.5	10.5	3.2
	50～59歳 (n=244)	3.7	42.2	40.6	9.0	4.5
	60～64歳 (n=143)	2.8	36.4	46.2	6.3	8.4
	65～69歳 (n=177)	2.8	45.2	35.6	5.6	10.7
	70～74歳 (n=176)	4.0	38.6	30.1	6.8	20.5
	75歳以上 (n=257)	5.1	36.6	17.5	3.1	37.7

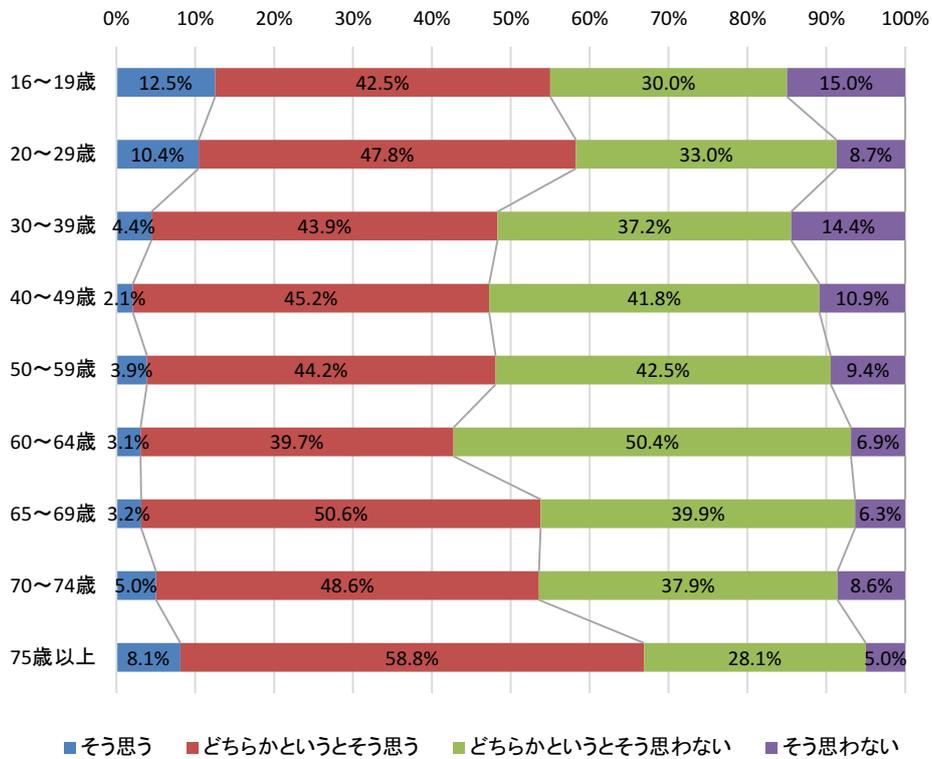
図表III-110 相模原市の良さ【教育環境が充実している】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-111 相模原市の良さ【教育環境が充実している】
 (年齢階層別、数値は%) (S・A・SA) (無回答除く)

		Q8I 相模原市の良さ教育環境が充実している			
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	12.5	42.5	30.0	15.0
	20～29歳 (n=115)	10.4	47.8	33.0	8.7
	30～39歳 (n=180)	4.4	43.9	37.2	14.4
	40～49歳 (n=239)	2.1	45.2	41.8	10.9
	50～59歳 (n=233)	3.9	44.2	42.5	9.4
	60～64歳 (n=131)	3.1	39.7	50.4	6.9
	65～69歳 (n=158)	3.2	50.6	39.9	6.3
	70～74歳 (n=140)	5.0	48.6	37.9	8.6
	75歳以上 (n=160)	8.1	58.8	28.1	5.0

(参考) 図表III-112 相模原市の良さ【教育環境が充実している】
 (年齢階層別) (S・A・SA) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「教育環境が充実している」

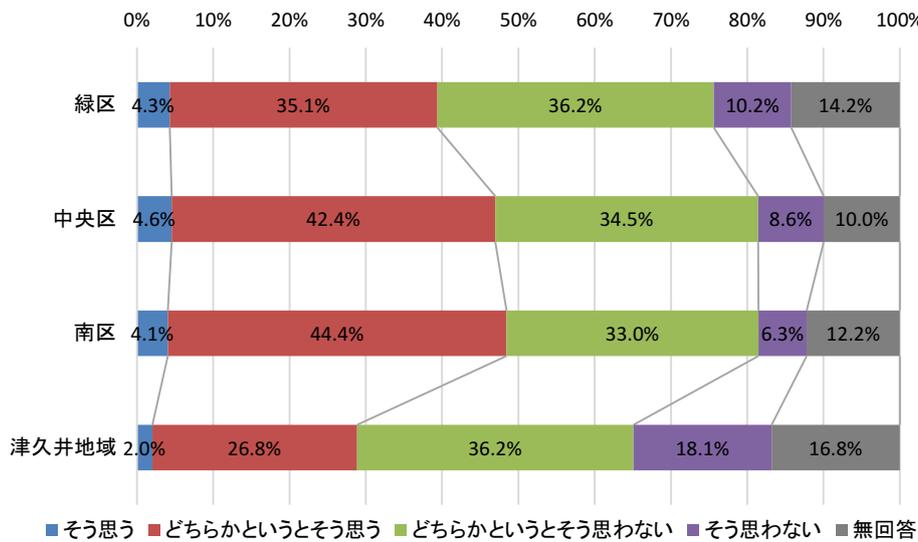
- 相模原市の良さのうち、「教育環境が充実している」について、居住地区別に見ると南区で「どちらかというと思う」が44.4%と最も高くなっている。
- 緑区、津久井地域では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 中央区、南区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住区、地域における顕著な傾向の差は見られない。

図表III-113 相模原市の良さ【教育環境が充実している】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q8E 相模原市の良さ教育環境が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	4.3	35.1	36.2	10.2	14.2
	中央区 (n=592)	4.6	42.4	34.5	8.6	10.0
	南区 (n=615)	4.1	44.4	33.0	6.3	12.2
	津久井地域 (n=149)	2.0	26.8	36.2	18.1	16.8

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-114 相模原市の良さ【教育環境が充実している】（居住地区別）（SA・SA）



① 年齢階層別相模原市の良さ「スポーツが盛ん」

- 相模原市の良さのうち、「スポーツが盛ん」について、年齢階層別に見ると 50～59 歳で「どちらかというと思わない」が 46.3%と最も高くなっている。
- 16～19 歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 20～29 歳、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 60～64 歳、65～69 歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 70～74 歳では、「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 75 歳以上では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 年齢階層による顕著な傾向の差は見られない。

図表III-115 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q8オ 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	42.5	37.5	10.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	7.6	39.8	41.5	8.5	2.5
	30～39歳 (n=187)	4.8	33.7	45.5	12.8	3.2
	40～49歳 (n=247)	6.1	40.9	44.5	5.7	2.8
	50～59歳 (n=244)	4.1	38.9	46.3	6.1	4.5
	60～64歳 (n=143)	2.8	42.7	42.0	6.3	6.3
	65～69歳 (n=177)	5.1	44.6	38.4	2.3	9.6
	70～74歳 (n=176)	8.5	33.0	33.0	6.3	19.3
	75歳以上 (n=257)	5.1	28.8	21.8	7.0	37.4

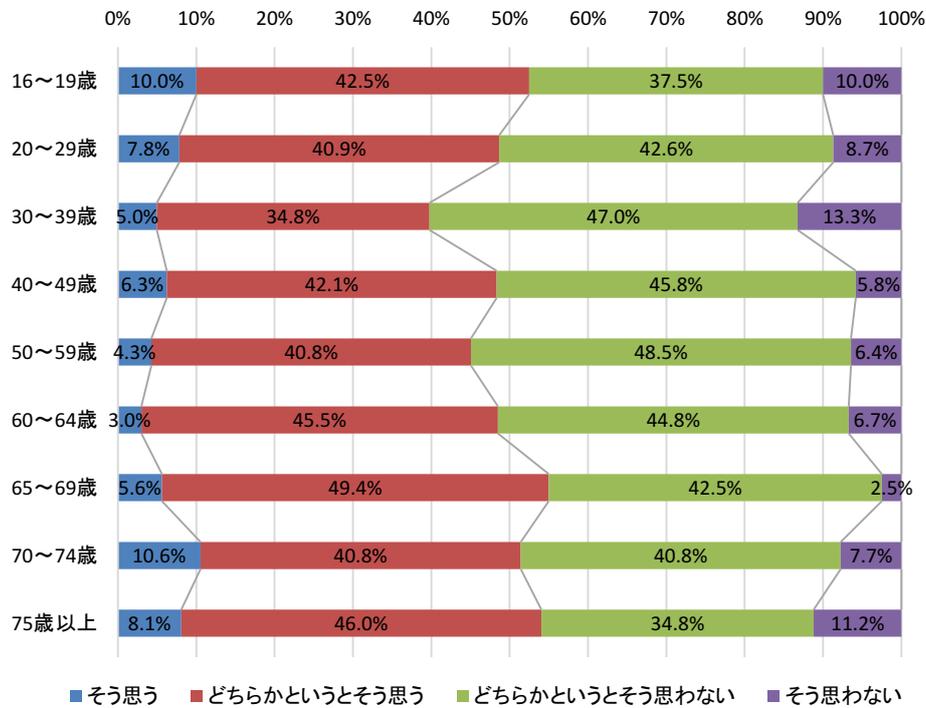
図表III-116 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-117 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】
 (年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答含む)

		Q8才 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	42.5	37.5	10.0	
	20～29歳 (n=115)	7.8	40.9	42.6	8.7	
	30～39歳 (n=181)	5.0	34.8	47.0	13.3	
	40～49歳 (n=240)	6.3	42.1	45.8	5.8	
	50～59歳 (n=233)	4.3	40.8	48.5	6.4	
	60～64歳 (n=134)	3.0	45.5	44.8	6.7	
	65～69歳 (n=160)	5.6	49.4	42.5	2.5	
	70～74歳 (n=142)	10.6	40.8	40.8	7.7	
	75歳以上 (n=161)	8.1	46.0	34.8	11.2	

(参考) 図表III-118 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】
 (年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答含む)



② 居住地区別相模原市の良さ「スポーツが盛ん」

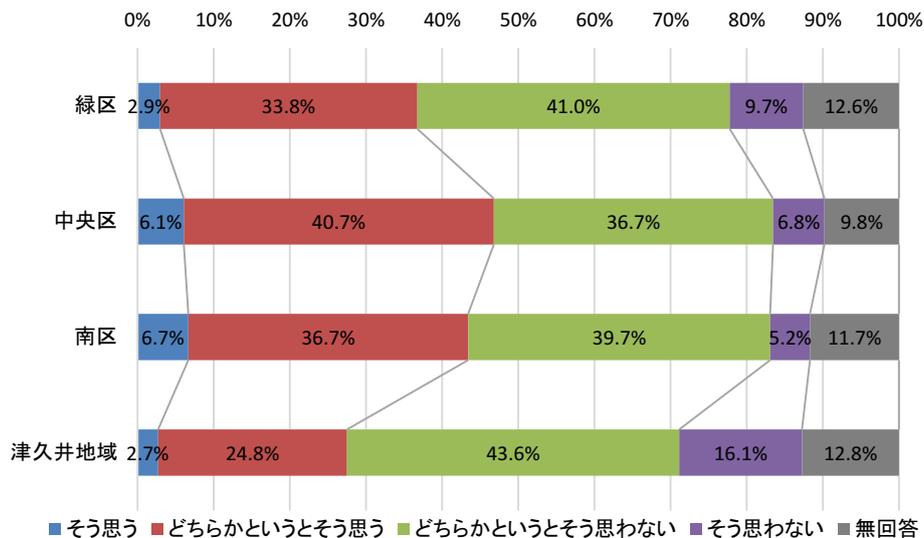
- 相模原市の良さのうち、「スポーツが盛ん」について、居住地区別に見ると津久井地域で「どちらかというと思わない」が43.6%と最も高くなっている。
- 緑区、南区、津久井地域では「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 中央区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 中央区は、他区、地域と比較してスポーツが盛んだと思う割合が高くなっている。

図表III-119 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q8 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	2.9	33.8	41.0	9.7	12.6
	中央区 (n=592)	6.1	40.7	36.7	6.8	9.8
	南区 (n=615)	6.7	36.7	39.7	5.2	11.7
	津久井地域 (n=149)	2.7	24.8	43.6	16.1	12.8

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-120 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】（居住地区別）（SA・SA）



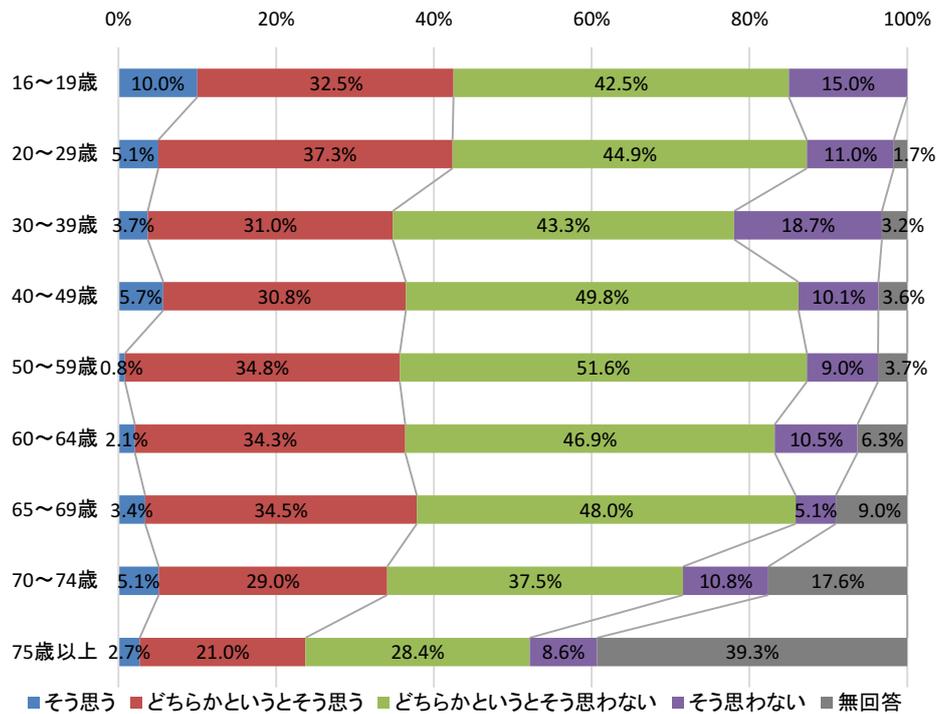
① 年齢階層別相模原市の良さ「文化的・芸術的」

- 相模原市の良さのうち、「文化的・芸術的」について、年齢階層別に見ると 50～59 歳で「どちらかというと思わない」が 51.6%と最も高くなっている。
- 全ての年齢階層において、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 年齢階層による顕著な特徴の差は見られない。

図表III-121 相模原市の良さ【文化的・芸術的】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q8カ 相模原市の良さ:文化的・芸術的				
		そう思う	どちらかというと思 う	どちらかというと思 わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	32.5	42.5	15.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	5.1	37.3	44.9	11.0	1.7
	30～39歳 (n=187)	3.7	31.0	43.3	18.7	3.2
	40～49歳 (n=247)	5.7	30.8	49.8	10.1	3.6
	50～59歳 (n=244)	0.8	34.8	51.6	9.0	3.7
	60～64歳 (n=143)	2.1	34.3	46.9	10.5	6.3
	65～69歳 (n=177)	3.4	34.5	48.0	5.1	9.0
	70～74歳 (n=176)	5.1	29.0	37.5	10.8	17.6
	75歳以上 (n=257)	2.7	21.0	28.4	8.6	39.3

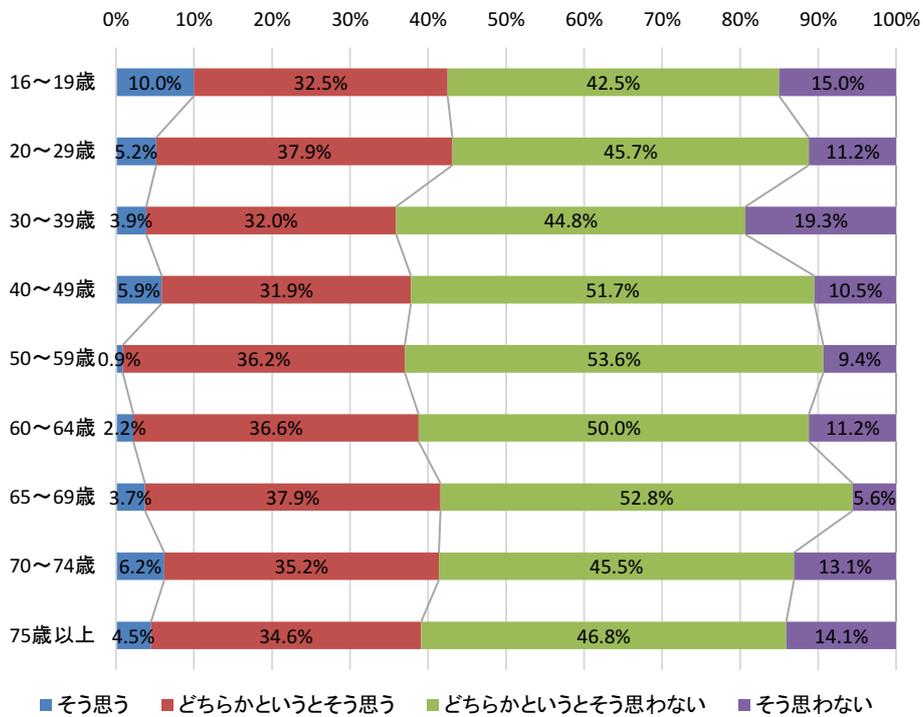
図表III-122 相模原市の良さ【文化的・芸術的】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-123 相模原市の良さ【文化的・芸術的】
(年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答除く)

		Q8カ 相模原市の良さ【文化的・芸術的】				無回答
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	32.5	42.5	15.0	
	20～29歳 (n=116)	5.2	37.9	45.7	11.2	
	30～39歳 (n=181)	3.9	32.0	44.8	19.3	
	40～49歳 (n=238)	5.9	31.9	51.7	10.5	
	50～59歳 (n=235)	0.9	36.2	53.6	9.4	
	60～64歳 (n=134)	2.2	36.6	50.0	11.2	
	65～69歳 (n=161)	3.7	37.9	52.8	5.6	
	70～74歳 (n=145)	6.2	35.2	45.5	13.1	
	75歳以上 (n=156)	4.5	34.6	46.8	14.1	

(参考) 図表III-124 相模原市の良さ【文化的・芸術的】
(年齢階層別) (S A・S A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「文化的・芸術的」

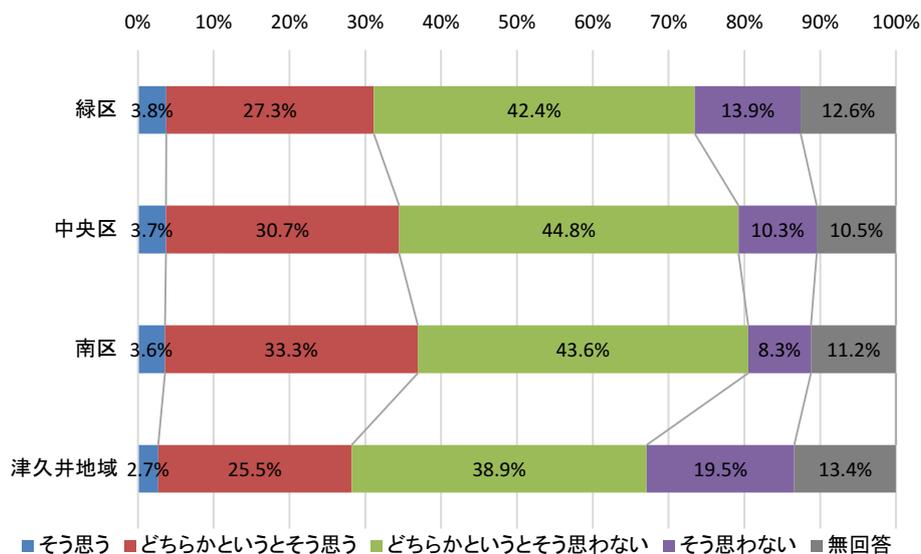
- 相模原市の良さのうち、「文化的・芸術的」について、居住地区別に見ると中央区で「どちらかというと思わない」が44.8%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域の全てにおいて「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 居住区、地域における顕著な傾向の差は見られない。

図表III-125 相模原市の良さ【文化的・芸術的】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q8a 相模原市の良さ:文化的・芸術的				
		そう思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	3.8	27.3	42.4	13.9	12.6
	中央区 (n=592)	3.7	30.7	44.8	10.3	10.5
	南区 (n=615)	3.6	33.3	43.6	8.3	11.2
	津久井地域 (n=149)	2.7	25.5	38.9	19.5	13.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-126 相模原市の良さ【文化的・芸術的】（居住地区別）（SA・SA）



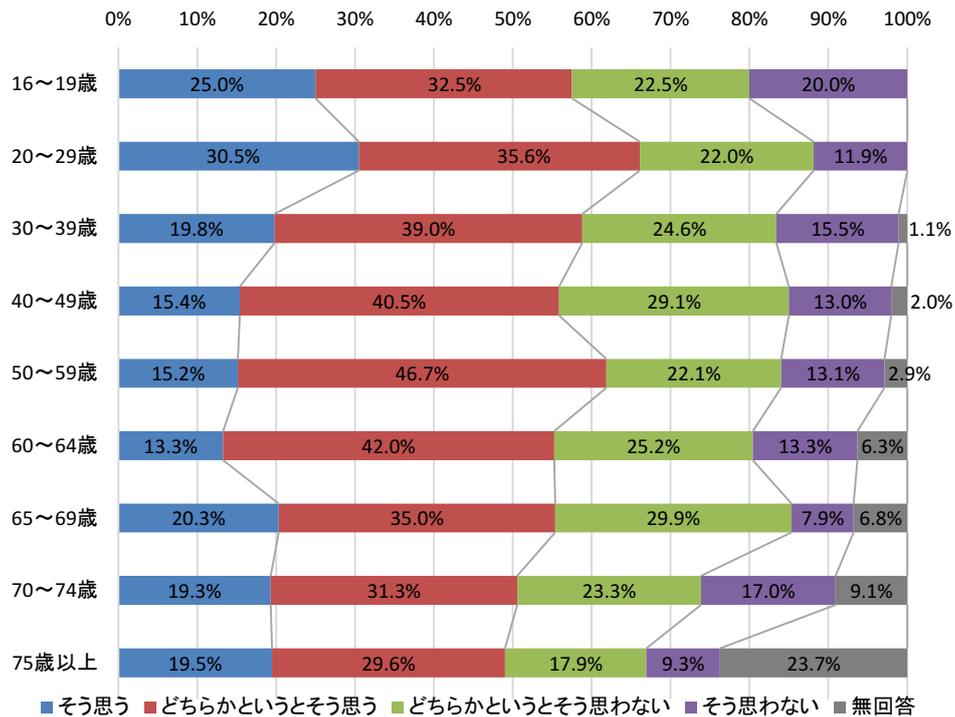
① 年齢階層別相模原市の良さ「交通の便が良い」

- 相模原市の良さのうち、「交通の便が良い」について、年齢階層別に見ると 50～59 歳で「どちらかというと思う」が 46.7%と最も高くなっている。
- 全ての年齢階層において、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 若い世代、高齢世代においては、「そう思う」が中間世代よりも高くなっている。

図表III-127 相模原市の良さ【交通の便が良い】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q8キ 相模原市の良さ:交通の便が良い				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	25.0	32.5	22.5	20.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	30.5	35.6	22.0	11.9	0.0
	30～39歳 (n=187)	19.8	39.0	24.6	15.5	1.1
	40～49歳 (n=247)	15.4	40.5	29.1	13.0	2.0
	50～59歳 (n=244)	15.2	46.7	22.1	13.1	2.9
	60～64歳 (n=143)	13.3	42.0	25.2	13.3	6.3
	65～69歳 (n=177)	20.3	35.0	29.9	7.9	6.8
	70～74歳 (n=176)	19.3	31.3	23.3	17.0	9.1
	75歳以上 (n=257)	19.5	29.6	17.9	9.3	23.7

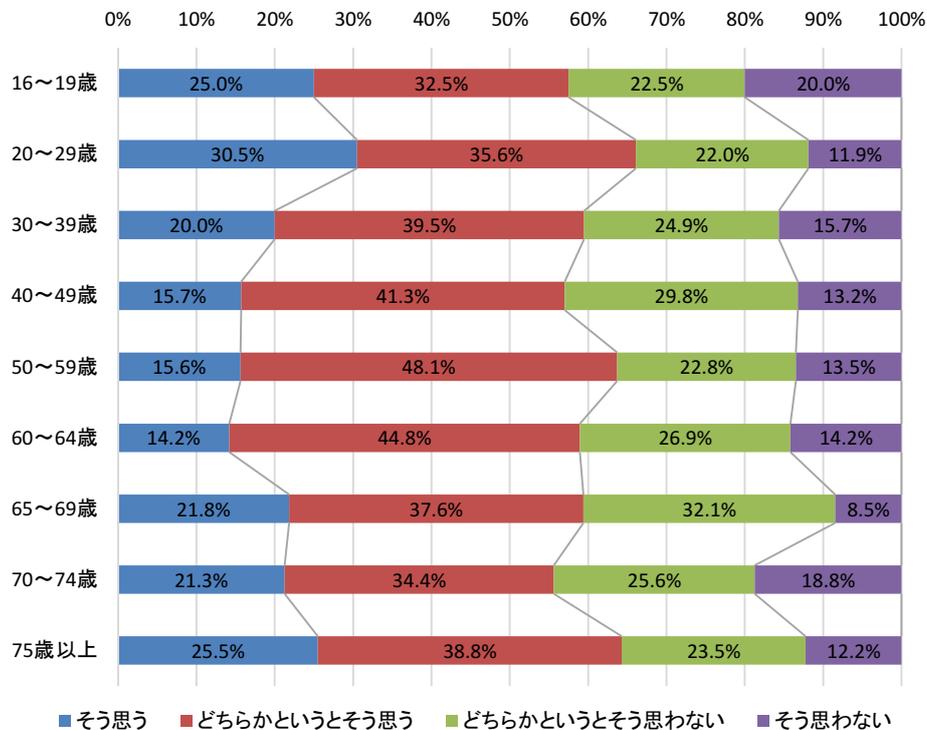
図表III-128 相模原市の良さ【交通の便が良い】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-129 相模原市の良さ【交通の便が良い】
 (年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答除く)

		Q8キ 相模原市の良さ:交通の便が良い				無回答
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	25.0	32.5	22.5	20.0	
	20～29歳 (n=118)	30.5	35.6	22.0	11.9	
	30～39歳 (n=185)	20.0	39.5	24.9	15.7	
	40～49歳 (n=242)	15.7	41.3	29.8	13.2	
	50～59歳 (n=237)	15.6	48.1	22.8	13.5	
	60～64歳 (n=134)	14.2	44.8	26.9	14.2	
	65～69歳 (n=165)	21.8	37.6	32.1	8.5	
	70～74歳 (n=160)	21.3	34.4	25.6	18.8	
	75歳以上 (n=196)	25.5	38.8	23.5	12.2	

(参考) 図表III-130 相模原市の良さ【交通の便が良い】
 (年齢階層別) (S A・S A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「交通の便が良い」

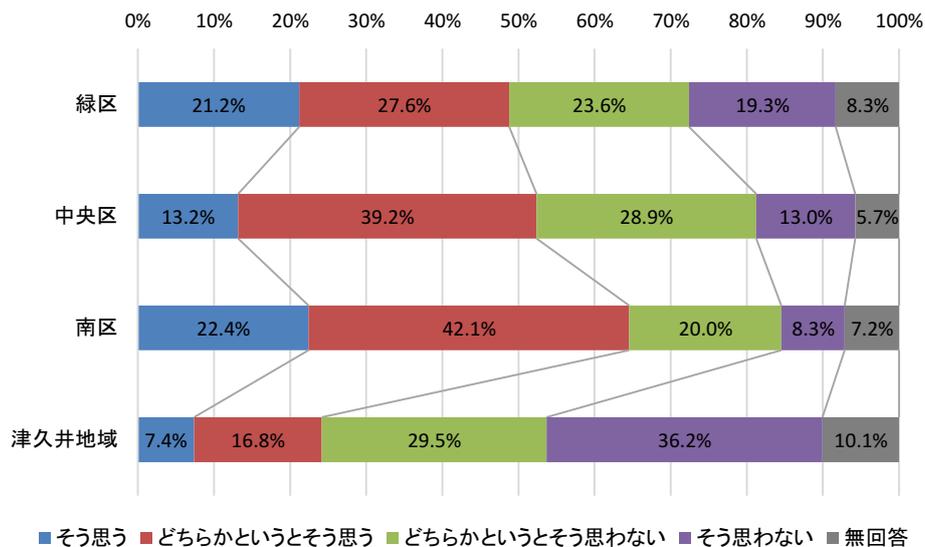
- 相模原市の良さのうち、「交通の便が良い」について、居住地区別に見ると南区で「どちらかというと思う」が42.1%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 津久井地域では、「そう思わない」が最も高くなっている。
- 南区では交通の便が良いと感じる割合が高く、津久井地域では交通の便が良いと感じる割合が低い傾向が見られる。

図表III-131 相模原市の良さ【交通の便が良い】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q8キ 相模原市の良さ交通の便が良い				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	21.2	27.6	23.6	19.3	8.3
	中央区 (n=592)	13.2	39.2	28.9	13.0	5.7
	南区 (n=615)	22.4	42.1	20.0	8.3	7.2
	津久井地域 (n=149)	7.4	16.8	29.5	36.2	10.1

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-132 相模原市の良さ【交通の便が良い】（居住地区別）（SA・SA）



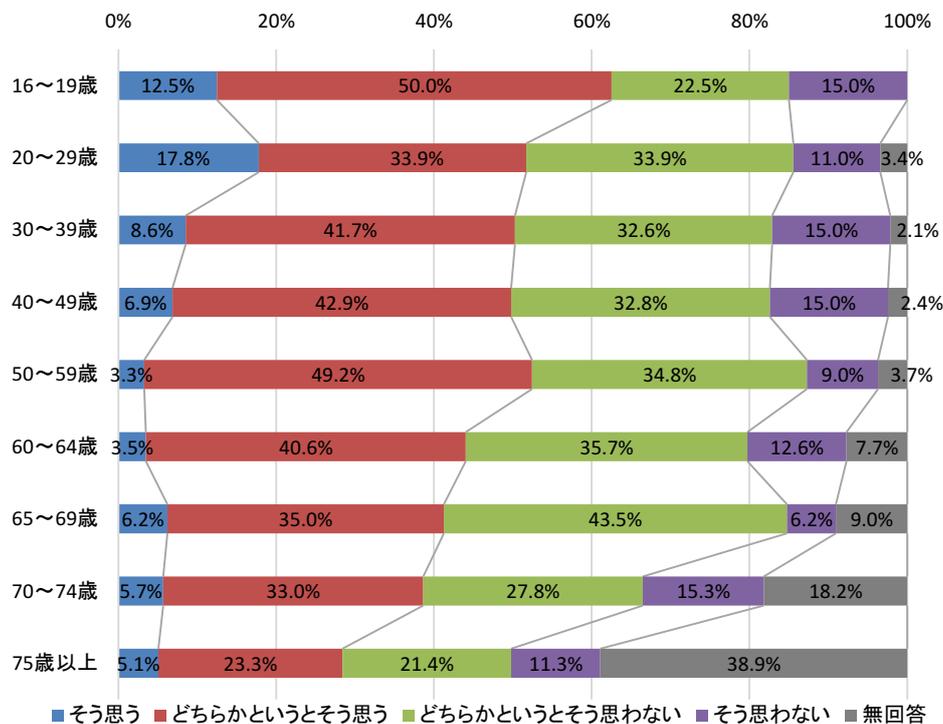
① 年齢階層別相模原市の良さ「働く場所が多い」

- 相模原市の良さのうち、「働く場所が多い」について、年齢階層別に見ると 16～19 歳で「どちらかというと思う」が 50.0%と最も高くなっている。
- 16～19 歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 20～29 歳では、「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」が最も高くなっている
- 30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳、60～64 歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 65～69 歳では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 70～74 歳、75 歳以上では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 16～19 歳では、他の年代よりも働く場所が多いと感じる方の割合が高く、年齢が上がるほど、そう思わない方の割合がやや高くなっている。

図表III-133 相模原市の良さ【働く場所が多い】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ働く場所が多い				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	12.5	50.0	22.5	15.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	17.8	33.9	33.9	11.0	3.4
	30～39歳 (n=187)	8.6	41.7	32.6	15.0	2.1
	40～49歳 (n=247)	6.9	42.9	32.8	15.0	2.4
	50～59歳 (n=244)	3.3	49.2	34.8	9.0	3.7
	60～64歳 (n=143)	3.5	40.6	35.7	12.6	7.7
	65～69歳 (n=177)	6.2	35.0	43.5	6.2	9.0
	70～74歳 (n=176)	5.7	33.0	27.8	15.3	18.2
	75歳以上 (n=257)	5.1	23.3	21.4	11.3	38.9

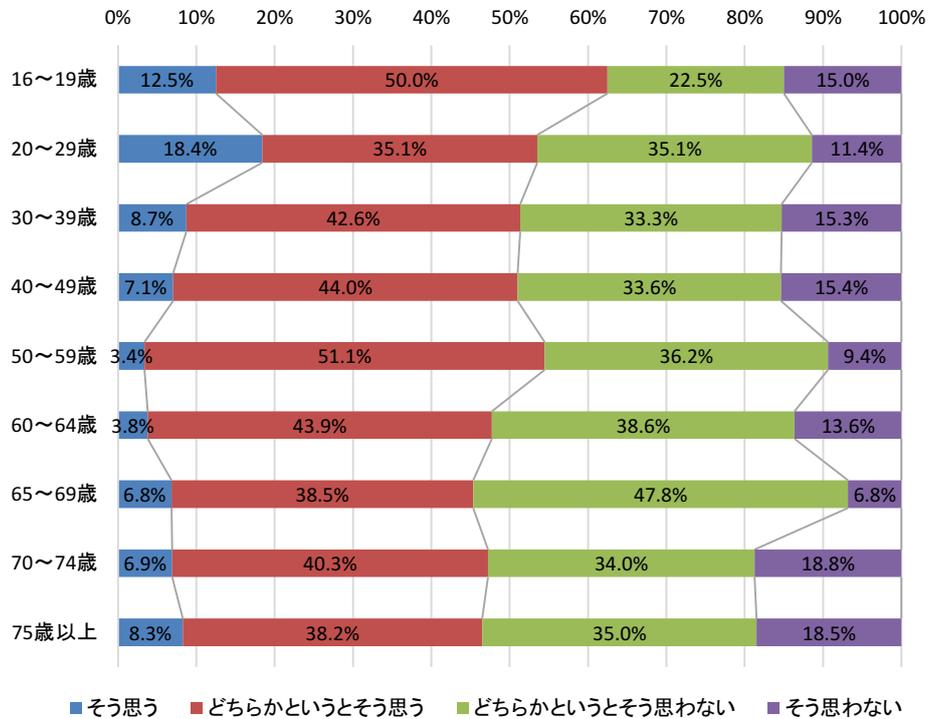
図表III-134 相模原市の良さ【働く場所が多い】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-135 相模原市の良さ【働く場所が多い】
 (年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答除く)

		Q87 相模原市の良さ働く場所が多い				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	12.5	50.0	22.5	15.0	
	20～29歳 (n=114)	18.4	35.1	35.1	11.4	
	30～39歳 (n=183)	8.7	42.6	33.3	15.3	
	40～49歳 (n=241)	7.1	44.0	33.6	15.4	
	50～59歳 (n=235)	3.4	51.1	36.2	9.4	
	60～64歳 (n=132)	3.8	43.9	38.6	13.6	
	65～69歳 (n=161)	6.8	38.5	47.8	6.8	
	70～74歳 (n=144)	6.9	40.3	34.0	18.8	
	75歳以上 (n=157)	8.3	38.2	35.0	18.5	

(参考) 図表III-136 相模原市の良さ【働く場所が多い】
 (年齢階層別) (S A・S A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「働く場所が多い」

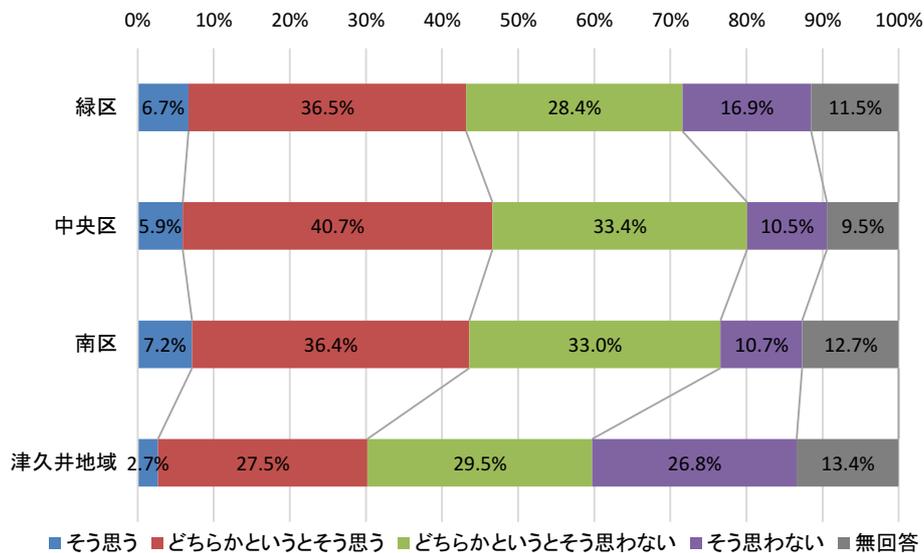
- 相模原市の良さのうち、「働く場所が多い」について、居住地区別に見ると中央区で「どちらかというと思う」が40.7%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 津久井地域では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。

図表III-137 相模原市の良さ【働く場所が多い】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ働く場所が多い				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	6.7	36.5	28.4	16.9	11.5
	中央区 (n=592)	5.9	40.7	33.4	10.5	9.5
	南区 (n=615)	7.2	36.4	33.0	10.7	12.7
	津久井地域 (n=149)	2.7	27.5	29.5	26.8	13.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-138 相模原市の良さ【働く場所が多い】（居住地区別）（SA・SA）



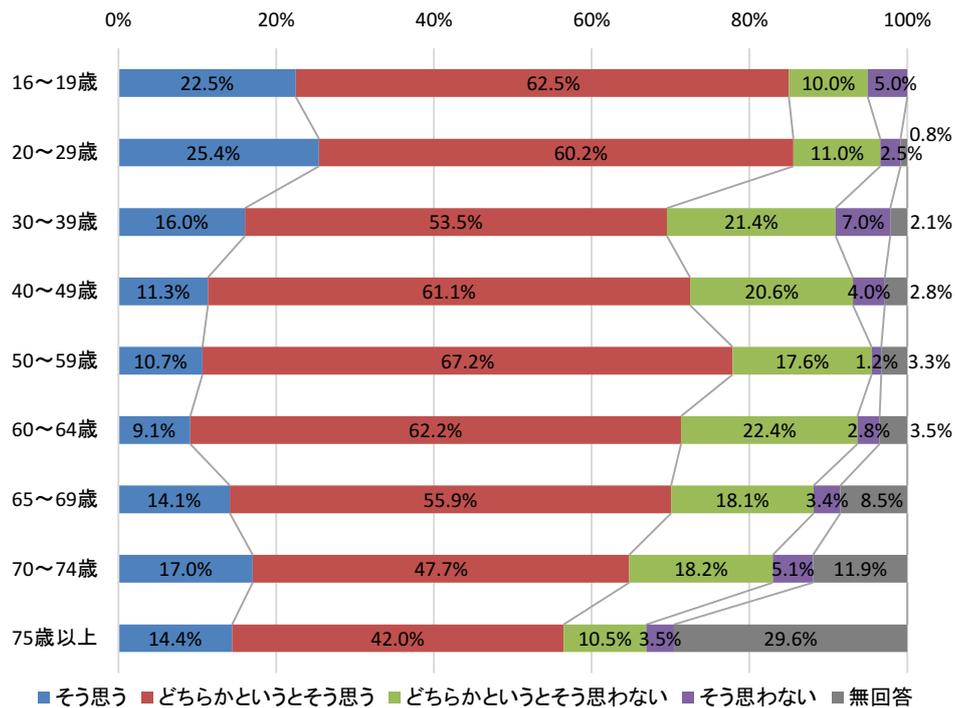
① 年齢階層別相模原市の良さ「居住環境が良い」

- 相模原市の良さのうち、「居住環境が良い」について、年齢階層別に見ると 50～59 歳で「どちらかというと思う」が 67.2%と最も高くなっている。
- 全ての年齢階層において、「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっている。
- 若い世代、高齢世代においては、「そう思う」が中間世代よりも高くなっている。

図表III-139 相模原市の良さ【居住環境が良い】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ居住環境が良い				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	22.5	62.5	10.0	5.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	25.4	60.2	11.0	2.5	0.8
	30～39歳 (n=187)	16.0	53.5	21.4	7.0	2.1
	40～49歳 (n=247)	11.3	61.1	20.6	4.0	2.8
	50～59歳 (n=244)	10.7	67.2	17.6	1.2	3.3
	60～64歳 (n=143)	9.1	62.2	22.4	2.8	3.5
	65～69歳 (n=177)	14.1	55.9	18.1	3.4	8.5
	70～74歳 (n=176)	17.0	47.7	18.2	5.1	11.9
	75歳以上 (n=257)	14.4	42.0	10.5	3.5	29.6

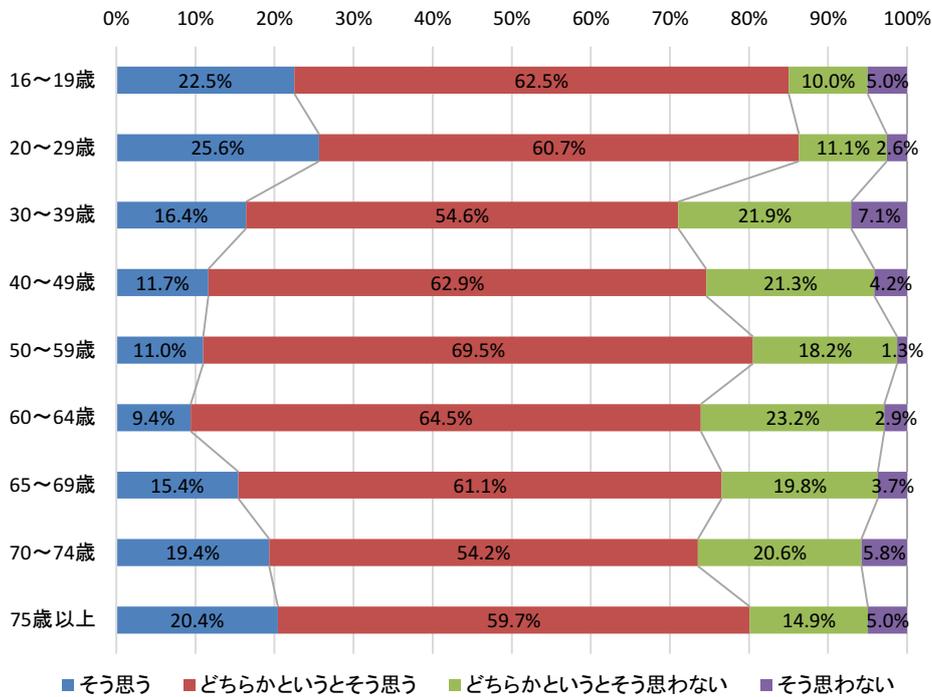
図表III-140 相模原市の良さ【居住環境が良い】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-141 相模原市の良さ【居住環境が良い】
(年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答除く)

		Q87 相模原市の良さ【居住環境が良い】				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	22.5	62.5	10.0	5.0	
	20～29歳 (n=117)	25.6	60.7	11.1	2.6	
	30～39歳 (n=183)	16.4	54.6	21.9	7.1	
	40～49歳 (n=240)	11.7	62.9	21.3	4.2	
	50～59歳 (n=236)	11.0	69.5	18.2	1.3	
	60～64歳 (n=138)	9.4	64.5	23.2	2.9	
	65～69歳 (n=162)	15.4	61.1	19.8	3.7	
	70～74歳 (n=155)	19.4	54.2	20.6	5.8	
	75歳以上 (n=181)	20.4	59.7	14.9	5.0	

(参考) 図表III-142 相模原市の良さ【居住環境が良い】
(年齢階層別) (S A・S A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「居住環境が良い」

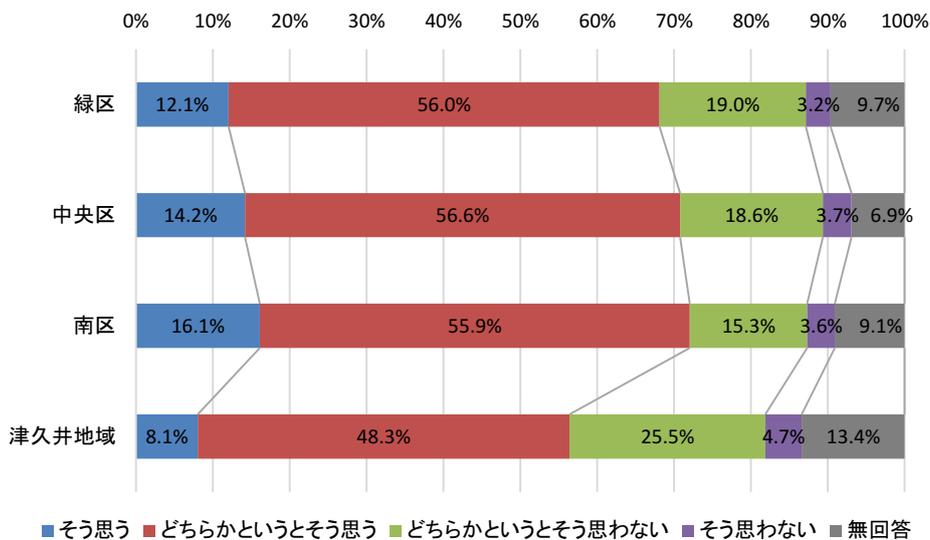
- 相模原市の良さのうち、「居住環境が良い」について、居住地区別に見ると中央区で「どちらかというと思う」が56.6%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域の全てにおいて、「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっている。
- 居住区、地域における顕著な傾向の差は見られない。

図表III-143 相模原市の良さ【居住環境が良い】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q8ヶ 相模原市の良さ・居住環境が良い				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	12.1	56.0	19.0	3.2	9.7
	中央区 (n=592)	14.2	56.6	18.6	3.7	6.9
	南区 (n=615)	16.1	55.9	15.3	3.6	9.1
	津久井地域 (n=149)	8.1	48.3	25.5	4.7	13.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-144 相模原市の良さ【居住環境が良い】（居住地区別）（SA・SA）



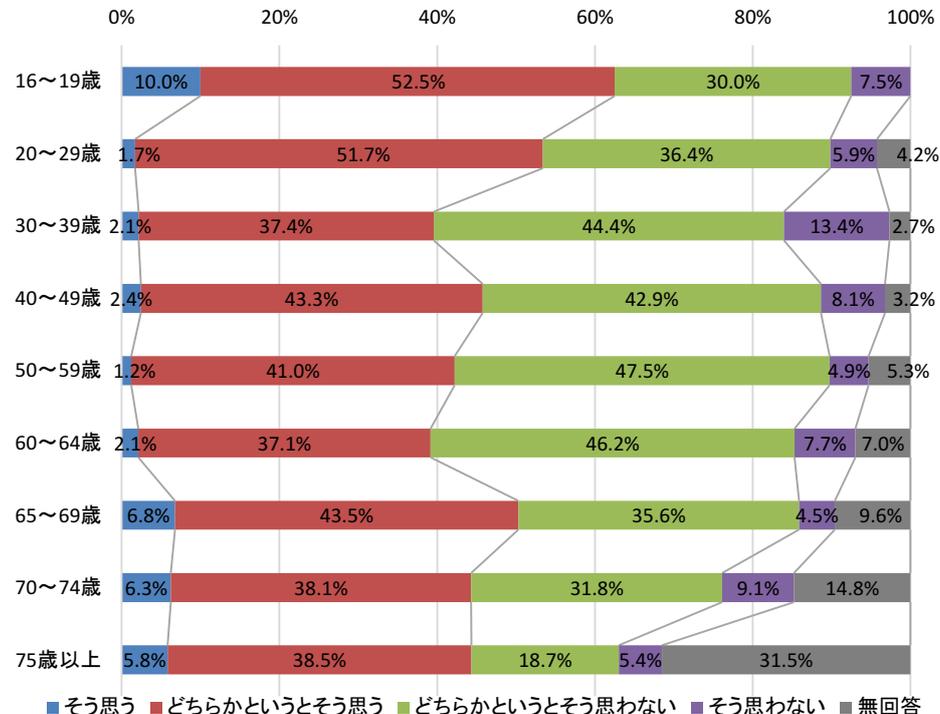
① 年齢階層別相模原市の良さ「防災対策が充実している」

- 相模原市の良さのうち、「防災対策が充実している」について、年齢階層別に見ると16～19歳で「どちらかというと思う」が52.5%と最も高くなっている。
- 16～19歳、20～29歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 30～39歳では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 40～49歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 50～59歳、60～64歳では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 65～69歳、70～74歳、75歳以上では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 10代、高齢世代においては、「思う」が中間世代よりも高くなっている。

図表III-145 相模原市の良さ【防災対策が充実している】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q8 相模原市の良さ-防災対策が充実している				
		思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	52.5	30.0	7.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	1.7	51.7	36.4	5.9	4.2
	30～39歳 (n=187)	2.1	37.4	44.4	13.4	2.7
	40～49歳 (n=247)	2.4	43.3	42.9	8.1	3.2
	50～59歳 (n=244)	1.2	41.0	47.5	4.9	5.3
	60～64歳 (n=143)	2.1	37.1	46.2	7.7	7.0
	65～69歳 (n=177)	6.8	43.5	35.6	4.5	9.6
	70～74歳 (n=176)	6.3	38.1	31.8	9.1	14.8
	75歳以上 (n=257)	5.8	38.5	18.7	5.4	31.5

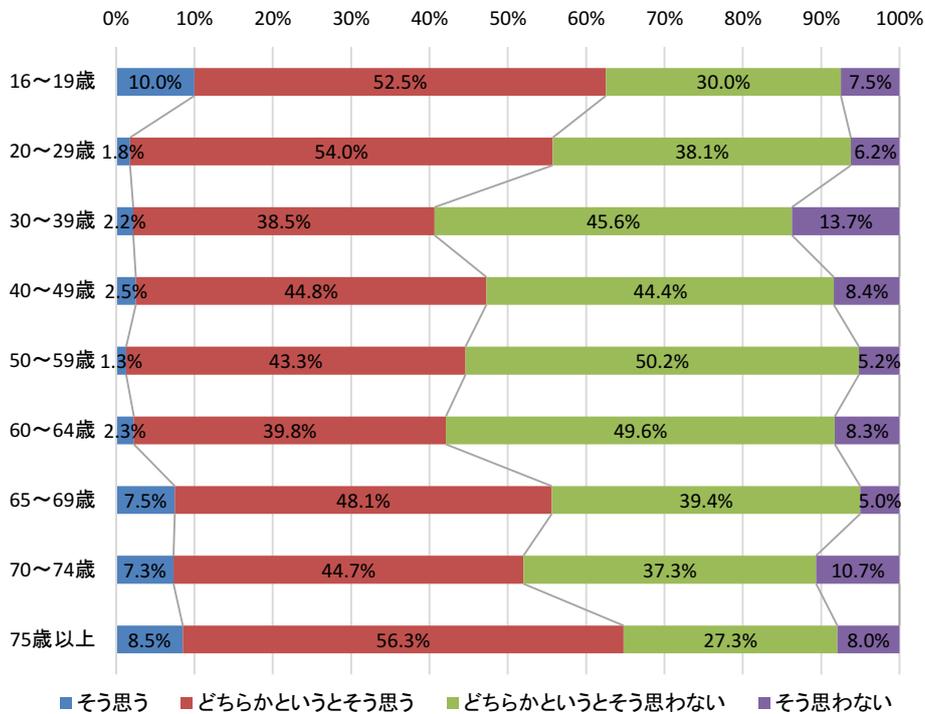
図表III-146 相模原市の良さ【防災対策が充実している】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-147 相模原市の良さ【防災対策が充実している】
 (年齢階層別、数値は%) (S・A) (無回答除く)

		Q83 相模原市の良さ【防災対策が充実している】				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	52.5	30.0	7.5	
	20～29歳 (n=113)	1.8	54.0	38.1	6.2	
	30～39歳 (n=182)	2.2	38.5	45.6	13.7	
	40～49歳 (n=239)	2.5	44.8	44.4	8.4	
	50～59歳 (n=231)	1.3	43.3	50.2	5.2	
	60～64歳 (n=133)	2.3	39.8	49.6	8.3	
	65～69歳 (n=160)	7.5	48.1	39.4	5.0	
	70～74歳 (n=150)	7.3	44.7	37.3	10.7	
	75歳以上 (n=176)	8.5	56.3	27.3	8.0	

(参考) 図表III-148 相模原市の良さ【防災対策が充実している】
 (年齢階層別) (S・A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「防災対策が充実している」

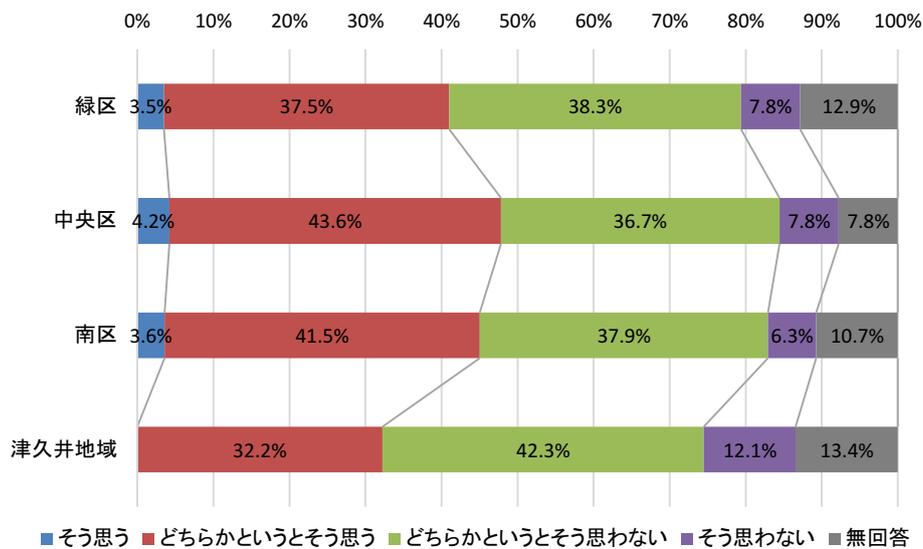
- 相模原市の良さのうち、「防災対策が充実している」について、居住地区別に見ると中央区で「どちらかというと思う」が43.6%と最も高くなっている。また、津久井地域で「そう思う」が0%となっている。
- 緑区、津久井地域では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 中央区、南区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。

図表III-149 相模原市の良さ【防災対策が充実している】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q80 相模原市の良さ:防災対策が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	3.5	37.5	38.3	7.8	12.9
	中央区 (n=592)	4.2	43.6	36.7	7.8	7.8
	南区 (n=615)	3.6	41.5	37.9	6.3	10.7
	津久井地域 (n=149)	0.0	32.2	42.3	12.1	13.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-150 相模原市の良さ【防災対策が充実している】（居住地区別）（SA・SA）



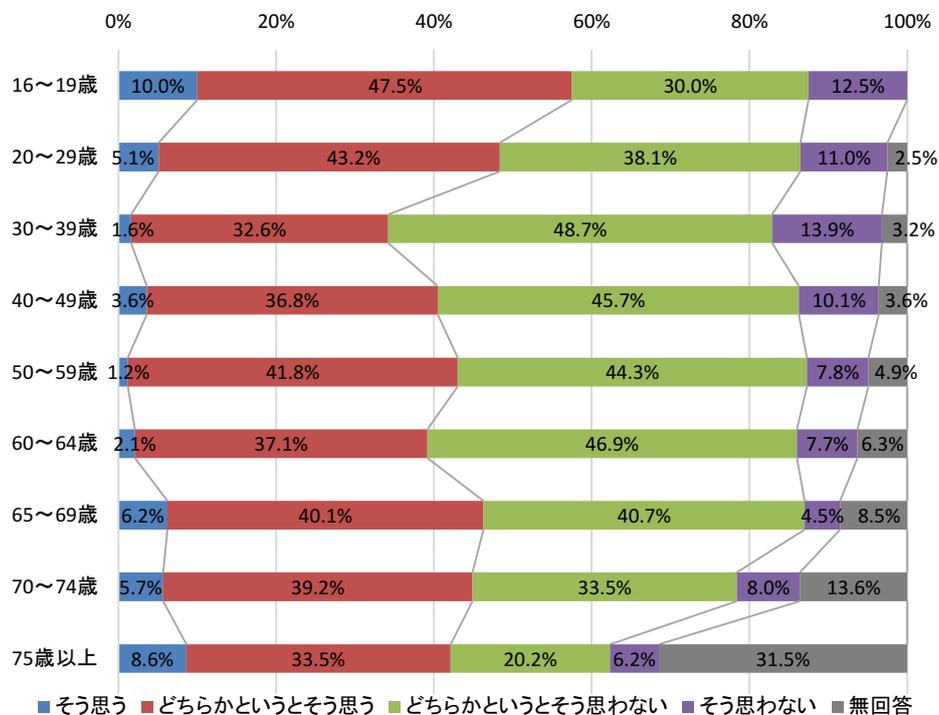
① 年齢階層別相模原市の良さ「防犯・交通安全対策が充実している」

- 相模原市の良さのうち、「防犯・交通安全対策が充実している」について、年齢階層別に見ると30～39歳で「どちらかというと思わない」が48.7%と最も高くなっている。
- 16～19歳、20～29歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～64歳、65～69歳では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 70～74歳、75歳以上では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 若い世代、高齢世代においては、「思う」が中間世代よりも高くなっている。

図表III-151 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q8サ 相模原市の良さ:防犯・交通安全対策が充実している				
		思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	47.5	30.0	12.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	5.1	43.2	38.1	11.0	2.5
	30～39歳 (n=187)	1.6	32.6	48.7	13.9	3.2
	40～49歳 (n=247)	3.6	36.8	45.7	10.1	3.6
	50～59歳 (n=244)	1.2	41.8	44.3	7.8	4.9
	60～64歳 (n=143)	2.1	37.1	46.9	7.7	6.3
	65～69歳 (n=177)	6.2	40.1	40.7	4.5	8.5
	70～74歳 (n=176)	5.7	39.2	33.5	8.0	13.6
	75歳以上 (n=257)	8.6	33.5	20.2	6.2	31.5

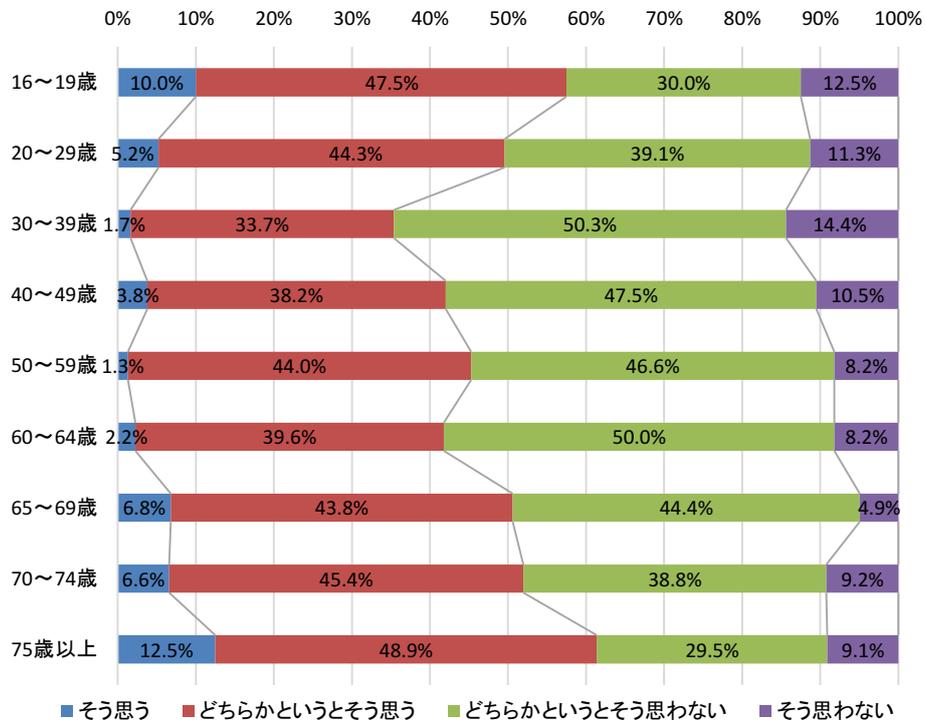
図表III-152 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-153 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】
 (年齢階層別、数値は%) (SA・SA) (無回答除く)

		Q8サ 相模原市の良さ:防犯・交通安全対策が充実している				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	47.5	30.0	12.5	
	20～29歳 (n=115)	5.2	44.3	39.1	11.3	
	30～39歳 (n=181)	1.7	33.7	50.3	14.4	
	40～49歳 (n=238)	3.8	38.2	47.5	10.5	
	50～59歳 (n=232)	1.3	44.0	46.6	8.2	
	60～64歳 (n=134)	2.2	39.6	50.0	8.2	
	65～69歳 (n=162)	6.8	43.8	44.4	4.9	
	70～74歳 (n=152)	6.6	45.4	38.8	9.2	
	75歳以上 (n=176)	12.5	48.9	29.5	9.1	

(参考) 図表III-154 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】
 (年齢階層別) (SA・SA) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「防犯・交通安全対策が充実している」

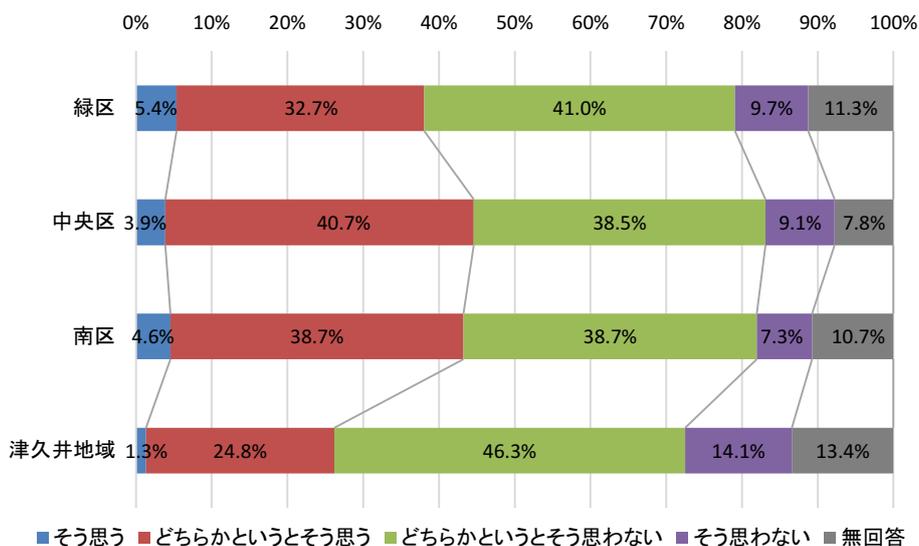
- 相模原市の良さのうち、「防犯・交通安全対策が充実している」について、居住地区別に見ると津久井地域で「どちらかというと思わない」が46.3%と最も高くなっている。
- 緑区、津久井地域では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 中央区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 南区では、「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 居住区、地域による顕著な傾向の差は見られない。

図表III-155 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q8サ 相模原市の良さ:防犯・交通安全対策が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	5.4	32.7	41.0	9.7	11.3
	中央区 (n=592)	3.9	40.7	38.5	9.1	7.8
	南区 (n=615)	4.6	38.7	38.7	7.3	10.7
	津久井地域 (n=149)	1.3	24.8	46.3	14.1	13.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-156 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】（居住地区別）（SA・SA）



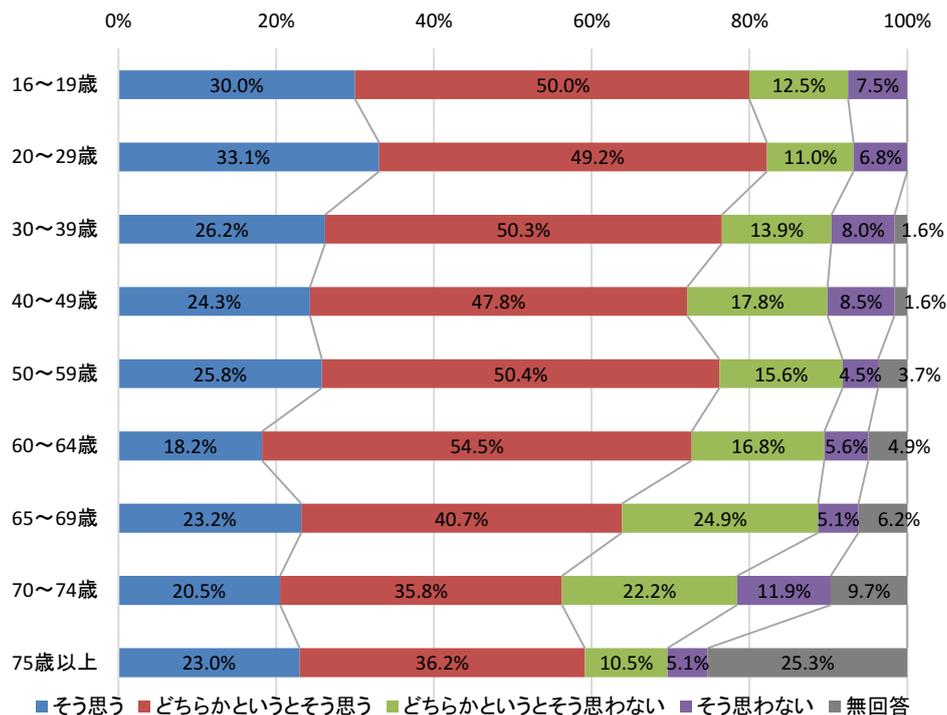
① 年齢階層別相模原市の良さ「買い物がしやすく便利」

- 相模原市の良さのうち、「買い物がしやすく便利」について、年齢階層別に見ると 60～64 歳で「どちらかというと思う」が 54.5%と最も高くなっている。
- 全ての年齢階層において、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 年齢階層による顕著な傾向の差は見られない。

図表III-157 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q8シ 相模原市の良さ買い物がしやすく便利				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	30.0	50.0	12.5	7.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	33.1	49.2	11.0	6.8	0.0
	30～39歳 (n=187)	26.2	50.3	13.9	8.0	1.6
	40～49歳 (n=247)	24.3	47.8	17.8	8.5	1.6
	50～59歳 (n=244)	25.8	50.4	15.6	4.5	3.7
	60～64歳 (n=143)	18.2	54.5	16.8	5.6	4.9
	65～69歳 (n=177)	23.2	40.7	24.9	5.1	6.2
	70～74歳 (n=176)	20.5	35.8	22.2	11.9	9.7
	75歳以上 (n=257)	23.0	36.2	10.5	5.1	25.3

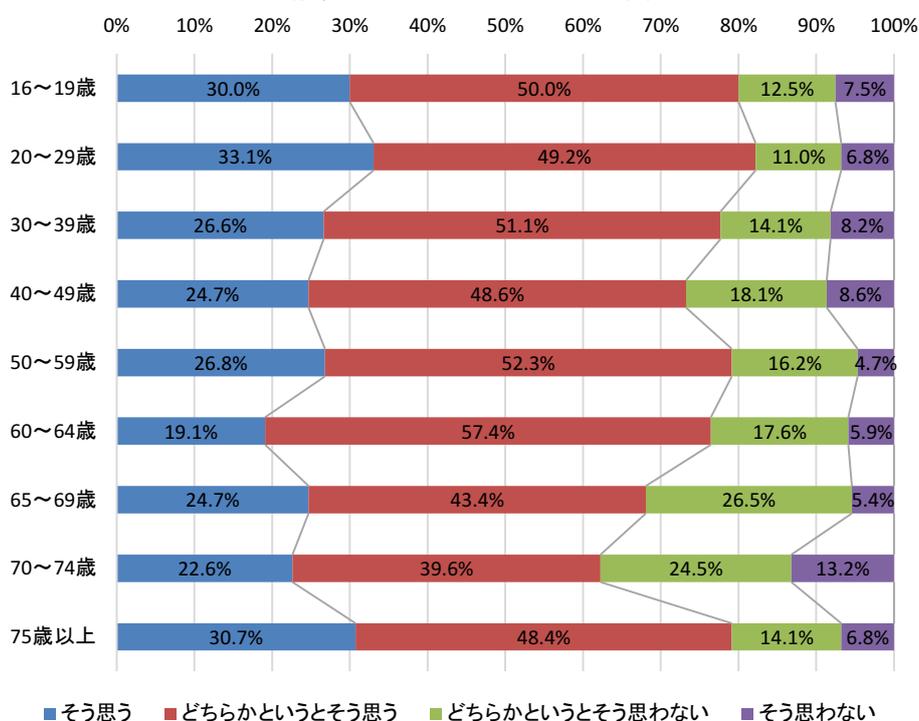
図表III-158 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-159 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】
 (年齢階層別、数値は%) (S・A) (無回答除く)

		Q8シ 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	30.0	50.0	12.5	7.5	
	20～29歳 (n=118)	33.1	49.2	11.0	6.8	
	30～39歳 (n=184)	26.6	51.1	14.1	8.2	
	40～49歳 (n=243)	24.7	48.6	18.1	8.6	
	50～59歳 (n=235)	26.8	52.3	16.2	4.7	
	60～64歳 (n=136)	19.1	57.4	17.6	5.9	
	65～69歳 (n=166)	24.7	43.4	26.5	5.4	
	70～74歳 (n=159)	22.6	39.6	24.5	13.2	
	75歳以上 (n=192)	30.7	48.4	14.1	6.8	

(参考) 図表III-160 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】
 (年齢階層別) (S・A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「買い物がしやすく便利」

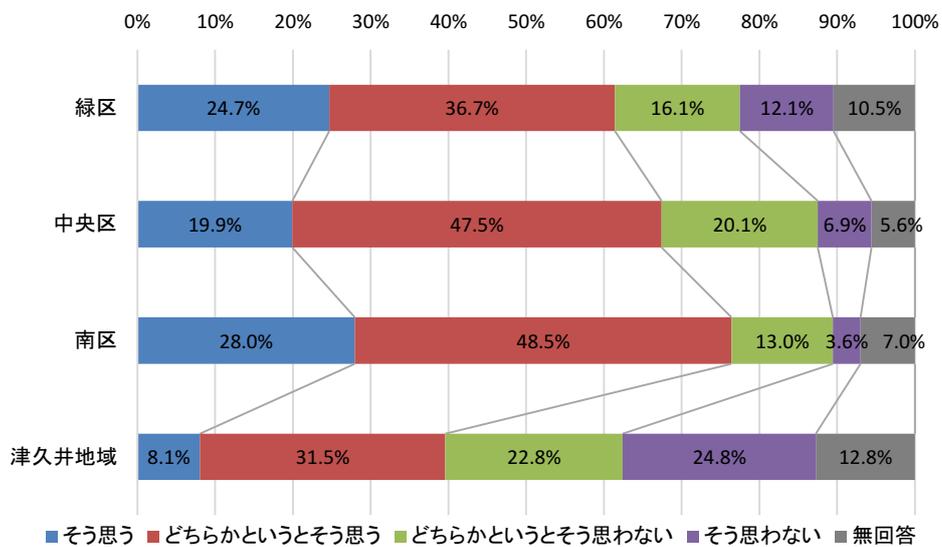
- 相模原市の良さのうち、「買い物がしやすく便利」について、居住地区別に見ると南区で「どちらかというと思う」が48.5%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域の全てにおいて、「どちらかというと思う」が高くなっている。
- 津久井地域は、他地区に比べて、「そう思う」が低く、「そう思わない」が高くなっている。
- 南区では買い物がしやすく便利だと感じる方の割合が高く、津久井地域では買い物がしやすく便利だと感じない方の割合が高いといった傾向が見られる。

図表III-161 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q8 相模原市の良さ買い物がしやすく便利				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	24.7	36.7	16.1	12.1	10.5
	中央区 (n=592)	19.9	47.5	20.1	6.9	5.6
	南区 (n=615)	28.0	48.5	13.0	3.6	7.0
	津久井地域 (n=149)	8.1	31.5	22.8	24.8	12.8

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-162 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】（居住地区別）（SA・SA）



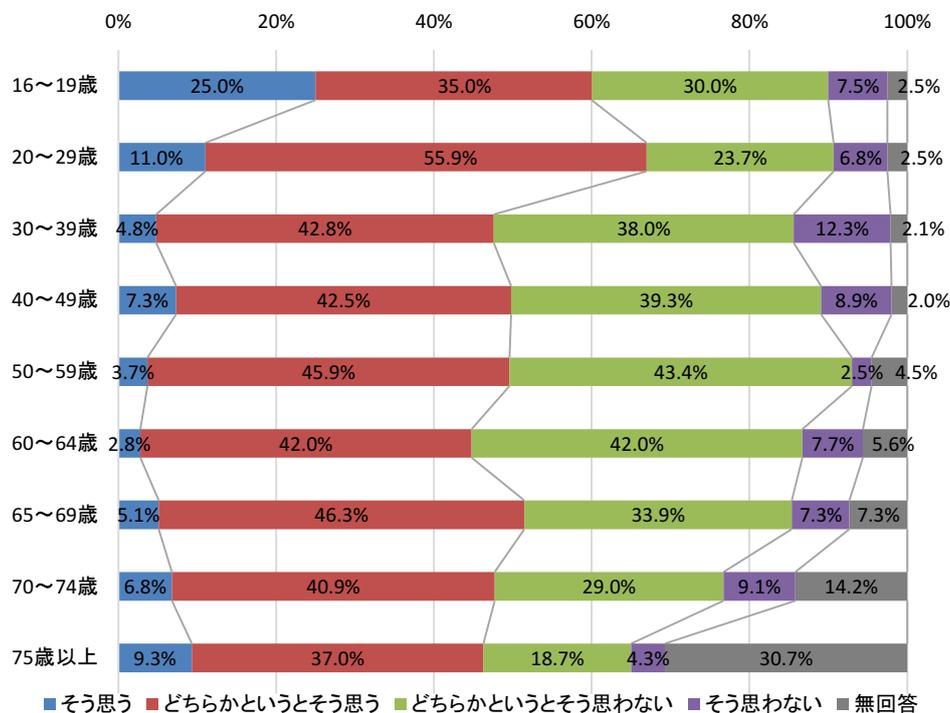
① 年齢階層別相模原市の良さ「福祉や医療サービスが充実している」

- 相模原市の良さのうち、「福祉や医療サービスが充実している」について、年齢階層別に見ると20～29歳で「どちらかというと思う」が55.9%と最も高くなっている。
- 60～64歳では、「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」が最も高くなっているが、その他の年齢階層においては、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 若い世代においては、「思う」が中間世代よりも高くなっている。

図表III-163 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】				
		思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	25.0	35.0	30.0	7.5	2.5
	20～29歳 (n=118)	11.0	55.9	23.7	6.8	2.5
	30～39歳 (n=187)	4.8	42.8	38.0	12.3	2.1
	40～49歳 (n=247)	7.3	42.5	39.3	8.9	2.0
	50～59歳 (n=244)	3.7	45.9	43.4	2.5	4.5
	60～64歳 (n=143)	2.8	42.0	42.0	7.7	5.6
	65～69歳 (n=177)	5.1	46.3	33.9	7.3	7.3
	70～74歳 (n=176)	6.8	40.9	29.0	9.1	14.2
	75歳以上 (n=257)	9.3	37.0	18.7	4.3	30.7

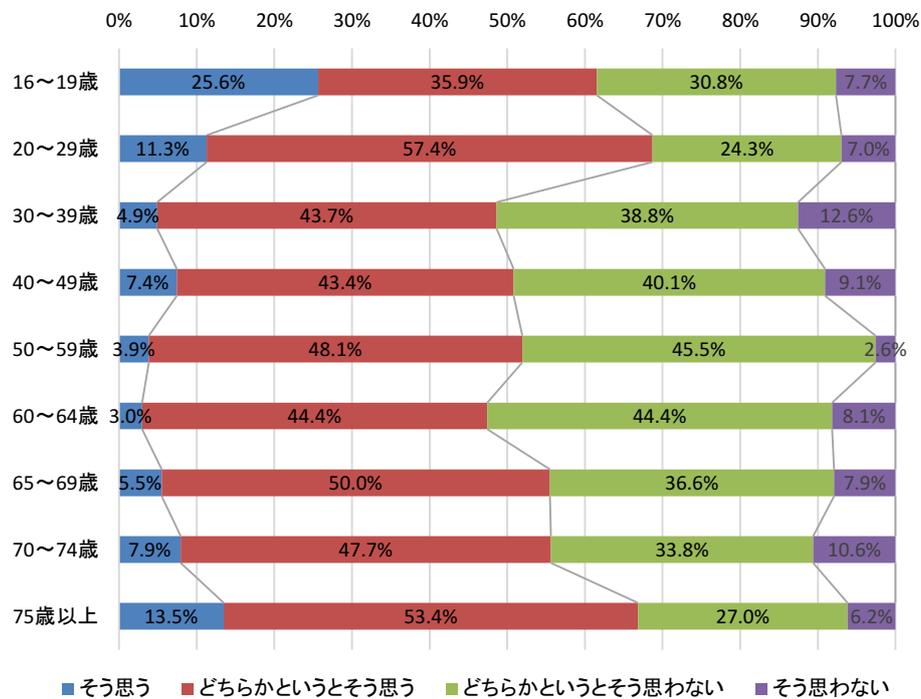
図表III-164 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-165 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】
(年齢階層別、数値は%) (SA・SA) (無回答除く)

		Q87 相模原市の良さ福祉や医療サービスが充実している				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=39)	25.6	35.9	30.8	7.7	
	20～29歳 (n=115)	11.3	57.4	24.3	7.0	
	30～39歳 (n=183)	4.9	43.7	38.8	12.6	
	40～49歳 (n=242)	7.4	43.4	40.1	9.1	
	50～59歳 (n=233)	3.9	48.1	45.5	2.6	
	60～64歳 (n=135)	3.0	44.4	44.4	8.1	
	65～69歳 (n=164)	5.5	50.0	36.6	7.9	
	70～74歳 (n=151)	7.9	47.7	33.8	10.6	
	75歳以上 (n=178)	13.5	53.4	27.0	6.2	

(参考) 図表III-166 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】
(年齢階層別) (SA・SA) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「福祉や医療サービスが充実している」

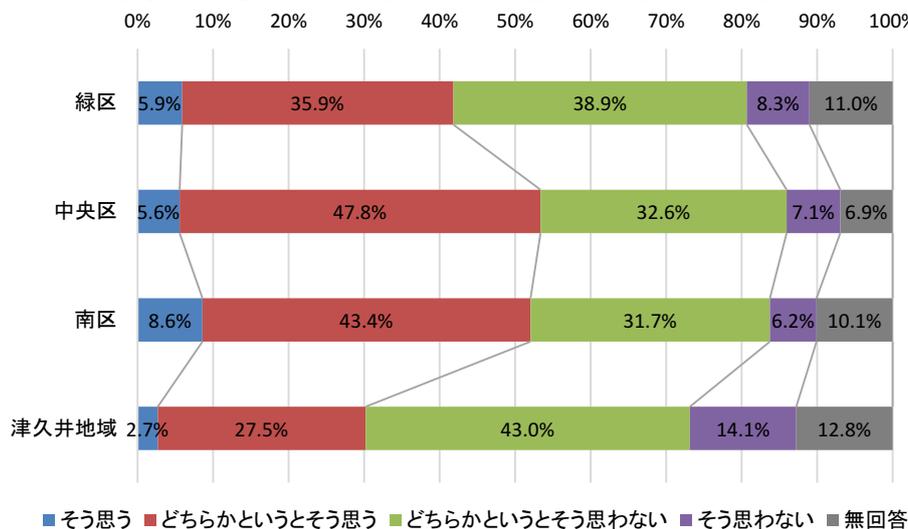
- 相模原市の良さのうち、「福祉や医療サービスが充実している」について、居住地区別に見ると中央区で「どちらかというと思う」が47.8%と最も高くなっている。
- 緑区、津久井地域では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 中央区、南区では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 居住区、地域による顕著な傾向の差は見られない。

図表III-167 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ:福祉や医療サービスが充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	5.9	35.9	38.9	8.3	11.0
	中央区 (n=592)	5.6	47.8	32.6	7.1	6.9
	南区 (n=615)	8.6	43.4	31.7	6.2	10.1
	津久井地域 (n=149)	2.7	27.5	43.0	14.1	12.8

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-168 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】（居住地区別）（SA・SA）



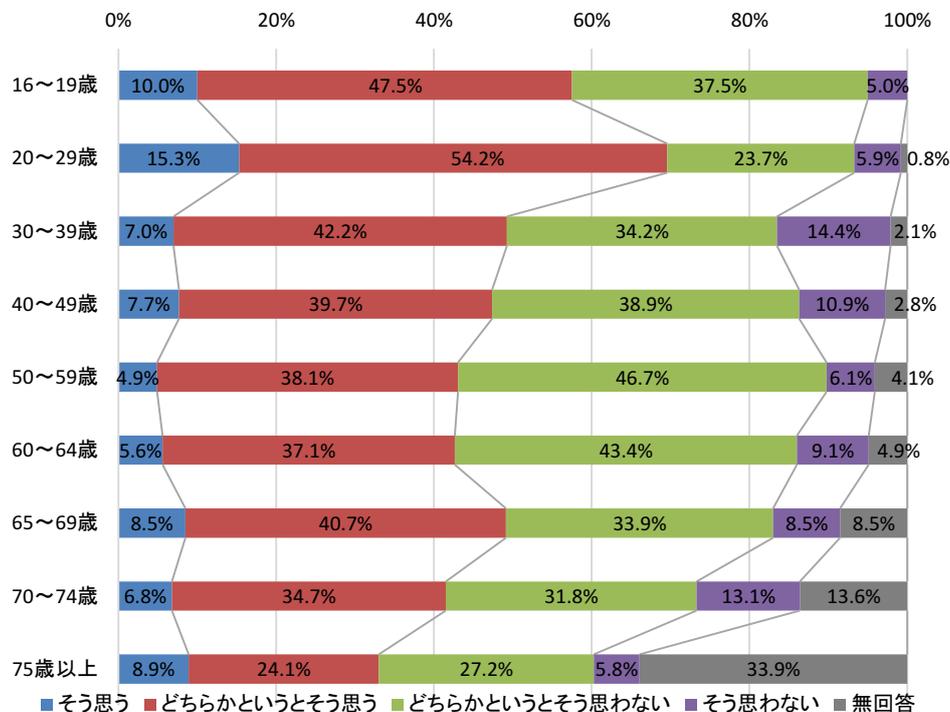
① 年齢階層別相模原市の良さ「公共施設が充実している」

- 相模原市の良さのうち、「公共施設が充実している」について、年齢階層別に見ると20～29歳で「どちらかというと思う」が54.2%と最も高くなっている。
- 16～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 50～59歳、60～64歳では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 65～69歳、70～74歳、75歳以上では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 20～29歳で、公共施設が充実していると感じている方の割合が、他の年齢階層と比較して高くなっている。

図表III-169 相模原市の良さ【公共施設が充実している】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q8セ 相模原市の良さ:公共施設が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	47.5	37.5	5.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	15.3	54.2	23.7	5.9	0.8
	30～39歳 (n=187)	7.0	42.2	34.2	14.4	2.1
	40～49歳 (n=247)	7.7	39.7	38.9	10.9	2.8
	50～59歳 (n=244)	4.9	38.1	46.7	6.1	4.1
	60～64歳 (n=143)	5.6	37.1	43.4	9.1	4.9
	65～69歳 (n=177)	8.5	40.7	33.9	8.5	8.5
	70～74歳 (n=176)	6.8	34.7	31.8	13.1	13.6
	75歳以上 (n=257)	8.9	24.1	27.2	5.8	33.9

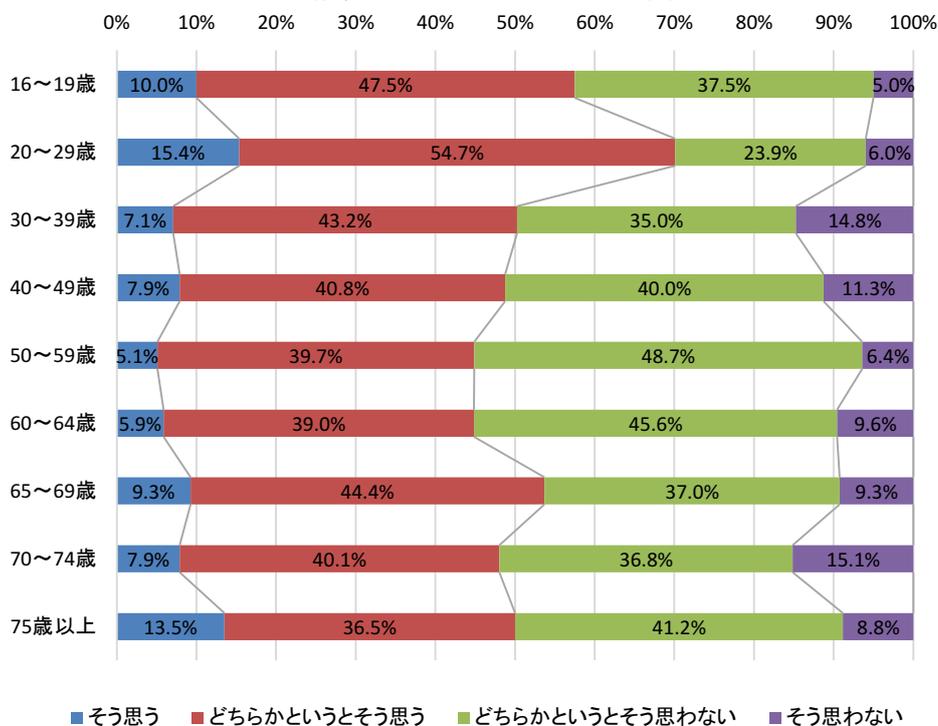
図表III-170 相模原市の良さ【公共施設が充実している】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-171 相模原市の良さ【公共施設が充実している】
 (年齢階層別、数値は%) (S A・S A) (無回答除く)

		Q8セ 相模原市の良さ公共施設が充実している				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	47.5	37.5	5.0	
	20～29歳 (n=117)	15.4	54.7	23.9	6.0	
	30～39歳 (n=183)	7.1	43.2	35.0	14.8	
	40～49歳 (n=240)	7.9	40.8	40.0	11.3	
	50～59歳 (n=234)	5.1	39.7	48.7	6.4	
	60～64歳 (n=136)	5.9	39.0	45.6	9.6	
	65～69歳 (n=162)	9.3	44.4	37.0	9.3	
	70～74歳 (n=152)	7.9	40.1	36.8	15.1	
	75歳以上 (n=170)	13.5	36.5	41.2	8.8	

(参考) 図表III-172 相模原市の良さ【公共施設が充実している】
 (年齢階層別) (S A・S A) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「公共施設が充実している」

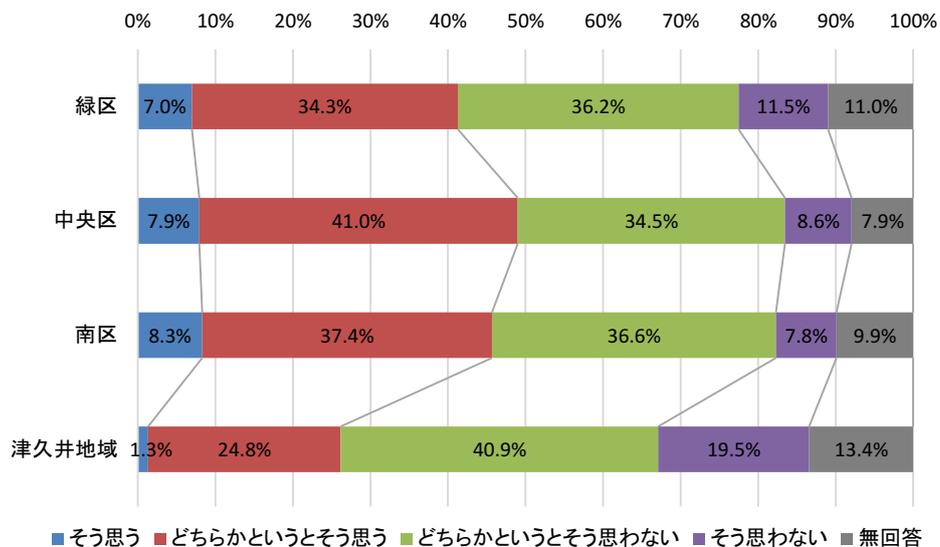
- 相模原市の良さのうち、「公共施設が充実している」について、居住地区別に見ると中央区で「どちらかというと思う」が41.0%と最も高くなっている。
- 緑区、津久井地域では、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 中央区、南区では「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 津久井地域で、「そう思う」と感じる方の割合が他区と比較して低くなっている。

図表III-173 相模原市の良さ【公共施設が充実している】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

F8 居住地域	Q8セ 相模原市の良さ:公共施設が充実している	Q8セ 相模原市の良さ:公共施設が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
緑区 (n=373)		7.0	34.3	36.2	11.5	11.0
中央区 (n=592)		7.9	41.0	34.5	8.6	7.9
南区 (n=615)		8.3	37.4	36.6	7.8	9.9
津久井地域 (n=149)		1.3	24.8	40.9	19.5	13.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-174 相模原市の良さ【公共施設が充実している】（居住地区別）（SA・SA）



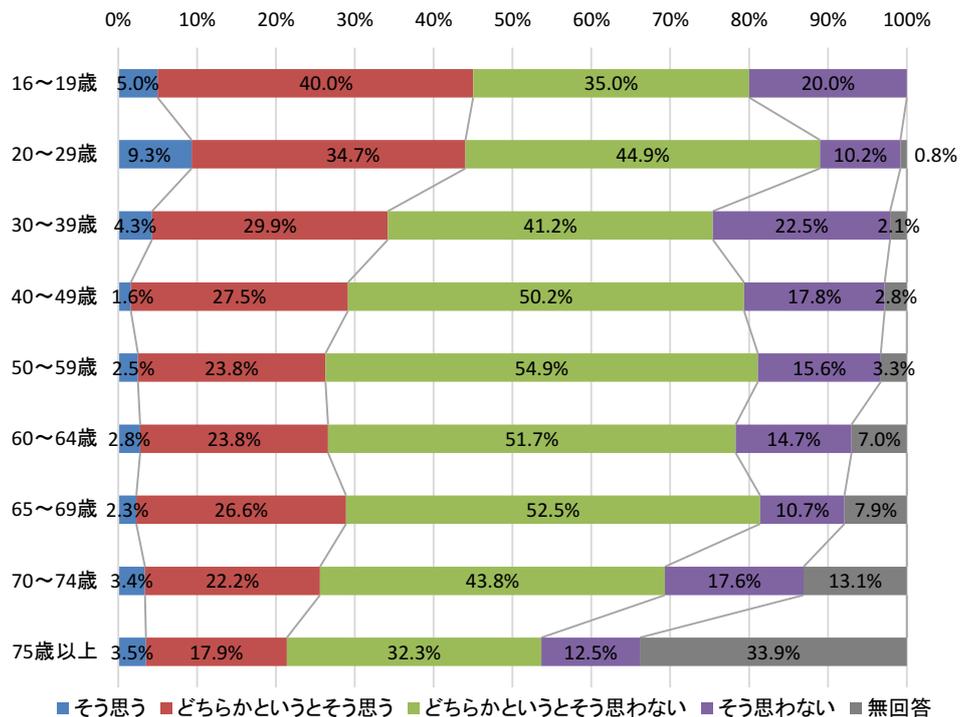
① 年齢階層別相模原市の良さ「娯楽、レジャー施設が充実している」

- 相模原市の良さのうち、「娯楽、レジャー施設が充実している」について、年齢階層別に見ると50～59歳で「どちらかというと思わない」が54.9%と最も高くなっている。
- 16～19歳では、「どちらかというと思う」が最も高くなっている。
- 他の年齢階層においては、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 年齢階層における、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-175 相模原市の良さ【娯楽、レジャー施設が充実している】（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ娯楽、レジャー施設が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	40.0	35.0	20.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	9.3	34.7	44.9	10.2	0.8
	30～39歳 (n=187)	4.3	29.9	41.2	22.5	2.1
	40～49歳 (n=247)	1.6	27.5	50.2	17.8	2.8
	50～59歳 (n=244)	2.5	23.8	54.9	15.6	3.3
	60～64歳 (n=143)	2.8	23.8	51.7	14.7	7.0
	65～69歳 (n=177)	2.3	26.6	52.5	10.7	7.9
	70～74歳 (n=176)	3.4	22.2	43.8	17.6	13.1
	75歳以上 (n=257)	3.5	17.9	32.3	12.5	33.9

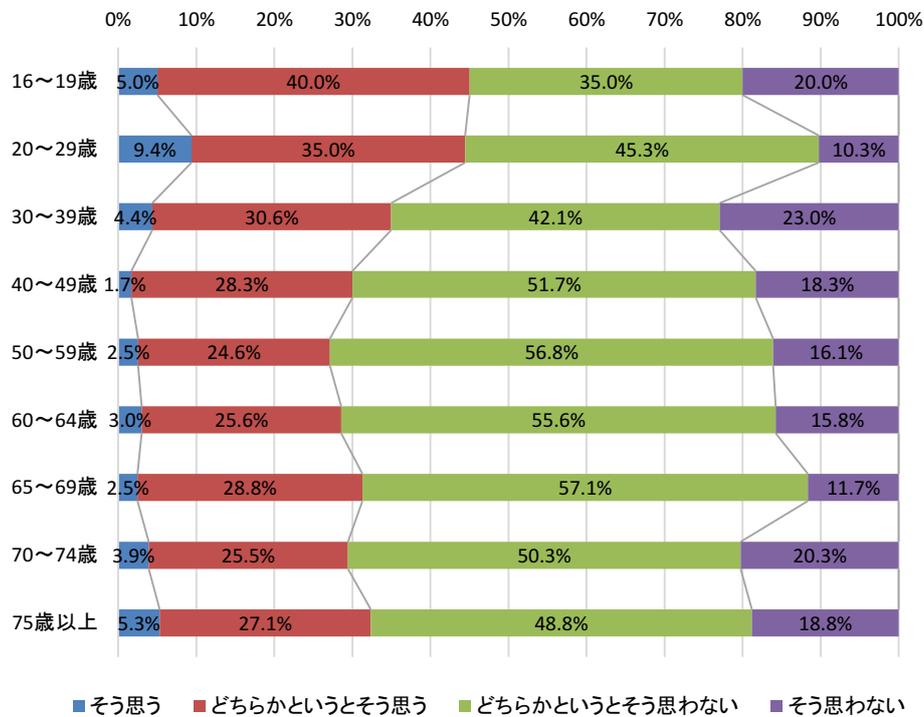
図表III-176 相模原市の良さ【娯楽、レジャー施設が充実している】（年齢階層別）（SA・SA）



(参考) 図表III-177 相模原市の良さ【娯楽、レジャー施設が充実している】
(年齢階層別、数値は%) (SA・SA) (無回答除く)

		Q8/ 相模原市の良さ【娯楽、レジャー施設が充実している】				無回答
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	40.0	35.0	20.0	
	20～29歳 (n=117)	9.4	35.0	45.3	10.3	
	30～39歳 (n=183)	4.4	30.6	42.1	23.0	
	40～49歳 (n=240)	1.7	28.3	51.7	18.3	
	50～59歳 (n=236)	2.5	24.6	56.8	16.1	
	60～64歳 (n=133)	3.0	25.6	55.6	15.8	
	65～69歳 (n=163)	2.5	28.8	57.1	11.7	
	70～74歳 (n=153)	3.9	25.5	50.3	20.3	
	75歳以上 (n=170)	5.3	27.1	48.8	18.8	

(参考) 図表III-178 相模原市の良さ【娯楽、レジャー施設が充実している】
(年齢階層別、数値は%) (SA・SA) (無回答除く)



② 居住地区別相模原市の良さ「娯楽、レジャー施設が充実している」

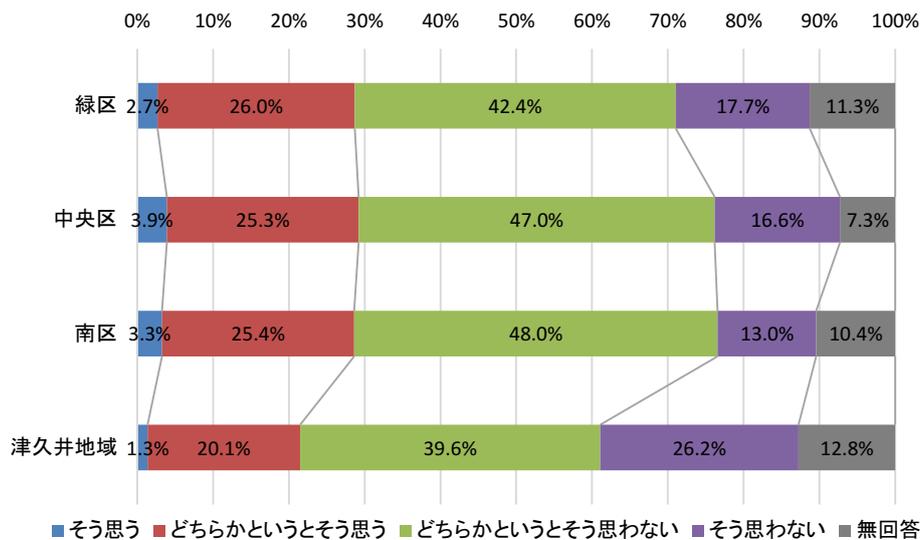
- 相模原市の良さのうち、「娯楽、レジャー施設が充実している」について、居住地区別に見ると南区で「どちらかというと思わない」が48.0%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域全てにおいて、「どちらかというと思わない」が最も高くなっている。
- 居住区、地域における顕著な傾向の差は見られない。

図表III-179 相模原市の良さ【娯楽レジャー施設が充実している】（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ娯楽、レジャー施設が充実している				
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	2.7	26.0	42.4	17.7	11.3
	中央区 (n=592)	3.9	25.3	47.0	16.6	7.3
	南区 (n=615)	3.3	25.4	48.0	13.0	10.4
	津久井地域 (n=149)	1.3	20.1	39.6	26.2	12.8

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-180 相模原市の良さ【娯楽レジャー施設が充実している】（居住地区別）（SA・SA）



(3) 相模原市の良さと定住意向別クロス集計

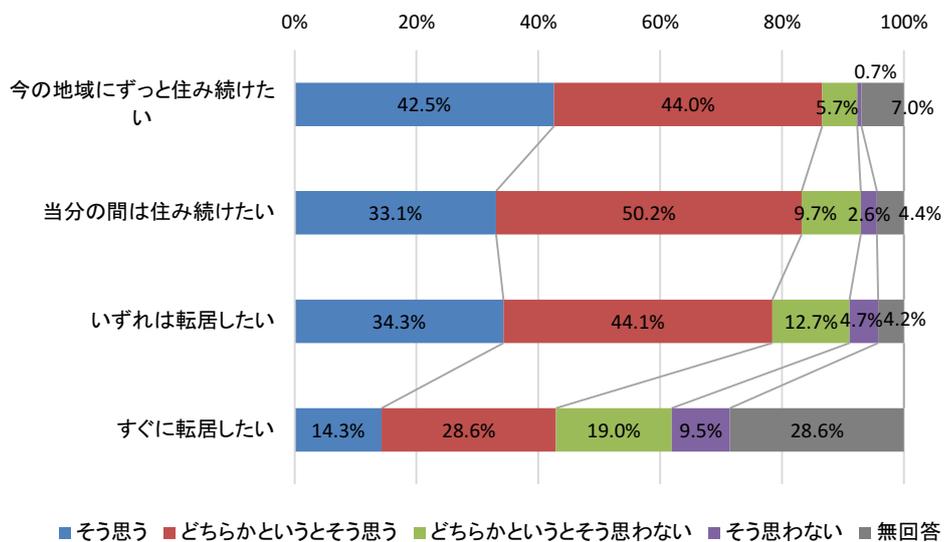
① 自然が豊か

- 相模原市の良さのうち、「自然が豊か」について、居住意向別に見ると「当分の間は住み続けたい」で「どちらかというと思う」が50.2%と最も高くなっている。
- 定住意向、転居意向のいずれにおいても「どちらかというと思う」と感じている方の割合が高いが、すぐに転居したい方で「そう思う」と感じている方の割合は低くなっている。

図表III-181 相模原市の良さ【自然が豊か】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q87 相模原市の良さ:自然が豊か				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	42.5	44.0	5.7	0.7	7.0
	当分の間は住み続けたい (n=608)	33.1	50.2	9.7	2.6	4.4
	いずれは転居したい (n=213)	34.3	44.1	12.7	4.7	4.2
	すぐに転居したい (n=21)	14.3	28.6	19.0	9.5	28.6

図表III-182 相模原市の良さ【自然が豊か】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）



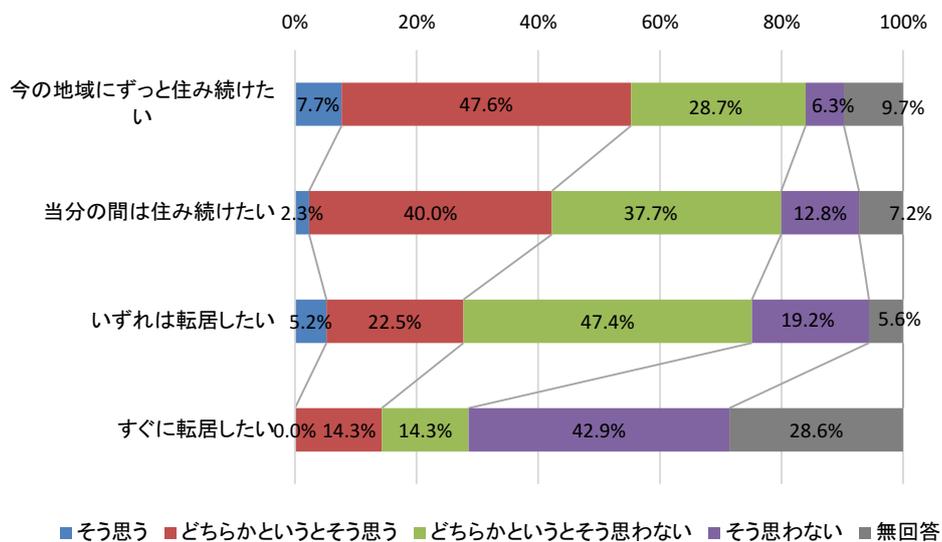
② 人と人のつながりが強い

- 相模原市の良さのうち、「人と人のつながりが強い」について居住意向別に見ると、「今の地域にずっと住みたい」で「どちらかというと思う」が47.6%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、人と人のつながりが強いと感じる方が多く、転居意向のある方は人と人のつながりが強いと思わない方が多い。特に転居意向が強いほど、そう思わない方の割合が高い。

図表III-183 相模原市の良さ【人と人のつながりが強い】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8イ 相模原市の良さ人と人のつながりが強い				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住みたい (n=731)	7.7	47.6	28.7	6.3	9.7
	当分の間は住みたい (n=608)	2.3	40.0	37.7	12.8	7.2
	いずれは転居したい (n=213)	5.2	22.5	47.4	19.2	5.6
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	14.3	14.3	42.9	28.6

図表III-184 相模原市の良さ【人と人のつながりが強い】（定住意向別）（SA・SA）



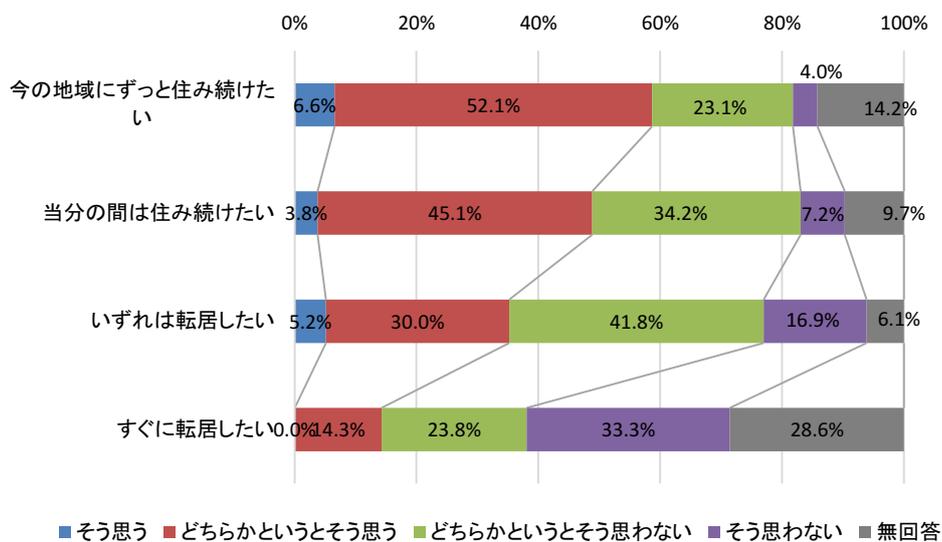
③ 子育て環境が充実している

- 相模原市の良さのうち「子育て環境が充実している」について、居住意向別に見ると、「今の地域にずっと住み続けたい」で「どちらかというと思う」が52.1%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、子育て環境が充実していると感じる方が多く、転居意向のある方は子育て環境が充実していると思わない方が多い。特に転居意向が強いほど、そう思わない方の割合が高い。

図表III-185 相模原市の良さ【子育て環境が充実している】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8ウ 相模原市の良さ子育て環境が充実している				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	6.6	52.1	23.1	4.0	14.2
	当分の間は住み続けたい (n=608)	3.8	45.1	34.2	7.2	9.7
	いずれは転居したい (n=213)	5.2	30.0	41.8	16.9	6.1
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	14.3	23.8	33.3	28.6

図表III-186 相模原市の良さ【子育て環境が充実している】（定住意向別）（SA・SA）



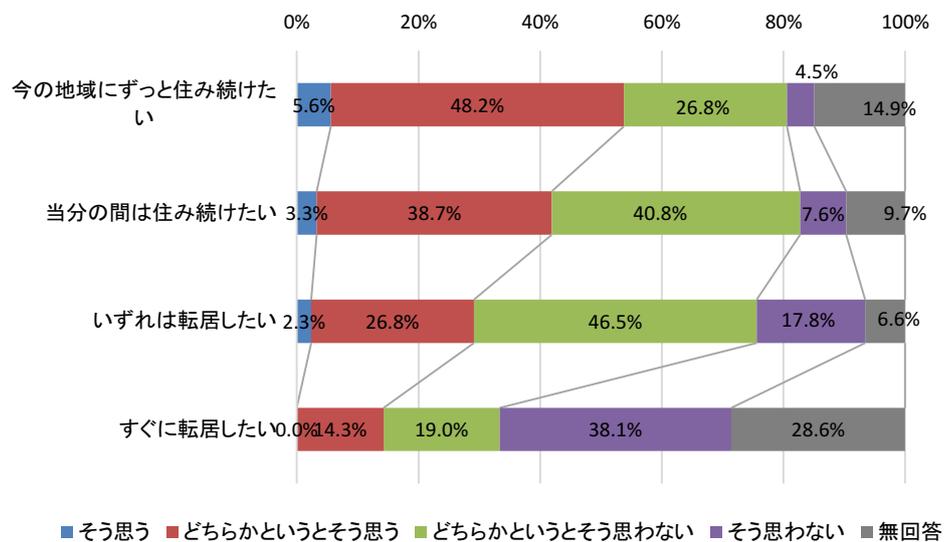
④ 教育環境が充実している

- 相模原市の良さのうち「教育環境が充実している」について、居住意向別に見ると、「今の地域にずっと住み続けたい」で「どちらかというと思う」が48.2%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、教育環境が充実していると感じる方が多く、転居意向のある方は教育環境が充実していると思わない方が多い。特に転居意向が強いほど、そう思わない方の割合が高い。

図表III-187 相模原市の良さ【教育環境が充実している】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8エ 相模原市の良さ教育環境が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	5.6	48.2	26.8	4.5	14.9
	当分の間は住み続けたい (n=608)	3.3	38.7	40.8	7.6	9.7
	いずれは転居したい (n=213)	2.3	26.8	46.5	17.8	6.6
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	14.3	19.0	38.1	28.6

図表III-188 相模原市の良さ【教育環境が充実している】（定住意向別）（SA・SA）



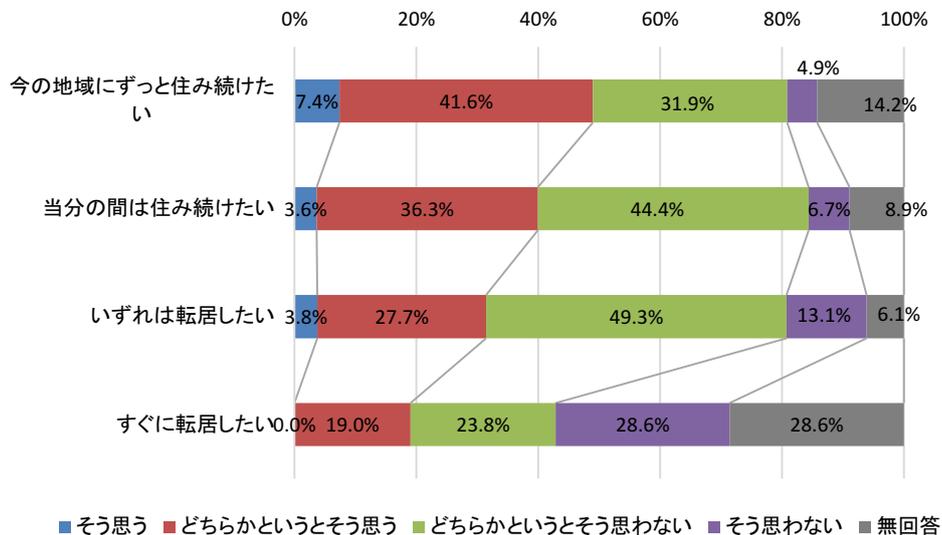
⑤ スポーツが盛ん

- 相模原市の良さのうち「スポーツが盛ん」について、居住意向別に見ると、「いずれは転居したい」で「どちらかというと思わない」が49.3%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、スポーツが盛んだと感じる方が多く、転居意向のある方は、スポーツが盛んだと思わない方が多い。

図表III-189 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8才 相模原市の良さスポーツが盛ん				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	7.4	41.6	31.9	4.9	14.2
	当分の間は住み続けたい (n=608)	3.6	36.3	44.4	6.7	8.9
	いずれは転居したい (n=213)	3.8	27.7	49.3	13.1	6.1
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	19.0	23.8	28.6	28.6

図表III-190 相模原市の良さ【スポーツが盛ん】（定住意向別）（SA・SA）



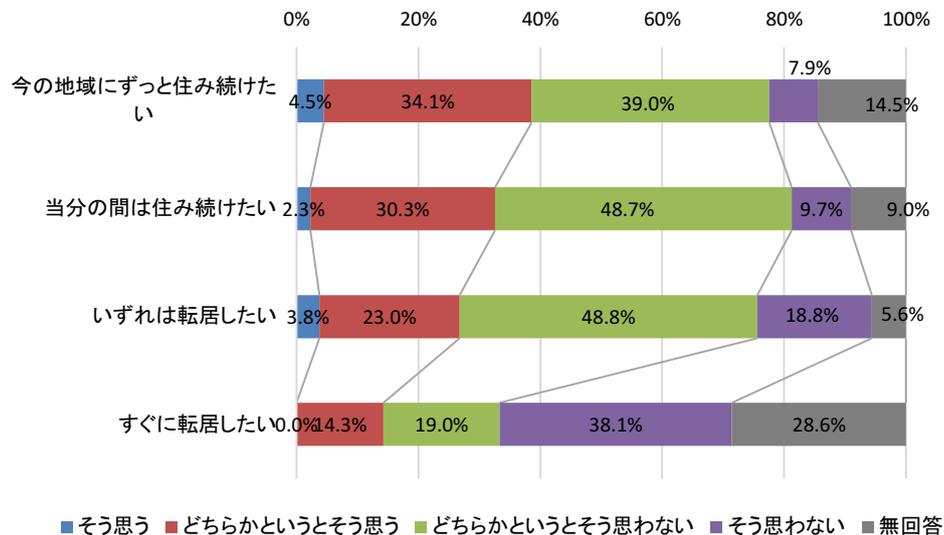
⑥ 文化的・芸術的

- 相模原市の良さのうち「文化的・芸術的」について、居住意向別に見ると、「いずれは転居したい」で「どちらかというと思わない」が48.8%と最も高くなっている。
- また、定住意向、転居意向、いずれにおいても、文化的・芸術的だと思わない方の割合が高くなっている。

図表III-191 相模原市の良さ【文化的・芸術的】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8力 相模原市の良さ【文化的・芸術的】				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	4.5	34.1	39.0	7.9	14.5
	当分の間は住み続けたい (n=608)	2.3	30.3	48.7	9.7	9.0
	いずれは転居したい (n=213)	3.8	23.0	48.8	18.8	5.6
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	14.3	19.0	38.1	28.6

図表III-192 相模原市の良さ【文化的・芸術的】（定住意向別）（SA・SA）



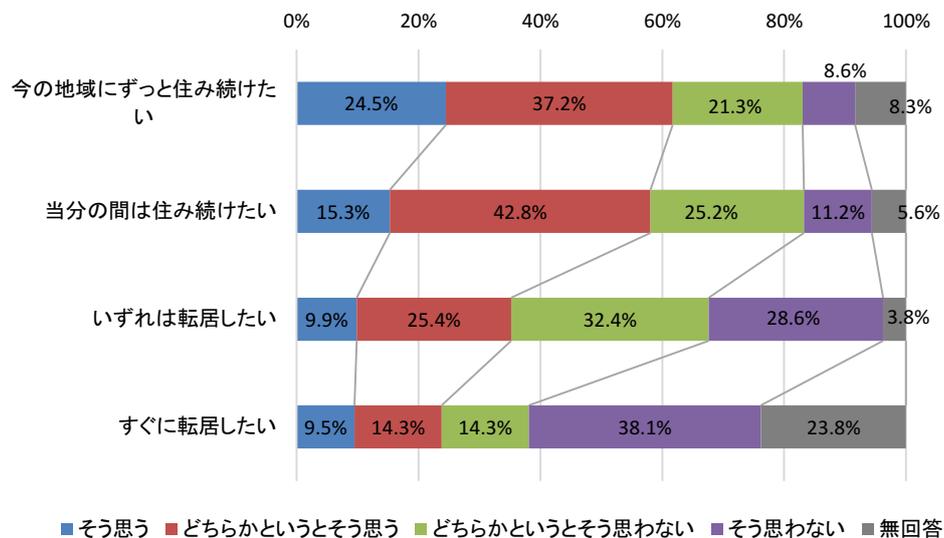
⑦ 交通の便が良い

- 相模原市の良さのうち、「交通の便が良い」について居住意向別に見ると、「当分の間は住み続けたい」で「どちらかというと思う」が42.8%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、交通の便が良いと感じる方が多く、転居意向のある方は交通の便が良いと思わない方が多い。特に転居意向が強いほど、そう思わない方の割合が高い。

図表III-193 相模原市の良さ【交通の便が良い】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8キ 相模原市の良さ交通の便が良い				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	24.5	37.2	21.3	8.6	8.3
	当分の間は住み続けたい (n=608)	15.3	42.8	25.2	11.2	5.6
	いずれは転居したい (n=213)	9.9	25.4	32.4	28.6	3.8
	すぐに転居したい (n=21)	9.5	14.3	14.3	38.1	23.8

図表III-194 相模原市の良さ【交通の便が良い】（定住意向別）（SA・SA）



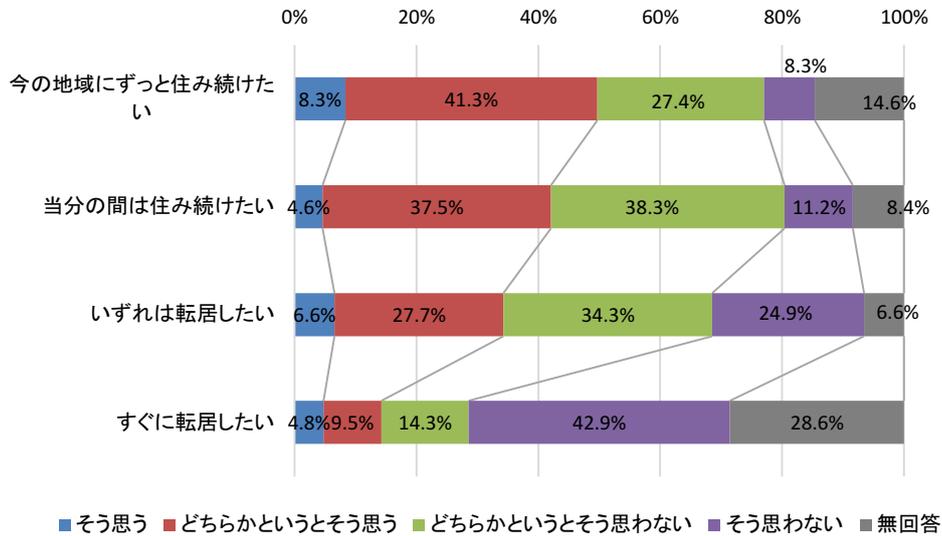
⑧ 働く場所が多い

- 相模原市の良さのうち、「働く場所が多い」について居住意向別に見ると、「すぐに転居したい」で「そう思わない」が42.9%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、働く場所が多いと感じる方が多く、転居意向のある方は働く場所が多いと思わない方が多い。特に転居意向が強いほど、そう思わない方の割合が高い。

図表III-195 相模原市の良さ【働く場所が多い】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8ク 相模原市の良さ働く場所が多い				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	8.3	41.3	27.4	8.3	14.6
	当分の間は住み続けたい (n=608)	4.6	37.5	38.3	11.2	8.4
	いずれは転居したい (n=213)	6.6	27.7	34.3	24.9	6.6
	すぐに転居したい (n=21)	4.8	9.5	14.3	42.9	28.6

図表III-196 相模原市の良さ【働く場所が多い】（定住意向別）（SA・SA）



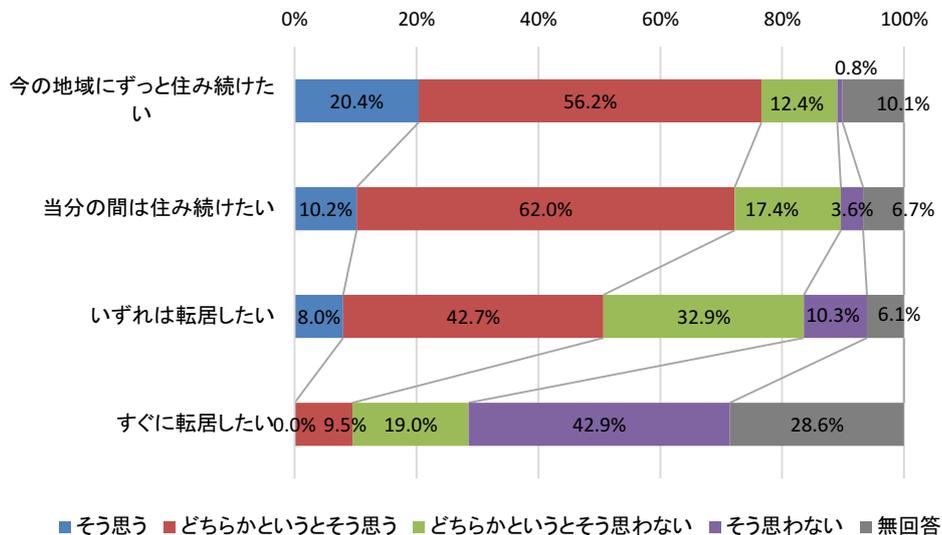
⑨ 居住環境が良い

- 相模原市の良さのうち、「居住環境が良い」について居住意向別に見ると、「当分の間は住み続けたい」で「どちらかというと思う」が62.0%と最も高くなっている。
- すぐに転居したい方のみ、居住環境が良いについて「そう思わない」と感じる方の割合が高くなっている。

図表III-197 相模原市の良さ【居住環境が良い】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8ヶ 相模原市の良さ【居住環境が良い】				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	20.4	56.2	12.4	0.8	10.1
	当分の間は住み続けたい (n=608)	10.2	62.0	17.4	3.6	6.7
	いずれは転居したい (n=213)	8.0	42.7	32.9	10.3	6.1
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	9.5	19.0	42.9	28.6

図表III-198 相模原市の良さ【居住環境が良い】（定住意向別）（SA・SA）



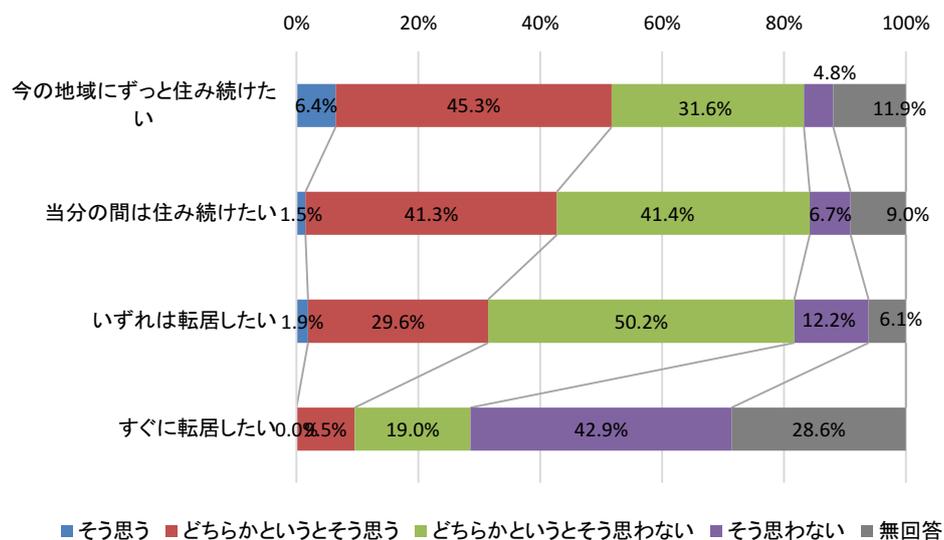
⑩ 防災対策が充実している

- 相模原市の良さのうち、「防災対策が充実している」について居住意向別に見ると、「いずれは転居したい」で「どちらかというと思わない」が50.2%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、防災対策が充実していると感じる方が多く、転居意向のある方は防災対策が充実していると思わない方が多い。特に転居意向が強いほど、そう思わない方の割合が高い。

図表III-199 相模原市の良さ【防災対策が充実している】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8 相模原市の良さ【防災対策が充実している】				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	6.4	45.3	31.6	4.8	11.9
	当分の間は住み続けたい (n=608)	1.5	41.3	41.4	6.7	9.0
	いずれは転居したい (n=213)	1.9	29.6	50.2	12.2	6.1
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	9.5	19.0	42.9	28.6

図表III-200 相模原市の良さ【防災対策が充実している】（定住意向別）（SA・SA）



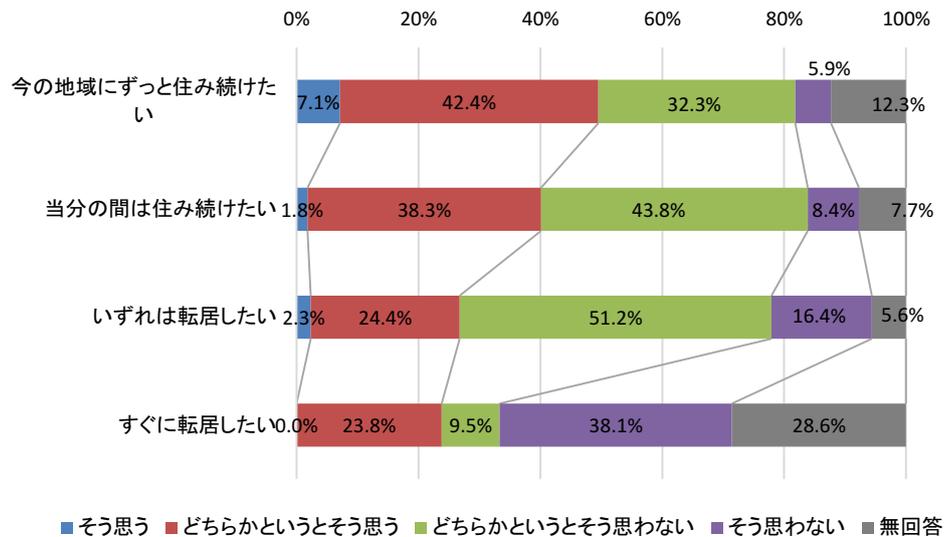
⑪ 防犯・交通安全対策が充実している

- 相模原市の良さのうち、「防犯・交通安全対策が充実している」について居住意向別に見ると、「いずれは転居したい」で「どちらかというと思わない」が51.2%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、防犯・交通安全対策が充実していると感じる方が多く、転居意向のある方は防犯・交通安全対策が充実していると思わない方が多い。特に転居意向が強いほど、そう思わない方の割合が高い。

図表III-201 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】
(定住意向別、数値は%) (SA・SA)

		Q8サ 相模原市の良さ防犯・交通安全対策が充実している				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	7.1	42.4	32.3	5.9	12.3
	当分の間は住み続けたい (n=608)	1.8	38.3	43.8	8.4	7.7
	いずれは転居したい (n=213)	2.3	24.4	51.2	16.4	5.6
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	23.8	9.5	38.1	28.6

図表III-202 相模原市の良さ【防犯・交通安全対策が充実している】 (定住意向別) (SA・SA)



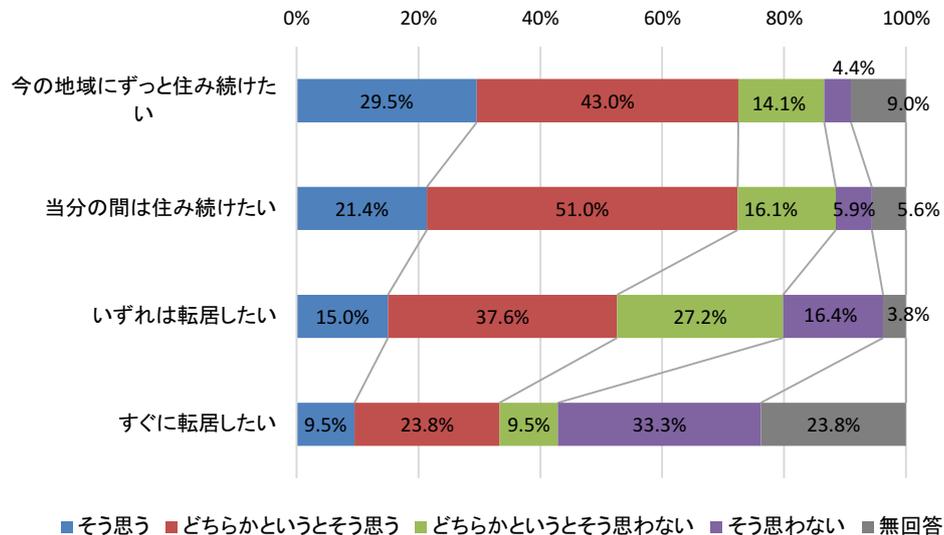
⑫ 買い物がしやすく便利

- 相模原市の良さのうち、「買い物がしやすく便利」について居住意向別に見ると、「当分の間は住み続けたい」で「どちらかというと思う」が51.0%と最も高くなっている。
- すぐに転居したい方のみ、「買い物がしやすく便利」について「そう思わない」と感じる方の割合が高くなっている。

図表III-203 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8シ 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	29.5	43.0	14.1	4.4	9.0
	当分の間は住み続けたい (n=608)	21.4	51.0	16.1	5.9	5.6
	いずれは転居したい (n=213)	15.0	37.6	27.2	16.4	3.8
	すぐに転居したい (n=21)	9.5	23.8	9.5	33.3	23.8

図表III-204 相模原市の良さ【買い物がしやすく便利】（定住意向別）（SA・SA）



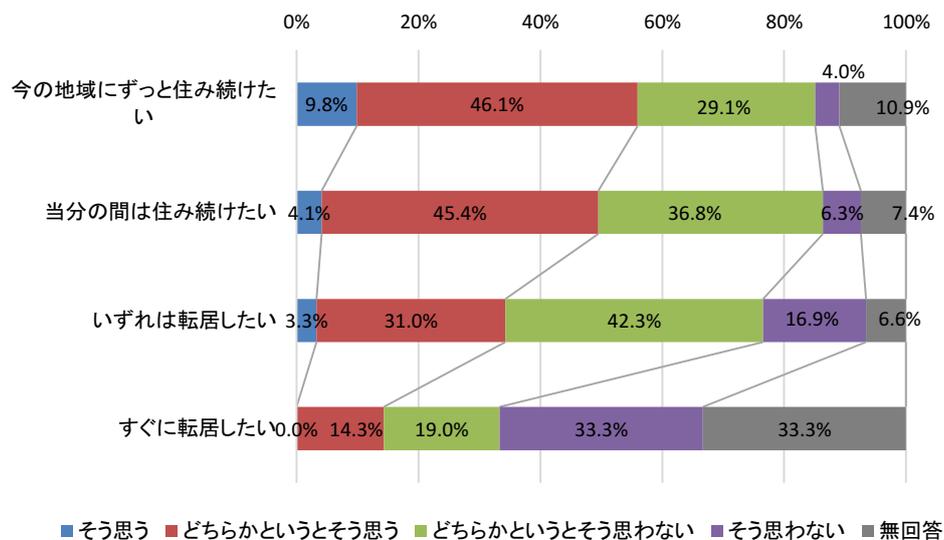
⑬ 福祉や医療サービスが充実している

- 相模原市の良さのうち、「福祉や医療サービスが充実している」について居住意向別に見ると、「今の地域にずっと住み続けたい」で「どちらかというと思う」が46.1%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、福祉や医療サービスが充実していると感じる方が多く、転居意向のある方は福祉や医療サービスが充実していると思わない方が多い。特に転居意向が強いほど、そう思わない方の割合が高い。

図表III-205 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】
(定住意向別、数値は%) (S A・S A)

		Q8ス 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	9.8	46.1	29.1	4.0	10.9
	当分の間は住み続けたい (n=608)	4.1	45.4	36.8	6.3	7.4
	いずれは転居したい (n=213)	3.3	31.0	42.3	16.9	6.6
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	14.3	19.0	33.3	33.3

図表III-206 相模原市の良さ【福祉や医療サービスが充実している】 (定住意向別) (S A・S A)



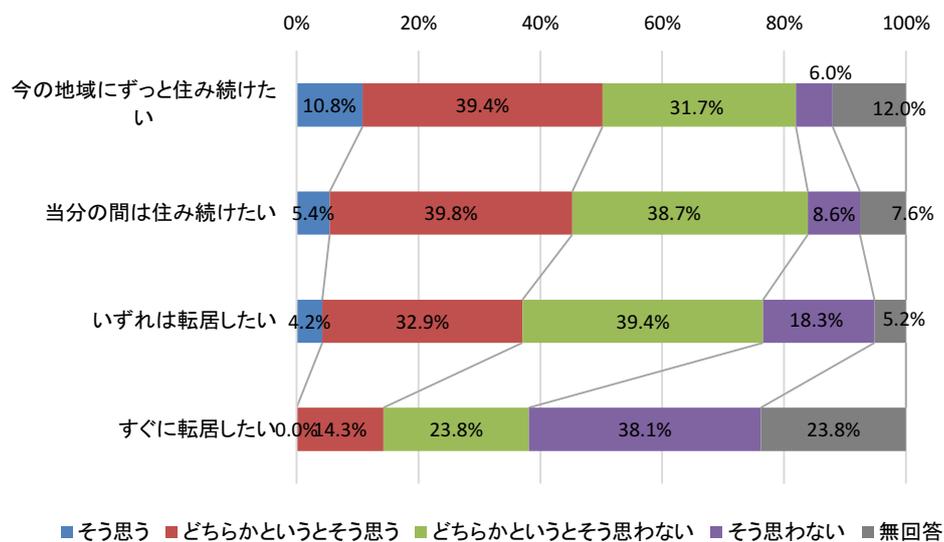
⑭ 公共施設が充実している

- 相模原市の良さのうち、「公共施設が充実している」について居住意向別に見ると、「当分の間は住み続けたい」で「どちらかというと思う」が39.8%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方は、公共施設が充実していると感じる方が多く、転居意向のある方は公共施設が充実していると思わない方が多い。特に転居意向が強いほど、そう思わない方の割合が高い。

図表III-207 相模原市の良さ【公共施設が充実している】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8セ 相模原市の良さ公共施設が充実している				
		そう思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	10.8	39.4	31.7	6.0	12.0
	当分の間は住み続けたい (n=608)	5.4	39.8	38.7	8.6	7.6
	いずれは転居したい (n=213)	4.2	32.9	39.4	18.3	5.2
	すぐに転居したい (n=21)	0.0	14.3	23.8	38.1	23.8

図表III-208 相模原市の良さ【公共施設が充実している】（定住意向別）（SA・SA）



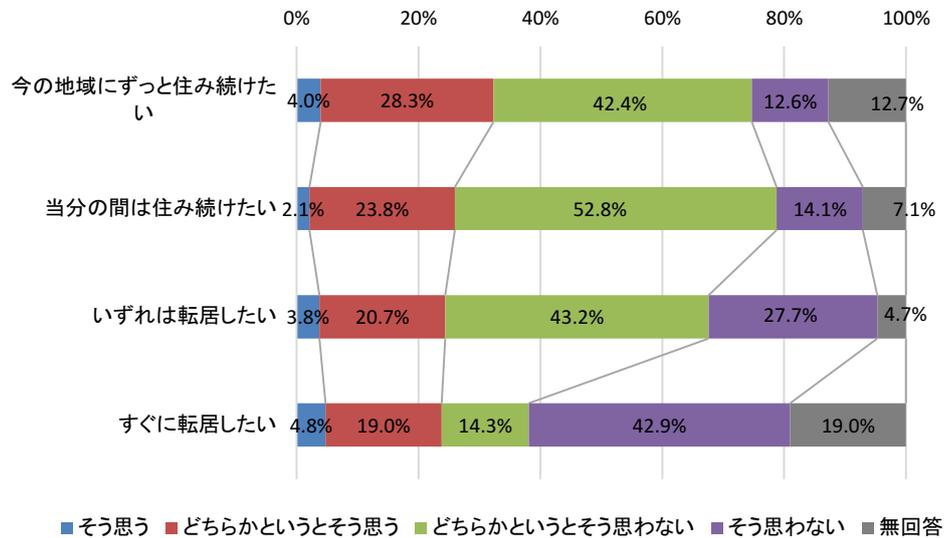
⑮ 娯楽・レジャーが充実している

- 相模原市の良さのうち、「娯楽・レジャーが充実している」について居住意向別に見ると、「当分の間は住み続けたい」で「どちらかというと思わない」が52.8%と最も高くなっている。
- 定住意向のある方、転居意向のある方、いずれにおいても娯楽、レジャーが充実していると思わない方の割合が高くなっている。

図表III-209 相模原市の良さ【娯楽・レジャーが充実している】（定住意向別、数値は%）（SA・SA）

		Q8ソ 相模原市の良さ娯楽、レジャー施設が充実している				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという と思わない	そう思わない	無回答
Q2居住意向	今の地域にずっと住み続けたい (n=731)	4.0	28.3	42.4	12.6	12.7
	当分の間は住み続けたい (n=608)	2.1	23.8	52.8	14.1	7.1
	いずれは転居したい (n=213)	3.8	20.7	43.2	27.7	4.7
	すぐに転居したい (n=21)	4.8	19.0	14.3	42.9	19.0

図表III-210 相模原市の良さ【娯楽・レジャーが充実している】（定住意向別）（SA・SA）

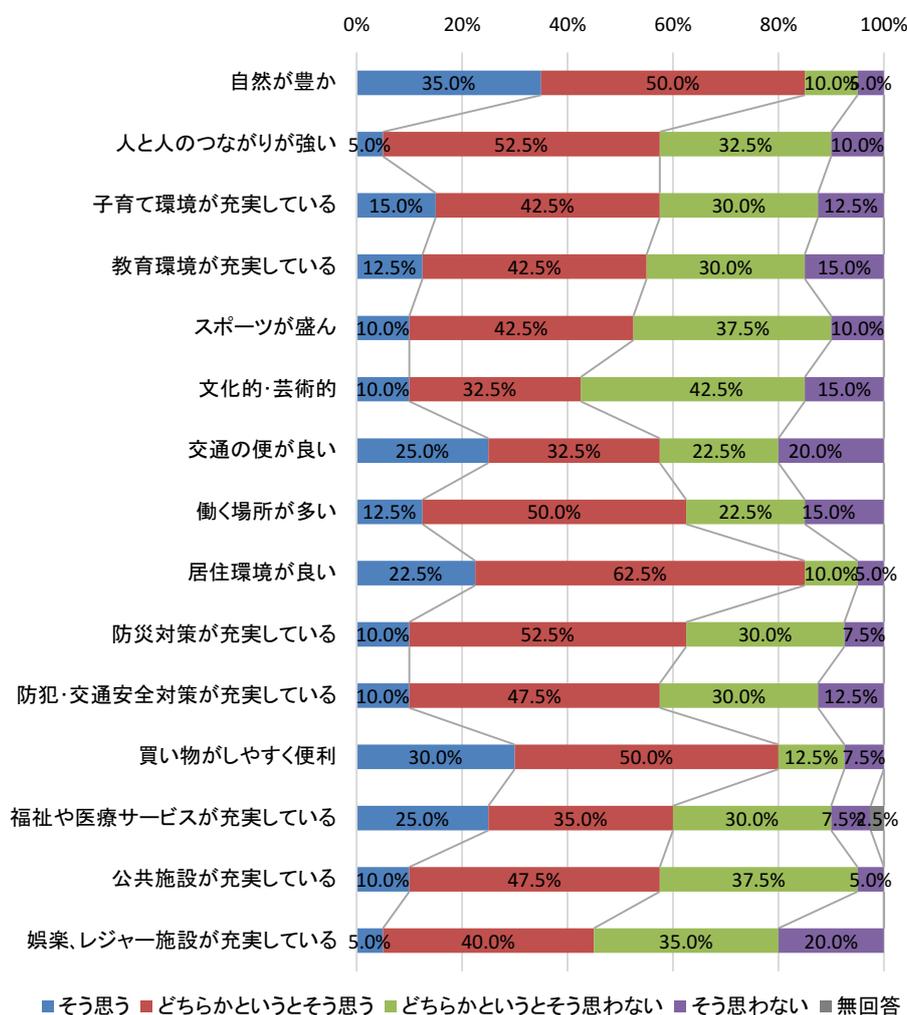


(4) 相模原市の良さの属性別比較分析

① 16～19 歳

- 16～19 歳が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというと思う」が62.5%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」「福祉や医療サービスが充実している」が高くなっている。
- 一方で「「そう思わない」」についてみると、「交通の便が良い」「娯楽、レジャー施設が充実している」が高くなっている。

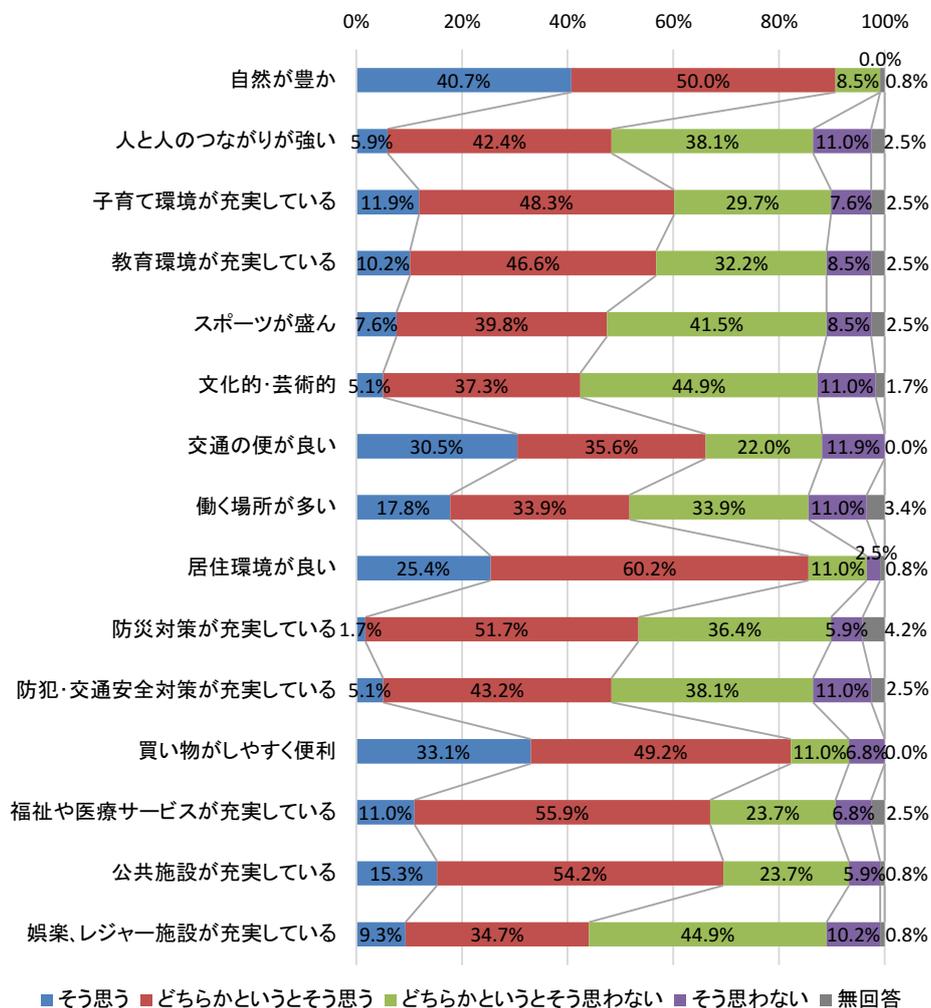
図表III-211 相模原市の良さ（16～19歳）（SA・SA）



② 20～29 歳

- 20～29 歳が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというと思う」が60.2%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」が高くなっている。
- 一方で「「そう思わない」」についてみると、「交通の便が良い」「人と人のつながりが強い」「文化的・芸術的」「働く場所が多い」「防犯・交通安全対策が充実している」が高くなっている。
- 概ね 10 代と同様の傾向となっている。

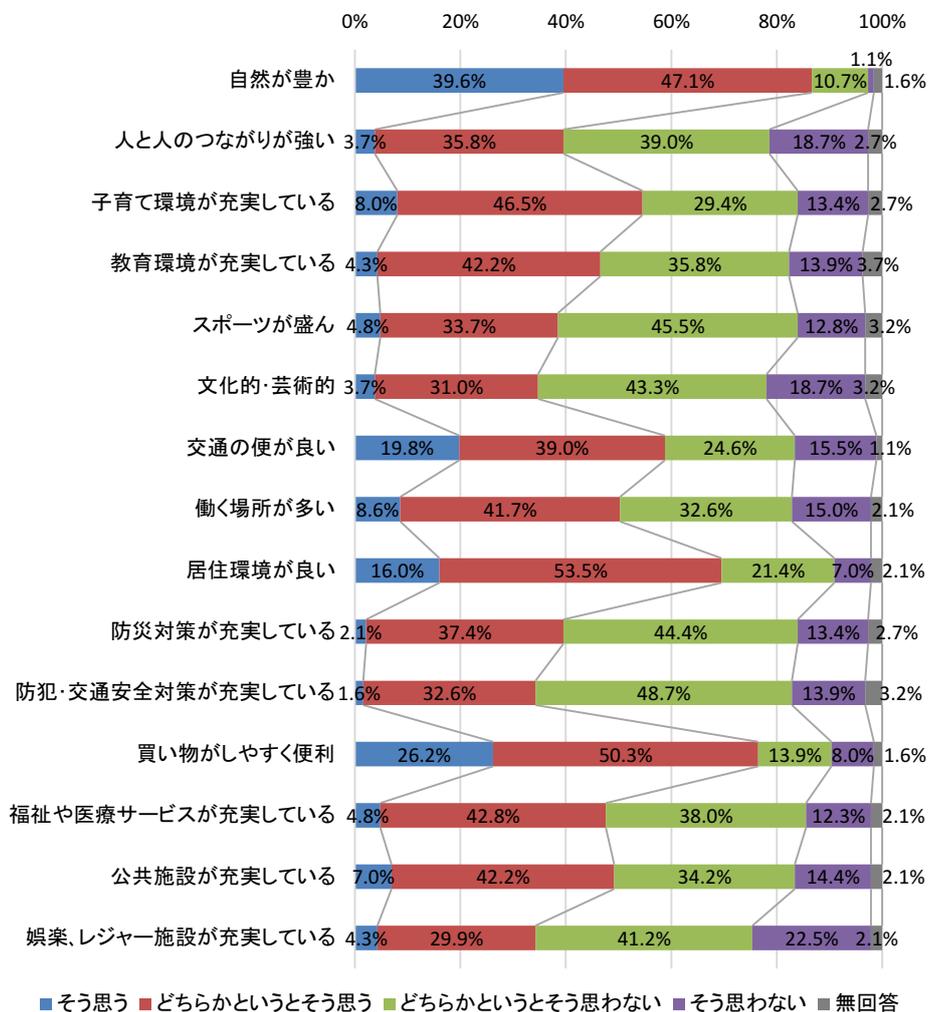
図表III-212 相模原市の良さ（20～29歳）（SA・SA）



③ 30～39 歳

- 30～39 歳が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというと思う」が 53.5%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」が高くなっている。
- 一方で「そう思わない」」についてみると、「「娯楽、レジャー施設が充実している」「人と人のつながりが強い」「文化的・芸術的」」が高くなっている。
- 10 代、20 代と比較して、全体的に「「そう思う」」の割合が下がり「「そう思わない」」の割合が高くなっている。

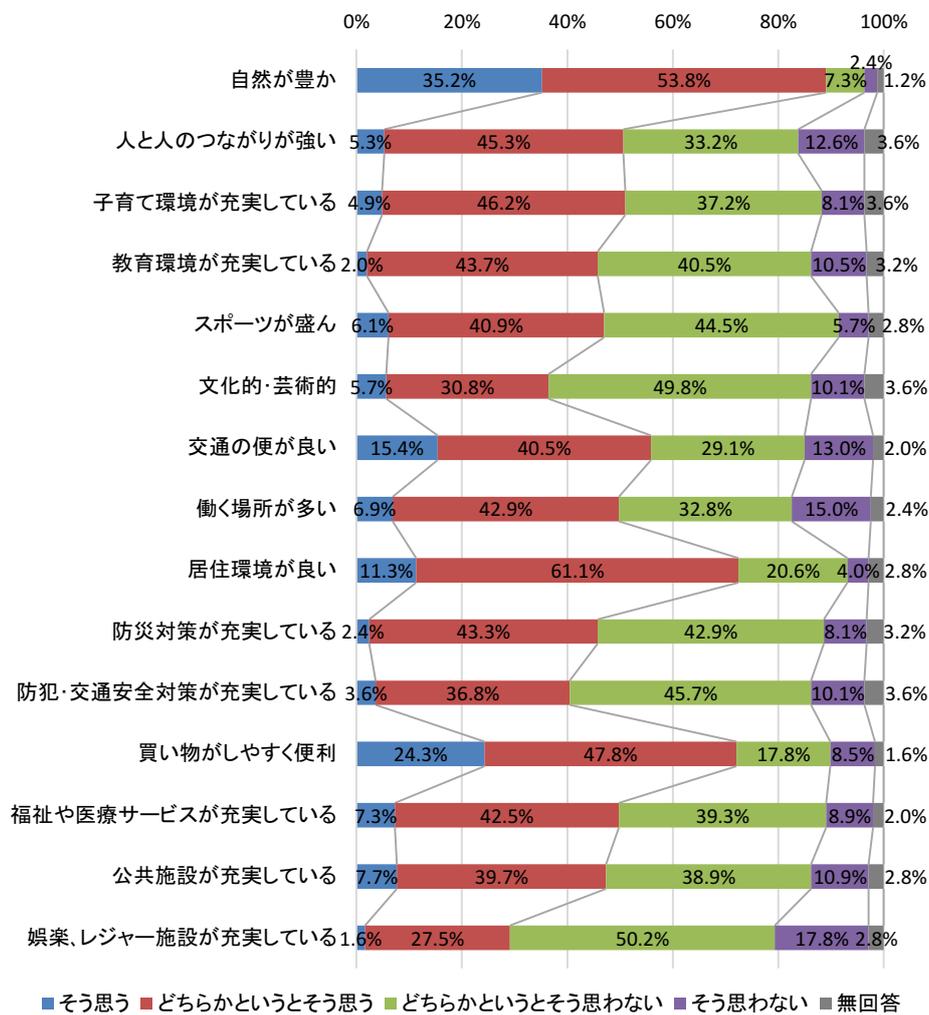
図表III-213 相模原市の良さ（30～39歳）（SA・SA）



④ 40～49 歳

- 40～49 歳が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというと思う」が61.1%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」が高くなっている。
- 一方で「「そう思わない」」についてみると、「娯楽、レジャー施設が充実している」「働く場所が多い」「人と人のつながりが強い」「文化的・芸術的」が高くなっている。

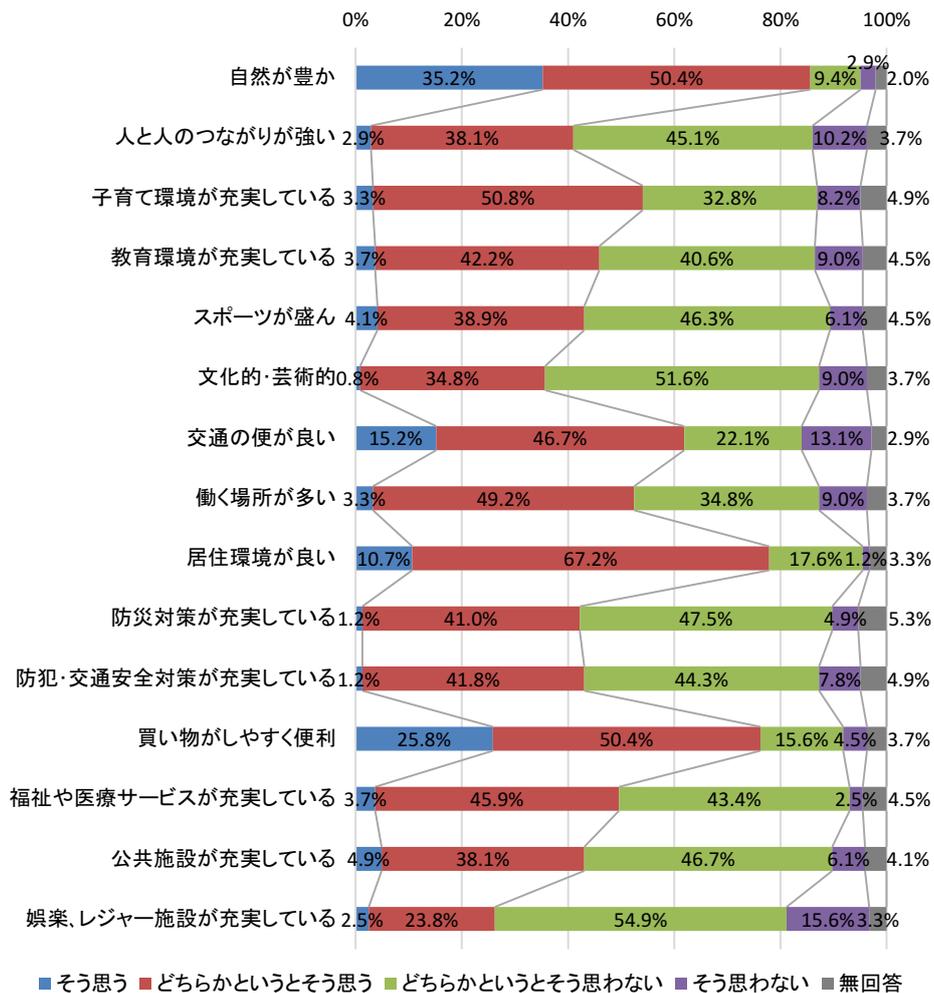
図表III-214 相模原市の良さ（40～49歳）（SA・SA）



⑤ 50～59 歳

- 50～59 歳が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというところ思う」が67.2%と最も高くなっている。
- 「そう思う」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」が高くなっている。
- 一方で「そう思わない」についてみると、「娯楽、レジャー施設が充実している」「交通の便が良い」が高くなっている。

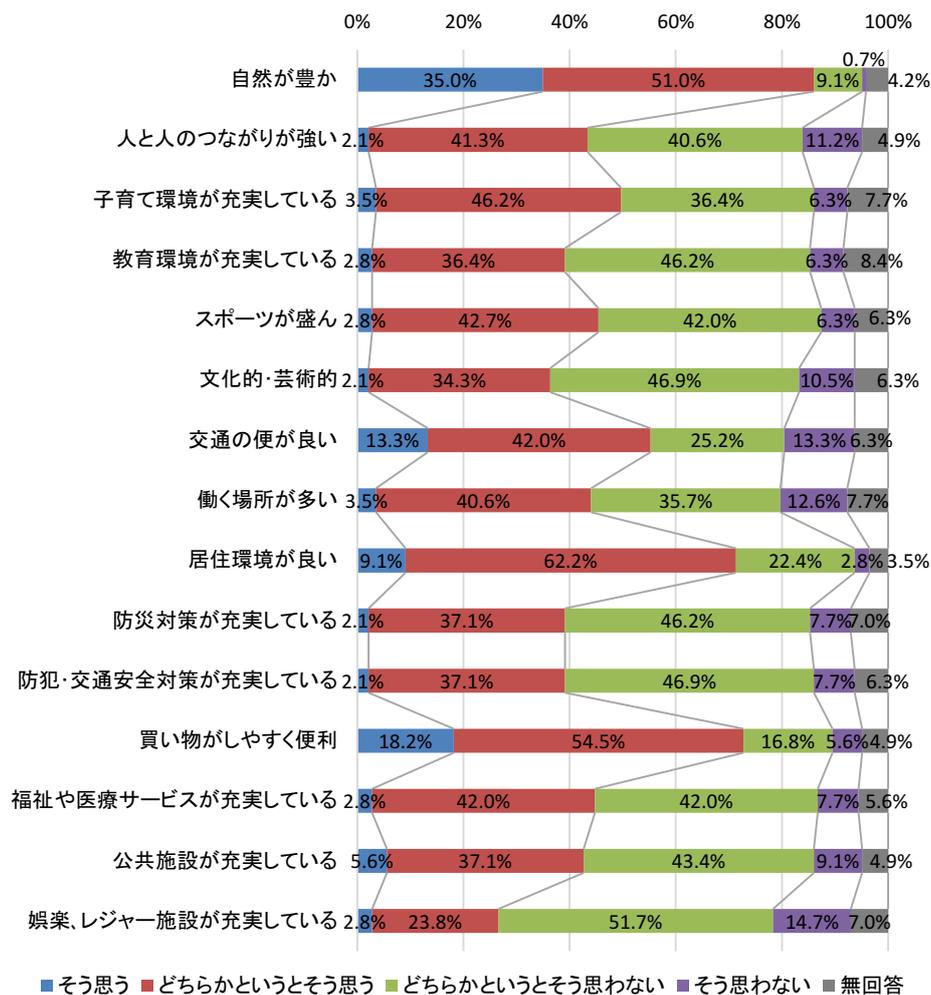
図表III-215 相模原市の良さ（50～59歳）（SA・SA）



⑥ 60～64 歳

- 60～64 歳が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというと思う」が62.2%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」が高くなっている。
- 一方で「「そう思わない」」についてみると、「娯楽、レジャー施設が充実している」「交通の便が良い」が高くなっている。

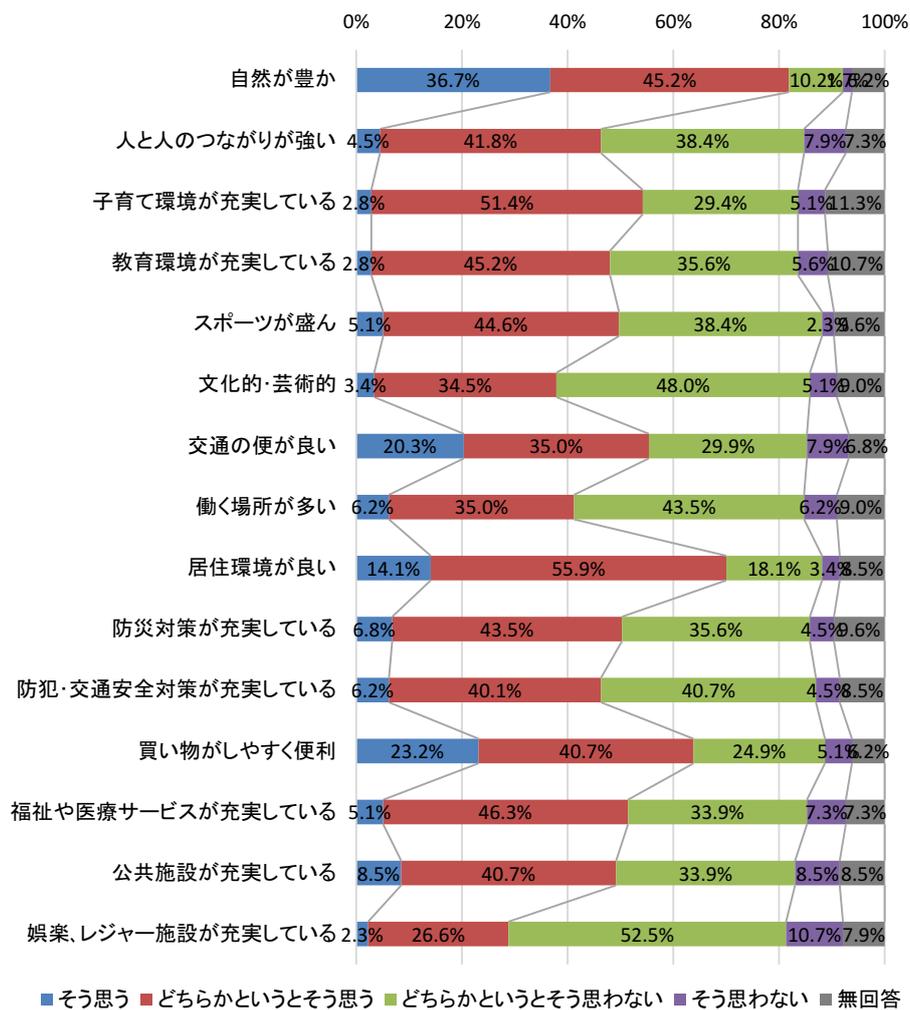
図表III-216 相模原市の良さ（60～64歳）（SA・SA）



⑦ 65～69 歳

- 65～69 歳が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというと思う」が 55.9%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」が高くなっている。
- 一方で「そう思わない」についてみると、「娯楽、レジャー施設が充実している」「公共施設が充実している」が高くなっている。

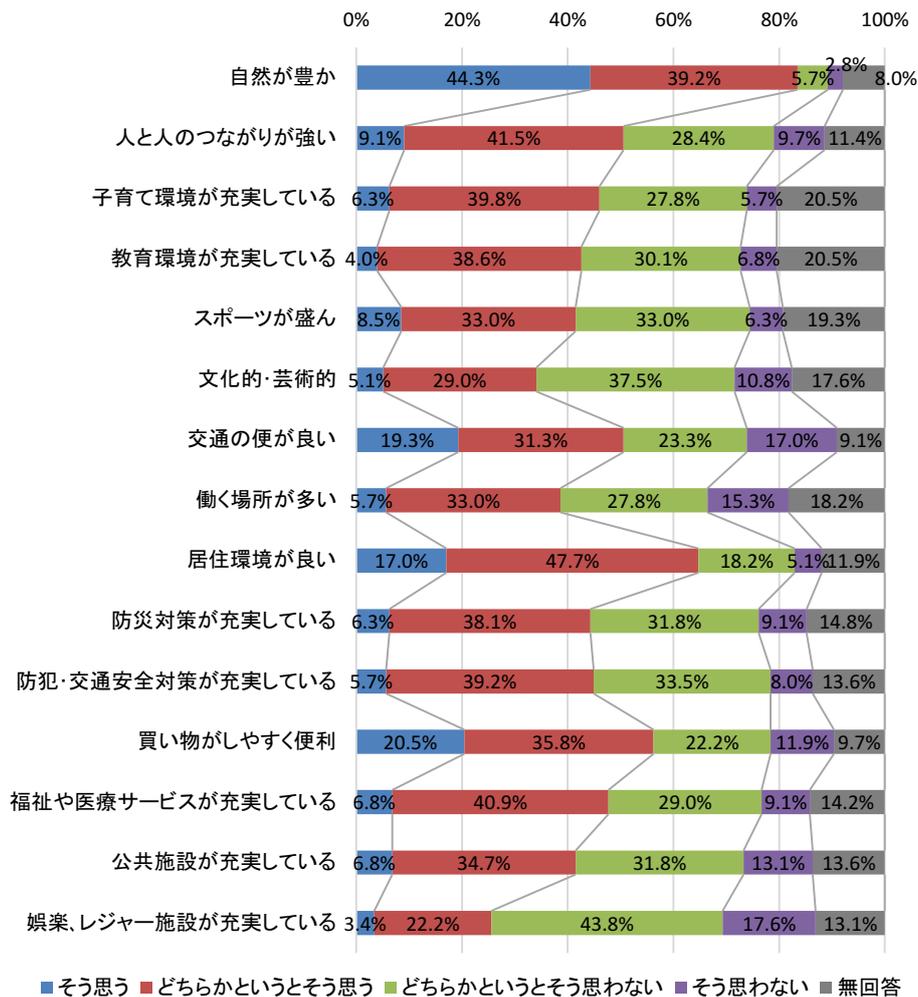
図表III-217 相模原市の良さ（65～69歳）（SA・SA）



⑧ 70～74 歳

- 70～74 歳が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというと思う」が47.7%と最も高くなっている。
- 「そう思う」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」が高くなっている。
- 一方で「そう思わない」についてみると、「娯楽、レジャー施設が充実している」「交通の便が良い」が高くなっている。

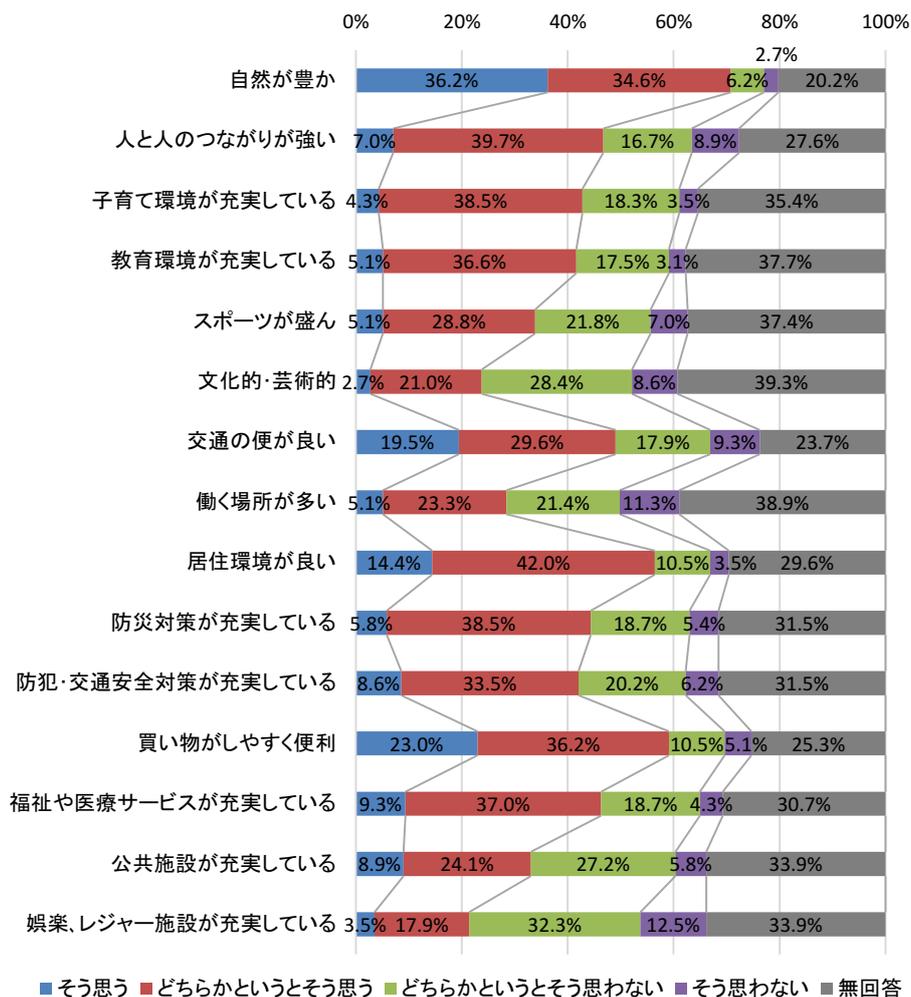
図表III-218 相模原市の良さ（70～74歳）（SA・SA）



⑨ 75歳以上

- 75歳が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというと思う」が42.0%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」が高くなっている。
- 一方で「「そう思わない」」についてみると、「娯楽、レジャー施設が充実している」「働く場所が多い」が高くなっている。

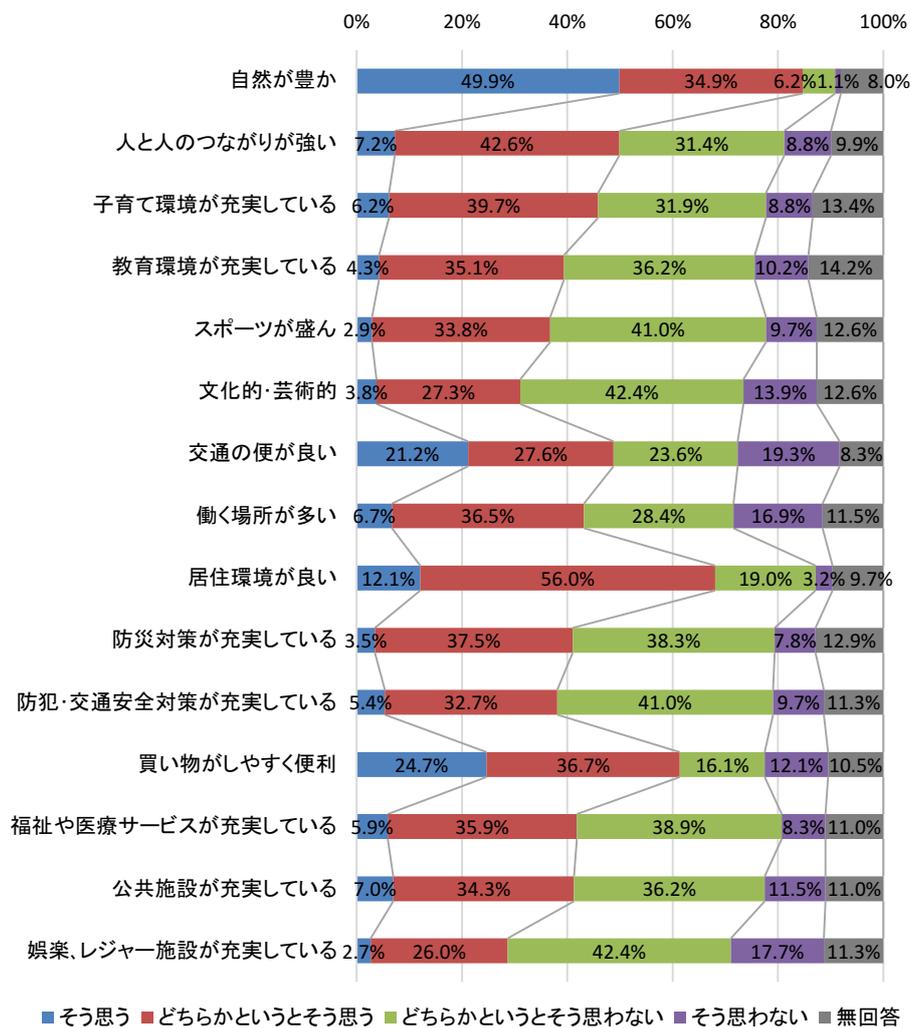
図表III-219 相模原市の良さ（75歳以上）（SA・SA）



⑩ 緑区

- 緑区民が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかというと思う」が56.0%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が良い」が高くなっている。
- 一方で「そう思わない」についてみると、「交通の便が良い」「娯楽、レジャー施設が充実している」「働く場所が多い」が高くなっている。

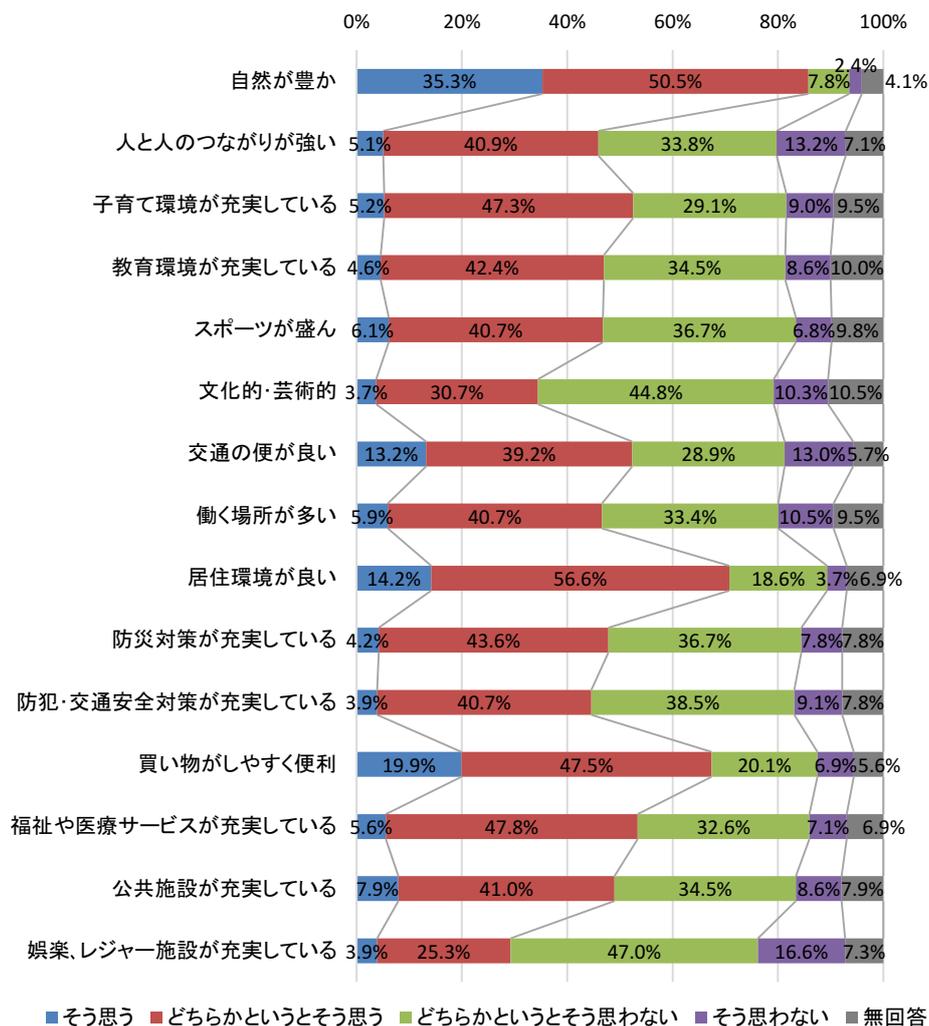
図表III-220 相模原市の良さ（緑区）（SA・SA）



⑪ 中央区

- 中央区民が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかという
とそう思う」が56.6%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が
良い」が高くなっている。
- 一方で「「そう思わない」についてみると、「娯楽、レジャー施設が充実している」「人
と人のつながりが強い」「交通の便が良い」が高くなっている。

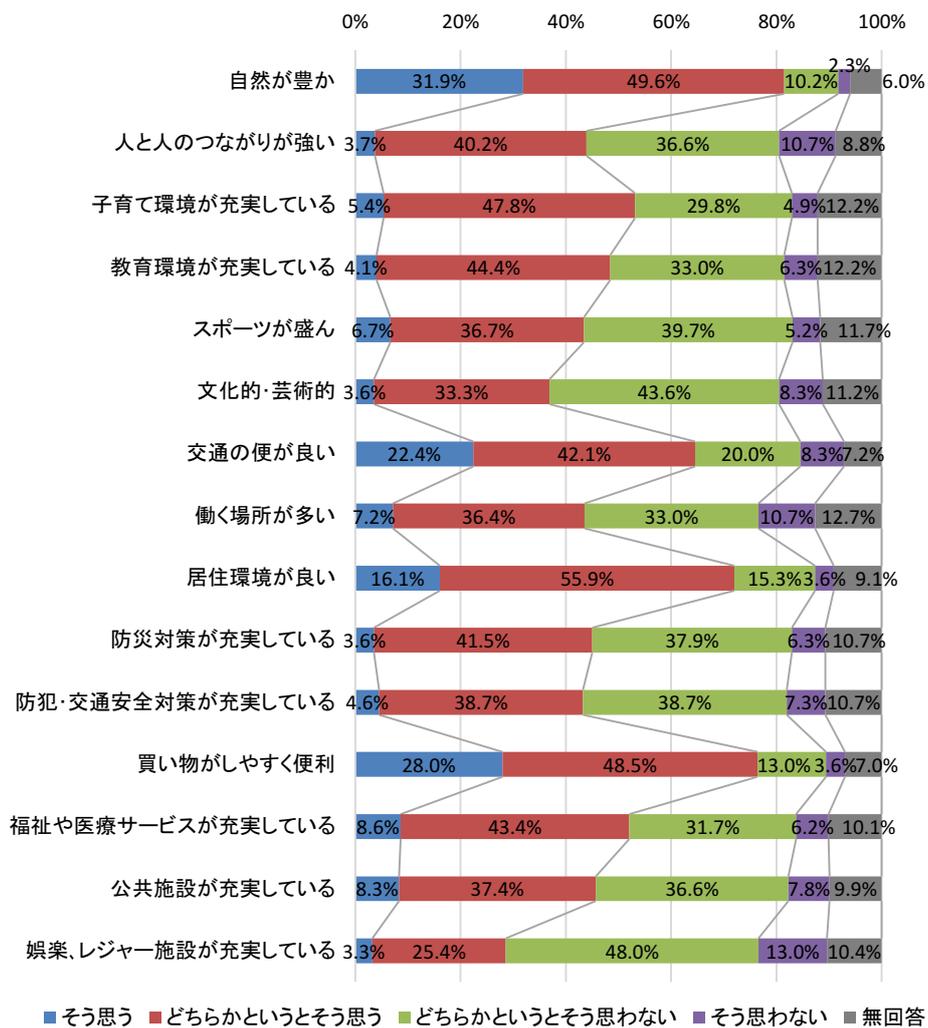
図表III-221 相模原市の良さ（中央区）（S A・S A）



⑫ 南区

- 中央区民が思う相模原市の良さについては、「居住環境が良い」で「どちらかという
とそう思う」が55.9%と最も高くなっている。
- 「「そう思う」」について見ると、「自然が豊か」「買い物がしやすく便利」「交通の便が
良い」が高くなっている。
- 一方で「「そう思わない」」についてみると、「娯楽、レジャー施設が充実している」「人
と人のつながりが強い」「働く場所が多い」が高くなっている。

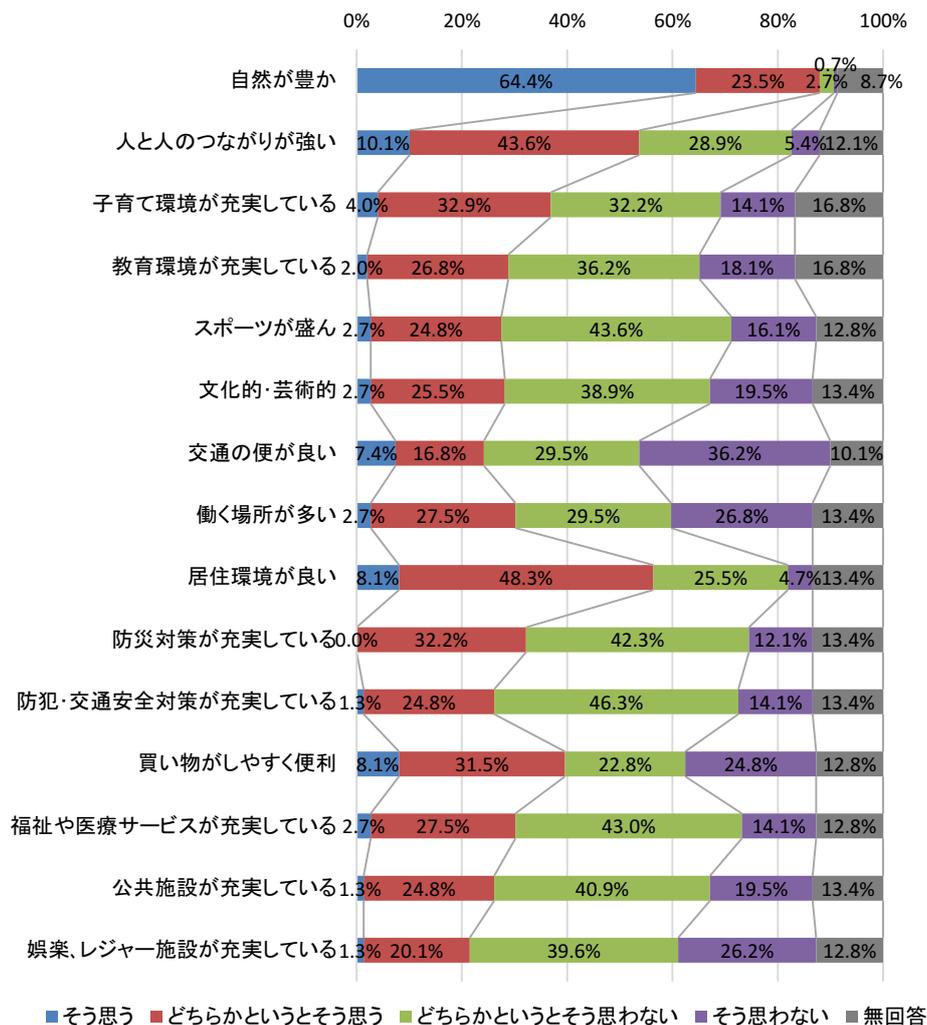
図表III-222 相模原市の良さ（南区）（SA・SA）



⑬ 津久井地域

- 津久井地域居住者が思う相模原市の良さについては、「自然が豊か」で「そう思う」が64.4%と最も高くなっている。
- 「そう思う」について見ると、「自然が豊か」が突出して高くなっている。
- 一方で「そう思わない」についてみると、「交通の便が良い」「働く場所が多い」「娯楽、レジャー施設が充実している」が高くなっている。

図表III-223 相模原市の良さ（津久井地域）（SA・SA）

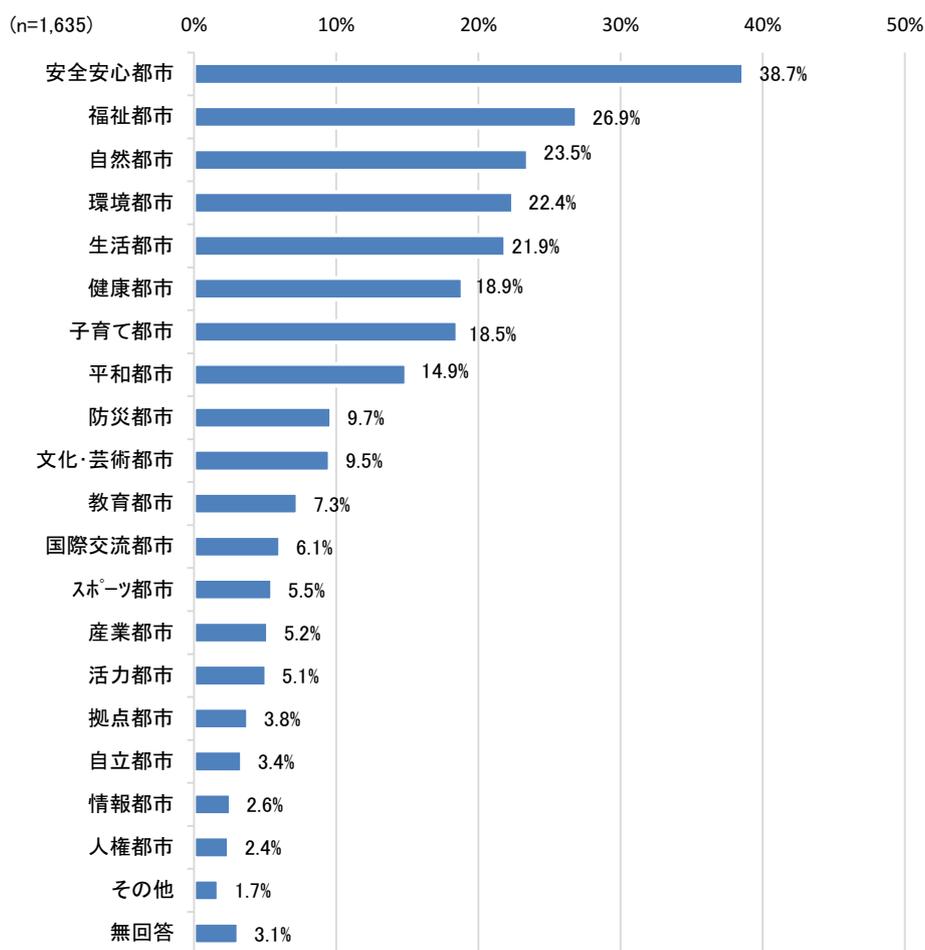


2-9. 目指すべき都市像

問 9 あなたは、市が将来どのような都市（キャッチコピーをつけるとしたら）を目指したらよいと思いますか。次の中から3つ以内でお選びください。（○は3つまで）

- 相模原市が目指すべき都市像は、「安全安心都市」が38.7%で最も多く、次いで、「福祉都市」が26.9%、「自然都市」が23.5%となっている。

図表III-224 目指すべき都市像（MA）



注) 項目は数値の高い順に整列

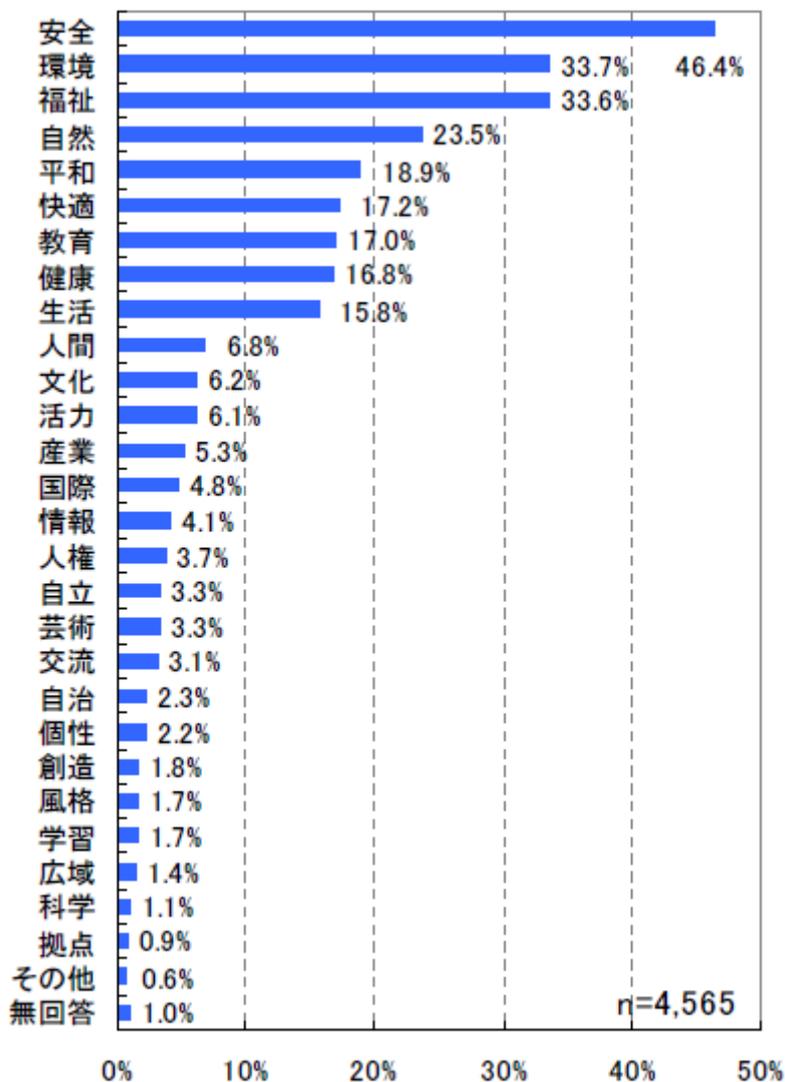
■ その他回答の主な意見

- ・ 水源文化都市
- ・ リニア都市
- ・ 未来都市 等

(1) 目指すべき都市像の経年比較（参考）

- 前総合計画策定時のアンケート調査では、目指すべき都市像として「安全」が46.4%で最も高く、次いで「環境」が33.7%、「福祉」が33.6%となっている。
（設問及び項目が一部異なるため、参考として傾向を捉えるに留めることとする。）

図表III-225 目指すべき都市像（平成19年度調査）（MA）



(2) 目指すべき都市像の属性別クロス集計

① 年齢階層別目指すべき都市像

- 相模原市が目指すべき都市像について、年齢階層別に見ると75歳以上で「安全安心都市」が48.6%と最も高くなっている。
- ほとんどの年齢階層において、「安全安心都市」が最も高いが、20～29歳では「生活都市」が33.1%で最も高く、30～39歳では「子育て都市」が42.8%と最も高くなっている。

図表III-226 目指すべき都市像（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

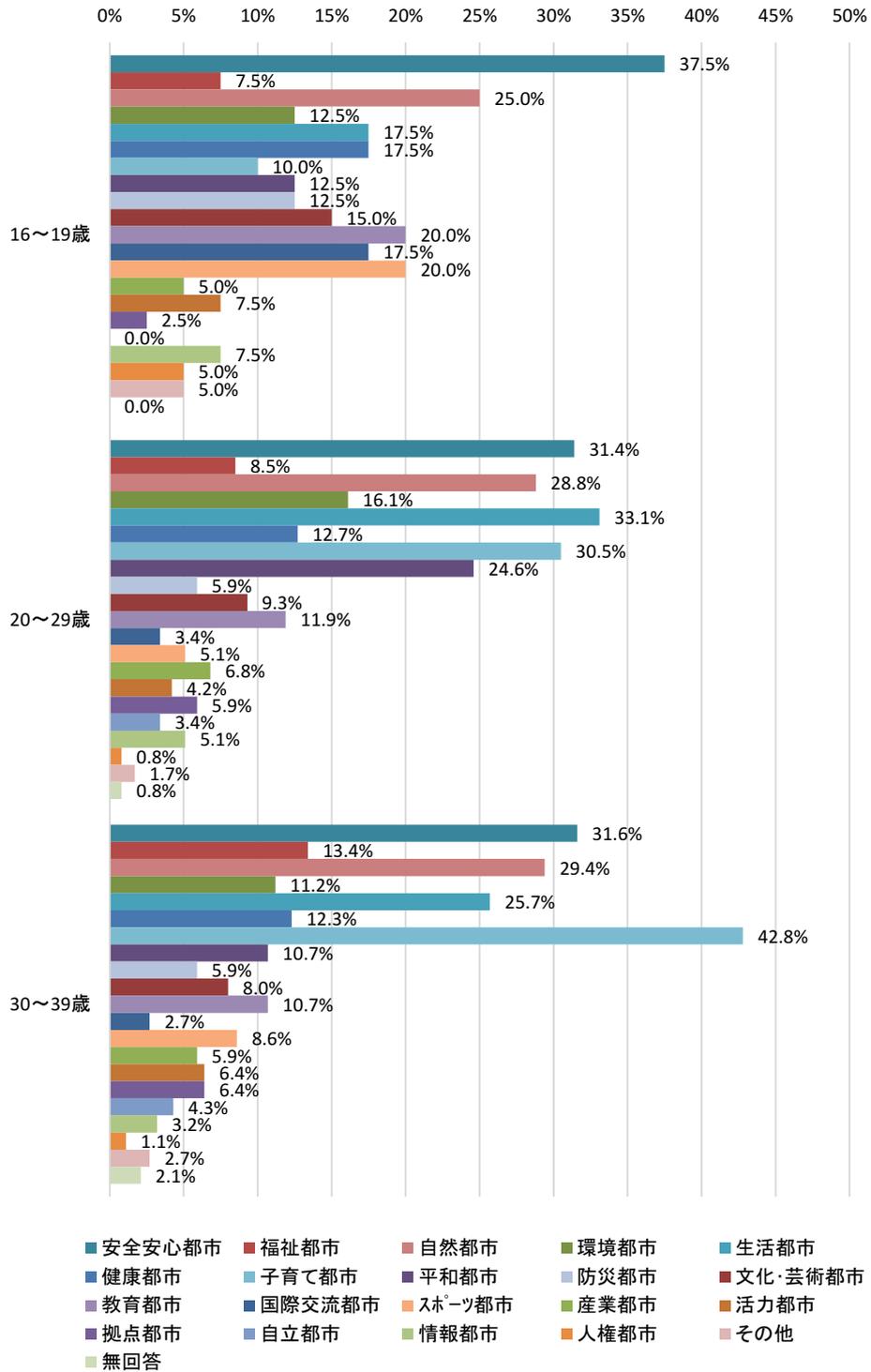
		Q9 目標としたらよいと思う都市						
		国際交流都市	文化・芸術都市	環境都市	平和都市	安全安心都市	活力都市	健康都市
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	17.5	15.0	12.5	12.5	37.5	7.5	17.5
	20～29歳 (n=118)	3.4	9.3	16.1	24.6	31.4	4.2	12.7
	30～39歳 (n=187)	2.7	8.0	11.2	10.7	31.6	6.4	12.3
	40～49歳 (n=247)	9.3	11.3	18.2	12.6	27.9	4.0	18.2
	50～59歳 (n=244)	4.5	10.7	23.8	15.2	35.7	7.4	18.4
	60～64歳 (n=143)	4.9	15.4	32.2	16.1	39.9	5.6	21.0
	65～69歳 (n=177)	5.6	11.9	29.4	14.1	44.6	5.1	18.6
	70～74歳 (n=176)	4.5	4.0	26.7	14.8	48.3	3.4	23.9
	75歳以上 (n=257)	7.8	7.4	25.3	16.0	48.6	3.9	23.0

		福祉都市	産業都市	拠点都市	生活都市	人権都市	自立都市	自然都市
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	7.5	5.0	2.5	17.5	5.0	0.0	25.0
	20～29歳 (n=118)	8.5	6.8	5.9	33.1	0.8	3.4	28.8
	30～39歳 (n=187)	13.4	5.9	6.4	25.7	1.1	4.3	29.4
	40～49歳 (n=247)	19.8	4.9	3.6	24.3	2.4	4.0	27.5
	50～59歳 (n=244)	25.8	3.7	6.1	31.1	1.6	2.5	21.3
	60～64歳 (n=143)	29.4	4.9	2.8	19.6	2.1	1.4	20.3
	65～69歳 (n=177)	33.9	5.6	4.0	18.1	4.0	3.4	22.0
	70～74歳 (n=176)	34.7	5.1	2.3	15.9	4.0	1.7	23.3
	75歳以上 (n=257)	43.2	5.8	0.8	12.8	2.7	5.4	17.9

		情報都市	教育都市	子育て都市	スポーツ都市	防災都市	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	7.5	20.0	10.0	20.0	12.5	5.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	5.1	11.9	30.5	5.1	5.9	1.7	0.8
	30～39歳 (n=187)	3.2	10.7	42.8	8.6	5.9	2.7	2.1
	40～49歳 (n=247)	3.6	8.9	25.9	8.9	8.9	2.0	0.8
	50～59歳 (n=244)	1.2	5.3	12.7	2.0	7.8	2.5	1.6
	60～64歳 (n=143)	0.7	3.5	18.2	4.9	11.9	0.7	3.5
	65～69歳 (n=177)	0.6	6.8	9.6	2.3	11.3	0.6	4.5
	70～74歳 (n=176)	2.8	5.1	13.6	6.8	10.8	1.1	4.5
	75歳以上 (n=257)	1.9	5.1	5.8	3.9	12.8	1.2	6.2

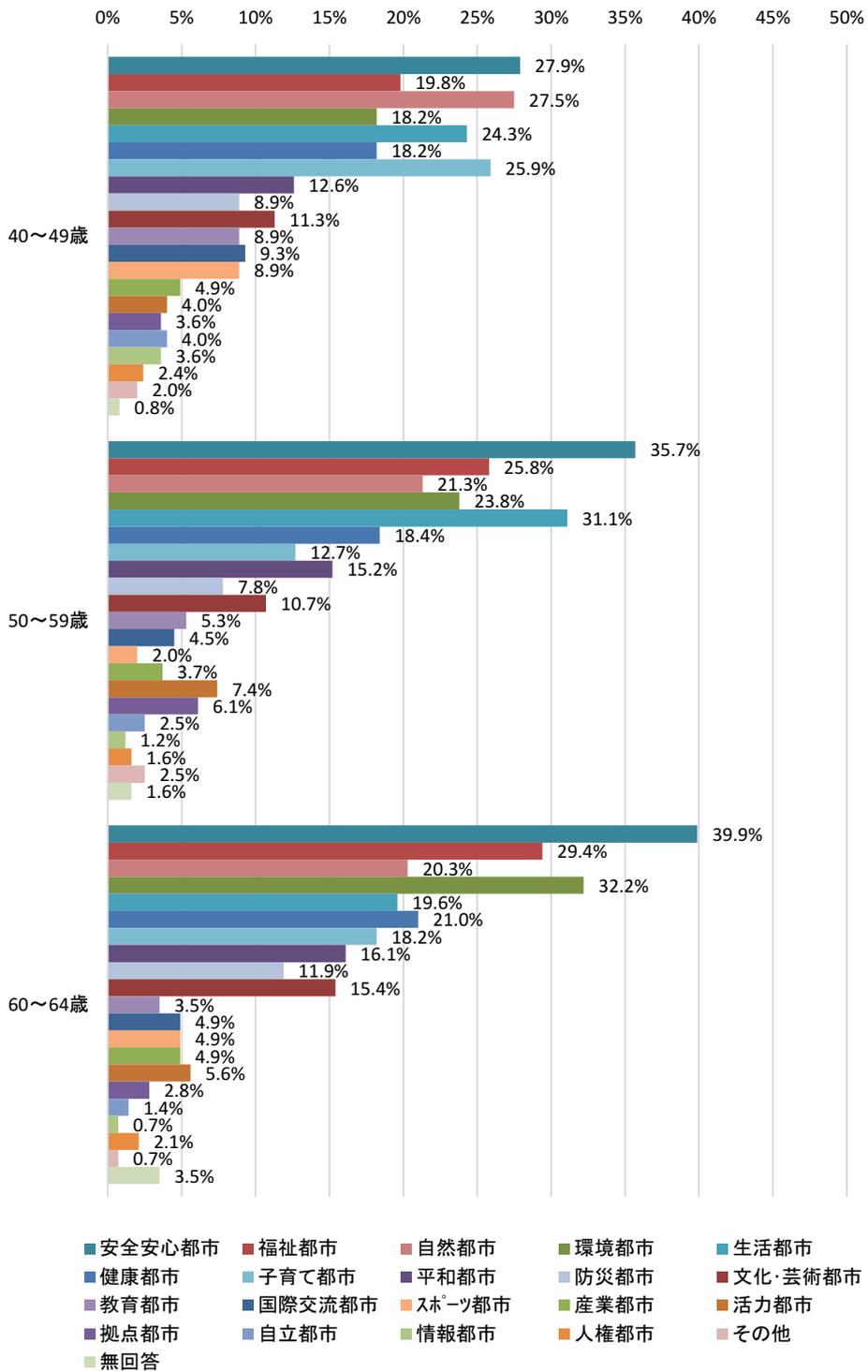
注) 項目は調査順に整列。

図表III-227 目指すべき都市像（年齢階層別）（MA・SA）



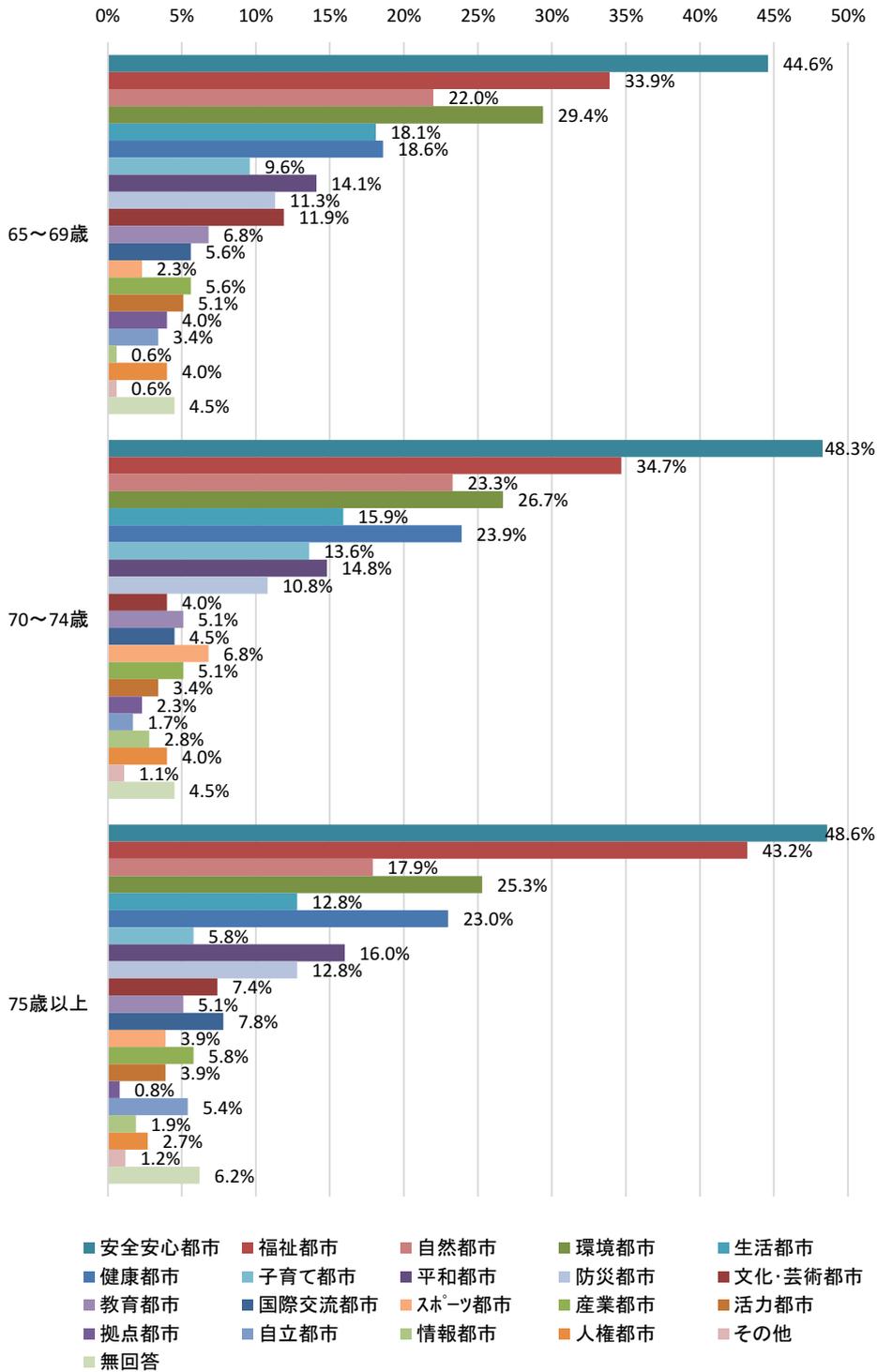
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-228 目指すべき都市像（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-229 目指すべき都市像（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-230 目指すべき都市像（年齢階層別）（ランキング）

		16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
1	安全安心都市	15 (37.5%)	生活都市	39 (33.1%)	子育て都市	80 (42.8%)	安全安心都市	69 (27.9%)	
2	自然都市	10 (25.0%)	安全安心都市	37 (31.4%)	安全安心都市	59 (31.6%)	自然都市	68 (27.5%)	
3	教育都市	8 (20.0%)	子育て都市	36 (30.5%)	自然都市	55 (29.4%)	子育て都市	64 (25.9%)	
4	スポーツ都市	8 (20.0%)	自然都市	34 (28.8%)	生活都市	48 (25.7%)	生活都市	60 (24.3%)	
5	国際交流/健康/生活都市	7 (17.5%)	平和都市	29 (24.6%)	福祉都市	25 (13.4%)	福祉都市	49 (19.8%)	

		50～59歳		60～69歳		70歳以上		全体	
1	安全安心都市	87 (35.7%)	安全安心都市	136 (42.5%)	安全安心都市	210 (48.5%)	安全安心都市	632 (38.7%)	
2	生活都市	76 (31.1%)	福祉都市	102 (31.9%)	福祉都市	172 (39.7%)	福祉都市	440 (26.9%)	
3	福祉都市	63 (25.8%)	環境都市	98 (30.6%)	環境都市	112 (25.9%)	自然都市	384 (23.5%)	
4	環境都市	58 (23.8%)	自然都市	68 (21.3%)	健康都市	101 (23.3%)	環境都市	367 (22.4%)	
5	自然都市	52 (21.3%)	健康都市	63 (19.7%)	自然都市	87 (20.1%)	生活都市	358 (21.9%)	

② 居住地区別目指すべき都市像

- 相模原市が目指すべき都市像について、居住地区別に見ると中央区で「安全安心都市」が41.4%と最も高くなっている。
- 緑区、津久井地域では、「安全安心都市」の次に、「自然都市」、「福祉都市」の順に高くなっている。
- 中央区では、「安全安心都市」の次に、「福祉都市」、「環境都市」の順に高くなっている。
- 南区では、「安全安心都市」の次に、「福祉都市」、「自然都市」の順に高くなっている。
- いずれの居住区、地域においても、「安全安心都市」が最も高くなっているが、緑区、津久井地域では「自然都市」、中央区、南区では「福祉都市」が次に高いという違いが見られる。

図表III-231 目指すべき都市像（居住地区別、数値は%）（MA・SA）

		Q9 目標としたらよいと思う都市						
		国際交流都市	文化・芸術都市	環境都市	平和都市	安全安心都市	活力都市	健康都市
F8 居住地域	緑区 (n=373)	6.4	8.8	23.3	12.6	35.1	6.2	21.2
	中央区 (n=592)	4.9	8.3	23.5	17.2	41.4	5.1	17.1
	南区 (n=615)	6.3	11.5	21.5	13.8	38.5	4.6	18.9
	津久井地域 (n=149)	4.0	8.1	26.2	11.4	37.6	8.7	25.5

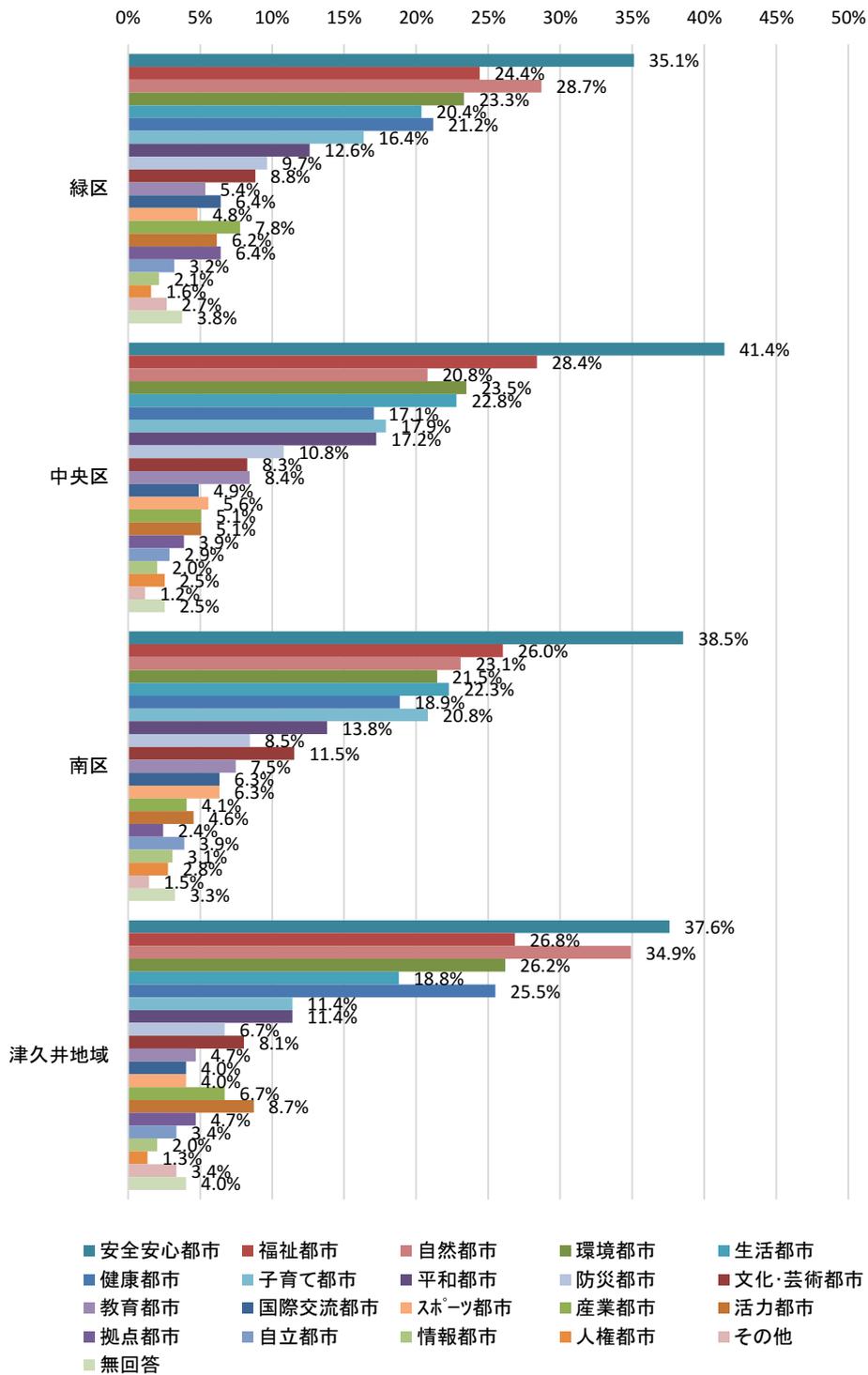
		福祉都市	産業都市	拠点都市	生活都市	人権都市	自立都市	自然都市
		F8 居住地域	緑区 (n=373)	24.4	7.8	6.4	20.4	1.6
中央区 (n=592)	28.4		5.1	3.9	22.8	2.5	2.9	20.8
南区 (n=615)	26.0		4.1	2.4	22.3	2.8	3.9	23.1
津久井地域 (n=149)	26.8		6.7	4.7	18.8	1.3	3.4	34.9

		情報都市	教育都市	子育て都市	スポーツ都市	防災都市	その他	無回答
		F8 居住地域	緑区 (n=373)	2.1	5.4	16.4	4.8	9.7
中央区 (n=592)	2.0		8.4	17.9	5.6	10.8	1.2	2.5
南区 (n=615)	3.1		7.5	20.8	6.3	8.5	1.5	3.3
津久井地域 (n=149)	2.0		4.7	11.4	4.0	6.7	3.4	4.0

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整理。

図表III-232 目指すべき都市像（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-233 目指すべき都市像（居住地区別）（ランキング）

	緑区		中央区		南区		津久井地域	
1	安全安心都市	131 (35.1%)	安全安心都市	245 (41.4%)	安全安心都市	237 (38.5%)	安全安心都市	56 (37.6%)
2	自然都市	107 (28.7%)	福祉都市	168 (28.4%)	福祉都市	160 (26.0%)	自然都市	52 (34.9%)
3	福祉都市	91 (24.4%)	環境都市	139 (23.5%)	自然都市	142 (23.1%)	福祉都市	40 (26.8%)
4	環境都市	87 (23.3%)	生活都市	135 (22.8%)	生活都市	137 (22.3%)	環境都市	39 (26.2%)
5	健康都市	79 (21.2%)	自然都市	123 (20.8%)	環境都市	132 (21.5%)	健康都市	38 (25.5%)

③ 職業別目指すべき都市像

- 相模原市が目指すべき都市像について、職業別に見ると、無職で「安全安心都市」が45.9%と最も高くなっている。
- 会社員、公務員、団体職員と、パート、アルバイトと、専業主婦・主夫と、学生と、無職で「安全安心都市」が最も高くなっている。
- 事業主では、「福祉都市」が最も高くなっている。
- 自由業では、「自然都市」が最も高くなっている。
- 職業（ライフステージ）によって目指すべき都市像のイメージは異なると考えられるが、概ね全ての属性で「安全安心都市」が最も高くなっている。

図表III-234 目指すべき都市像（職業別、数値は%）（MA・SA）

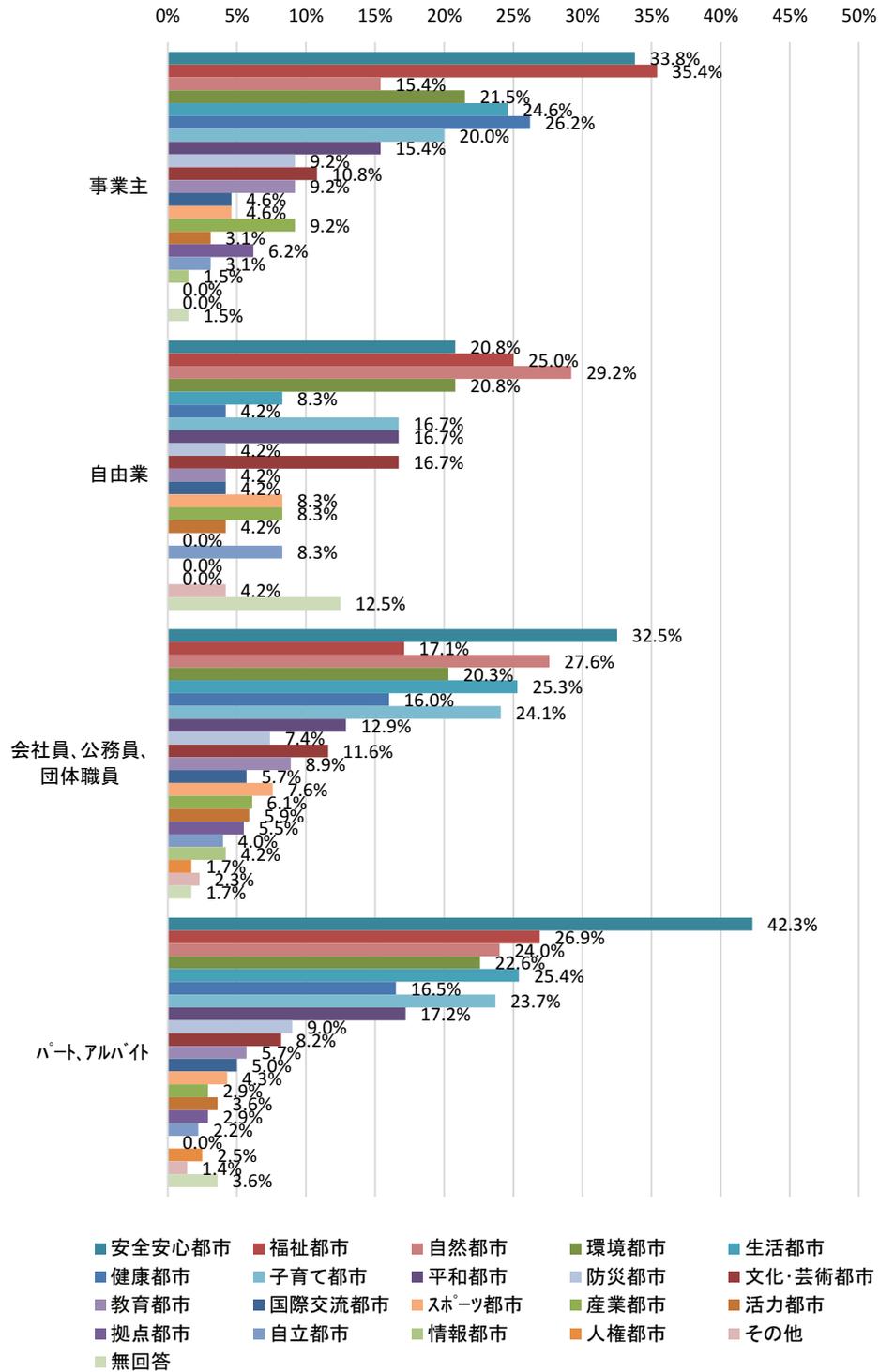
		Q9 目標としたらよいと思う都市						
		国際交流都市	文化・芸術都市	環境都市	平和都市	安全安心都市	活力都市	健康都市
F4 職業	事業主 (n=65)	4.6	10.8	21.5	15.4	33.8	3.1	26.2
	自由業 (n=24)	4.2	16.7	20.8	16.7	20.8	4.2	4.2
	会社員、公務員、団体職員 (n=474)	5.7	11.6	20.3	12.9	32.5	5.9	16.0
	パート、アルバイト (n=279)	5.0	8.2	22.6	17.2	42.3	3.6	16.5
	専業主婦・主夫 (n=306)	6.9	7.8	24.5	13.1	42.5	6.9	20.3
	学生 (n=61)	11.5	13.1	13.1	16.4	36.1	6.6	18.0
	無職 (n=331)	5.4	8.2	26.9	16.3	45.9	4.2	22.4
	その他 (n=46)	8.7	15.2	19.6	19.6	26.1	2.2	26.1

		福祉都市	産業都市	拠点都市	生活都市	人権都市	自立都市	自然都市
F4 職業	事業主 (n=65)	35.4	9.2	6.2	24.6	0.0	3.1	15.4
	自由業 (n=24)	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	29.2
	会社員、公務員、団体職員 (n=474)	17.1	6.1	5.5	25.3	1.7	4.0	27.6
	パート、アルバイト (n=279)	26.9	2.9	2.9	25.4	2.5	2.2	24.0
	専業主婦・主夫 (n=306)	31.7	3.3	2.3	19.0	2.6	2.6	19.9
	学生 (n=61)	4.9	6.6	3.3	27.9	3.3	0.0	24.6
	無職 (n=331)	37.8	6.3	3.9	17.2	3.6	3.9	21.1
	その他 (n=46)	28.3	6.5	2.2	19.6	2.2	4.3	28.3

		情報都市	教育都市	子育て都市	スポーツ都市	防災都市	その他	無回答
F4 職業	事業主 (n=65)	1.5	9.2	20.0	4.6	9.2	0.0	1.5
	自由業 (n=24)	0.0	4.2	16.7	8.3	4.2	4.2	12.5
	会社員、公務員、団体職員 (n=474)	4.2	8.9	24.1	7.6	7.4	2.3	1.7
	パート、アルバイト (n=279)	0.0	5.7	23.7	4.3	9.0	1.4	3.6
	専業主婦・主夫 (n=306)	1.6	6.9	16.7	3.9	11.8	0.7	3.6
	学生 (n=61)	6.6	14.8	11.5	14.8	8.2	3.3	0.0
	無職 (n=331)	2.1	5.4	10.0	4.2	11.5	1.5	3.6
	その他 (n=46)	2.2	6.5	15.2	4.3	13.0	4.3	4.3

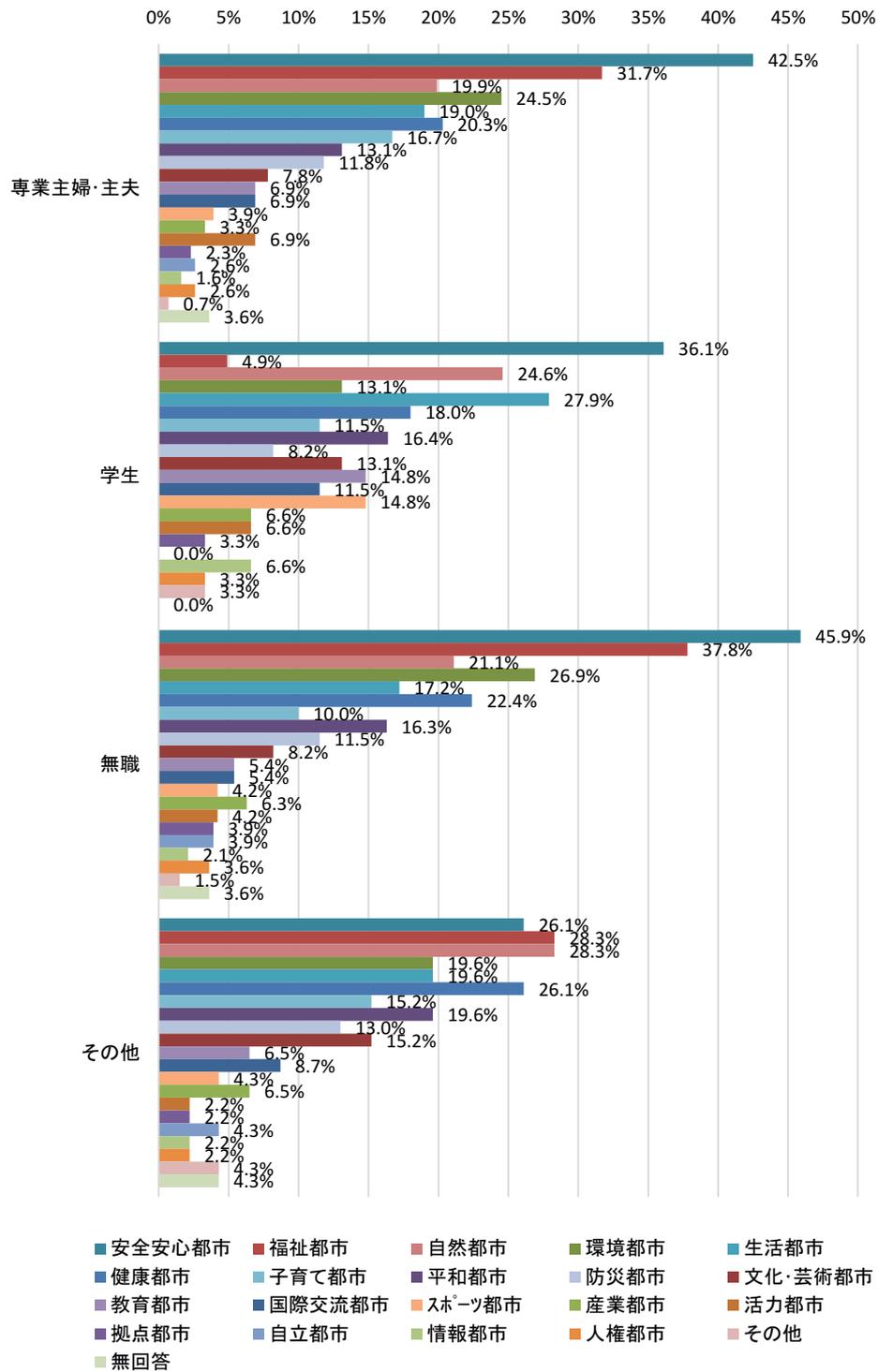
注) 項目は調査順に整列。

図表III-235 目指すべき都市像（職業別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-236 目指すべき都市像（職業別）（MA・SA）



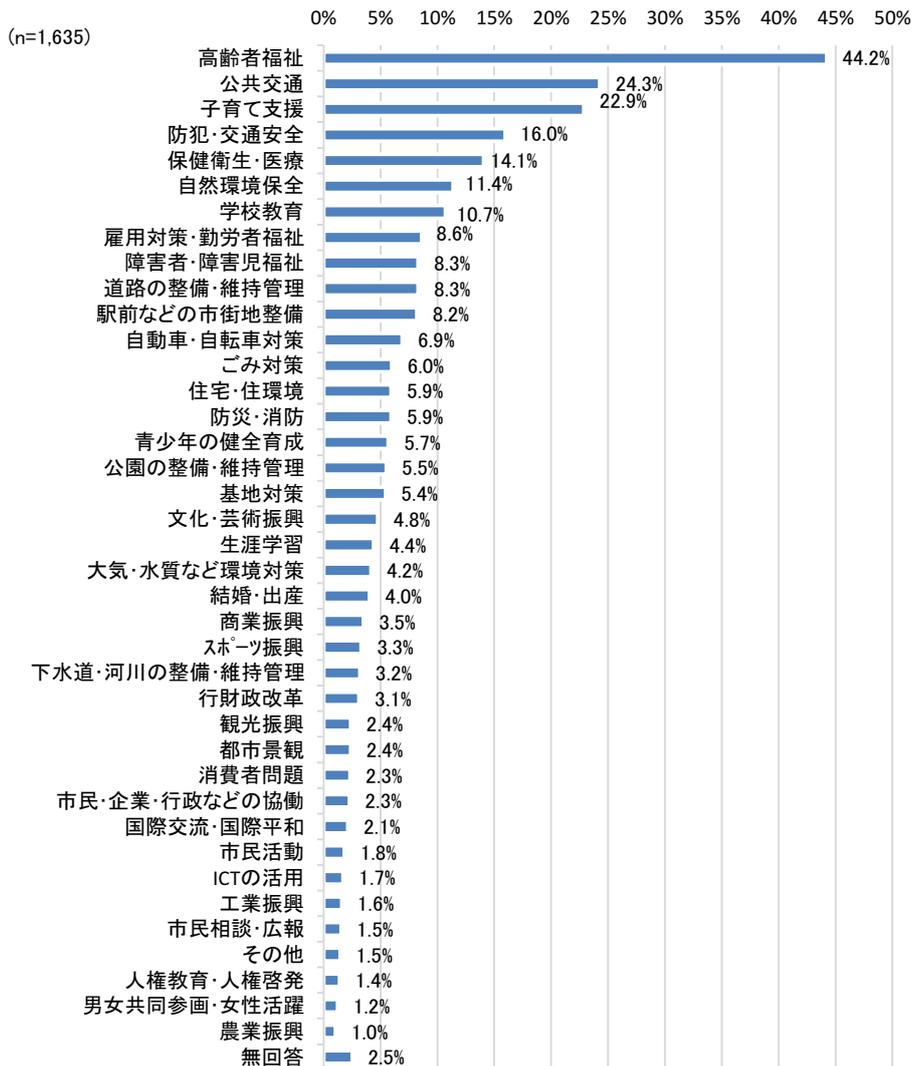
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

2-10. 今後特に力を入れてほしいこと

問 10 あなたが市に対して、今後、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。（○は3つまで）

- 市に対して、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「高齢者福祉」が44.2%で最も高く、次いで、「公共交通」が24.3%、「子育て支援」が22.9%となっている。

図表III-237 今後特に力を入れてほしいこと（MA）



注) 項目は数値の高い順に整列

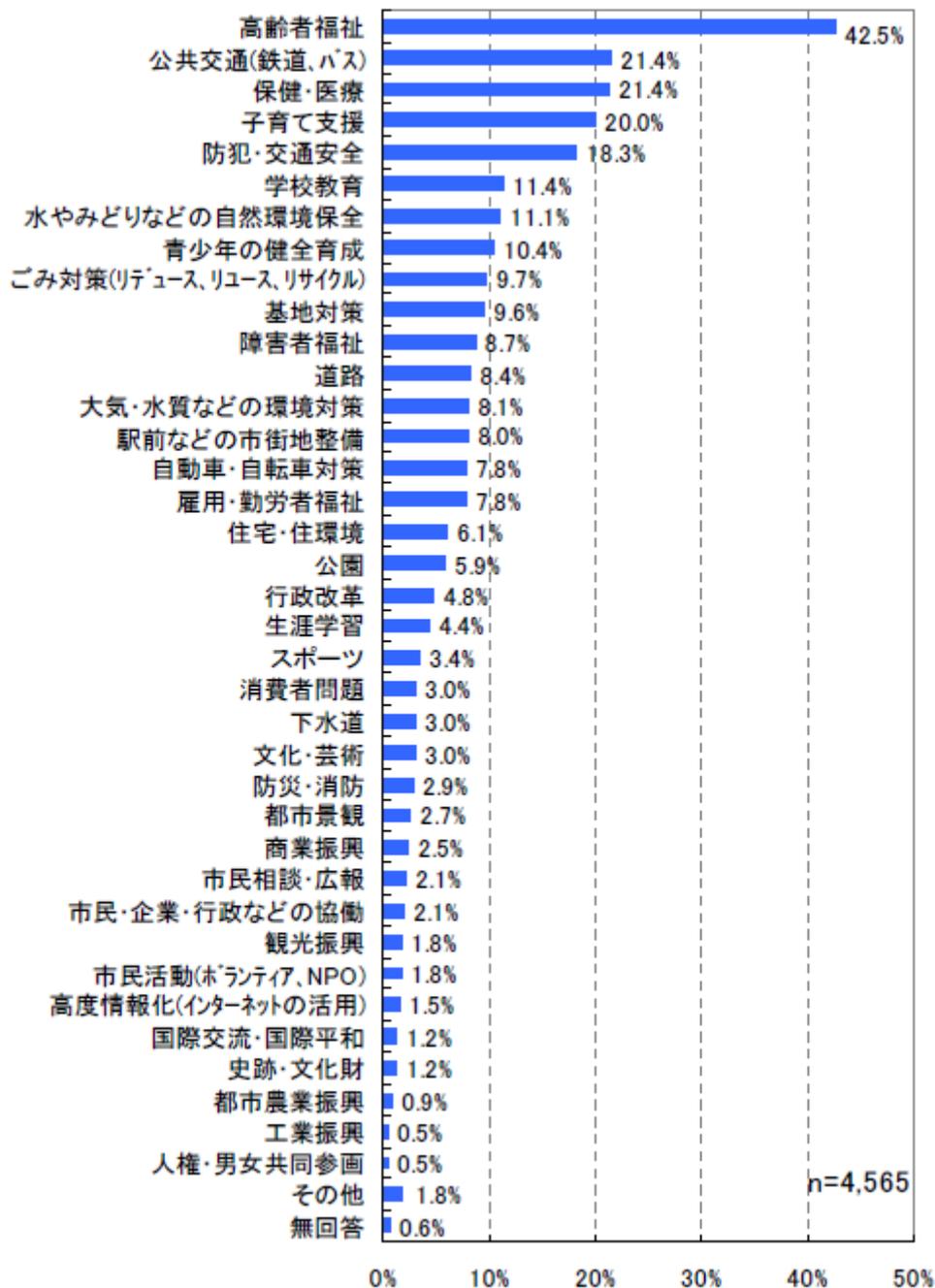
■その他回答の主な意見

- ・動物の保護
- ・米軍の騒音問題
- ・減税 等

(1) 今後特に力を入れてほしいことの経年比較（参考）

- 前総合計画策定時のアンケート調査では、新市に力を入れてほしいこととして、「高齢者福祉」が42.5%と最も高く、次いで、公共交通（鉄道、バス）が21.4%、「保健・医療」が21.4%となっており、概ね今回アンケートと同様の結果となっている。（設問及び項目が一部異なるため、参考として傾向を捉えるに留めることとする。）

図表III-238 新相模原市に力を入れてほしいこと（平成19年度調査）（MA）



(2) 今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢別今後特に力を入れてほしいこと

- 市に対して、今後、特に力を入れてほしいことについて、年齢階層別に見ると、70～74歳で「高齢者福祉」が64.8%と最も高くなっている。
- 16～19歳では、「子育て支援」「公共交通」「学校教育」の順に高くなっている。
- 20～29歳では、「子育て支援」「公共交通」「防犯・交通安全」の順に高くなっている。
- 30～39歳では、「子育て支援」「学校教育」「公共交通」の順に高くなっている。
- 40～49歳では、「高齢者福祉」「子育て支援」「公共交通」の順に高くなっている。
- 50～59歳では、「高齢者福祉」「公共交通」「防犯・交通安全」の順に高くなっている。
- 60～64歳では、「高齢者福祉」「子育て支援」「公共交通」の順に高くなっている。
- 65～69歳では、「高齢者福祉」「公共交通」「子育て支援」の順に高くなっている。
- 70～74歳では、「高齢者福祉」「公共交通」「自然環境保全」の順に高くなっている。
- 75歳以上では、「高齢者福祉」「公共交通」「自然環境保全」「防犯・交通安全」の順に高くなっている。
- 年齢階層が若いほど、「子育て支援」に力を入れてほしいという意見が多く、年齢階層が高くなるにつれ、「高齢者福祉」に力を入れてほしいという意見が多くなる傾向が見られる。一方で「公共交通」や「防犯・交通安全」等については、どの年代においても比較的多い傾向が見られる。

図表 III-239 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

		Q10 今後、特に力を入れてほしいこと							
		高齢者福祉	障害者・障害児福祉	保健衛生・医療	子育て支援	結婚・出産	学校教育	生涯学習	青少年の健全育成
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	15.0	7.5	10.0	32.5	2.5	20.0	0.0	7.5
	20～29歳 (n=118)	11.9	7.6	11.0	44.9	17.8	12.7	2.5	5.1
	30～39歳 (n=187)	16.0	5.3	13.9	52.9	8.0	25.7	4.3	4.8
	40～49歳 (n=247)	38.5	9.3	16.6	27.5	2.8	19.0	5.7	4.0
	50～59歳 (n=244)	44.7	9.8	16.4	14.3	2.0	8.2	4.1	4.5
	60～64歳 (n=143)	49.7	6.3	14.7	20.3	1.4	3.5	5.6	7.0
	65～69歳 (n=177)	59.3	6.2	14.7	15.8	1.1	5.1	5.6	6.2
	70～74歳 (n=176)	64.8	8.5	13.1	11.4	1.7	2.8	4.0	5.7
	75歳以上 (n=257)	63.4	10.5	11.7	8.9	2.7	5.8	3.5	7.8

		人権教育・人権啓発	男女共同参画・女性活躍	大気・水質など環境対策	ごみ対策	自然環境保全	公園の整備・維持管理	工業振興	農業振興
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	0.0	5.0	10.0	7.5	5.0	7.5	2.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	1.7	0.8	4.2	12.7	7.6	4.2	1.7	1.7
	30～39歳 (n=187)	1.1	1.1	3.2	2.7	5.9	11.8	0.0	0.5
	40～49歳 (n=247)	0.8	0.4	2.4	7.7	6.9	4.9	2.0	0.0
	50～59歳 (n=244)	2.5	0.8	4.9	6.1	11.1	5.7	0.8	0.8
	60～64歳 (n=143)	0.7	2.8	2.1	2.1	14.0	4.2	2.1	2.1
	65～69歳 (n=177)	0.0	1.1	5.6	5.1	14.1	5.6	3.4	0.6
	70～74歳 (n=176)	2.8	0.6	5.1	6.8	15.9	2.3	1.7	1.1
	75歳以上 (n=257)	1.9	1.6	4.7	4.3	16.3	5.1	1.6	2.3

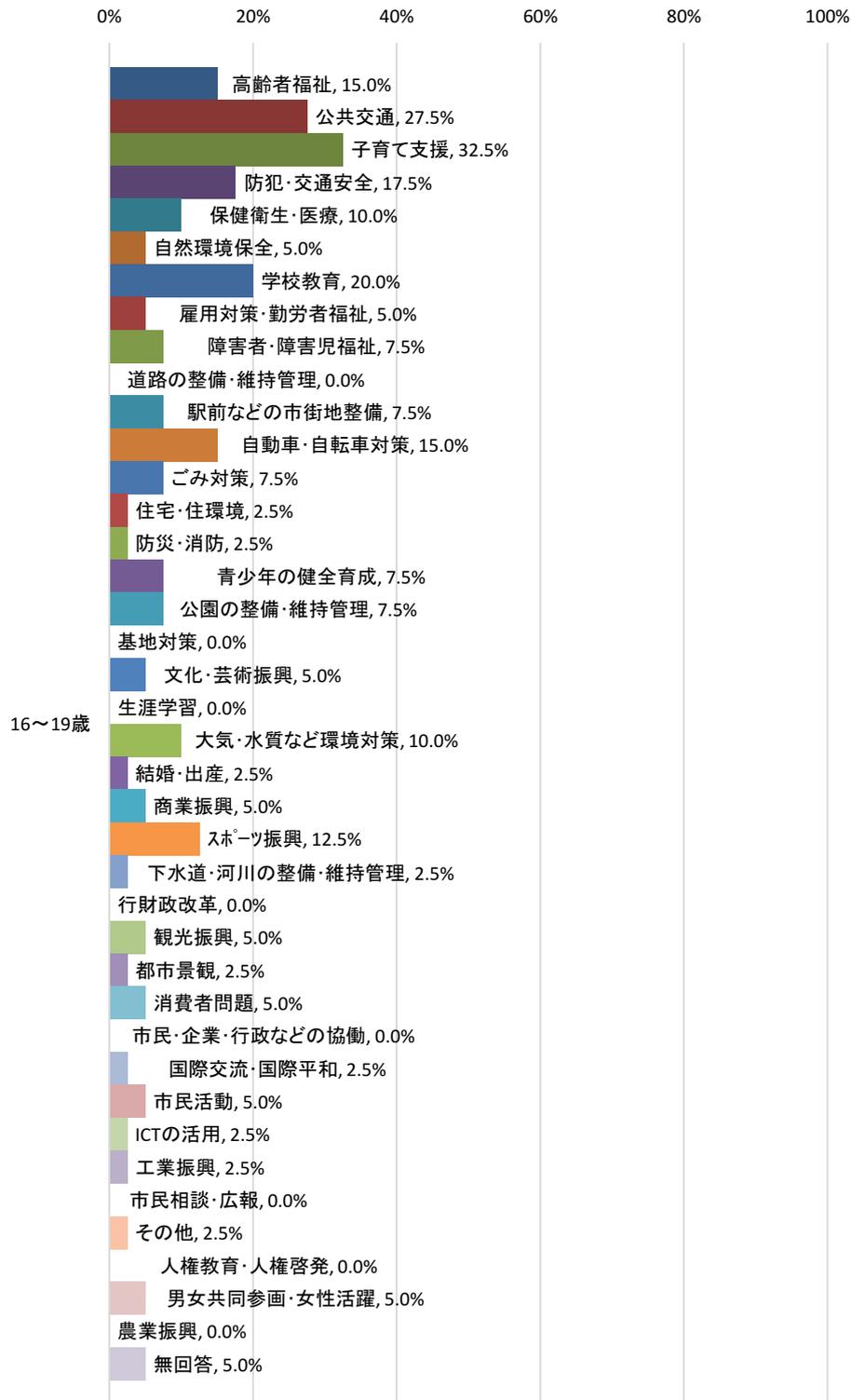
		商業振興	観光振興	雇用対策・勤労者福祉	駅前などの市街地整備	公共交通	自動車・自転車対策	道路の整備・維持管理	下水道・河川の整備・維持管理
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	5.0	5.0	7.5	27.5	15.0	0.0	2.5
	20～29歳 (n=118)	3.4	5.1	11.0	9.3	25.4	6.8	5.9	0.0
	30～39歳 (n=187)	6.4	4.3	7.0	10.7	20.9	6.4	7.5	3.2
	40～49歳 (n=247)	2.0	2.0	13.0	9.3	25.5	9.3	8.1	3.2
	50～59歳 (n=244)	4.5	1.6	16.0	10.7	24.6	7.0	9.0	2.5
	60～64歳 (n=143)	2.1	3.5	10.5	9.8	18.2	4.2	8.4	2.8
	65～69歳 (n=177)	5.1	2.3	6.2	3.4	22.6	7.9	11.3	2.8
	70～74歳 (n=176)	0.6	1.1	3.4	8.5	28.4	5.1	7.4	8.0
	75歳以上 (n=257)	3.1	1.2	3.1	3.9	26.8	5.4	8.2	2.3

		都市景観	住宅・住環境	基地対策	防犯・交通安全	防災・消防	消費者問題	市民活動	文化・芸術振興
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	2.5	2.5	0.0	17.5	2.5	5.0	5.0	5.0
	20～29歳 (n=118)	2.5	7.6	3.4	19.5	6.8	2.5	0.8	4.2
	30～39歳 (n=187)	3.7	5.9	5.9	17.1	3.7	1.6	0.5	5.9
	40～49歳 (n=247)	2.8	5.3	3.2	15.0	8.1	0.8	1.2	5.7
	50～59歳 (n=244)	2.9	7.4	5.7	18.4	5.7	0.8	0.4	5.7
	60～64歳 (n=143)	2.8	9.8	3.5	14.0	8.4	1.4	2.8	6.3
	65～69歳 (n=177)	1.7	5.1	4.5	13.6	9.6	1.1	2.3	4.5
	70～74歳 (n=176)	1.1	6.3	10.8	13.1	4.0	4.0	4.0	4.5
	75歳以上 (n=257)	1.9	3.5	7.4	16.3	3.5	3.9	2.7	2.7

		スポーツ振興	市民相談・広報	国際交流・国際平和	市民・企業・行政などの協働	行財政改革	ICTの活用	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	12.5	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5	2.5	5.0
	20～29歳 (n=118)	2.5	0.0	2.5	0.8	0.8	1.7	1.7	0.8
	30～39歳 (n=187)	3.7	0.5	1.6	0.0	1.6	2.7	2.1	2.1
	40～49歳 (n=247)	6.1	0.4	3.2	1.2	0.8	3.2	0.8	0.0
	50～59歳 (n=244)	2.5	2.0	1.6	2.9	2.5	2.0	1.6	1.2
	60～64歳 (n=143)	5.6	4.2	1.4	2.1	4.2	2.1	0.7	4.9
	65～69歳 (n=177)	1.7	1.7	3.4	2.8	4.0	0.0	1.1	2.3
	70～74歳 (n=176)	2.8	2.8	1.7	2.8	3.4	0.0	1.7	2.8
	75歳以上 (n=257)	0.4	1.2	1.6	4.3	6.6	0.4	1.6	4.7

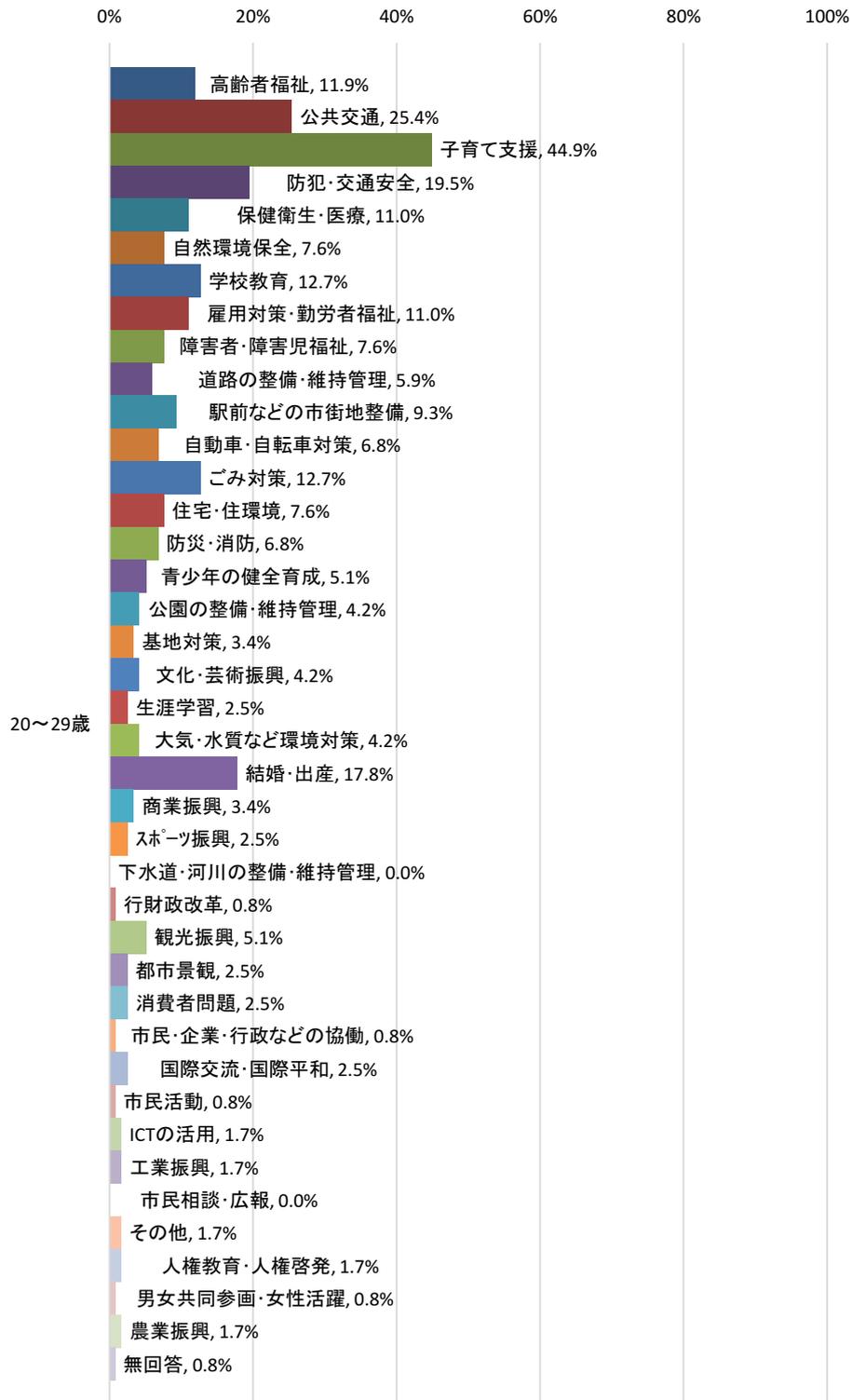
注) 項目は調査順に整列。

図表III-240 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



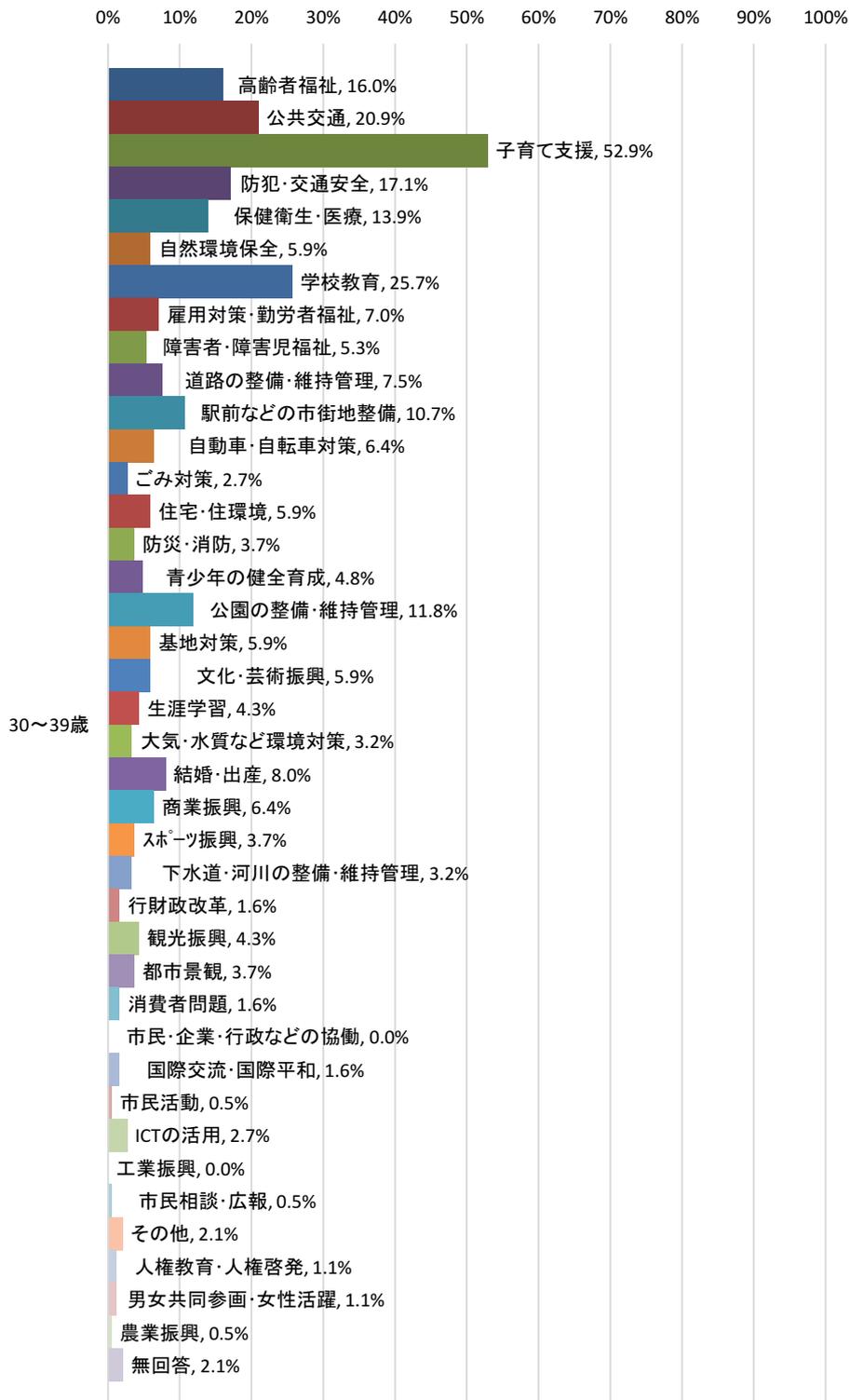
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-241 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



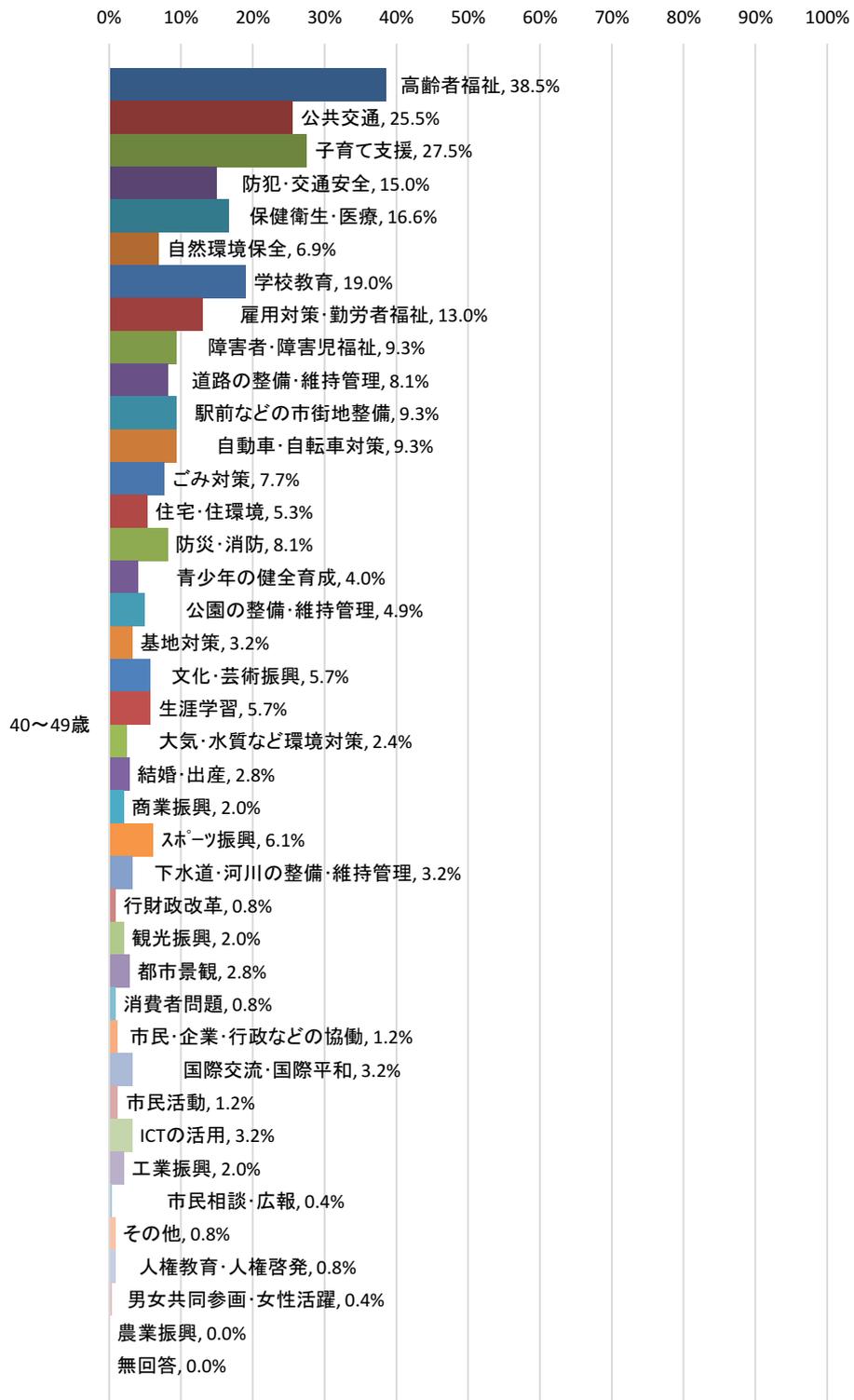
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-242 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



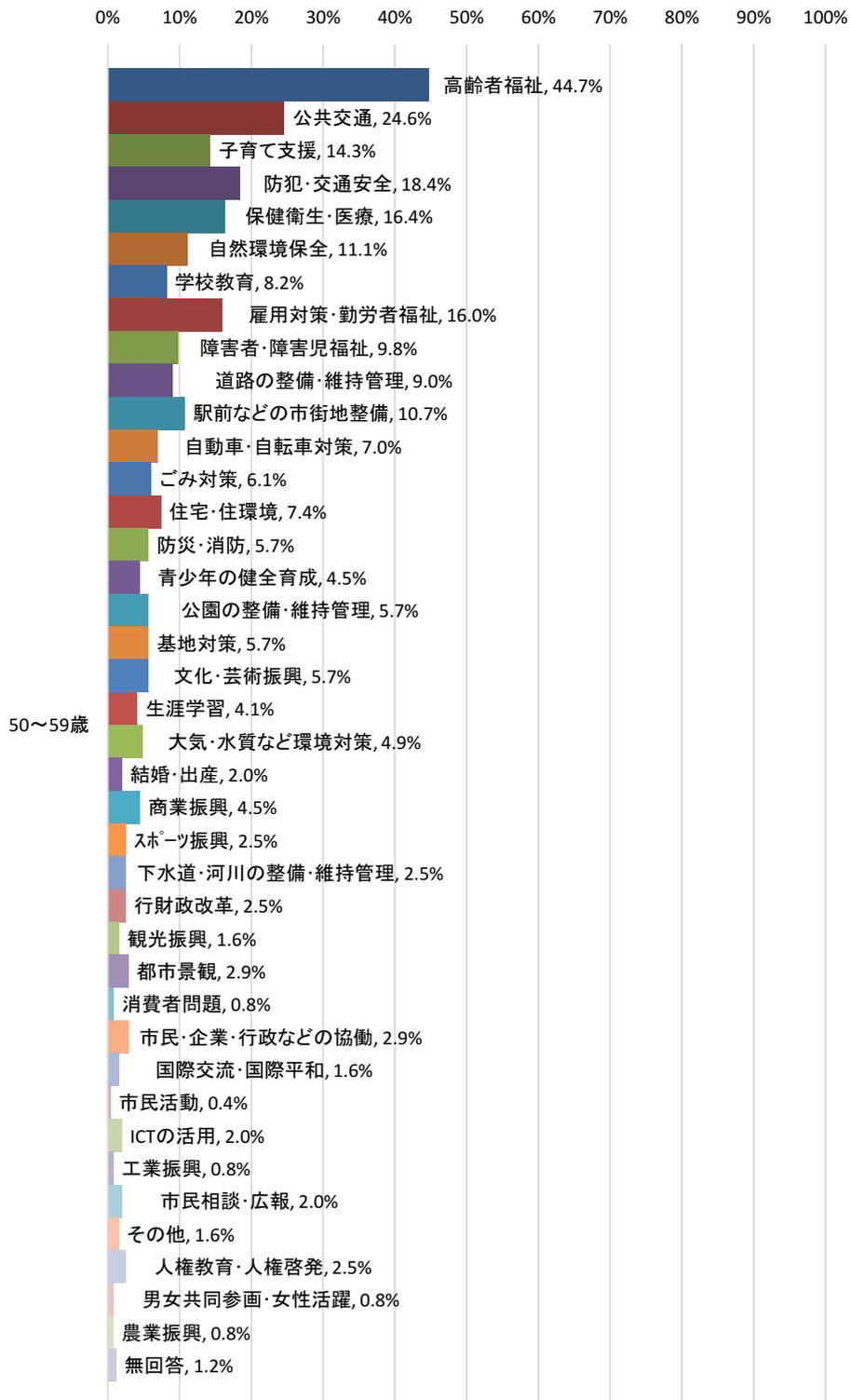
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-243 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



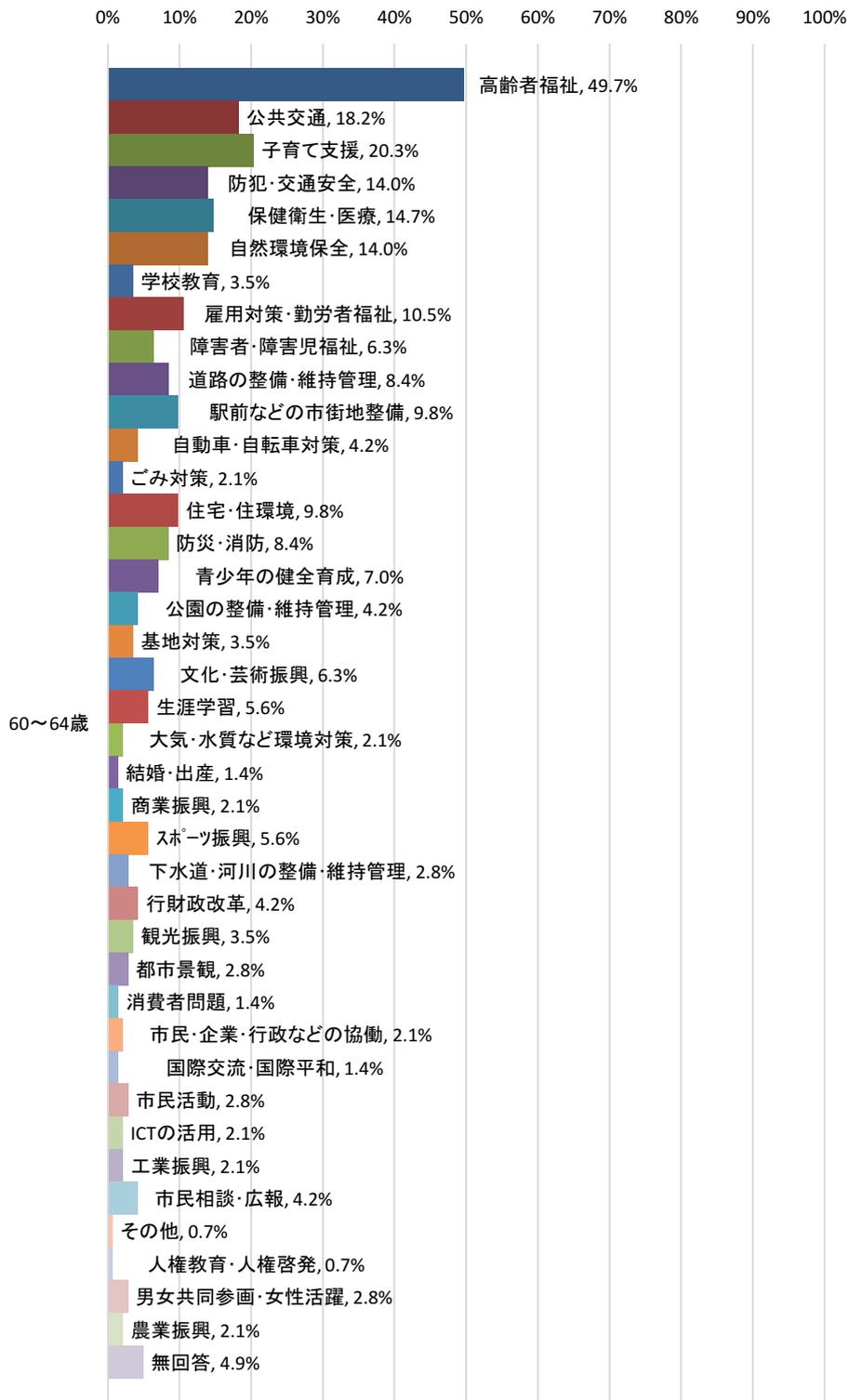
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-244 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



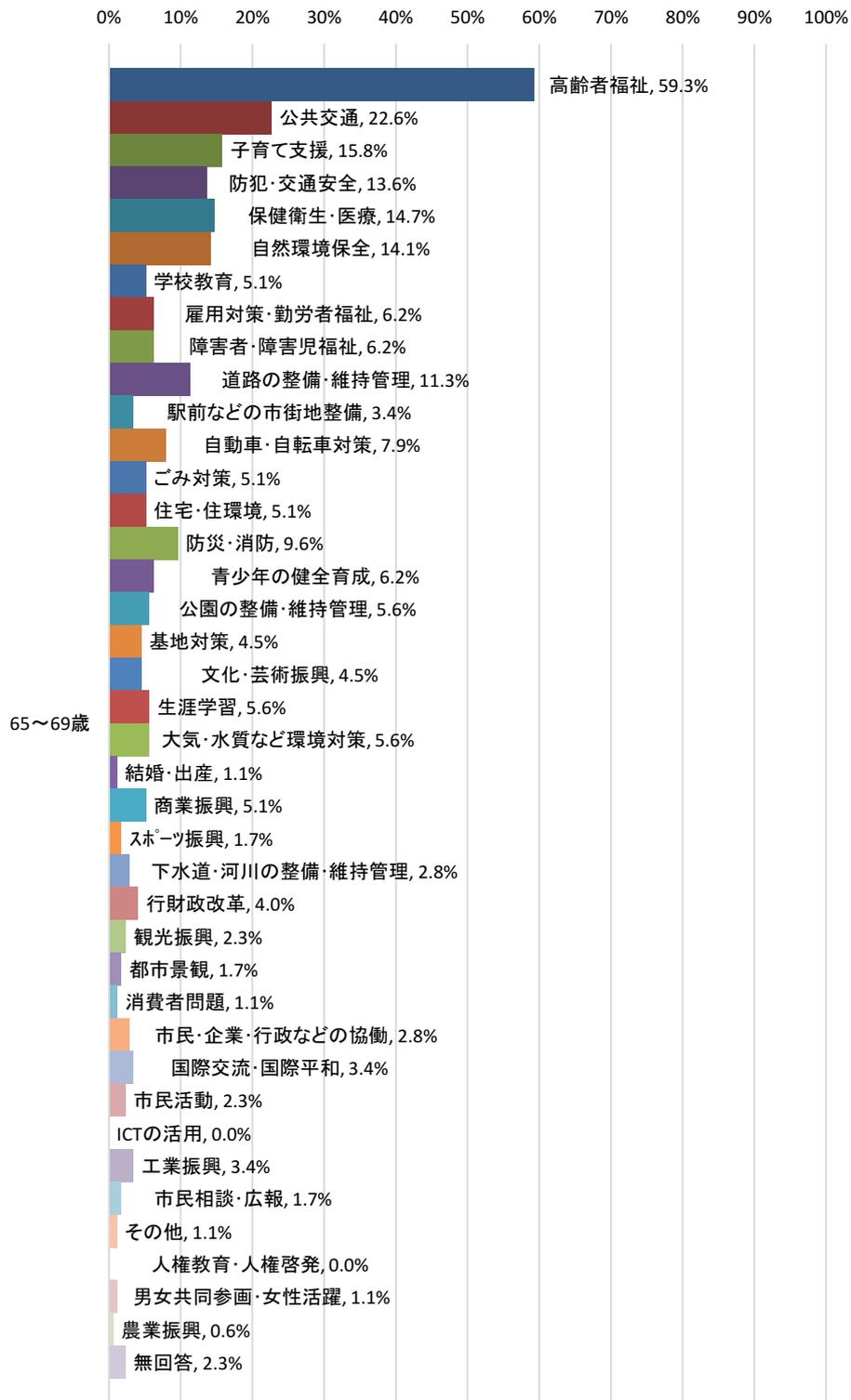
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-245 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



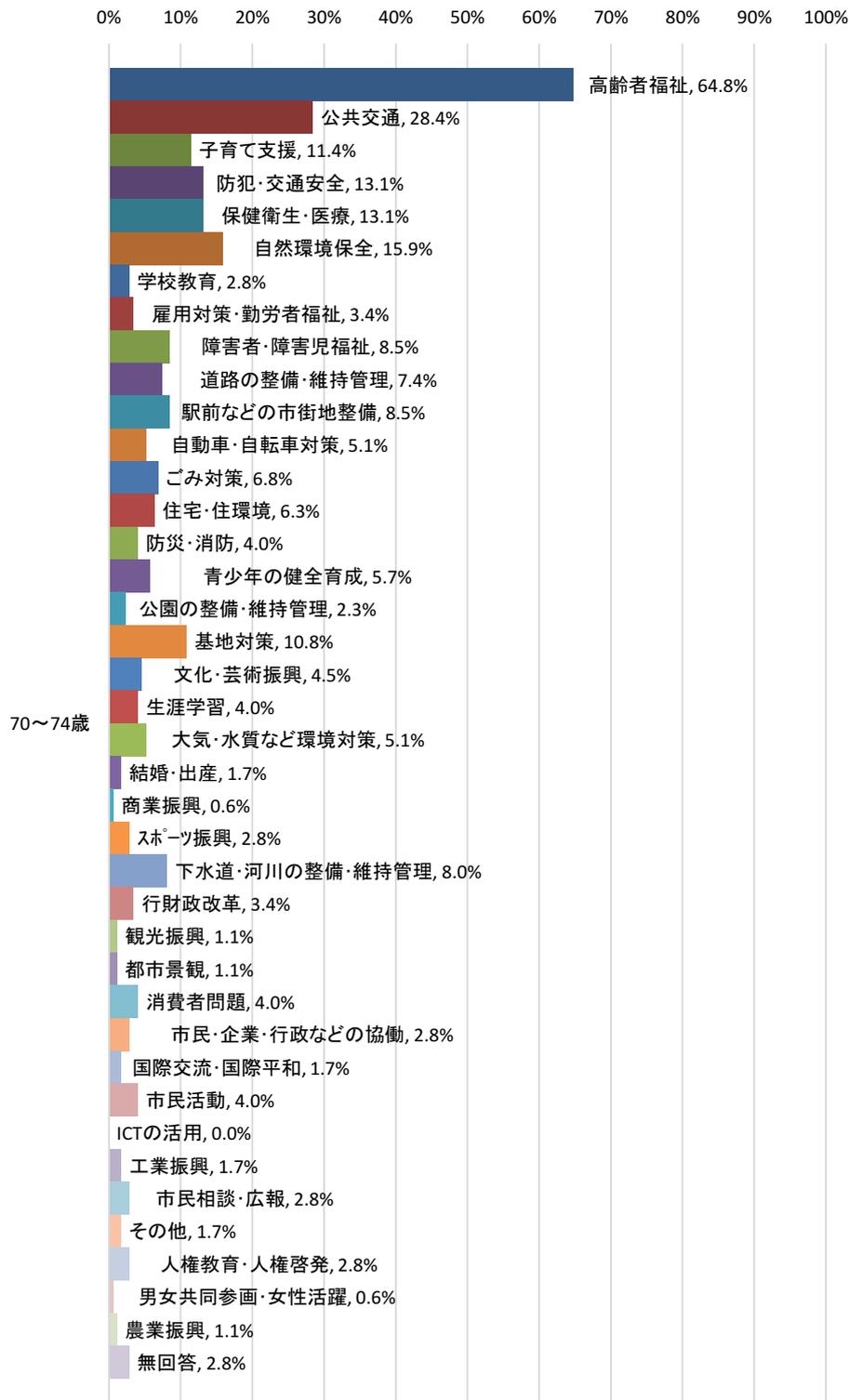
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-246 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



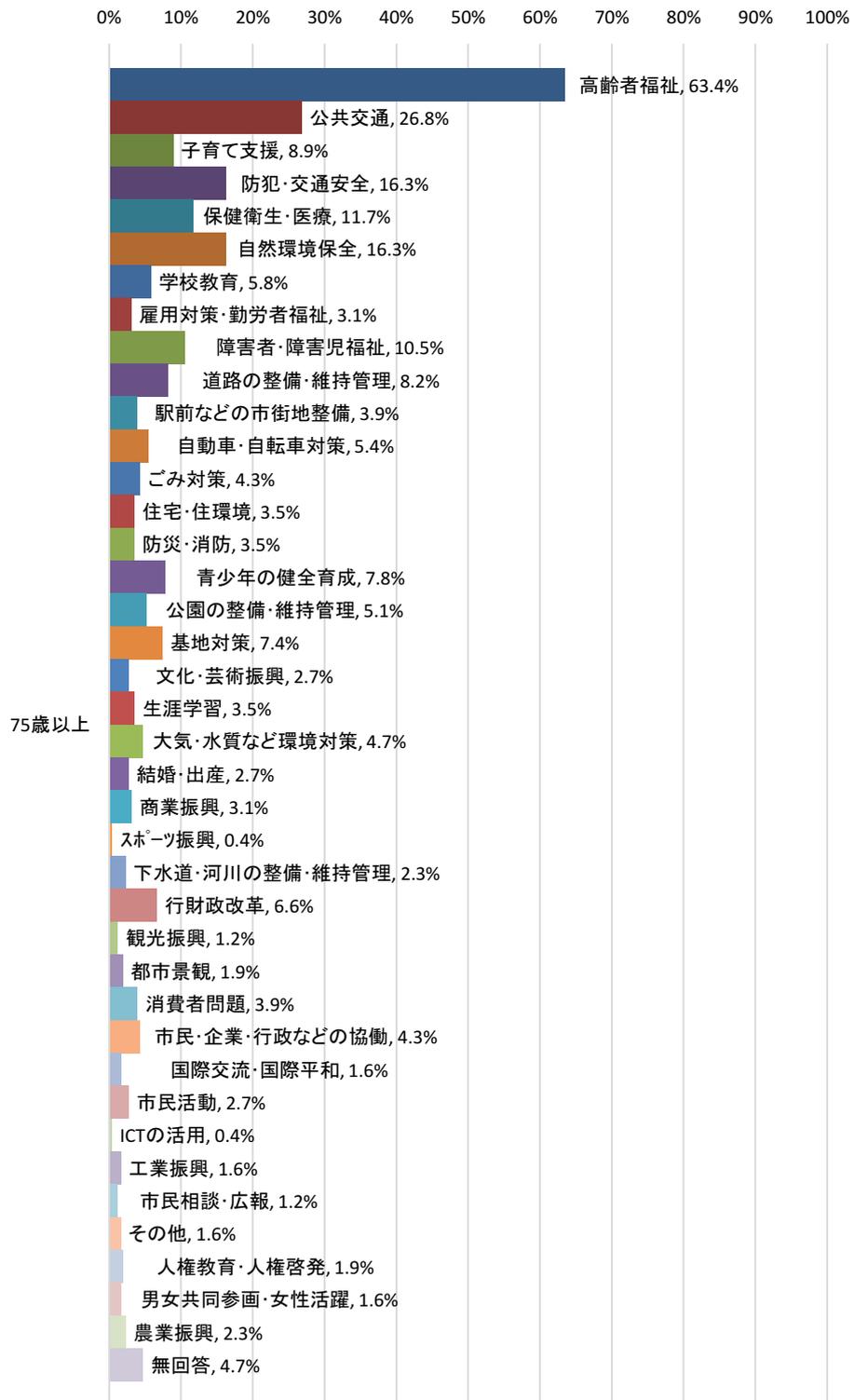
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-247 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-248 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-249 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（ランキング）

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
1	子育て支援	13 (32.5%)	子育て支援	53 (44.9%)	子育て支援	99 (52.9%)	高齢者福祉	95 (38.5%)
2	公共交通	11 (27.5%)	公共交通	30 (25.4%)	学校教育	48 (25.7%)	子育て支援	68 (27.5%)
3	学校教育	8 (20.0%)	防犯・交通安全	23 (19.5%)	公共交通	39 (20.9%)	公共交通	63 (25.5%)
4	防犯・交通安全	7 (17.5%)	結婚・出産	21 (17.8%)	防犯・交通安全	32 (17.1%)	学校教育	47 (19.0%)
5	高齢者福祉/自動車・自転車対策	6 (15.0%)	学校教育	15 (12.7%)	高齢者福祉	30 (16.0%)	保健衛生・医療	41 (16.6%)

	50～59歳		60～69歳		70歳以上		全体	
1	高齢者福祉	109 (44.7%)	高齢者福祉	176 (55.0%)	高齢者福祉	277 (64.0%)	高齢者福祉	723 (44.2%)
2	公共交通	60 (24.6%)	公共交通	66 (20.6%)	公共交通	119 (27.5%)	公共交通	397 (24.3%)
3	防犯・交通安全	45 (44.7%)	子育て支援	57 (17.8%)	自然環境保全	70 (9.9%)	子育て支援	374 (22.9%)
4	保健衛生・医療	40 (16.4%)	保健衛生・医療	47 (14.7%)	防犯・交通安全	65 (12.2%)	防犯・交通安全	261 (16.0%)
5	雇用対策・勤労者福祉	39 (16.0%)	自然環境保全	45 (14.1%)	保健衛生・医療	53 (16.2%)	保健衛生・医療	230 (14.1%)

② 性別及び年齢階層別特に力を入れてほしいこと

- 性別及び年齢階層別に今後特に力を入れてほしいことをみると、男性、女性共に30代までは子育て支援が最も高く、40代からは高齢者福祉が最も高くなっている。
- 10代男性では、特に「自動車・自転車対策」や「スポーツ振興」などが10代女性よりも高くなっており、10代女性では、特に「保健衛生・医療」や「駅前等の市街地整備」などが10代男性よりも高くなっている。
- 20代男性では、特に「公共交通」や「駅前等の市街地整備」などが20代女性よりも高くなっており、20代女性では、特に「子育て支援」や「結婚・出産」などが20代男性よりも高くなっている。また、「結婚出産」については、他の年代と比較しても高い傾向が見られる。
- 30代男性では、30代女性よりも顕著に高い項目は見られないが、「道路の整備・維持管理」や「ICTの活用」等が比較的高くなっている。同様に30代女性では、30代男性よりも顕著に高い項目は見られないが、「学校教育」や「自然環境保護」等が比較的高くなっている。また、「子育て支援」については、他の年代と比較して高い傾向が見られる。
- 40代男性では、40代女性よりも顕著に高い項目は見られないが、「スポーツ振興」や「ICTの活用」等が比較的高くなっている。同様に40代女性では、40代男性よりも顕著に高い項目は見られないが、「駅前等の市街地整備」や「子育て支援」が比較的高くなっている。
- 50代男性では、50代女性よりも顕著に高い項目は見られないが、「道路の整備・維持管理」等が比較的高くなっている。同様に50代女性では、50代男性よりも顕著に高い項目は見られないが、「高齢者福祉」や「人権教育・人権啓発」等が比較的高くなっている。
- 60代男性では、60代女性よりも顕著に高い項目は見られないが、「駅前等の市街地整備」や「スポーツ振興」等が比較的高くなっている。同様に60代女性では、60代女性よりも顕著に高い項目は見られないが、「高齢者福祉」や「住宅・住環境」等が比較的高くなっている。
- 70代男性では、70代女性よりも顕著に高い項目は見られないが、「行財政改革」等が比較的高くなっている。同様に70代女性では、70代男性よりも顕著に高い項目は見られないが、「自動車・自転車対策」や「ごみ対策」等が比較的高くなっている。また、高齢者福祉は他の年代と比較して高くなっている。

図表III-250 今後特に力を入れてほしいこと（性別・年齢階層別、数値は%）（MA・SA・SA）

		Q10 今後、特に力を入れてほしいこと							
		高齢者福祉	障害者・障害児福祉	保健衛生・医療	子育て支援	結婚・出産	学校教育	生涯学習	青少年の健全育成
F1性別	16～19歳・男性 (n=20)	15.0	10.0	5.0	35.0	0.0	15.0	0.0	15.0
F2年齢	20～29歳・男性(n=54)	7.4	7.4	7.4	33.3	9.3	11.1	0.0	7.4
	30～39歳・男性(n=83)	16.9	7.2	14.5	48.2	8.4	19.3	2.4	7.2
	40～49歳・男性(n=113)	37.2	8.0	14.2	23.0	6.2	15.0	5.3	4.4
	50～59歳・男性(n=98)	38.8	12.2	13.3	14.3	2.0	7.1	5.1	4.1
	60～69歳・男性 (n=134)	51.5	6.0	11.9	21.6	1.5	5.2	3.7	6.0
	70歳以上・男性(n=184)	62.5	8.7	10.9	11.4	2.7	4.3	3.8	5.4

		人権教育・人権啓発	男女共同参画・女性活躍	大気・水質など環境対策	ごみ対策	自然環境保全	公園の整備・維持管理	工業振興	農業振興
F1性別	16～19歳・男性 (n=20)	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0	0.0
F2年齢	20～29歳・男性(n=54)	1.9	0.0	0.0	16.7	11.1	5.6	1.9	0.0
	30～39歳・男性(n=83)	2.4	0.0	2.4	3.6	2.4	12.0	0.0	1.2
	40～49歳・男性(n=113)	0.9	0.0	4.4	8.0	8.8	4.4	4.4	0.0
	50～59歳・男性(n=98)	0.0	2.0	2.0	6.1	10.2	5.1	2.0	1.0
	60～69歳・男性 (n=134)	0.0	0.7	3.0	4.5	14.9	6.7	5.2	1.5
	70歳以上・男性(n=184)	3.3	0.5	4.9	3.3	19.0	6.0	3.3	2.7

		商業振興	観光振興	雇用対策・勤労者福祉	駅前などの市街地整備	公共交通	自動車・自転車対策	道路の整備・維持管理	下水道・河川の整備・維持管理
F1性別	16～19歳・男性 (n=20)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
F2年齢	20～29歳・男性(n=54)	5.6	5.6	11.1	16.7	31.5	9.3	3.7	0.0
	30～39歳・男性(n=83)	8.4	4.8	7.2	13.3	24.1	9.6	12.0	2.4
	40～49歳・男性(n=113)	2.7	2.7	13.3	4.4	27.4	7.1	9.7	3.5
	50～59歳・男性(n=98)	6.1	3.1	16.3	11.2	25.5	8.2	13.3	3.1
	60～69歳・男性 (n=134)	3.0	2.2	5.2	9.7	20.9	5.2	11.2	3.7
	70歳以上・男性(n=184)	2.2	1.6	3.3	4.9	22.8	2.2	10.9	3.8

		都市景観	住宅・住環境	基地対策	防犯・交通安全	防災・消防	消費者問題	市民活動	文化・芸術振興
F1性別	16～19歳・男性 (n=20)	0.0	0.0	0.0	15.0	5.0	5.0	5.0	10.0
F2年齢	20～29歳・男性(n=54)	0.0	11.1	5.6	22.2	5.6	1.9	0.0	3.7
	30～39歳・男性(n=83)	2.4	9.6	4.8	14.5	4.8	2.4	0.0	6.0
	40～49歳・男性(n=113)	1.8	4.4	3.5	15.0	9.7	0.9	2.7	8.0
	50～59歳・男性(n=98)	4.1	9.2	7.1	18.4	3.1	0.0	0.0	3.1
	60～69歳・男性 (n=134)	3.0	4.5	2.2	14.2	7.5	0.7	2.2	3.0
	70歳以上・男性(n=184)	2.2	6.5	8.2	15.8	4.3	4.3	2.7	3.3

		スポーツ振興	市民相談・広報	国際交流・国際平和	市民・企業・行政などの協働	行財政改革	ICTの活用	その他
F1性別	16～19歳・男性 (n=20)	25.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0
F2年齢	20～29歳・男性(n=54)	5.6	0.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
	30～39歳・男性(n=83)	4.8	0.0	1.2	0.0	2.4	6.0	0.0
	40～49歳・男性(n=113)	8.8	0.0	2.7	1.8	0.9	7.1	0.9
	50～59歳・男性(n=98)	3.1	2.0	1.0	3.1	1.0	3.1	1.0
	60～69歳・男性 (n=134)	6.0	0.7	4.5	0.7	5.2	1.5	2.2
	70歳以上・男性(n=184)	1.6	1.1	0.5	3.8	7.1	0.0	1.6

注) 項目は調査順に整列。

図表III-251 今後特に力を入れてほしいこと（性別・年齢階層別、数値は%）（MA・SA・SA）

		Q10 今後、特に力を入れてほしいこと							
		高齢者福祉	障害者・障害児福祉	保健衛生・医療	子育て支援	結婚・出産	学校教育	生涯学習	青少年の健全育成
F1性別	16～19歳・女性 (n=20)	15.0	5.0	15.0	30.0	5.0	25.0	0.0	0.0
F2 年齢	20～29歳・女性(n=62)	14.5	8.1	14.5	54.8	25.8	14.5	4.8	1.6
	30～39歳・女性(n=101)	14.9	4.0	12.9	57.4	7.9	30.7	5.9	3.0
	40～49歳・女性(n=132)	38.6	9.8	18.2	31.8	0.0	22.7	6.1	3.8
	50～59歳・女性(n=145)	48.3	8.3	18.6	14.5	2.1	9.0	3.4	4.8
	60～69歳・女性 (n=179)	56.4	5.6	16.2	15.6	1.1	3.9	7.3	7.3
	70歳以上・女性(n=220)	65.5	10.9	13.6	8.6	2.3	5.0	4.1	7.3

		人権教育・人権啓発	男女共同参画・女性活躍	大気・水質など環境対策	ごみ対策	自然環境保全	公園の整備・維持管理	工業振興	農業振興
F1性別	16～19歳・女性 (n=20)	0.0	10.0	15.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
F2 年齢	20～29歳・女性(n=54)	1.6	1.6	8.1	9.7	4.8	1.6	1.6	3.2
	30～39歳・女性(n=83)	0.0	2.0	3.0	2.0	7.9	11.9	0.0	0.0
	40～49歳・女性(n=113)	0.8	0.8	0.8	7.6	5.3	5.3	0.0	0.0
	50～59歳・女性(n=98)	4.1	0.0	6.9	6.2	11.0	6.2	0.0	0.7
	60～69歳・女性 (n=134)	0.6	2.8	5.0	3.4	14.0	3.9	0.6	1.1
	70歳以上・女性(n=220)	1.8	1.8	5.0	7.3	15.0	2.3	0.0	1.4

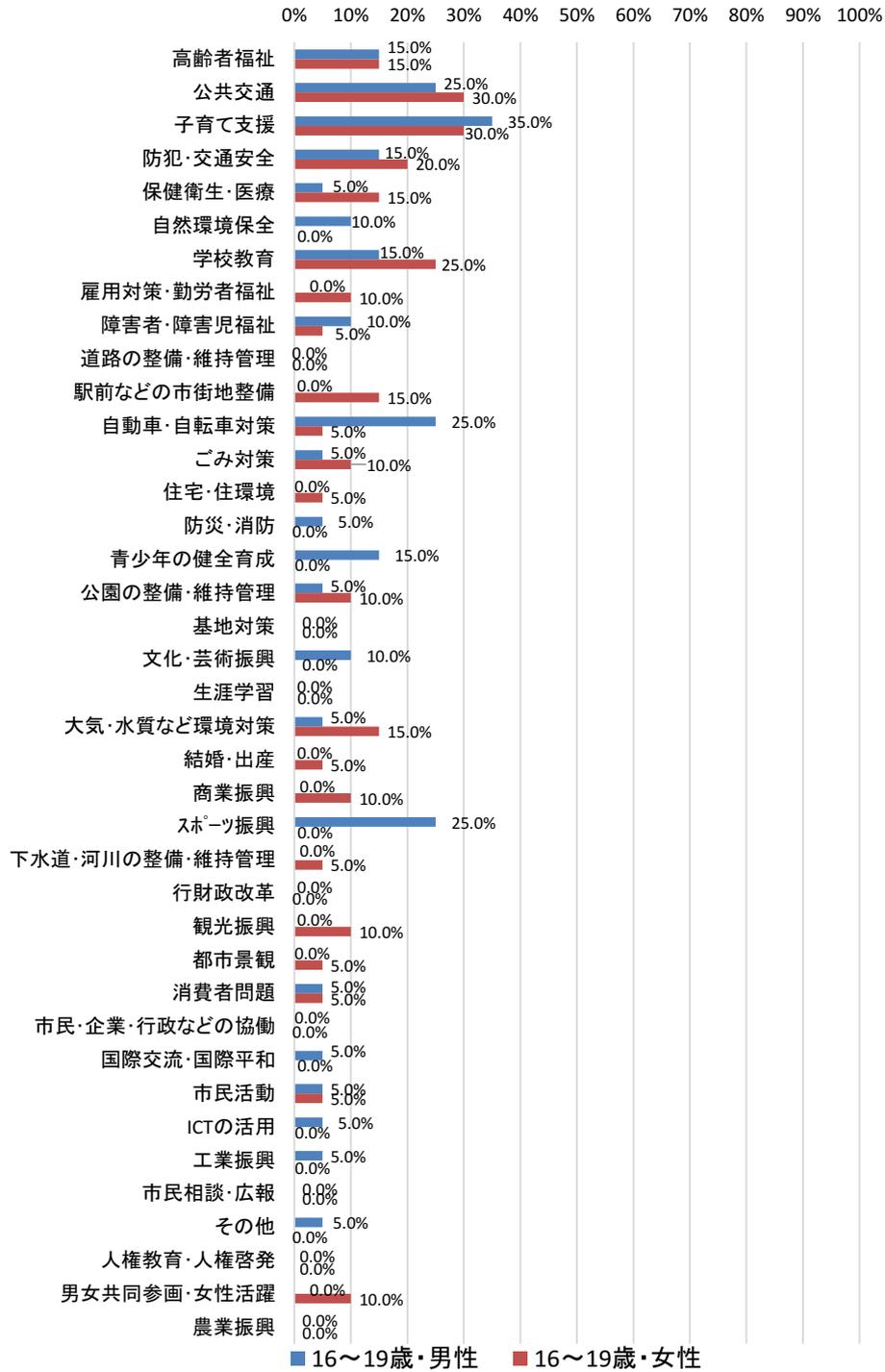
		商業振興	観光振興	雇用対策・勤労者福祉	駅前などの市街地整備	公共交通	自動車・自転車対策	道路の整備・維持管理	下水道・河川の整備・維持管理
F1性別	16～19歳・女性 (n=20)	10.0	10.0	10.0	15.0	30.0	5.0	0.0	5.0
F2 年齢	20～29歳・女性(n=54)	1.6	4.8	11.3	3.2	19.4	3.2	8.1	0.0
	30～39歳・女性(n=83)	5.0	4.0	6.9	8.9	18.8	4.0	4.0	4.0
	40～49歳・女性(n=113)	1.5	1.5	12.9	13.6	24.2	11.4	6.8	3.0
	50～59歳・女性(n=98)	3.4	0.7	15.9	10.3	23.4	6.2	6.2	2.1
	60～69歳・女性 (n=134)	4.5	3.4	10.1	3.9	19.6	7.3	8.9	2.2
	70歳以上・女性(n=220)	1.4	0.9	3.6	5.9	32.3	7.7	6.4	5.9

		都市景観	住宅・住環境	基地対策	防犯・交通安全	防災・消防	消費者問題	市民活動	文化・芸術振興
F1性別	16～19歳・女性 (n=20)	5.0	5.0	0.0	20.0	0.0	5.0	5.0	0.0
F2 年齢	20～29歳・女性(n=54)	4.8	4.8	1.6	16.1	6.5	3.2	1.6	3.2
	30～39歳・女性(n=83)	5.0	3.0	6.9	19.8	3.0	1.0	0.0	5.9
	40～49歳・女性(n=113)	3.8	6.1	3.0	15.2	6.8	0.8	0.0	3.8
	50～59歳・女性(n=98)	2.1	6.2	4.8	18.6	7.6	1.4	0.7	7.6
	60～69歳・女性 (n=134)	1.7	8.9	5.6	14.0	10.6	1.7	2.2	7.3
	70歳以上・女性(n=220)	0.9	3.2	8.2	15.0	3.6	3.6	2.7	3.6

		スポーツ振興	市民相談・広報	国際交流・国際平和	市民・企業・行政などの協働	行財政改革	ICTの活用	その他
F1性別	16～19歳・女性 (n=20)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
F2 年齢	20～29歳・女性(n=54)	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	1.6	1.6
	30～39歳・女性(n=83)	2.0	1.0	2.0	0.0	1.0	0.0	4.0
	40～49歳・女性(n=113)	3.8	0.8	3.8	0.8	0.8	0.0	0.8
	50～59歳・女性(n=98)	2.1	2.1	2.1	2.8	3.4	1.4	2.1
	60～69歳・女性 (n=134)	1.7	3.9	1.1	3.9	3.4	0.6	0.0
	70歳以上・女性(n=220)	0.9	2.7	2.7	4.1	3.2	0.0	1.4

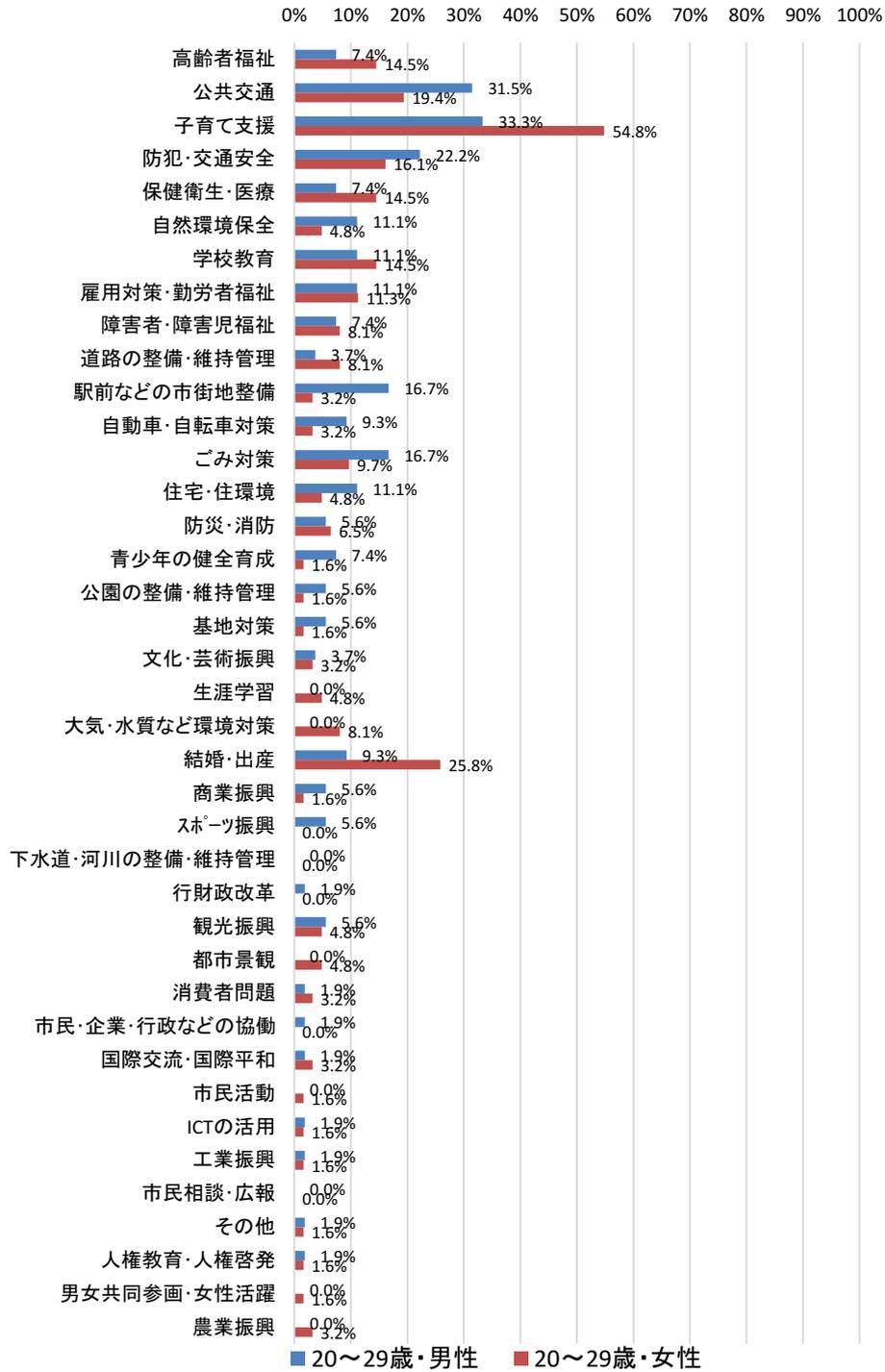
注) 項目は調査順に整列。

図表III-252 今後特に力を入れてほしいこと（性別・10代）（MA・SA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-253 今後特に力を入れてほしいこと（性別・20代）（MA・SA・SA）



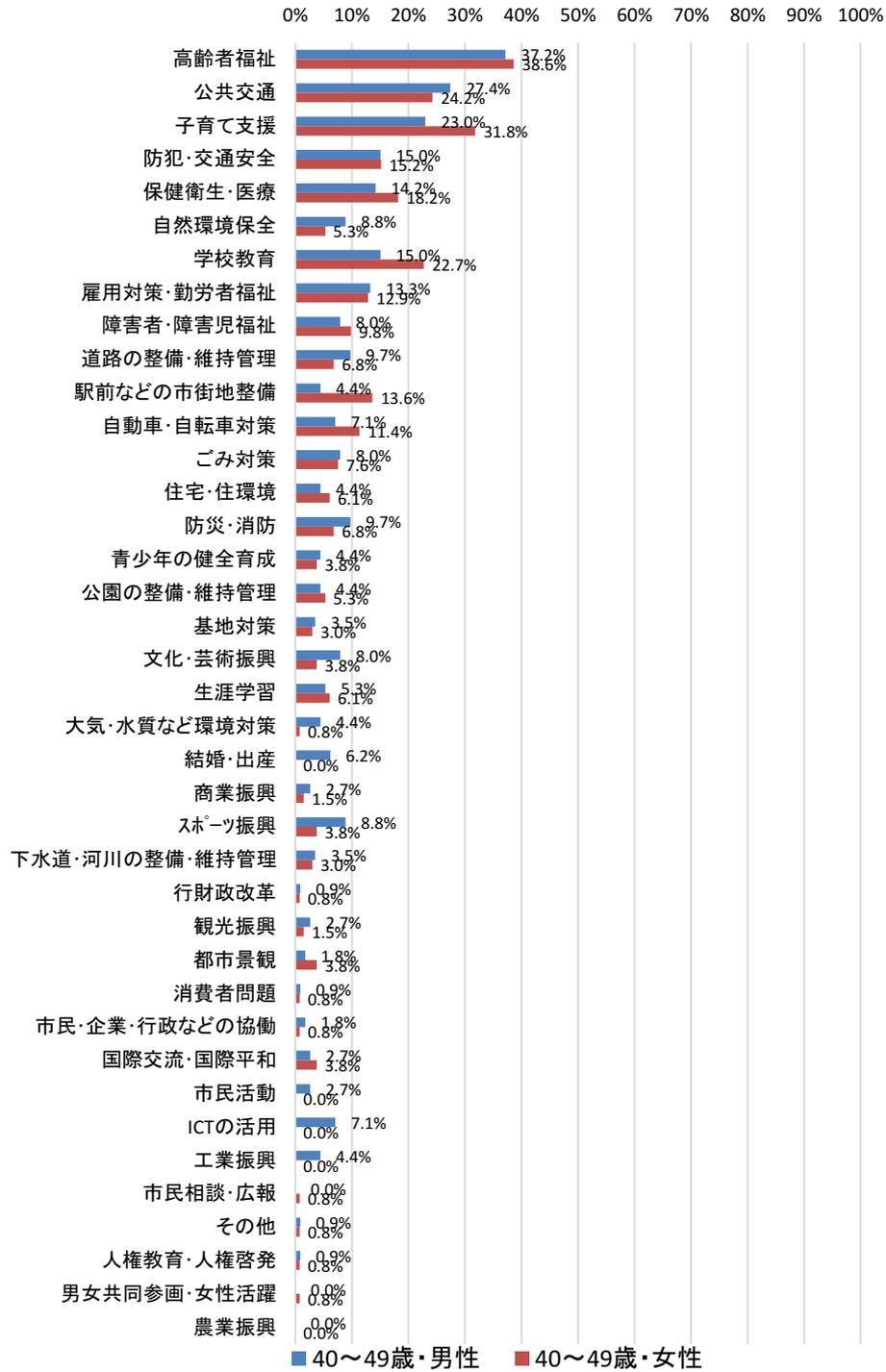
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-254 今後特に力を入れてほしいこと（性別・30代）（MA・SA・SA）



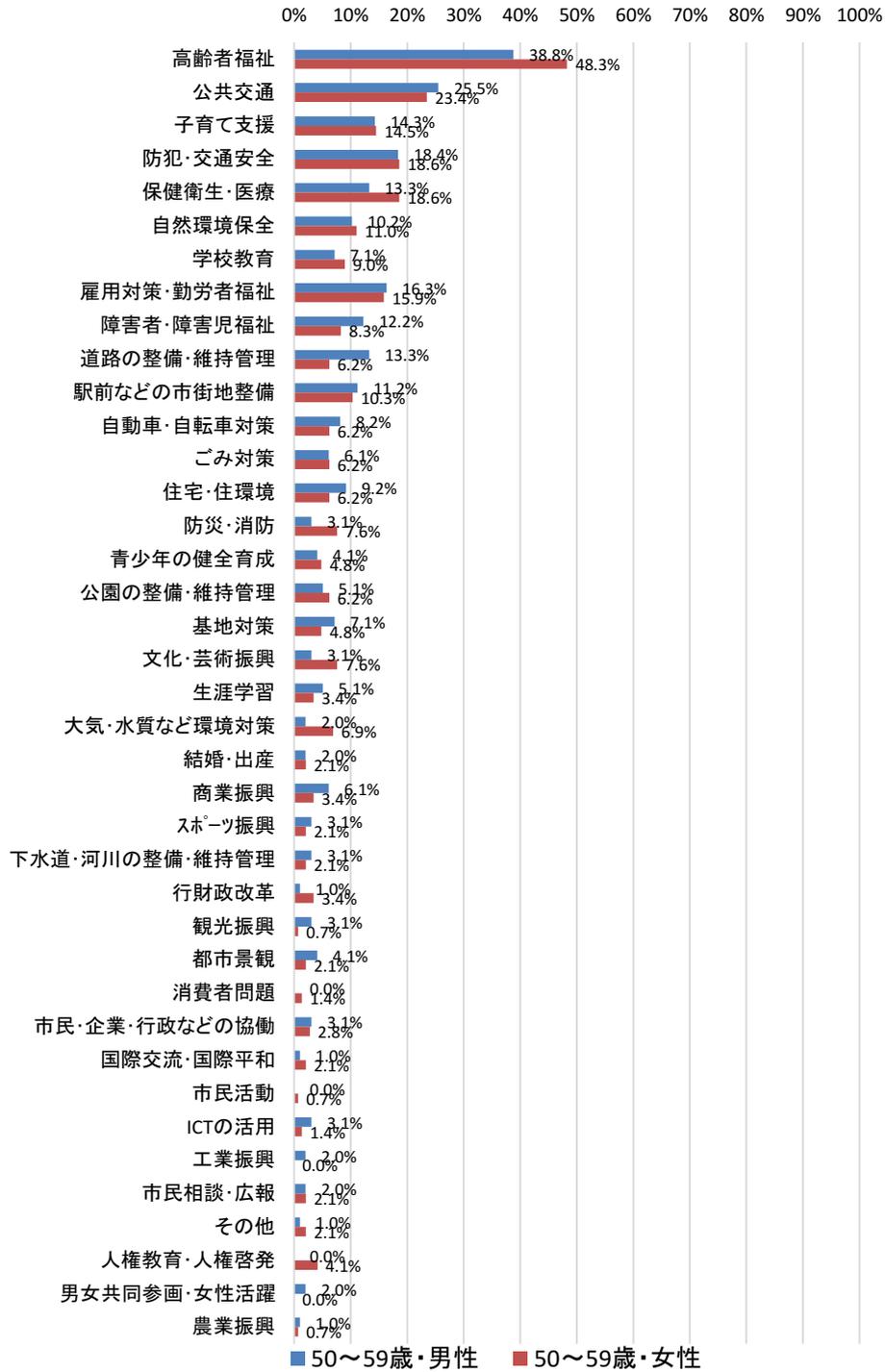
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-255 今後特に力を入れてほしいこと（性別・40代）（MA・SA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-256 今後特に力を入れてほしいこと（性別・50代）（MA・SA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-257 今後特に力を入れてほしいこと（性別・60代）（MA・SA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-258 今後特に力を入れてほしいこと（性別・70代）（MA・SA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

③ 居住地区別特に力を入れてほしいこと

- 市に対して、今後、特に力を入れてほしいことについて、居住地区別に見ると、津久井地域で「高齢者福祉」が47.0%と最も高くなっている。
- 緑区では、「高齢者福祉」「公共交通」「子育て支援」の順に高くなっている。
- 中央区では、「高齢者福祉」「公共交通」「子育て支援」の順に高くなっている。
- 南区では、「高齢者福祉」「子育て支援」「公共交通」の順に高くなっている。
- 津久井地域では、「高齢者福祉」「公共交通」「子育て支援」の順に高くなっている。
- いずれの居住区、地域においても「高齢者福祉」が最も高くなっており、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-259 今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別、数値は%）（MA・SA）

		Q10 今後、特に力を入れてほしいこと							
		高齢者福祉	障害者・障害児福祉	保健衛生・医療	子育て支援	結婚・出産	学校教育	生涯学習	青少年の健全育成
F8 居住地域	緑区 (n=373)	44.5	7.8	14.5	23.3	3.8	10.2	5.9	3.8
	中央区 (n=592)	46.1	8.1	14.5	23.0	4.2	10.5	3.0	6.9
	南区 (n=615)	42.1	8.6	13.8	23.1	3.9	11.7	4.7	5.9
	津久井地域 (n=149)	47.0	8.1	12.8	24.2	4.7	5.4	6.7	4.0

		人権教育・人権啓発	男女共同参画・女性活躍	大気・水質など環境対策	ごみ対策	自然環境保全	公園の整備・維持管理	工業振興	農業振興
		F8 居住地域	緑区 (n=373)	1.6	1.1	4.0	5.6	9.9	6.4
中央区 (n=592)	1.0		1.4	3.9	5.6	11.7	3.9	2.2	0.7
南区 (n=615)	1.8		1.1	4.7	5.9	12.2	6.5	1.1	1.0
津久井地域 (n=149)	2.0		0.0	2.0	4.0	11.4	5.4	2.7	4.0

		商業振興	観光振興	雇用対策・勤労者福祉	駅前などの市街地整備	公共交通	自動車・自転車対策	道路の整備・維持管理	下水道・河川の整備・維持管理
		F8 居住地域	緑区 (n=373)	2.9	4.0	10.2	7.2	28.2	5.9
中央区 (n=592)	4.1		2.0	9.3	10.5	27.0	6.1	6.1	3.0
南区 (n=615)	3.1		2.0	7.5	6.2	19.5	8.3	8.9	2.8
津久井地域 (n=149)	2.0		4.0	8.7	3.4	34.9	3.4	12.8	6.0

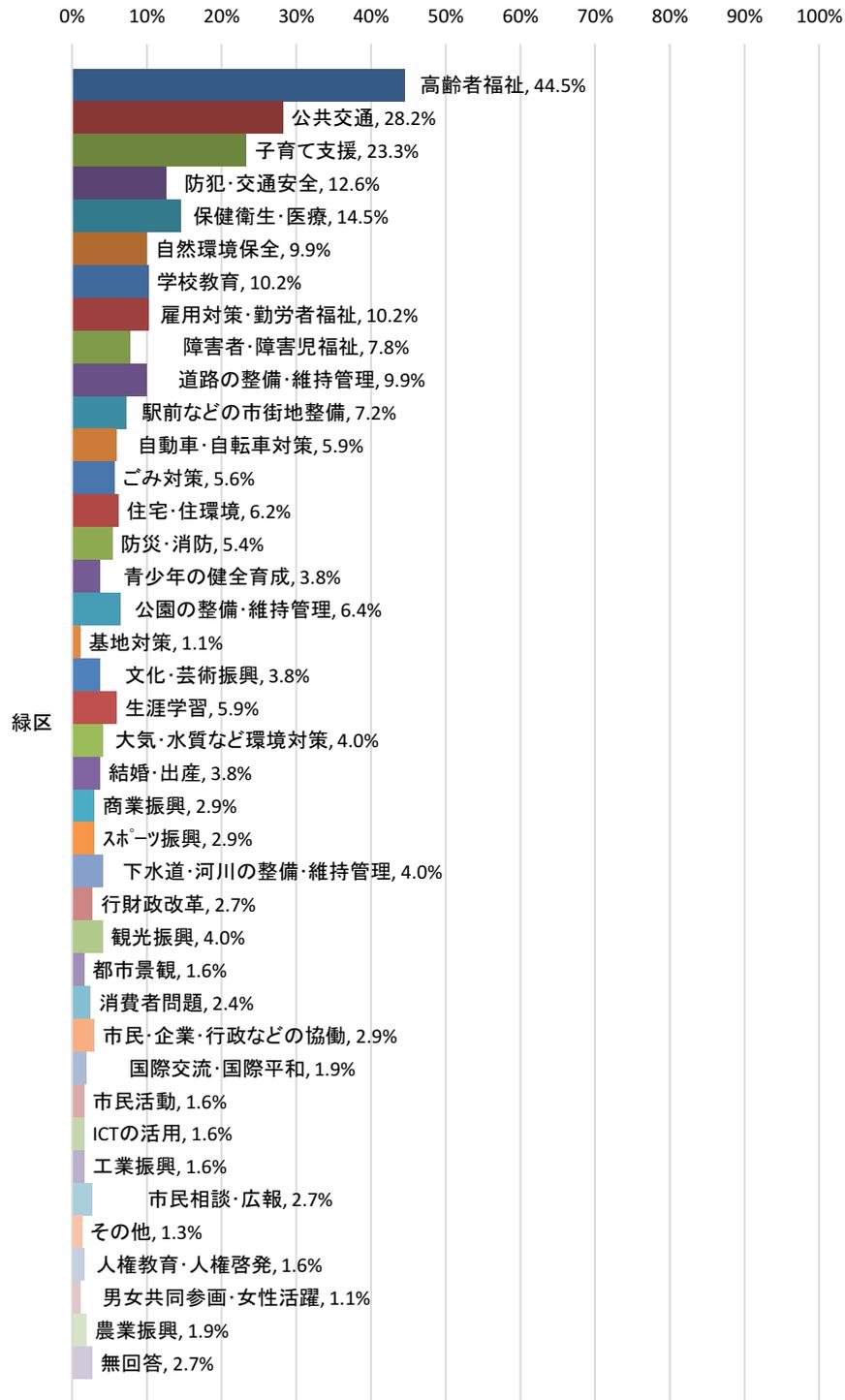
		都市景観	住宅・住環境	基地対策	防犯・交通安全	防災・消防	消費問題	市民活動	文化・芸術振興
		F8 居住地域	緑区 (n=373)	1.6	6.2	1.1	12.6	5.4	2.4
中央区 (n=592)	2.2		4.7	6.3	15.2	6.4	2.0	1.9	4.6
南区 (n=615)	3.3		7.2	7.6	18.9	6.0	2.0	2.1	5.9
津久井地域 (n=149)	0.7		4.0	0.0	10.1	5.4	2.7	1.3	3.4

		スポーツ振興	市民相談・広報	国際交流・国際平和	市民・企業・行政などの協働	行財政改革	ICTの活用	その他	無回答
		F8 居住地域	緑区 (n=373)	2.9	2.7	1.9	2.9	2.7	1.6
中央区 (n=592)	3.0		1.2	2.0	2.5	3.0	1.0	2.0	2.7
南区 (n=615)	3.7		1.1	2.4	1.5	3.4	2.3	0.8	2.1
津久井地域 (n=149)	2.0		2.7	0.7	4.7	3.4	1.3	3.4	2.7

注) 津久井地域は緑区の内数。

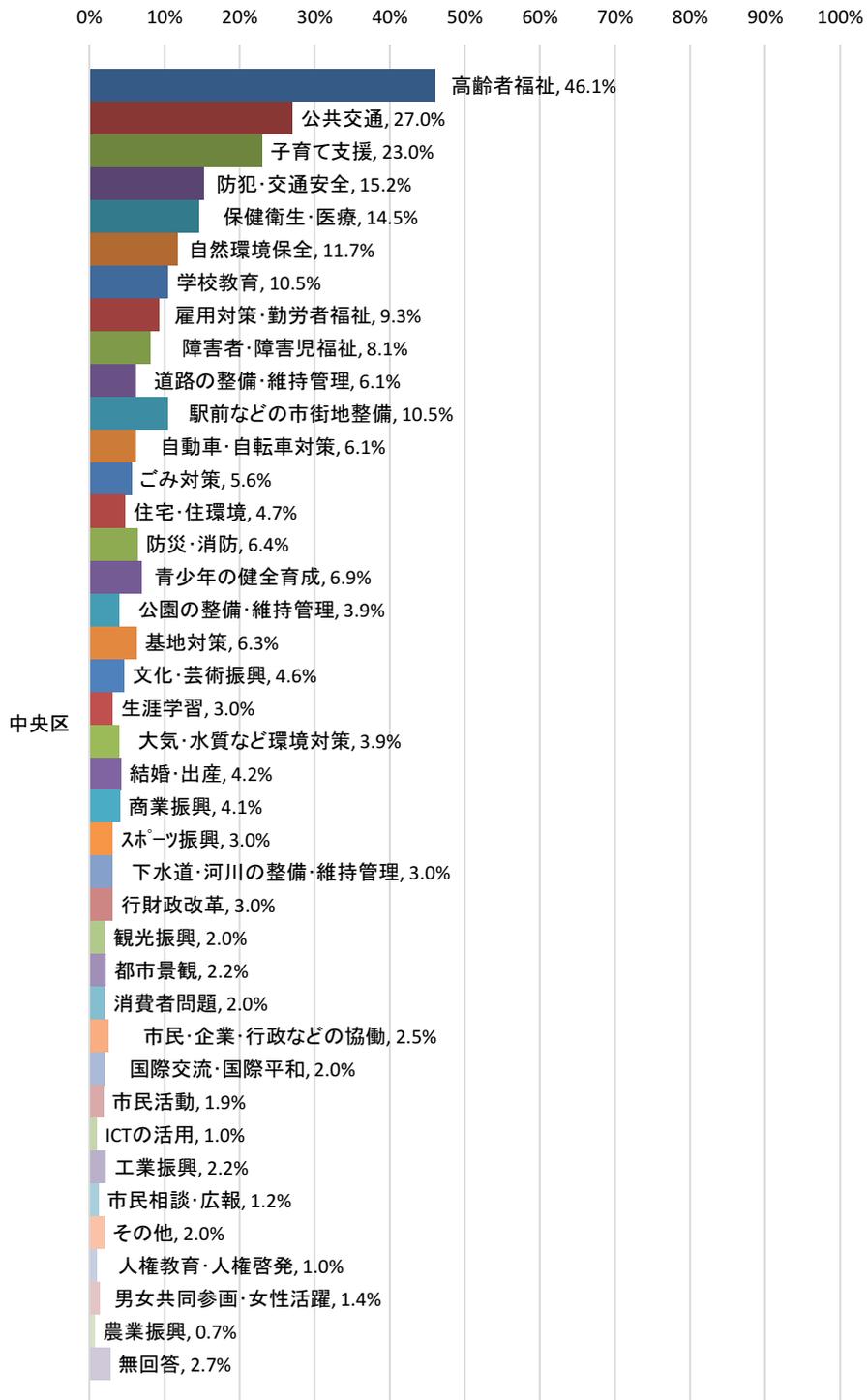
注) 項目は調査順に整理。

図表III-260 今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



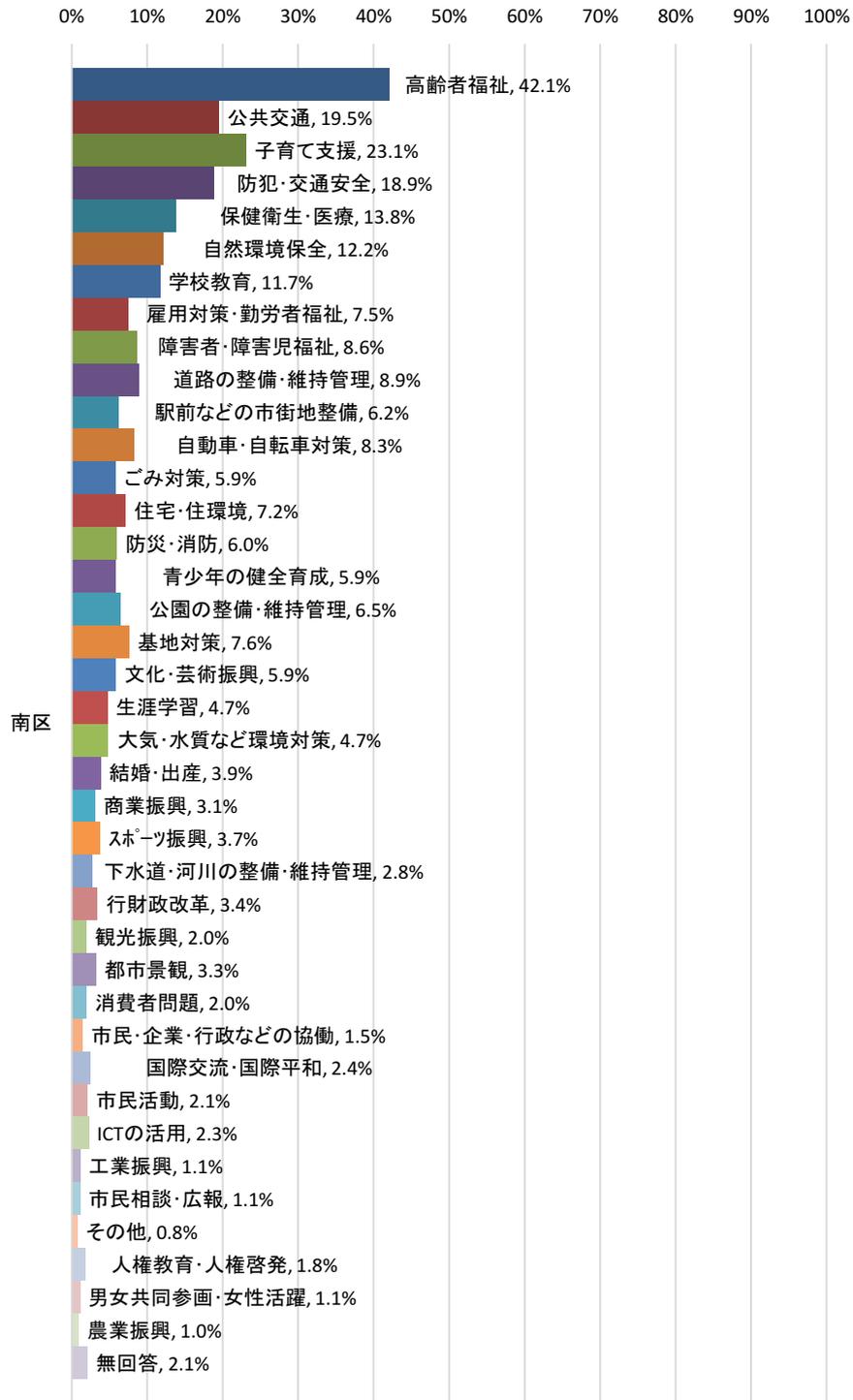
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-261 今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



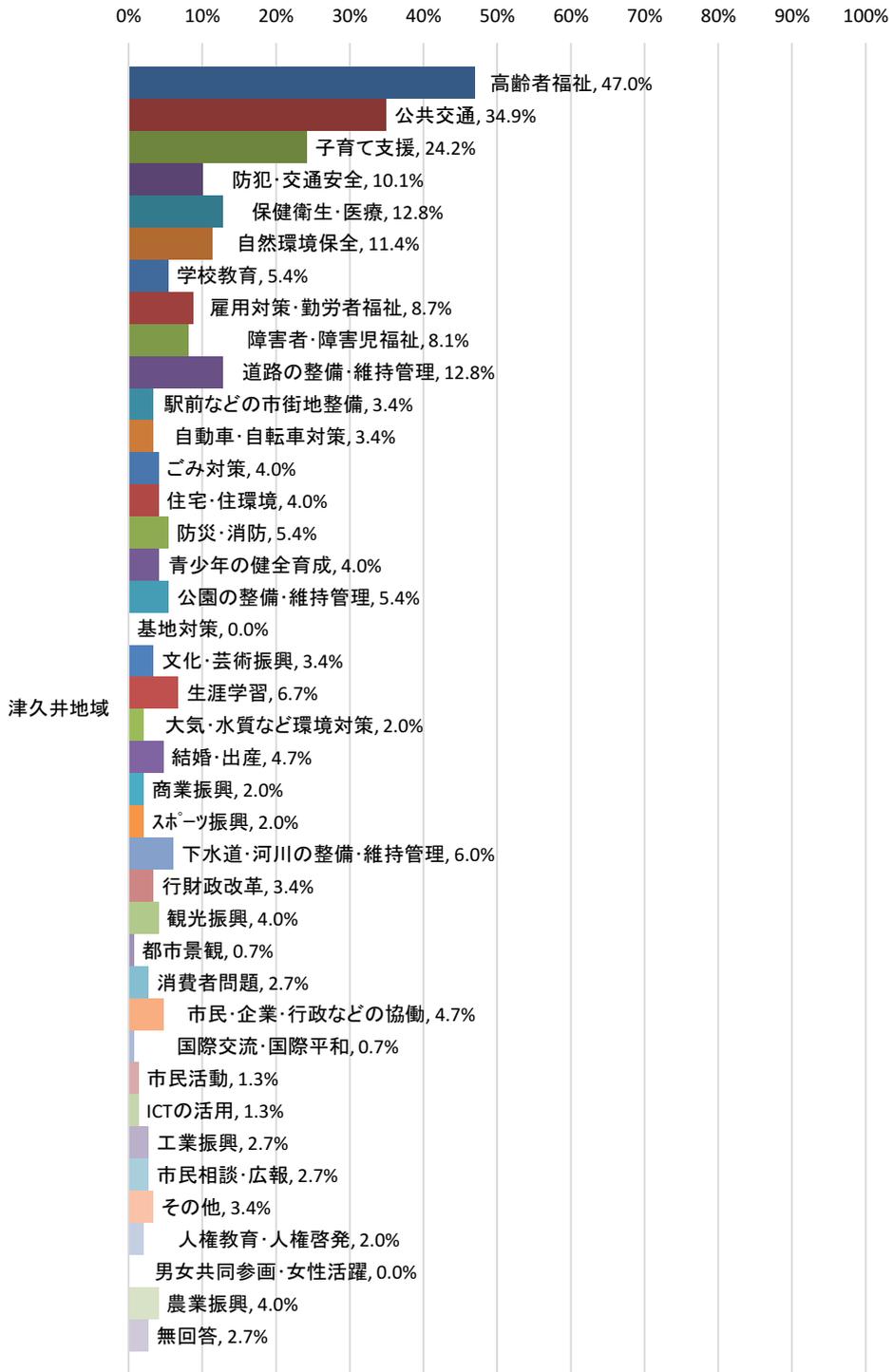
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-262 今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-263 今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-264 今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（ランキング）

	緑区		中央区		南区		津久井地域	
1	高齢者福祉	166 (44.5%)	高齢者福祉	273 (46.1%)	高齢者福祉	259 (42.1%)	高齢者福祉	70 (47.0%)
2	公共交通	105 (28.2%)	公共交通	160 (27.0%)	子育て支援	142 (23.1%)	公共交通	52 (34.9%)
3	子育て支援	87 (23.3%)	子育て支援	136 (23.0%)	公共交通	120 (19.5%)	子育て支援	36 (24.2%)
4	保健衛生・医療	54 (14.5%)	防犯・交通安全	90 (15.2%)	防犯・交通安全	116 (18.9%)	保健衛生・医療	19 (12.8%)
5	防犯・交通安全	47 (12.6%)	保健衛生・医療	86 (14.5%)	保健衛生・医療	85 (13.8%)	道路の整備・維持管理	19 (12.8%)

(3) 今後特に力を入れてほしいことの暮らしの満足度別クロス集計

- 暮らしの満足度別に今後特に力を入れてほしいことを見ると、満足していない方で「高齢者福祉」が48.5%と最も高くなっている。
- 現在の暮らしに満足している方について見ると、「高齢者福祉」「子育て支援」「公共交通」の順に高くなっている。
- 現在の暮らしにどちらかといえば満足している方について見ると、「高齢者福祉」「公共交通」「子育て支援」の順に高くなっている。
- 現在の暮らしにどちらかといえば満足していない方について見ると、「高齢者福祉」「公共交通」「子育て支援」の順に高くなっている。
- 現在の暮らしに満足していない方について見ると、「高齢者福祉」「公共交通」「子育て支援」の順に高くなっている。
- いずれの満足度においても、「高齢者福祉」が最も高くなっており、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-265 今後特に力を入れてほしいこと（満足度別、数値は%）（MA・SA）

		Q10 今後、特に力を入れてほしいこと							
		高齢者福祉	障害者・障害児福祉	保健衛生・医療	子育て支援	結婚・出産	学校教育	生涯学習	青少年の健全育成
Q1暮らしの満足度	満足している (n=400)	42.5	8.0	12.3	28.8	5.8	12.3	3.5	4.3
	どちらかといえば満足している (n=775)	43.5	7.5	14.5	22.3	4.1	12.3	4.8	6.2
	どちらかといえば満足していない (n=266)	48.1	9.8	17.7	19.9	2.3	7.1	4.9	6.0
	満足していない (n=130)	48.5	12.3	13.1	16.2	3.1	5.4	3.1	7.7

		人権教育・人権啓発	男女共同参画・女性活躍	大気・水質など環境対策	ごみ対策	自然環境保全	公園の整備・維持管理	工業振興	農業振興
Q1暮らしの満足度	満足している (n=400)	0.8	1.8	2.5	7.3	11.0	7.8	1.8	1.5
	どちらかといえば満足している (n=775)	2.2	1.4	4.9	5.7	12.1	5.5	1.7	0.9
	どちらかといえば満足していない (n=266)	0.0	0.8	4.5	6.0	10.5	3.4	1.1	1.1
	満足していない (n=130)	0.0	0.0	5.4	4.6	10.8	2.3	2.3	0.0

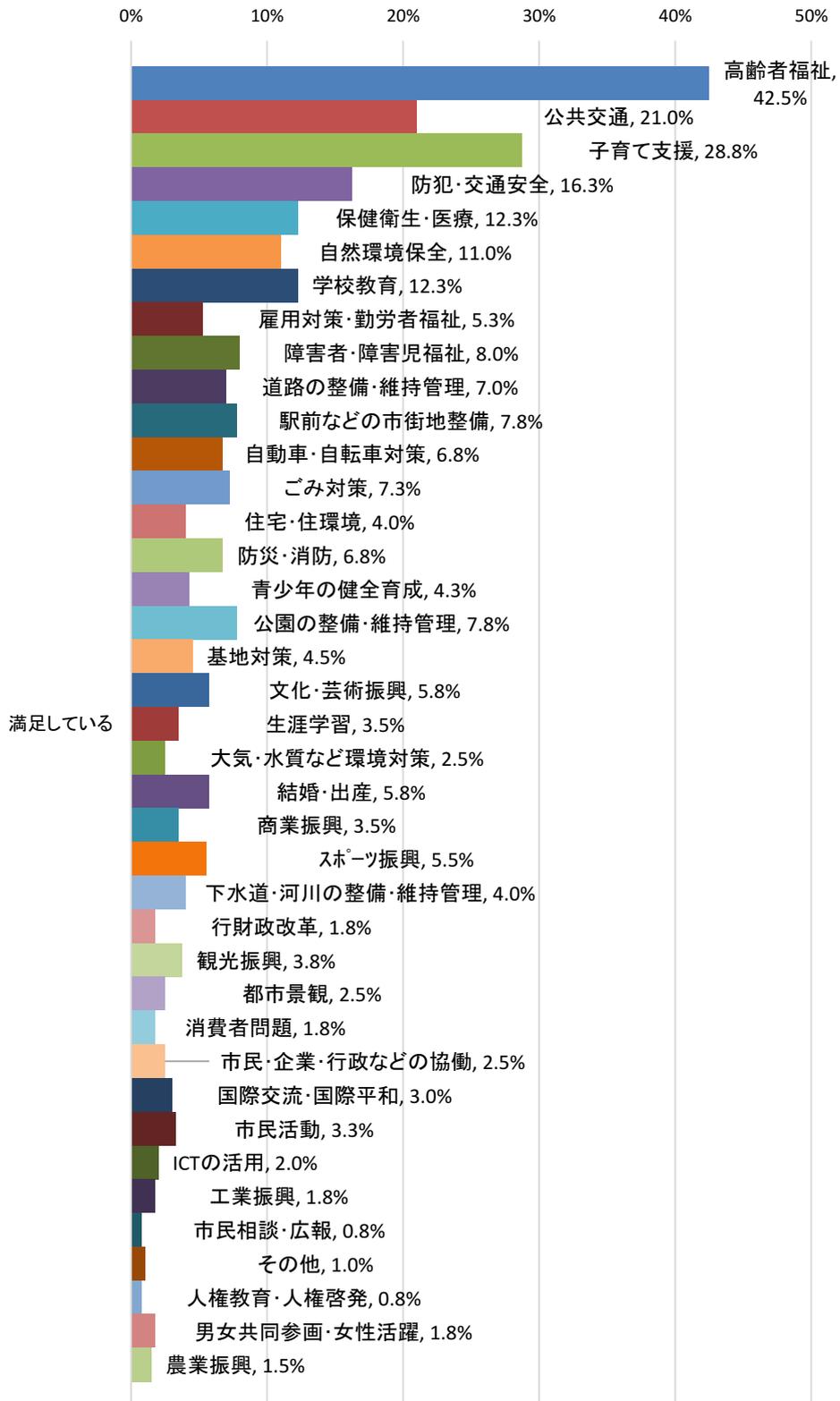
		商業振興	観光振興	雇用対策・勤労者福祉	駅前などの市街地整備	公共交通	自動車・自転車対策	道路の整備・維持管理	下水道・河川の整備・維持管理
Q1暮らしの満足度	満足している (n=400)	3.5	3.8	5.3	7.8	21.0	6.8	7.0	4.0
	どちらかといえば満足している (n=775)	2.6	1.9	8.4	8.5	23.7	6.2	8.8	3.1
	どちらかといえば満足していない (n=266)	5.3	1.9	11.3	9.4	30.8	8.6	9.8	2.6
	満足していない (n=130)	4.6	0.8	13.8	6.2	25.4	9.2	6.9	0.8

		都市景観	住宅・住環境	基地対策	防犯・交通安全	防災・消防	消費者問題	市民活動	文化・芸術振興
Q1暮らしの満足度	満足している (n=400)	2.5	4.0	4.5	16.3	6.8	1.8	3.3	5.8
	どちらかといえば満足している (n=775)	2.8	6.7	6.2	16.8	6.8	2.1	1.3	4.6
	どちらかといえば満足していない (n=266)	1.9	7.5	5.3	13.5	3.0	4.1	1.1	1.5
	満足していない (n=130)	0.8	5.4	3.8	15.4	3.1	1.5	2.3	5.4

		スポーツ振興	市民相談・広報	国際交流・国際平和	市民・企業・行政などの協働	行財政改革	ICTの活用	その他	無回答
Q1暮らしの満足度	満足している (n=400)	5.5	0.8	3.0	2.5	1.8	2.0	1.0	2.7
	どちらかといえば満足している (n=775)	2.6	1.9	1.5	2.5	3.6	1.5	1.2	2.7
	どちらかといえば満足していない (n=266)	3.0	1.1	2.6	1.1	2.3	1.9	0.8	2.1
	満足していない (n=130)	2.3	3.1	2.3	2.3	5.4	2.3	6.2	2.7

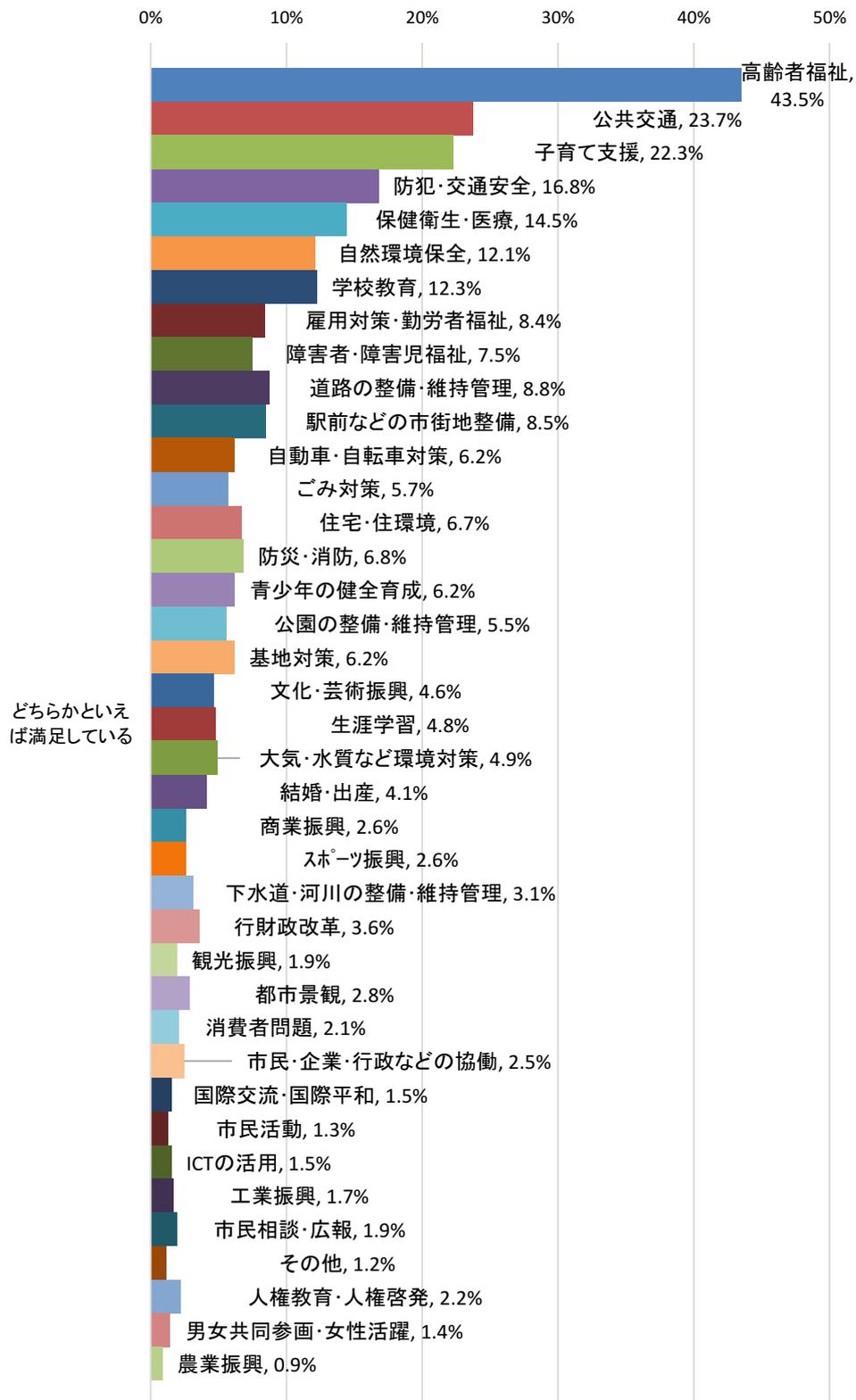
注) 項目は調査順に整列。

図表III-266 今後特に力を入れてほしいこと（満足度別）（MA・SA）



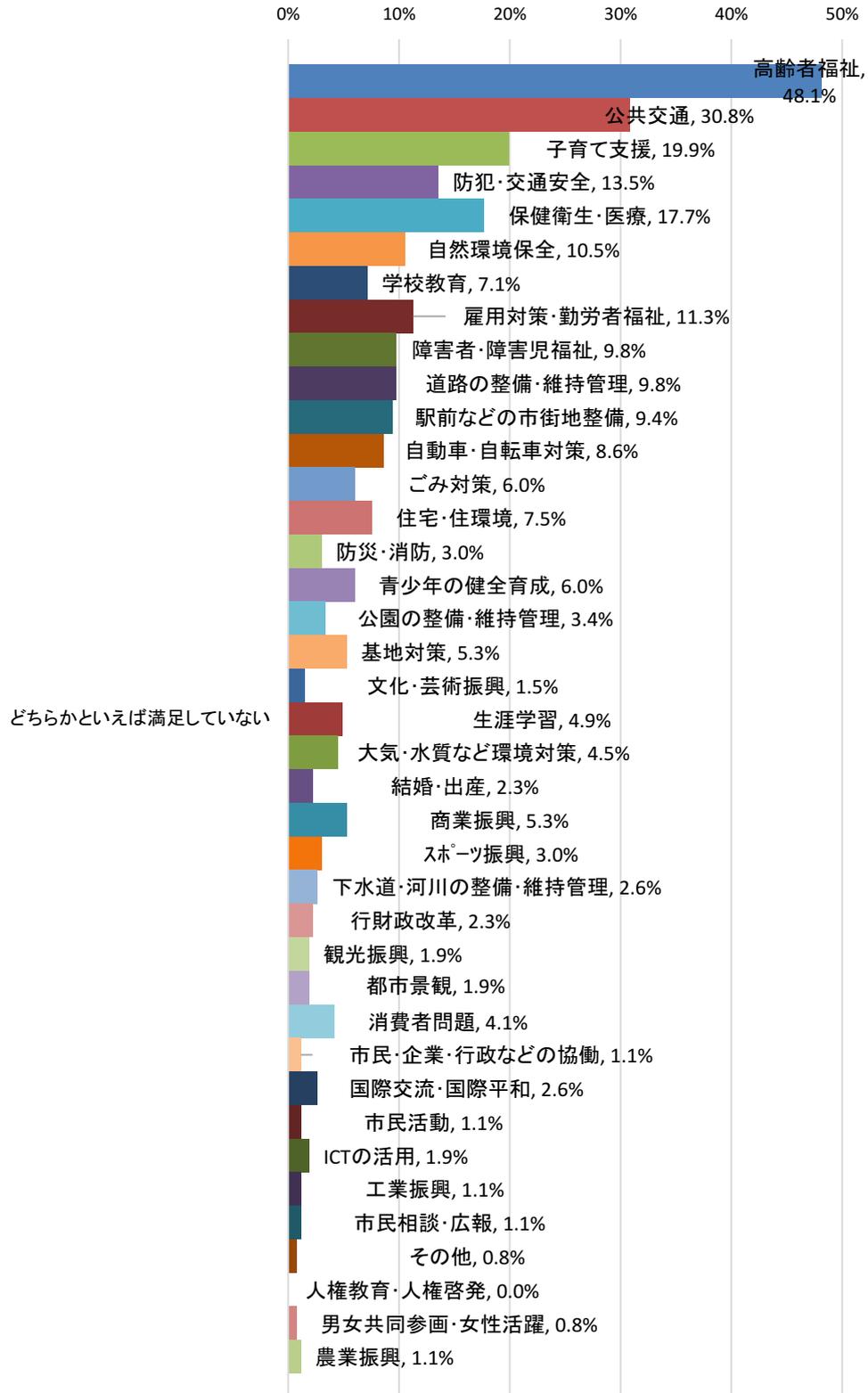
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-267 今後特に力を入れてほしいこと（満足度別）（MA・SA）



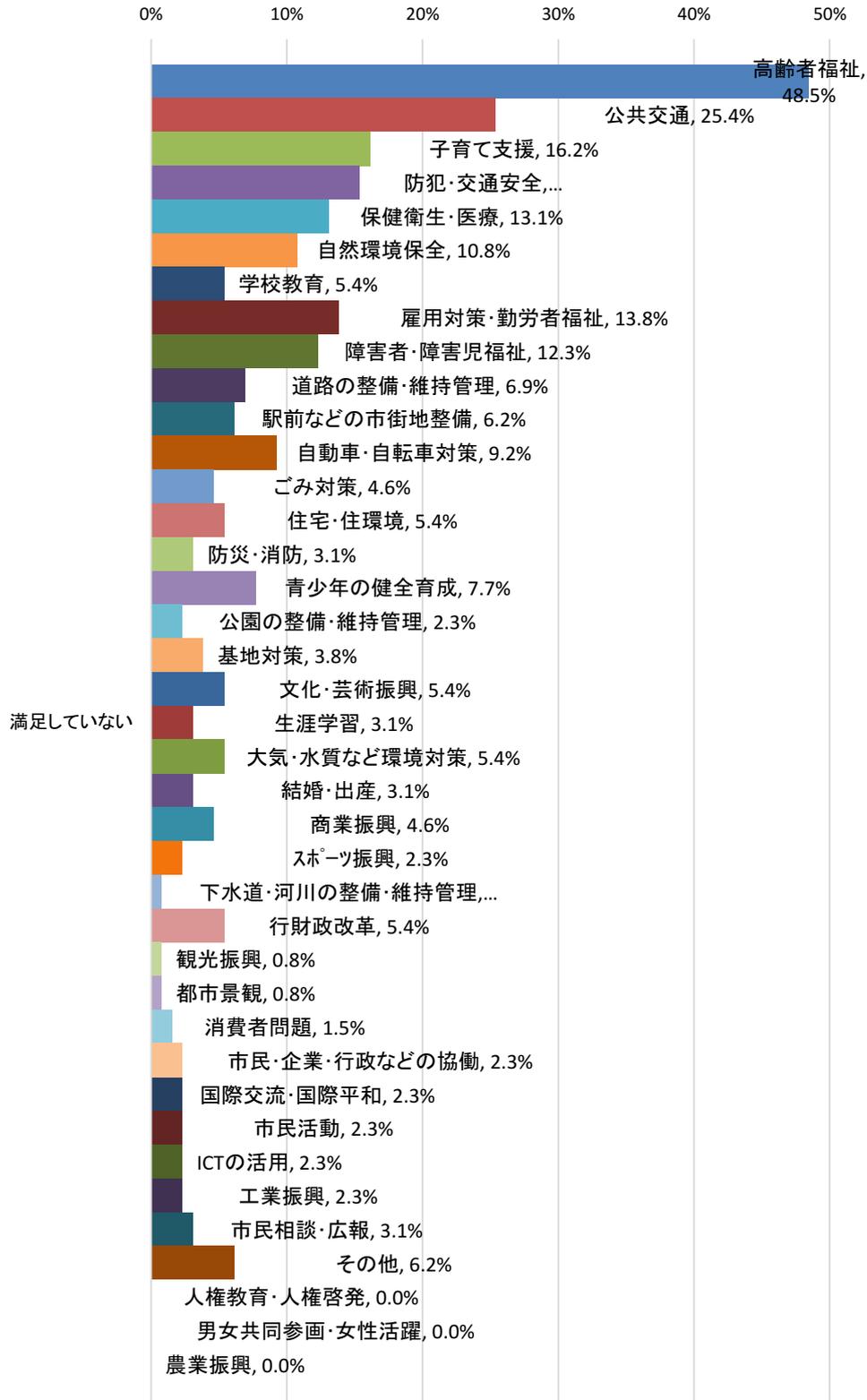
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-268 今後特に力を入れてほしいこと（満足度別）（MA・SA）



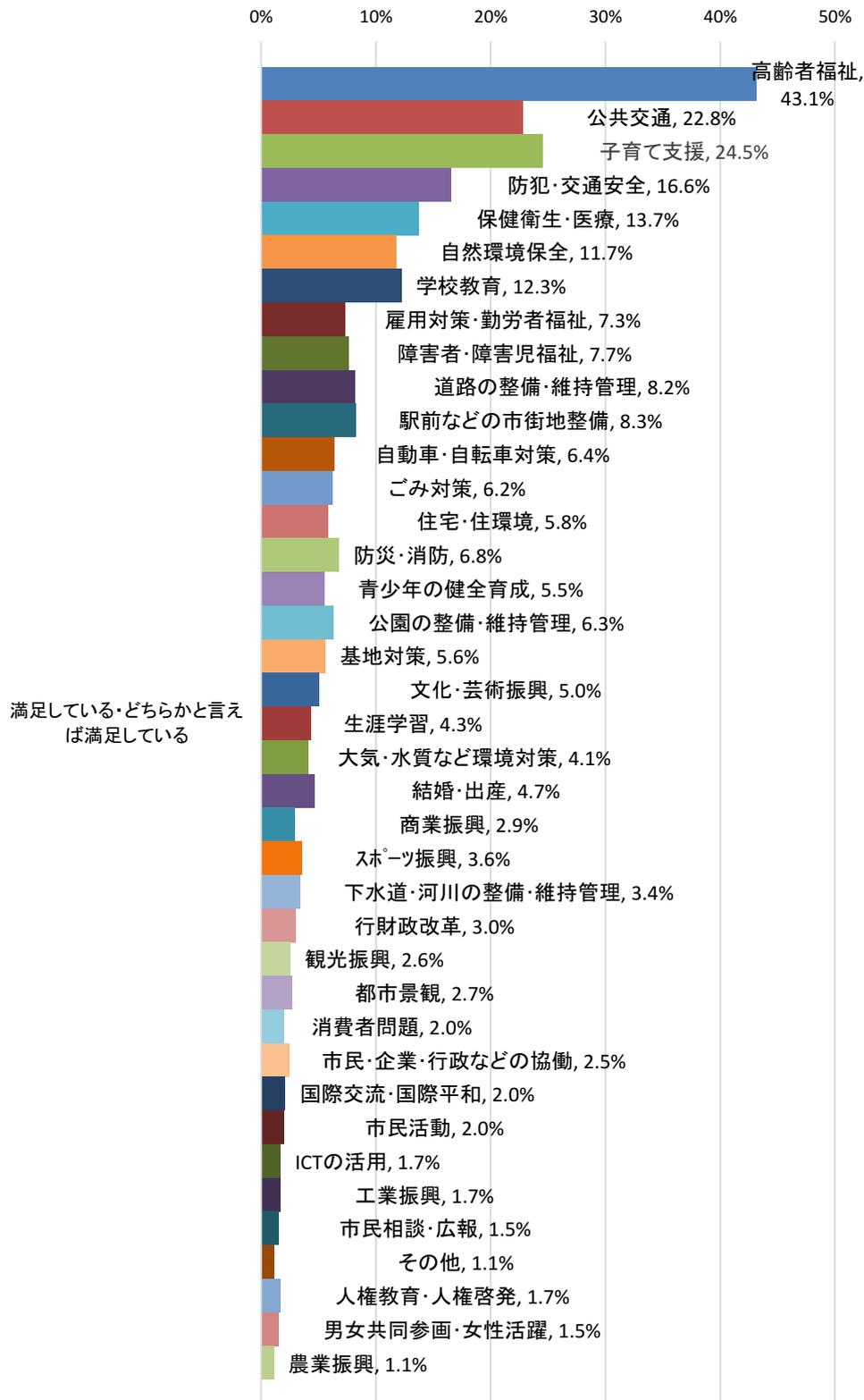
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-269 今後特に力を入れてほしいこと（満足度別）（MA・SA）



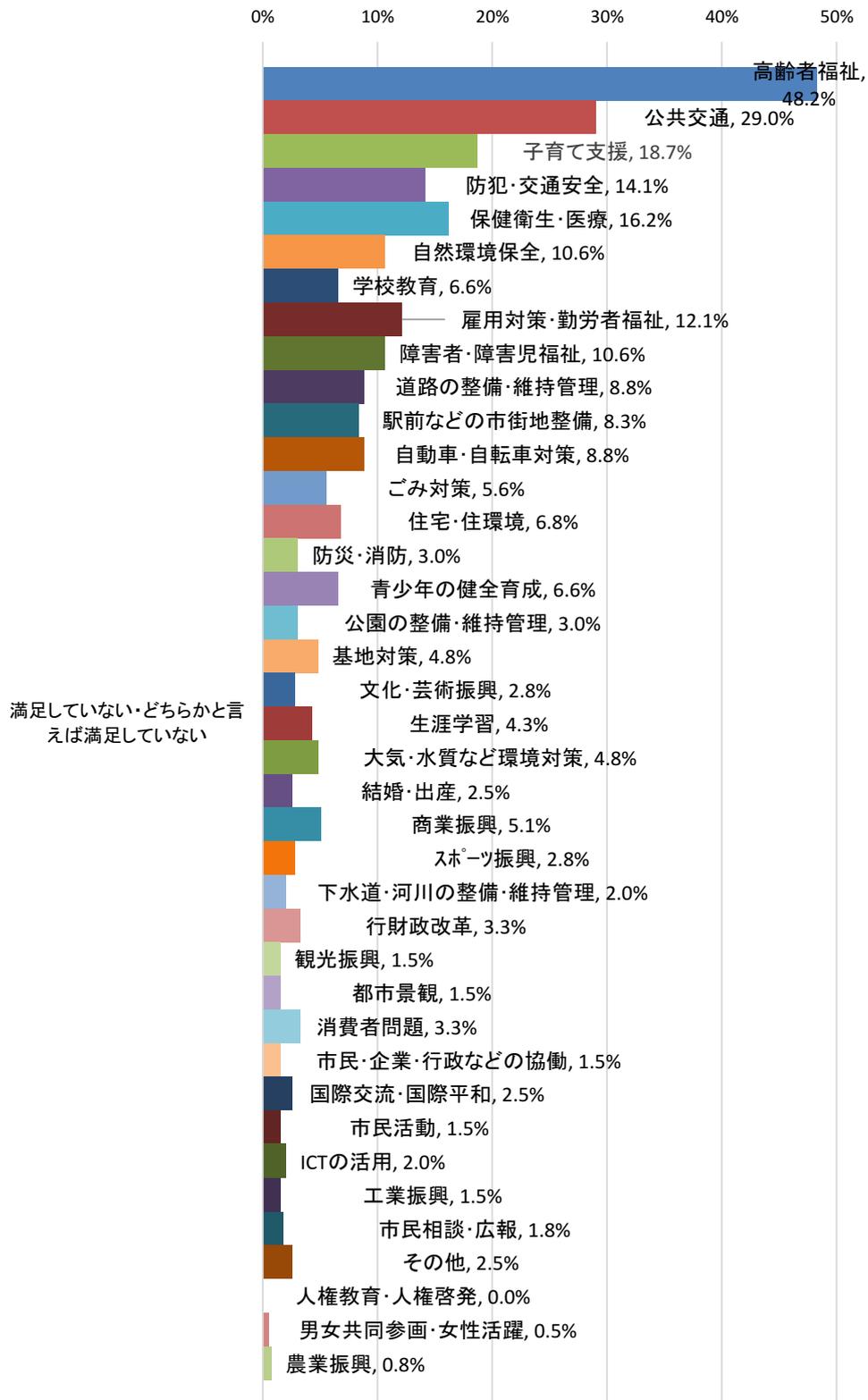
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-270 今後特に力を入れてほしいこと（満足度別・合算）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-271 今後特に力を入れてほしいこと（満足度別・合算）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

(4) 今後特に力を入れてほしいことの目指すべき都市像別クロス集計

- 目指すべき都市像別に今後特に力を入れてほしいことについて見ると、ほとんどの目指すべき都市像において、「高齢者福祉」に力を入れてほしいという意見が最も高くなっている。特に、目指すべき都市像で「福祉都市」と回答した方で「高齢者福祉」に力を入れてほしい方が73.0%と最も高くなっている。
- また、目指すべき都市像が「子育て都市」と回答した方では「子育て支援」が最も高く、「教育都市」と回答した方では「学校教育」が最も高く、「拠点都市」では「公共交通」が最も高く、「情報都市」と回答した方では「ICTの活用」が最も高いなど、目指すべき都市像と力を入れてほしいことが対応している傾向が見られる。

図表III-272 今後特に力を入れてほしいこと（都市像別・数値は%）（MA・SA）

		Q10 今後、特に力を入れてほしいこと							
		高齢者福祉	障害者・障害児福祉	保健衛生・医療	子育て支援	結婚・出産	学校教育	生涯学習	青少年の健全育成
Q9都市像	安全安心都市	49.1	9.5	17.6	18.4	3.5	8.9	3.6	6.6
	福祉都市	73.0	14.8	19.8	15.2	1.8	6.1	4.1	5.5
	自然都市	37.5	7.3	12.2	26.6	4.9	10.4	2.3	5.2
	環境都市	49.3	8.4	13.4	15.8	3.0	9.0	5.4	7.4
	生活都市	40.8	7.0	12.6	22.6	5.6	11.5	3.9	5.0
	健康都市	50.5	6.5	19.1	22.0	4.2	7.4	7.8	8.1
	子育て都市	30.0	6.9	11.9	66.0	10.2	23.4	2.3	6.3
	平和都市	46.7	10.7	11.5	24.2	4.1	9.8	4.1	4.5
	防災都市	52.5	12.7	14.6	14.6	0.0	7.0	2.5	6.3
	文化・芸術都市	34.6	3.2	11.5	19.2	4.5	9.0	7.1	7.1
	教育都市	32.8	3.4	13.4	37.0	5.0	42.9	8.4	5.9
	国際交流都市	43.4	11.1	14.1	19.2	3.0	16.2	6.1	5.1
	スポーツ都市	35.6	3.3	17.8	28.9	10.0	11.1	3.3	3.3
	産業都市	29.4	4.7	9.4	24.7	3.5	9.4	1.2	7.1
	活力都市	28.9	2.4	14.5	26.5	6.0	16.9	4.8	10.8
	拠点都市	25.8	6.5	14.5	22.6	11.3	11.3	4.8	3.2
	自立都市	25.5	5.5	9.1	20.0	10.9	20.0	3.6	7.3
情報都市	23.8	7.1	7.1	14.3	4.8	14.3	11.9	2.4	
人権都市	45.0	12.5	20.0	10.0	2.5	7.5	5.0	2.5	
その他	25.0	10.7	7.1	7.1	3.6	10.7	3.6	3.6	

		人権教育・人権啓発	男女共同参画・女性活躍	大気・水質など環境対策	ごみ対策	自然環境保全	公園の整備・維持管理	工業振興	農業振興
		Q9都市像	安全安心都市	1.3	1.1	5.7	6.3	12.0	5.1
福祉都市	0.7		0.7	3.9	5.9	10.0	2.7	0.7	0.5
自然都市	0.8		1.0	6.8	4.9	19.3	8.3	1.6	1.8
環境都市	1.4		0.8	7.4	6.0	23.2	6.8	0.8	1.9
生活都市	1.4		1.4	2.0	7.0	9.5	7.3	2.0	0.8
健康都市	1.9		1.9	3.6	8.4	10.4	4.2	1.0	1.6
子育て都市	2.0		1.7	2.6	5.0	5.6	7.3	1.7	1.3
平和都市	2.5		0.8	6.1	5.7	16.8	5.3	1.6	0.4
防災都市	1.3		0.0	3.2	10.1	10.8	3.8	0.6	0.0
文化・芸術都市	0.6		2.6	4.5	3.8	13.5	9.0	0.6	0.6
教育都市	1.7		1.7	3.4	2.5	6.7	8.4	1.7	1.7
国際交流都市	1.0		0.0	4.0	10.1	8.1	3.0	0.0	2.0
スポーツ都市	0.0		0.0	3.3	3.3	8.9	8.9	2.2	0.0
産業都市	0.0		4.7	3.5	5.9	10.6	3.5	12.9	2.4
活力都市	2.4		3.6	6.0	4.8	12.0	4.8	3.6	3.6
拠点都市	1.6		0.0	1.6	6.5	6.5	8.1	0.0	0.0
自立都市	0.0		1.8	3.6	9.1	10.9	3.6	9.1	3.6
情報都市	9.5	4.8	4.8	9.5	4.8	2.4	2.4	0.0	
人権都市	32.5	5.0	5.0	2.5	17.5	0.0	0.0	2.5	
その他	0.0	0.0	3.6	7.1	7.1	0.0	3.6	0.0	

注) 項目は調査順に整列。項目数が多いため、グラフは省略。

図表III-273 今後特に力を入れてほしいこと（都市像別・数値は%）（MA・SA）

		商業振興	観光振興	雇用対 策・勤労 者福祉	駅前な どの街地 整備	公共交 通	自動車・ 自転車対 策	道路の整 備・維持 管理	下水道・ 河川の整 備・維持 管理
Q9都市 像	安全安心都市	3.3	1.6	10.4	7.3	25.5	6.5	8.5	3.5
	福祉都市	2.7	1.1	8.0	7.3	26.8	7.5	8.4	1.8
	自然都市	2.6	3.6	9.4	9.1	26.3	8.6	7.8	3.4
	環境都市	3.5	3.0	6.8	7.1	24.0	7.6	6.8	4.6
	生活都市	5.9	2.2	10.3	10.3	28.8	7.8	9.5	3.1
	健康都市	2.9	3.9	8.4	4.9	24.3	8.4	7.4	1.9
	子育て都市	2.3	1.7	7.9	5.9	14.2	5.0	9.6	3.0
	平和都市	2.9	1.6	11.9	8.2	18.4	6.6	7.4	3.3
	防災都市	2.5	1.3	8.2	7.6	23.4	5.1	8.9	2.5
	文化・芸術都市	2.6	5.1	8.3	10.3	25.6	7.1	10.3	2.6
	教育都市	6.7	3.4	5.0	5.9	16.8	6.7	6.7	1.7
	国際交流都市	2.0	3.0	3.0	10.1	21.2	7.1	6.1	2.0
	スポーツ都市	1.1	4.4	5.6	10.0	24.4	8.9	7.8	3.3
	産業都市	12.9	2.4	18.8	12.9	24.7	8.2	5.9	2.4
	活力都市	12.0	4.8	15.7	9.6	26.5	3.6	10.8	2.4
	拠点都市	3.2	4.8	14.5	24.2	29.0	6.5	9.7	1.6
	自立都市	7.3	0.0	1.8	10.9	21.8	7.3	9.1	1.8
	情報都市	2.4	2.4	9.5	2.4	16.7	7.1	14.3	0.0
人権都市	0.0	0.0	5.0	10.0	20.0	5.0	10.0	0.0	
その他	7.1	7.1	3.6	17.9	32.1	3.6	17.9	7.1	

		都市景観	住宅・住 環境	基地対策	防犯・交 通安全	防災・消 防	消費者問 題	市民活動	文化・芸 術振興
Q9都市 像	安全安心都市	2.4	6.2	4.4	22.8	7.6	3.2	1.9	2.5
	福祉都市	1.6	3.9	6.4	15.9	6.6	3.0	1.8	2.7
	自然都市	2.9	6.0	4.9	16.1	4.2	2.1	2.3	4.9
	環境都市	2.5	9.5	5.2	15.0	5.4	3.0	2.2	2.5
	生活都市	2.5	7.3	5.0	18.2	6.4	3.1	1.4	6.4
	健康都市	1.9	7.8	5.2	14.6	3.2	2.9	2.3	6.1
	子育て都市	2.6	6.9	6.3	13.5	3.6	0.7	2.0	4.3
	平和都市	2.0	2.9	9.8	14.3	7.4	2.0	2.5	3.3
	防災都市	2.5	8.2	4.4	29.1	24.7	2.5	1.3	3.8
	文化・芸術都市	4.5	6.4	7.1	10.3	5.1	0.6	1.3	28.8
	教育都市	1.7	5.9	5.9	16.0	4.2	2.5	0.0	3.4
	国際交流都市	0.0	6.1	6.1	9.1	3.0	2.0	4.0	9.1
	スポーツ都市	4.4	5.6	2.2	12.2	5.6	3.3	1.1	3.3
	産業都市	2.4	8.2	5.9	9.4	3.5	1.2	1.2	8.2
	活力都市	3.6	2.4	8.4	7.2	6.0	1.2	2.4	7.2
	拠点都市	1.6	6.5	9.7	16.1	6.5	1.6	0.0	3.2
	自立都市	0.0	7.3	3.6	14.5	9.1	1.8	7.3	3.6
	情報都市	2.4	4.8	9.5	9.5	4.8	4.8	2.4	4.8
人権都市	2.5	2.5	10.0	15.0	2.5	5.0	0.0	0.0	
その他	3.6	10.7	3.6	14.3	0.0	0.0	3.6	7.1	

注) 項目は調査順に整列。項目数が多いため、グラフは省略。

図表III-274 今後特に力を入れてほしいこと（都市像別・数値は%）（MA・SA）

		スポーツ振興	市民相談・広報	国際交流・国際平和	市民・企業・行政などの協働	行財政改革	ICTの活用	その他
Q9都市像	安全安心都市	2.7	1.4	1.7	1.9	3.0	0.9	1.7
	福祉都市	1.4	2.7	1.8	1.1	2.5	0.2	0.2
	自然都市	3.1	2.3	1.6	3.1	1.3	1.3	2.3
	環境都市	3.8	2.2	1.9	2.5	3.5	1.4	0.5
	生活都市	3.1	1.4	0.8	0.6	2.5	2.0	0.8
	健康都市	5.5	1.6	1.9	2.6	3.9	0.6	1.0
	子育て都市	3.3	0.0	2.3	2.0	2.0	1.3	0.7
	平和都市	0.4	2.0	3.7	2.9	2.5	1.2	0.8
	防災都市	3.8	1.9	1.3	3.2	3.2	0.6	1.3
	文化・芸術都市	4.5	0.6	2.6	3.2	2.6	1.9	0.6
	教育都市	1.7	0.0	2.5	2.5	6.7	0.8	1.7
	国際交流都市	4.0	2.0	23.2	3.0	3.0	5.1	0.0
	スポーツ都市	30.0	0.0	2.2	2.2	1.1	0.0	1.1
	産業都市	2.4	0.0	3.5	3.5	8.2	4.7	2.4
	活力都市	0.0	0.0	0.0	3.6	9.6	1.2	0.0
	拠点都市	3.2	1.6	0.0	3.2	6.5	4.8	0.0
	自立都市	0.0	0.0	5.5	10.9	9.1	3.6	7.3
	情報都市	4.8	0.0	2.4	7.1	11.9	33.3	0.0
	人権都市	0.0	0.0	2.5	5.0	17.5	7.5	0.0
	その他	0.0	0.0	3.6	3.6	3.6	3.6	25.0

注) 項目は調査順に整列。項目数が多いため、グラフは省略。

2-11. 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいと思うこと

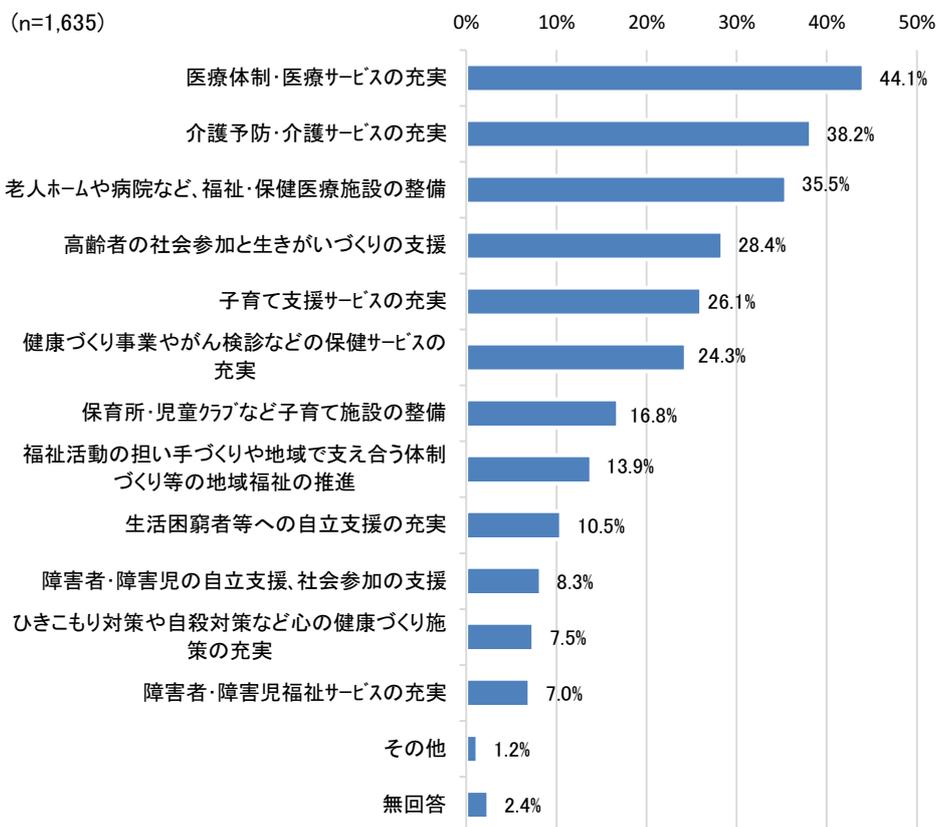
問 11 あなたが各分野（①～⑧）において市に対して、今後、特に力を入れてほしいと思うことを選びください。

【①福祉・保健・医療】

次の中から3つ以内でお選びください。（○は3つまで）

- 福祉・保健・医療において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「医療体制・医療サービスの充実」が44.1%で最も高く、次いで、「介護予防・介護サービスの充実」が38.2%、「老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備」が35.5%となっており、高齢者福祉に関する項目が比較的高くなっている。

図表III-275 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- 医療・介護従事者のケア、待遇の改善
- 救急病院の充実 等

(1) 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢階層別福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと

- 福祉・保健・医療において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、年齢階層別に見ると、16～19歳で「医療体制・医療サービスの充実」が60.0%と最も高くなっている。
- 20～29歳、30～39歳では、「子育て支援サービスの充実」が最も高くなっている。
- 40～49歳、50～59歳では、「医療体制・医療サービスの充実」が最も高くなっている。
- 60～64歳では、「介護予防・介護サービスの充実」が最も高くなっている。
- 65～69歳では、「医療体制・医療サービスの充実」が最も高くなっている。
- 70～74歳、75歳以上では、「老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備」が最も高くなっている。
- 20代、30代の子育て世代では、「子育て支援サービスの充実」や「保育所・児童クラブ等子育て施設の整備」といった施策への期待が他の年代に比較して高い傾向が見られる。

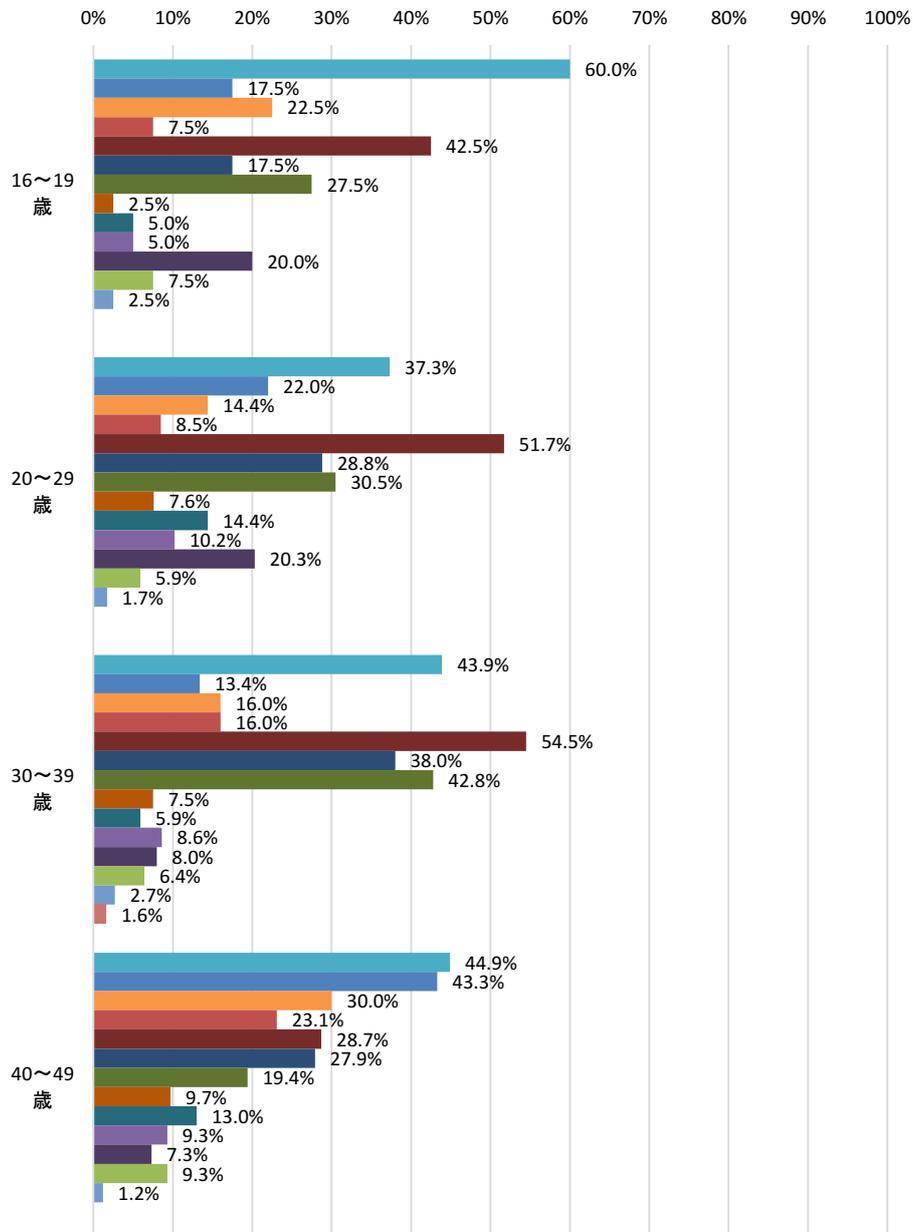
図表III-276 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別、数値は%）(M・A・S・A)

		Q11① 今後、特に力を入れてほしいこと:福祉・保健・医療						
		介護予防・ 介護サービスの 充実	高齢者の 社会参加 と生きが いづくりの 支援	障害者・障 害児福祉 サービスの 充実	障害者・障 害児の自 立支援、社 会参加の 支援	医療体制・ 医療サービ スの充実	老人ホーム や病院な ど、福祉・ 保健医療 施設の整 備	健康づくり や事業やが ん検診な どの保健 サービスの 充実
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	17.5	7.5	7.5	5.0	60.0	22.5	17.5
	20～29歳 (n=118)	22.0	8.5	5.9	10.2	37.3	14.4	28.8
	30～39歳 (n=187)	13.4	16.0	6.4	8.6	43.9	16.0	38.0
	40～49歳 (n=247)	43.3	23.1	9.3	9.3	44.9	30.0	27.9
	50～59歳 (n=244)	41.4	31.6	8.2	13.1	47.5	36.1	21.7
	60～64歳 (n=143)	45.5	39.9	5.6	7.0	41.3	38.5	25.2
	65～69歳 (n=177)	44.6	36.2	4.5	6.8	49.7	45.2	19.8
	70～74歳 (n=176)	47.2	39.2	6.3	6.3	42.0	50.0	19.9
	75歳以上 (n=257)	45.5	34.6	7.4	6.2	38.5	47.9	19.1

		子育て支 援サービ スの充実	保育所・児 童クラブな ど子育て 施設の整 備	ひきこもり 対策や自 殺対策な ど心の健 康づくり施 策の充実	生活困窮 者等への 自立支援 の充実	福祉活動 の担い手 づくりや地 域で支え 合う体制 づくり等の 地域福祉 の推進	その他	無回答
		F2 年齢	16～19歳 (n=40)	42.5	27.5	20.0	5.0	2.5
20～29歳 (n=118)	51.7		30.5	20.3	14.4	7.6	1.7	0.0
30～39歳 (n=187)	54.5		42.8	8.0	5.9	7.5	2.7	1.6
40～49歳 (n=247)	28.7		19.4	7.3	13.0	9.7	1.2	0.0
50～59歳 (n=244)	17.2		12.7	8.2	11.1	12.3	0.4	2.0
60～64歳 (n=143)	23.8		14.0	1.4	7.7	11.9	0.0	5.6
65～69歳 (n=177)	23.7		6.8	3.4	7.3	18.6	1.1	1.7
70～74歳 (n=176)	10.8		5.1	6.8	17.0	19.3	0.6	1.7
	75歳以上 (n=257)	10.9	6.6	5.4	8.6	22.6	1.6	6.2

注) 項目は調査順に整列。

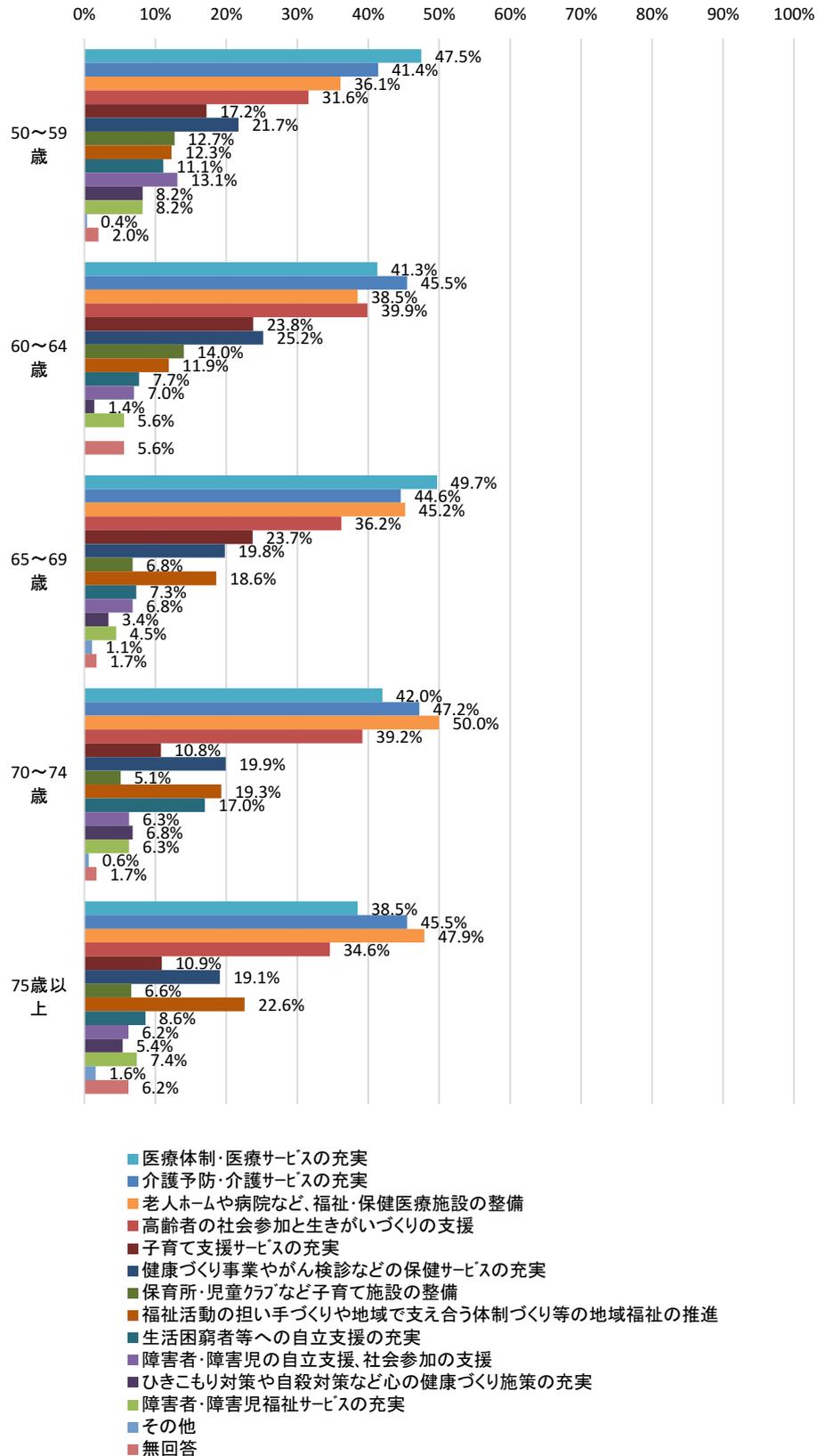
図表III-277 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



- 医療体制・医療サービスの充実
- 介護予防・介護サービスの充実
- 老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備
- 高齢者の社会参加と生きがいづくりの支援
- 子育て支援サービスの充実
- 健康づくり事業やがん検診などの保健サービスの充実
- 保育所・児童クラブなど子育て施設の整備
- 福祉活動の担い手づくりや地域で支え合う体制づくり等の地域福祉の推進
- 生活困窮者等への自立支援の充実
- 障害者・障害児の自立支援、社会参加の支援
- ひきこもり対策や自殺対策など心の健康づくり施策の充実
- 障害者・障害児福祉サービスの充実
- その他
- 無回答

注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-278 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地域別福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと

- 福祉・保健・医療において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、居住地区別に見ると、緑区で「医療体制・医療サービスの充実」が45.6%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域すべてにおいて、「医療体制・医療サービスの充実」が最も高くなっている。
- いずれの居住区、地域において、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-279 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと(居住地区別、数値は%) (M・A・S・A)

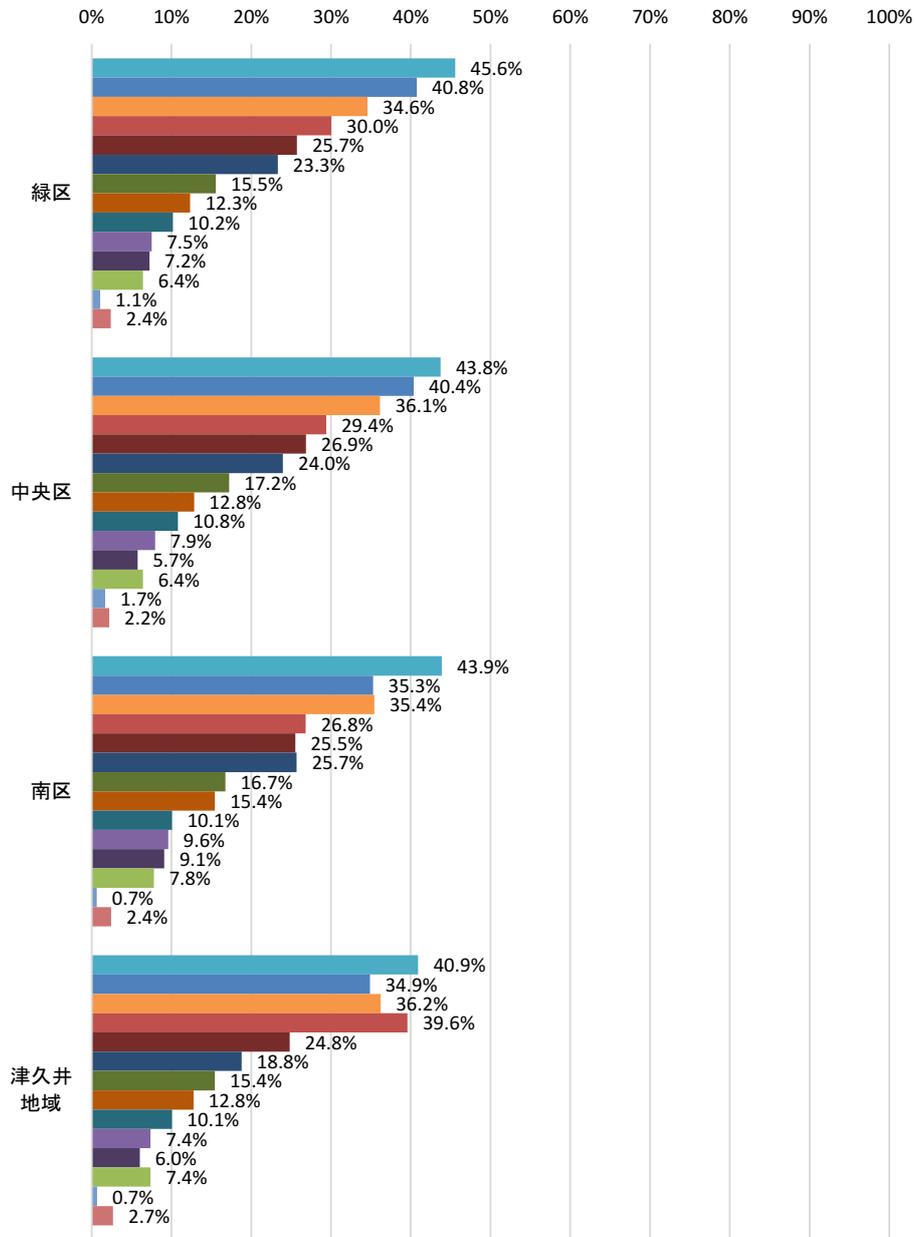
		Q11① 今後、特に力を入れてほしいこと(福祉・保健・医療)						
		介護予防・ 介護サービスの 充実	高齢者の 社会参加 と生きが いづくりの 支援	障害者・障 害児福祉 サービスの 充実	障害者・障 害児の自 立支援、社 会参加の 支援	医療体制・ 医療サービ スの充実	老人ホーム や病院な ど、福祉・ 保健医療 施設の整 備	健康づくり 事業やがん 検診など の保健 サービスの 充実
F8 居住地域	緑区 (n=373)	40.8	30.0	6.4	7.5	45.6	34.6	23.3
	中央区 (n=592)	40.4	29.4	6.4	7.9	43.8	36.1	24.0
	南区 (n=615)	35.3	26.8	7.8	9.6	43.9	35.4	25.7
	津久井地域 (n=149)	34.9	39.6	7.4	7.4	40.9	36.2	18.8

		子育て支 援サービスの 充実	保育所・児 童クラブな ど子育て 施設の整 備	ひきこもり 対策や自 殺対策な ど心の健 康づくり施 策の充実	生活困窮 者等への 自立支援 の充実	福祉活動 の担い手 づくりや地 域で支え 合う体制 づくり等 の地域福祉 の推進	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	25.7	15.5	7.2	10.2	12.3	1.1	2.4
	中央区 (n=592)	26.9	17.2	5.7	10.8	12.8	1.7	2.2
	南区 (n=615)	25.5	16.7	9.1	10.1	15.4	0.7	2.4
	津久井地域 (n=149)	24.8	15.4	6.0	10.1	12.8	0.7	2.7

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-280 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



- 医療体制・医療サービスの充実
- 介護予防・介護サービスの充実
- 老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備
- 高齢者の社会参加と生きがいづくりの支援
- 子育て支援サービスの充実
- 健康づくり事業やがん検診などの保健サービスの充実
- 保育所・児童クラブなど子育て施設の整備
- 福祉活動の担い手づくりや地域で支え合う体制づくり等の地域福祉の推進
- 生活困窮者等への自立支援の充実
- 障害者・障害児の自立支援、社会参加の支援
- ひきこもり対策や自殺対策などの健康づくり施策の充実
- 障害者・障害児福祉サービスの充実
- その他
- 無回答

注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

③ 職業別福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと

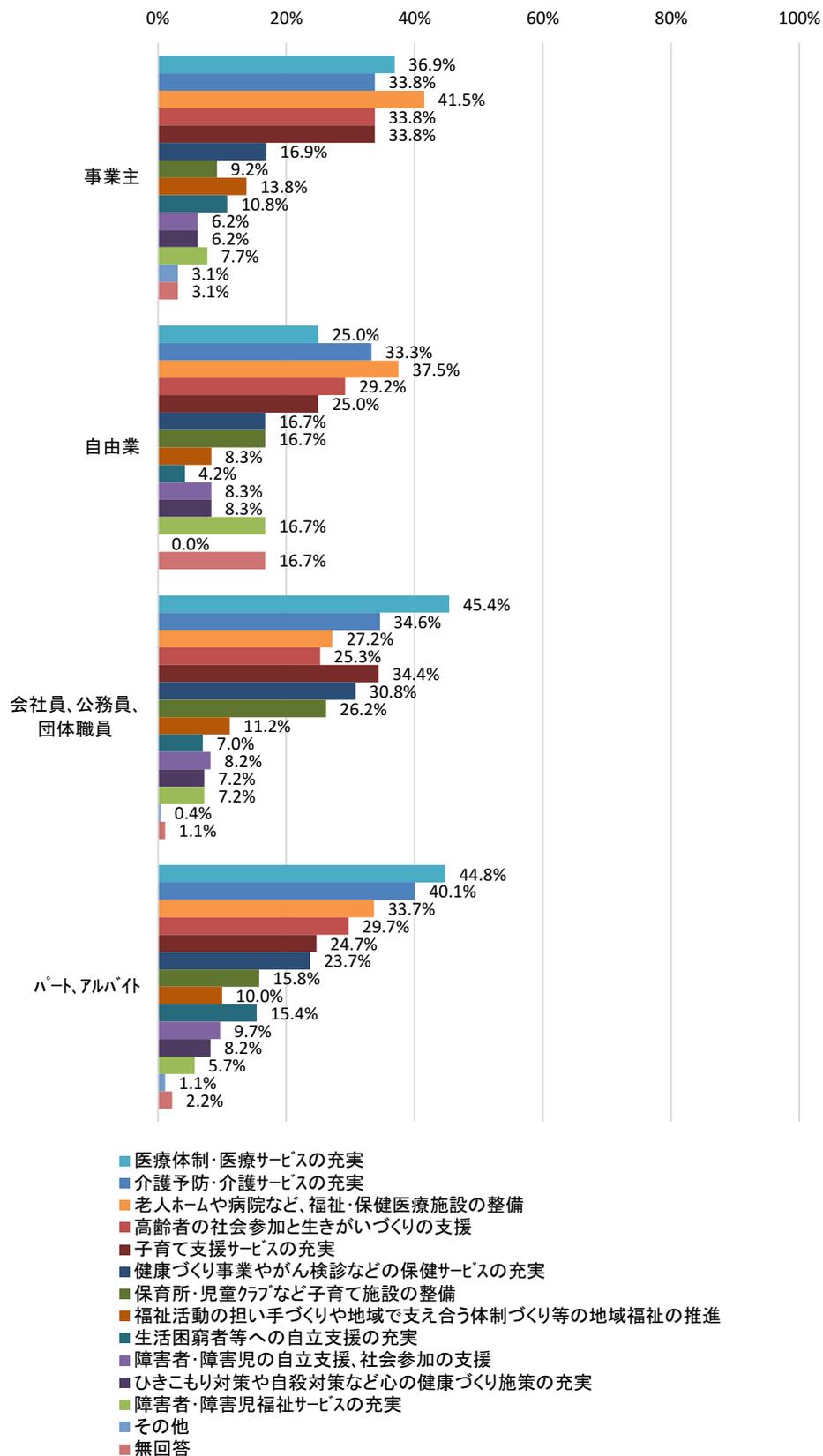
- 福祉・保健・医療において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、職業別に見ると、学生で「医療体制・医療サービスの充実」が50.8%と最も高くなっている。
- 事業主、自由業、専業主婦・主夫では、「老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備」が最も高くなっている。
- 会社員、公務員、団体職員、パート、アルバイト、学生、無職では、「医療体制・医療サービスの充実」が最も高くなっている。
- 学生においては、「子育て支援サービスの充実」や「ひきこもり対策や自殺対策など心の健康づくり施策の充実」が他の職業と比較して高くなっている。

図表III-281 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（職業別、数値は%）（MA・SA）

		Q11① 今後、特に力を入れてほしいこと福祉・保健・医療						
		介護予防・介護サービスの充実	高齢者の社会参加と生きがいづくりの支援	障害者・障害児福祉サービスの充実	障害者・障害児の自立支援、社会参加の支援	医療体制・医療サービスの充実	老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備	健康づくり事業やがん検診などの保健サービスの充実
F4 職業	事業主 (n=65)	33.8	33.8	7.7	6.2	36.9	41.5	16.9
	自由業 (n=24)	33.3	29.2	16.7	8.3	25.0	37.5	16.7
	会社員、公務員、団体職員 (n=474)	34.6	25.3	7.2	8.2	45.4	27.2	30.8
	パート、アルバイト (n=279)	40.1	29.7	5.7	9.7	44.8	33.7	23.7
	専業主婦・主夫 (n=306)	43.8	28.8	2.6	7.5	44.1	46.7	21.6
	学生 (n=61)	16.4	8.2	6.6	6.6	50.8	18.0	19.7
	無職 (n=331)	44.4	33.8	10.6	7.6	45.0	39.6	23.0
	その他 (n=46)	28.3	39.1	8.7	17.4	32.6	39.1	17.4
		子育て支援サービスの充実	保育所・児童クラブなど子育て施設の整備	ひきこもり対策や自殺対策など心の健康づくり施策の充実	生活困窮者等への自立支援の充実	福祉活動の担い手づくりや地域で支え合う体制づくり等の地域福祉の推進	その他	無回答
F4 職業	事業主 (n=65)	33.8	9.2	6.2	10.8	13.8	3.1	3.1
	自由業 (n=24)	25.0	16.7	8.3	4.2	8.3	0.0	16.7
	会社員、公務員、団体職員 (n=474)	34.4	26.2	7.2	7.0	11.2	0.4	1.1
	パート、アルバイト (n=279)	24.7	15.8	8.2	15.4	10.0	1.1	2.2
	専業主婦・主夫 (n=306)	23.5	13.4	4.2	7.8	16.7	1.6	2.6
	学生 (n=61)	41.0	24.6	29.5	11.5	6.6	1.6	0.0
	無職 (n=331)	14.8	7.3	6.6	12.4	18.4	1.5	2.7
	その他 (n=46)	19.6	13.0	4.3	17.4	17.4	2.2	6.5

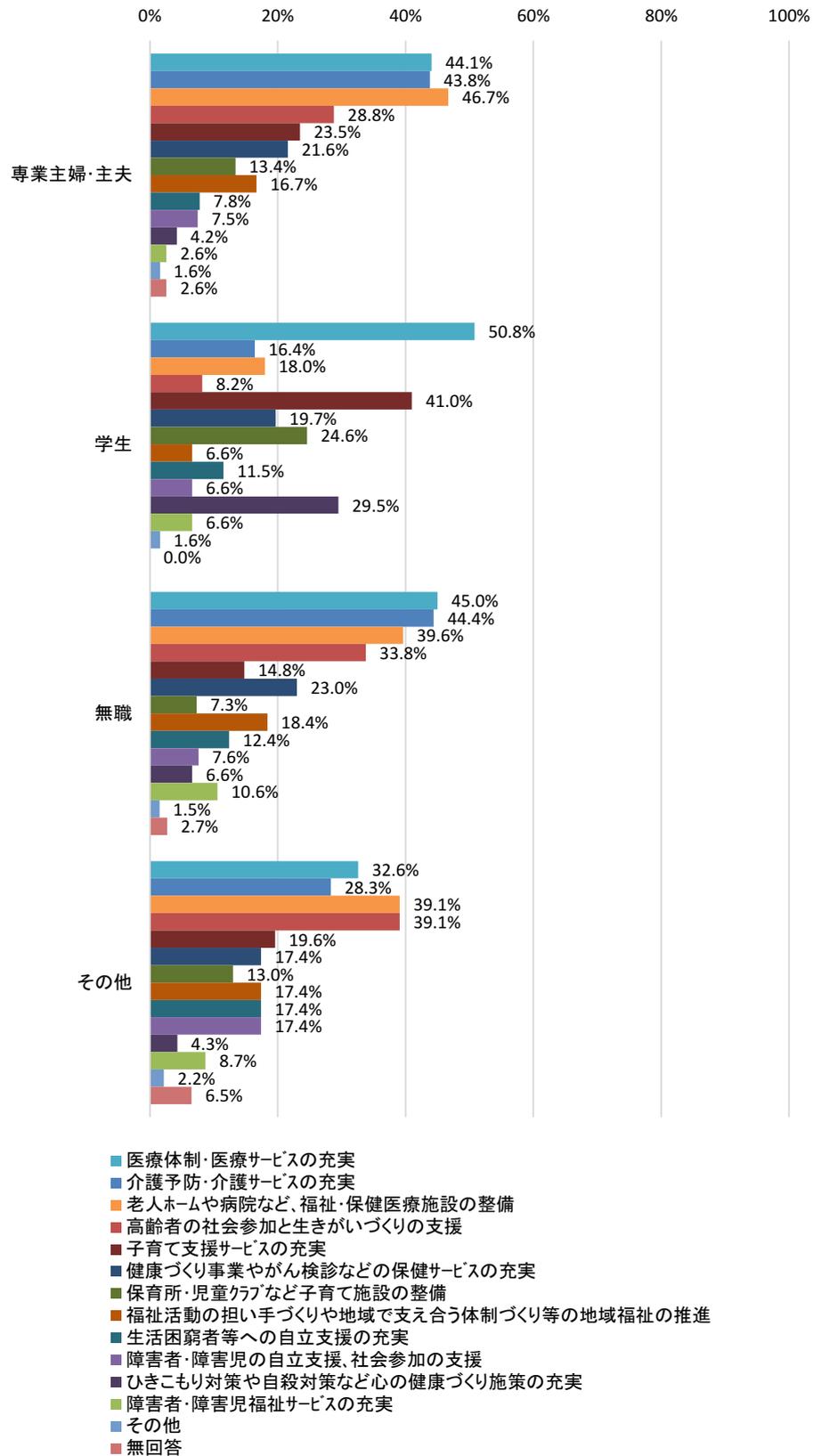
注) 項目は調査順に整列。

図表III-282 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（職業別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-283 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（職業別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

④ 同居家族別福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと

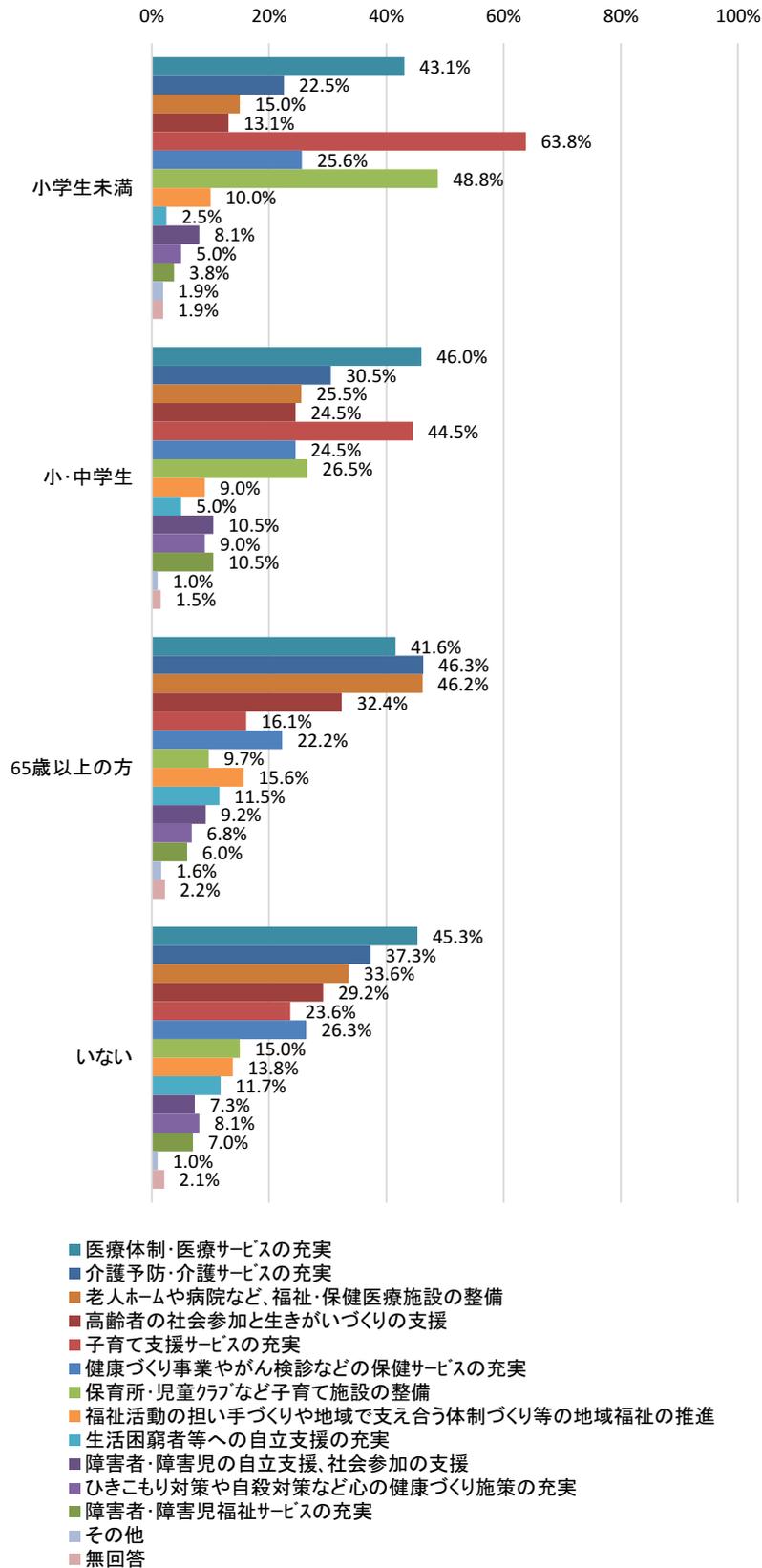
- 福祉・保健・医療において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、同居家族別に見ると、小学生未満と同居で「子育て支援サービスの充実」が63.8%と最も高くなっている。
- 小・中学生と同居で、「医療体制・医療サービスの充実」が最も高くなっている。
- 65歳以上の方と同居で、「介護予防・介護サービスの充実」が最も高くなっている。
- 以上の通り、同居者の属性によって、求める施策に傾向が見られる。

図表III-284 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと(同居家族別、数値は%) (M A・M A)

		Q11① 今後、特に力を入れてほしいこと(福祉・保健・医療)							
		介護予防・ 介護サービス の充実	高齢者の 社会参加 と生きが いつくりの 支援	障害者・障 害児福祉 サービスの 充実	障害者・障 害児の自 立支援、社 会参加の 支援	医療体制・ 医療サービ スの充実	老人ホーム や病院な ど、福祉・ 保健医療 施設の整 備	健康づくり 事業やが ん検診な どの保健 サービスの 充実	
F6 同居家族 _子ども・65歳 以上	小学生未満 (n=160)	22.5	13.1	3.8	8.1	43.1	15.0	25.6	
	小・中学生 (n=200)	30.5	24.5	10.5	10.5	46.0	25.5	24.5	
	65歳以上の方 (n=546)	46.3	32.4	6.0	9.2	41.6	46.2	22.2	
	いない (n=715)	37.3	29.2	7.0	7.3	45.3	33.6	26.3	
		子育て支 援サービ スの充実	保育所・児 童クラブな ど子育て 施設の整 備	ひきこもり 対策や自 殺対策な ど心の健 康づくり施 策の充実	生活困窮 者等への 自立支援 の充実	福祉活動 の担い手 づくりや地 域で支え 合う体制 づくり等の 地域福祉 の推進	その他	無回答	
F6 同居家族 _子ども・65歳 以上	小学生未満 (n=160)	63.8	48.8	5.0	2.5	10.0	1.9	1.9	
	小・中学生 (n=200)	44.5	26.5	9.0	5.0	9.0	1.0	1.5	
	65歳以上の方 (n=546)	16.1	9.7	6.8	11.5	15.6	1.6	2.2	
	いない (n=715)	23.6	15.0	8.1	11.7	13.8	1.0	2.1	

注) 項目は調査順に整列。

図表III-285 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（同居家族別）（MA・MA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

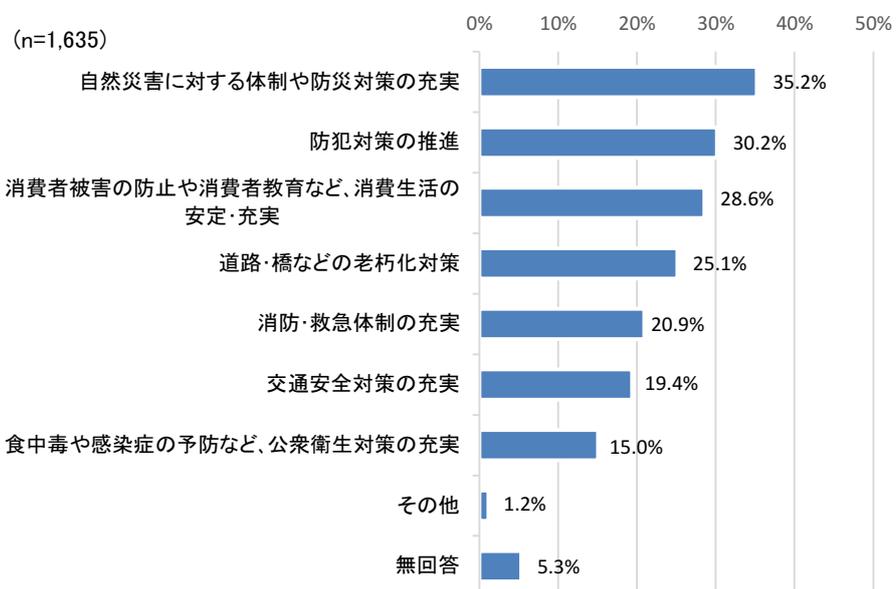
2-12. 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいと思うこと

【②生活の安全・安心】

次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

- 生活の安全・安心において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「自然災害に対する体制や防災対策の充実」が35.2%で最も高く、次いで、「防犯対策の推進」が30.2%、「消費者被害の防止や消費者教育など、消費生活の安定・充実」が28.6%となっている。

図表III-286 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと (MA)



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・ 道路整備
- ・ 公共マナーの推進
- ・ 防犯カメラの設置 等

(1) 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢階層別生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと

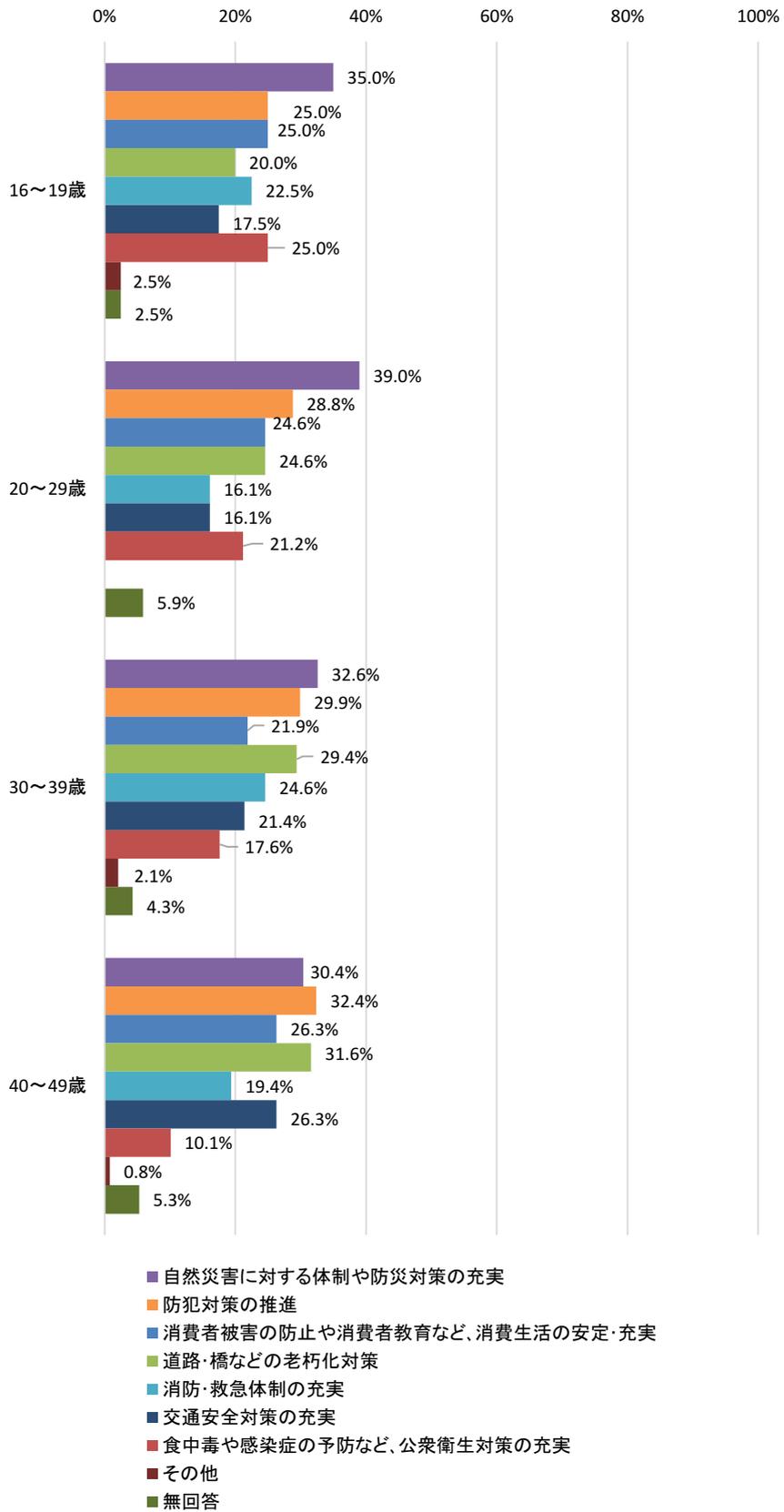
- 生活の安全・安心において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、年齢階層別に見ると、65～69歳で「自然災害に対する体制や防災対策の充実」が40.7%と最も高くなっている。
- ほとんどの年齢階層で、「自然災害に対する体制や防災対策の充実」が最も高くなっているが、40～49歳では「防犯対策の推進」、75歳以上では「消費者被害の防止や消費者教育など、消費生活の安定・充実」が最も高くなっている。
- 年齢階層による顕著な傾向の差は見られない。

図表III-287 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと(年齢階層別、数値は%) (M・A・S・A)

		Q11② 今後、特に力を入れてほしいこと:生活の安全・安心								
		消費者被害の防止や消費者教育など、消費生活の安定・充実	食中毒や感染症の予防など、公衆衛生対策の充実	道路・橋などの老朽化対策	自然災害に対する体制や防災対策の充実	消防・救急体制の充実	防犯対策の推進	交通安全対策の充実	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	25.0	25.0	20.0	35.0	22.5	25.0	17.5	2.5	2.5
	20～29歳 (n=118)	24.6	21.2	24.6	39.0	16.1	28.8	16.1	0.0	5.9
	30～39歳 (n=187)	21.9	17.6	29.4	32.6	24.6	29.9	21.4	2.1	4.3
	40～49歳 (n=247)	26.3	10.1	31.6	30.4	19.4	32.4	26.3	0.8	5.3
	50～59歳 (n=244)	22.1	11.5	28.3	40.6	18.9	34.4	21.3	0.4	2.9
	60～64歳 (n=143)	32.2	11.9	23.8	35.7	23.1	32.9	21.0	0.0	4.2
	65～69歳 (n=177)	32.8	15.3	22.0	40.7	25.4	26.0	13.6	1.7	3.4
	70～74歳 (n=176)	33.0	10.8	20.5	39.8	22.2	31.8	15.9	1.1	5.7
	75歳以上 (n=257)	36.6	21.8	20.6	27.6	19.5	24.9	17.1	1.6	9.7

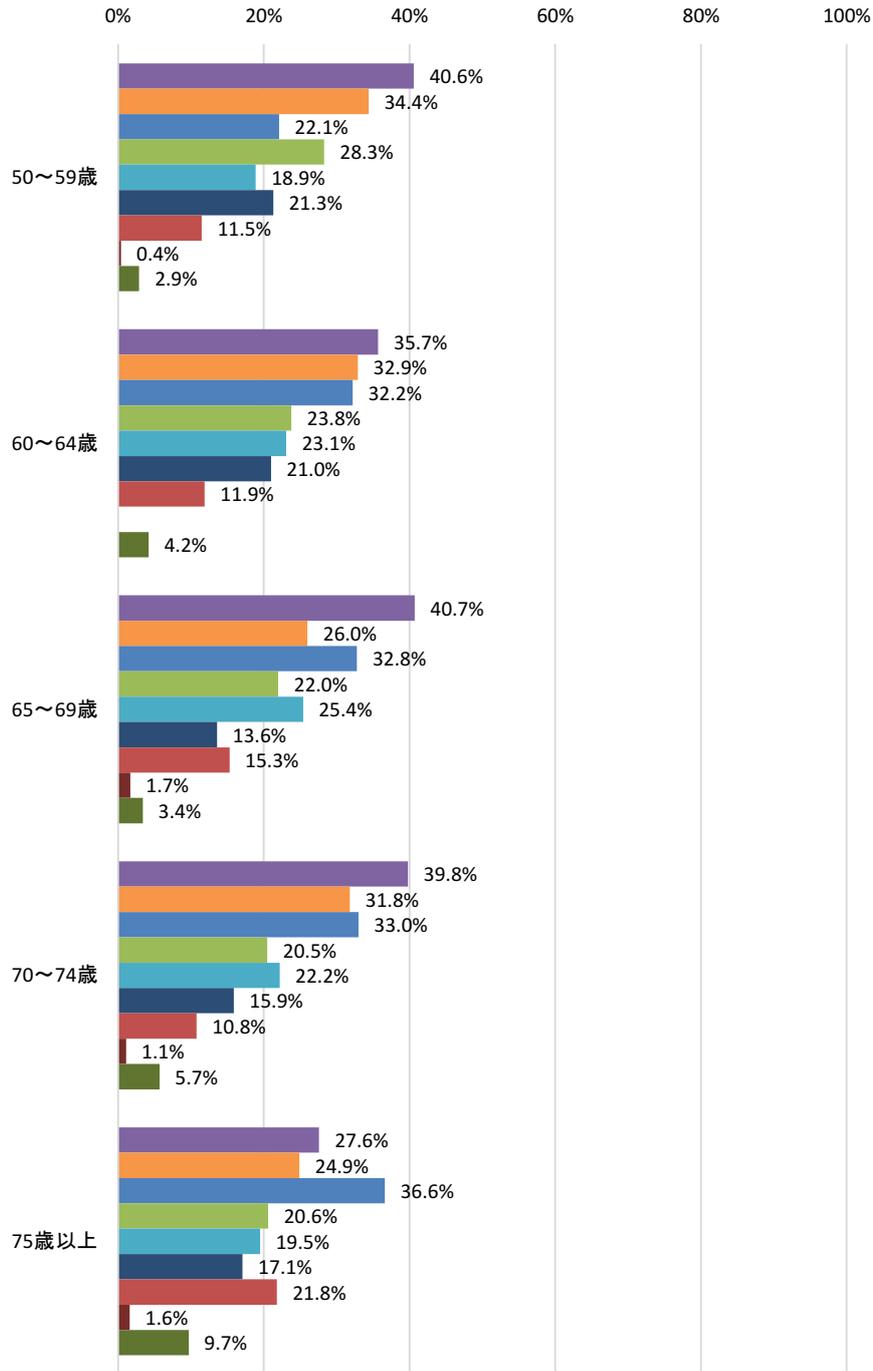
注) 項目は調査順に整列。

図表III-288 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-289 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



- 自然災害に対する体制や防災対策の充実
- 防犯対策の推進
- 消費者被害の防止や消費者教育など、消費生活の安定・充実
- 道路・橋などの老朽化対策
- 消防・救急体制の充実
- 交通安全対策の充実
- 食中毒や感染症の予防など、公衆衛生対策の充実
- その他
- 無回答

注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地域別生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと

- 生活の安全・安心において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、居住地区別に見ると、津久井地域で「自然災害に対する体制や防災対策の充実」が43.6%と最も高くなっている。
- また、緑区、中央区、南区、津久井地域全てで「自然災害に対する体制や防災対策の充実」が最も高くなっている。
- 緑区、津久井地域では、他区と比較して「道路・橋などの老朽化対策」が高くなっている。

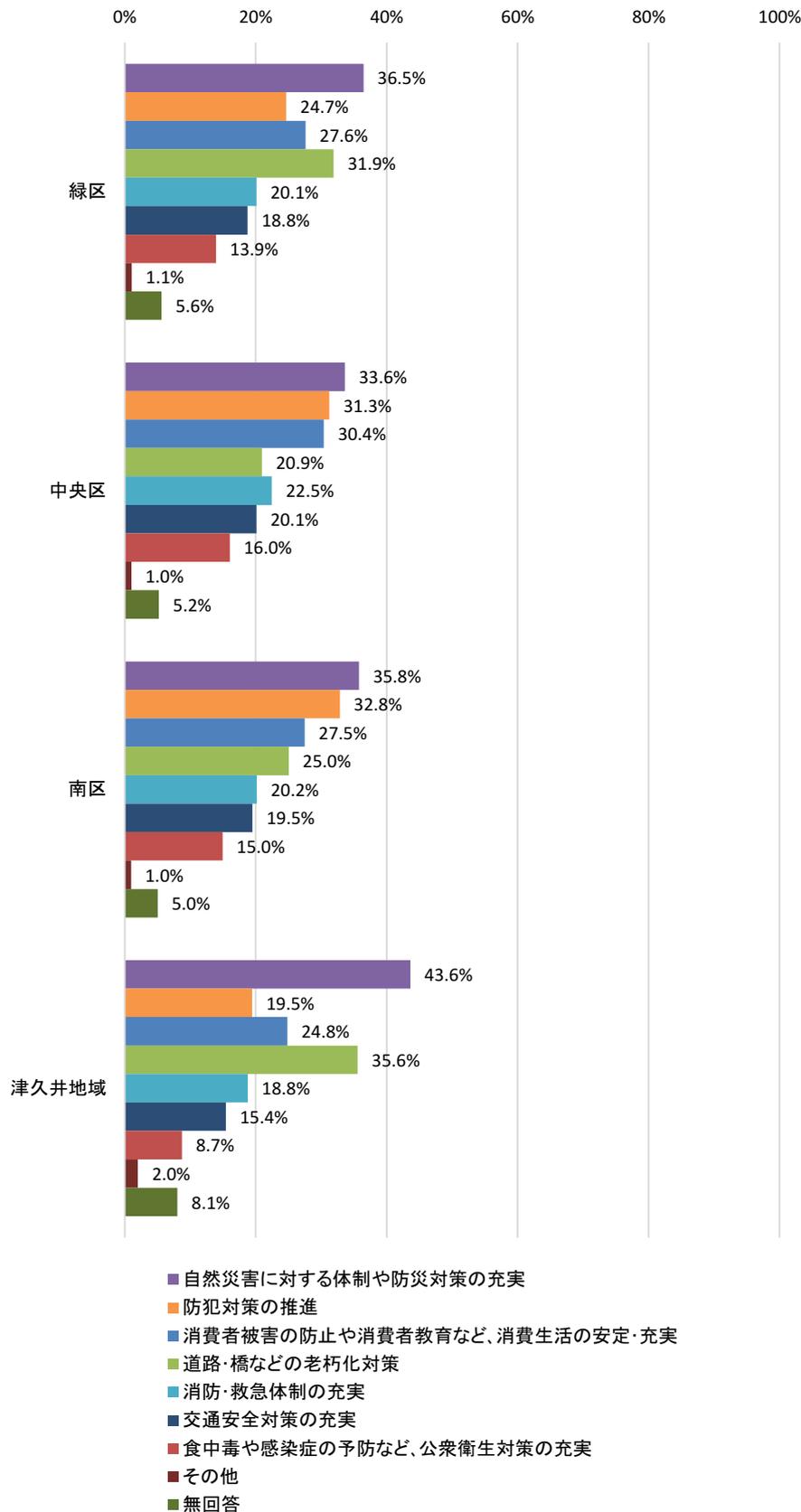
図表III-290 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと(居住地区別、数値は%)(M A・S A)

		Q11② 今後、特に力を入れてほしいこと:生活の安全・安心								
		消費者被害の防止や消費者教育など、消費生活の安定・充実	食中毒や感染症の予防など、公衆衛生対策の充実	道路・橋などの老朽化対策	自然災害に対する体制や防災対策の充実	消防・救急体制の充実	防犯対策の推進	交通安全対策の充実	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	27.6	13.9	31.9	36.5	20.1	24.7	18.8	1.1	5.6
	中央区 (n=592)	30.4	16.0	20.9	33.6	22.5	31.3	20.1	1.0	5.2
	南区 (n=615)	27.5	15.0	25.0	35.8	20.2	32.8	19.5	1.0	5.0
	津久井地域 (n=149)	24.8	8.7	35.6	43.6	18.8	19.5	15.4	2.0	8.1

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-291 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

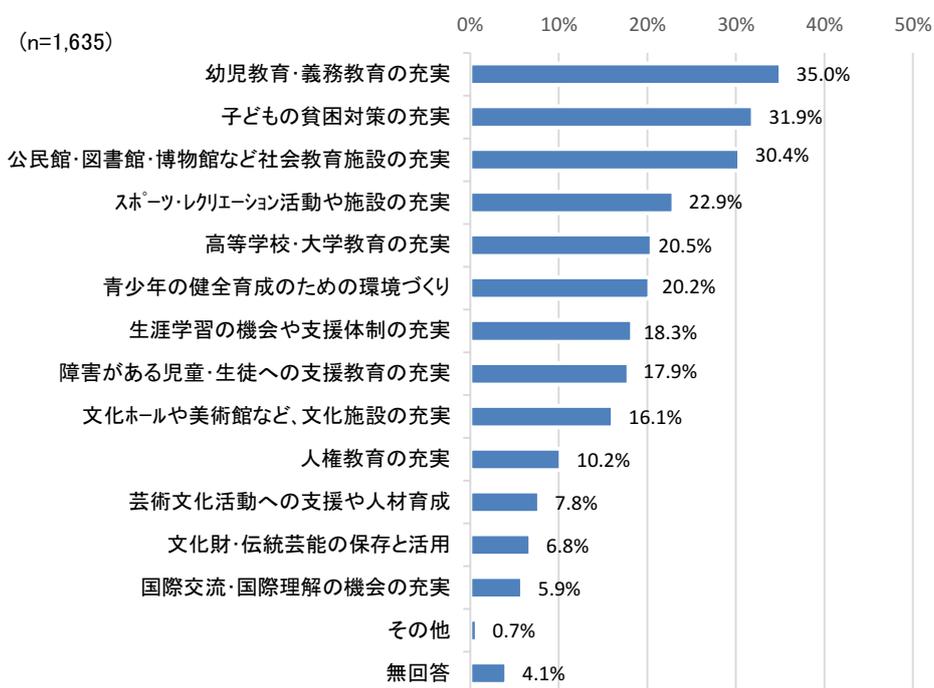
2-13. 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいと思うこと

【③教育・文化・スポーツ】

次の中から3つ以内でお選びください。(○は3つまで)

- 教育・文化・スポーツにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「幼児教育・義務教育の充実」が35.0%で最も高く、次いで、「子どもの貧困対策の充実」が31.9%、「公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実」が30.4%となっている。

図表III-292 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと (MA)



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・ 学校の安全対策
- ・ 未就学児や乳児を連れていける施設
- ・ こどものための公民館づくり 等

(1) 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢階層別教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと

- 教育・文化・スポーツにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、年齢階層別に見ると、30～39歳で「幼児教育・義務教育の充実」が56.7%と最も高くなっている。
- 16～19歳では、「高等学校・大学教育の充実」が最も高くなっている。
- 20～29歳、30～39歳、40～49歳では、「幼児教育・義務教育の充実」が最も高くなっている。
- 50～59歳では、「公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実」が最も高くなっている。
- 60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上では、「子どもの貧困対策の充実」が最も高くなっている。
- 年齢階層が若いほど、「幼児教育・義務教育の充実」や「高等学校・大学教育の充実」といった学校機関に対する施策に関する施策の割合が高く、年齢階層が高いほど、「子どもの貧困対策の充実」といった施策の割合が高いといった傾向が見られる。

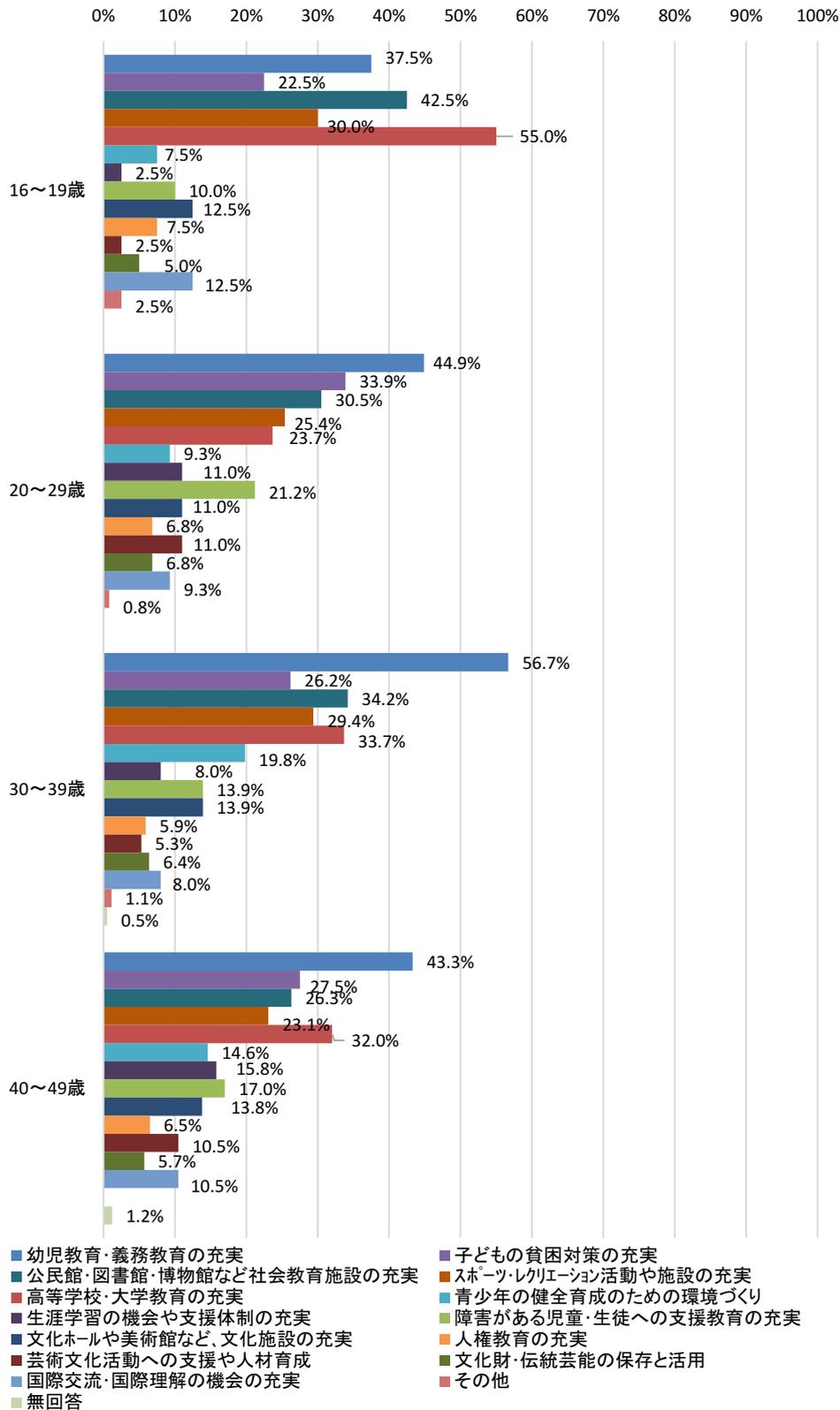
図表III-293 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別、数値は%）(M・A・S・A)

		Q11③ 今後、特に力を入れてほしいこと教育・文化・スポーツ							
		幼児教育・義務教育の充実	高等学校・大学教育の充実	障害がある児童・生徒への支援教育の充実	子どもの貧困対策の充実	青少年の健全育成のための環境づくり	人権教育の充実	文化ホールや美術館など、文化施設の充実	芸術文化活動への支援や人材育成
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	37.5	55.0	10.0	22.5	7.5	7.5	12.5	2.5
	20～29歳 (n=118)	44.9	23.7	21.2	33.9	9.3	6.8	11.0	11.0
	30～39歳 (n=187)	56.7	33.7	13.9	26.2	19.8	5.9	13.9	5.3
	40～49歳 (n=247)	43.3	32.0	17.0	27.5	14.6	6.5	13.8	10.5
	50～59歳 (n=244)	23.8	17.2	18.9	34.0	17.6	8.2	20.1	5.7
	60～64歳 (n=143)	33.6	13.3	16.1	35.7	21.0	7.7	19.6	7.0
	65～69歳 (n=177)	33.9	13.0	15.3	40.7	25.4	12.4	16.4	10.2
	70～74歳 (n=176)	25.6	10.8	21.0	30.1	25.6	19.9	22.2	5.1
75歳以上 (n=257)	26.8	13.2	21.8	33.1	25.7	13.6	13.2	8.6	

		文化財・伝統芸能の保存と活用	生涯学習の機会や支援体制の充実	公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実	スポーツ・レクリエーション活動や施設の充実	国際交流・国際理解の機会の充実	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	2.5	42.5	30.0	12.5	2.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	6.8	11.0	30.5	25.4	9.3	0.8	0.0
	30～39歳 (n=187)	6.4	8.0	34.2	29.4	8.0	1.1	0.5
	40～49歳 (n=247)	5.7	15.8	26.3	23.1	10.5	0.0	1.2
	50～59歳 (n=244)	7.4	23.0	36.9	24.2	3.7	1.6	2.0
	60～64歳 (n=143)	7.0	28.0	30.1	25.2	5.6	0.0	2.1
	65～69歳 (n=177)	9.0	20.3	22.6	22.6	4.0	0.6	5.6
	70～74歳 (n=176)	6.3	25.6	26.1	23.9	3.4	0.0	6.8
75歳以上 (n=257)	7.0	18.3	31.9	13.6	3.1	0.8	11.7	

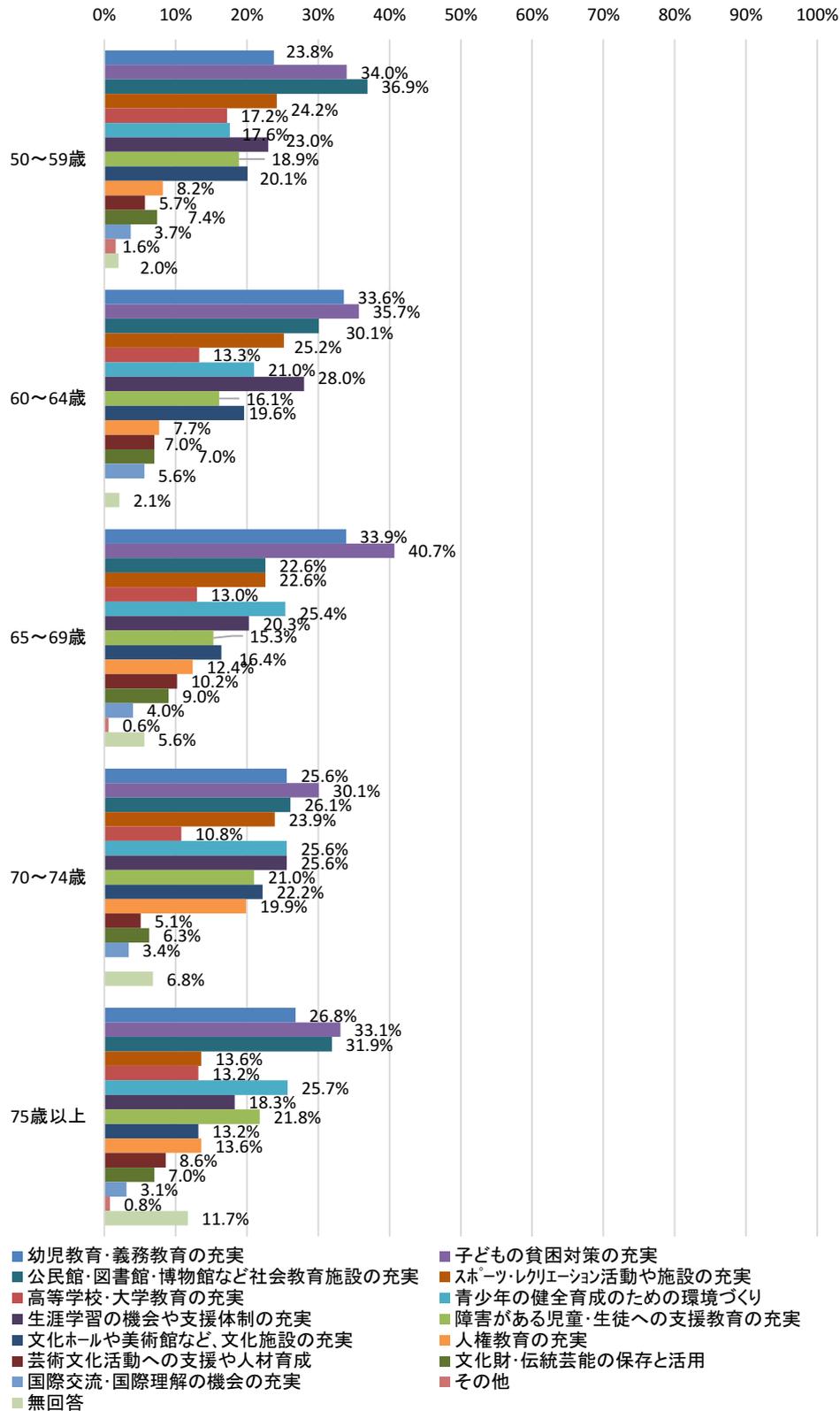
注) 項目は調査順に整列。

図表III-294 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整理

図表III-295 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地区別教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと

- 教育・文化・スポーツにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、居住地区別に見ると、中央区で「幼児教育・義務教育の充実」が38.3%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区では、「幼児教育・義務教育の充実」が最も高くなっている。
- 津久井地域では、「公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実」が最も高くなっている。
- 居住区、地域において、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-296 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと(居住地区別、数値は%)(M・A・S・A)

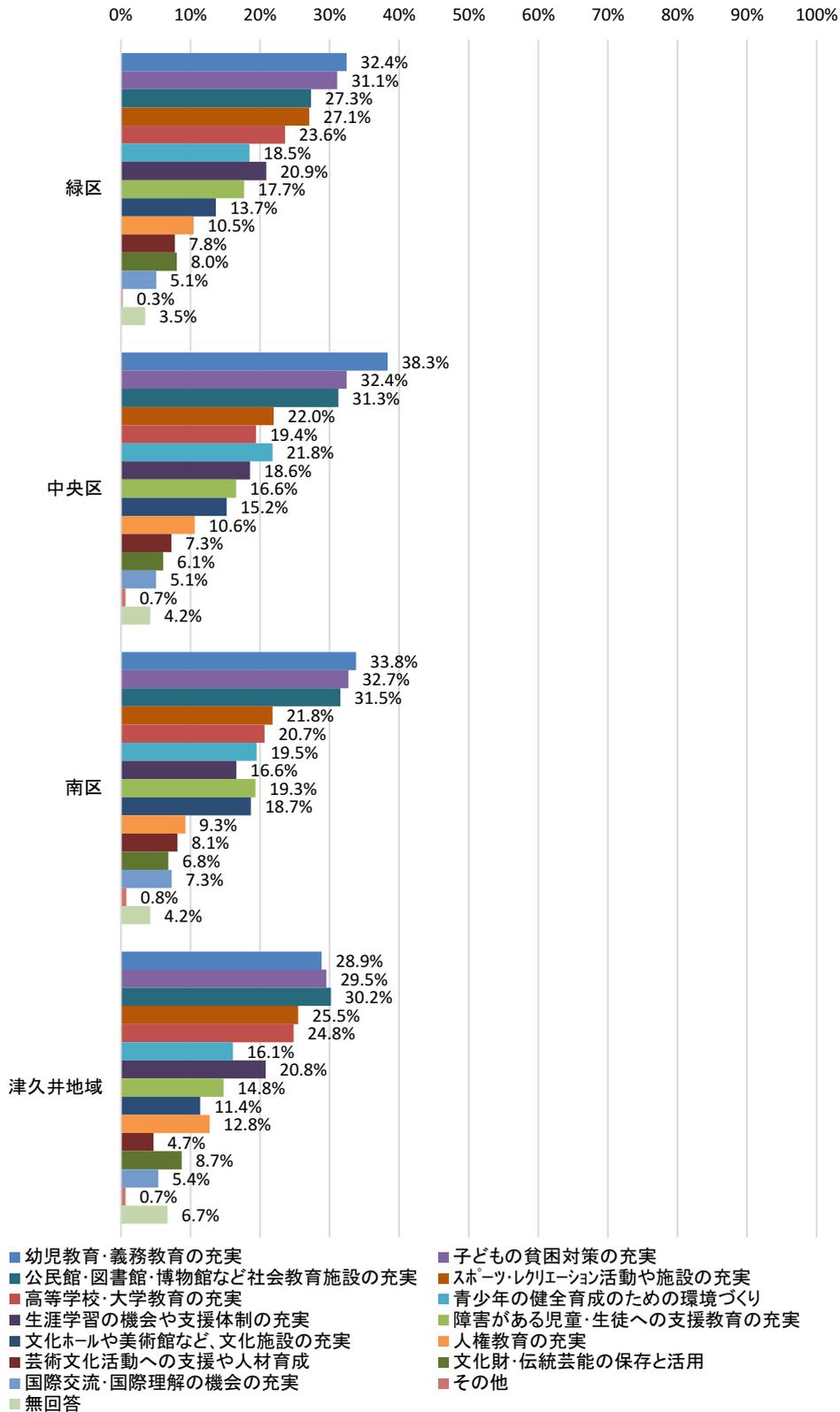
		Q11③ 今後、特に力を入れてほしいこと教育・文化・スポーツ							
		幼児教育・義務教育の充実	高等学校・大学教育の充実	障害がある児童・生徒への支援教育の充実	子どもの貧困対策の充実	青少年の健全育成のための環境づくり	人権教育の充実	文化ホールや美術館など、文化施設の充実	芸術文化活動への支援や人材育成
F8 居住地域	緑区 (n=373)	32.4	23.6	17.7	31.1	18.5	10.5	13.7	7.8
	中央区 (n=592)	38.3	19.4	16.6	32.4	21.8	10.6	15.2	7.3
	南区 (n=615)	33.8	20.7	19.3	32.7	19.5	9.3	18.7	8.1
	津久井地域 (n=149)	28.9	24.8	14.8	29.5	16.1	12.8	11.4	4.7

		文化財・伝統芸能の保存と活用	生涯学習の機会や支援体制の充実	公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実	スポーツ・レクリエーション活動や施設の充実	国際交流・国際理解の機会の充実	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	8.0	20.9	27.3	27.1	5.1	0.3	3.5
	中央区 (n=592)	6.1	18.6	31.3	22.0	5.1	0.7	4.2
	南区 (n=615)	6.8	16.6	31.5	21.8	7.3	0.8	4.2
	津久井地域 (n=149)	8.7	20.8	30.2	25.5	5.4	0.7	6.7

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-297 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整理

③ 職業別教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと

- 教育・文化・スポーツにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、職業別に見ると、学生で「高等学校・大学教育の充実」が47.5%と最も高くなっている。
- 事業主、会社員、公務員、団体職員、パート、アルバイトでは、「幼児教育・義務教育の充実」が最も高くなっている。
- 自由業、専業主婦・主夫では、「子どもの貧困対策の充実」が最も高くなっている。
- 無職では、「公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実」が最も高くなっている。

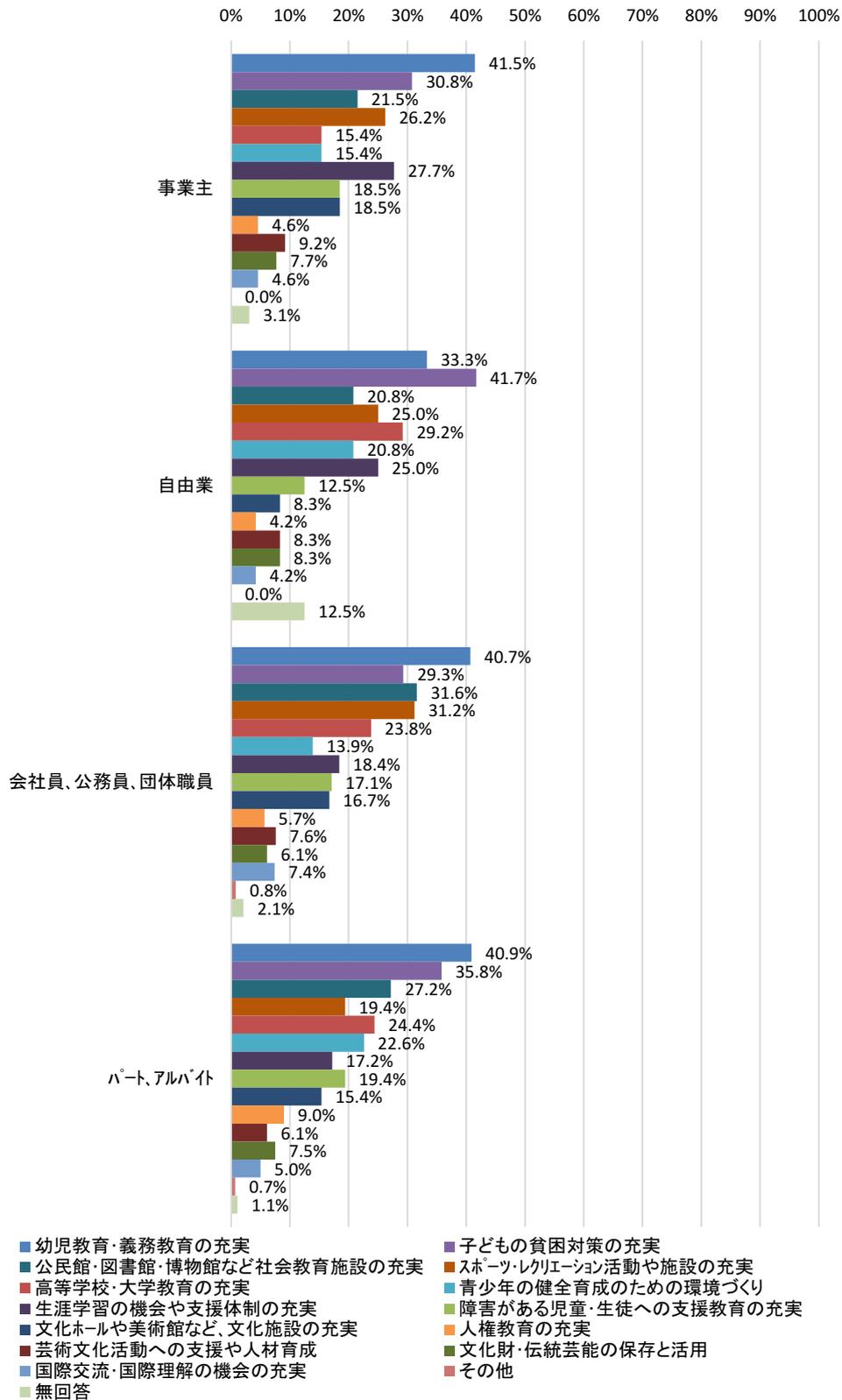
図表III-298 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと(職業別、数値は%) (MA・SA)

		Q11③ 今後、特に力を入れてほしいこと教育・文化・スポーツ								
		幼児教育・義務教育の充実	高等学校・大学教育の充実	障害がある児童・生徒への支援教育の充実	子どもの貧困対策の充実	青少年の健全育成のための環境づくり	人権教育の充実	文化ホールや美術館など、文化施設の充実	芸術文化活動への支援や人材育成	
F4 職業	事業主 (n=65)	41.5	15.4	18.5	30.8	15.4	4.6	18.5	9.2	
	自由業 (n=24)	33.3	29.2	12.5	41.7	20.8	4.2	8.3	8.3	
	会社員、公務員、団体職員 (n=474)	40.7	23.8	17.1	29.3	13.9	5.7	16.7	7.6	
	パート、アルバイト (n=279)	40.9	24.4	19.4	35.8	22.6	9.0	15.4	6.1	
	専業主婦・主夫 (n=306)	31.7	19.3	16.0	34.3	25.2	14.4	17.3	5.2	
	学生 (n=61)	36.1	47.5	11.5	29.5	9.8	6.6	11.5	4.9	
	無職 (n=331)	25.4	11.2	20.8	31.1	24.8	14.8	16.0	8.8	
	その他 (n=46)	30.4	15.2	19.6	30.4	17.4	15.2	21.7	28.3	

		文化財・伝統芸能の保存と活用	生涯学習の機会や支援体制の充実	公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実	スポーツ・レクリエーション活動や施設の充実	国際交流・国際理解の機会の充実	その他	無回答
F4 職業	事業主 (n=65)	7.7	27.7	21.5	26.2	4.6	0.0	3.1
	自由業 (n=24)	8.3	25.0	20.8	25.0	4.2	0.0	12.5
	会社員、公務員、団体職員 (n=474)	6.1	18.4	31.6	31.2	7.4	0.8	2.1
	パート、アルバイト (n=279)	7.5	17.2	27.2	19.4	5.0	0.7	1.1
	専業主婦・主夫 (n=306)	7.2	17.3	31.4	15.7	4.6	0.7	5.2
	学生 (n=61)	6.6	3.3	37.7	29.5	13.1	1.6	0.0
	無職 (n=331)	5.7	20.5	33.2	21.1	3.9	0.3	8.2
	その他 (n=46)	10.9	17.4	21.7	10.9	15.2	0.0	4.3

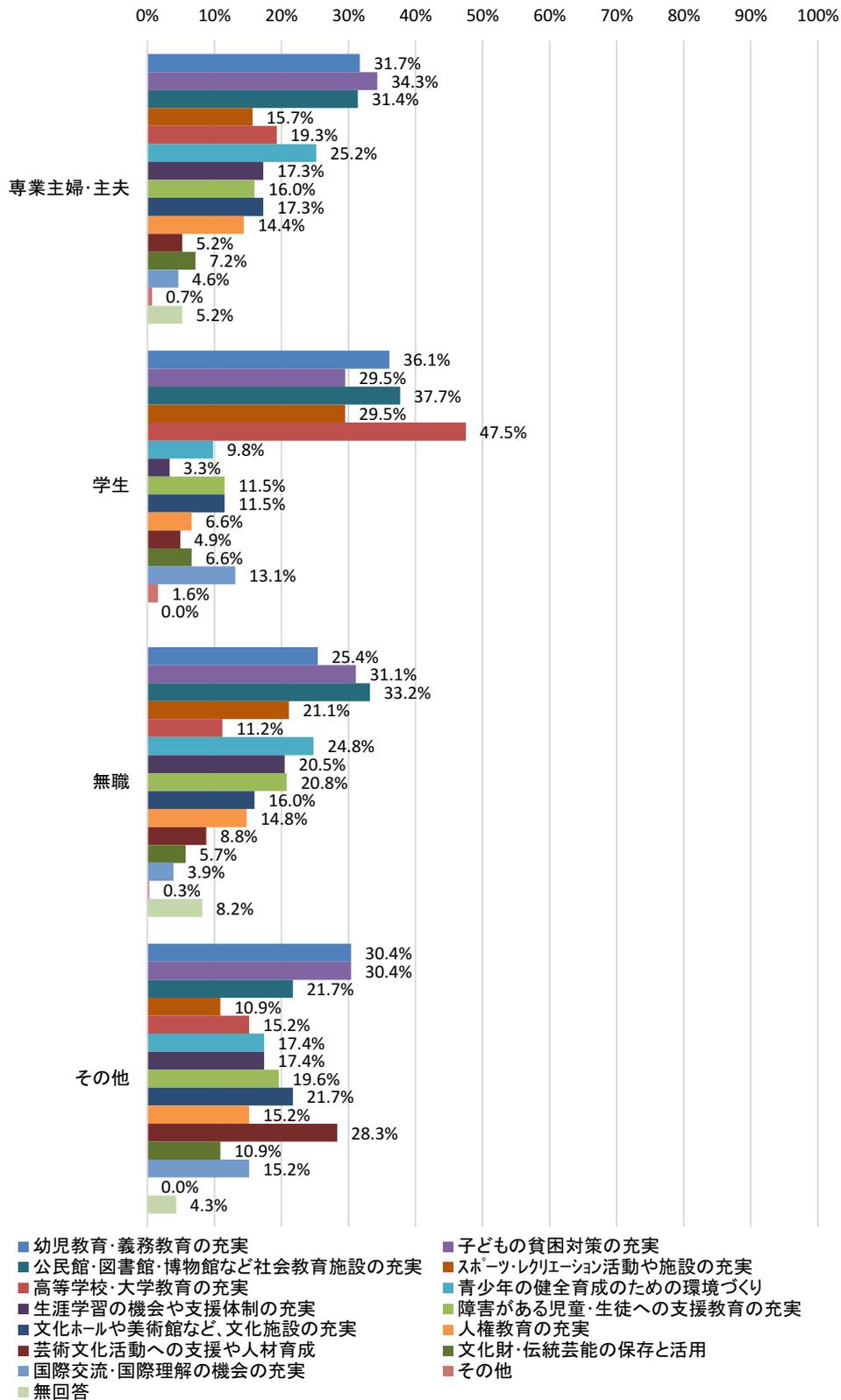
注) 項目は調査順に整列。

図表III-299 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと（職業別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整理

図表III-300 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと（職業別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整理

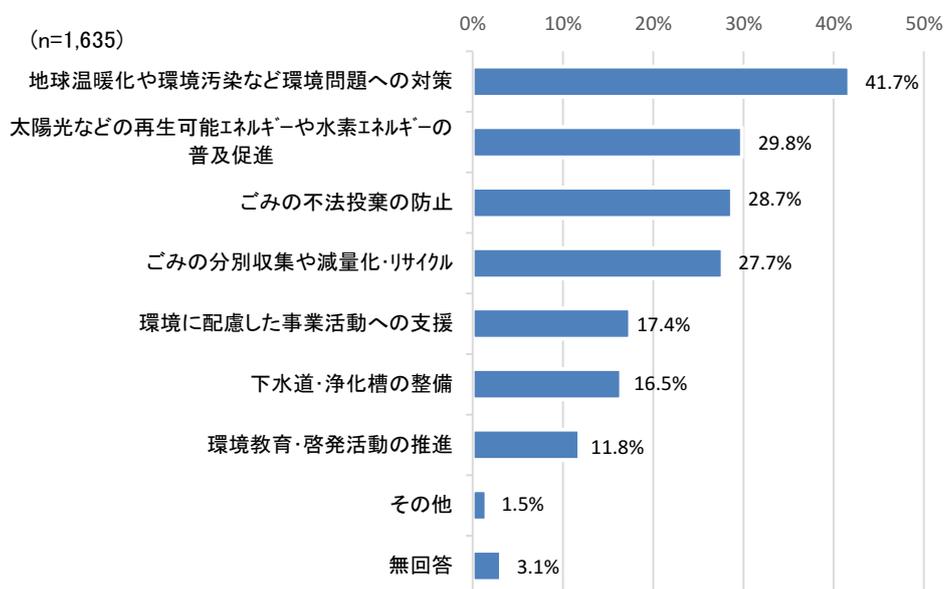
2-14. 環境において今後特に力を入れてほしいと思うこと

【④環境】

次の中から2つ以内でお選びください。(〇は2つまで)

- 環境において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策」が41.7%で最も高く、次いで、「太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進」が29.8%、「ごみの不法投棄の防止」が28.7%となっている。

図表III-301 環境において今後特に力を入れてほしいこと (MA)



注) 項目は数値の高い順に整列

■その他回答の主な意見

- ・ 上水道の老朽化対策
- ・ ごみの回収日の増加
- ・ ペットマナーの向上 等

(1) 環境において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢階層別環境において今後特に力を入れてほしいこと

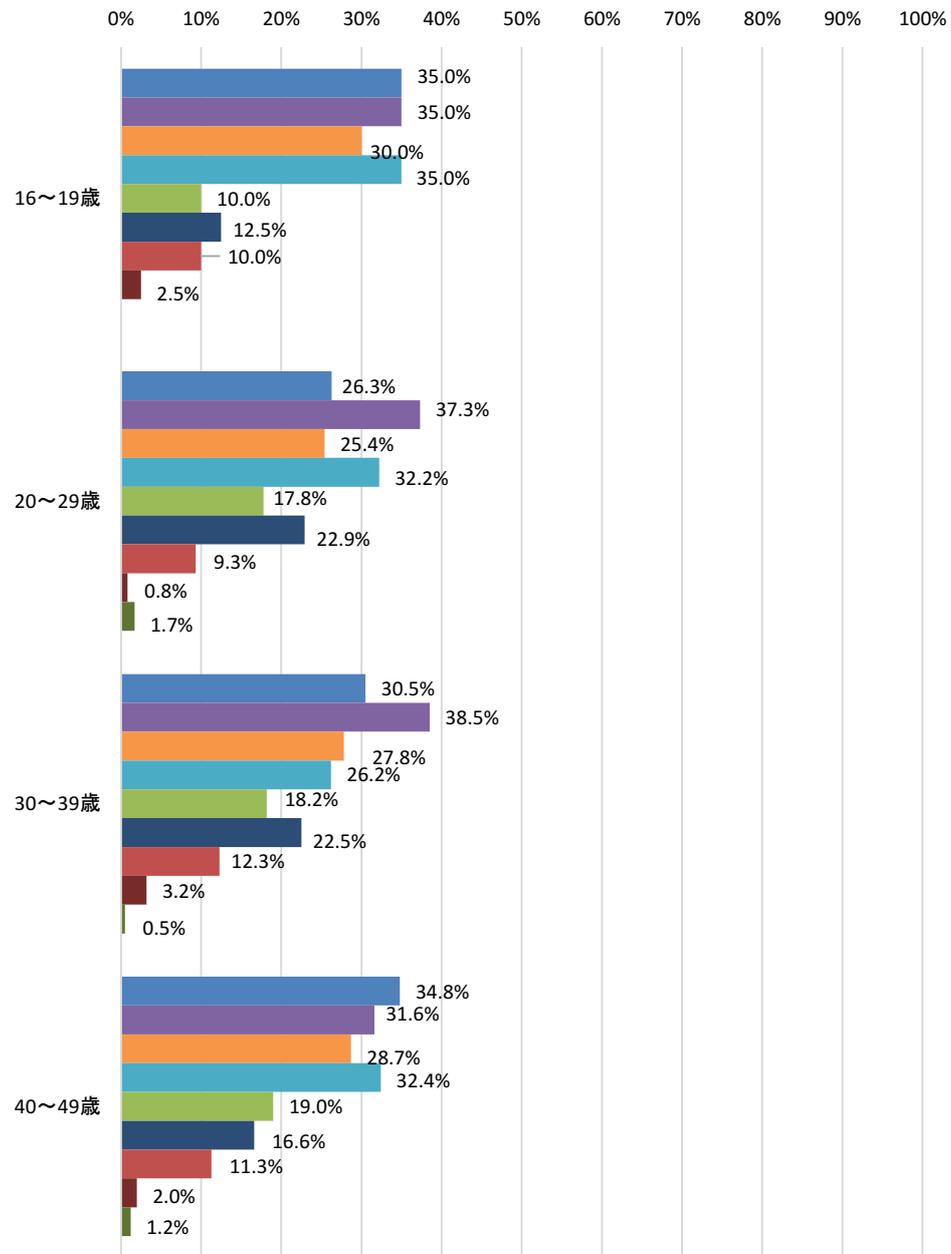
- 環境において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、年齢階層別に見ると、75歳以上で「地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策」が52.1%と最も高くなっている。
- 16～19歳では、「地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策」「太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進」「ごみの分別収集や減量化・リサイクル」が最も高くなっている。
- 20～29歳、30～39歳では、「太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進」が最も高くなっている。
- 40～49歳、50～59歳、60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上では、「地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策」が最も高くなっている。
- 年齢階層において、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-302 環境において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

		Q11④ 今後、特に力を入れてほしいこと環境								
		地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策	環境教育・啓発活動の推進	環境に配慮した事業活動への支援	太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進	ごみの分別収集や減量化・リサイクル	ごみの不法投棄の防止	下水道・浄化槽の整備	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	35.0	10.0	10.0	35.0	35.0	30.0	12.5	2.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	26.3	9.3	17.8	37.3	32.2	25.4	22.9	0.8	1.7
	30～39歳 (n=187)	30.5	12.3	18.2	38.5	26.2	27.8	22.5	3.2	0.5
	40～49歳 (n=247)	34.8	11.3	19.0	31.6	32.4	28.7	16.6	2.0	1.2
	50～59歳 (n=244)	43.0	11.5	13.9	29.1	28.3	31.6	18.9	1.2	1.2
	60～64歳 (n=143)	42.7	10.5	18.2	28.7	25.2	31.5	18.2	0.7	2.8
	65～69歳 (n=177)	52.0	18.1	13.6	22.0	24.3	31.1	14.7	1.7	3.4
	70～74歳 (n=176)	46.6	10.2	21.0	25.6	25.6	30.7	13.6	1.1	4.5
75歳以上 (n=257)	52.1	12.1	19.8	25.7	25.7	26.5	10.9	0.8	7.0	

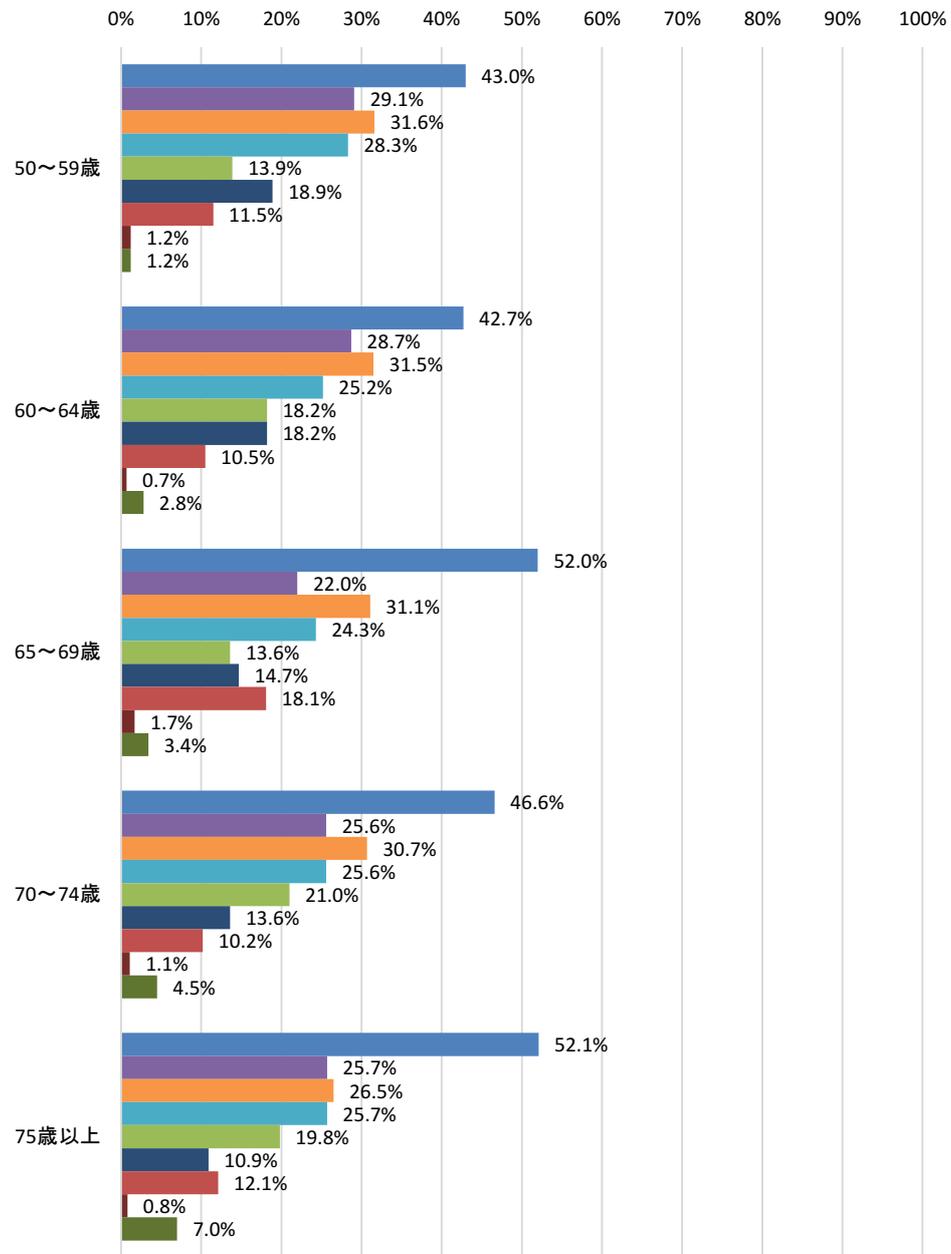
注) 項目は調査順に整列。

図表III-303 環境において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-304 環境において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



- 地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策
- 太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進
- ごみの不法投棄の防止
- ごみの分別収集や減量化・リサイクル
- 環境に配慮した事業活動への支援
- 下水道・浄化槽の整備
- 環境教育・啓発活動の推進
- その他
- 無回答

注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地区別環境において今後特に力を入れてほしいこと

- 環境において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、居住地区別に見ると津久井地域で「地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策」が45.0%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域の全てで、「地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策」が最も高くなっている。
- 居住区、地域において、顕著な傾向の差は見られない。

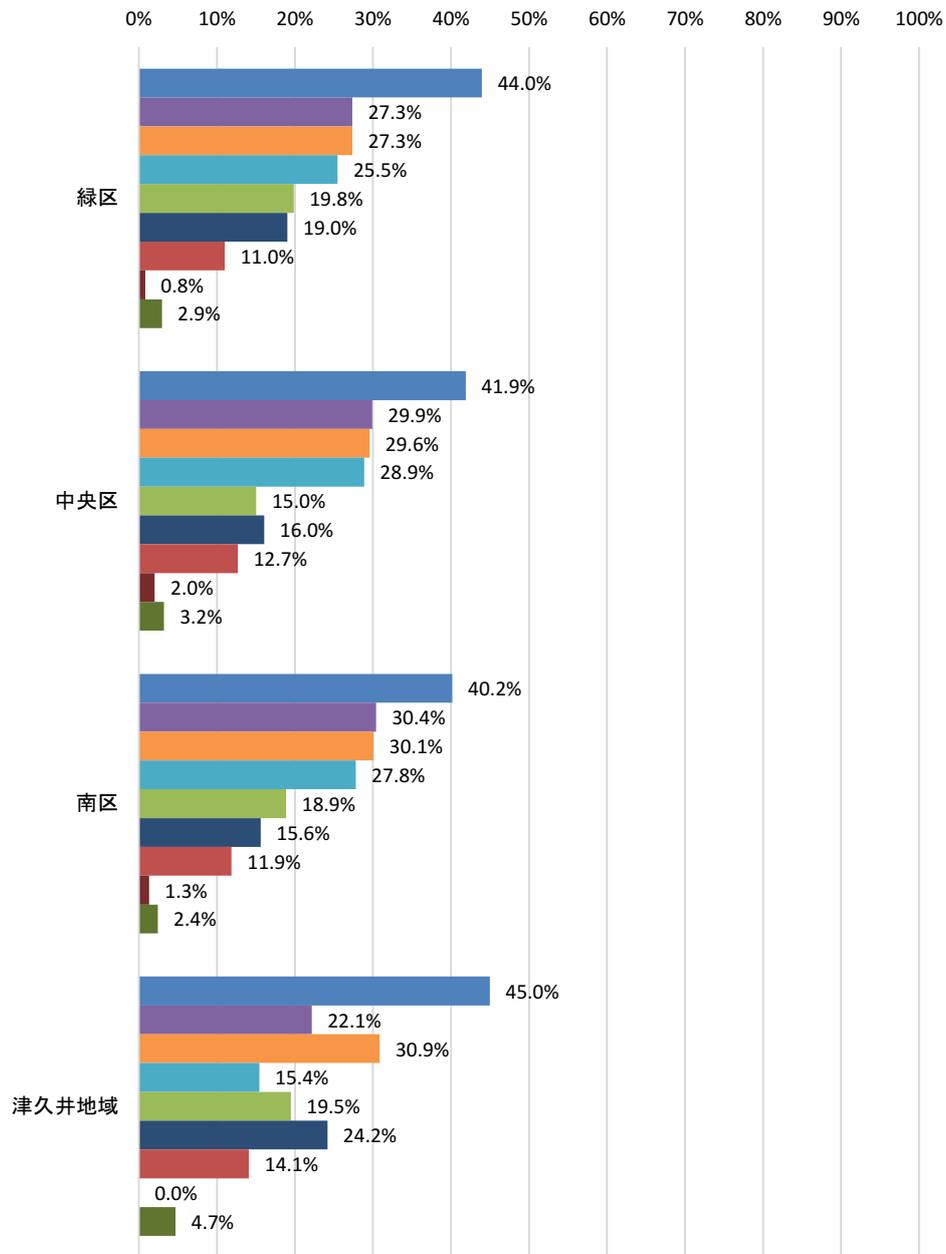
図表III-305 環境において今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別、数値は%）（MA・SA）

		Q11④ 今後、特に力を入れてほしいこと環境								
		地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策	環境教育・啓発活動の推進	環境に配慮した事業活動への支援	太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進	ごみの分別収集や減量化・リサイクル	ごみの不法投棄の防止	下水道・浄化槽の整備	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	44.0	11.0	19.8	27.3	25.5	27.3	19.0	0.8	2.9
	中央区 (n=592)	41.9	12.7	15.0	29.9	28.9	29.6	16.0	2.0	3.2
	南区 (n=615)	40.2	11.9	18.9	30.4	27.8	30.1	15.6	1.3	2.4
	津久井地域 (n=149)	45.0	14.1	19.5	22.1	15.4	30.9	24.2	0.0	4.7

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-306 環境において今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

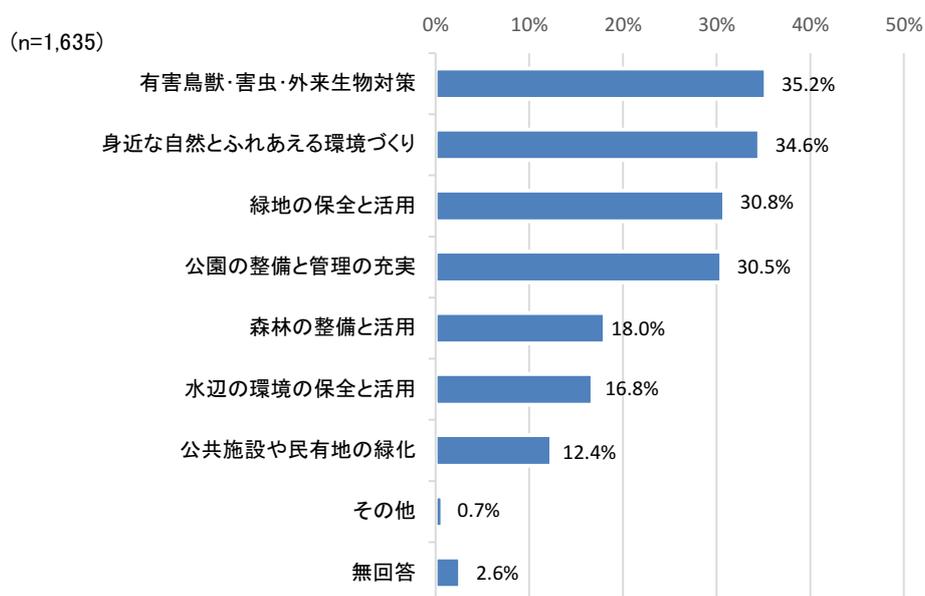
2-15. 水と緑において今後特に力を入れてほしいと思うこと

【⑤水と緑】

次の中から2つ以内でお選びください。(〇は2つまで)

- 水と緑において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「有害鳥獣・害虫・外来生物対策」が35.2%で最も高く、次いで、「身近な自然とふれあえる環境づくり」が34.6%、「緑地の保全と活用」が30.8%となっている。

図表III-307 水と緑において今後特に力を入れてほしいこと (MA)



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・ 自然を残す
- ・ 野良猫等の対策 等

(1) 水と緑において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢階層別水と緑において今後特に力を入れてほしいこと

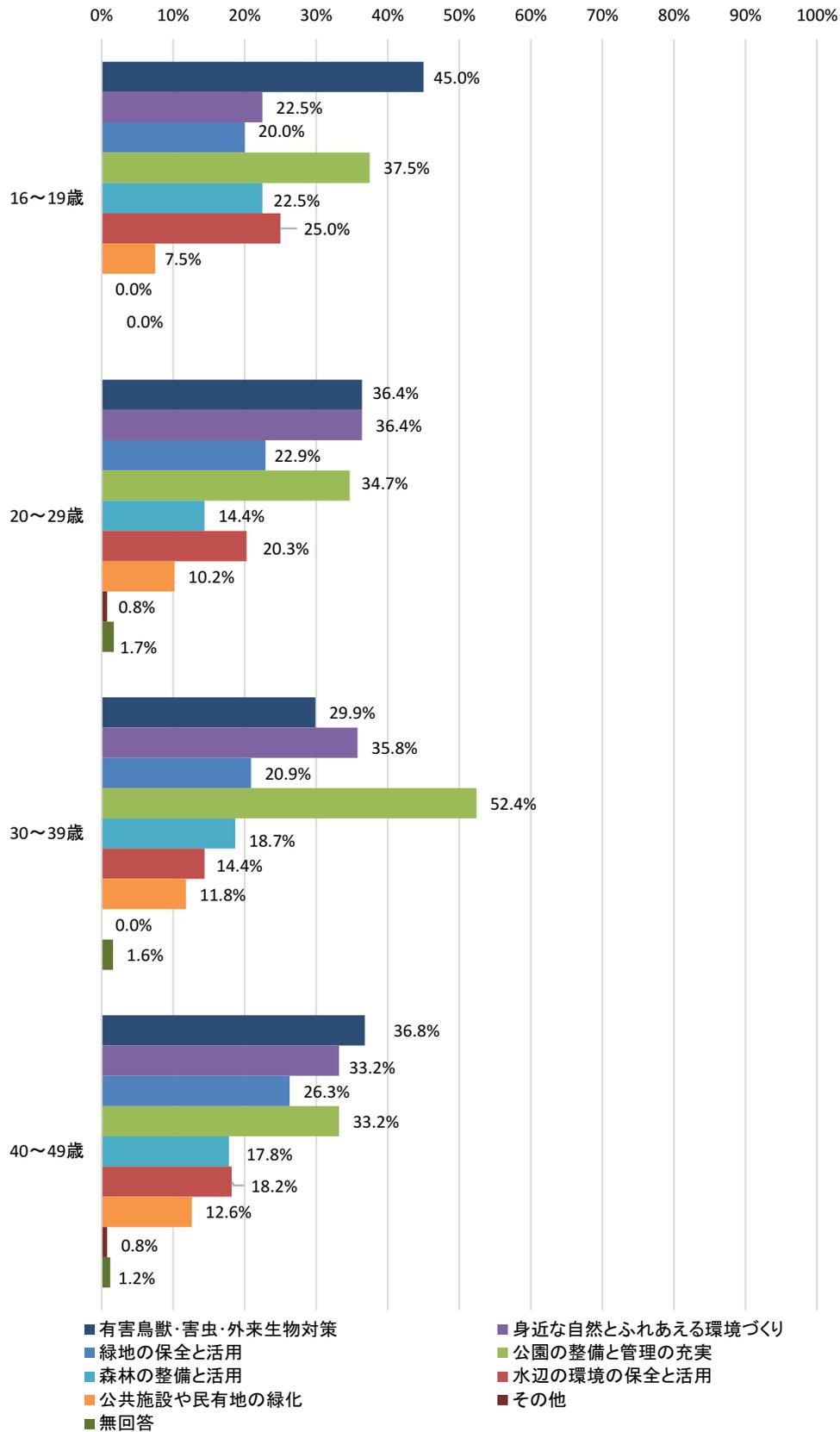
- 水と緑において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、年齢階層別に見ると30～39歳で「公園の整備と管理の充実」が52.4%と最も高くなっており、水と緑に関して力を入れてほしいこととして他の年代よりも顕著な傾向が見られる。
- 16～19歳では、「有害鳥獣・害虫・外来生物対策」が最も高くなっている。
- 20～29歳では、「身近な自然とふれあえる環境づくり」「有害鳥獣・害虫・外来生物対策」が最も高くなっている。
- 30～39歳では、「公園の整備と管理の充実」が最も高くなっている。
- 40～49歳では、「有害鳥獣・害虫・外来生物対策」が最も高くなっている。
- 50～59歳では、「緑地の保全と活用」「有害鳥獣・害虫・外来生物対策」が最も高くなっている。
- 60～64歳では、「身近な自然とふれあえる環境づくり」が最も高くなっている。
- 65～69歳では、「緑地の保全と活用」が最も高くなっている。
- 70～74歳では、「身近な自然とふれあえる環境づくり」が最も高くなっている。
- 75歳以上では、「緑地の保全と活用」が最も高くなっている。

図表III-308 水と緑において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

		Q11⑤ 今後、特に力を入れてほしいこと水と緑								
		緑地の保全と活用	水辺の環境の保全と活用	公園の整備と管理の充実	身近な自然とふれあえる環境づくり	森林の整備と活用	公共施設や民有地の緑化	有害鳥獣・害虫・外来生物対策	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	20.0	25.0	37.5	22.5	22.5	7.5	45.0	0.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	22.9	20.3	34.7	36.4	14.4	10.2	36.4	0.8	1.7
	30～39歳 (n=187)	20.9	14.4	52.4	35.8	18.7	11.8	29.9	0.0	1.6
	40～49歳 (n=247)	26.3	18.2	33.2	33.2	17.8	12.6	36.8	0.8	1.2
	50～59歳 (n=244)	34.0	20.1	31.6	29.5	18.4	10.7	34.0	0.8	1.6
	60～64歳 (n=143)	33.6	15.4	30.8	39.2	16.1	10.5	36.4	0.0	2.1
	65～69歳 (n=177)	37.9	14.1	26.0	34.5	21.5	10.7	34.5	1.1	2.8
	70～74歳 (n=176)	28.4	15.9	20.5	41.5	17.0	14.8	38.1	1.7	3.4
	75歳以上 (n=257)	38.5	12.8	17.5	35.4	19.5	17.5	36.2	0.4	5.1

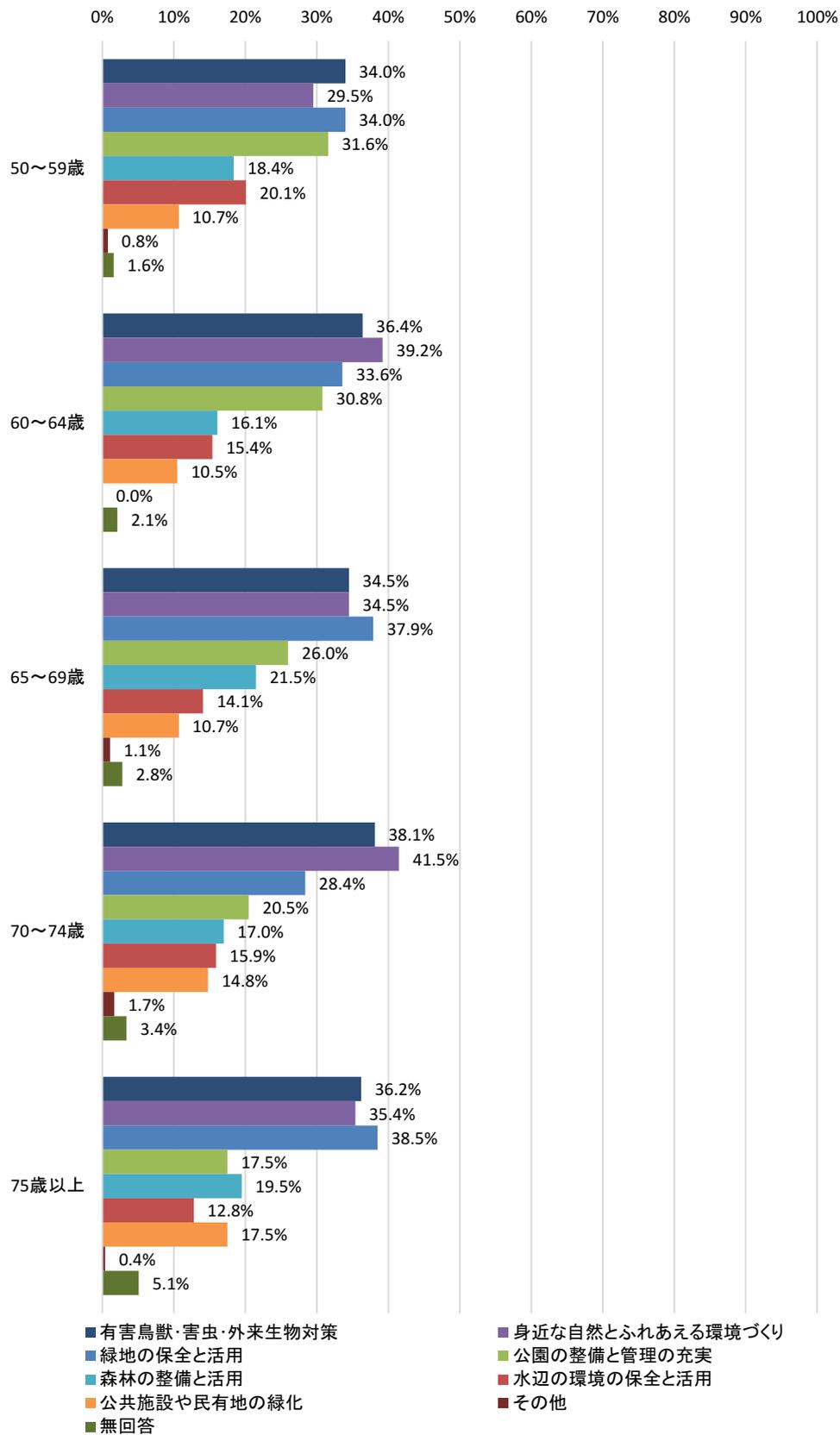
注) 項目は調査順に整列。

図表III-309 水と緑において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-310 水と緑において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地域別水と緑において今後特に力を入れてほしいこと

- 水と緑において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、居住地区別に見ると津久井地域で「有害鳥獣・害虫・外来生物対策」が40.3%と最も高くなっている。
- 緑区と津久井地域では、「有害鳥獣・害虫・外来生物対策」が最も高く、中央区と南区では、「身近な自然とふれあえる環境づくり」が最も高くなっている。
- また、津久井地域においては、「森林の活用と整備」が他区と比較して高くなっている。

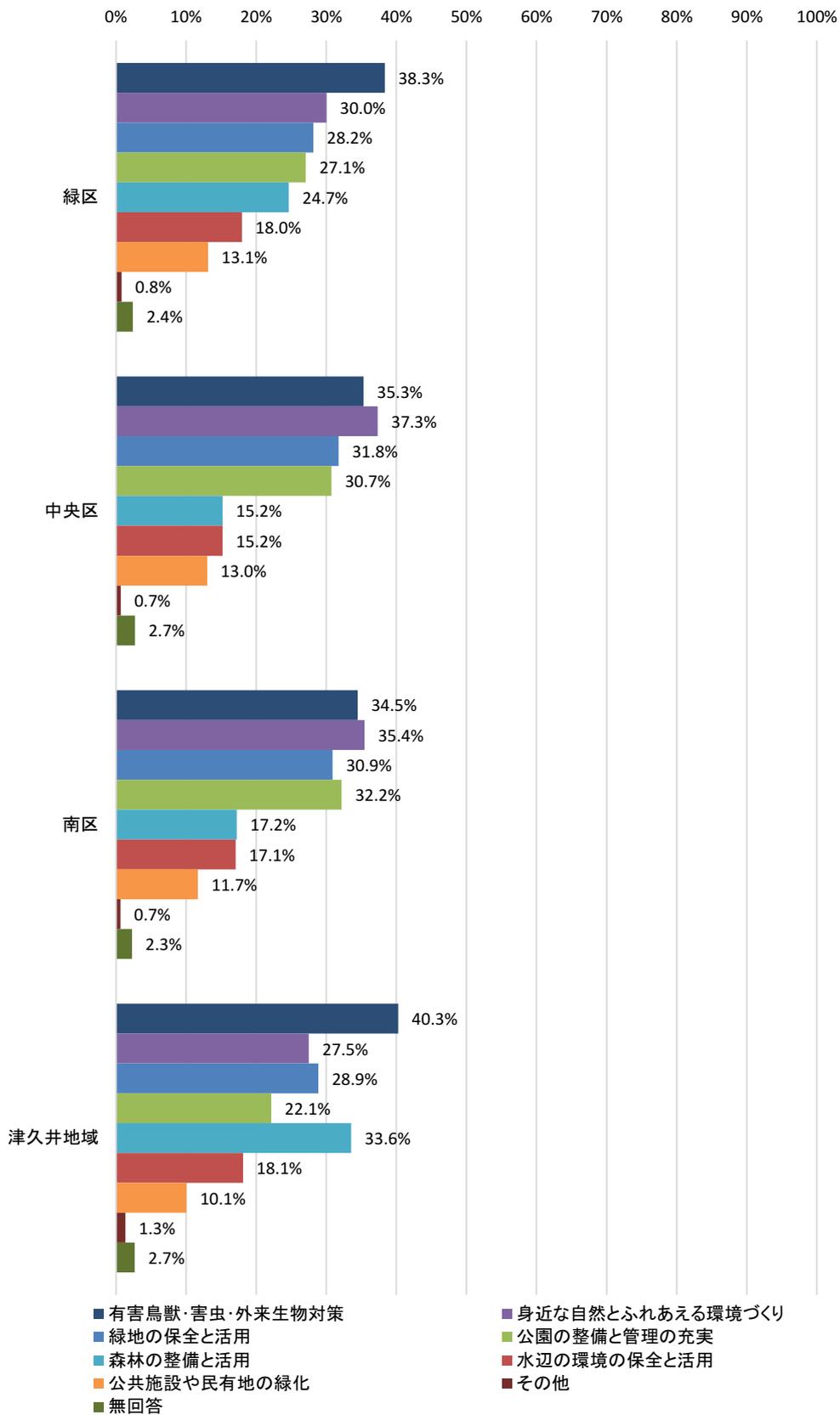
図表III-311 水と緑において今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別、数値は%）（MA・SA）

		Q11⑤ 今後、特に力を入れてほしいこと水と緑								
		緑地の保全と活用	水辺の環境の保全と活用	公園の整備と管理の充実	身近な自然とふれあえる環境づくり	森林の整備と活用	公共施設や民有地の緑化	有害鳥獣・害虫・外来生物対策	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	28.2	18.0	27.1	30.0	24.7	13.1	38.3	0.8	2.4
	中央区 (n=592)	31.8	15.2	30.7	37.3	15.2	13.0	35.3	0.7	2.7
	南区 (n=615)	30.9	17.1	32.2	35.4	17.2	11.7	34.5	0.7	2.3
	津久井地域 (n=149)	28.9	18.1	22.1	27.5	33.6	10.1	40.3	1.3	2.7

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-312 水と緑において今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

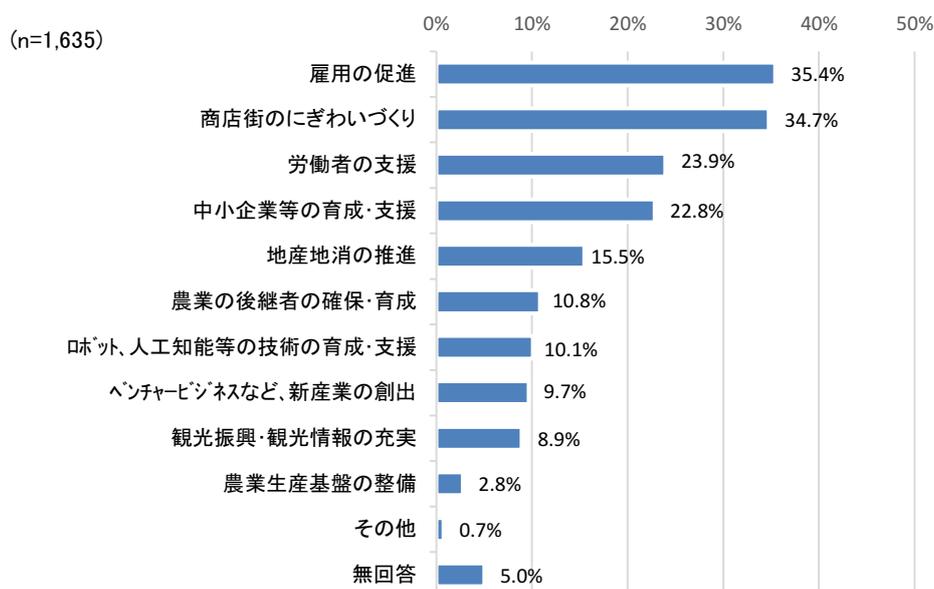
2-16. 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいと思うこと

【⑥産業・雇用】

次の中から2つ以内でお選びください。(〇は2つまで)

- 産業・雇用において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「雇用の促進」が35.4%で最も高く、次いで、「商店街のにぎわいづくり」が34.7%、「労働者の支援」が23.9%となっている。

図表III-313 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと (MA)



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・ 障害者の就労支援
- ・ 地域の経済発展を大切にする政策
- ・ 企業進出のしやすい環境づくり 等

(1) 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢階層別産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと

- 産業・雇用において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、年齢階層別に見ると50～59歳で「雇用の促進」が46.3%と最も高くなっている。
- 16～19歳では、「雇用の促進」が最も高くなっている。
- 20～29歳では、「労働者の支援」が最も高くなっている。
- 30～39歳、40～49歳、50～59歳では、「雇用の促進」が最も高くなっている。
- 60～64歳では、「商店街のにぎわいづくり」「雇用の促進」が最も高くなっている。
- 65～69歳では、「雇用の促進」が最も高くなっている。
- 70～74歳、75歳以上では、「商店街のにぎわいづくり」が最も高くなっている。
- 概ね全ての年代で、「雇用の促進」と「商店街の賑わいづくり」が高くなっているが、20代のみ「労働者の支援」が高くなっている。

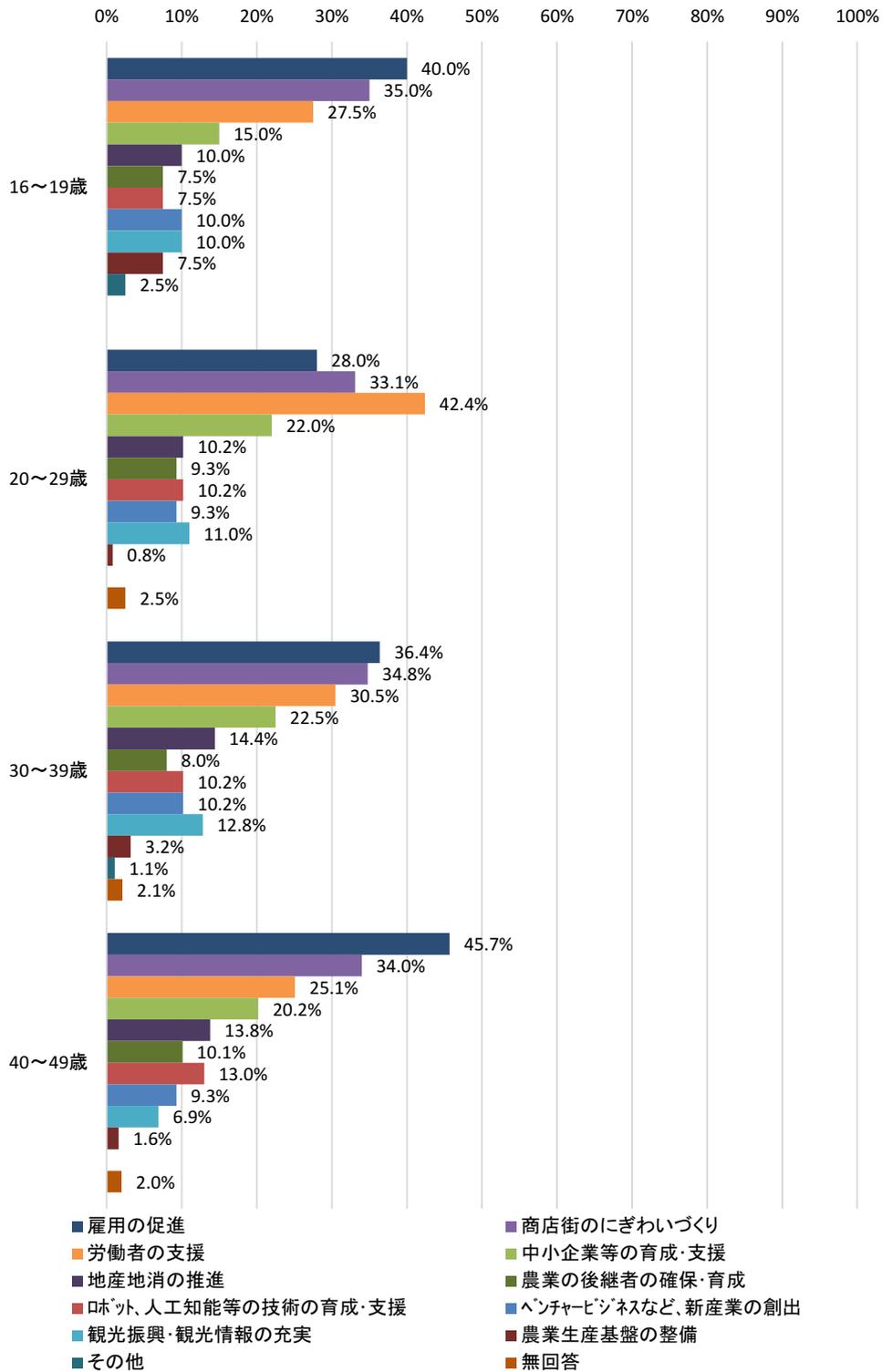
図表III-314 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

		Q11⑥ 今後、特に力を入れてほしいこと産業・雇用					
		ベンチャービジネスなど、新産業の創出	ロボット、人工知能等の技術の育成・支援	中小企業等の育成・支援	商店街のにぎわいづくり	観光振興・観光情報の充実	労働者の支援
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	10.0	7.5	15.0	35.0	10.0	27.5
	20～29歳 (n=118)	9.3	10.2	22.0	33.1	11.0	42.4
	30～39歳 (n=187)	10.2	10.2	22.5	34.8	12.8	30.5
	40～49歳 (n=247)	9.3	13.0	20.2	34.0	6.9	25.1
	50～59歳 (n=244)	6.1	11.1	21.3	34.0	5.3	32.4
	60～64歳 (n=143)	4.9	9.1	22.4	41.3	13.3	23.1
	65～69歳 (n=177)	10.2	7.9	28.2	35.0	10.7	16.4
	70～74歳 (n=176)	14.2	9.7	23.3	39.2	6.8	12.5
75歳以上 (n=257)	12.8	9.3	26.1	30.0	8.9	14.8	

		雇用の促進	農業生産基盤の整備	農業の後継者の確保・育成	地産地消の推進	その他	無回答
		F2 年齢	16～19歳 (n=40)	40.0	7.5	7.5	10.0
	20～29歳 (n=118)	28.0	0.8	9.3	10.2	0.0	2.5
	30～39歳 (n=187)	36.4	3.2	8.0	14.4	1.1	2.1
	40～49歳 (n=247)	45.7	1.6	10.1	13.8	0.0	2.0
	50～59歳 (n=244)	46.3	2.5	9.4	15.6	1.2	1.2
	60～64歳 (n=143)	41.3	1.4	11.2	11.2	0.7	2.1
	65～69歳 (n=177)	36.7	2.8	10.2	18.6	0.6	4.5
	70～74歳 (n=176)	29.0	3.4	11.9	19.3	0.6	8.5
	75歳以上 (n=257)	18.3	4.3	16.0	16.7	0.8	14.0

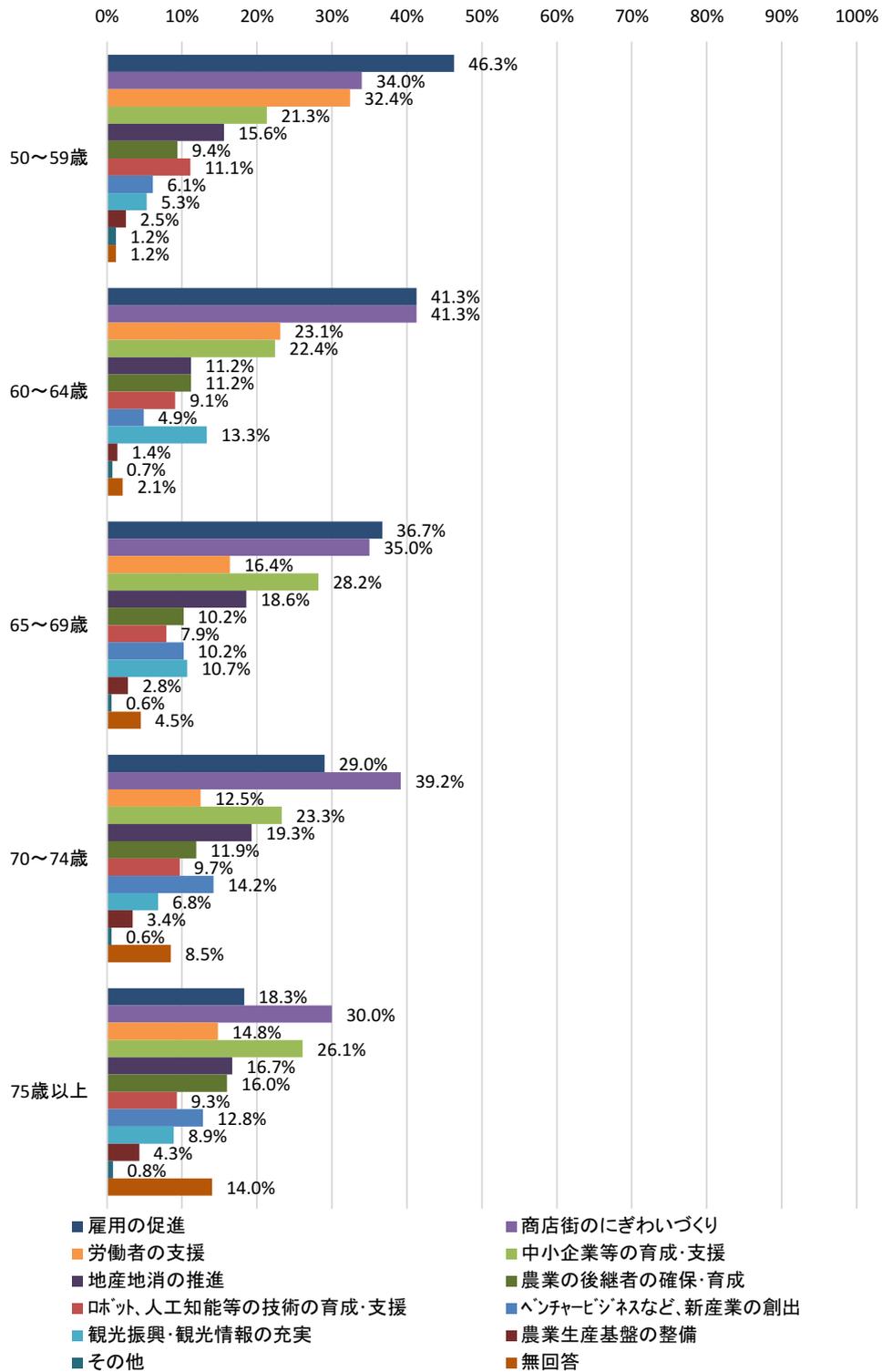
注) 項目は調査順に整列。

図表III-315 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-316 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地区別産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと

- 産業・雇用において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、居住地区別に見ると中央区で「商店街のにぎわいづくり」が39.2%と最も高くなっている。
- 緑区、津久井地域では、「雇用の促進」が最も高くなっている。
- 中央区、南区では「商店街のにぎわいづくり」が最も高くなっている。
- 居住区、地域における顕著な傾向の差は見られない。

図表III-317 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別、数値は%）（MA・SA）

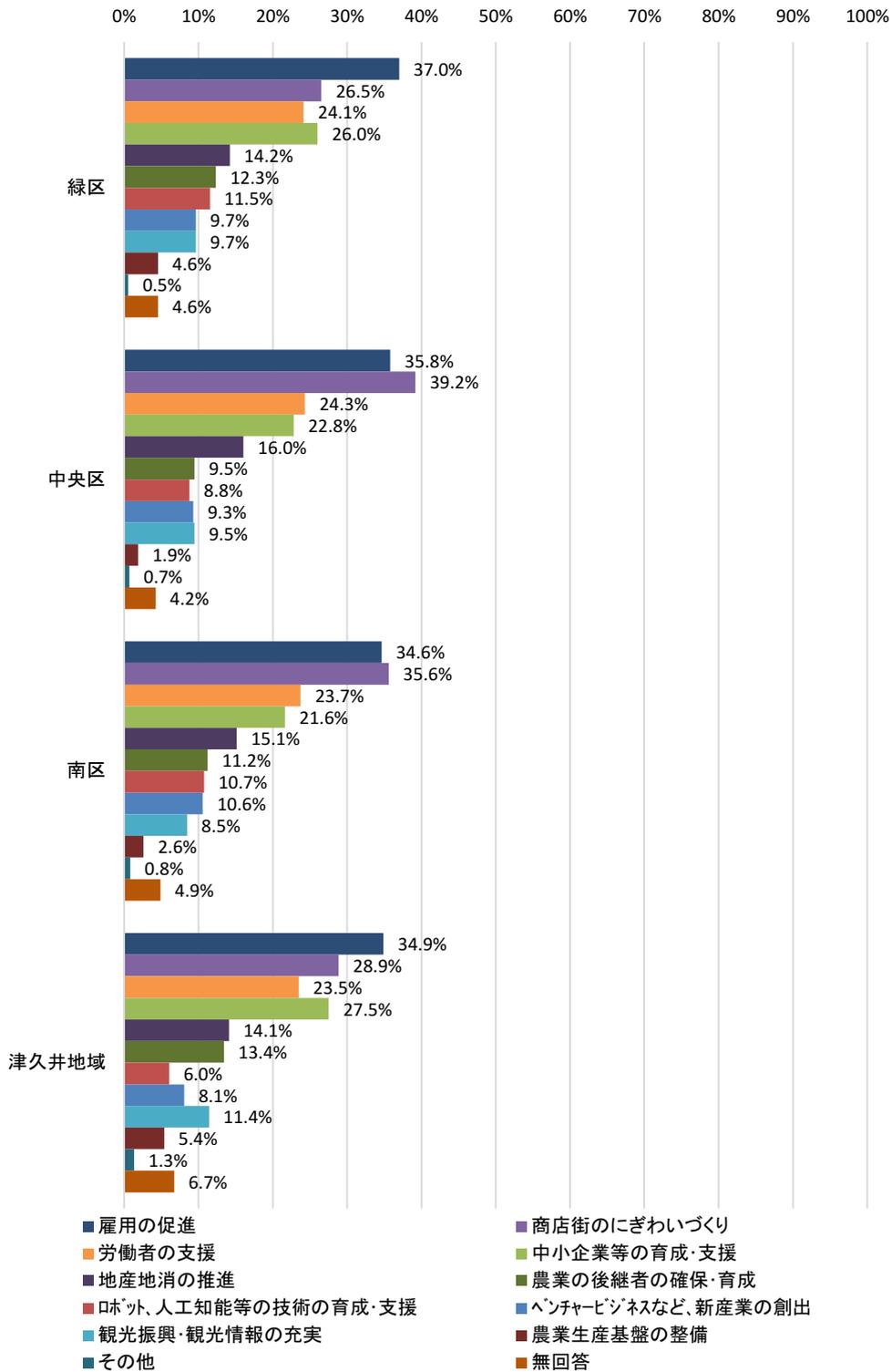
		Q11⑥ 今後、特に力を入れてほしいこと・産業・雇用					
		ベンチャー・ビジネスなど、新産業の創出	ロボット、人工知能等の技術の育成・支援	中小企業等の育成・支援	商店街のにぎわいづくり	観光振興・観光情報の充実	労働者の支援
F8 居住地域	緑区 (n=373)	9.7	11.5	26.0	26.5	9.7	24.1
	中央区 (n=592)	9.3	8.8	22.8	39.2	9.5	24.3
	南区 (n=615)	10.6	10.7	21.6	35.6	8.5	23.7
	津久井地域 (n=149)	8.1	6.0	27.5	28.9	11.4	23.5

		雇用の促進	農業生産基盤の整備	農業の後継者の確保・育成	地産地消の推進	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	37.0	4.6	12.3	14.2	0.5	4.6
	中央区 (n=592)	35.8	1.9	9.5	16.0	0.7	4.2
	南区 (n=615)	34.6	2.6	11.2	15.1	0.8	4.9
	津久井地域 (n=149)	34.9	5.4	13.4	14.1	1.3	6.7

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整理。

図表III-318 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

③ 職業別産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと

- 産業・雇用において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、職業別に見ると、パート、アルバイトで「雇用の促進」が44.4%と最も高くなっている。
- 事業主、専業主婦・主夫、無職では、「商店街のにぎわいづくり」が最も高くなっている。
- 自由業では、「中小企業等の育成・支援」が最も高くなっている。
- 会社員、公務員、団体職員、パート、アルバイトでは、「雇用の促進」が最も高くなっている。
- 被雇用者の多くは「雇用の促進」が最も高く、自由業では本人の属性に近い「中小企業等の育成・支援」、無職では「商店街のにぎわいづくり」が高い傾向が見られる。

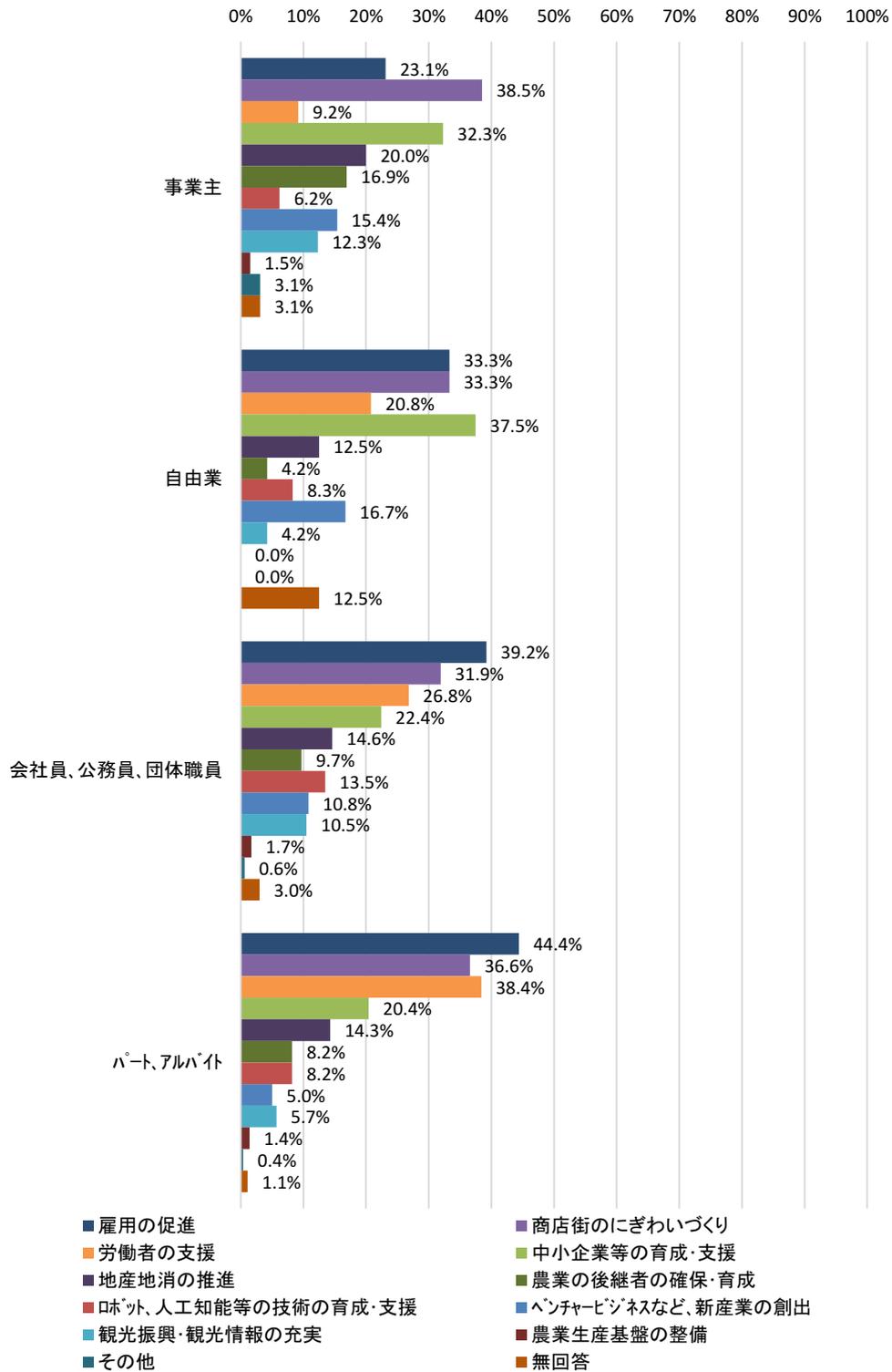
図表III-319 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（職業別、数値は%）（MA・SA）

		Q11⑥ 今後、特に力を入れてほしいこと産業・雇用					
		ベンチャービジネスなど、新産業の創出	ロボット、人工知能等の技術の育成・支援	中小企業等の育成・支援	商店街のにぎわいづくり	観光振興・観光情報の充実	労働者の支援
F4 職業	事業主 (n=65)	15.4	6.2	32.3	38.5	12.3	9.2
	自由業 (n=24)	16.7	8.3	37.5	33.3	4.2	20.8
	会社員、公務員、団体職員 (n=474)	10.8	13.5	22.4	31.9	10.5	26.8
	パート、アルバイト (n=279)	5.0	8.2	20.4	36.6	5.7	38.4
	専業主婦・主夫 (n=306)	6.5	6.2	23.9	37.6	8.5	19.0
	学生 (n=61)	16.4	9.8	18.0	29.5	11.5	34.4
	無職 (n=331)	13.3	12.7	22.7	33.8	9.4	14.2
	その他 (n=46)	6.5	4.3	28.3	43.5	10.9	21.7

		雇用の促進	農業生産基盤の整備	農業の後継者の確保・育成	地産地消の推進	その他	無回答
F4 職業	事業主 (n=65)	23.1	1.5	16.9	20.0	3.1	3.1
	自由業 (n=24)	33.3	0.0	4.2	12.5	0.0	12.5
	会社員、公務員、団体職員 (n=474)	39.2	1.7	9.7	14.6	0.6	3.0
	パート、アルバイト (n=279)	44.4	1.4	8.2	14.3	0.4	1.1
	専業主婦・主夫 (n=306)	32.7	3.9	11.1	20.6	0.3	6.2
	学生 (n=61)	27.9	6.6	13.1	8.2	1.6	0.0
	無職 (n=331)	30.2	3.9	12.4	14.2	0.3	9.4
	その他 (n=46)	26.1	4.3	15.2	6.5	2.2	8.7

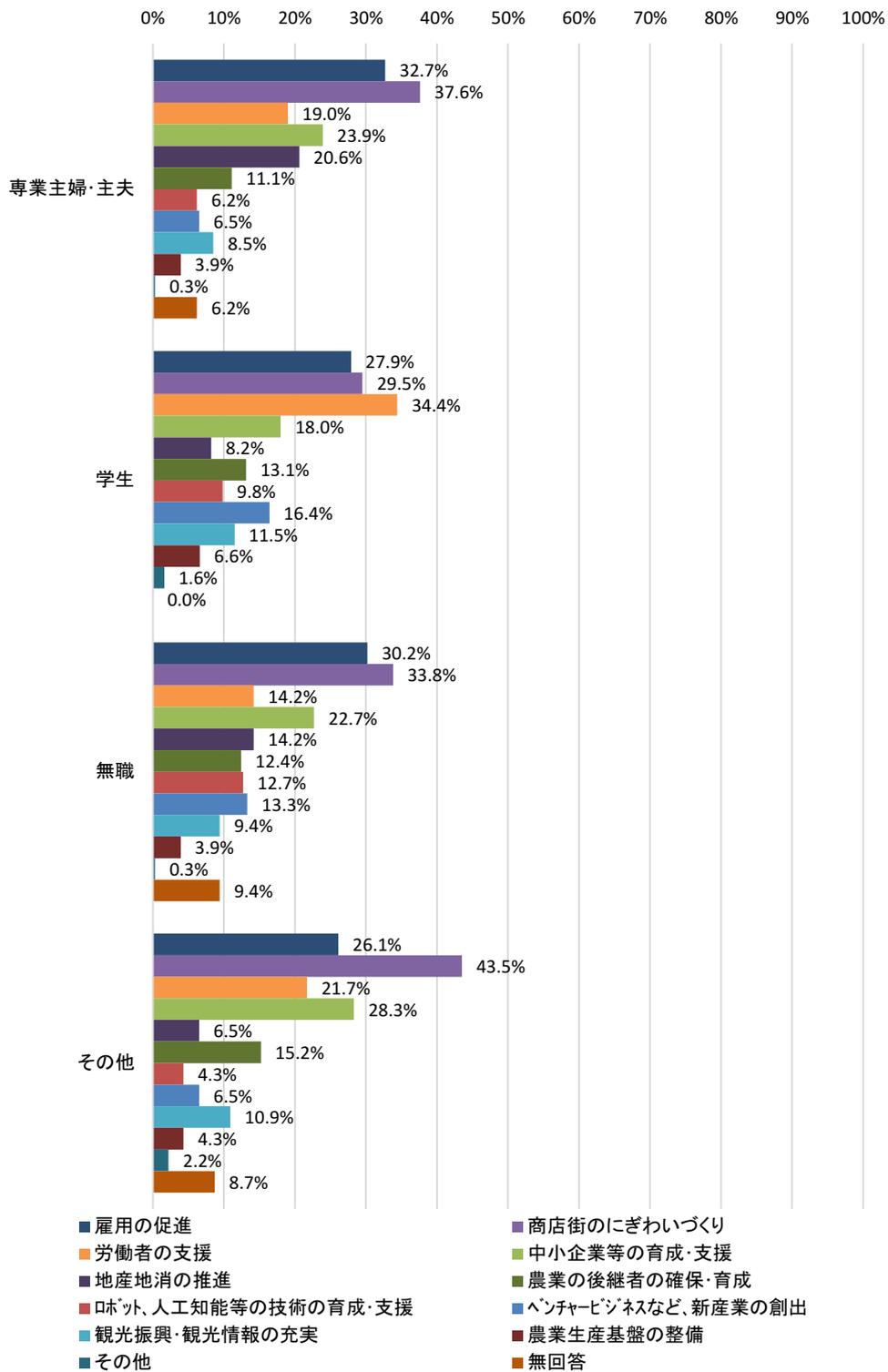
注) 項目は調査順に整列。

図表III-320 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（職業別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-321 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（職業別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

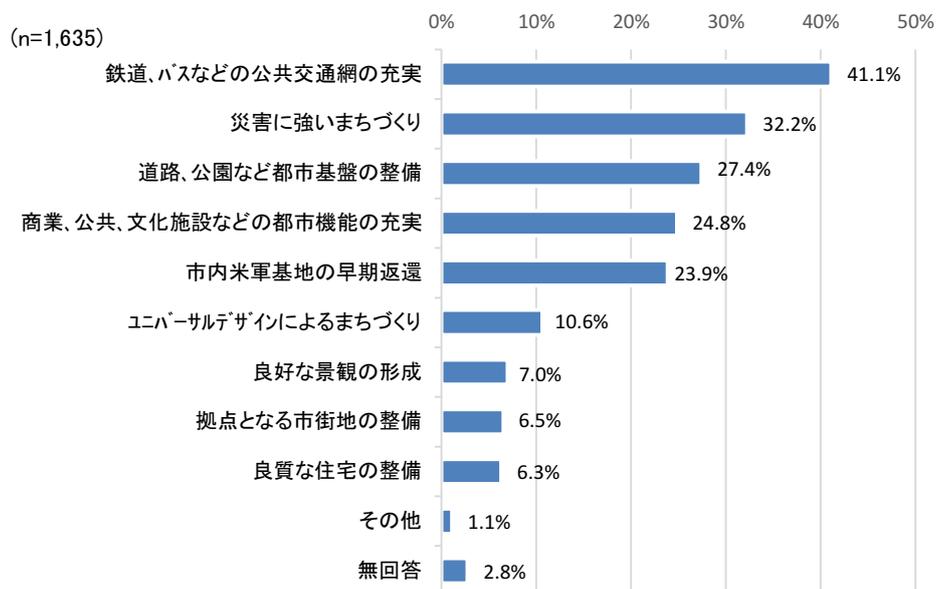
2-17. まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいと思うこと

【⑦まちづくり】

次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

- 産業・雇用において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「鉄道、バスなどの公共交通網の充実」が41.1%で最も高く、次いで、「災害に強いまちづくり」が32.2%、「道路、公園など都市基盤の整備」が27.4%となっている。

図表III-322 まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと (MA)



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・ 空き家・空き地対策
- ・ 歩道、自転車道の整備
- ・ 景観への対応 等

(1) まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢階層別まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと

- まちづくりにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、年齢階層別に見ると40～49歳で「鉄道、バスなどの公共交通網の充実」が45.7%と最も高くなっている。
- また、ほぼ全ての年代で、「鉄道、バスなどの公共交通網の充実」が最も高くなっているが、75歳以上では、「市内米軍基地の早期返還」が最も高くなっている。
- 年齢階層による、顕著な傾向の差は見られない。

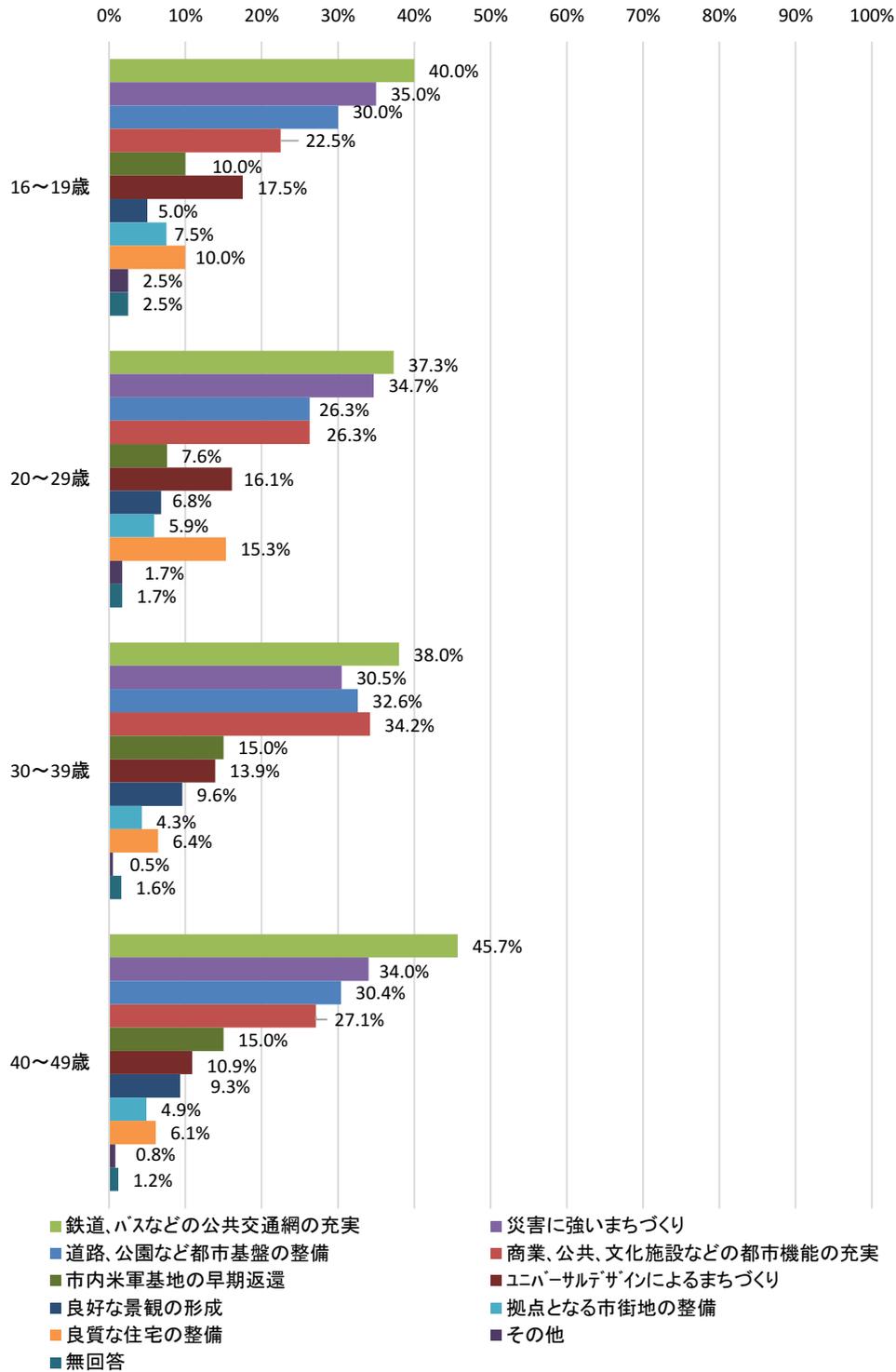
図表III-323 まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

		Q11⑦ 今後、特に力を入れてほしいことまちづくり					
		道路、公園など都市基盤の整備	商業、公共、文化施設などの都市機能の充実	鉄道、バスなどの公共交通網の充実	災害に強いまちづくり	拠点となる市街地の整備	良質な住宅の整備
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	30.0	22.5	40.0	35.0	7.5	10.0
	20～29歳 (n=118)	26.3	26.3	37.3	34.7	5.9	15.3
	30～39歳 (n=187)	32.6	34.2	38.0	30.5	4.3	6.4
	40～49歳 (n=247)	30.4	27.1	45.7	34.0	4.9	6.1
	50～59歳 (n=244)	25.8	23.4	40.6	36.1	7.8	6.6
	60～64歳 (n=143)	30.1	18.9	39.2	36.4	10.5	4.2
	65～69歳 (n=177)	28.2	27.7	43.5	31.6	7.3	5.1
	70～74歳 (n=176)	23.9	18.8	43.2	29.5	6.8	2.8
	75歳以上 (n=257)	24.5	21.8	38.9	28.0	5.8	5.4

		良好な景観の形成	ユニバーサルデザインによるまちづくり	市内米軍基地の早期返還	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	17.5	10.0	2.5	2.5
	20～29歳 (n=118)	6.8	16.1	7.6	1.7	1.7
	30～39歳 (n=187)	9.6	13.9	15.0	0.5	1.6
	40～49歳 (n=247)	9.3	10.9	15.0	0.8	1.2
	50～59歳 (n=244)	6.1	13.9	19.3	2.0	1.2
	60～64歳 (n=143)	9.1	6.3	28.7	0.7	1.4
	65～69歳 (n=177)	6.8	8.5	22.0	1.1	3.4
	70～74歳 (n=176)	5.1	7.4	43.2	0.0	4.5
	75歳以上 (n=257)	5.1	7.0	39.3	1.2	5.1

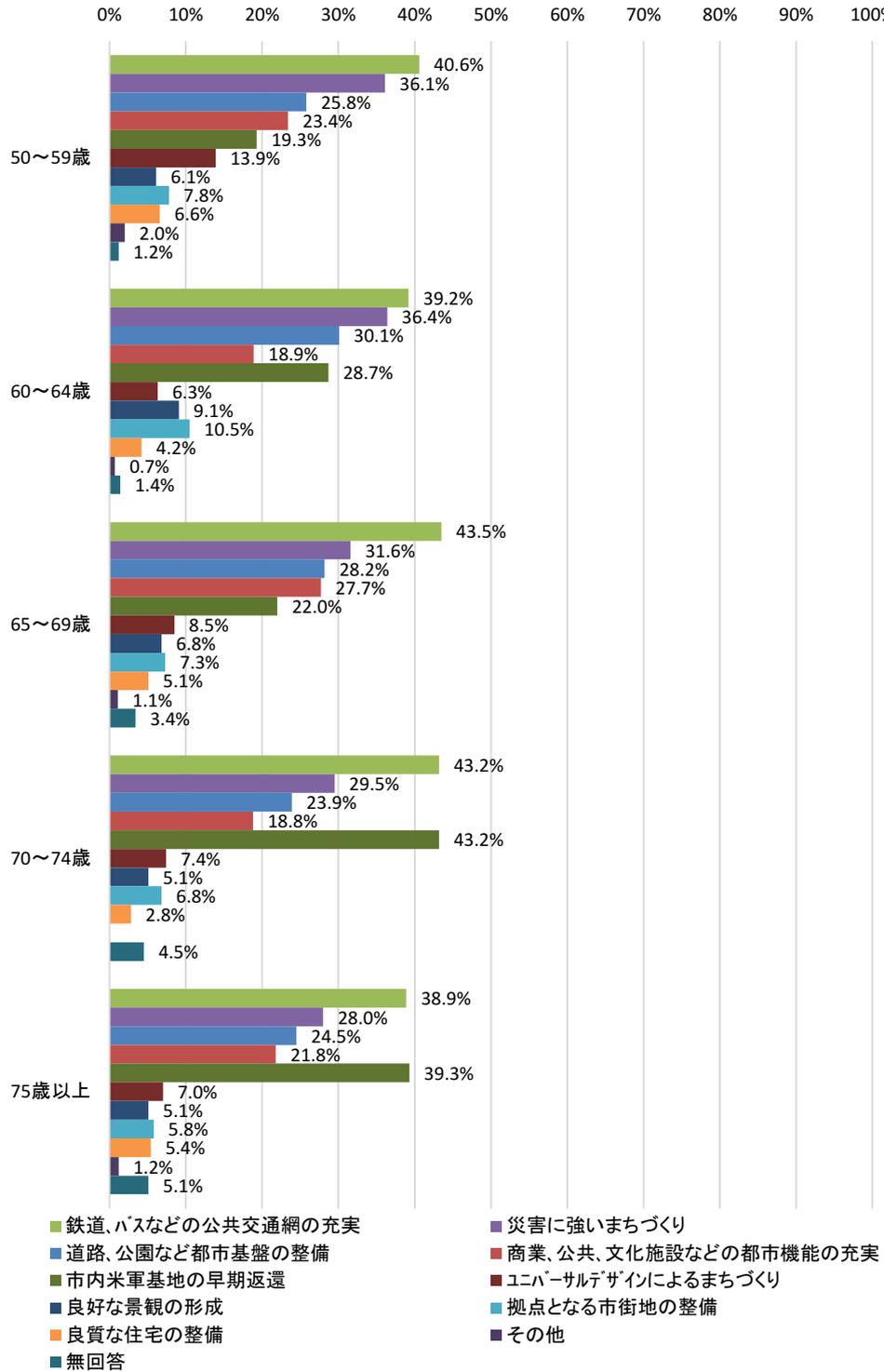
注) 項目は調査順に整列。

図表III-324 まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-325 まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地区別まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと

- まちづくりにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、居住地区別に見ると津久井地域で「鉄道、バスなどの公共交通網の充実」が57.7%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域全てで、「鉄道、バスなどの公共交通網の充実」が最も高くなっている。
- 居住区、地域において、顕著な傾向の差は見られないが、津久井地域における「鉄道、バス等の公共交通網の充実」の割合は他区と比較すると高くなっている。

図表III-326 まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別、数値は%）（MA・SA）

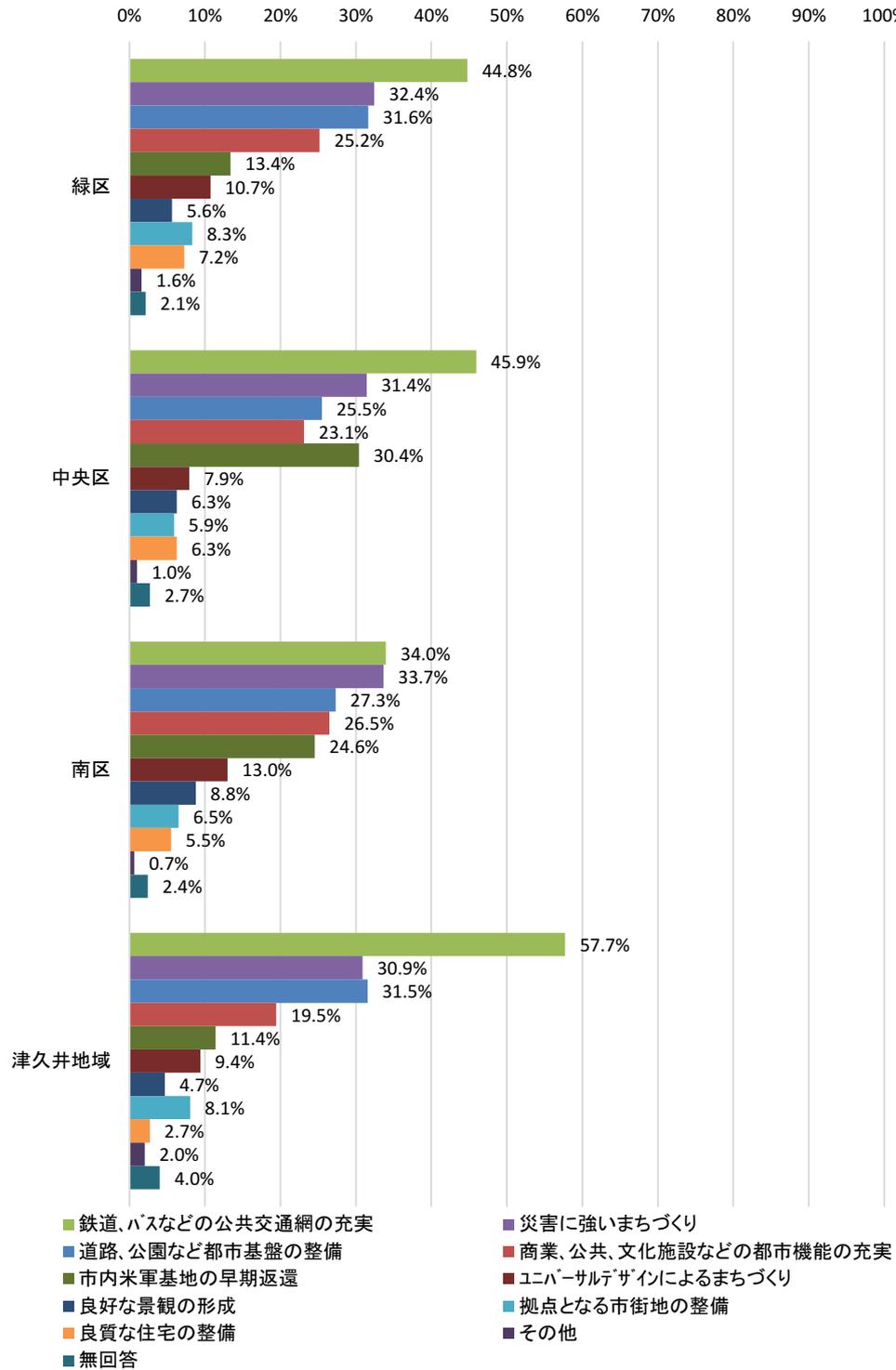
		Q11⑦ 今後、特に力を入れてほしいこと:まちづくり					
		道路、公園など都市基盤の整備	商業、公共、文化施設などの都市機能の充実	鉄道、バスなどの公共交通網の充実	災害に強いまちづくり	拠点となる市街地の整備	良質な住宅の整備
F8 居住地域	緑区 (n=373)	31.6	25.2	44.8	32.4	8.3	7.2
	中央区 (n=592)	25.5	23.1	45.9	31.4	5.9	6.3
	南区 (n=615)	27.3	26.5	34.0	33.7	6.5	5.5
	津久井地域 (n=149)	31.5	19.5	57.7	30.9	8.1	2.7

		良好な景観の形成	ユニバーサルデザインによるまちづくり	市内米軍基地の早期返還	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	5.6	10.7	13.4	1.6	2.1
	中央区 (n=592)	6.3	7.9	30.4	1.0	2.7
	南区 (n=615)	8.8	13.0	24.6	0.7	2.4
	津久井地域 (n=149)	4.7	9.4	11.4	2.0	4.0

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-327 まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

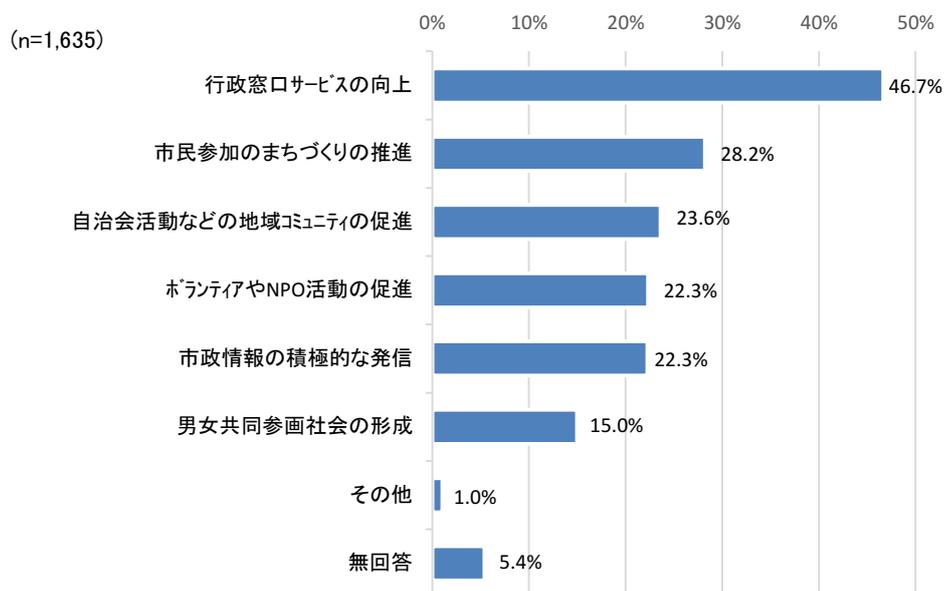
2-18. 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいと思うこと

【⑧市民参加・協働】

次の中から2つ以内でお選びください。(〇は2つまで)

- 市民参加・協働において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「行政窓口サービスの向上」が46.7%で最も高く、次いで、「市民参加のまちづくりの推進」が28.2%、「自治会活動などの地域コミュニティの促進」が23.6%となっている。

図表III-328 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと (MA)



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・ 活動についての公報
- ・ 自治会の負担軽減
- ・ 市民参加の市政運営 等

(1) 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢階層別市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと

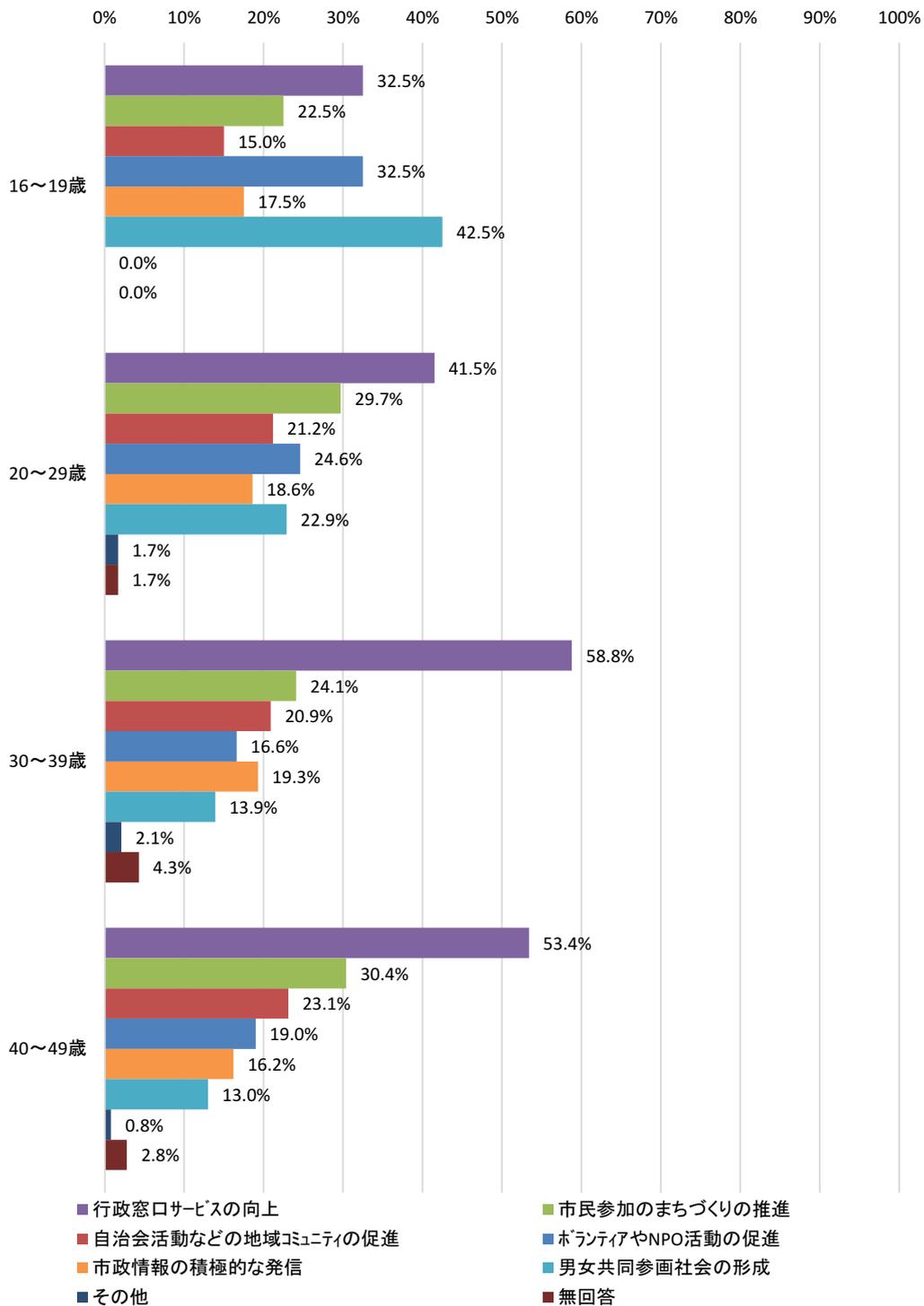
- 市民参加・協働において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、年齢階層別に見ると50～59歳で「行政窓口サービスの向上」が59.4%と最も高くなっている。
- ほとんどの年齢階層で「行政窓口サービスの向上」が最も高くなっているが、16～19歳では、「男女共同参画社会の形成」が最も高くなっている。
- 16～19歳のみ、「男女共同参画社会の形成」や「ボランティアやNPO活動の促進」等が高く、他の年齢階層とは異なる傾向となっている。

図表III-329 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

		Q11◎ 今後、特に力を入れてほしいこと市民参加・協働							
		ボランティアやNPO活動の促進	自治会活動などの地域コミュニティの促進	市民参加のまちづくりの推進	行政窓口サービスの向上	男女共同参画社会の形成	市政情報の積極的な発信	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	32.5	15.0	22.5	32.5	42.5	17.5	0.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	24.6	21.2	29.7	41.5	22.9	18.6	1.7	1.7
	30～39歳 (n=187)	16.6	20.9	24.1	58.8	13.9	19.3	2.1	4.3
	40～49歳 (n=247)	19.0	23.1	30.4	53.4	13.0	16.2	0.8	2.8
	50～59歳 (n=244)	20.9	13.9	24.6	59.4	14.8	24.2	1.6	2.9
	60～64歳 (n=143)	21.7	20.3	34.3	46.2	15.4	21.0	0.7	4.9
	65～69歳 (n=177)	22.6	29.4	31.1	42.4	13.6	24.3	0.6	6.8
	70～74歳 (n=176)	27.8	28.4	26.1	35.8	11.9	32.4	0.0	6.8
75歳以上 (n=257)	26.1	32.3	30.0	34.2	11.7	24.9	0.8	10.9	

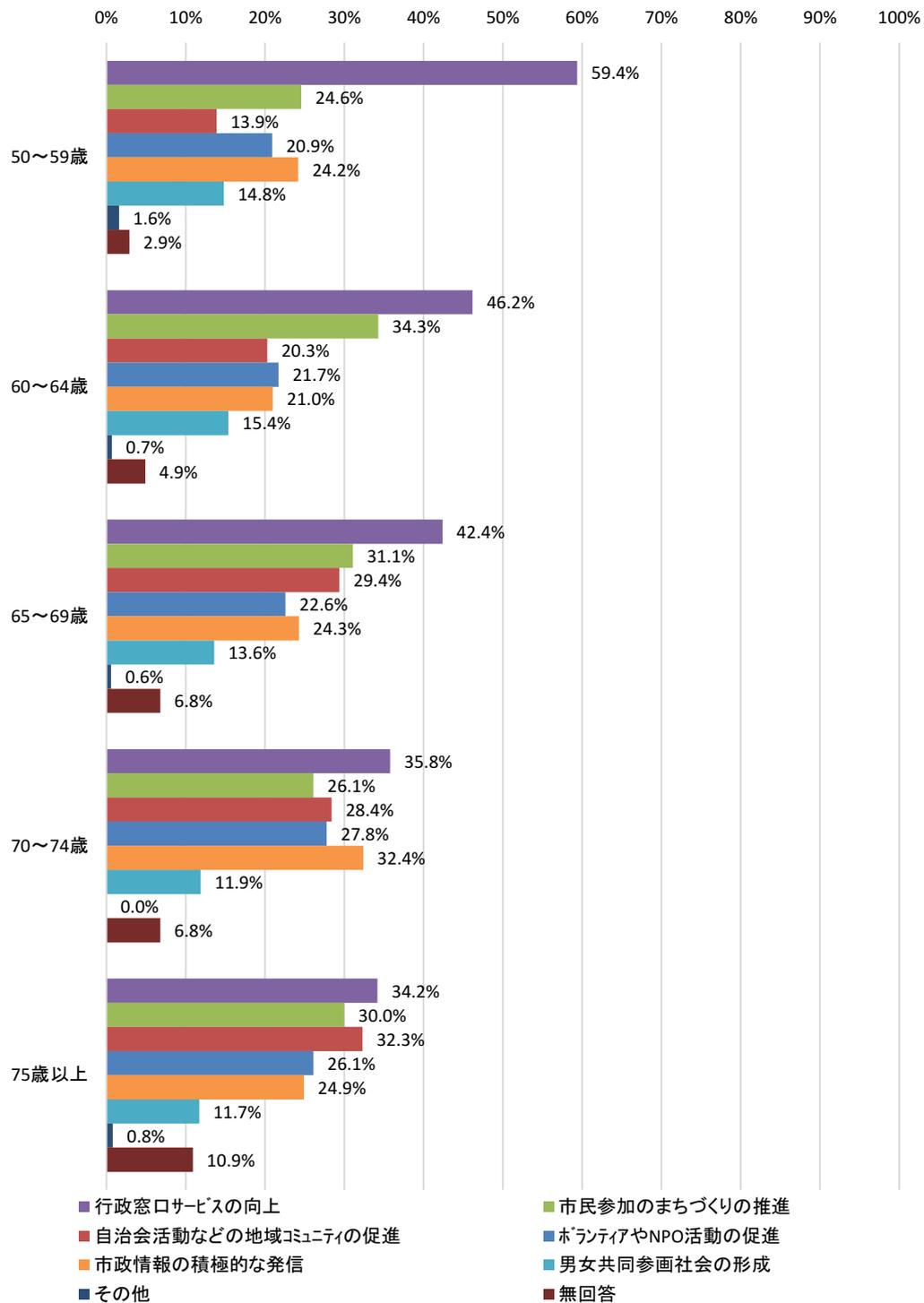
注) 項目は調査順に整理。

図表III-330 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-331 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地区別市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと

- 市民参加・協働において、今後、特に力を入れてほしいと思うことについて、居住地区別に見ると南区で「行政窓口サービスの向上」が48.5%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域全てで、「行政窓口サービスの向上」が最も高くなっている。
- 居住区、地域において、顕著な傾向の差は見られない。

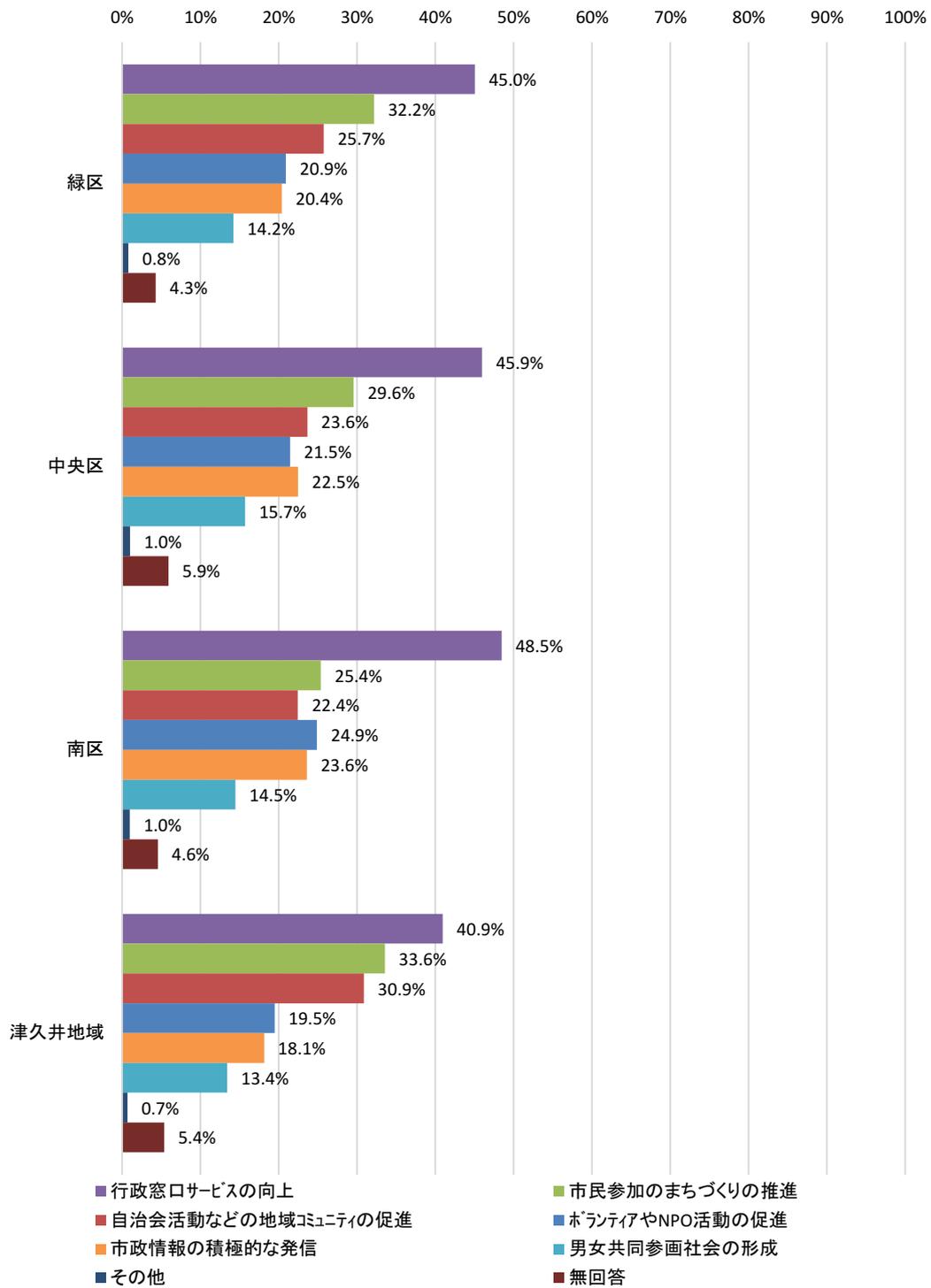
図表III-332 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと(居住地区別、数値は%) (MA・SA)

		Q11⑧ 今後、特に力を入れてほしいこと:市民参加・協働							
		ボランティアやNPO活動の促進	自治会活動などの地域コミュニティの促進	市民参加のまちづくりの推進	行政窓口サービスの向上	男女共同参画社会の形成	市政情報の積極的な発信	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	20.9	25.7	32.2	45.0	14.2	20.4	0.8	4.3
	中央区 (n=592)	21.5	23.6	29.6	45.9	15.7	22.5	1.0	5.9
	南区 (n=615)	24.9	22.4	25.4	48.5	14.5	23.6	1.0	4.6
	津久井地域 (n=149)	19.5	30.9	33.6	40.9	13.4	18.1	0.7	5.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-333 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

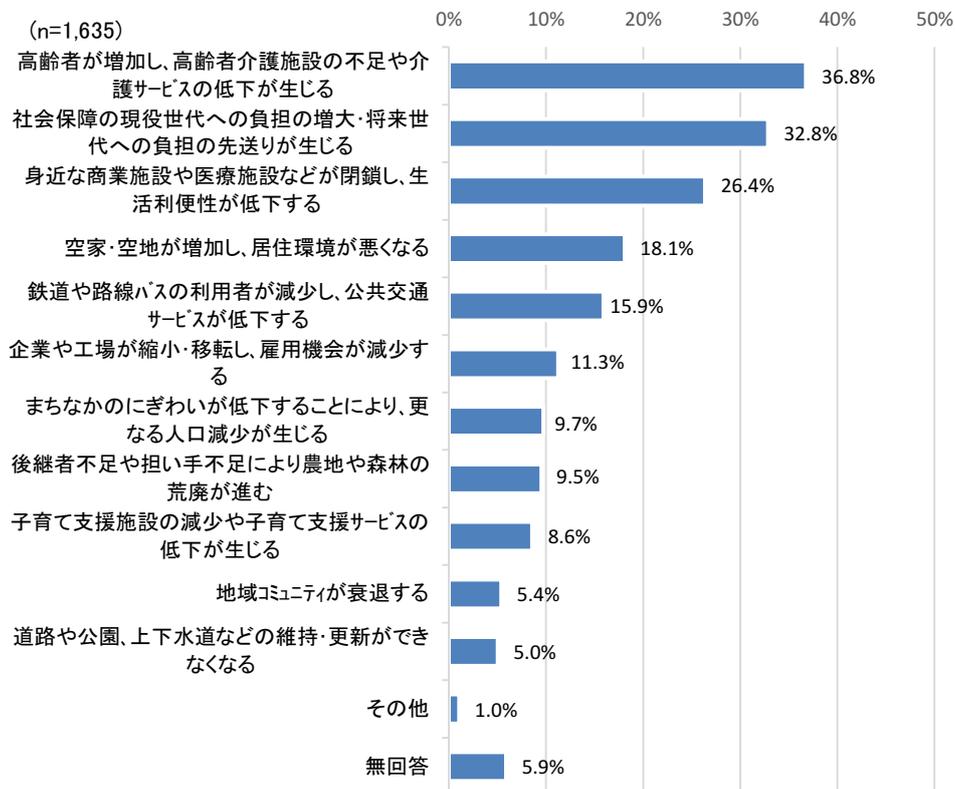
2-19. 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと

本市の人口は、少子高齢化の進行の影響により、平成31年の73万人をピークに減少に転じ、平成72年には、ピーク時の3/4程度である約54万人まで減少すると予測しております。

問 12 人口減少や少子高齢化が進行することにより起こりうると想定される課題の中で、あなたが特に課題だと思うことは何ですか。次の中から2つ以内でお選びください。(〇は2つまで)

- 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うことは、「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」が36.8%で最も高く、次いで、「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」が32.8%、「身近な商業施設や医療施設などが閉鎖し、生活利便性が低下する」が26.4%となっている。

図表III-334 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと (MA)



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・ 出産・育児が不便な環境になる
- ・ 自治会が機能しなくなる
- ・ 若者の負担増大 等

(1) 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うことの属性別クロス集計

① 年齢階層別人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと

- 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うことについて年齢階層別に見ると、70～74歳で「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」が46.6%で最も高くなっている。
- 16～19歳では、「身近な商業施設や医療施設などが閉鎖し、生活利便性が低下する」が最も高くなっている。
- 20～29歳、30～39歳では「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」が最も高くなっている。
- 40～49歳、50～59歳、60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上では、「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」が最も高くなっている。
- 年齢階層が若いほど、「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」が高く、年齢階層が高いほど、「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」が高くなっている。

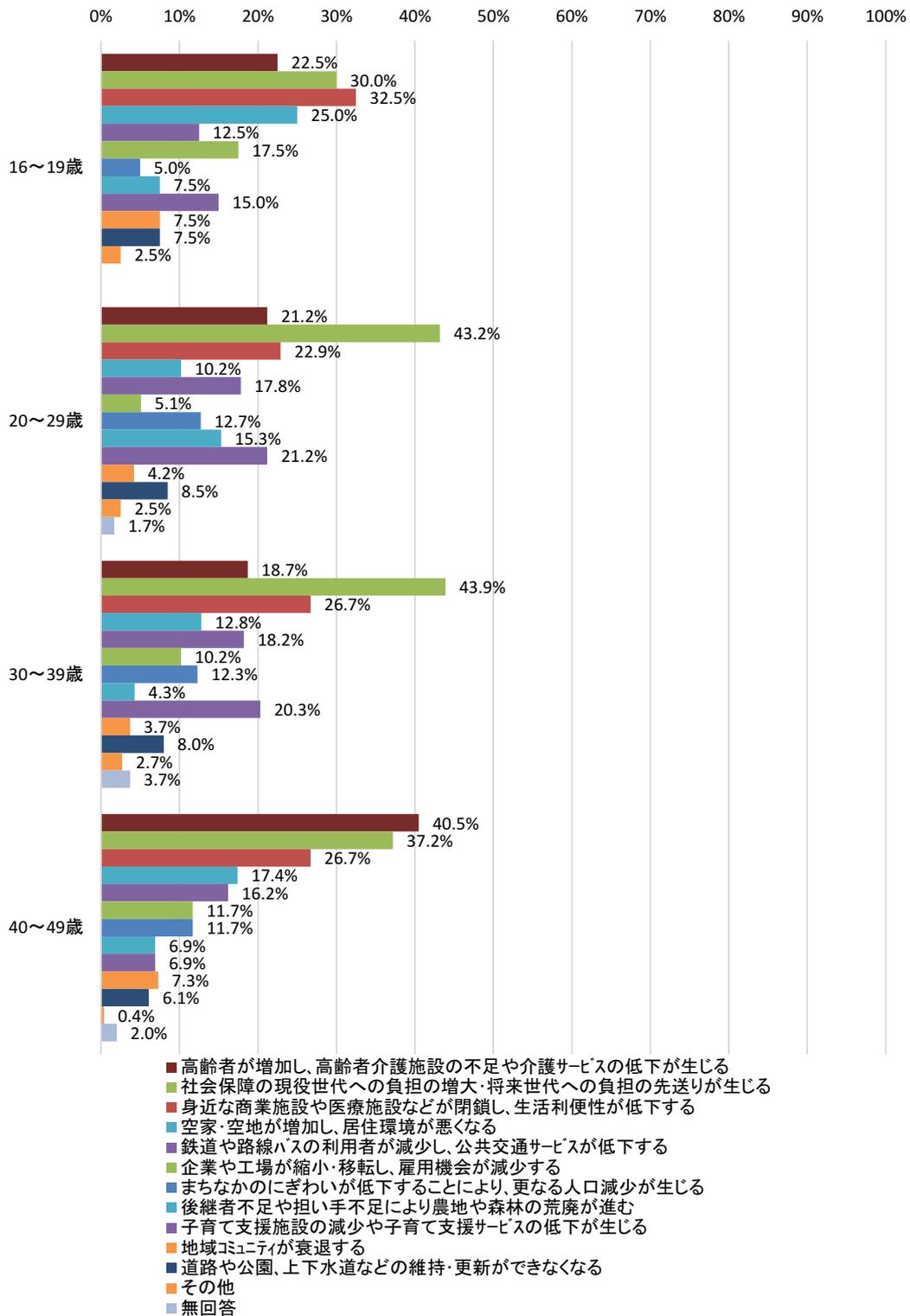
図表III-335 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

		Q12 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと							
		まちなかの にぎわいが 低下すること により、更 なる人口減 少が生じる	身近な商業 施設や医 療施設など が閉鎖し、 生活利便 性が低下 する	企業や工 場が縮小・ 移転し、雇 用機会が 減少する	鉄道や路 線バスの利 用者が減 少し、公共 交通サービス が低下する	空家・空地 が増加し、 居住環境 が悪くなる	地域コミュ ニティが衰退 する	道路や公 園、上下水 道などの維 持・更新が できなくな る	
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	32.5	17.5	12.5	25.0	7.5	7.5	
	20～29歳 (n=118)	12.7	22.9	5.1	17.8	10.2	4.2	8.5	
	30～39歳 (n=187)	12.3	26.7	10.2	18.2	12.8	3.7	8.0	
	40～49歳 (n=247)	11.7	26.7	11.7	16.2	17.4	7.3	6.1	
	50～59歳 (n=244)	7.8	31.1	13.9	18.9	14.8	5.7	5.3	
	60～64歳 (n=143)	9.1	37.1	15.4	11.2	17.5	3.5	5.6	
	65～69歳 (n=177)	11.9	23.2	11.3	18.1	22.0	8.5	4.0	
	70～74歳 (n=176)	7.4	23.9	10.8	13.6	22.2	4.5	1.7	
75歳以上 (n=257)	8.2	21.0	10.1	14.0	23.3	4.3	2.3		

		高齢者が 増加し、高 齢者介護 施設の不 足や介護 サービスの低 下が生じる	社会保障 の現役世 代への負 担の増大・ 将来世代 への負担 の先送りが 生じる	子育て支援 施設の減 少や子育て 支援サービス の低下が 生じる	後継者不 足や担い手 不足により 農地や森 林の荒廃 が進む	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	22.5	30.0	15.0	7.5	2.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	21.2	43.2	21.2	15.3	2.5	1.7
	30～39歳 (n=187)	18.7	43.9	20.3	4.3	2.7	3.7
	40～49歳 (n=247)	40.5	37.2	6.9	6.9	0.4	2.0
	50～59歳 (n=244)	36.5	34.8	6.6	7.4	0.4	4.1
	60～64歳 (n=143)	44.1	32.2	5.6	7.7	1.4	1.4
	65～69歳 (n=177)	42.4	24.9	4.5	9.6	0.6	6.8
	70～74歳 (n=176)	46.6	25.6	2.8	14.2	0.6	10.2
75歳以上 (n=257)	41.6	26.8	4.7	13.2	0.4	12.1	

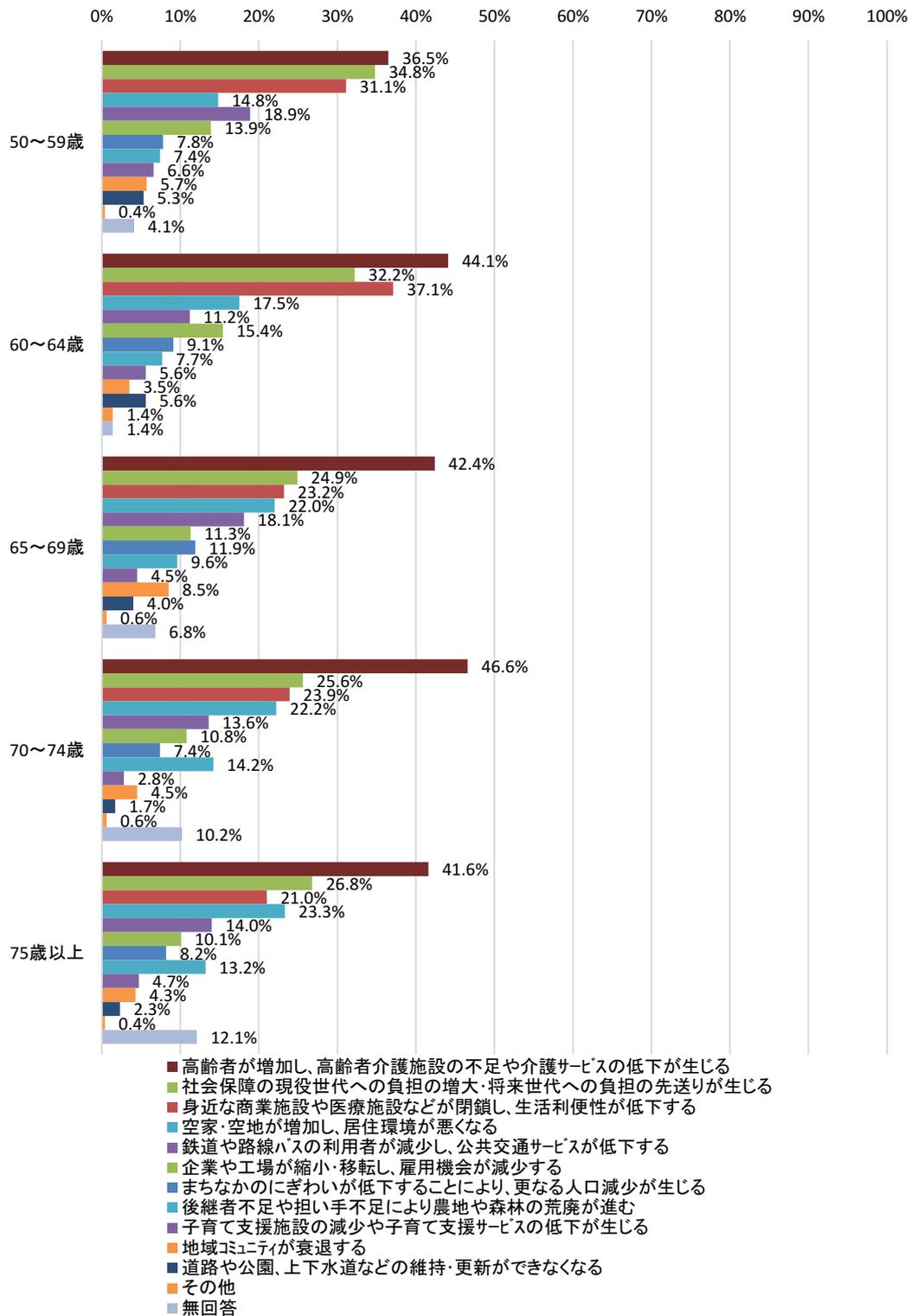
注) 項目は調査順に整列。

図表III-336 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-337 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地区別人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと

- 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うことについて年齢階層別に見ると、南区で「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」が38.4%で最も高くなっている。
- 緑区、中央区、津久井地域では、「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」が最も高くなっている。
- 居住区、地域において、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-338 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（居住地区別、数値は%）（MA・SA）

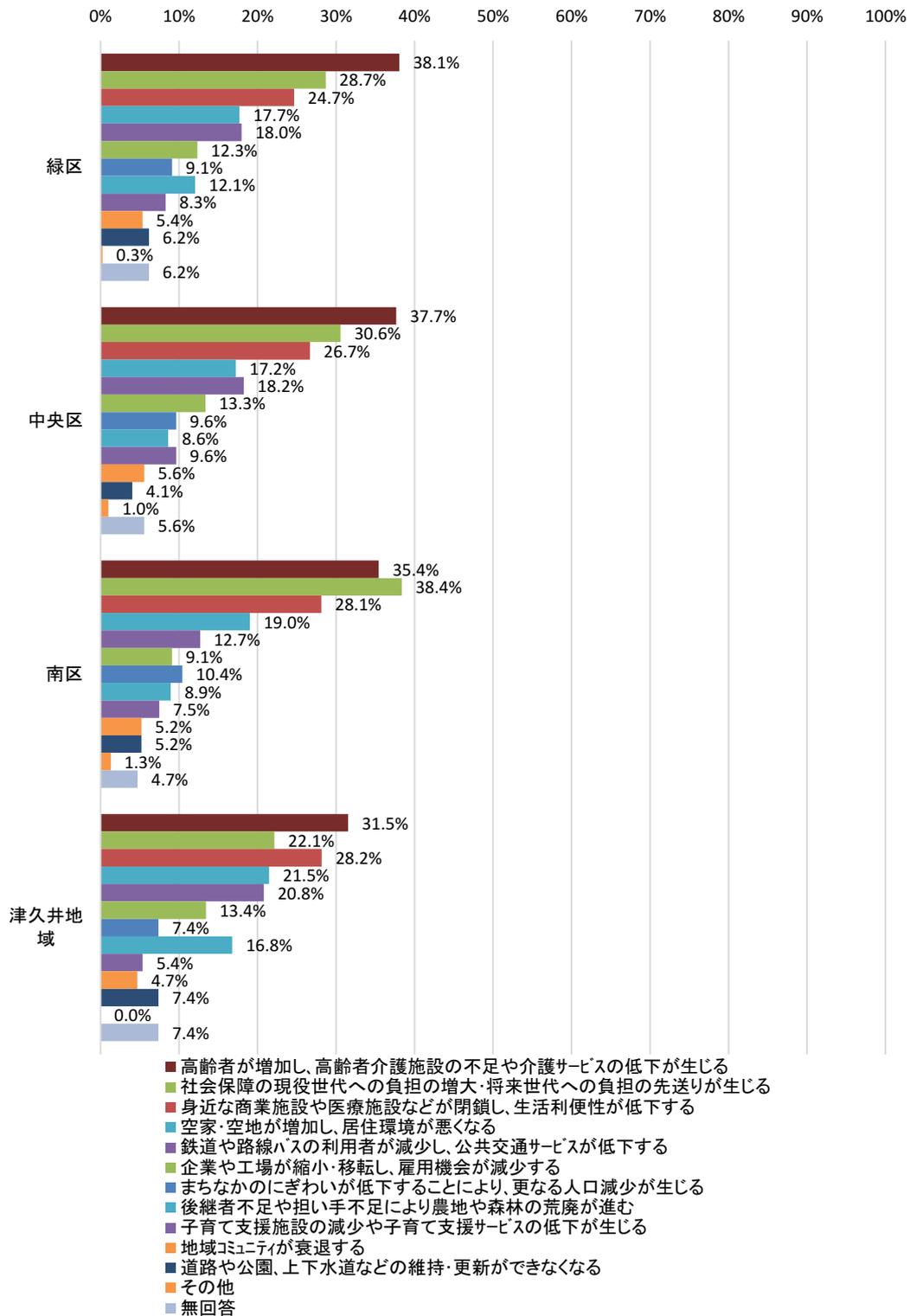
		Q12 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと						
		まちなかの にぎわいが 低下すること により、更 なる人口減 少が生じる	身近な商業 施設や医 療施設など が閉鎖し、 生活利便 性が低下 する	企業や工 場が縮小・ 移転し、雇 用機会が 減少する	鉄道や路 線バスの利 用者が減 少し、公共 交通サービ スが低下する	空家・空地 が増加し、 居住環境 が悪くなる	地域コミュ ニティが衰退 する	道路や公 園、上下水 道などの維 持・更新が できなくな る
F8 居住地域	緑区 (n=373)	9.1	24.7	12.3	18.0	17.7	5.4	6.2
	中央区 (n=592)	9.6	26.7	13.3	18.2	17.2	5.6	4.1
	南区 (n=615)	10.4	28.1	9.1	12.7	19.0	5.2	5.2
	津久井地域 (n=149)	7.4	28.2	13.4	20.8	21.5	4.7	7.4

		高齢者が 増加し、高 齢者介護 施設の不 足や介護 サービスの低 下が生じる	社会保 障の現 役世代 への負 担の増 大・将 来世代 への負 担の先 送りが 生じる	子育て支 援施設の 減少や 子育て 支援サー ビスの 低下が 生じる	後継者不 足や担 い手不 足によ り農地 や森林 の荒廃 が進む	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	38.1	28.7	8.3	12.1	0.3	6.2
	中央区 (n=592)	37.7	30.6	9.6	8.6	1.0	5.6
	南区 (n=615)	35.4	38.4	7.5	8.9	1.3	4.7
	津久井地域 (n=149)	31.5	22.1	5.4	16.8	0.0	7.4

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-339 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（居住地区別）（MA・S A）



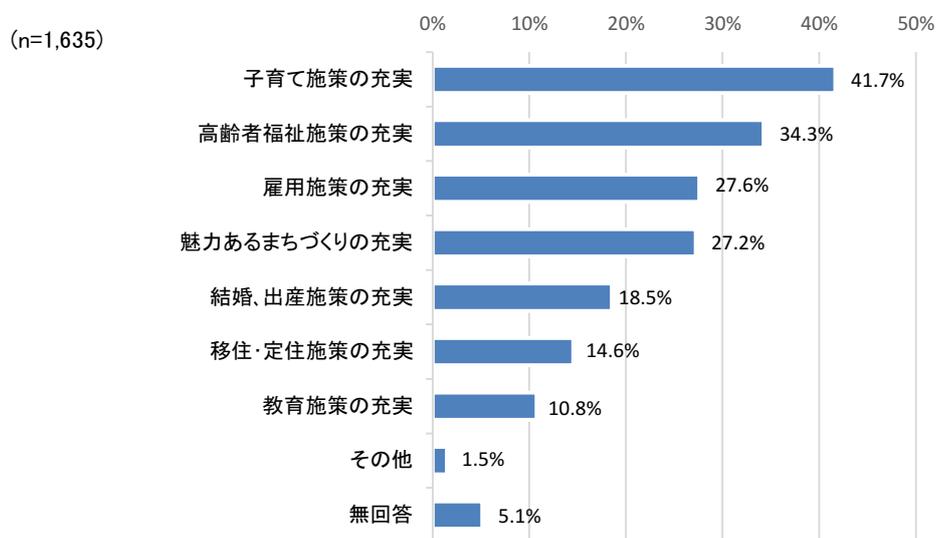
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

2-20. 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと

問 13 人口減少や少子高齢化対策として、今後、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中から2つ以内でお選びください。（〇は2つまで）

- 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいことは、「子育て施策の充実」が41.7%で最も高く、次いで、「高齢者福祉施策の充実」が34.3%、「雇用施策の充実」が27.6%となっている。

図表III-340 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（MA）



注) 項目は数値の高い順に整列

■ その他回答の主な意見

- ・ 高齢者の自立支援
- ・ 誰もが出産・育児をできる環境づくり
- ・ 観光地の充実 等

(1) 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいことの属性別クロス集計

① 年齢階層別人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと

- 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいことについて、年齢階層別に見ると、30～39歳で「子育て施策の充実」が59.9%と最も高くなっている。
- 16～19歳では、「結婚、出産施策の充実」が最も高くなっている。
- 20～29歳、30～39歳、40～49歳では、「子育て施策の充実」が最も高くなっている。
- 50～59歳では、「高齢者福祉施策の充実」が最も高くなっている。
- 60～64歳では、「子育て施策の充実」が最も高くなっている。
- 65～69歳、70～74歳、75歳以上では「高齢者福祉施策の充実」が最も高くなっている。
- 年齢階層が若いほど、「子育て施策の充実」や「結婚、出産施策の充実」が高くなっているが、年齢階層が高いほど、「高齢者福祉施策の充実」が高くなっている。

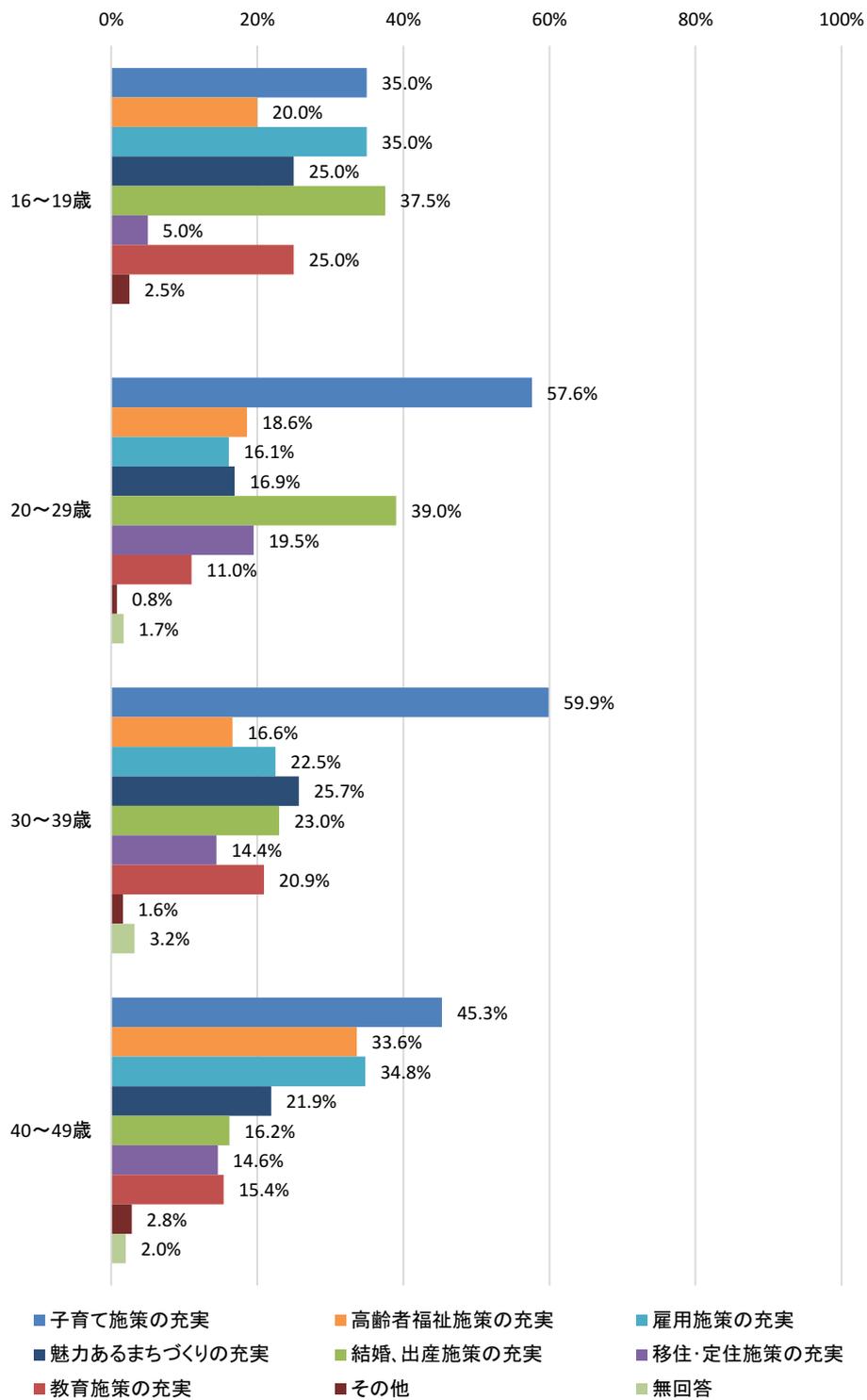
図表III-341 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと(年齢階層別、数値は%) (MA・SA)

		Q13 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと				
		子育て施策の充実	教育施策の充実	結婚、出産施策の充実	移住・定住施策の充実	雇用施策の充実
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	35.0	25.0	37.5	5.0	35.0
	20～29歳 (n=118)	57.6	11.0	39.0	19.5	16.1
	30～39歳 (n=187)	59.9	20.9	23.0	14.4	22.5
	40～49歳 (n=247)	45.3	15.4	16.2	14.6	34.8
	50～59歳 (n=244)	36.1	10.7	11.5	17.2	31.6
	60～64歳 (n=143)	42.7	9.8	13.3	5.6	33.6
	65～69歳 (n=177)	43.5	5.1	13.6	14.1	27.7
	70～74歳 (n=176)	30.1	5.7	14.2	18.8	28.4
	75歳以上 (n=257)	32.3	5.4	19.5	13.6	20.6

		高齢者福祉施策の充実	魅力あるまちづくりの充実	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	20.0	25.0	2.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	18.6	16.9	0.8	1.7
	30～39歳 (n=187)	16.6	25.7	1.6	3.2
	40～49歳 (n=247)	33.6	21.9	2.8	2.0
	50～59歳 (n=244)	40.2	27.5	0.8	4.1
	60～64歳 (n=143)	41.3	30.1	2.1	2.8
	65～69歳 (n=177)	44.1	27.1	1.1	5.1
	70～74歳 (n=176)	38.1	35.8	0.0	8.0
	75歳以上 (n=257)	40.9	32.7	1.6	9.7

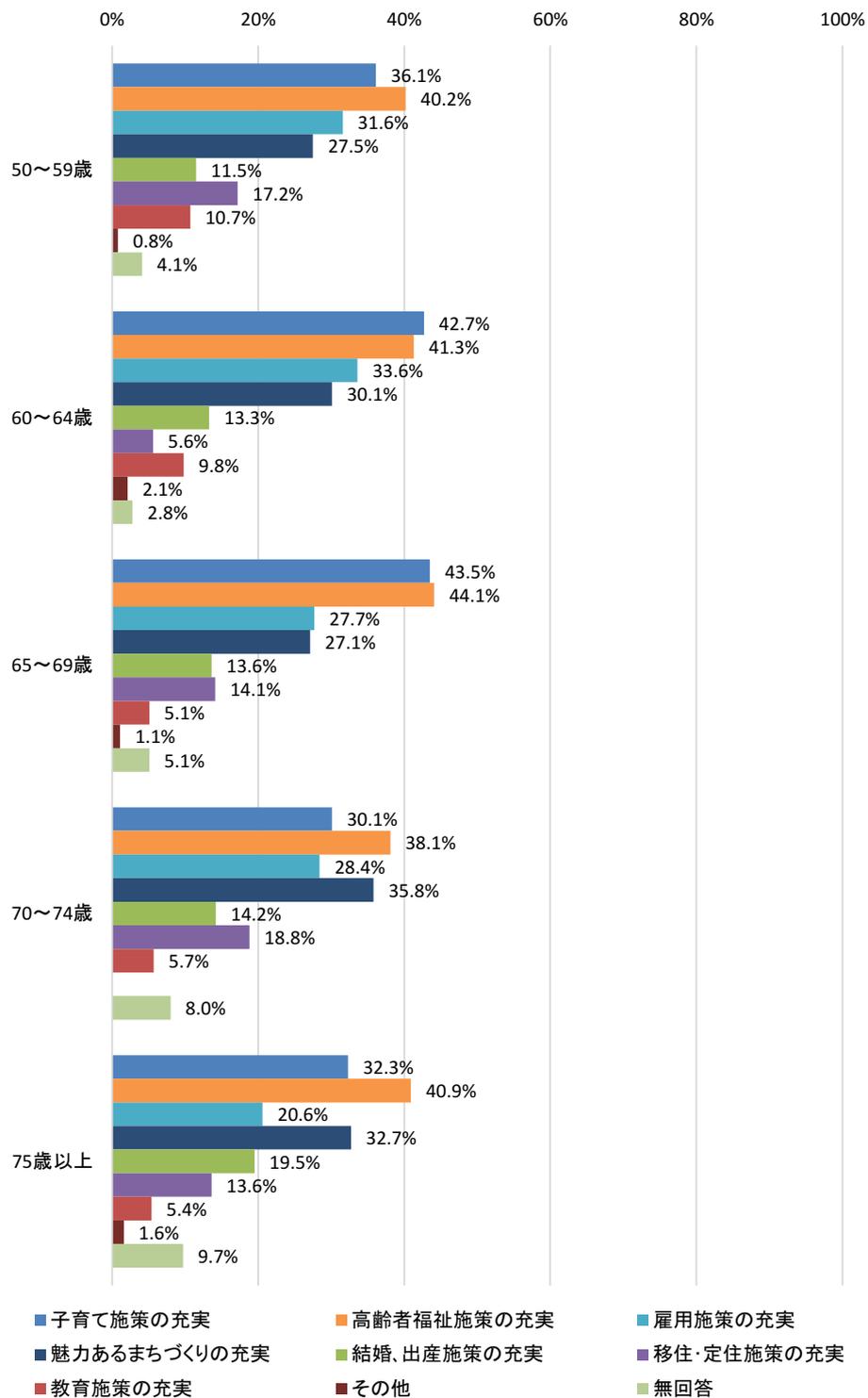
注) 項目は調査順に整列。

図表III-342 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-343 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

② 居住地区別人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと

- 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいことについて、居住地区別に見ると、中央区で「子育て施策の充実」が43.4%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域の全てで「子育て施策の充実」が最も高くなっている。
- 居住区、地域において、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-344 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと(居住地区別、数値は%) (MA・SA)

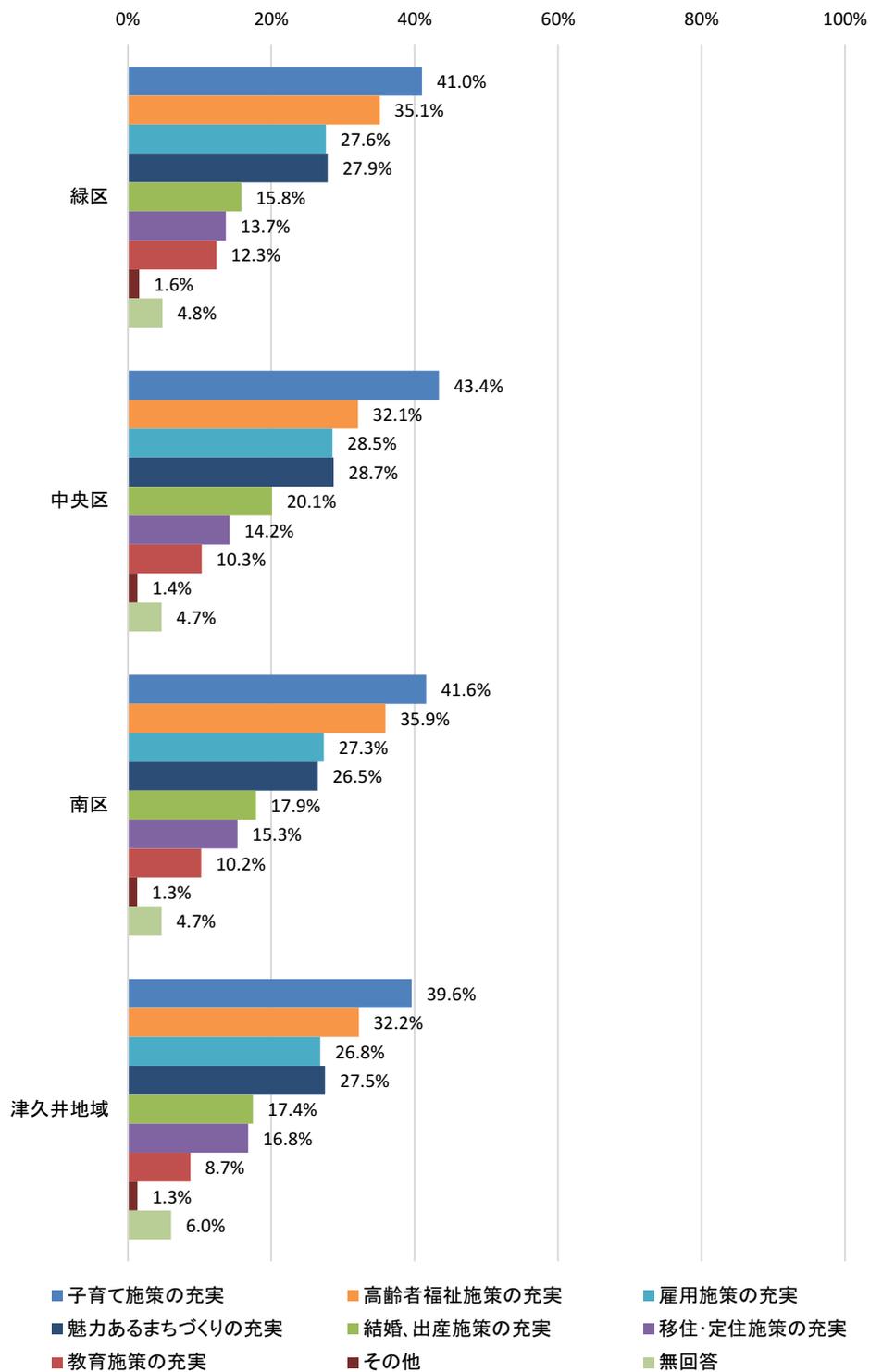
		Q13 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと				
		子育て施策の充実	教育施策の充実	結婚、出産施策の充実	移住・定住施策の充実	雇用施策の充実
F8 居住地域	緑区 (n=373)	41.0	12.3	15.8	13.7	27.6
	中央区 (n=592)	43.4	10.3	20.1	14.2	28.5
	南区 (n=615)	41.6	10.2	17.9	15.3	27.3
	津久井地域 (n=149)	39.6	8.7	17.4	16.8	26.8

		高齢者福祉施策の充実	魅力あるまちづくりの充実	その他	無回答
		F8 居住地域	緑区 (n=373)	35.1	27.9
	中央区 (n=592)	32.1	28.7	1.4	4.7
	南区 (n=615)	35.9	26.5	1.3	4.7
	津久井地域 (n=149)	32.2	27.5	1.3	6.0

注) 津久井地域は緑区の内数。

注) 項目は調査順に整列。

図表III-345 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

(2) 人口減少や少子高齢化対策において特に課題だと思うこと別、人口減少や少子高齢化対策で特に力をいれてほしいことのクロス集計

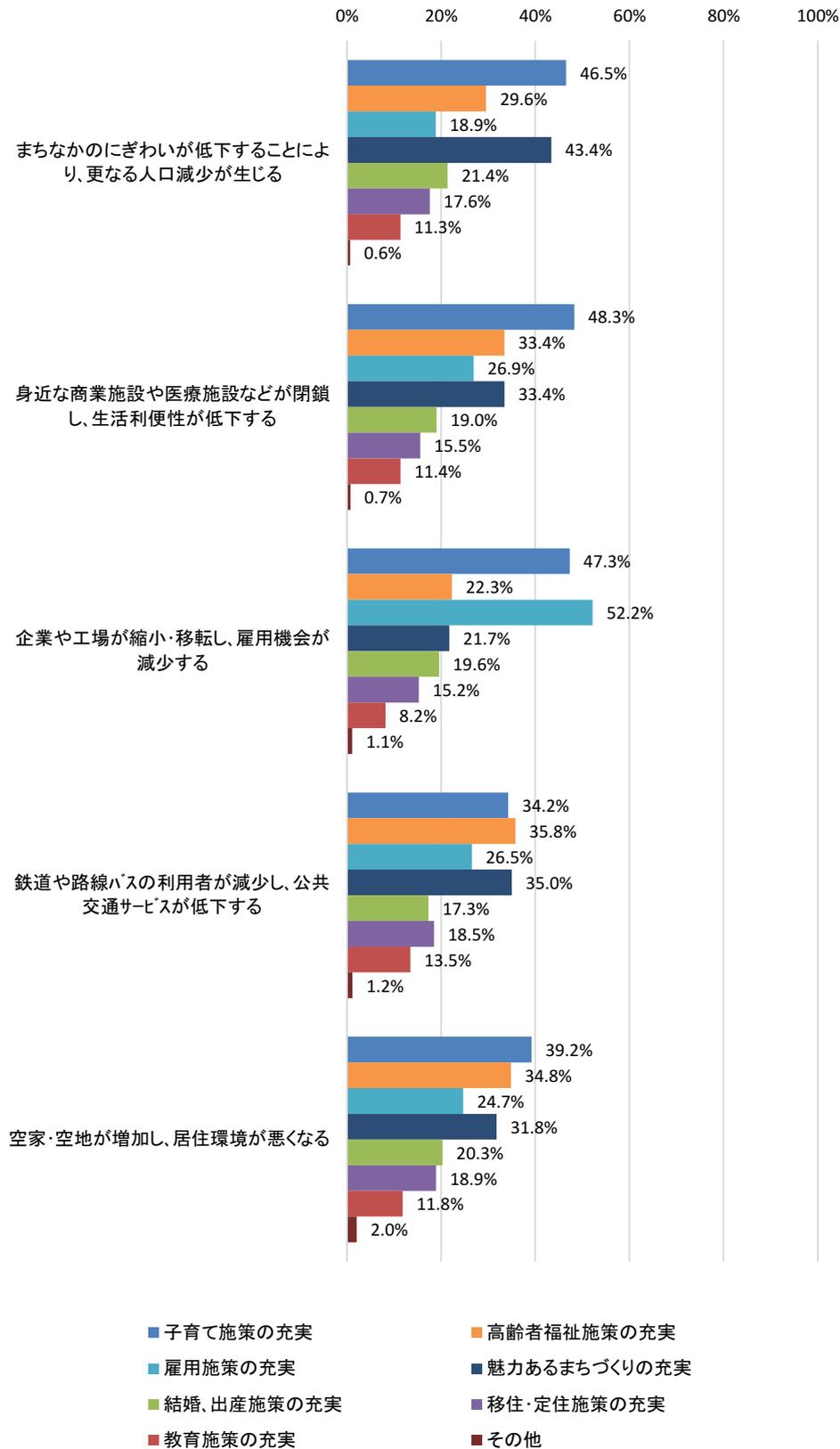
- 人口減少や少子高齢化対策において特に課題と思うこと別に、それらに対して特に力をいれてほしいことについて見ると、「子育て支援施設の減少や子育て支援サービスの低下が生じる」と感じている方で「子育て施策の充実」が77.1%と最も高くなっている。
- 「まちなかのにぎわいが低下することにより、更なる人口減少が生じる」「身近な商業施設や医療施設等が閉鎖し、生活利便性が低下する」「空地・空家が増加し、居住環境が悪くなる」「地域コミュニティの衰退」「道路や公園、上下水道などの維持・更新ができなくなる」「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」「子育て支援施設の減少や子育て支援サービスの低下が生じる」「後継者不足や担い手不足により農地や森林の荒廃が進む」と感じている方では、「子育て施策の充実」が最も高くなっている。
- ほとんどの課題に感じていることにおいて、「子育て施策の充実」が最も高くなっているが、「企業や工場が縮小・移転し、雇用機会が減少する」と感じている方では、「雇用施策の充実が」最も高くなっており、「鉄道や路線バスの利用者が減少し、公共交通サービスが低下する」「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」と感じている方では、「高齢者福祉施策の充実」が最も高くなっているなど、課題に感じていることと特に取り組んでほしいことが対応する傾向もみられる。

図表III-346 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（課題別、数値は%）（MA・MA）

		Q13 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと							
		子育て施策の充実	教育施策の充実	結婚、出産施策の充実	移住・定住施策の充実	雇用施策の充実	高齢者福祉施策の充実	魅力あるまちづくりの充実	その他
Q12 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと	まちなかのにぎわいが低下することにより、更なる人口減少が生じる (n=159)	46.5	11.3	21.4	17.6	18.9	29.6	43.4	0.6
	身近な商業施設や医療施設などが閉鎖し、生活利便性が低下する (n=431)	48.3	11.4	19.0	15.5	26.9	33.4	33.4	0.7
	企業や工場が縮小・移転し、雇用機会が減少する (n=184)	47.3	8.2	19.6	15.2	52.2	22.3	21.7	1.1
	鉄道や路線バスの利用者が減少し、公共交通サービスが低下する (n=260)	34.2	13.5	17.3	18.5	26.5	35.8	35.0	1.2
	空家・空地が増加し、居住環境が悪くなる (n=296)	39.2	11.8	20.3	18.9	24.7	34.8	31.8	2.0
	地域コミュニティが衰退する (n=88)	52.3	13.6	14.8	8.0	27.3	38.6	33.0	1.1
	道路や公園、上下水道などの維持・更新ができなくなる (n=82)	43.9	22.0	23.2	19.5	28.0	24.4	28.0	2.4
	高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる (n=601)	35.4	8.5	16.1	14.5	27.3	55.9	26.0	1.0
	社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる (n=537)	46.9	12.5	20.3	13.4	34.5	33.3	26.6	1.7
	子育て支援施設の減少や子育て支援サービスの低下が生じる (n=140)	77.1	16.4	29.3	10.0	25.0	19.3	14.3	0.7
	後継者不足や担い手不足により農地や森林の荒廃が進む (n=156)	43.6	7.1	25.6	21.8	32.1	23.1	27.6	1.3

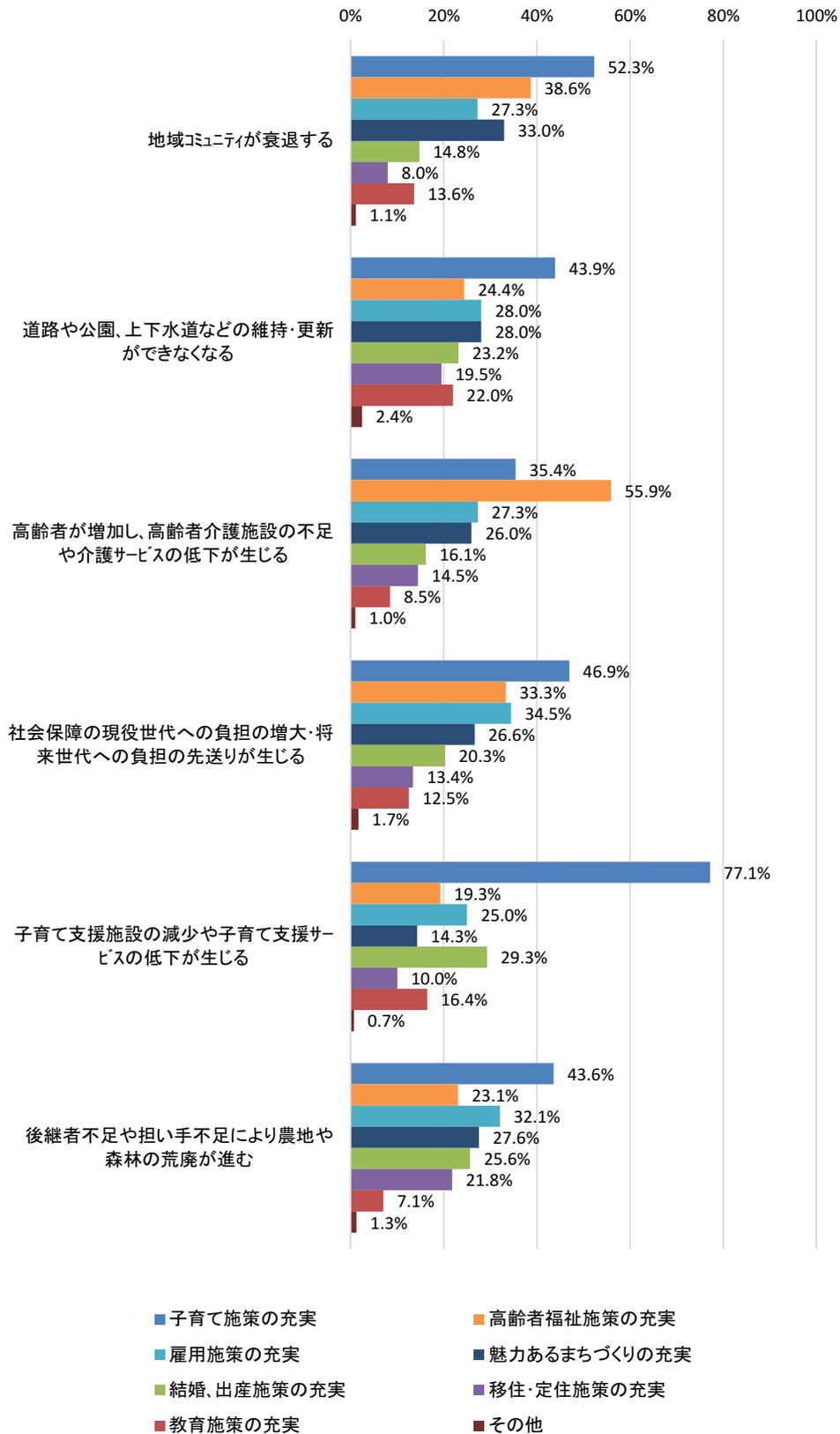
注) 項目は調査順に整列。

図表III-347 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（課題別）（MA・MA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表III-348 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（課題別）（MA・MA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

(3) 今後特に力をいれてほしいこと別、人口減少や少子高齢化対策で特に力をいれてほしいこと

- 今後特に力をいれてほしいこと別に、人口減少や少子高齢化対策で特に力をいれてほしいことについて見ると、今後特に力をいれてほしいことが「子育て支援」で、人口減少や少子高齢化対策で特に力をいれてほしいことが「子育て施策の充実」が74.9%と最も高くなっている。
- また、今後特に力をいれてほしいことが「高齢者福祉」と回答した方で、人口減少、少子高齢化対策で力をいれてほしいこととして「高齢者福祉施策の充実」が最も高く、今後特に力をいれてほしいことが「結婚・出産」と回答した方で、人口減少、少子高齢化対策で力をいれてほしいこととして「結婚、出産施策の充実」が最も高く、今後特に力をいれてほしいことが「雇用対策・勤労者福祉」と回答した方で「雇用施策の充実」が最も高いなど、それぞれの回答者が今後特に力をいれてほしいことと人口減少や少子高齢化対策で特に力をいれてほしいことの両方で同様の考えを持っていることが推察される。

図表III-349 人口減少や少子高齢化対策で特に力をいれてほしいこと
(今後特に力をいれてほしいこと別、数値は%) (MA・MA)

Q10 今後特に力をいれてほしいこと	Q13 人口減少や少子高齢化対策で特に力をいれてほしいこと							
	子育て施策の充実	教育施策の充実	結婚、出産施策の充実	移住・定住施策の充実	雇用施策の充実	高齢者福祉施策の充実	魅力あるまちづくりの充実	その他
高齢者福祉(n=723)	37.2	7.2	16.0	12.3	23.5	55.9	24.3	1.1
障害者・障害児福祉(n=136)	37.5	11.0	14.0	14.7	27.2	44.9	21.3	0.7
保健衛生・医療(n=230)	39.1	11.3	16.1	12.6	28.3	44.3	19.6	1.3
子育て支援(n=374)	74.9	14.4	25.7	12.0	23.3	21.9	16.0	0.5
結婚・出産(n=66)	63.6	1.5	66.7	7.6	18.2	10.6	18.2	0.0
学校教育(n=175)	57.7	36.6	17.7	12.0	23.4	16.0	23.4	0.6
生涯学習(n=72)	44.4	13.9	18.1	13.9	31.9	27.8	30.6	1.4
青少年の健全育成(n=93)	44.1	14.0	20.4	14.0	36.6	24.7	29.0	2.2
人権教育・人権啓発(n=23)	39.1	17.4	21.7	8.7	26.1	26.1	43.5	0.0
男女共同参画・女性活躍(n=20)	50.0	0.0	35.0	0.0	50.0	20.0	25.0	0.0
大気・水質など環境対策(n=68)	44.1	4.4	25.0	17.6	27.9	36.8	23.5	0.0
こみ対策(n=98)	29.6	8.2	23.5	22.4	25.5	35.7	27.6	0.0
自然環境保全(n=186)	46.2	8.1	16.7	17.2	32.3	31.7	32.3	1.1
公園の整備・維持管理(n=90)	47.8	17.8	20.0	13.3	26.7	28.9	26.7	1.1
工業振興(n=26)	46.2	19.2	19.2	19.2	38.5	15.4	26.9	0.0
農業振興(n=17)	47.1	5.9	47.1	11.8	41.2	11.8	23.5	0.0
商業振興(n=57)	29.8	17.5	14.0	24.6	29.8	15.8	43.9	1.8
観光振興(n=39)	35.9	17.9	25.6	12.8	25.6	25.6	38.5	5.1
雇用対策・勤労者福祉(n=141)	31.2	5.7	21.3	10.6	68.8	28.4	19.9	2.1
駅前などの市街地整備(n=134)	35.1	11.9	19.4	18.7	29.1	25.4	38.8	1.5
公共交通(n=397)	35.0	8.8	17.6	17.1	28.5	35.8	31.5	1.8
自動車・自転車対策(n=113)	40.7	8.8	22.1	12.4	30.1	32.7	30.1	0.9
道路の整備・維持管理(n=136)	37.5	6.6	18.4	17.6	29.4	36.8	26.5	3.7
下水道・河川の整備・維持管理(n=52)	28.8	13.5	15.4	21.2	25.0	25.0	34.6	1.9
都市景観(n=39)	43.6	15.4	17.9	17.9	23.1	17.9	38.5	7.7
住宅・住環境(n=97)	33.0	15.5	18.6	15.5	27.8	33.0	32.0	1.0
基地対策(n=89)	42.7	9.0	18.0	16.9	31.5	29.2	33.7	0.0
防犯・交通安全(n=261)	39.5	10.7	18.4	13.8	25.3	36.4	28.4	1.9
防災・消防(n=97)	36.1	6.2	20.6	14.4	33.0	37.1	30.9	1.0
消費者問題(n=38)	31.6	5.3	21.1	18.4	18.4	44.7	23.7	2.6
市民活動(n=30)	40.0	6.7	13.3	16.7	23.3	36.7	36.7	3.3
文化・芸術振興(n=78)	46.2	14.1	19.2	16.7	14.1	32.1	43.6	2.6
スポーツ振興(n=54)	51.9	13.0	16.7	11.1	24.1	33.3	29.6	1.9
市民相談・広報(n=25)	16.0	0.0	0.0	24.0	40.0	52.0	48.0	0.0
国際交流・国際平和(n=35)	42.9	11.4	14.3	20.0	22.9	22.9	48.6	2.9
市民・企業・行政などの協働(n=37)	40.5	5.4	24.3	5.4	43.2	16.2	45.9	2.7
行財政改革(n=51)	43.1	9.8	11.8	19.6	43.1	25.5	33.3	0.0
ICTの活用(n=28)	50.0	10.7	14.3	25.0	25.0	14.3	28.6	0.0
その他(n=24)	25.0	8.3	20.8	25.0	20.8	25.0	20.8	25.0

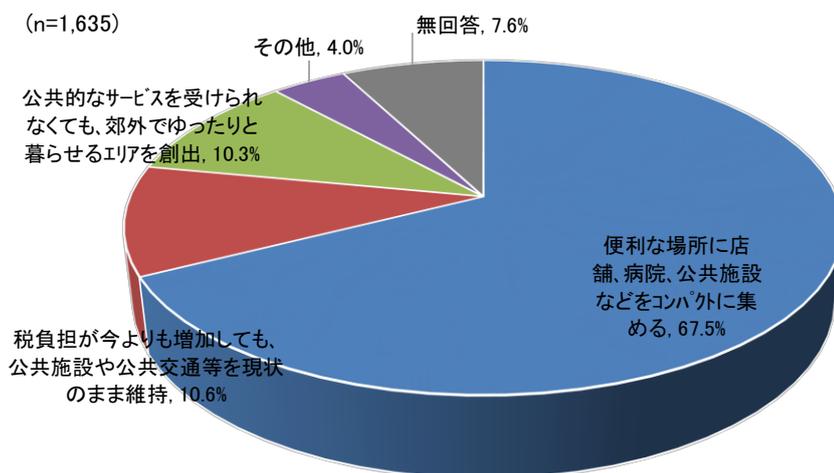
注) 項目数が多いため、グラフは省略。

2-21. 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり

問 14 人口減少や少子高齢化においては、税収の減少や社会保障費の増大等により財政経営が一層厳しくなる一方、一定の人口密度が保てなくなることにより、スーパーなどの商業施設の閉鎖や、これまでの行政サービスの維持が難しくなるなどの課題が考えられる中で、どのような都市づくりを行っていきべきだと思いますか。次の中から1つお選びください。(○は1つだけ)

- 人口減少や少子高齢化において行っていくべき都市づくりは、「便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める」が67.5%で最も高く、次いで、「税負担が今よりも増加しても、公共施設や公共交通等を現状のまま維持」が10.6%、「公共的なサービスを受けられなくても、郊外でゆったりと暮らせるエリアを創出」が10.3%となっている。

図表III-350 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり (MA)



■ その他回答の主な意見

- ・ 施設、サービスなどの無駄を省く
- ・ 公平性を重視したサービスの提供
- ・ 他地域との連携 等

(1) 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくりの属性別クロス集計

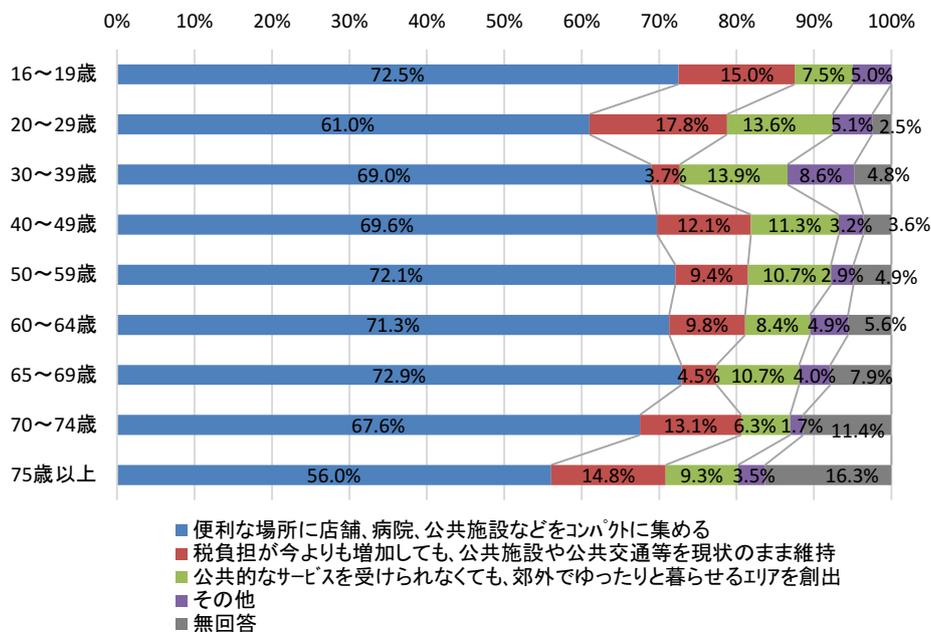
① 年齢階層別人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり

- 年齢階層別に人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくりについて見ると、65～69歳で「便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める」が72.9%で最も高くなっている。
- 全ての年齢階層において、「便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める」が最も高くなっている。
- 年齢階層において、顕著な傾向の差は見られない。

図表III-351 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり（年齢階層別、数値は%）（SA・SA）

		Q14 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり				
		便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める	税負担が今よりも増加しても、公共施設や公共交通等を現状のまま維持	公共的なサービスを受けられなくても、郊外でゆったりと暮らせるエリアを創出	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	72.5	15.0	7.5	5.0	0.0
	20～29歳 (n=118)	61.0	17.8	13.6	5.1	2.5
	30～39歳 (n=187)	69.0	3.7	13.9	8.6	4.8
	40～49歳 (n=247)	69.6	12.1	11.3	3.2	3.6
	50～59歳 (n=244)	72.1	9.4	10.7	2.9	4.9
	60～64歳 (n=143)	71.3	9.8	8.4	4.9	5.6
	65～69歳 (n=177)	72.9	4.5	10.7	4.0	7.9
	70～74歳 (n=176)	67.6	13.1	6.3	1.7	11.4
	75歳以上 (n=257)	56.0	14.8	9.3	3.5	16.3

図表III-352 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり（年齢階層別）（SA・SA）



② 居住地区別人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり

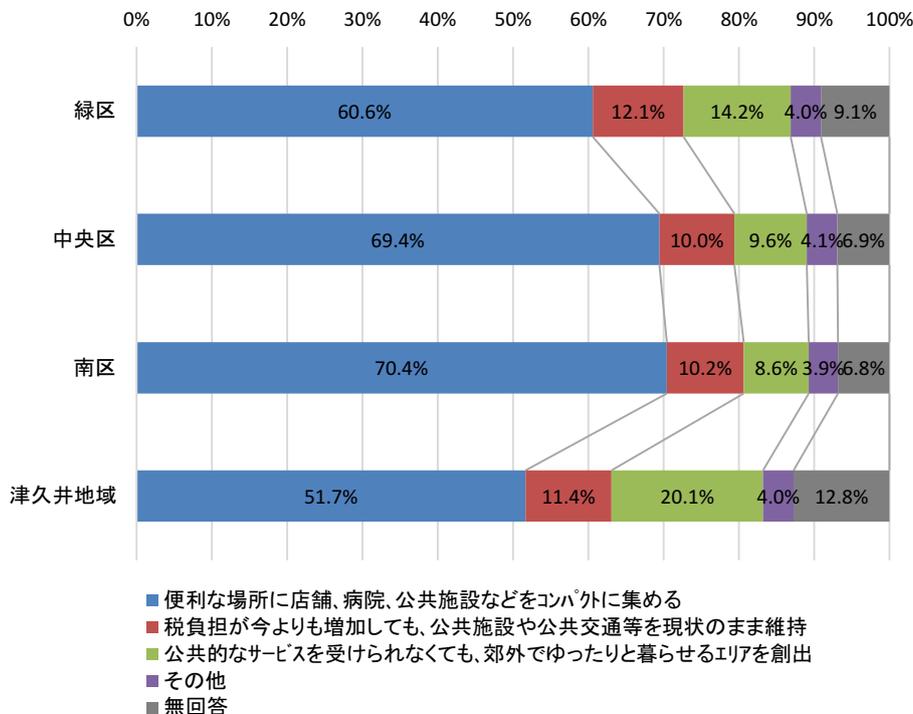
- 居住地区別に人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくりについて見ると、南区で「便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める」が70.4%と最も高くなっている。
- 緑区、中央区、南区、津久井地域全ての地区において、「便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める」が最も高くなっている。
- 津久井地域において、「公共的なサービスを受けられなくても、郊外でゆったりと暮らせるエリアを創出」が他区と比較してやや高い傾向が見られる。

図表III-353 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり（居住地区別、数値は%）（SA・SA）

		Q14 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり				
		便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める	税負担が今よりも増加しても、公共施設や公共交通等を現状のまま維持	公共的なサービスを受けられなくても、郊外でゆったりと暮らせるエリアを創出	その他	無回答
F8 居住地域	緑区 (n=373)	60.6	12.1	14.2	4.0	9.1
	中央区 (n=592)	69.4	10.0	9.6	4.1	6.9
	南区 (n=615)	70.4	10.2	8.6	3.9	6.8
	津久井地域 (n=149)	51.7	11.4	20.1	4.0	12.8

注) 津久井地域は緑区の内数。

図表III-354 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり（居住地区別）（SA・SA）



(2) 人口減少や少子高齢化において行っていくべき都市づくり別、人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うことのクロス集計

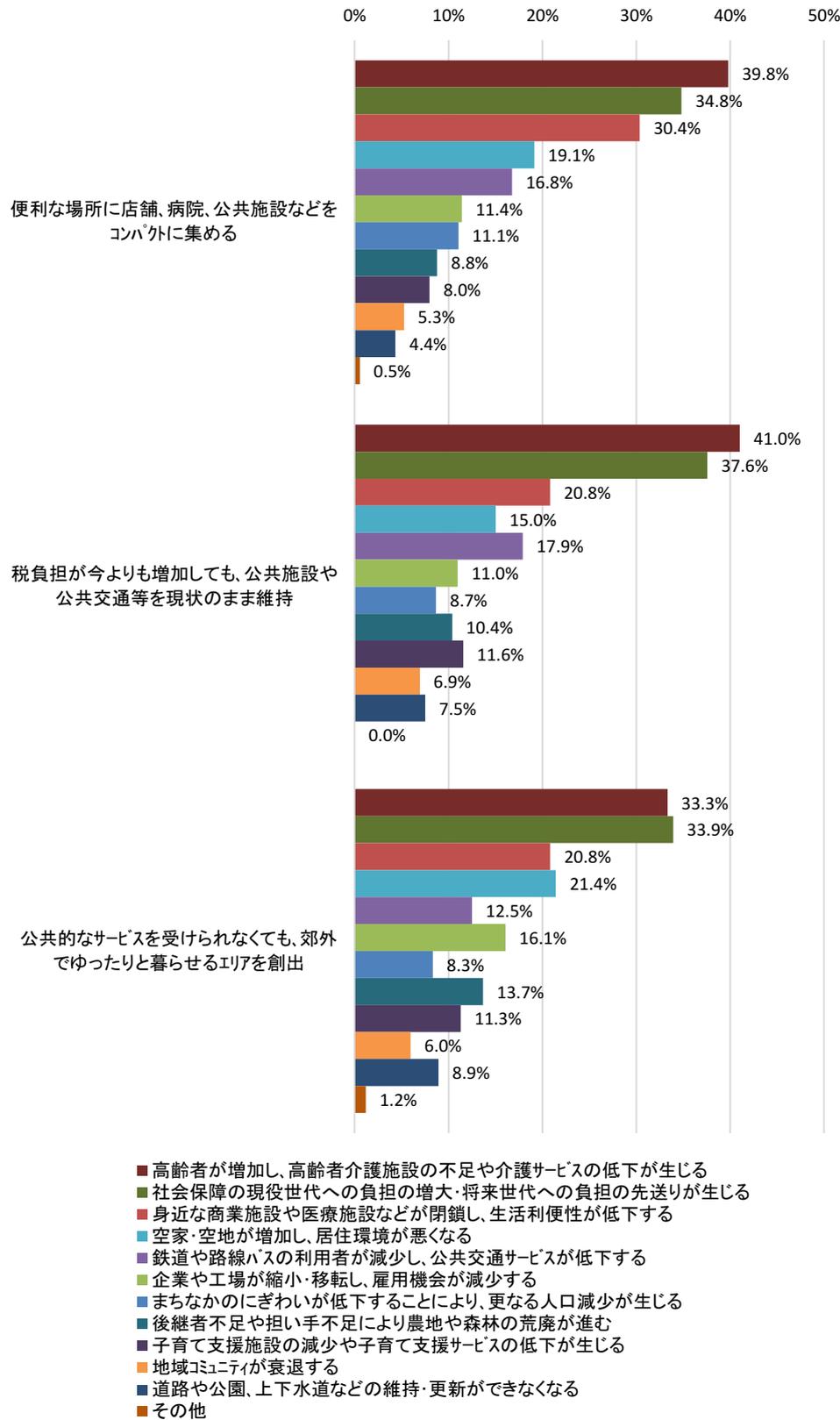
- 人口減少や少子高齢化において行っていくべき都市づくり別に、人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うことについて見ると、「税負担が今よりも増加しても、公共施設や公共交通等を現状のまま維持」で「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」が41.0%と最も高くなっている。
- 「便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める」「税負担が今よりも増加しても、公共施設や公共交通等を現状のまま維持」する都市づくりを行っていきべきだと思っている方では、「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足」「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」「身近な商業施設や医療施設などが閉鎖し、生活利便性が低下する」ことを課題に思っている方が多い。
- 「公共的なサービスを受けられなくても、郊外でゆったりと暮らせるエリアを創出」する都市づくりを行っていきべきだと思っている方では、「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足」「空家・空地が増加し、居住環境が悪くなる」ことを課題に思っている方が多い。

図表III-355 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（行っていくべき都市づくり別、数値は%）（MA・SA）

		Q12 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと						
		まちなかの にぎわいが 低下すること により、更 なる人口減 少が生じる	身近な商業 施設や医 療施設など が閉鎖し、 生活利便 性が低下 する	企業や工 場が縮小・ 移転し、雇 用機会が 減少する	鉄道や路 線バスの利 用者が減 少し、公共 交通サービ スが低下す る	空家・空地 が増加し、 居住環境 が悪くなる	地域コミュニ ティが衰退 する	道路や公 園、上下水 道などの維 持・更新が できなくな る
Q14行っ ていくべき都市 づくり	便利な場所に店舗、病院、 公共施設などをコンパクトに 集める (n=1103)	11.1	30.4	11.4	16.8	19.1	5.3	4.4
	税負担が今よりも増加して も、公共施設や公共交通等 を現状のまま維持 (n=173)	8.7	20.8	11.0	17.9	15.0	6.9	7.5
	公共的なサービスを受けられ なくても、郊外でゆったりと 暮らせるエリアを創出	8.3	20.8	16.1	12.5	21.4	6.0	8.9
		高齢者が 増加し、高 齢者介護 施設の不 足や介護 サービスの低 下が生じる	社会保 障の現役 世代への 負担の増 大・将来 世代への 負担の先 送りが生 じる	子育て支 援施設の 減少や子 育て支援 サービスの 低下が生 じる	後継者不 足や担い 手不足に よる農地 や森林の 荒廃が進 む	その他	無回答	
Q14行っ ていくべき都市 づくり	便利な場所に店舗、病院、 公共施設などをコンパクトに 集める (n=1103)	39.8	34.8	8.0	8.8	0.5	5.6	
	税負担が今よりも増加して も、公共施設や公共交通等 を現状のまま維持 (n=173)	41.0	37.6	11.6	10.4	0.0	4.7	
	公共的なサービスを受けられ なくても、郊外でゆったりと 暮らせるエリアを創出 (n=168)	33.3	33.9	11.3	13.7	1.2	7.4	

注) 項目数が多いため、グラフは省略。

図表III-356 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（行っていくべき都市づくり別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整理

3 相模原市の市政や次期総合計画の策定についての意見・要望

図表III-357 自由回答意見の分野別意見数

分野	意見数	分野	意見数
高齢者福祉	50	合併に関すること	12
障害者福祉	13	下水道	1
子育て支援	50	都市景観	1
子供の貧困対策	5	公共交通(鉄道・バス)	69
青少年の健全育成	5	道路環境整備	52
少子高齢化に関すること	6	リニア高速新幹線に関すること	19
医療	11	交通安全	12
健康	5	バリアフリー	3
学校教育	18	住宅・住環境	20
生涯学習	5	基地対策	18
スポーツ	10	防犯・治安	16
文化	3	防災・消防	12
大気・水質などの環境対策	1	国際交流・人権・平和	5
ごみ・公害対策	21	行政改革の推進	48
水とみどりの保全	18	情報発信・市民相談	16
獣害対策	5	市民・企業・行政などの協働	15
公園	11	市民活動	8
工業振興・産業支援	7	公共施設	15
都市農業・林業振興	4	税負担	13
観光振興	3	生活保護	5
雇用・勤労者福祉	7	職員の資質に関すること	7
商業振興	5	アンケートに関すること	21
市街地整備	30	その他	45
土地利用	16		

3-1. 高齢者福祉

■主な意見

- ・健康寿命も伸びる中、健康で元気な高齢者をもっと活用する策を考えるべき。
- ・高齢化していく中でも働いて生活をできる雇用を作ってほしい。
- ・介護施設が充実した都市づくりをすべきである。
- ・介護現場は人手不足である。
- ・今後、年金での生活が厳しく、医療、介護のことが不安。今の状態では、老人ホームにも入所が出来ない。
- ・高齢者にはバスの割引・無料券があれば外出しやすくなる。
- ・高齢化に伴い、外出時の交通手段が心配。バスの本数の確保、コミュニティバス等、歩ける高齢者が外出する機会を担保してほしい。
- ・東京都の高齢者は無料バスで交通費を使わずに外出出来るので、映画館、美術館、ショッピングなど気軽に外出し、楽しんでいる。
- ・高齢者が増えるので、介護施設の充実した都市づくり。
- ・中核病院や介護施設などが手軽に利用出来れば良い。

3-2. 障害者福祉

■主な意見

- ・悲しく辛い事件が二度と起きないように、障害児者のことを正しく理解し、共に生きることが当たり前の中になる様、学校での教育だけでなく、社会人に対しても周知活動を徹底すべき。
- ・弱者を助けることを第一としてほしい。
- ・障害を持つ子供が1人でも自立していけるサポートを作っていただきたい。
- ・社会的弱者が利用できる場所の充実。
- ・市の社会福祉制度が県内他市に比べて遅れている点が時々見受けられる。
- ・車いすでも安全に移動できる様に、改善をお願いします。
- ・障害者にとって、やさしい相模原にして下さい。
- ・生涯を通じて相談できる軸となる場所と、教育・福祉・医療の3つをとりまとめしていただけることを痛切に望む。
- ・少数派で困っている人々にも手を差しのべていただきたい。
- ・子育て環境の充実 障害のある（軽度）子に対して、小学校・中学校での先生への教育・環境整備。

3-3. 子育て支援

■主な意見

- ・子育てしやすい町になれば人口減少にも歯止めがかかる。
- ・幼稚園児がいる家庭への補助金が少ない。
- ・保育園の充実。
- ・一時保育の受け入れ体制を整えてほしい。
- ・助成金の拡大など対応が遅い。他市のように子育てに力をいければ、移住する人が増えるだろう。
- ・女性の子育てと仕事の両立等のシステムが求められる。
- ・子育て中の親が、助けて欲しい時に助けてもらえる、安心できる子育て支援サービス。
- ・子育て教育の推進。親の自覚や責任感を持っていないと思われる人が目立つ。
- ・子供の医療費無償化の年齢上限を引き上げてほしい。
- ・親の収入に限らず子どもは同じように支援されて育っていくべきだと思います。

3-4. 子供の貧困対策

■主な意見

- ・貧困家庭が年々増加の傾向にあり、家庭での学習にも差が生まれている。子ども教育はとても大切である。
- ・教育にも無利子の奨学金があれば良い。
- ・子どもの貧困には特に意識して取り組んでほしい、貧困は連鎖する上、町の治安にも影響する。早期に貧困を断ち切ることが求められる。
- ・子どもはたくさんほしいが、教育費の心配によって断念する家族も多いだろう。
- ・低所得家庭の子どもたちが、差別なく教育を受けられるようにサポートしてほしい。

3-5. 青少年の健全育成

■主な意見

- ・学童の期間を義務教育期間中まで伸ばしてほしい。
- ・相模原市立の高等学校の開設を望む。
- ・親子でコミュニケーションを取るために、スポーツ、学習、遊び、授業を通して道徳を得ることが必要。
- ・性に対する正しい知識や常識として周知をさせるべき。

3-6. 少子高齢化に関すること

■主な意見

- ・高齢者に対する対策は十分出来ていると思うため、子供たちの教育・育成を考慮すべき。
- ・市の少子高齢化問題に関する対策・対応の行動が遅い
- ・市政から県政・国政へとより具体的な策を提示すべき。
- ・少子高齢化の進行に向けて、優先順位を見極めて早急に対応して欲しい。
- ・山間部の人口減少をくい止めないと、市街地との格差が広がっていく。
- ・少子化対策と高齢化対策のバランスを考慮すべきである。
- ・少子高齢化を防ぐため、雇用対策、共働きしやすい環境作り、医療施設の充実、利便性など若者～高齢者が生活しやすく誰もが働きやすい環境作りを行ってほしいです。
- ・他の自治体よりも先手を打って、取組を始めるべき。
- ・少子高齢化で日本がどのようになるのか、国民全員が不安を抱えている。
- ・一人でも多くの人が相模原市に永く住みたいと思う市であって欲しいと願います。

3-7. 医療

■主な意見

- ・高度先進医療に取り組み、それに伴う技術の促進をになう企業の創設を行うことにより、相模原市のブランド化を図る。
- ・病院の待ち時間を減らすなど、かかりつけ医の充実に取り組んでほしい。
- ・夜間診療を増やしてほしい。
- ・医療費圧縮の徹底をすべき。
- ・高齢になり医療費負担が軽減される医療社会が出来ますことを希望します。
- ・医療機関と市政の連携によって、サポート力のある地域を形成すること。
- ・子供の医療を充実してほしい。
- ・不妊治療支援が少ないため、少子化対策としても導入すべき。
- ・医療・保健福祉施設の整備
- ・中学生の医療費助成の延長

3-8. 健康

■主な意見

- ・健康長寿都市をめざして、他自治体の成功例を取り入れる。
- ・スマートウェルネスシティの取組を加速すべき。
- ・健幸ポイント制度の継続を希望する。
- ・病院に行かないよう、運動やスポーツ、ストレッチなど、誰でもできるようなことをして、医療費負担を減らす。

3-9. 学校教育

■主な意見

- ・未来を作る子供たちのために、教育現場への予算増を望みます。
- ・質の良い教員を養成するためのシステムを構築すべき。
- ・教育予算の少なさを感じる。
- ・学力状況調査の結果は全国に発信されており、イメージダウンにつながる。
- ・学校給食の質の向上。
- ・小中学校の老朽化も非常に気になる。
- ・小学校のトイレもきれいにしてほしい。
- ・少子化による小・中・高等学校の閉鎖に関する対策はあるのか。
- ・学生獲得競争も激化し、若者も都心へ流れている。教育・スポーツ面に力を入れ、若者が学べる場所を広げてほしい。
- ・義務教育内容が旧態依然であり、質の向上が必要。

3-10. 生涯学習

■主な意見

- ・文化・社会教育施設を整理・統合するべき。祭りも合併後から見直しがされておらず、財政の無駄だと考える。
- ・博物館、図書館、美術館の充実。
- ・図書館へのアクセスが悪いため他市の図書館を利用している。誰もが利用できるような施設を目指すことが大切。
- ・公民館の利用において、利用料金が高額になりそうで、高齢者の生涯学習の場が失われる。
- ・高齢者が生き生きと活用できるように、学校施設の開放や空き家の活用等を増やしてほしい。

3-11. スポーツ

■主な意見

- ・室内スポーツ施設の充実や、学校の体育館の開放をしてほしい。
- ・市立体育館の運営を時間割にする等の効率化。
- ・高齢者の健康維持のために、運動する場が必要。
- ・高齢者によるスポーツ施設の利用だけでなく、施設運営などでも活動できると良い。
- ・緑区の自然を生かしたスポーツ施設がほしい。
- ・サッカー場にお金をかけている場合ではないと思う。
- ・スポーツチームを支援し、強いチームを作ってほしい。
- ・スポーツ施設等、外からも人が集まれる様な場所をつくる。
- ・駅に近い便利な場所に競技場をつくれなだろうか。
- ・市民のための運動施設を充実させてほしい。

3-12. 文化

■主な意見

- ・ イベントやお祭り等の企画を増やして盛り上げていくべき。
- ・ イベント企画は魅力的。
- ・ お祭りなどの行事は住宅街ではなく学校等の広場空間でやれるとよい。

3-13. 大気・水質などの環境対策

■主な意見

- ・ 大気汚染の原因解明や対策。

3-14. ごみ・公害対策

■主な意見

- ・ ごみの分別の細分化、収集方法・場所等の改善してほしい。
- ・ ごみの個別収集化。
- ・ ごみ回収を有料にしてもいいので、自宅前回収にしてほしい。
- ・ ごみの回収日が減ったことで、街にごみがあふれている。
- ・ ごみの山が回収されずカラスに荒らされているところを多く見かけるようになった。
- ・ 圏央自動車道路、相模原インターの出口にごみが目立つ。
- ・ 清掃工場から異臭が漂っている。
- ・ ペットの糞公害をなんとかしてほしい。
- ・ 歩きたばこや路上喫煙等を条例で禁止してほしい。
- ・ 喫煙、禁煙場所の徹底。

3-15. 水とみどりの保全

■主な意見

- ・ こもれ日の森の存在価値を高めた方がよい。
- ・ 自然は良いが、獣害等の対応が進まず、住みにくい自然になっている。
- ・ 自然環境を生かした環境の保全。
- ・ 魅力ある自然の整備。
- ・ 公園や緑道などが充実しており魅力的。
- ・ 都市部にはないちょうど良い自然環境がある相模原市が好きである。
- ・ 緑地はできるだけ残したい。
- ・ 広々とした公園も良いが、樹木が少なく緑の風を感じない。
- ・ 里山を多く残して環境美化をしてほしい。
- ・ 市民緑地が減少している。地域のうるおいのためにも支援の検討をお願いします。

3-16. 獣害対策

■主な意見

- ・外来生物対策がされているが、被害が続いている。
- ・カラスが多い。
- ・ハチ、毛虫、蛾等の対策が必要。
- ・イノシシ・シカ・クマ等による農作物被害が大きい。

3-17. 公園

■主な意見

- ・道路や公園の都市基盤の整備
- ・老朽化した公園は整備し、きれいな公園がたくさんある街が見たい。
- ・子どもが安心して遊べる公園などの充実。
- ・遊具の更新が必要。
- ・ボールを使える公園を増やしてほしい。
- ・公園や緑地がマンションや住宅に変わってしまい、子供たちの遊び場が縮小されていくことを懸念している。
- ・子育てできる公園が近くにない。
- ・市街地の中や公園にもトイレの設置を増やしていただきたい。
- ・南区には小さい公園が多くあり、散歩等で利用できている。

3-18. 工業振興・産業支援

■主な意見

- ・中小企業が新人育成できるよう支援すること。
- ・大都市圏にふさわしい優良企業の誘致。
- ・東京都という大都市圏にありながら、独立した産業基盤を築き、雇用を創出する事で、若い世代の定住を試み、市内の循環サイクルを構築する。
- ・農業・商業・工業が調和した町を望む。
- ・大手企業が縮小、撤退している気がする。
- ・積極的な工場の誘致を行う。

3-19. 都市農業・林業振興

■主な意見

- ・市の資源である近隣を使い、林業による地域経済を生み出すと良い。
- ・農業の後継者育成に力を注ぐ。
- ・広大な土地を利用して農業を盛んにする。
- ・農地を大切にし、新たな里山をつくってほしい。
- ・農作物の直売所がない。

3-20. 観光振興

■主な意見

- ・ 県外からの移住者や海外からの観光者を増やせるような観光地や名物を発明することも大事。
- ・ 若い世代に受けるものを取り入れるべき。
- ・ 他の地域から観光、レジャー等で来る人が少ないので人が集まるようにする方法を考えた方が良い

3-21. 雇用・勤労者福祉

■主な意見

- ・ 年齢問わず働ける場がほしい。
- ・ これから成人する人たちに市内で働く場を多くしてください。
- ・ 職業の確保と安定した雇用形態、年齢に応じた収入がなければ安心して生活できない。
- ・ 若年層の雇用を優先したい。
- ・ 職場と家庭のバランスが大事だと思います。残業はほんとうになくしたい。
- ・ 若者が定着できるような就業などを積極的に取組んでほしい。

3-22. 商業振興

■主な意見

- ・ 都心から近く自然も多いので、道の駅（鉄道の駅近くで）のような市の良さがコンパクトに楽しめる場所があれば、市民も楽しめ、外にもPRになる。
- ・ 商店街のにぎわいに助けを。
- ・ 商店街を発展させてほしい。

3-23. 市街地整備

■主な意見

- ・相模原駅周辺は買物が以前より不便。隣の橋本駅まで出掛けているが、高齢になると日常の買物に不安を感じる。
- ・買物に便利な商店がほしいです。普段使用できる衣料品店がほしいです。年々年をとると買物難民になりつつあります。
- ・工業団地を作って、工場を誘致する計画あるようですが、進捗が目に見えない。
- ・駅前整備、米軍基地活用と併せ「ゆとりのある整備」を望む。
- ・相模原駅周辺にマンションが建ちすぎていて、ショッピング施設が少なくなっている。
- ・駅周辺にもう少し大きなデパートなどの施設があれば良い。
- ・駅まわりの再開発に道路の整備が伴っていない。
- ・再開発には十分な計画を。
- ・相模原駅前のバスと一般道が煩雑で、車等の警笛音が絶えない。駅前整備、米軍基地活用と併せ「ゆとりのある整備」を望む。
- ・相模原市は大きすぎて、にぎやかな街とそうでない街の差が激しいなと思いました。古い駅ももう少しキレイにして魅力的な街の入口になればいいなと思います。

3-24. 土地利用

■主な意見

- ・相模原市は広くなり、地域により格差がみられる。
- ・郊外に対して、道路・河川など整備又は過疎地対策に力を入れて頂きたい。
- ・相模原市が今まで以上に大きな市になったことで違和感があります。南区の大和市、町田市、横浜市、座間市に隣接している地域に住んでいる者にとっては中央区など、必要以上に広い道路や歩道がムダに感じます。
- ・駅のまわりだけでなく、少し離れた所にも目を向けて開発してほしい。
- ・各区中心部近辺へ施設やサービス機能を集約すること、及び住民とその周辺へ移転するインセンティブを与える施策を望む。
- ・農地が宅地化され若い人が増えている。
- ・住宅が購入できる若者が増えつつあるので、調整区域を試しに減らしてみたらどうか。
- ・相模原道の駅があればと思います。
- ・固定資産税があまりにも高額な為、親から土地を受け継ぐ事が非常に大変です。
- ・緑区の橋本と南区の相模大野付近のみ発展していて、中心部である中央区に活気がない。

3-25. 合併に関すること

■主な意見

- ・市町村合併のメリットが感じられず、駅近に公共施設が欲しい。現状は遠くて不便です。
- ・合併してから住みにくくなりました。市のすみずみまでの事、考えていただけなかったり、私達も市民として市の内容が良くつかめません。
- ・相模原市は合併してから負担が増え、メリットがないように感じられる。元の郡の状況を見ると、今後ますます負担が増えそうな気がする。
- ・合併したのだから津久井の自然をもっとアピールすべき。
- ・政令指定都市として、はずかしくない都市づくりをしっかりとやって欲しい。
- ・政令都市への移行に伴い、南区・中央区・緑区に区分けされたが、各々でも活動は落ちているように見えるが、三つの区間の交流を図るような統一感があまりないように感じられる。
- ・期待を持って合併に賛成しましたが、生活の利便性は市内又、市内付近ばかりのように感じます。
- ・合併後、緑区・旧津久井地区は取り残されている。
- ・旧津久井郡で合併後、空家・空地が多くなったと思います。
- ・津久井地区のハード面の政策がH18年の合併以来遅れている。

3-26. 下水道

■主な意見

- ・記録的な大雨により下水で処理出来ない雨水により冠水被害があり、下水道・浄化槽の整備・強化してほしい。

3-27. 都市景観

■主な意見

- ・駅前に狭小高層ビルが乱立し、景観が悪い。近所のスーパー等が閉鎖し、跡地に高層マンションがどんどん建つが、街としての計画性がないように見え、規制をかけて整備できないか。

3-28. 公共交通（鉄道・バス）

■主な意見

- ・市営バスの経路・本数を増やしてほしい。
- ・小田急線延伸の早期実現。
- ・バスの本数が減り、車が必要になってきているが、高齢者には免許返納を促進し、その分、ワンコインタクシー等の利便性を高めてほしい。
- ・南区から緑区方面への公共交通手段が不便である。コミュニティバスの運行や市立病院をつくるといった施策はないだろうか。
- ・交通不便地域にはコミュニティバスの運行を検討してほしい。
- ・自転車シェアリングを導入してはどうか。
- ・公共交通サービスが充実していない。
- ・旧津久井地区は鉄道の駅がなく、皆車の移動を余儀なくされ、駅まで行っても駐車場探しも大変で、生活負担の増加となっています。リニアの整備工場ができるのであれば、ここに地元の人達が利用できる駅の併設をお願いしたい。
- ・淵野辺など利用者数が多いにもかかわらず大雪などで JR 横浜線が止まると身動きが取れなくなる。路線バス「だけ」に頼らず地下鉄などを整備するなどの計画を
- ・LRT（次世代路面システム）の早期導入。

3-29. 道路環境整備

■主な意見

- ・市中心部の渋滞の解消に本腰を入れてもらいたい。
- ・自転車専用道路の整備と交通マナーの向上を進めてほしい。
- ・山間地に住んでいますが、政令都市になってから、国道の整備がされなくなった気がする。
- ・圏央道の開通によって IC 付近が渋滞している。
- ・街路灯の少なさ、白線の不整備が目立つ。
- ・市道の幅が狭く、歩道が整備されていない。
- ・道路などのインフラは新設を控え、既設の維持管理に注力を。
- ・安全は全てに優先するので、道路表示の再整備にもっと費用を使用してほしい。
- ・歩道が狭く、車道との段差もあり、そこを子供達が自転車で走っているのをいつもハラハラして見えています。大変危険だと思います。
- ・スムーズな企業活動ができるためにも、幹線道路である国道 16 号や 129 号線の渋滞の解消策の推進。

3-30. リニア高速新幹線に関すること

■主な意見

- ・リニアに予算をたくさん使い、公共に対する予算（福祉・子育て etc）が削られている。
- ・リニア整備は相模原にとって費用対効果が悪い。
- ・リニア新幹線は不要。
- ・リニア乗り入れにより、市が今後右肩上がりで発展して行けるかどうか現時点では疑問に感じます。
- ・リニア開業にあわせた都市づくり。
- ・橋本新リニア駅と圏央道のスムーズな通行
- ・リニア開通等に伴う再開発では、なるべく一般市民の意見も取り入れて欲しい。
- ・相模原市にリニアモーターカーが停まってくるので、東京集中の政治・経済を分担できる都市になって貰いたい。
- ・リニア駅のあるハブ都市と津久井地区などの自然を守り、活用する都市の両立。
- ・リニア開通でより良い町になるようにこれからもがんばって下さい

3-31. 交通安全

■主な意見

- ・歩道がない所が有り、大型車など頻繁に通リ、雨降りの時などは傘を差すのもやっとの状態です。
- ・南部地区は道路が狭く、交通事故が多くなると考えられる。
- ・市道の歩道が未整備で危険である。
- ・大きい駅周辺ばかりが整備され、それ以外の道路・生活道路・歩行者道路といった場所は危ない所があっても整備される予定もない状態。
- ・公共交通が足りないため、高齢者が通院や買い物の際に運転せざるを得ず、事故が発生してしまう。
- ・道幅が狭い道路を子どもを乗せ走る自転車を見かけます。同時に、高齢者がショッピングカートを引いて往来する人が多くなり接触等大変危険です。
- ・歩道橋の劣化が見られる。
- ・暴走族をなんとかしてほしい。
- ・信号の無い横断歩道で車が止まらない。公園の前であっても、子育てする家庭としては不安です。
- ・違法駐停車や、自転車の逆走、無灯火などが目立つ、交通環境が悪い。

3-32. バリアフリー

■主な意見

- ・ 駅にエレベーターの設置を希望、要望したい。
- ・ 歩道の凸凹がひどく、子供・高齢者に大変危険。
- ・ 車いすでも安全に移動できる様に改善してほしい。

3-33. 住宅・住環境

■主な意見

- ・ 高齢化社会における住環境が問われる。
- ・ 若者が住みたいと思えるような環境を整備し、定住を促進することが重要かと思えます。若者が多くすむ地域を調査し、どのような環境が必要かなど今後検討して行って欲しい。
- ・ 住みやすい、生活しやすいまちづくりをお願いします。
- ・ 空家が増えつつあるように感じる。地域が寂れていく前に対処してほしい。
- ・ 空家の対策と活用：行政が介入出来るような仕組みを作り、放置され続けることがないようにする。
- ・ 空き地に庭のない家がたくさん建ったが、人が住んでいるのか心配がない。
- ・ 飲食施設・レク施設等生活に楽しみを見出す場所が欲しい。
- ・ 農村地帯では買物が非常に不便です。30分位歩いて買物は大変なので、私は相模線で町田等市外に出て買物をした方が足も楽です。市内で買物はする事があまりない。
- ・ 安心して子育てが出来、安心して高齢者が暮らせる街づくり。
- ・ 以前の市民アンケートで記入した買物の不便が偶然なのか近辺に大きなスーパーが出来るとても便利になりました。ホームセンター等の必要品を購入しやすくなればより便利になるのではと希望しています。

3-34. 基地対策

■主な意見

- ・ 基地の早期返還の実現。
- ・ 米軍の飛行訓練の騒音がひどいのでどうかしてほしい。
- ・ 基地の全面返還により、便利で、にぎわいのある町の創出。
- ・ 米軍基地が返還されたあとの土地の有効活用。
- ・ 基地の跡地に大型商業施設の誘致による税収の増加。
- ・ 返還された土地は、子どもが室内・室外でのびのび遊べる場所、キッズニアのような職業体験できる施設・科学館・物作り体験・スポーツ施設、個人が借りられるギャラリー・デザインフェスができるような場所、バンド演奏ができる場所などにしてほしいです。

3-35. 防犯・治安

■主な意見

- ・スーパーで南警察署から振り込め詐欺に関する館内放送があり、地域一帯となっていて良いと感じた。
- ・凶悪事件が多すぎて何とかしないと人は定住しない。
- ・特に小田急相模原駅周辺で事件が頻繁におきており、安心して暮らせない、又、市に対するイメージ悪化にもつながり更なる人口減少にもつながる恐れがあると思うので、防犯対策・治安の維持が急務であると思います。
- ・不審者や犬のリードなし散歩が多数の為、不安が増しています。
- ・治安が悪いイメージが強い。
- ・派出所に人を常駐してほしい。
- ・犯罪が増加しているが、交番が少ない。
- ・夜間の照明が暗い。
- ・自動車道の両側の歩道に小学生が隠れる程の草丈が伸び繁っている場所があり、日没が早くなった季節には心配しています。
- ・昔と比べると、治安は良くなったと思います。

3-36. 防災・消防

■主な意見

- ・緊急放送が聞き取りにくい。
- ・異常気象による防災にも力を入れるべき。自分達の町は自分達で守れる町作（造）りをしていかなければいけないと思います。
- ・大地震発生時のライフライン整備。
- ・災害時に地域で支え合えるかどうか不安。
- ・大震災を想定した準備が必要。
- ・災害などの避難場所が崖や山の近くにあるため、ちゃんとした施設避難場所がほしいです。
- ・食糧・仮設住宅等、米軍に避難しても対応出来るようにしておいて欲しいです。
- ・境川の氾濫がとても心配。大雨が降るとよく氾濫危険と防災メールがくる。堤防などの早急な対策をお願いします。
- ・防災対策を充実してもらいたい。現実を見ると何もかも当市は不足している。今後確実に来る地震に対して物資配布・電車事故対応を。

3-37. 国際交流・人権・平和

■主な意見

- ・パートナーシップ制度を導入して欲しい。
- ・神奈川県の子供の権利の人々の権利が認められるようになって欲しい。
- ・外国人の方が多くなったように感じる。外国の方も安心して生活できるよう、積極的に取り組んで欲しい。
- ・更なる国際交流が重要。
- ・他人への思いやりを大切にすべき。

3-38. 行政改革の推進

■主な意見

- ・市職員の削減など自らも改革してほしい。
- ・市は票を持っている高齢者に施政を偏らせすぎている。
- ・窓口では親身になり相談を聞いてくれるので、とても安心して生活できています。
- ・市・区役所の経費削減。
- ・市事業を常に見直し、効率の良い運営をするための財政支出を心掛けて欲しい。
- ・行政自身によるスクラップアンドビルドを徹底。
- ・行財政改革、無駄をなくすこと。
- ・以前より市議会議員の活動がにぶいため、簡単に市に対し要望の申し入れが出来る様にして欲しい。
- ・若い世代に負担を押しつける事がない様に財政健全に勤めてほしい。
- ・現在の総合計画の達成度、継続中も含め、何パーセントと行政サイドでは考えているのか。

3-39. 情報発信・市民相談

■主な意見

- ・ 給付金などの支援がある場合でも、対象者へ周知がない。
- ・ もっと市政が行っている事が分かるように発信した方が良い。
- ・ 相模原市のホームページは、若い世代を取り込むためにももう少し見やすく、素敵なページが良い。
- ・ 相模原市を外に向けてもっと PR しても良いかと思えます。
- ・ 行政サービスの見直しにあたっては ICT 活用により、サービス低下を防いでほしい。(電子申請の拡充等)
- ・ 相模原市は広報誌を月 2 回発行ですが、回数を減らしても各戸配達の方が良いと思います。
- ・ スマホアプリを利用した市報などの情報発信、老朽化した橋、施設の通報アプリなど、ICT を利用した施策に先んじていると思います。様々なアプリで、この他にも利便性をはかってほしいです。
- ・ 市民に、もっと市政が行っている事が分かるように発信した方が良くと思う。
- ・ 自然も多く、交通等の利便性も良く、文化的で物価もそんなに高くなく、住み易い街だという良いイメージをどんどん発信して行って下さい。
- ・ ちょっと教えてコール 幅が広くて大変ですがおざなりにせず親身になって答えて欲しい。

3-40. 市民・企業・行政などの協働

■主な意見

- ・ 一般市民に分かる市役所職員を含めた交流の場と活動の報告を聞ける場所が欲しい。
- ・ 相模原市に愛着がありますので、市民として何か協力できることがあれば協力したい。
- ・ 行政と市民が一体となって希望のみえる社会づくり。
- ・ 住民・市民の協力体制を整えて、お互いが助け合える市になれる様に望みます。
- ・ 情報公開と住民の直接参加。
- ・ 市民の意見を吸い上げるしくみ(目安箱)を作ること。
- ・ もっと市民の声を聞いた方が良く思う。
- ・ 行政だけでガンバっても限度有り。市民・地域ー共同共有の子育て支援ー青少年教育支援ー若者の定住化ー人口、維持活動、強化。
- ・ 県区市民の皆さんの交流が必要だとつくづく思います。話し合いの場を持つ程、大切な事はないと思います。
- ・ 政令指定都市になって、良かった点と悪くなった点を、オープンにして、今後の相模原市をどうしていくかを、多くの人間で話し合っていく必要があると考える。

3-41. 市民活動

■主な意見

- ・ 消防団員の募集が行われているが、地域活動であることを認識すべき。
- ・ 植木や分離帯の雑草の清掃などは市民が動くことでもよい。
- ・ ボランティアや NPO 活動を援助し、相模原市の行政と一体になって進めていくことが求められる。
- ・ 各地域の自治組織の充実も考え、地域をつくる活動の大切さの啓発を進めてほしい。
- ・ 健康老人の積極的なボランティア参加人数を増す。
- ・ ボランティア活動をポイント制にする。
- ・ 市は自治会に頼りすぎである。

3-42. 公共施設

■主な意見

- ・ 公民館の無料化
- ・ 県営・市営住宅の空室が多い。
- ・ 大規模の開発だけに目を向けなくて、税金の使い方を考えてほしい。公民館の有料化は、とても残念。
- ・ 公共施設の恩恵を受けられない地域を減らしてほしい。
- ・ 新しく建物は作らず、既存の建物の再利用を検討する。
- ・ 老朽化した公共施設の補修を進める。
- ・ 施設を同じ人たちが独占的に利用している傾向がある。
- ・ 南区は圧倒的に公共的にものが少なく、同じ税金を払っているのに非常に差があるように思う。
- ・ 公共的な学校（幼稚園、小学校～大学）、病院、交通機関については維持して頂く使命があると思います。
- ・ 国際ホールを建設しても相模原市に人は集まらないと思う。市民の利便性を図るための施設を作るべき。

3-43. 税負担

■主な意見

- ・税負担が大きすぎる。
- ・市民の税金を無駄にせず、納得できる使い方をすべき。
- ・住民税が高いため、受けられるサービスを増やすなどしてほしい。
- ・税金を増やすことばかりではなく、使い方を見直し、節約をして必要なものを維持することが大切だと思う。
- ・税負担を軽減し、高齢者、子供、共に楽しく充実した生活ができる街づくりを期待します。
- ・税の見直しを徹底して行ってほしい。
- ・相模原市は他市に比べて税金が高い。

3-44. 生活保護

■主な意見

- ・生活保護は適切な基準なのか。
- ・生活保護の受給は適切か。

3-45. 職員の資質に関すること

■主な意見

- ・市職員の市民への対応の教育向上を願う。
- ・各部局の幹部職員全員が市内全域を徒歩で巡回し、地域の実情・市民の暮らしぶりを目で見て肌で感じ、対応策を見出していきたい。
- ・部署により対応が良くない。
- ・人員の無駄が多い。

3-46. アンケート・総合計画に関すること

■主な意見

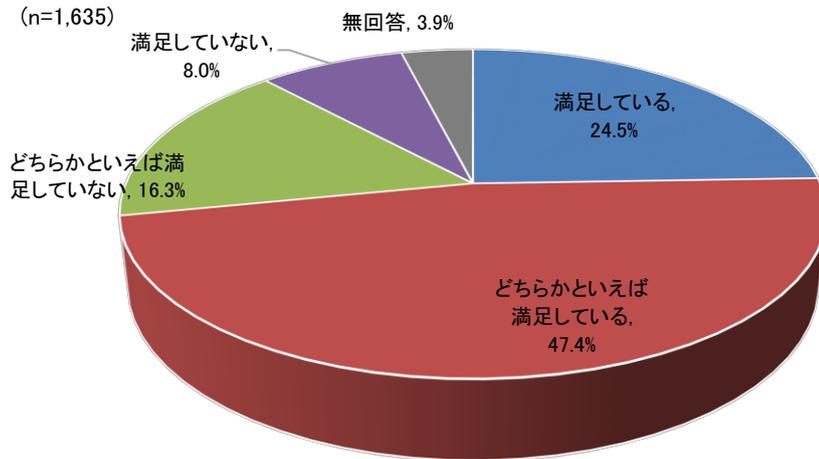
- ・計画策定プロセスをオープンにしてほしい。
- ・相模原の都市計画について、よく見えないまま記入した。説明会のようなものが必要。
- ・アンケートに記入したような細かな市民の要望が反映される総合計画を望む。
- ・次期計画について、自分達のこれから!!を作っていく為にも、若者を加えた会議において立案・計画を行って欲しいと思う。
- ・市の考えを具体的に出して、それに対して意見を取る方がわかりやすい。
- ・アンケートのように市民の声を集めることは大事。
- ・目先のアンケートをやっている場合ではない。
- ・このアンケートで考える機会が得られたことに感謝します。
- ・マークシート式やインターネットでのアンケートを取り入れても良いと思いました。

IV. 総括・まとめ

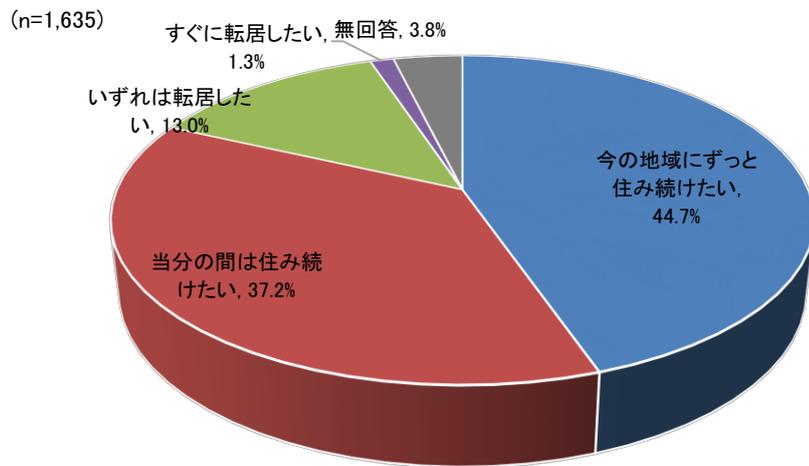
1 居住・定住意向に関する考察

- 現在の暮らしの満足度は、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると 71.9%となっており、前総合計画策定時の市民アンケート時よりも満足度は上昇している。
- そうした状況の中、81.9%の方が今の地域にずっと、もしくは当分住み続けたいと考えており、定住意向は満足度以上に高いと言える。また、定住意向別に暮らしの満足度を見ると、定住意向がある方ほど暮らしへの満足度が高く、転居意向がある方ほど暮らしへの満足度が低くなっているため、暮らしの満足度を底上げし定住を促していくことが求められる。
- 年齢階層別に見ると、年齢が低いほど、定住意向が低くなる傾向があり、若い世代の定住意向を高めることが求められる。また、10代、20代の若い世代が定住したいと思う理由は、自分の家があることや家族や親戚など身内が近くにいるため、交通利便の良さであり、転居したいと思う理由には、交通利便の悪さや、娯楽・レジャー施設不足、持家ではないこと等が挙げられている。
- 地域別にみると、緑区、中央区、南区いずれにおいても、定住意向は 80%を越えて高くなっているが、津久井地域では、80%を下回っており他地域よりも低くなっている。定住したい理由の多くは持家のためだが、津久井地域では、自然環境の豊かさが定住理由として挙げられているといった特徴が見られる。一方で、転居したい理由では交通利便性の低さが多く挙げられており、自然環境の豊かさを保ちながらも、市街地と離れている地域における交通利便性の担保が今後の課題と推察される。
- また、希望する転居先は相模原市内が2割程度であり、県内他市町村、県外市町村を希望する方も多い。県内では、横浜市や川崎市、厚木市等が具体的な転居先として挙げられ、県外では東京都への転居希望が多く挙げられている。

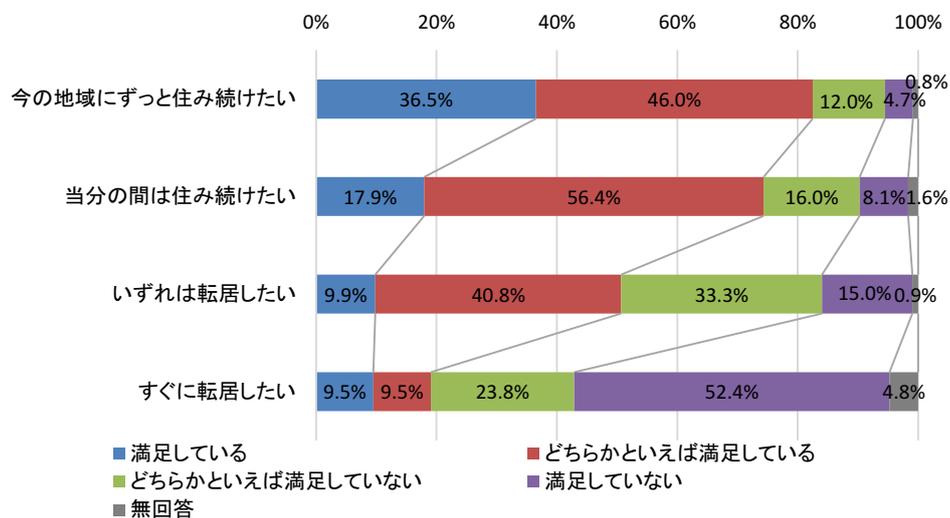
関連図表IV-1 現在の暮らしの満足度（SA）



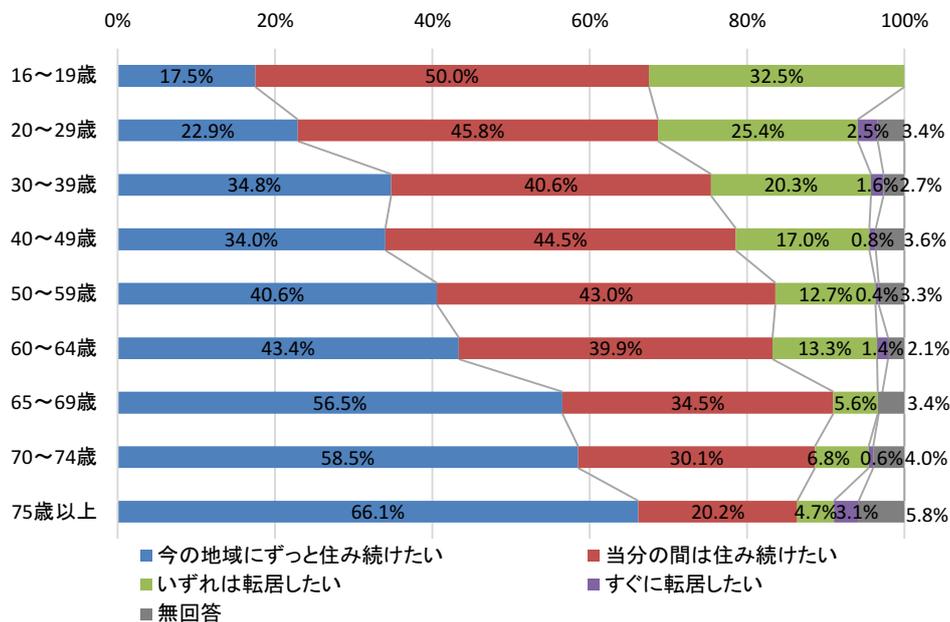
参考図表IV-2 今後の居留意向（SA）



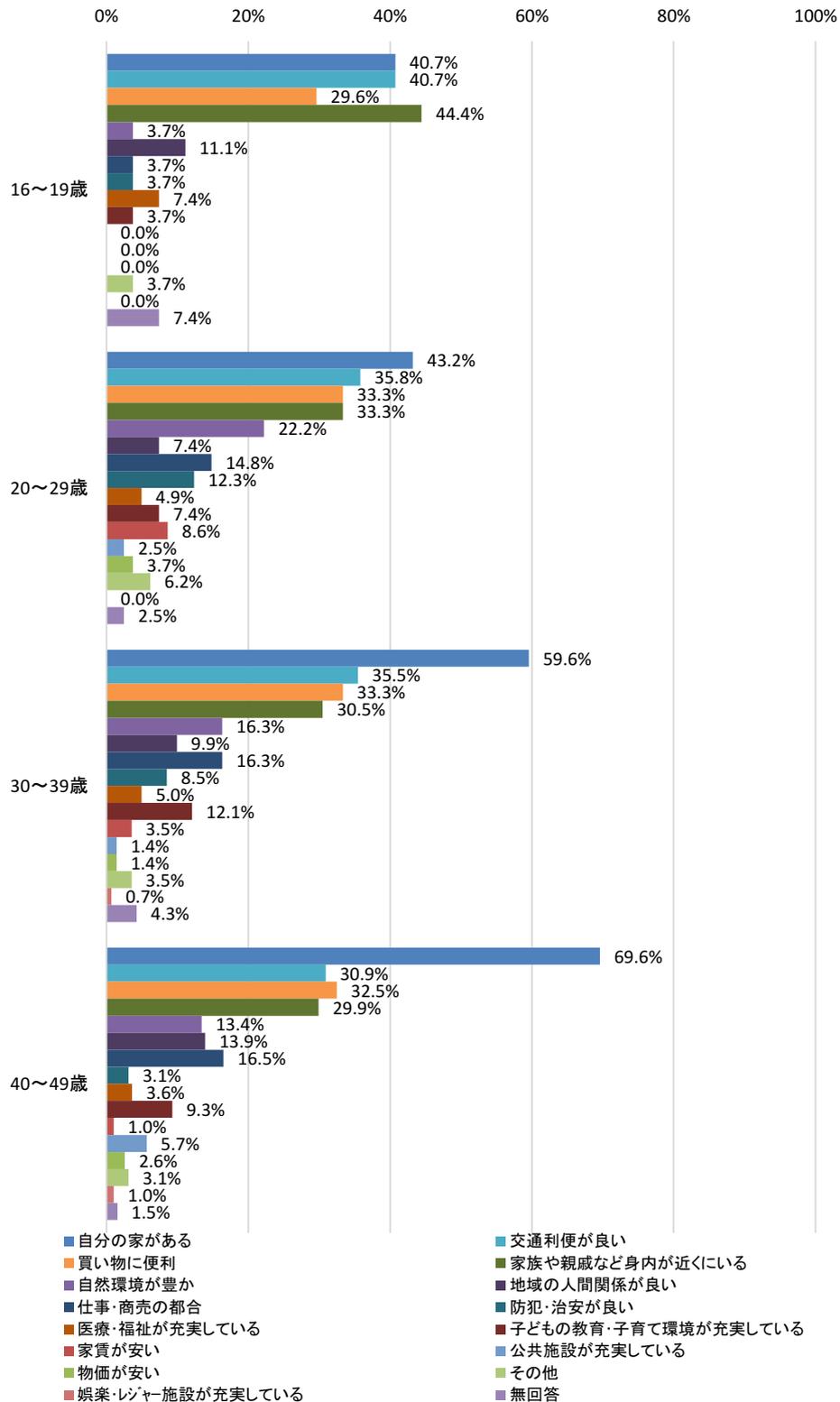
参考図表IV-3 暮らしの満足度（居住意向別）（SA・SA）



参考図表IV-4 今後の居住意向（年齢階層別）（SA・SA）

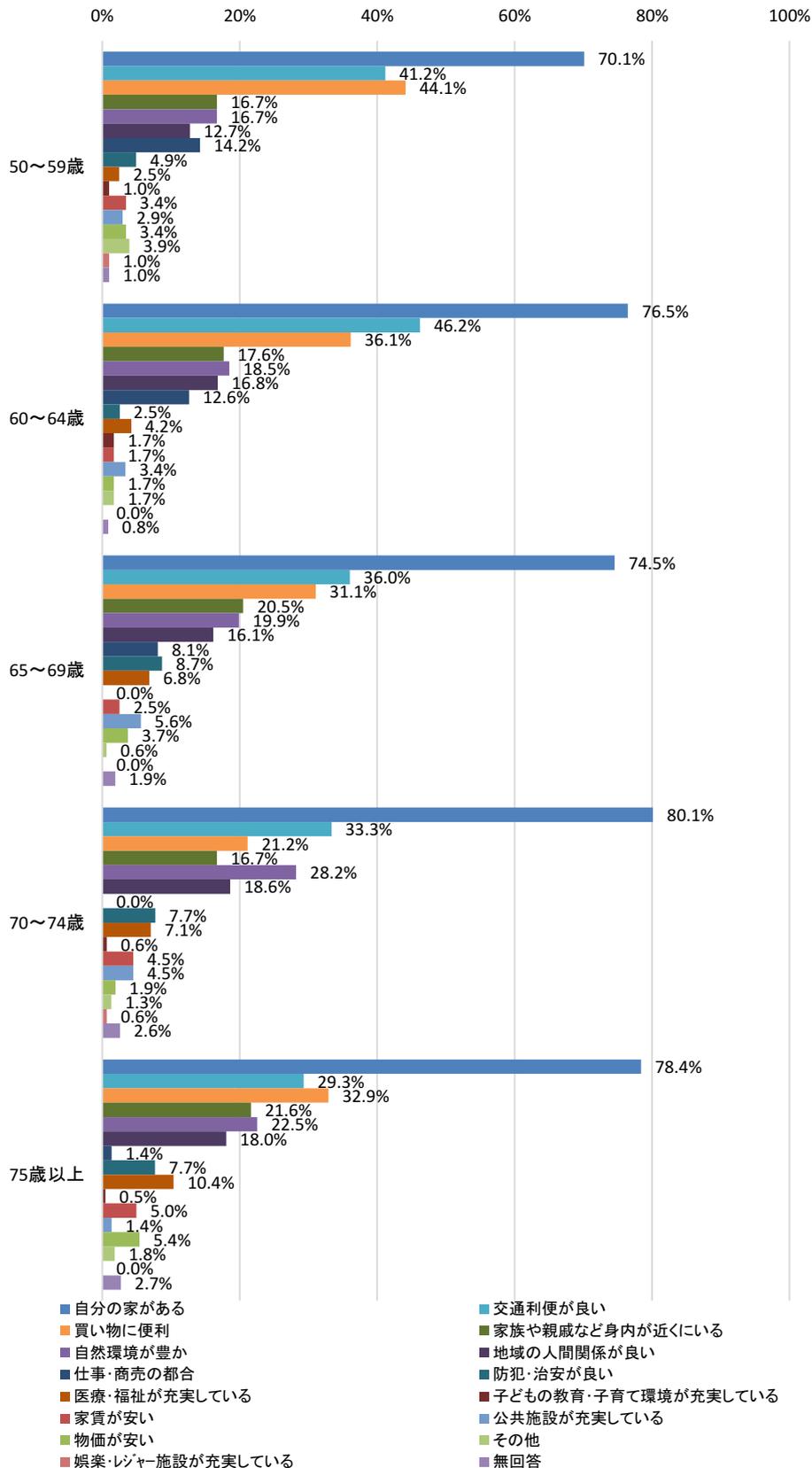


参考図表IV-5 住み続けたいと思う理由（年齢階層別）（MA・SA）



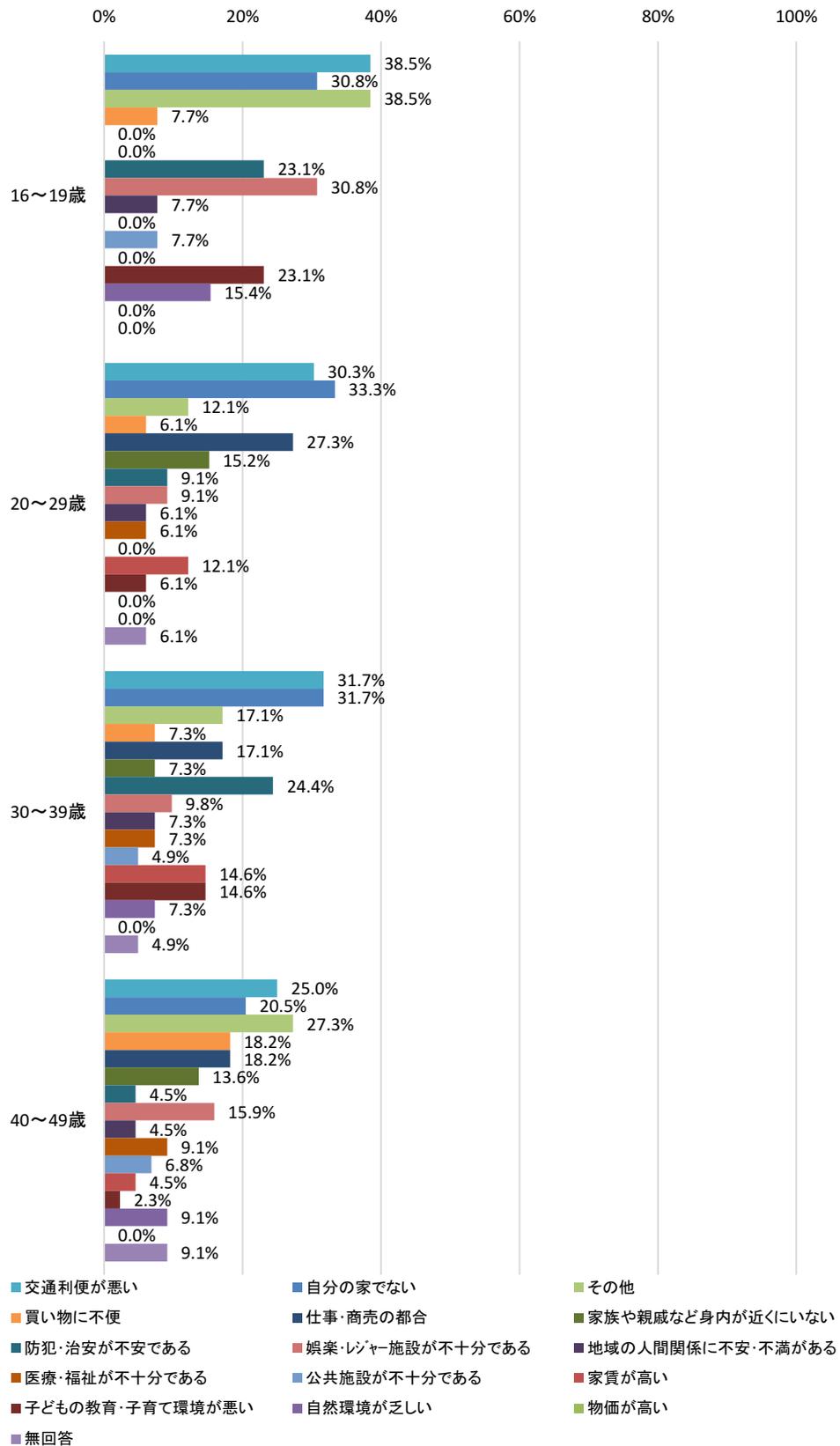
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-6 住み続けたいと思う理由（年齢階層別）（MA・SA）



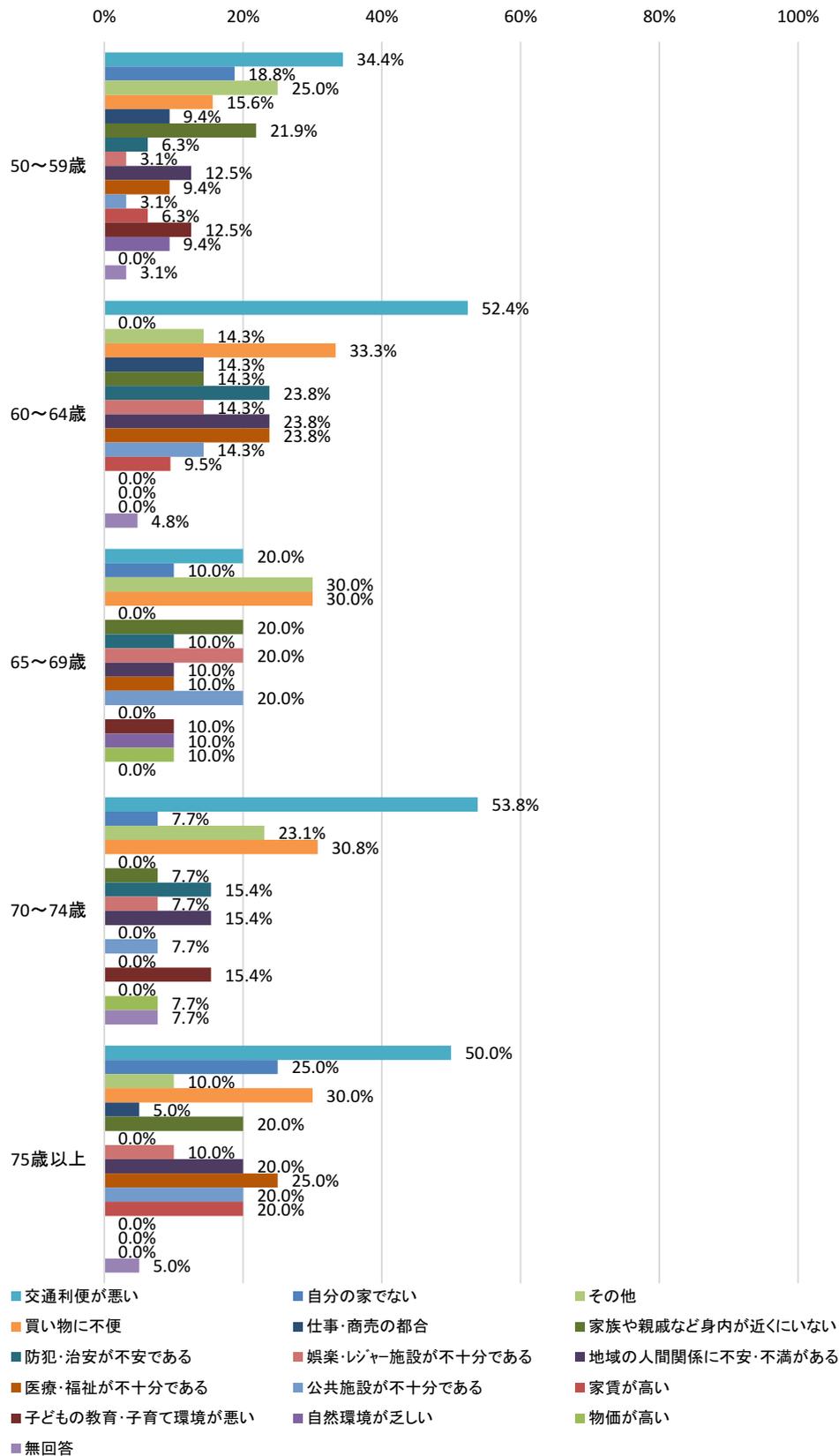
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-7 転居したいと思う理由（年齢階層別）（MA・SA）



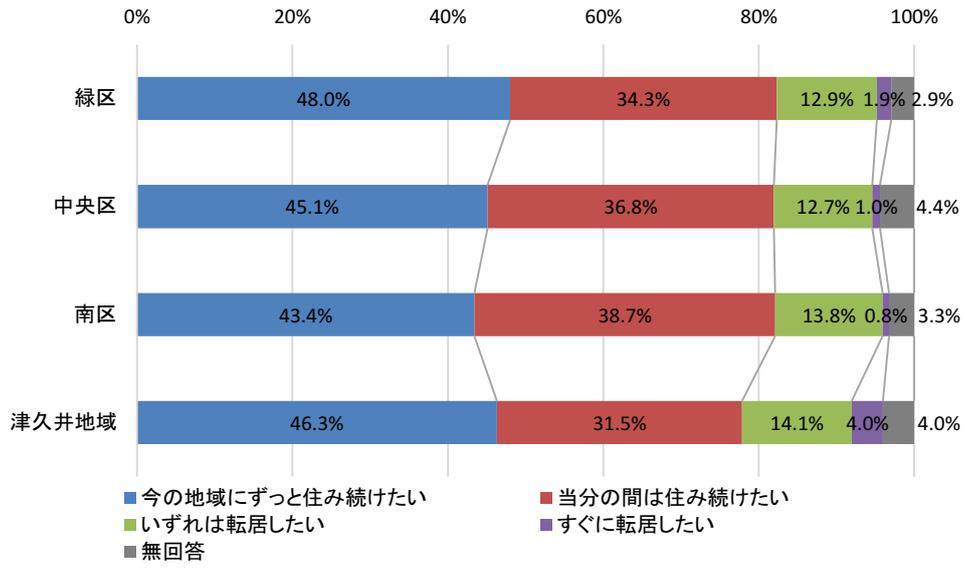
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-8 転居したいと思う理由（年齢階層別）（MA・SA）

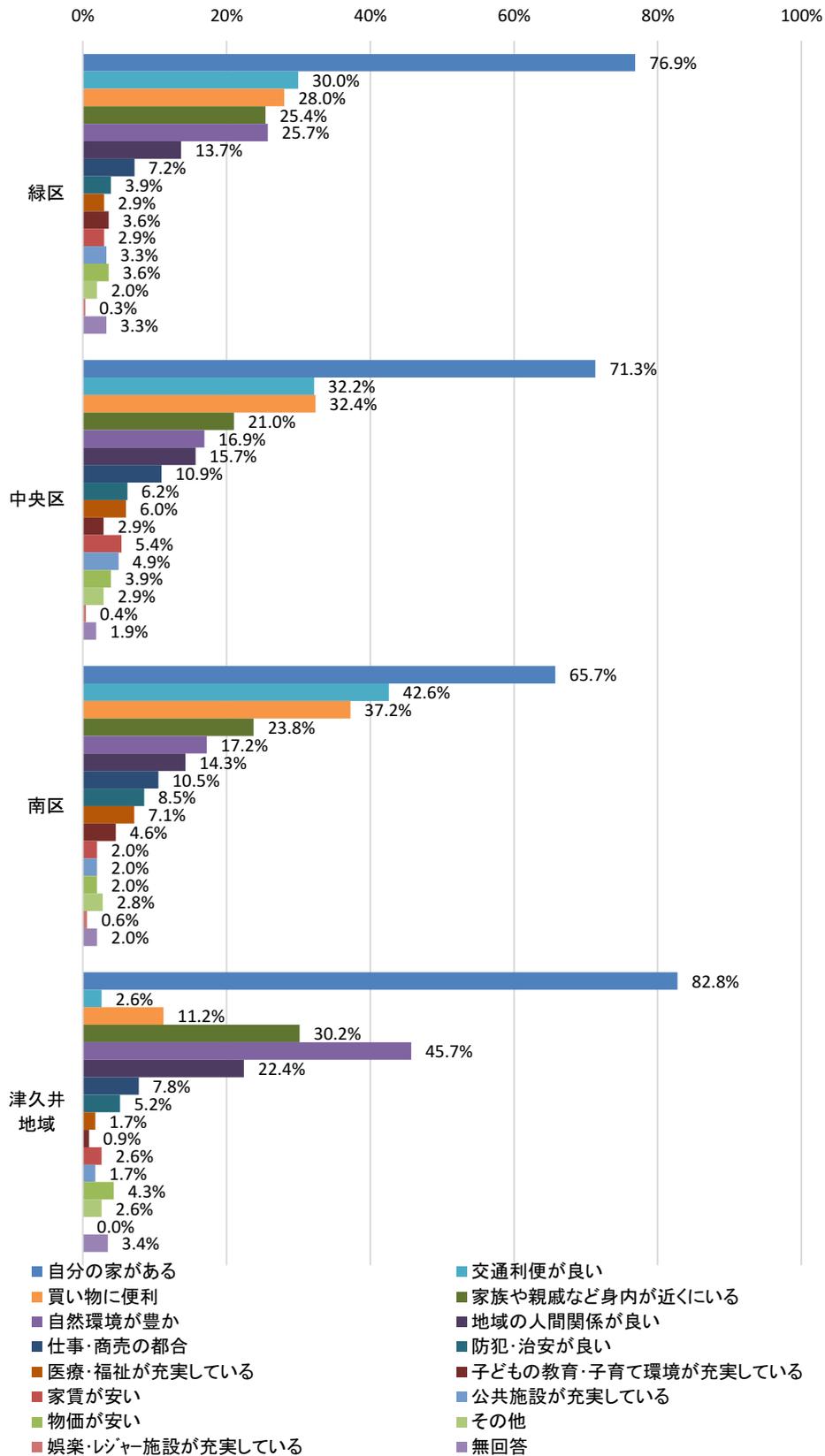


注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-9 今後の居住意向（居住地区別）（S A・S A）

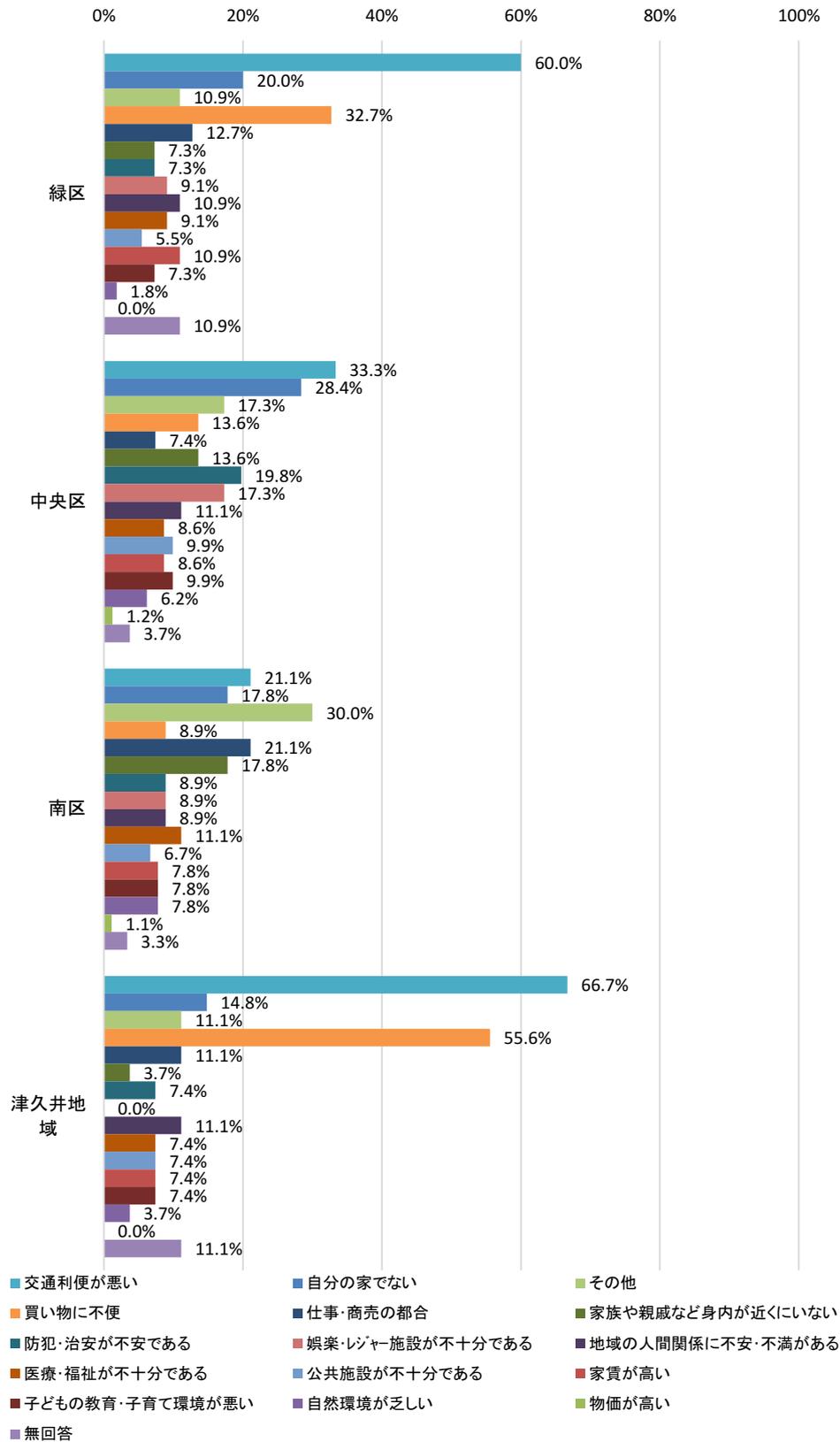


参考図表IV-10 住み続けたいと思う理由（居住地区別）（MA・SA）



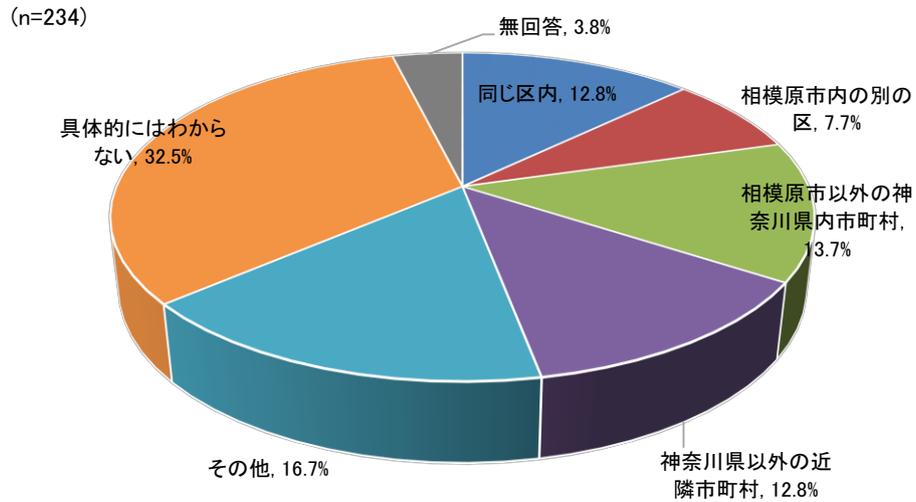
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-11 転居したいと思う理由（居住地区別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-12 希望する転居先（S A）



■相模原市以外の神奈川県内の市町村の主な意見（【 】内は件数）

- ・横浜市【8】
- ・鎌倉市【2】
- ・川崎市【1】
- ・厚木市【1】 等

■神奈川県以外の近隣市町村の主な意見

- ・東京都【4】
- ・八王子市【1】 等

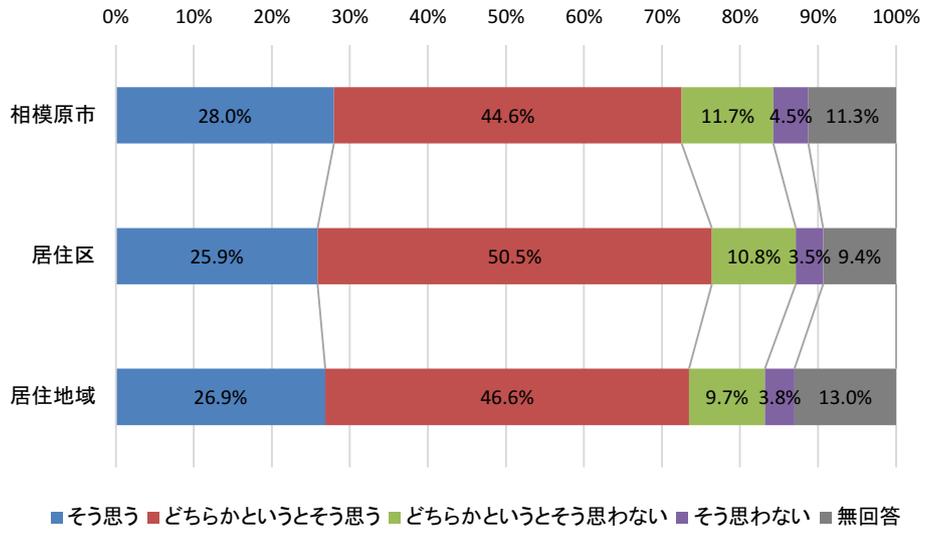
■その他の主な意見

- ・東京都23区内【10】
- ・東京都多摩地域【3】
- ・関西【1】
- ・九州【1】
- ・沖縄【2】 等

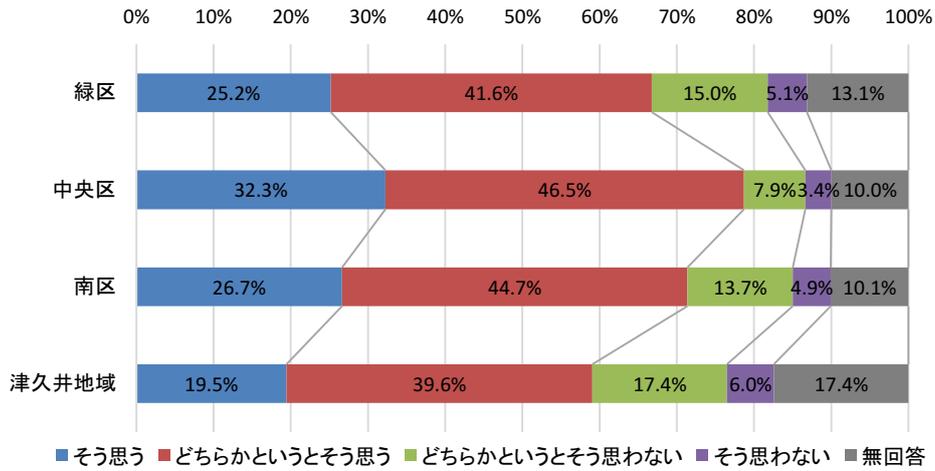
2 地域への愛着・相模原市の良さ・目指すべき都市像に関する考察

- 地域への愛着については、相模原市、居住区、居住地区それぞれ「そう思う」「どちらか」として「そう思う」を合わせると70%を越えている。居住区については、政令指定都市に指定されてから行政区が施行されたが、相模原市、居住地区よりも高い愛着となっている。
- 津久井地域居住者の、相模原市、居住区、居住地域に対する愛着は、市と区については「そう思う」が他地区に比べて低くなっているが、居住地域については他地区よりも高くなっており、合併以前の地域区分に対する愛着の高さが推察される。
- 居住年数が長いほど地域への愛着が高くなっている。また、暮らしの満足度と同様に、定住意向のある方ほど地域への愛着が高く、転居意向のある方ほど地域への愛着が低い傾向にある。定住を促し居住年数を長期化することで、地域への愛着を醸成し、更なる定住に繋げていくことが推察される。
- 相模原市の良さについては、「自然が豊か」、「居住環境が良い」、「買い物がしやすく便利」等が挙げられており、一方で、そう思わないこととして、「娯楽・レジャー施設が充実している」、「文化・芸術的」、「防犯・交通安全対策が充実している」等が挙げられており、こうした側面の魅力向上が望まれる。
- 居住区によって相模原市の良さとして感じる割合が異なり、緑区・津久井地域では「自然が豊か」、「人と人のつながりが強い」が他区よりも高く、中央区では、「スポーツが盛ん」「働く場所が多い」「防災対策が充実している」「防犯・交通安全対策が充実している」「福祉や医療サービスが充実している」「公共施設が充実している」「娯楽・レジャーが充実している」等の公共性に関する項目が他区よりも高く、南区では、「子育て環境が充実している」「教育環境が充実している」「文化・芸術的」「交通の便が良い」「居住環境が良い」「買い物がしやすく便利」等の生活環境に関する項目が他区よりも高くなっており、各区の特徴が見られた。
- 目指すべき都市像については、「安全安心都市」「福祉都市」「自然都市」が多く挙げられており、その中で「安全安心都市」は特に他の都市像よりも回答割合が高く、相模原市の今後目指すべき都市像として一層の対応が求められている。

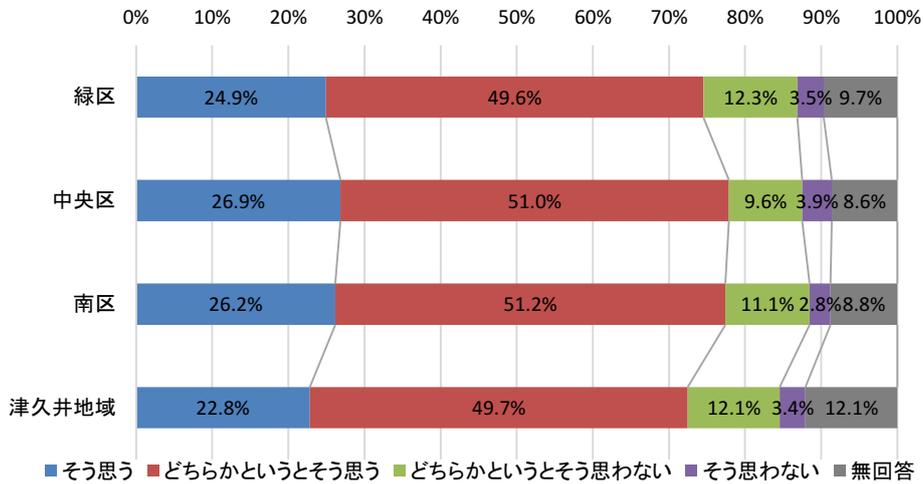
参考図表IV-13 地域への愛着（S A）



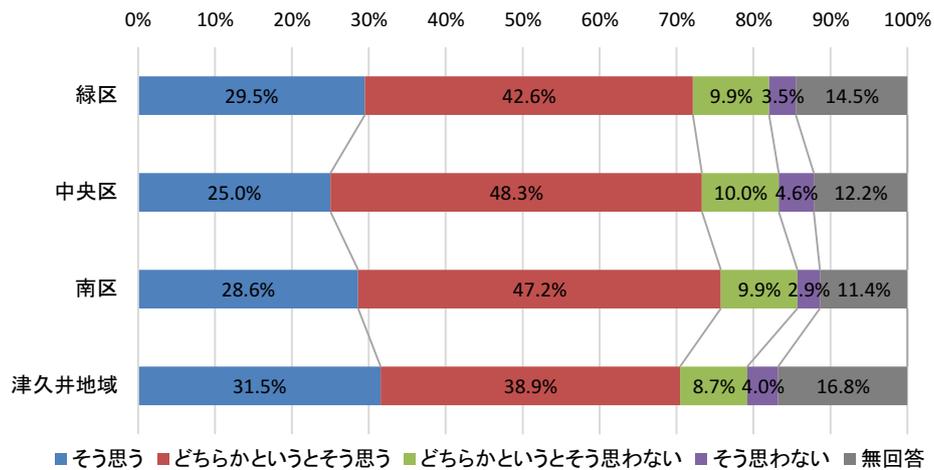
参考図表IV-14 地域への愛着（相模原市）（居住地区別）（SA・SA）



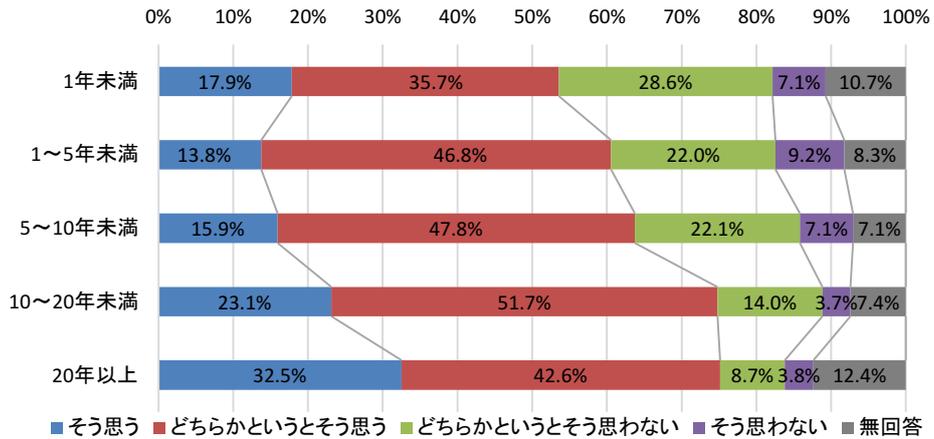
参考図表IV-15 地域への愛着（居住区）（居住地区別）（SA・SA）



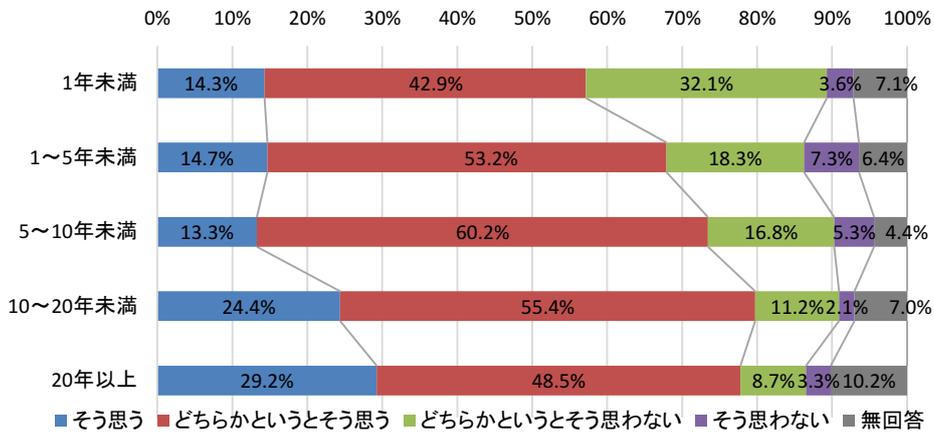
参考図表IV-16 地域への愛着（居住地域）（居住地区別）（SA・SA）



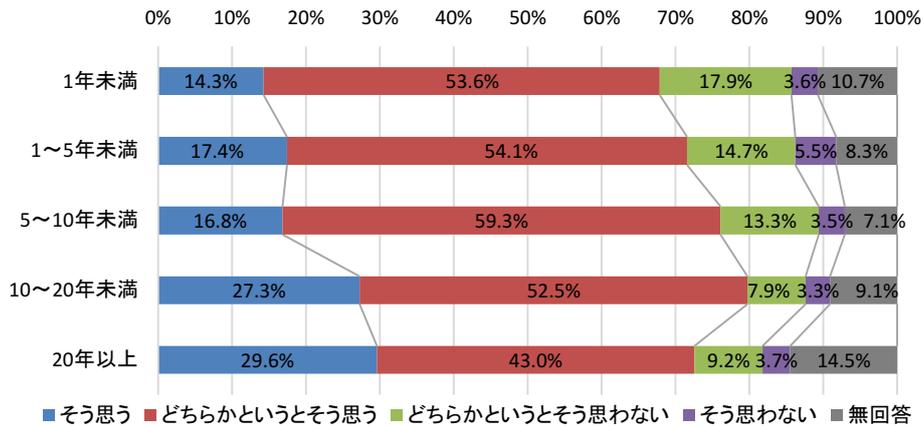
参考図表IV-17 地域への愛着（相模原市）（居住年数別）（S A・S A）



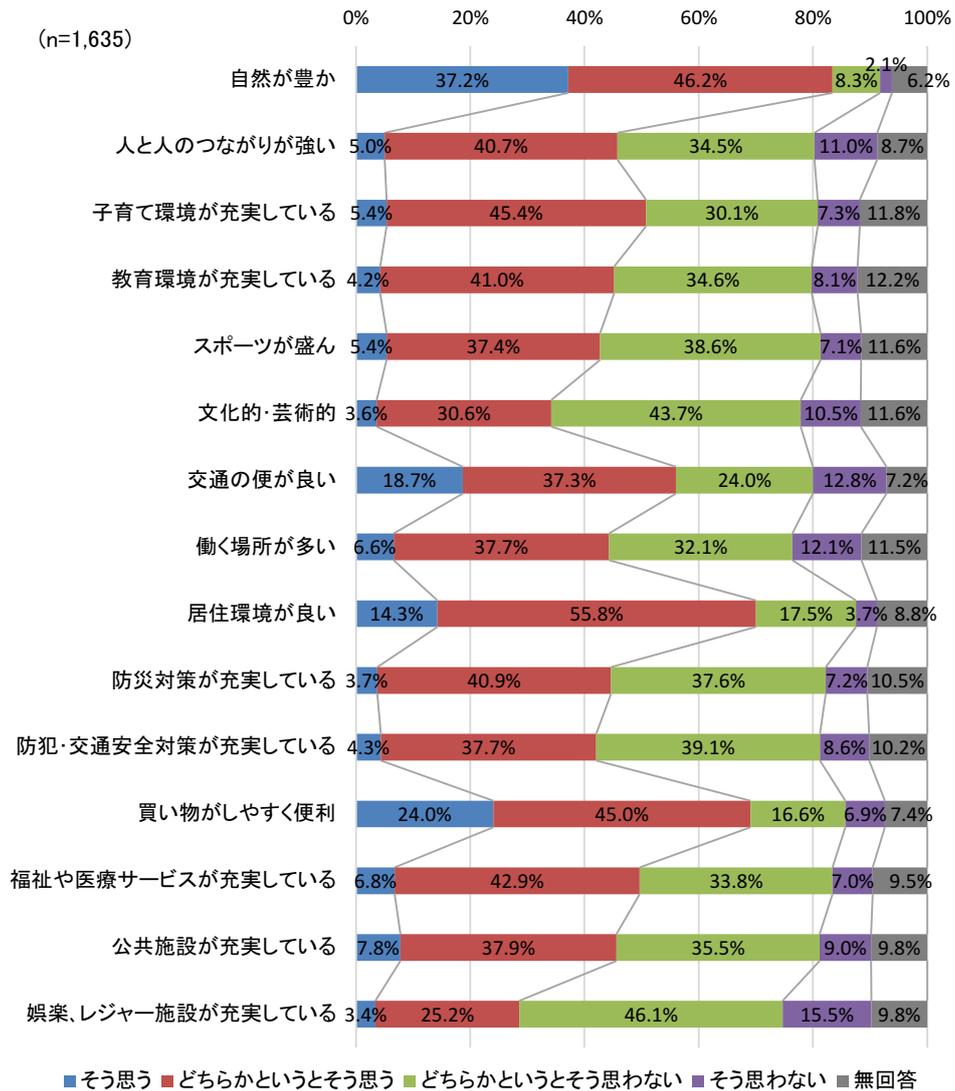
参考図表IV-18 地域への愛着（居住区）（居住年数別）（S A・S A）



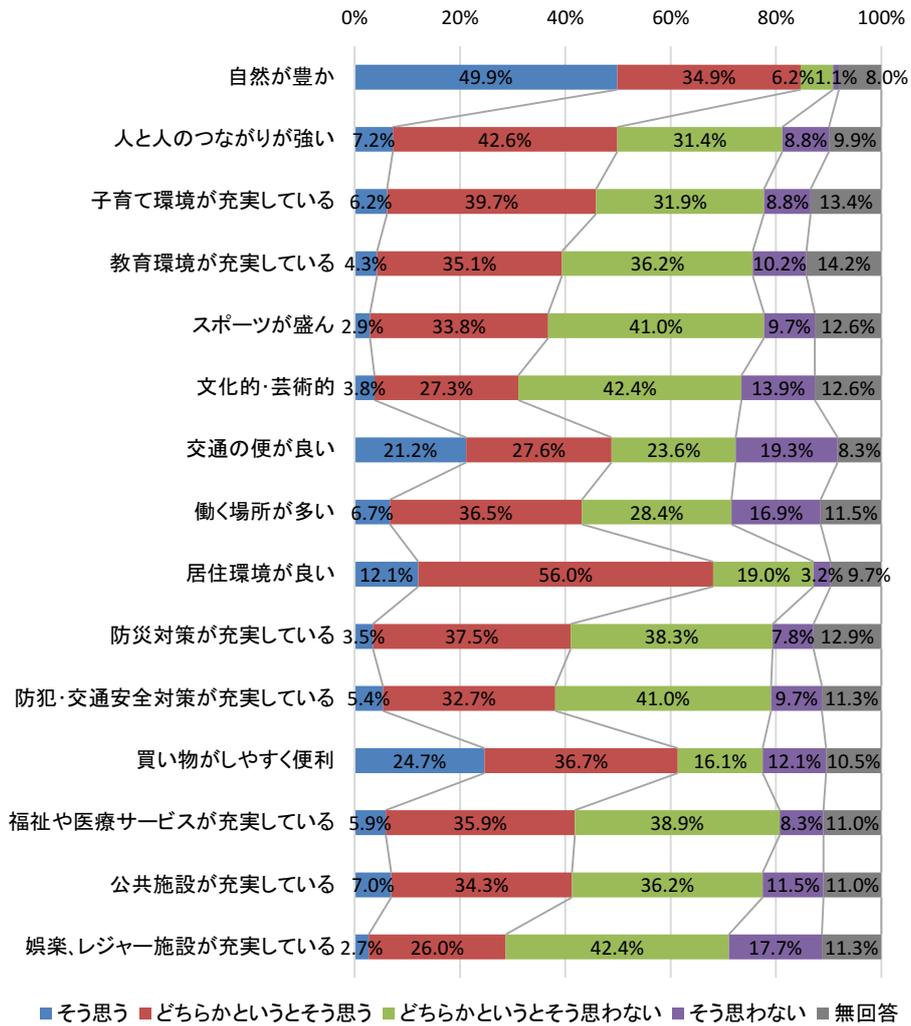
参考図表IV-19 地域への愛着（居住地域）（居住年数別）（S A・S A）



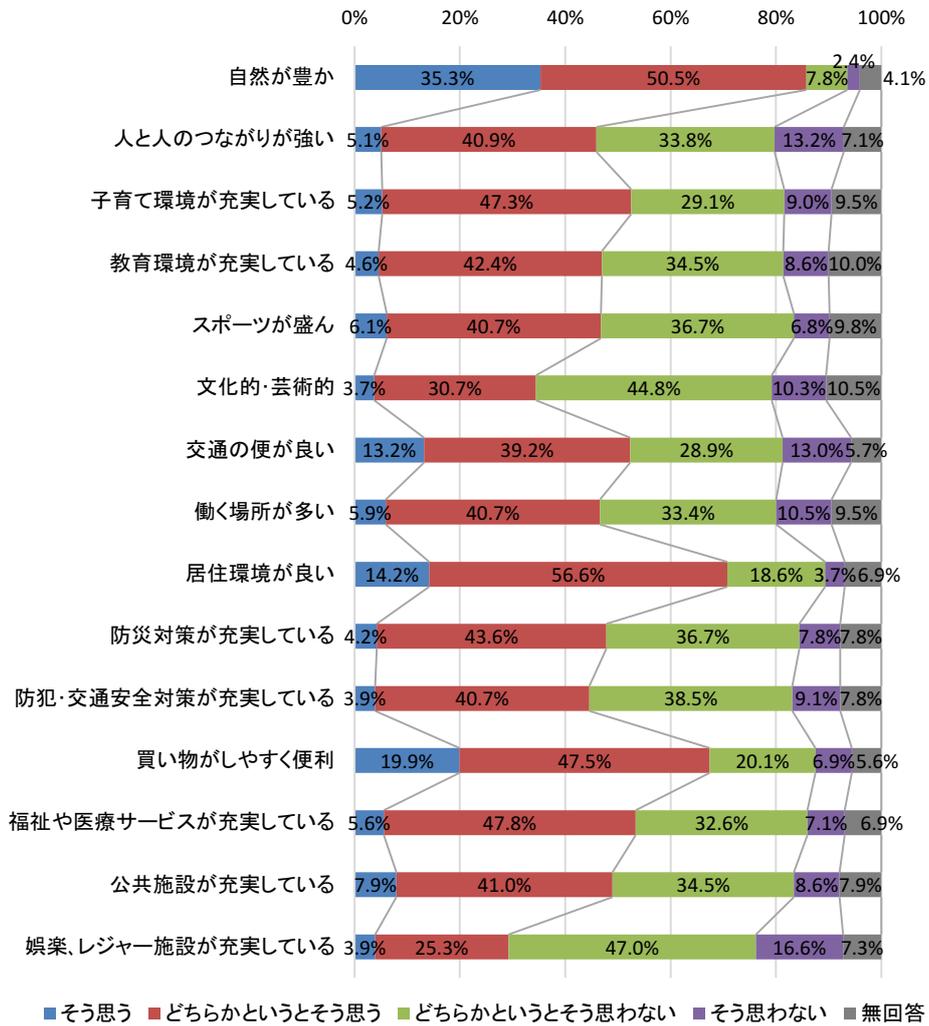
参考図表IV-20 相模原市の良さ (S A)



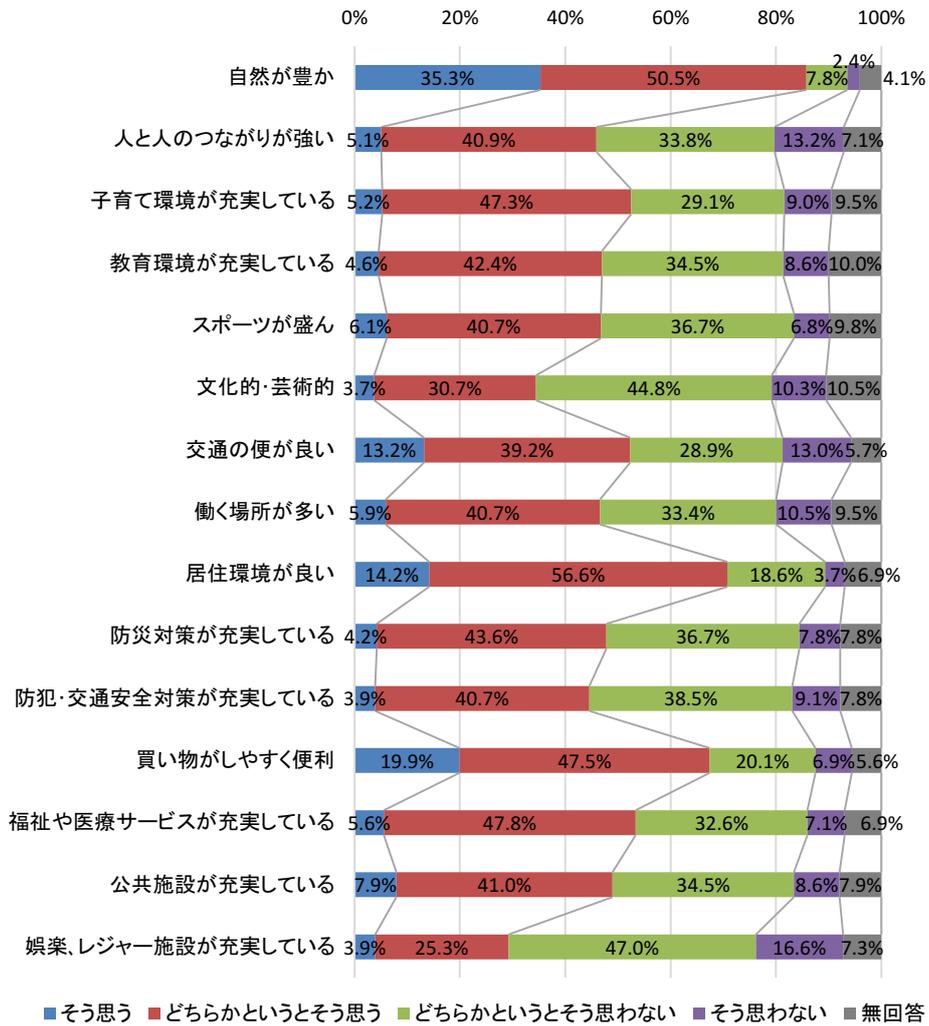
参考図表IV-21 相模原市の良さ（緑区）（S A・S A）



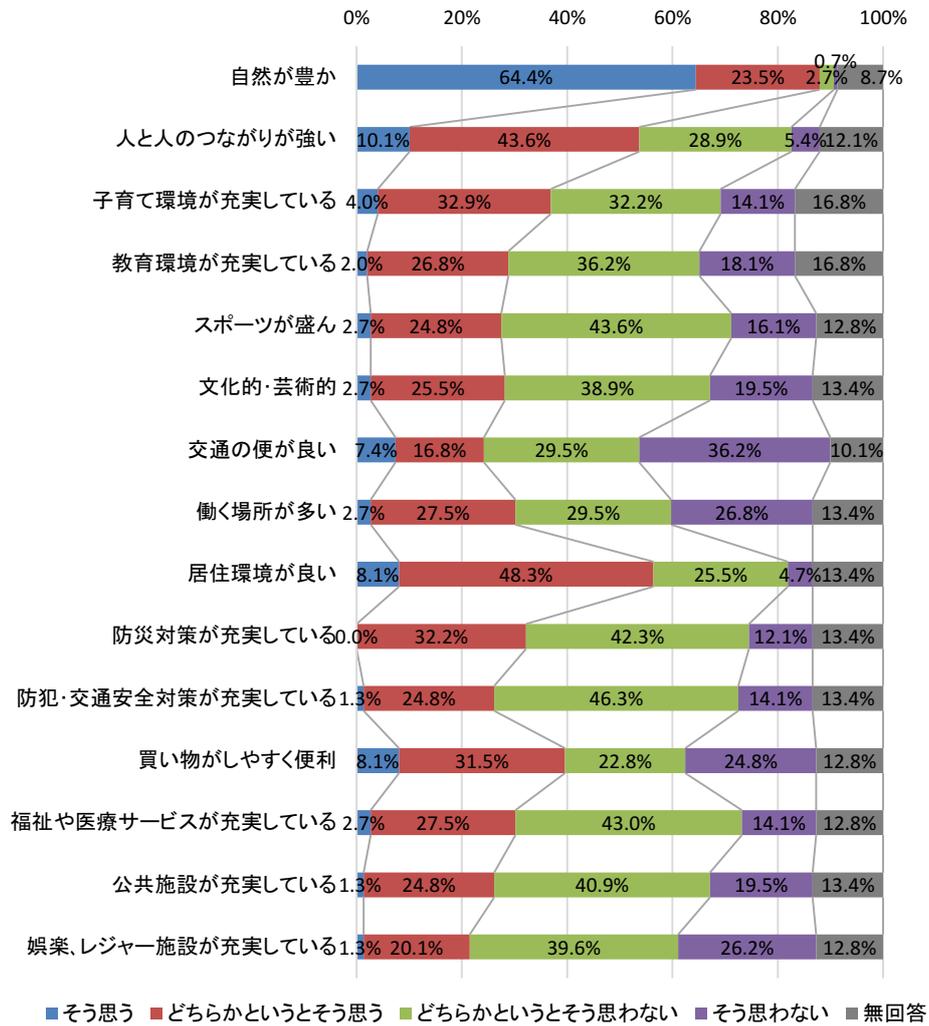
参考図表IV-22 相模原市の良さ（中央区）（SA・SA）



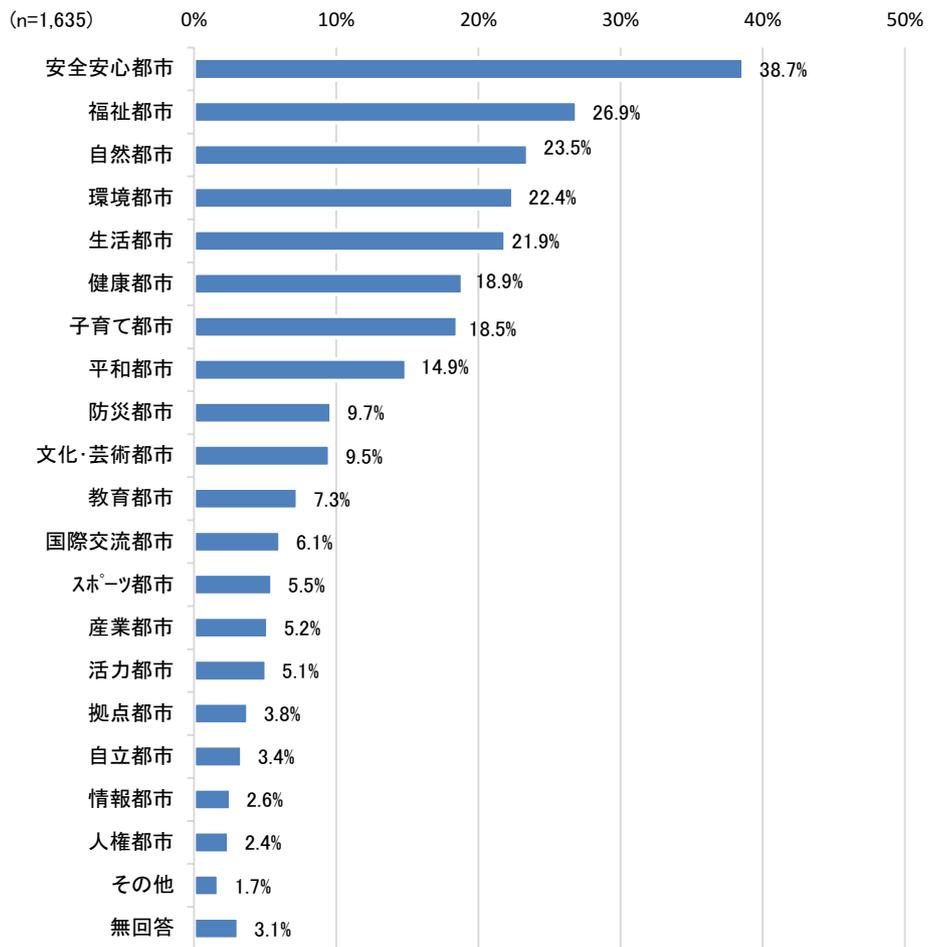
参考図表IV-23 相模原市の良さ（中央区）（SA・SA）



参考図表IV-24 相模原市の良さ（津久井地域）（S A・S A）



参考図表IV-25 目指すべき都市像（MA）

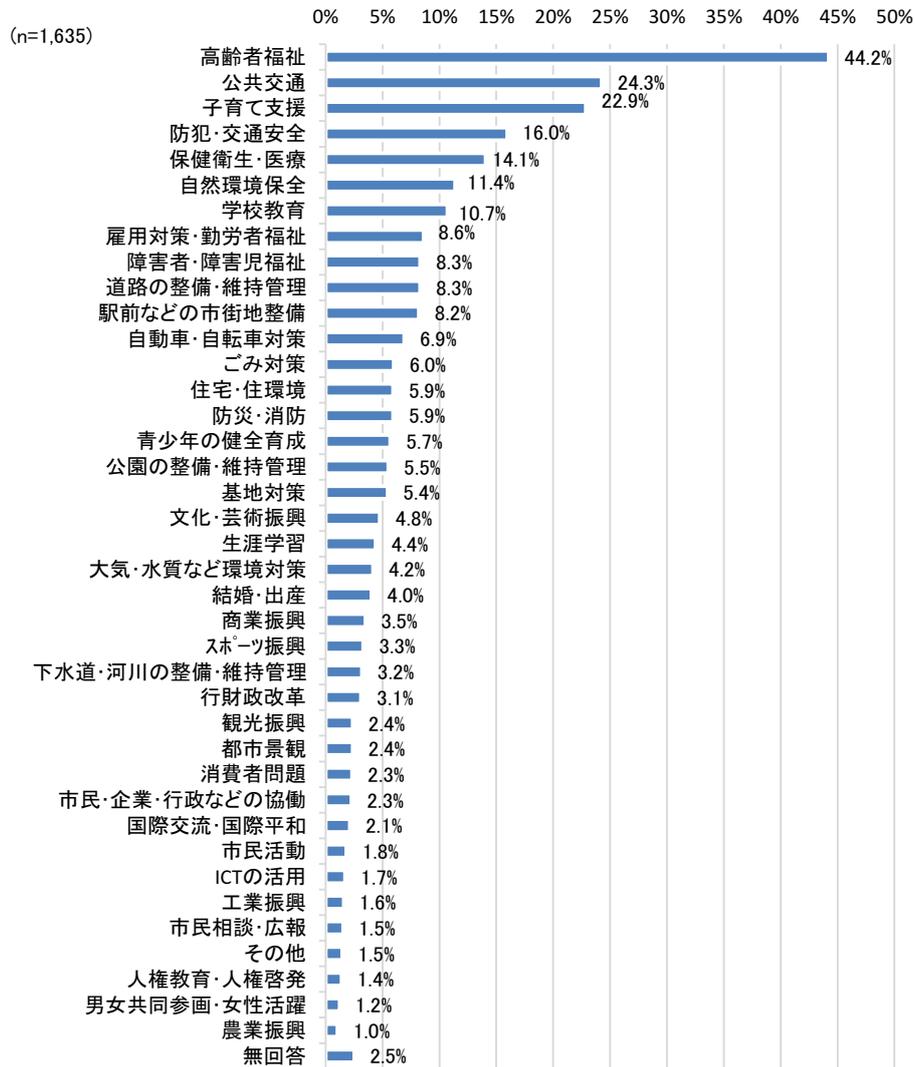


注) 項目は数値の高い順に整列

3 今後力を入れることに関する考察

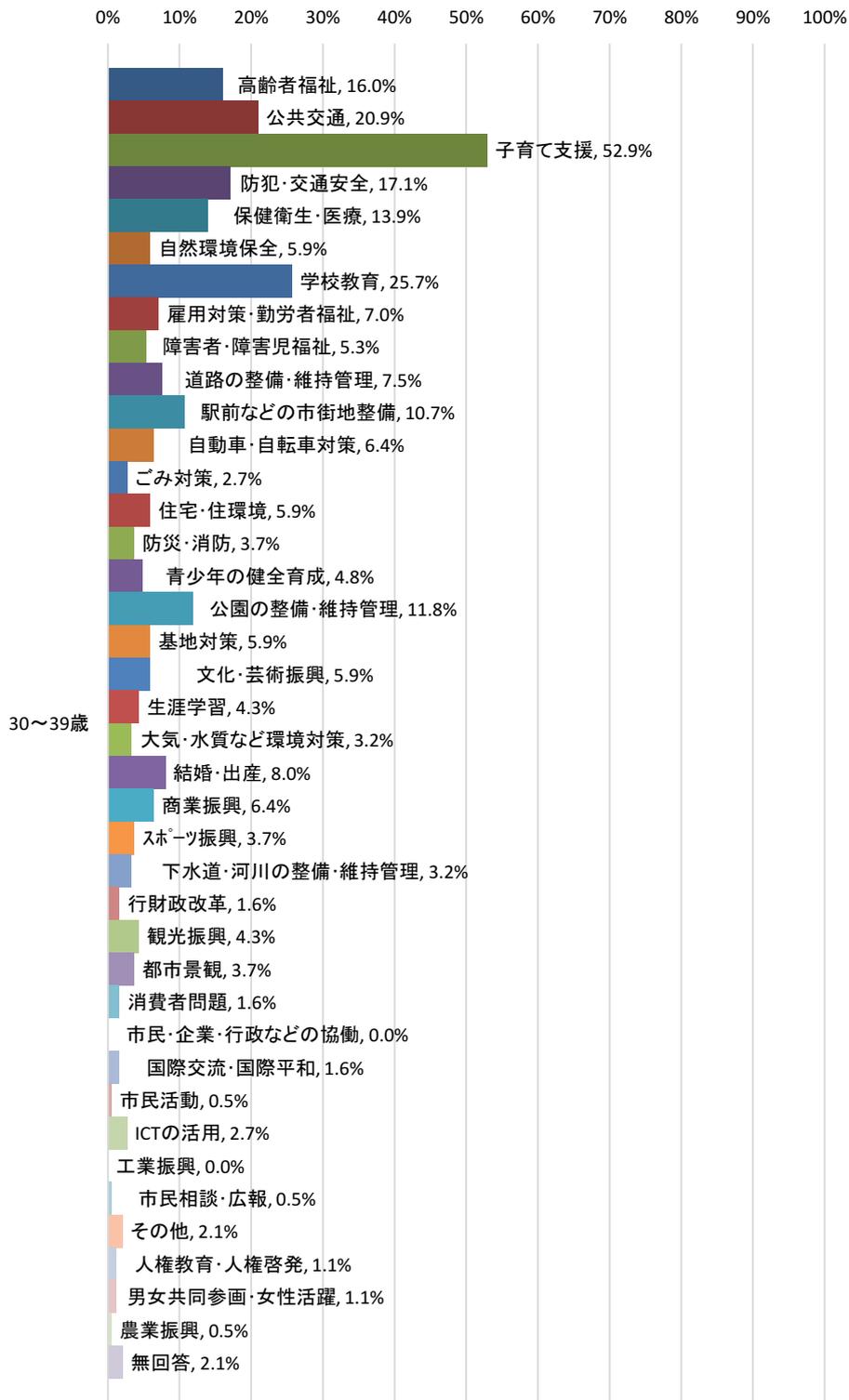
- 今後特に力を入れてほしいと思うことは、「高齢者福祉」が44.2%で最も高く、次いで、「公共交通」「子育て支援」となっている。
- 年齢別に見ると、30代以下では「子育て支援」、40代以上では「高齢者福祉」に力を入れてほしいと思う割合が高くなっており、概ね30代と40代を境に、子育てへの注力から、親の介護や自身の生活に関する注力へと転換していると考えられる。
- また、暮らしの満足度ごとに今後力を入れてほしいことを見ると、満足していない人で「高齢者福祉」に力を入れてほしいと思う割合が最も高くなっており、高齢者福祉への注力が一層の満足度の上昇につながると考えられる。
- 分野ごとに力を入れてほしいことを見ると、福祉・保健・医療においては、医療体制・医療サービスの充実が最も高くなっている。
- 生活の安全・安心においては、自然災害に対する体制や防災対策の充実が最も高くなっている。
- 教育・文化・スポーツにおいては、幼児教育・義務教育の充実が最も高くなっている。
- 環境においては、地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策が最も高くなっている。
- 水と緑においては、有害鳥獣・害虫・外来生物対策が最も高くなっている。
- 産業・雇用においては、雇用の促進が最も高くなっている。
- まちづくりにおいては、鉄道、バスなどの公共交通網の充実が最も高くなっている。
- 市民参加・協働においては、行政窓口サービスの向上が最も高くなっている。
- それぞれの分野については、職業や同居家族の構成によって重視する項目に特徴が見られ、保健・福祉・健康では、小学生未満や小中学生と同居している方は子育て支援や保育所、児童クラブ等の整備を求める意見が多いが、65歳以上の高齢者と同居している方は、介護支援や老人ホーム等の整備を求める意見が多いといった特徴がある。また、産業・雇用では、パート・アルバイトの方は雇用の促進を求め、自由業では、中小企業の育成を求めるといった特徴がみられ、家族や本人の状況によって特に力を入れてほしいことには違いがあり、それぞれの対象に見合った施策の展開が一層求められる。

参考図表IV-26 今後特に力を入れてほしいこと（MA）



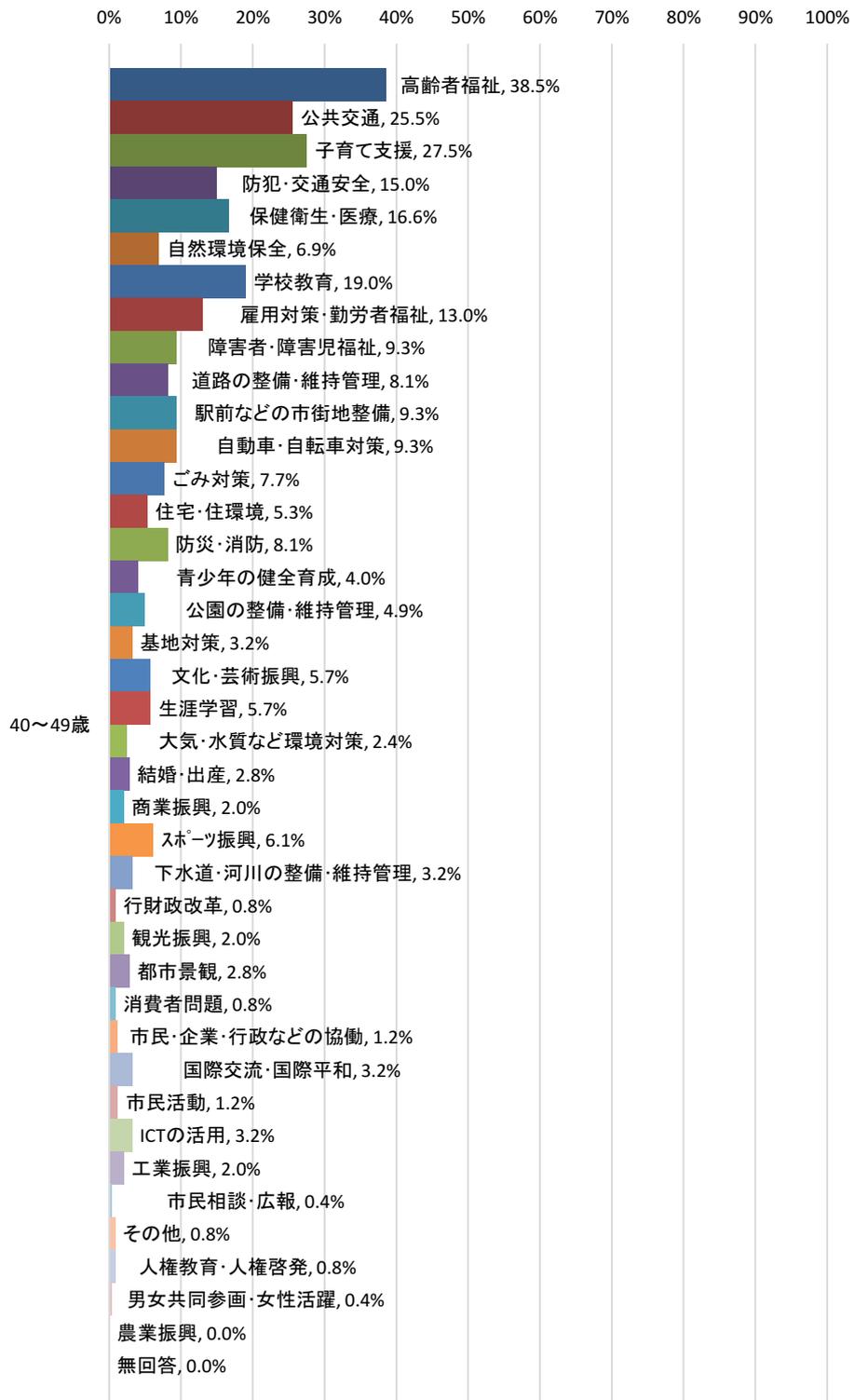
注) 項目は数値の高い順に整列

参考図表IV-27 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



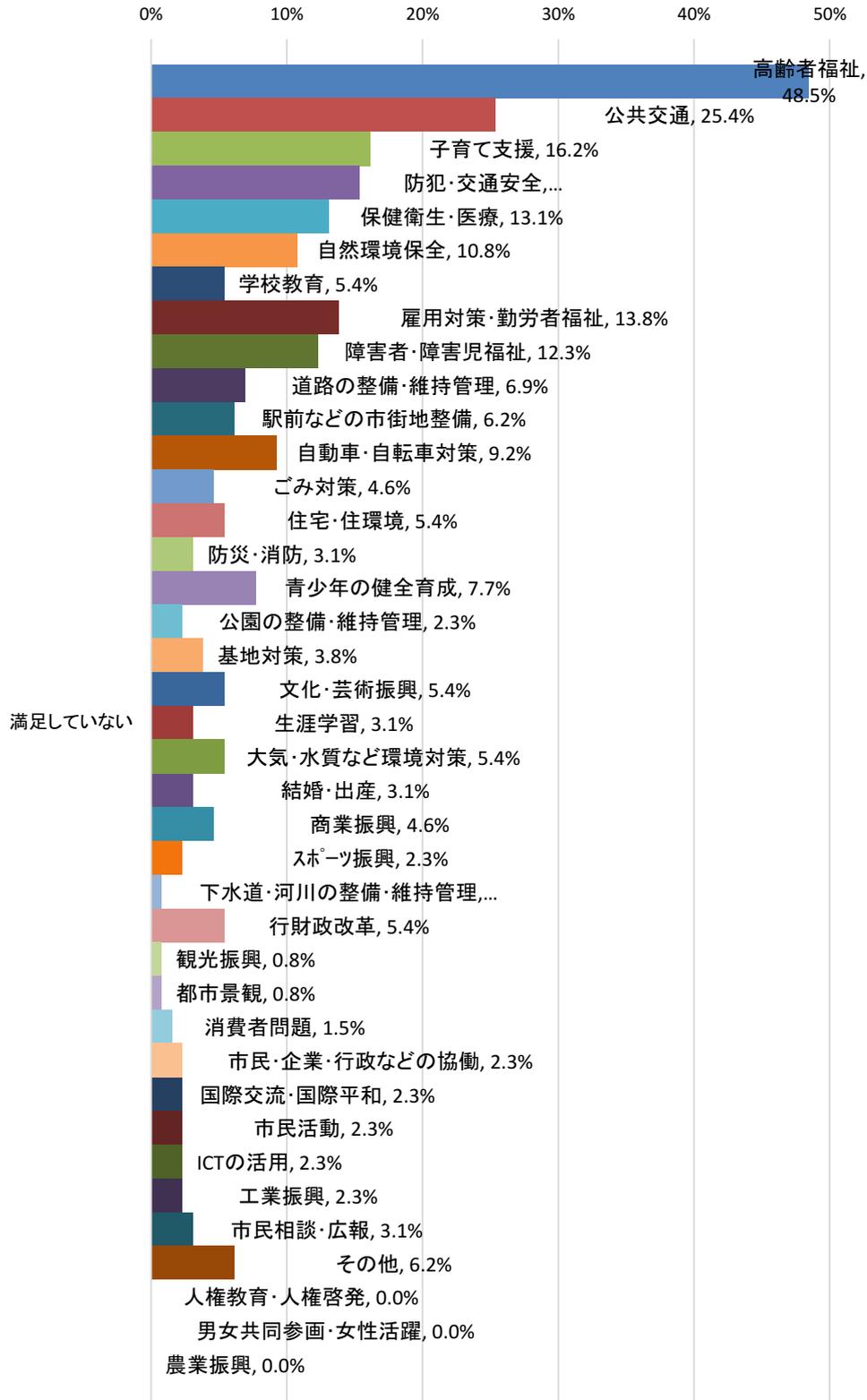
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-28 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）



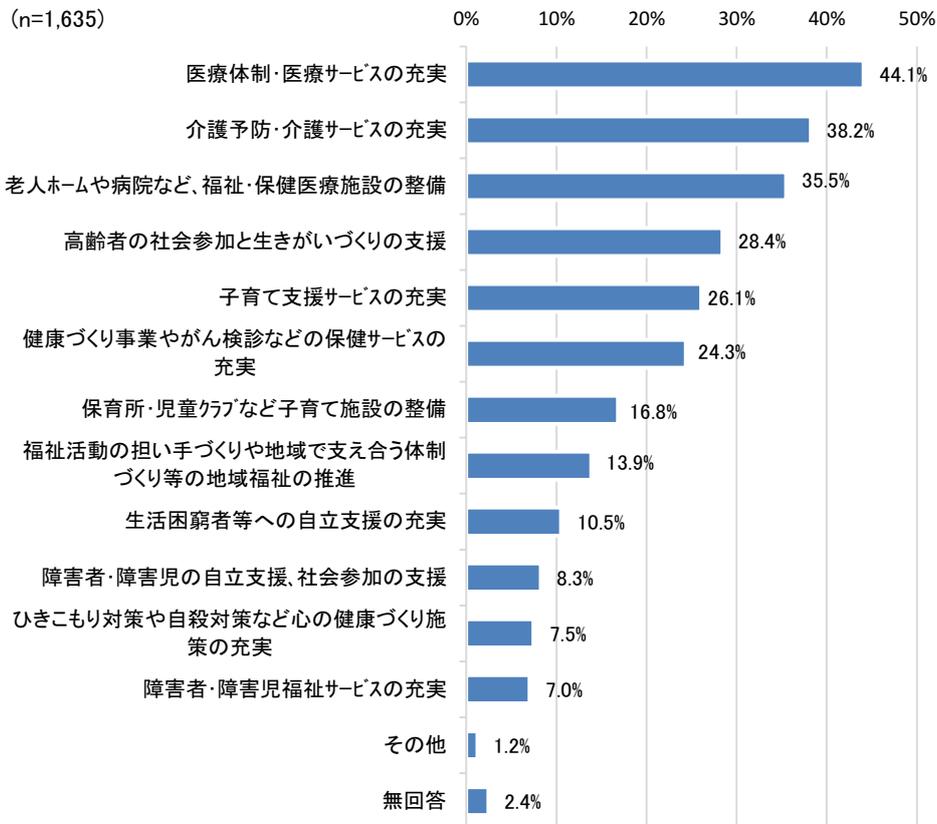
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-29 今後特に力を入れてほしいこと（満足度別）（MA・SA）



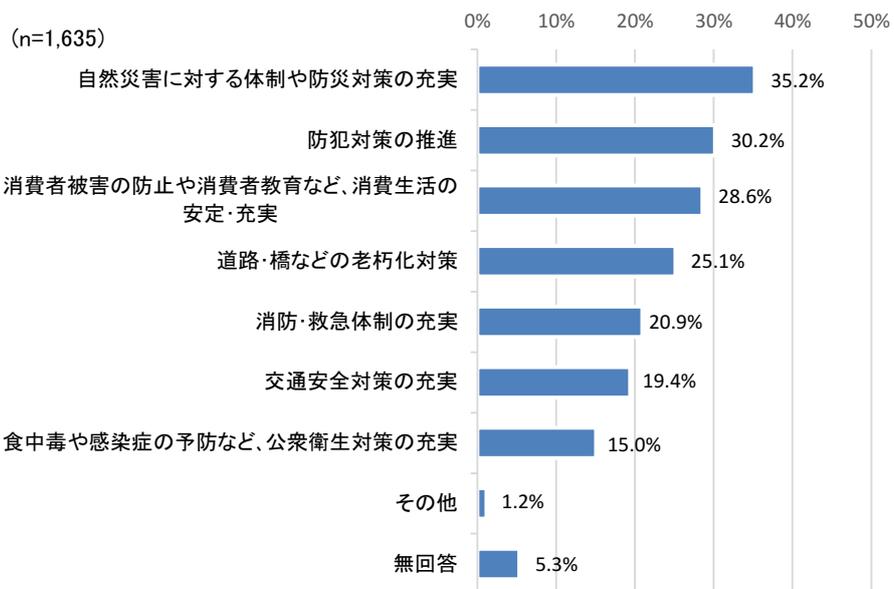
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-30 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



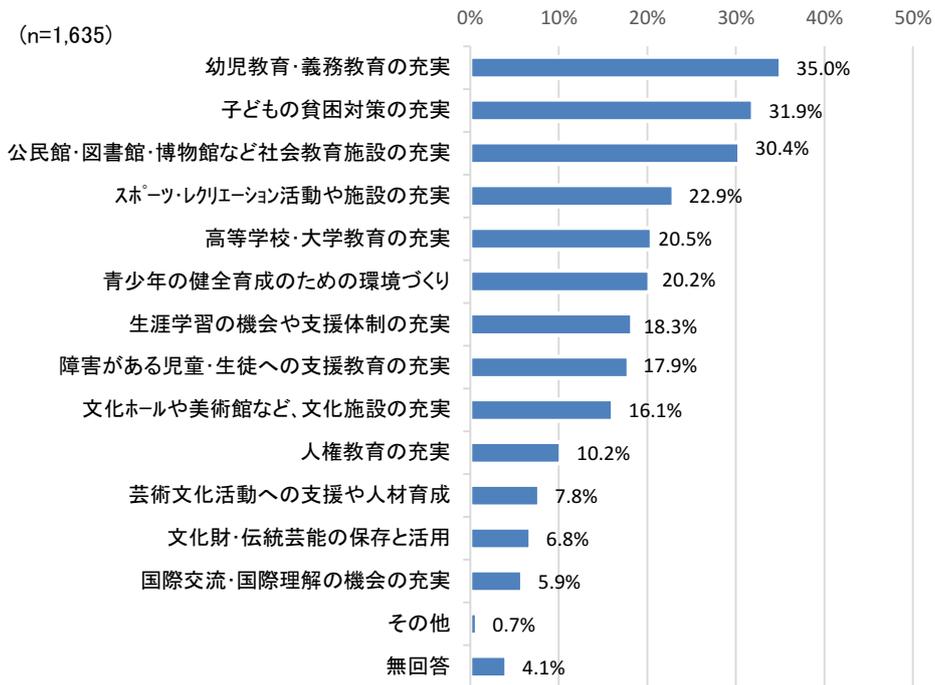
注) 項目は数値の高い順に整列

参考図表IV-31 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



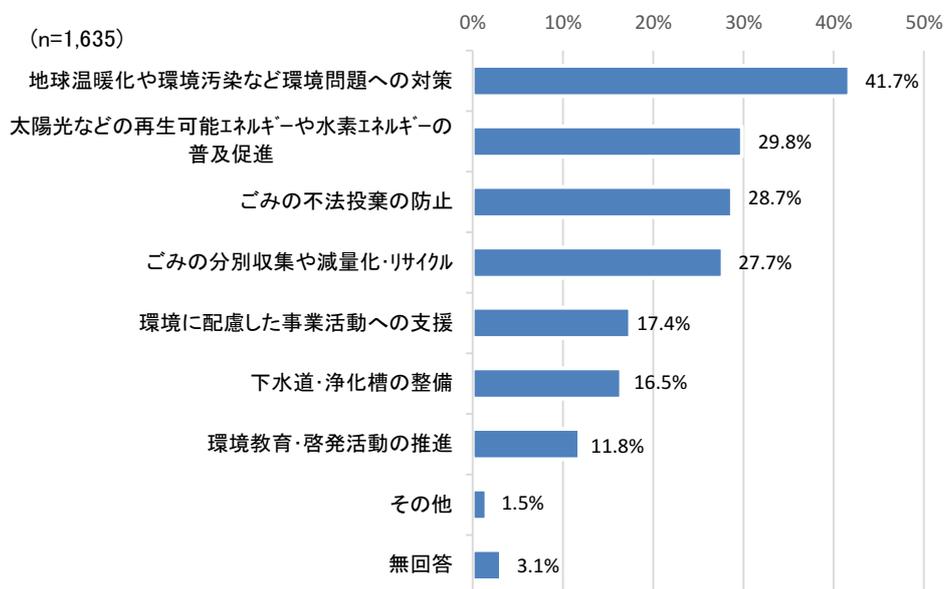
注) 項目は数値の高い順に整列

参考図表IV-32 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと（MA）



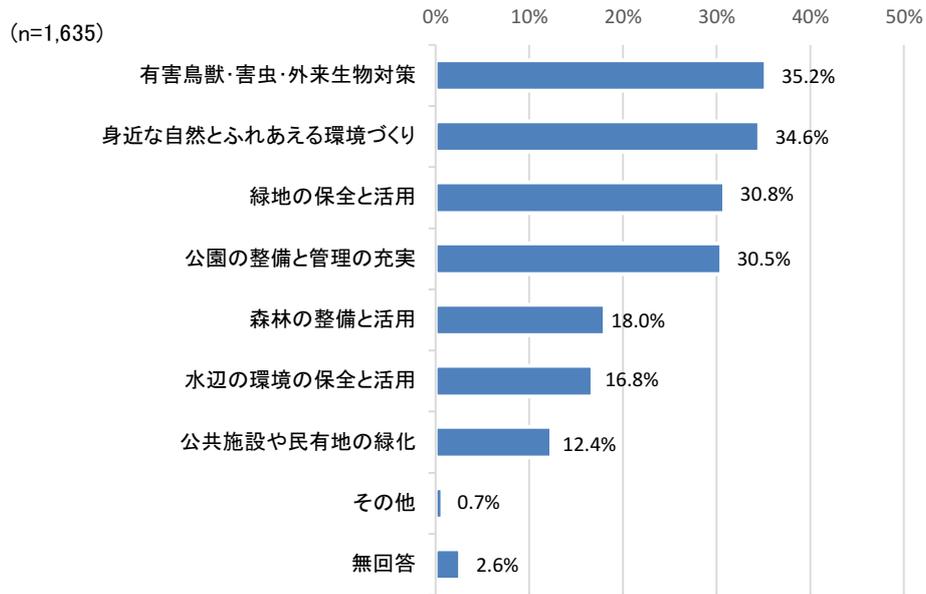
注) 項目は数値の高い順に整列

参考図表IV-33 環境において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



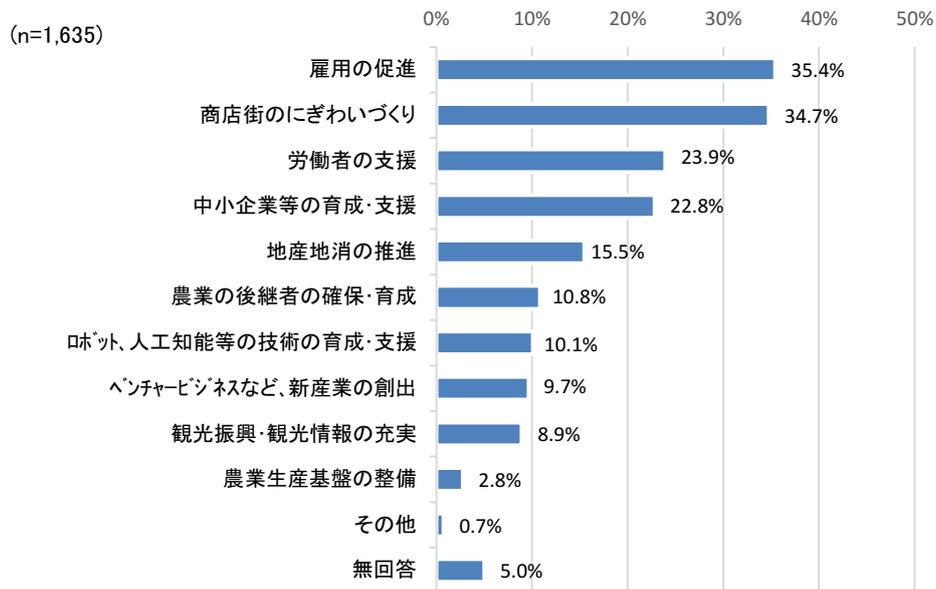
注) 項目は数値の高い順に整列

参考図表IV-34 水と緑において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



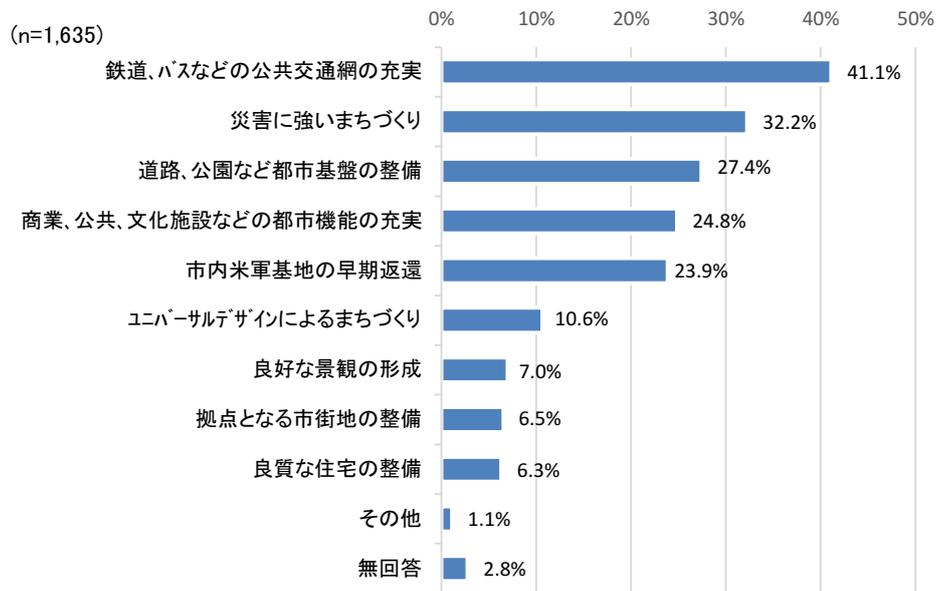
注) 項目は数値の高い順に整列

参考図表IV-35 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



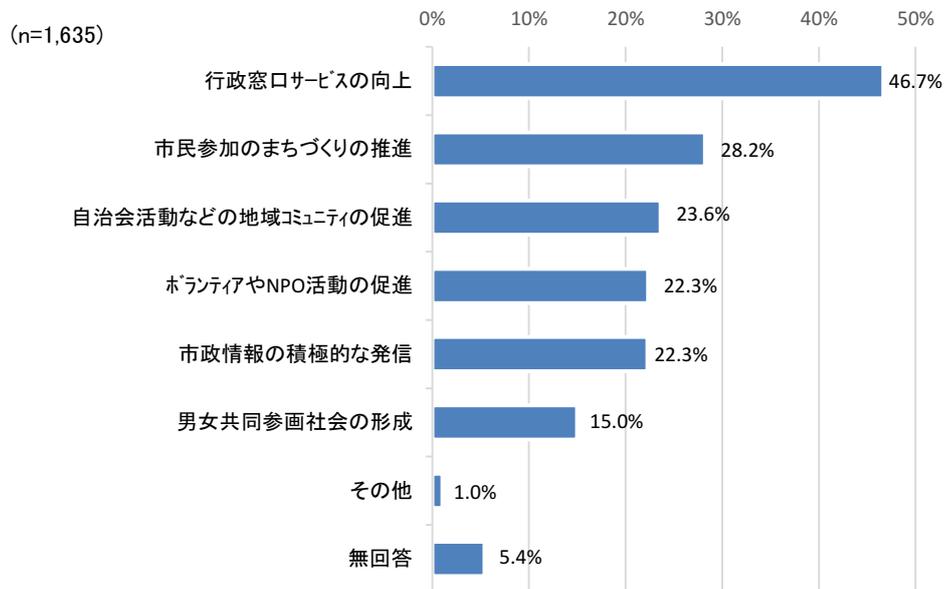
注) 項目は数値の高い順に整列

参考図表IV-36 まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと（MA）



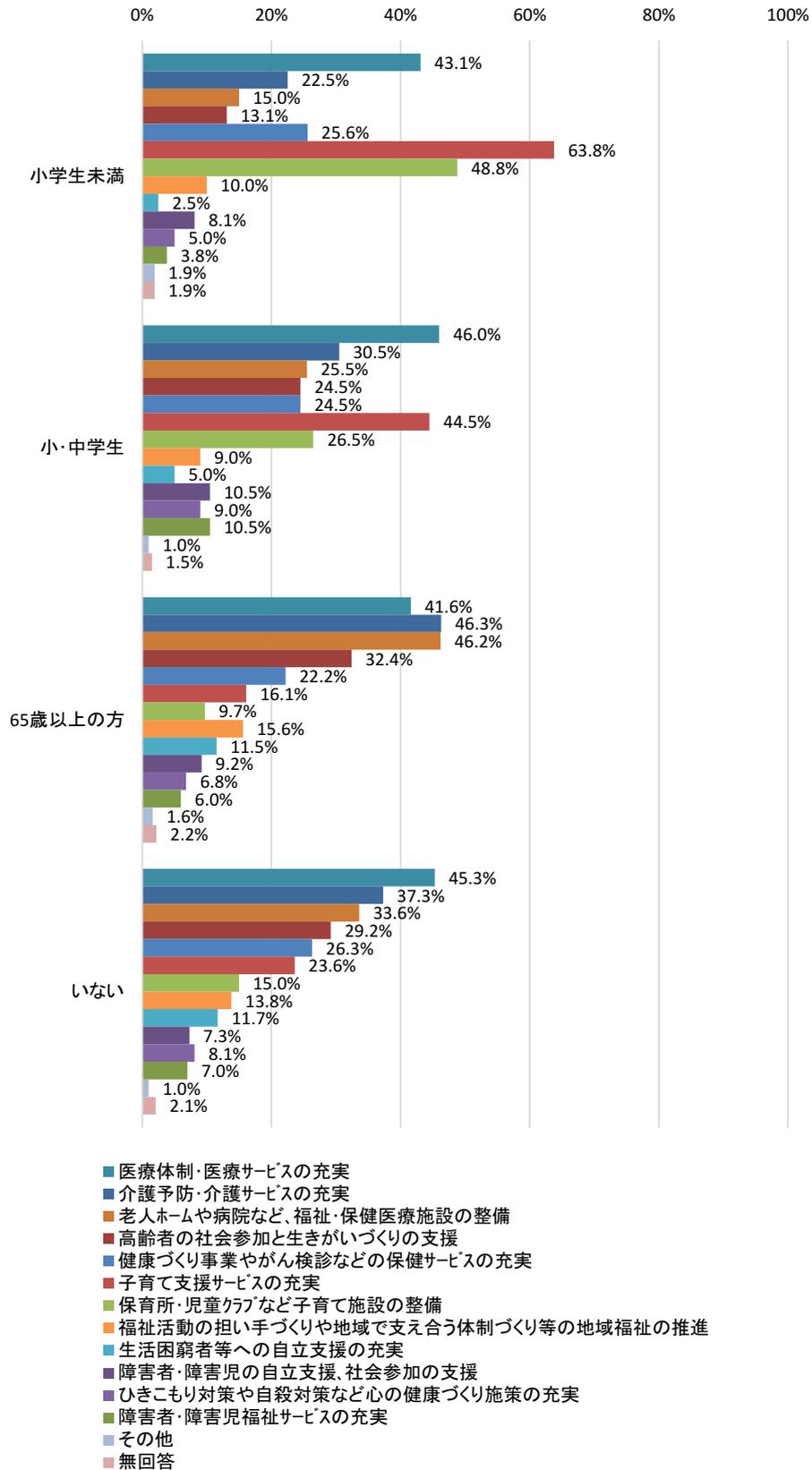
注) 項目は数値の高い順に整列

参考図表IV-37 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



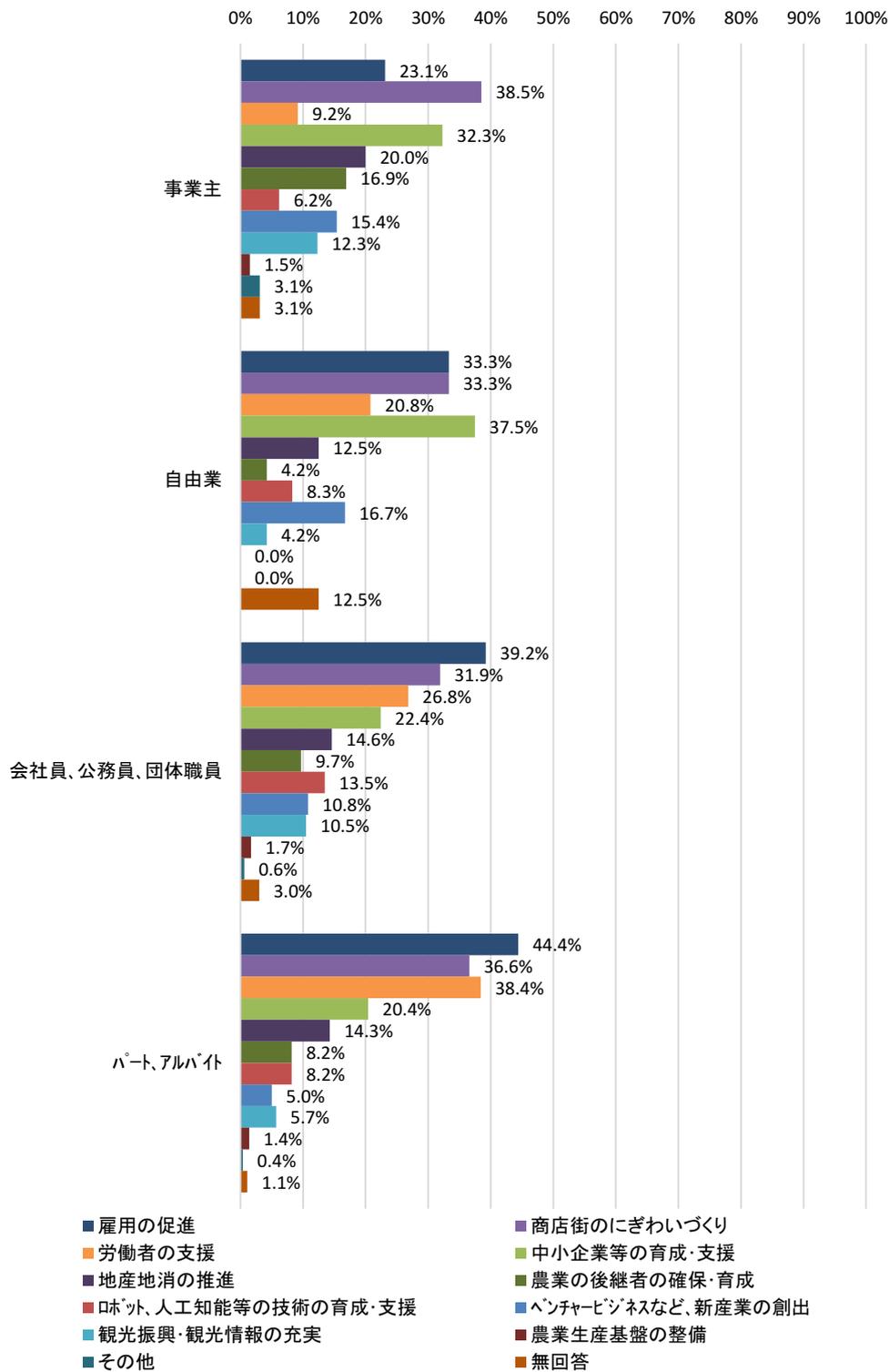
注) 項目は数値の高い順に整列

参考図表IV-38 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（同居家族別）（MA・MA）



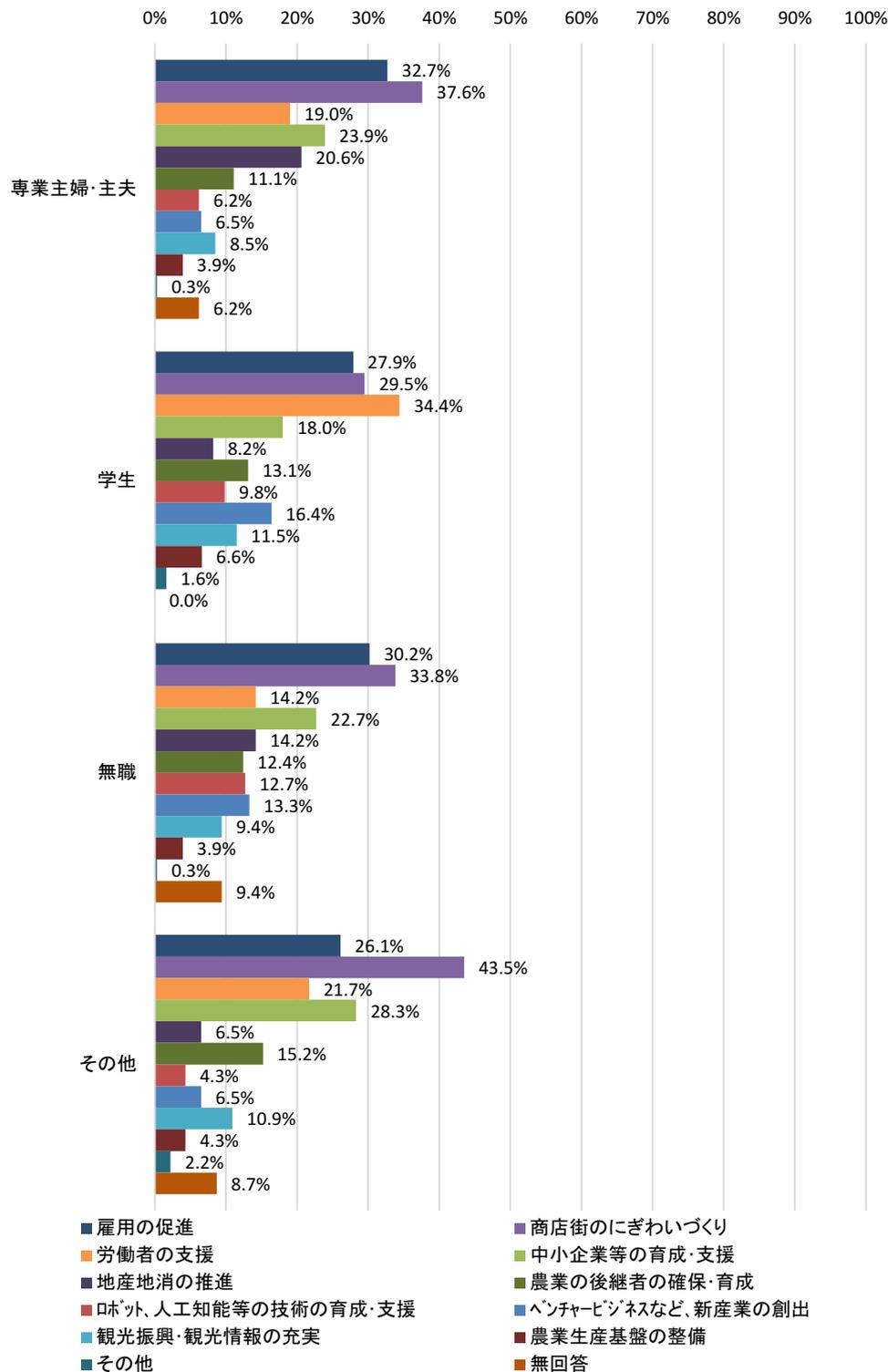
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-39 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（職業別）（MA・SA）



注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

参考図表IV-40 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（職業別）（MA・SA）

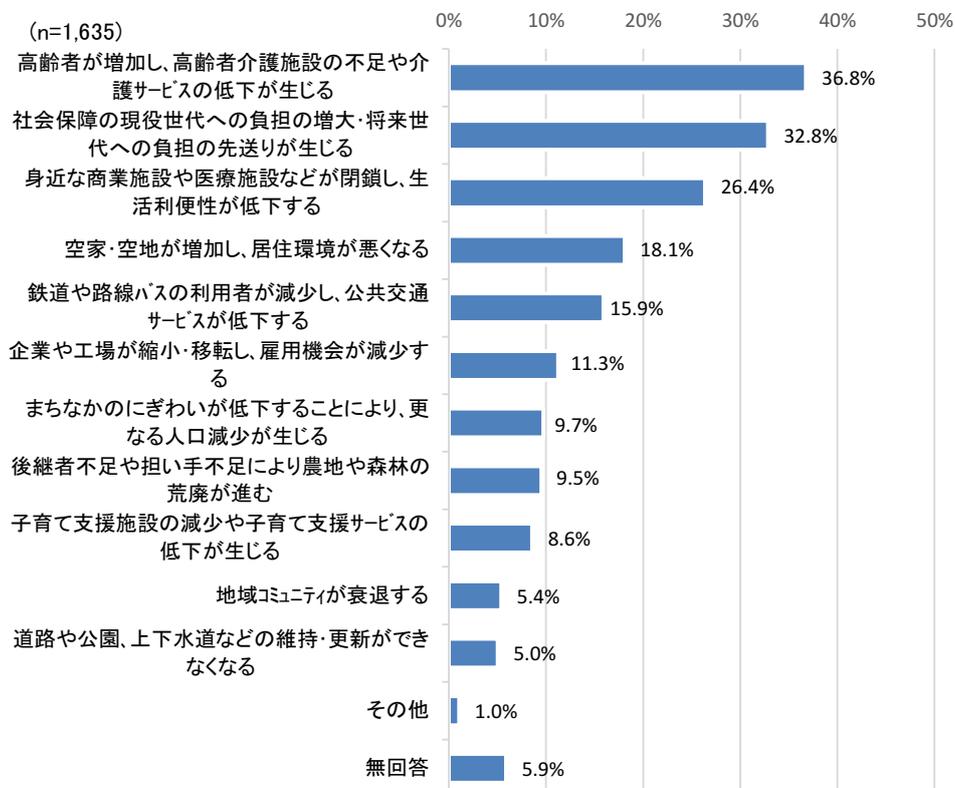


注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

4 今後のまちづくりに関する考察

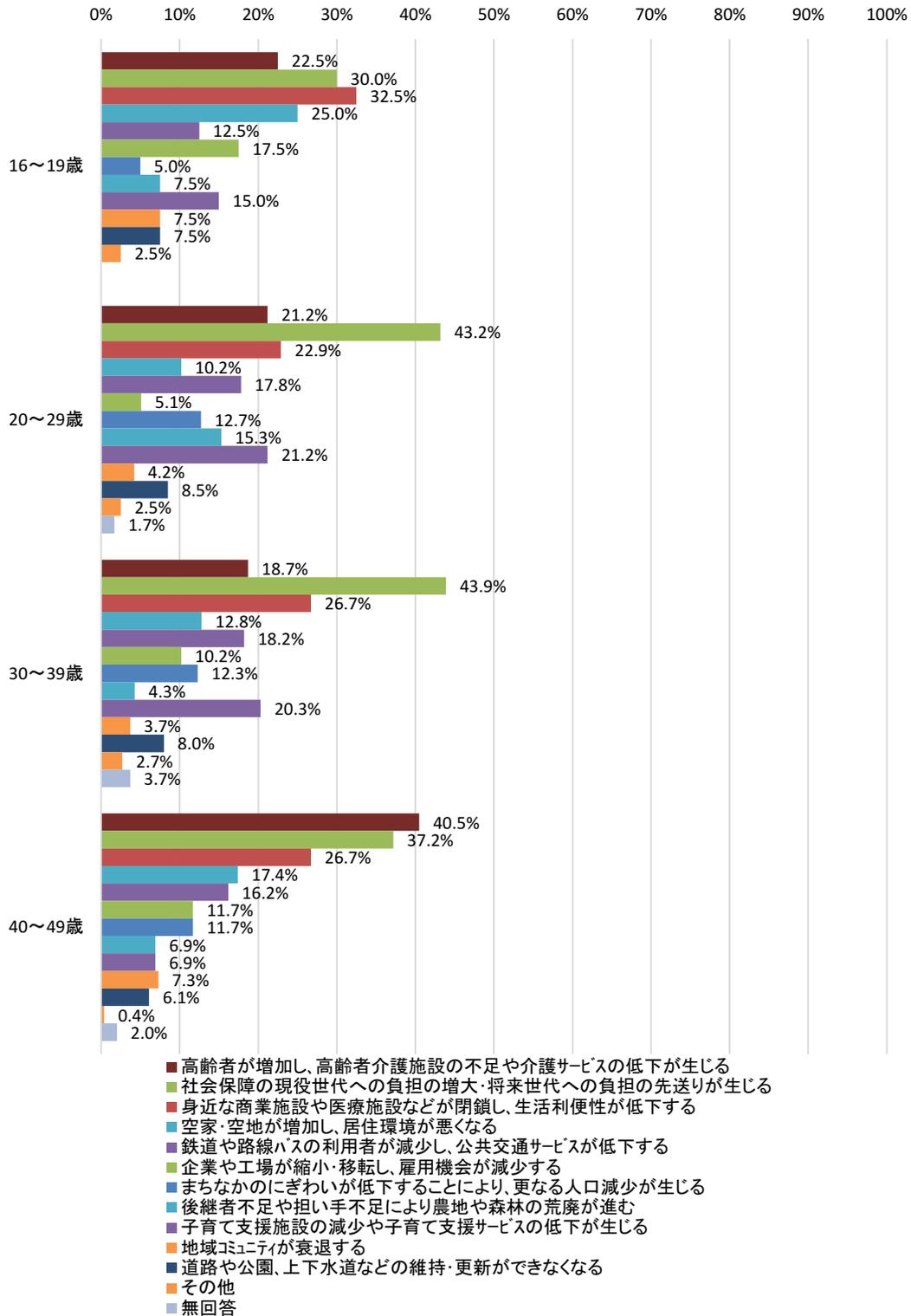
- 人口減少や少子高齢化を迎えるに当たり、特に課題だと思うことは、「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」ことが最も多く挙げられた。年齢階層別に見ると、若い世代では、生活利便性低下や、少子高齢化による現役世代への負担の増大を課題として挙げており、40代以上で、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下といった、本人ないしは親に直面する課題について挙げている。
- そうした中で、特に力を入れてほしいことは、高齢化による高齢者福祉施策の充実よりも、子育て施策の方が高くなっており、自らに直接関係する対策よりも、将来の人口減少に歯止めをかけ、次世代を担う子どもたちのための施策を充実させるべきという考えが主になっていることが推察される。特に10代では、結婚、出産施策の充実が求められている。
- 今後行っていくべき都市づくりに関しては、「便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める」が最も高くなっており、コンパクトシティの考え方が一定程度浸透していることが推察される。ただし、津久井地域で「公共的なサービスを受けられなくても、郊外でゆったりと暮らせるエリアを創出」が他の地区よりも高くなっているように、地域の特徴とニーズを踏まえた都市づくりが求められる。

図表IV-41 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（MA）



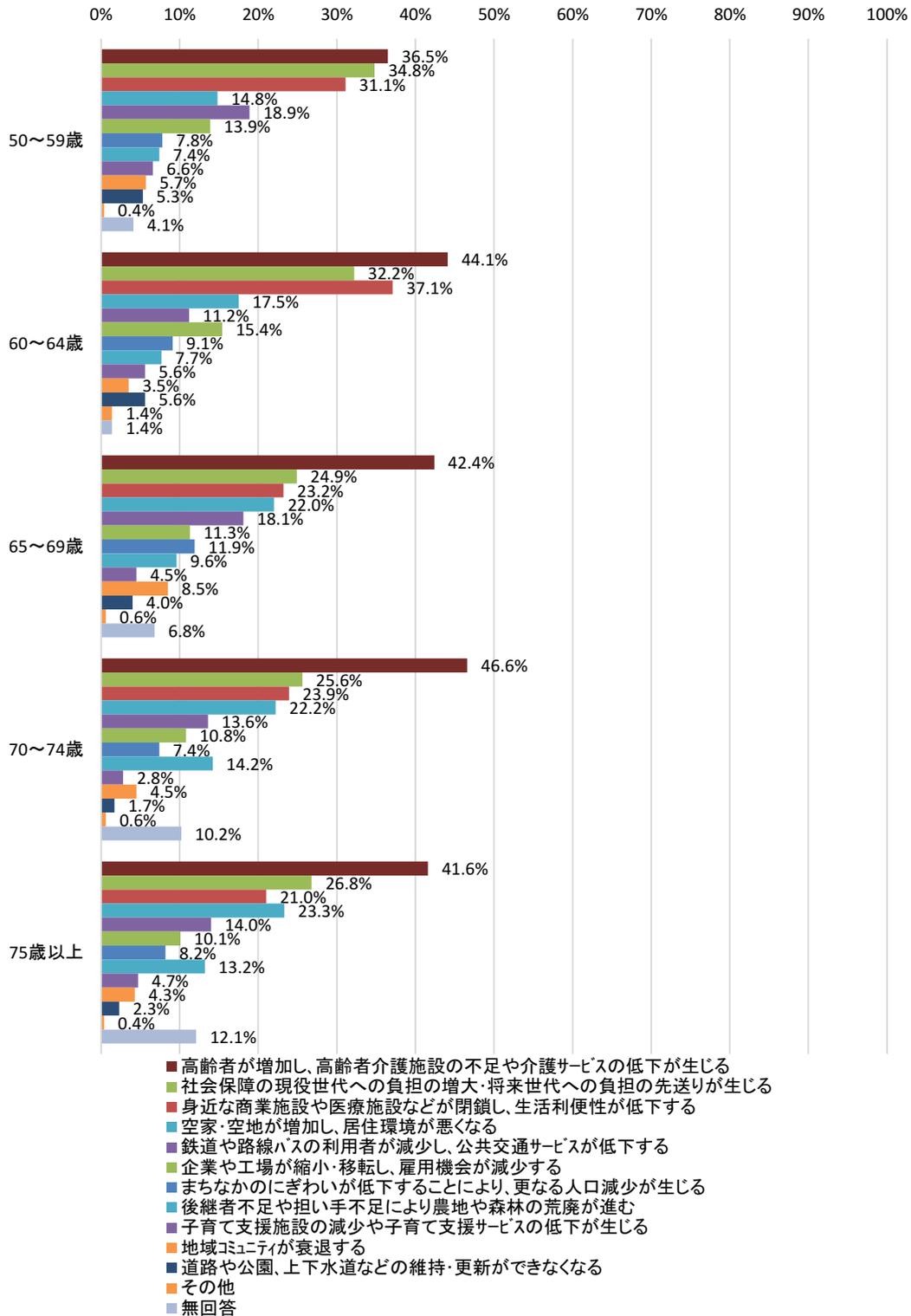
注) 項目は数値の高い順に整列

図表IV-42 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（年齢階層別）（MA・SA）



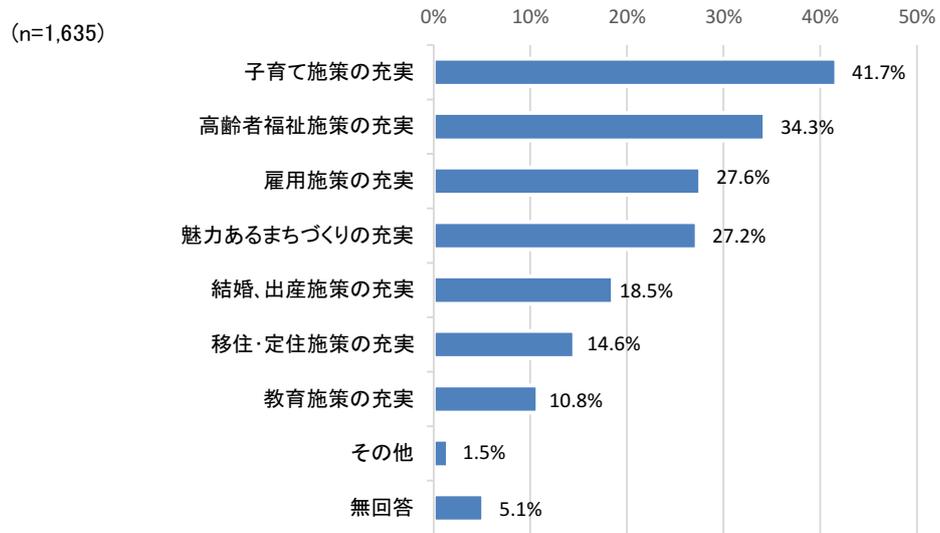
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表IV-43 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（年齢階層別）（MA・SA）



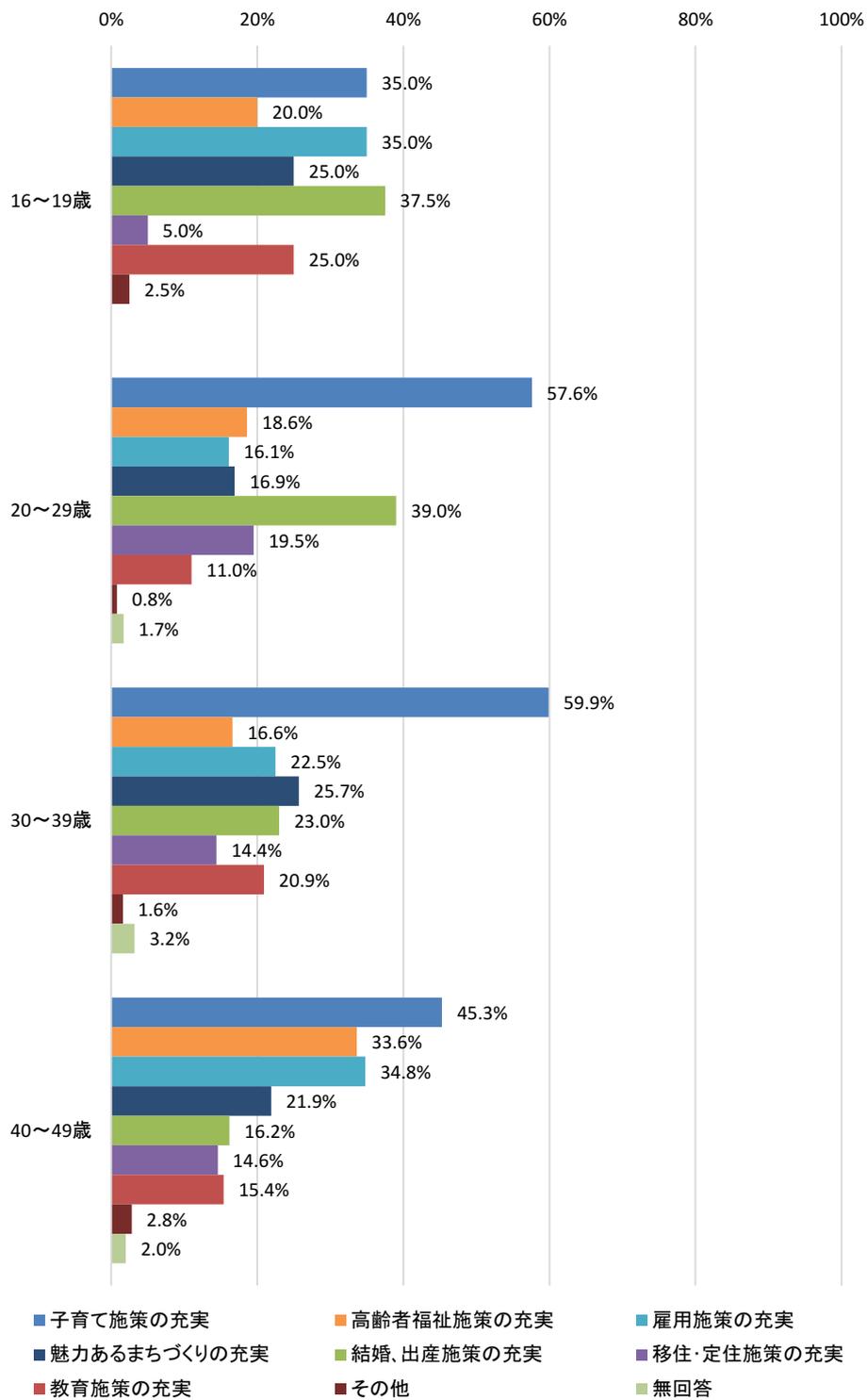
注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表IV-44 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（MA）



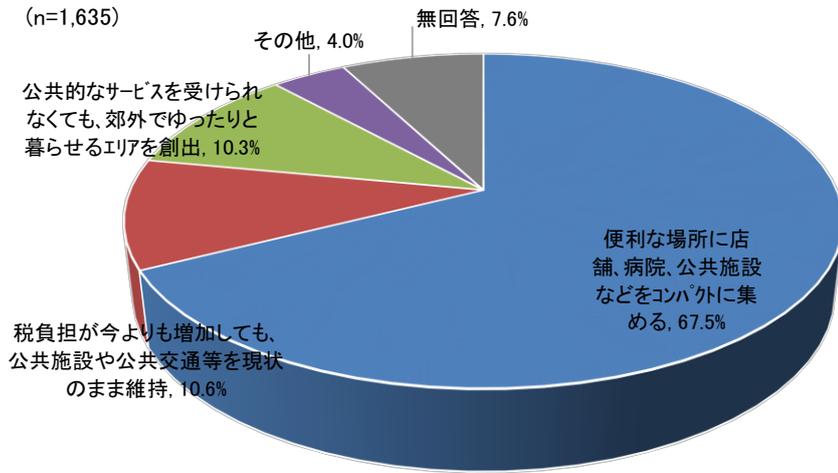
注) 項目は数値の高い順に整列

図表IV-45 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（MA・SA）

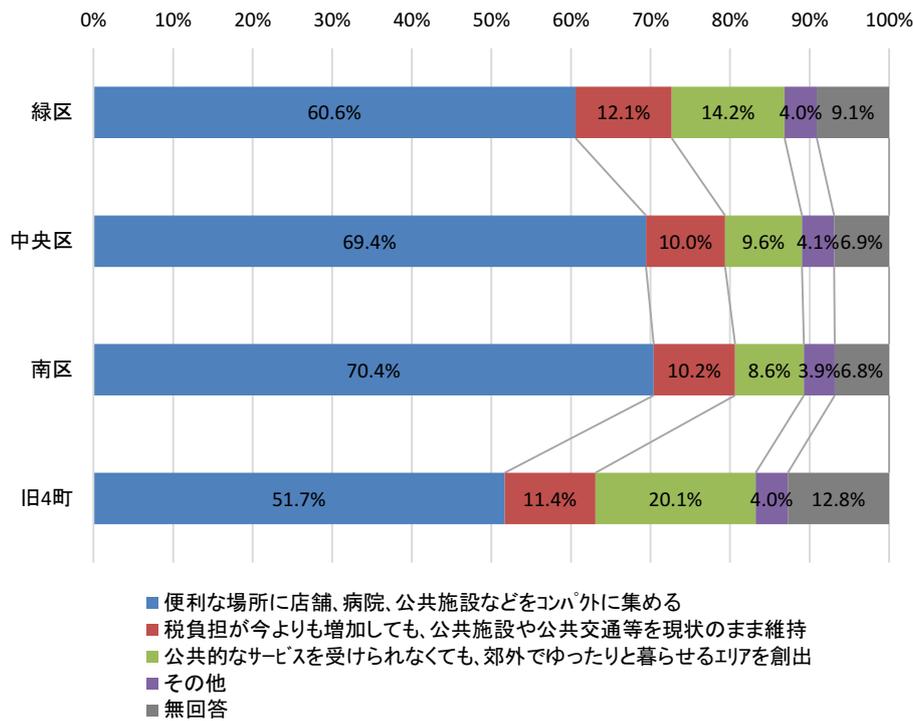


注) 項目は単純集計の数値の高い順に整列

図表IV-46 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり（MA）



図表IV-47 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり（居住地区別）（SA・SA）



次期総合計画策定のための市民アンケート調査

【調査協力をお願い】

日ごろから、市政へのご協力をいただき、ありがとうございます。

相模原市では、将来の相模原市をどのようなまちにしていくのかを示す指針となる「新・相模原市総合計画（基本計画）」の計画期間が平成31年度で終了することから、次期総合計画の策定に係る取組を平成29年度から開始いたしました。

本市は、今後、本格的な人口減少や少子高齢化を迎え、歳入は市税収入等の大幅な増加が見込めない一方、歳出は、福祉や医療などの社会保障に係る経費等が増加傾向にあり、引き続き厳しい財政状況が見込まれております。

そのような中におきましても、全ての市民の皆様が安全で安心して心豊かに暮らせる社会を実現するため、本アンケート調査を通じて市民の皆様からご意見をいただき、次期総合計画の策定を進める上での基礎資料とさせていただきたいと考えております。

本調査は、住民基本台帳に記載された16歳以上の市民の皆様の中から3,000人の方を無作為に選ばせていただき、無記名で回答していただくものです。

調査結果は、「この意見の方は全体の何%」という統計的な形で報告書としてまとめますので、回答された方が特定されることはありませんし、調査目的以外に利用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年9月

相模原市長 加山俊夫

ご記入に当たってのお願い

- ◎ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
- ◎ご回答に当たっては、該当する番号に○印をつけてください。
- ◎この調査票は平成29年10月16日（月）までに同封の返信用封筒に入れてご返送ください（切手を貼る必要はございません）。
- ◎ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】相模原市 企画財政局 企画部 企画政策課
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
TEL (042)769-8203 FAX (042)757-5727
Eメール kikaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

はじめに、あなたについておうかがいいたします。

F1 あなたの性別を次の中からお選びください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

F2 あなたの年齢を次の中からお選びください。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 16～19歳 | 6. 60～64歳 |
| 2. 20～29歳 | 7. 65～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 8. 70～74歳 |
| 4. 40～49歳 | 9. 75歳以上 |
| 5. 50～59歳 | |

F3 あなたは、相模原市に住んで何年になりますか。次の中からお選びください。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10～20年未満 |
| 2. 1～5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5～10年未満 | |

F4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。次の中からお選びください。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 事業主 | 5. 専業主婦・主夫 |
| 2. 自由業 | 6. 学生 |
| 3. 会社員、公務員、団体職員 | 7. 無職 |
| 4. パート、アルバイト | 8. その他 () |

《F4で「1事業主」「2自由業」「3会社員、公務員、団体職員」「4パート、アルバイト」とお答えの方に》

F4-1 あなたの勤務地はどちらですか。次の中からお選びください。(○は1つだけ)

(2つ以上の勤務地をお持ちの方は主なものを1つだけお選びください。)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 相模原市 | 3. 東京都 |
| 2. 1以外の神奈川県内 | 4. その他 () |

F5 現在、あなたが同居している家族の構成は次のどれですか。次の中からお選びください。(あなたを含めてお答えください。)(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 単身 | 4. 祖父母と親と子(3世代) |
| 2. 夫婦だけ | 5. その他 () |
| 3. 親と子(2世代) | |

F6 現在、一緒に住んでいる方で、小中学生以下の子どもや 65 歳以上の方はいらっしゃいますか。次の中からいらっしゃる方すべてをお選びください。(あなたを除いてお答えください。)

- | | | | |
|----------|----------|-------------|--------|
| 1. 小学生未満 | 2. 小・中学生 | 3. 65 歳以上の方 | 4. いない |
|----------|----------|-------------|--------|

F7 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。次の中からお選びください。(○は 1 つだけ)

- | |
|------------------------------|
| 1. 持家一戸建 |
| 2. 持家共同住宅(分譲マンションなど) |
| 3. 民間の賃貸一戸建 |
| 4. 民間の賃貸共同住宅(民間アパート・マンションなど) |
| 5. 公団、公社、公営住宅 |
| 6. 社宅、官舎、寮等 |
| 7. その他 () |

F8 封筒のあて名の右に記載された記号は、あなたのお住まいの地域を表しています。その番号を次の中からお選びください。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 橋本地区:A | 9. 横山地区:I | 17. 大野南地区:Q |
| 2. 大沢地区:B | 10. 中央地区:J | 18. 麻溝地区:R |
| 3. 城山地区:C | 11. 星が丘地区:K | 19. 新磯地区:S |
| 4. 津久井地区:D | 12. 光が丘地区:L | 20. 相模台地区:T |
| 5. 相模湖地区:E | 13. 大野北地区:M | 21. 相武台地区:U |
| 6. 藤野地区:F | 14. 田名地区:N | 22. 東林地区:V |
| 7. 小山地区:G | 15. 上溝地区:O | |
| 8. 清新地区:H | 16. 大野中地区:P | |

設問に沿ってお答えください。

問1 あなたは現在の暮らしに満足していますか。次の中から1つお選びください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 満足している | 3. どちらかといえば満足していない |
| 2. どちらかといえば満足している | 4. 満足していない |

問2 あなたは、現在お住まいの地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つお選びください。(○は1つだけ) *地域とは、・・・F 8でお答えいただいた地域

- | | | | |
|-------------------|--------|--------------|--------|
| 1. 今の地域にずっと住み続けたい | } →問3へ | 3. いずれは転居したい | } →問4へ |
| 2. 当分の間は住み続けたい | | 4. すぐに転居したい | |

問2で「1.2」と回答した方（住み続けたいとお答えの方）におうかがいたします。

問3 問2で「1 今の地域にずっと住み続けたい」あるいは「2 当分の間は住み続けたい」とお答えの方にお聞きます。住み続けたいと思う理由は何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 自分の家（土地）がある | 8. 子どもの教育・子育て環境が充実している |
| 2. 家賃（地代）が安い | 9. 家族や親戚など身内が近くにいる |
| 3. 物価が安い | 10. 地域の間人関係が良い |
| 4. 自然環境が豊か | 11. 防犯・治安が良い |
| 5. 交通利便が良い | 12. 医療・福祉が充実している |
| 6. 買い物に便利 | 13. 公共施設が充実している |
| 7. 仕事・商売の都合 | 14. 娯楽・レジャー施設が充実している |
| | 15. その他() |

⇒問6へ

問2で「3.4」と回答した方（転居したいとお答えの方）におうかがいたします。

問4 問2で「3 いずれは転居したい」あるいは「4 すぐに転居したい」とお答えの方にお聞きます。転居したいと思う理由は何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 自分の家（土地）でない | 8. 子どもの教育・子育て環境が悪い |
| 2. 家賃（地代）が高い | 9. 家族や親戚など身内が近くにいない |
| 3. 物価が高い | 10. 地域の間人関係に不安・不満がある |
| 4. 自然環境が乏しい | 11. 防犯・治安が不安である |
| 5. 交通利便が悪い | 12. 医療・福祉が不十分である |
| 6. 買い物に不便 | 13. 公共施設が不十分である |
| 7. 仕事・商売の都合 | 14. 娯楽・レジャー施設が不十分である |
| | 15. その他() |

⇒問5へ

問2で「3.4」と回答した方（転居したいとお答えの方）におうかがいたします。

問5 問2で「3 いずれは転居したい」あるいは「4 すぐに転居したい」とお答えの方にお聞きます。どこに転居したいと思いますか。次の中から1つお選びください。（○は1つだけ）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 同じ区内（緑区・中央区・南区） |
| 2. 相模原市内の別の区（特定の地域があれば） |
| 3. 相模原市以外の神奈川県内市町村（特定の自治体があれば） |
| 4. 神奈川県以外の近隣市町村（特定の自治体があれば） |
| 5. その他（特定の自治体があれば） |
| 6. 具体的にはわからない |

⇒問6へ

問6 あなたは、どのような場所で生活したいと思いますか。次の中から1つお選びください。（○は1つだけ）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 生活に便利なまちの中心部（交通利便性の高い鉄道駅直近） |
| 2. まちの中心の周辺部（駅まで歩いていける（概ね1.0km）範囲） |
| 3. 郊外の住宅地（駅までバスまたは車で移動する場所） |
| 4. 郊外の田園地域または山間部等（主な移動手段が自家用車である場所） |
| 5. その他（） |

問7 あなたは、（ア）～（ウ）の区域について愛着を感じていますか。次の中でもっとも近いものをお選びください。

	そ う 思 う	そ ど う 思 う か と い う と	そ ど う 思 わ な い と	そ う 思 わ な い			
（ア） 相模原市	1	...	2	...	3	...	4
（イ） お住まいの区（緑区・中央区・南区）	1	...	2	...	3	...	4
（ウ） お住まいの地域	1	...	2	...	3	...	4

問 10 あなたが市に対して、今後、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。
 (○は3つまで)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 高齢者福祉 | 21. 公共交通(鉄道、バス) |
| 2. 障害者・障害児福祉 | 22. 自動車・自転車対策 |
| 3. 保健衛生・医療 | 23. 道路の整備・維持管理 |
| 4. 子育て支援 | 24. 下水道・河川の整備・維持管理 |
| 5. 結婚・出産 | 25. 都市景観 |
| 6. 学校教育 | 26. 住宅・住環境 |
| 7. 生涯学習 | 27. 基地対策 |
| 8. 青少年の健全育成 | 28. 防犯・交通安全 |
| 9. 人権教育・人権啓発 | 29. 防災・消防 |
| 10. 男女共同参画・女性活躍 | 30. 消費者問題 |
| 11. 大気・水質など環境対策 | 31. 市民活動(ボランティア、NPO) |
| 12. ごみ対策 | 32. 文化・芸術振興 |
| 13. 自然環境保全 | 33. スポーツ振興 |
| 14. 公園の整備・維持管理 | 34. 市民相談・広報 |
| 15. 工業振興 | 35. 国際交流・国際平和 |
| 16. 農業振興 | 36. 市民・企業・行政などの協働 |
| 17. 商業振興 | 37. 行財政改革 |
| 18. 観光振興 | 38. ICT(情報通信技術)の活用 |
| 19. 雇用対策・勤労者福祉 | 39. その他() |
| 20. 駅前などの市街地整備 | |

問 11 あなたが各分野(①~⑧)において市に対して、今後、特に力を入れてほしいと思うことをお選びください。

【①福祉・保健・医療】

次の中から3つ以内でお選びください。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 介護予防・介護サービスの充実 | 8. 子育て支援サービスの充実 |
| 2. 高齢者の社会参加と生きがいづくりの支援 | 9. 保育所・児童クラブなど子育て施設の整備 |
| 3. 障害者・障害児福祉サービスの充実 | 10. ひきこもり対策や自殺対策など心の健康づくり施策の充実 |
| 4. 障害者・障害児の自立支援、社会参加の支援 | 11. 生活困窮者等への自立支援の充実 |
| 5. 医療体制・医療サービスの充実 | 12. 福祉活動の担い手づくりや地域で支え合う体制づくりなどの地域福祉の推進 |
| 6. 老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備 | 13. その他() |
| 7. 健康づくり事業やがん検診などの保健サービスの充実 | |

【②生活の安全・安心】

次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 1. 消費者被害の防止や消費者教育など、消費生活の安定・充実 | 5. 消防・救急体制の充実 |
| 2. 食中毒や感染症の予防など、公衆衛生対策の充実 | 6. 防犯対策の推進 |
| 3. 道路・橋などの老朽化対策 | 7. 交通安全対策の充実 |
| 4. 自然災害に対する体制や防災対策の充実 | 8. その他 () |

【③教育・文化・スポーツ】

次の中から3つ以内でお選びください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 幼児教育・義務教育（小中学校）の充実 | 8. 芸術文化活動への支援や人材育成 |
| 2. 高等学校・大学教育の充実 | 9. 文化財・伝統芸能の保存と活用 |
| 3. 障害がある児童・生徒への支援教育の充実 | 10. 生涯学習の機会や支援体制の充実 |
| 4. *子どもの貧困対策の充実 | 11. 公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実 |
| 5. 青少年の健全育成のための環境づくり | 12. スポーツ・レクリエーション活動や施設の充実 |
| 6. 人権教育の充実 | 13. 国際交流・国際理解の機会の充実 |
| 7. 文化ホールや美術館など、文化施設の充実 | 14. その他 () |

*子どもの貧困対策・・・貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図ることを目的とする施策

【④環境】

次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策 | 5. ごみの分別収集や減量化・リサイクル |
| 2. 環境教育・啓発活動の推進 | 6. ごみの不法投棄の防止 |
| 3. 環境に配慮した事業活動への支援 | 7. 下水道・浄化槽の整備 |
| 4. 太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進 | 8. その他 () |

【⑤水と緑】

次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 緑地の保全と活用 | 5. 森林の整備と活用 |
| 2. 水辺の環境の保全と活用 | 6. 公共施設や民有地の緑化 |
| 3. 公園の整備と管理の充実 | 7. 有害鳥獣・害虫・外来生物対策 |
| 4. 身近な自然とふれあえる環境づくり | 8. その他 () |

【⑥産業・雇用】

次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1.ベンチャービジネスなど、新産業の創出 | 7.雇用の促進 |
| 2.ロボット、人工知能等の技術の育成・支援 | 8.農業生産基盤(農道・用水路など)の整備 |
| 3.中小企業等の育成・支援 | 9.農業の後継者の確保・育成 |
| 4.商店街のにぎわいづくり | 10.地産地消の推進 |
| 5.観光振興・観光情報の充実 | 11.その他() |
| 6.労働者の支援 | |

【⑦まちづくり】

次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1.道路、公園など都市基盤の整備 | 6.良質な住宅の整備 |
| 2.商業、公共、文化施設などの都市機能の充実 | 7.良好な景観の形成 |
| 3.鉄道、バスなどの公共交通網の充実 | 8.*ユニバーサルデザインによるまちづくり |
| 4.災害に強いまちづくり | 9.市内米軍基地の早期返還 |
| 5.拠点となる市街地の整備 | 10.その他() |

*ユニバーサルデザインとは・・・障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、すべての人々が利用しやすいよう、製品、建物、環境などをデザインする考え方

【⑧市民参加・協働】

次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1.ボランティアやNPO活動の促進 | 5.*男女共同参画社会の形成 |
| 2.自治会活動などの地域コミュニティの促進 | 6.市政情報の積極的な発信 |
| 3.市民参加のまちづくりの推進 | 7.その他() |
| 4.行政窓口サービスの向上 | |

*男女共同参画社会とは・・・男女が、互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を発揮できる社会

本市の人口は、少子高齢化の進行の影響により、平成31年の73万人をピークに減少に転じ、平成72年には、ピーク時の3/4程度である約54万人まで減少すると予測しております。

問12 人口減少や少子高齢化が進行することにより起こりうると想定される課題の中で、あなたが特に課題だと思うことは何ですか。次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

1. まちなかのにぎわいが低下することにより、更なる人口減少が生じる。
2. 身近な商業施設や医療施設などが閉鎖し、生活利便性が低下する。
3. 企業や工場が縮小・移転し、雇用機会が減少する。
4. 鉄道や路線バスの利用者が減少し、運行本数が少なくなるなど公共交通サービスが低下する。
5. 空家・空地が増加し、居住環境が悪くなる。
6. 地域コミュニティが衰退する。
7. 道路や公園、上下水道などの維持・更新ができなくなる。
8. 高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる。
9. 医療や介護などの社会保障に係る、現役世代への負担の増大及び将来世代への負担の先送りが生じる。
10. 子育て支援施設の減少や子育て支援サービスの低下が生じる。
11. 後継者不足や担い手不足により農地や森林の荒廃が進む。
12. その他 ()

問13 人口減少や少子高齢化対策として、今後、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中から2つ以内でお選びください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 子育て施策の充実 | 5. 雇用施策の充実 |
| 2. 教育施策の充実 | 6. 高齢者福祉施策の充実 |
| 3. 結婚、出産施策の充実 | 7. 魅力あるまちづくりの充実 |
| 4. 移住・定住施策の充実 | 8. その他 () |

問14 人口減少や少子高齢化においては、税収の減少や社会保障費の増大等により財政経営が一層厳しくなる一方、一定の人口密度が保てなくなることにより、スーパーなどの商業施設の閉鎖や、これまでの行政サービスの維持が難しくなるなどの課題が考えられる中で、どのような都市づくりを行っていきべきだと思いますか。

次の中から1つをお選びください。(○は1つだけ)

1. 今後の変化に柔軟に対応していくため、施設規模の縮小や行政サービスの見直しが生じたとしても、駅周辺など徒歩あるいは公共交通等で移動できる便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める。
2. 今の生活スタイルを変えずに暮らすため、人口減少に伴って一人あたりの税負担が今よりも増加しても、学校や公民館、道路などの公共施設や公共交通などを現状のまま維持していく。
3. 身近に公共的なサービスを受けられないとしても、郊外部において、自然に囲まれ、広々とした住宅でゆったりと暮らせるエリアを創出する。
4. その他 ()

- 最後に相模原市の市政や次期総合計画の策定について、ご意見やご要望がありましたら、どんなことでもご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。質問は以上で終わりです。

恐れ入りますが、記入もれがないかどうかもう一度お確かめの上、同封の返信用封筒にこのアンケートを封入し（切手不要）、平成29年10月16日（月）までにご返送くださるようお願い申し上げます。